

令和 4(2022)年度

新見公立大学年報

新 見 公 立 大 学

巻 頭 言

2022年度は、「課題先進地域の現場で人と地域を創る新見公立大学」として、2019年度に新たにスタートとした新・健康科学部1学部3学科体制の完成年度となります。4月に第4期生を迎え、学生総数は本学42年の歴史のなかで最大の770人となりました。この学生数の急激な増加に対応する民間の学生居住施設“えきよこ”(5階建て100室)が完成し、その1階に大学の街中キャンパスとして、①発達支援センター「なごみ」、②こども交流広場「ひだまり」、③スタディラウンジ「ゆめラウ」の3部門で構成される「NiU 新見駅西サテライト」がオープンしました。本サテライトは地域共生推進センターのチューデント・アシスタント(SA)を核とする学生の組織的地域貢献活動・経験学修の拠点としてこの1年間で大きく発展し、学生ファーストを目指す本学での2022年度における最大の事業となりました。

次に、本学が完成年度以降の新たなステージに向けて改革・改善を進めている複数の取り組みのなかで、2022年度の代表的な事業を以下に示します。

まず、2023年度の大学教育質保証・評価センターの認証評価の受審に向けて、評価・将来構想委員会に内部質保証部会を立ち上げて、昨年度より本格的に学内体制の整備を進めています。本年度は、「3つの方針の策定及び運用に関するガイドライン」に基づき、従来の学科からの観点ではなく、学生本位の教育活動の展開を目指す教育の充実の観点から、学位(学士)を与える課程(学位プログラム)中心の方針に改めました。つまり、学生が「何ができるようになったか」という質的保証を目指した学生目線に見直し、3つの方針に基づく学修目標の具体化、学修成果・教育成果の把握・可視化等に向けて全学での取り組みを進めるとともに、点検評価ポートフォリオの原案を作成しました。

次いで、2023年4月に大学院看護学研究科から健康科学研究科に名称を変更して、地域福祉学専攻(修士課程)ならびに看護学専攻(博士後期課程)を新設し、看護学修士課程を博士前期課程として改組、深化させる計画に関しては、6月に設置審からの審査意見に応答して8月31日付けで計画通りに認可されました。日本の中山間地域にある唯一の保健福祉系の公立大学の使命として、住み慣れた中山間で安心してこころ豊かに共に生きる社会の基盤となる全世代型地域包括ケアシステムの在り方を追求する大学院を目指していきます。

施設面に関しては、「地域レジリエンス・脱炭素化を同時に実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業(環境省補助金・合同会社GRE 備北担当)」により、岡山県内の教育機関として初めての取り組みとなる電力事業者と使用者で結ぶ「電力販売契約(PPA事業)」に基づく、太陽光発電・蓄電池工事が2023年2月末に完成しました。550W/枚発電パネル613枚が地域共生推進センター棟講堂、学術交流センターと体育館の屋根に設置され、総発電容量約337.15kW(全学の電気使用量の約30%に相当)の施設整備となりました。地域の防災拠点としての機能強化とともに、ロシアのウクライナ侵攻の影響等による電気料金の高騰に対応する極めてタイムリーな事業となりました。

また、新型コロナウイルス感染症に日本中が翻弄された3年間のなかで比較的影響の少なかった新見市ならびに本学でありましたが、2022年度はオミクロン株による夏期の第7波、冬期に第8波の影響を受けてクラスターが散発しました。しかし、学外実習等に多少の影響を受けたものの、学修全体への影響は軽微であり、国家試験受験等への直接的な影響を受ける学生もなく無事学年進行を終えることが出来ました。そして、2023年3月18日に卒業生、修了生と保護者の皆さんを交えて、地域共生推進センター棟講堂での初めて卒業証書・学位記授与式が厳粛かつ華やかに開催され、2022年度の最後の事業となりました。

2023年5月18日

新見公立大学学長
公文 裕巳

令和4(2022)年度 新見公立大学年報 目次

1. 学事

1) 行事年表	1
(1) 行事年表	1
(2) 学年暦	2
2) 入学状況	4
3) 進路状況	4
4) 内部質保証	4
(1) 法人評価	4
(2) 認証評価	5
(3) 自己点検・評価	6
5) 運営組織	
(1) 法人組織図	7
(2) 各種委員会	8
(3) 役職	11
(4) チューター	12
6) 教職員組織	
(1) 教員	13
(2) 事務局	25
7) 収入・支出予算	28
8) 教授会	
新見公立大学・新見公立大学大学院	30
9) 各種委員会・センター活動実績	
(1) 評価・将来構想委員会	33
(2) 教務委員会	34
(3) FD・SD 委員会	36
(4) 教育推進委員会	37
(5) 学生生活支援センター	39
(6) 研究倫理審査委員会	42
(7) 地域共生推進センター	43
(8) 総合情報基盤センター	52
(9) 教育支援センター	54
(10) 修学・キャリア支援センター	55
(11) 保健管理センター	56
10) 教育改善の取り組み	
(1) FD / SD 研修会	57
(2) 学科合同学び報告会	60
11) 広報活動	
(1) 高校訪問・高校ガイダンス	61
(2) オープンキャンパス	65
(3) 学報「まんさく」	65
(4) ホームページ	66
(5) メディアでの新見公立大学	67

12) 施設の拡充	
(1) 特徴的な施設整備	78
(2) 継続的な施設整備	79
13) 日本学術振興会科学研究費助成事業	81
14) 学長配分研究費研究報告	83
15) 同窓会	88
2. 学科・研究科の活動	
1) 健康科学部健康保育学科	89
2) 看護学科・助産学専攻科・大学院研究科	92
3) 地域福祉学科	98
3. 教員の教育・研究・社会貢献への実績	100
1) 健康保育学科	104
2) 看護学科・助産学専攻科・大学院研究科	134
3) 地域福祉学科	182
4) 地域共生推進センター・全学	213
4. 地域及び社会貢献を含む諸活動	
1) 新見市との連携	221
2) 地域共生推進センター	222
(1) 地域共生推進センター鳴滝塾	222
(2) 市民公開講座	222
(3) 他大学との交流	223
(4) NiU 新見駅西サテライト活動	224
(5) NiU 新見駅西サテライト・発達支援センター	226
(6) 地域との交流	229
(7) 教員・学生の地域貢献活動	233
(8) 学生の地域貢献活動	241
3) くらしきサテライト	244
4) にいみゆめのぼけっと	244
5) にいみ子育てカレッジ	244
6) 看護学セミナー	245
7) 疫学調査	246
8) 「新見船川八幡宮秋季例大祭」参加	246
9) 高大連携プログラム	246
10) 新見英語サロン	247
5. 学生指導・支援	
1) 卒業研究テーマ一覧	
(1) 健康科学部健康保育学科【卒業研究】	249
(2) 看護学科【卒業研究】	251
(3) 助産学専攻科【助産学研究】	253
(4) 地域福祉学科【地域福祉研究】	253
2) キャリア支援	255

3) 国家試験対策	261
4) オフィスアワー	265
5) 各種講演会	269
6) 海外研修	270
7) 奨学金・授業料免除・学生生活活動支援	270
8) 読書指導	271
9) カウンセリング	272
10) 保健管理センター	273
 6. 学生自治活動	
1) 新見公立大学学友会執行部	276
2) 鳴滝祭実行委員会	276
3) クラブ活動	277
 7. 施設利用状況	
1) 図書館	279
2) 学生会館	281
3) 教室等	281
4) 文化施設	281
5) 健康施設	281
6) N i U新見駅西サテライト	282
7) 学术交流センター（図書館以外）	282
8) 便益施設	284
9) 財産	284
 8. 法人情報	
1) 法人運営組織	286
2) 法人関係名簿	287
3) 理事会等開催記録	288
4) 重要事務手続	290
5) 主な事業	296
6) 災害等対応(新型コロナウイルス COVID-19)	300
7) 施設整備	302
8) 重要指標	304
 9. 巻末資料	
1) 授業評価	309
2) 学修成果等調査	326
3) 教学マネジメントの実施状況	331
4) 公立大学協会関係	342
5) 行事のポスター・ちらし	343
 編集後記	349

1. 学事

1) 行事年表

(1) 行事年表

◎令和 4(2022)年度行事年表

学期	日 程	事 項
前 期	4 月 4 日 (月)	前学期始
	4 月 4 日 (月)	学科ガイダンス (2・3・4 年)
	4 月 6 日 (水)	新入生入学日 学科ガイダンス (1 年)
	4 月 9 日 (土)	入学式
	5 月 21 日 (土) ～ 22 日 (日)	大学祭
	6 月 5 日 (日)	開学記念日
	8 月 1 日 (月) ～ 9 月 30 日 (金)	夏期休業
後 期	10 月 3 日 (月)	後学期始 後期ガイダンス
	12 月 25 日 (日) ～ 1 月 10 日 (火)	冬期休業
	3 月 18 日 (土)	卒業式
	3 月 15 日 (水) ～ 3 月 31 日 (金)	春期休業

(2) 学年歴

◎令和4(2022)年度学年暦 前期

	月	火	水	木	金	土	日	行事予定
4月					1	2	3	4/4 前期ガイダンス等 4/5 前期講義開始 4/7 学生交流会 4/8 5限：学生生活講演会（1年） 4/9 入学式 4/11～12 健康診断（在学生） 4/13 健康診断（新入生）
	4 ガイダンス	5 ①	6 ①	7 ①	8 ①	9 入学式	10	
	11 ①	12 健康診断	13 ②	14 ②	15 ②	16	17	
	18 ②	19 ②	20 ③	21 ③	22 ③	23	24	
	25 ③	26 ③	27 ④	28 ④	29	30		
5月							1	5/11 3限：健康教育講演会(1年) 5/18 3限：学生生活講演会(1年) 5/21～22 大学祭 5/23 振替休日
	2 ④	3	4	5	6 ④	7	8	
	9 ⑤	10 ④	11 ⑤	12 ⑤	13 ⑤	14	15	
	16 ⑥	17 ⑤	18 ⑥	19 ⑥	20 AM授業	21 大学祭	22	
	23 休講	24 ⑥	25 ⑦	26 ⑦	27 ⑥	28	29	
	30 ⑦	31 ⑦						
6月			1 ⑧	2 ⑧	3 ⑦	4	5	6/5 開学記念日 6/15 3限：学生生活講演会（1年）
	6 ⑧	7 ⑧	8 ⑨	9 ⑨	10 ⑧	11 補講	12	
	13 ⑨	14 ⑨	15 ⑩	16 ⑩	17 ⑨	18	19	
	20 ⑩	21 ⑩	22 ⑪	23 ⑪	24 ⑩	25	26	
	27 ⑪	28 ⑪	29 ⑫	30 ⑫				
7月					1 ⑪	2	3	7/24 オープンキャンパス
	4 ⑫	5 ⑫	6 ⑬	7 ⑬	8 ⑫	9 補講	10	
	11 ⑬	12 ⑬	13 ⑭	14 ⑭	15 ⑬	16	17	
	18	19 ⑭	20 ⑮	21 ⑮	22 ⑭	23	24 オープンCP	
	25 ⑭	26 ⑮	27 授業	28 授業	29 ⑮	30 補講	31	
8月	1 ⑮	2	3	4	5	6	7 オープンCP	8/2～8 前期試験期間 8/7 オープンキャンパス 8/26 助産特別入試 8/21 オープンキャンパス
	8 試験	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21 オープンCP	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31	26 入試	27	28	29	
	30	31						
9月				1	2	3	4	9/24 大学院前期入試 8/1～9/30 夏期休業日
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24 入試	25	
	26	27	28	29	30			

◎令和4(2022)年度学年歴 後期

	月	火	水	木	金	土	日	行事予定
10月						1	2	10/3 後期ガイダンス 10/4 後期講義開始 10/5 学生生活講演会(1年) 10/15 土下座祭(1・2年) 10/19 3限:山陽新聞特別講演会(1年)
	3 ガイダンス	4 ①	5 ①	6 ①	7 ①	8	9	
	10	11 ②	12 ②	13 ②	14 ②	15 土下座祭	16	
	17 ①	18 ③	19 ③	20 ③	21 ③	22	23	
	24 ②	25 ④	26 ④	27 ④	28 ④	29	30	
	31 ③							
11月		1 ⑤	2 ⑤	3	4 ⑤	5	6	11/12 助産一般入試 11/25 午前:補講 午後:全館立入禁止(～11/26) 11/26 学校推薦型選抜(地福)
	7 ④	8 ⑥	9 ⑥	10 ⑤	11 ⑥	12 入試	13	
	14 ⑤	15 ⑦	16 ⑦	17 ⑥	18 ⑦	19	20	
	21 ⑥	22 ⑧	23	24 ⑦	25 AM補講	26 入試	27	
	28 ⑦	29 ⑨	30 ⑧					
12月				1 ⑧	2 ⑧	3	4	12/3 スポーツ大会(学友会) 12/17 クリスマス会(学友会)
	5 ⑧	6 ⑩	7 ⑨	8 ⑨	9 ⑨	10	11	
	12 ⑨	13 ⑪	14 ⑩	15 ⑩	16 ⑩	17	18	
	19 ⑩	20 ⑫	21 ⑪	22 ⑪	23 ⑪	24	25	
	26	27	28	29	30	31		12/25～1/10 冬期休業日
1月							1	1/23～25 スキー実習 1/30 午前:補講 午後全館立入禁止(～1/31) 1/31 学校推薦型選抜(看・保)
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11 ⑫	12 ⑫	13 ⑫	14	15	
	16 ⑪	17 ⑬	18 ⑬	19 ⑬	20 ⑬	21	22	
	23 ⑫	24 月⑬	25	26 補講	27	28	29	
	30 AM補講	31 入試						12/25～1/10 冬期休業日
2月			1 ⑭	2 ⑭	3 ⑭	4	5	2/15～2/21 後期試験期間 2/18 大学院後期入試 2/24 午後:全館立入禁止(～2/25) 2/25 一般入試(前期)
	6 ⑭	7 ⑭	8 ⑮	9 ⑮	10 ⑮	11	12	
	13 ⑮	14 ⑮	15	16	17	18 入試	19	
	20 後期試験期間	21	22	23	24	25 入試	26	
	27	28						
3月			1	2	3	4	5	3/7 午後:全館立入禁止(～3/8) 3/8 一般入試(中期) 3/10 午後:全館立入禁止(～3/12) 3/12 一般入試(後期) 3/18 卒業式
	6	7	8 入試	9	10	11	12 入試	
	13	14	15	16	17	18 卒業式	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			3/15～3/31 春期休業日

2) 入学状況

学 科 名	入 学				在 学			
	定員 (人)	実員 (人)	超過		定員 (人)	実員 (人)	超過	
			員(人)	率(%)			員(人)	率(%)
健康科学部	180	192	+12	+6.7	720	756	+36	+5.0
健康保育学科	50	54	+4	+8.0	200	209	+9	+4.5
看護学科	80	85	+5	+6.3	320	335	+15	+4.7
地域福祉学科	50	53	+3	+6.0	200	212	+12	+6.0
助産学専攻科	5	6	+1	+20.0	5	6	+1	+20.0
大学院看護学研究科	5	3	▲2	▲40.0	10	8	▲2	▲20.0
計	190	201	+11	+5.8	735	770	+35	+4.8

令和4(2022)年5月1日現在

3) 進路状況

学 科 名	卒業 人数 (人)	就 職				その他 (人)
		人数(人)			率(%)	
		就業	進学	計		
健康科学部	175	161	10	171	97. 7	4
健康保育学科	45	43	1	44	97. 8	1
看護学科	81	72	6	78	96. 3	3
地域福祉学科	49	46	3	49	100	—
助産学専攻科	5	5	—	5	100	—
計	180	166	10	176	97. 8	4

令和5(2023)年3月31日現在

4) 内部質保証

(1) 法人評価

評価委員会は新見市の所管である。したがって、委員は市長から委嘱されている。

(委員長) 岡崎 平 (企業経営に詳しい学識経験者)

加藤 修 (教育面に詳しい学識経験者)

中西 崇陽 (財務・監査面に詳しい学識経験者)

月 日	議 題
7月6日	1. 令和3年度における業務の実績に関する評価
7月15日	〃
7月25日	〃
7月27日	1. 市長報告

(2) 認証評価

本学は令和5(2023)年度に大学教育質保証・評価センターの認証評価を受審する予定である。

認証評価に向けて、評価・将来構想委員会内に前年度に設置した内部質保証部会を中心に下記のとおり検討を行った。

月 日	議 題
5月24日	1. 令和4年度の年間スケジュール ～ 機関別認証評価の受審に向けて ～ 2. 令和3年度認証評価受審大学の評価結果(改善を要する点・進展が望まれる点) 3. 「令和3年度に実施した自己点検・評価、第三者評価及び内部質保証並びにその評価結果及び講評に基づく改善」の公表 4. 新見公立大学教育研究活動等の点検及び評価に関する実施要領の一部改正 5. 令和4年度教員活動の省察(試行)の実施 6. 令和4年度内部質保証 7. 3つのポリシーの公表 8. 教学マネジメント実施要領 ～アセスメントプランの作成とその実施～
7月5日	1. 令和4年度内部質保証 2. 大学機関別認証評価実務者説明会
7月27日	1. 令和4年度内部質保証 2. 令和4年度教員活動の省察(試行) 3. 点検評価ポートフォリオの進捗状況
10月12日	1. 内部質保証部会の構成員の見直し 2. 機関別認証評価の受審申請 3. 大学教育質保証・評価センターとの事前打合せ 4. 教育研究活動等の点検及び評価に関する実施要領の一部改正 5. 評価基準1「ハ 教育課程」の成績評価基準等 6. 評価点検ポートフォリオの試作 7. 令和5年度の年度計画の作成 8. これからの中期目標・中期計画 9. 「学士教育課程に係るシラバス作成・点検のガイドライン」の実施状況
12月15日	1. 点検評価ポートフォリオ(原案) 2. 公立大学ガバナンス・コード 3. 地方独立行政法人法の一部改正(年度計画の廃止) 4. 大学教育質保証・評価センターとの調整等 5. 卒業予定者アンケート
2月21日	1. 令和5(2023)年度の年度計画 2. 「中間評価・法人評価」及び「年度計画・年度評価の廃止」に向けた準備

(3) 自己点検・評価

本学は「新見公立大学教育研究活動等の点検及び評価に関する実施要領」第6項に基づき自己点検・評価を実施し、「新見公立大学自己点検・評価書」を作成するとともに同要領同項に基づき、「新見公立大学自己点検・評価書」についての第三者評価を昨年度に実施し、「新見公立大学第三者評価報告書」の作成を行っている。令和4年度は同要領第5項に基づき、年度計画の業務実績報告を用いて自己点検シートを作成した上で改善が継続的に行われているかを評価し、「教育研究等の進捗評価の結果（報告）」を作成した。

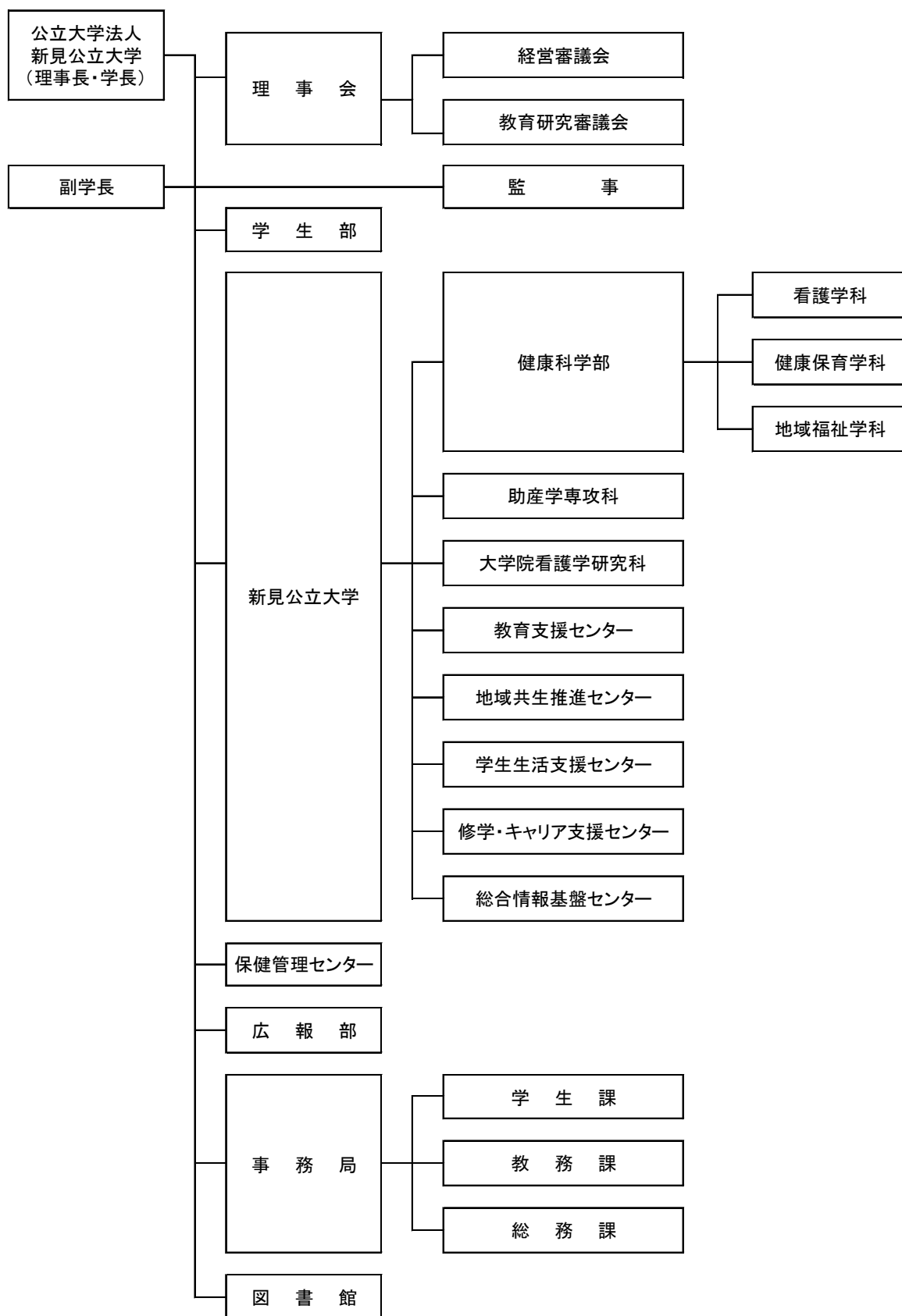
これらの評価書や報告書は、本学ホームページに掲載し社会に公表している。

また、「卒業の認定に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「入学者の受入れに関する方針」（以下「3つの方針」という。）についての自己点検・評価の結果、特に「入学者の受入れに関する方針」については、「求める人物像だけでなく入学者選抜方法の内容をも整備する。」ことをガイドライン（中教審大学分科会大学教育部会（平成28年3月））は求めているため、同方針を見直すこととの提案があった。この提案を受け、併せて他の2つの方針についても改善に向けた検討をすることになり、従来の3つの方針の考えを基本としつつ、これまでの学科等という体制から、学生本位の教育活動の展開を目指す教育の充実を図る体制、学位プログラム中心の体制になるよう見直し、改めて「新見公立大学の理念、目的及び方針」を公表した。

本学は評価結果及び講評の内容に基づき、教育研究活動等の改善を組織的・継続的に実施するため、改善事項を年度計画に取り込むことで計画的に改善に努めるとともに、その実施状況（業務実績）を翌年度に点検・評価することとしている。

5) 運営組織

(1) 法人組織図



(2) 各種委員会

委員会	構成員				
	役職員等	健康保育	看護	地域福祉	事務局
評価・将来構想委員会 (委員長：公文裕巳)	学長 副学長 学生部長 学部長 図書館長 学生部次長 センター長 ・保健管理 ・総合情報基盤 ・教育支援 ・地域共生推進 ・修学・キャリア支援 ・学生生活支援	学科長 副学科長	学科長 副学科長	学科長 副学科長	事務局長 総務課長 学生課長 教務課長
FD・SD委員会 (委員長：山田雅夫) (副委員長：矢嶋裕樹)	副学長 学部長 委員長 副委員長	立浪 朋子	中川 彩見	和田美智代	生田 淳介 古屋 勅 嶋田 秀樹
ハラスメント等防止委員会 (委員長：小田慈)	理事長 副学長 学生部長 学部長	岡本 直行 八尋 茂樹	金山 時恵 土井 英子	松本百合美 三上 ゆみ	総務課長 学生課長 教務課長
ハラスメント等防止委員会（相談員）		渡部 昌史 入江 慶太	山本智恵子 塩見 和子 四宮美佐恵 矢庭さゆり	松本百合美 三上 ゆみ	藤原 悠三 山根 智幸 古屋 祐樹
入試課題検討委員会 (委員長：斎藤健司)	学生部長 学部長 入試委員長 学生部次長 入試指名：若干名	岡本 直行	金山 時恵 四宮美佐恵 矢庭さゆり	松本百合美	事務局長
入試委員会 (委員長：木下香織)	学生部長 学生部次長 学部長 入試主任 入試委員長 広報部長	岡本 直行 竹下可奈子 福武 幸世	金山 時恵 真壁 五月 丸山 純子	松本百合美 井上 信次 鄭 丞媛	山根 智幸 嶋田 秀樹

委員会	構成員				
	役職員等	健康保育	看護	地域福祉	事務局
学生選抜等委員会 (委員長：斎藤健司)	学長 副学長 学生部長 学部長 入試委員長 学生部次長 入試主任	岡本 直行	金山 時恵 四宮美佐恵 矢庭 さゆり	松本百合美	事務局長
教務委員会 (委員長：塩見和子)	教育研究担当理事 教務委員長	芝崎 美和 久恒 拓也	山本智恵子 吉田 美穂 宮武 一江	山本 浩史 松田 実樹	教務課長 嶋田 秀樹 安原 知章 古屋 祐樹
教育推進委員会 (委員長：原田信之)	図書館長 教育推進委員長	松本 好生 竹下可奈子 松島 英恵	平田 知子 小林 匡美 西村美紗希	和田美智代 朴 蕙彬 岸本由梨枝	梶原 基典 山根 智幸 古屋 祐樹 中西 智子
広報委員会 (委員長：三上ゆみ)	副学長 広報部長	岡本 邦広 入江 慶太 高橋 彩	礪本 暁子 長崎恵美子 安藤 亮	山内 圭 高杉 公人 柳迫 三寛	山根 智幸 村上 保彦 石田 真裕子
研究倫理審査委員会 (委員長：山田雅夫)	副学長 委員長	八尋 茂樹	矢庭 さゆり	小松尾京子	学外の有識者
職員代表委員会 (委員長：互選)		松本 好生	礪本 暁子	八重樫 牧子	安原 知章

センター	構成員				
	役職員等	健康保育	看護	地域福祉	事務局
総合情報基盤センター (センター長：梶本佳照)	副学長				
	センター長				
	副センター長 (空席)	芝崎 美和 岡本 邦広	矢嶋 裕樹	長宗 武司	眞治 章 村上 保彦
保健管理センター (センター長：小田慈)	センター長	加藤 由美	山本 裕子	岡 京子	総務課長
	副センター長 (空席)	入江 慶太 高橋 彩	西川 由貴子 中川 彩見	山内 圭 朴 蕙彬	学生課長 教務課長 嶋田 秀樹
	メディアスタッフ：河田 恵子、吉尾 浩美、内田 みどり、山野井 尚美				

センター	構成員				
	役職員等	健康保育	看護	地域福祉	事務局
教育支援センター (センター長:高月教恵) (副センター長:入江慶太)	センター長 副センター長	岡本 直行 教育保育実習 担当教員: 八尋 茂樹 加藤 由美 高橋 彩 松島 英恵	金山 時恵 教育実習 担当教員: 郷木 義子 山本 裕子		教務課長 安原 知章
	特任教員:黒山 靖弘、城井田 郁恵、小藤 信子				
修学・キャリア支援センター (センター長:渡部昌史)	センター長 学生部長 学生部次長	本渡 葵 久恒 拓也	赤田いづみ 井上 竹美	高杉 公人 小松尾京子	吉川 国夫 小林 一成 佐藤 昌美
地域共生推進センター (センター長:土井英子) (副センター長:八尋茂樹)	センター長 副センター長	広瀬 綾子 加藤 由美	山野井尚美 大島 由美	泉 宗孝 柳迫 三寛	吉川 国夫 河田 恵子 清水 勝 神崎かずみ
		研究員:岡本 邦広、福武 幸世、長宗 武司			
		コーディネーター:福田 秀之、吉田 裕明、郷木 章			
学生生活支援センター (センター長:栗本一美)	センター長 学生部長 学生部次長	広瀬 綾子 立浪 朋子	安田 陽子 難波 香	泉 宗孝 岸本由梨枝	吉川 国夫 眞治 章 古屋 勅 上田 千賀子

評価・将来構想委員会内設置部会

部 会	構成員				
	役職員等	健康保育	看護	地域福祉	事務局
内部質保証部会 (部会長:斎藤健司) (副部会長:山田雅夫)	部会長 副部会長 矢嶋 裕樹	岡本 直行	金山 時恵 矢庭さゆり	松本 百合美	難波 俊介 眞治 章 能勢 修 加藤 雅彦
教学マネジメント部会 (部会長:矢嶋裕樹) (副部会長:加藤雅彦)	部会長 副部会長 斎藤 健司	芝崎 美和 梶本 佳照	山本 智恵子 山田 雅夫 塩見 和子	井上 信次	難波 俊介 吉川 国夫 吉田 征弘 能勢 修
大学院改組部会 (部会長:斎藤健司) (副部会長:矢庭さゆり) (副部会長:井上信次)	部会長 副部会長 上山 和子 矢嶋 裕樹		木下 香織 塩見 和子	三上 ゆみ 鄭 丞媛	吉田 征弘 難波 俊介 眞治 章

(3) 役職

役 職 名				氏 名	
学長（理事長）				公文 裕巳	
副学長				小田 慈	
大 学	健康科学部	学部長		上山 和子	
		健康保育学科	学科長	岡本 直行	
			副学科長	芝崎 美和	
		看護学科	学科長	金山 時恵	
			副学科長	山本 智恵子	
		地域福祉学科	学科長	松本 百合美	
			副学科長	井上 信次	
		助産学専攻科		専攻科長	四宮 美佐恵
大学院		看護学研究科長		矢庭 さゆり	
学生部		学生部長		斎藤 健司	
		学生部次長		矢嶋 裕樹	
広報部		広報部長		三上 ゆみ	
図書館		図書館長		原田 信之	
総合情報基盤センター		センター長		梶本 佳照	
教育支援センター		センター長		高月 教恵	
		副センター長		入江 慶太	
修学・キャリア支援センター		センター長		渡部 昌史	
地域共生推進センター		センター長		土井 英子	
		副センター長		八尋 茂樹	
学生生活支援センター		センター長		栗本 一美	

(4) チューター

学 科		学年	チューター長等	
健康科学部	健康保育	1	渡部 昌史	松島 英恵
		2	八尋 茂樹	立浪 朋子
		3	芝崎 美和	竹下 可奈子
		4	加藤 由美	高橋 彩
	看護	1	井上 弘子	木下 香織
		2	吉田 美穂	山野井 尚美
		3	山本 裕子	土井 英子
		4	山本 智恵子	丸山 純子
	地域福祉	1	鄭 丞媛	松田 実樹
			高杉 公人	
		2	井上 信次	松本 百合美
			泉 宗孝	
		3	和田 美智代	岸本 由梨枝
			三上 ゆみ	
		4	山内 圭	山本 浩史
			岡 京子	
助産学専攻科		四宮 美佐恵	安田 陽子	

6) 教職員組織

(1) 教員

担当科目は、「3. 教員の教育・研究・社会貢献への実績」を参照。

◎大学

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	センター等事務上職名
1	学長	公文 裕巳 くもん ひろみ 2015. 4. 1	泌尿器科学 内視鏡学 遺伝子治療学	理事長 将来構想委員長	ハラスメント等防止委員 学生選抜等委員
2	副学長	小田 慈 おだ めぐみ 2019. 4. 1	小児科学 小児保健学 母子保健学	理事(総務・経営)	保健管理センター長 ハラスメント等防止委員長 FD・SD 委員 学生選抜等委員 広報委員 研究倫理審査委員 情報基盤委員(IR・システム)
3	学生部長 (健康保育 学科教授)	斎藤 健司 さいとう けんじ 1994. 4. 1	保育内容「環境」 生化学	理事(教育・研究) 院改組部会長 質保証部会長 教学営部会員	入試課題検討委員長 学生選抜等委員長 入試委員 ハラスメント等防止委員 教務委員 修学・キャリア支援会議委員 学生生活支援会議委員
4	学生部 次長 (看護学科 准教授)	矢嶋 裕樹 やじま ゆうき 2009. 4. 1	保健統計学 疫学	教育研究審議員 教学営部会長 院改組部会員 質保証部会員	FD・SD 副委員長 入試課題検討委員 入試委員 総合情報基盤委員 (IR 部門、情報システム部門) 修学・キャリア支援委員 学生生活支援委員
5	広報部長 (地域福祉 学科教授)	三上 ゆみ みかみ ゆみ 2008. 4. 1	介護福祉 高齢者介護	教育研究審議員 院改組部会員 質保証部会員	広報委員長 ハラスメント等防止委員 ハラスメント等防止相談員 入試委員
6	図書館長 (看護学科 教授)	原田 信之 はらだ のぶゆき 1996. 4. 1	日本文学(古代 中世説話文学、 口承文学)	教育研究審議員	教育推進委員長
7	健康科学学 部 部長 (看護学科 教授)	上山 和子 うえやま かずこ 1992. 4. 1△	小児看護学 看護教育学	教育研究審議員 院改組部会員	FD・SD 委員 ハラスメント等防止委員 入試課題検討委員 入試委員 学生選抜等委員
8	看護学 研究科長 (教授)	矢庭 さゆり やにわ さゆり 2004. 4. 1	公衆衛生看護学 地域看護学	教育研究審議員 院改組副部会長 質保証部会員	ハラスメント等防止相談員 入試課題検討委員 学生選抜等委員 研究倫理審査委員
9	特任教授	加藤 雅彦 かとう まさひこ 2021. 4. 1	公衆衛生学 応用獣医学	教学営副部会長 質保証部会員	—

※理事は教育研究審議員、教育研究審議員(広報部長を除く)は、評価・将来構想委員を兼ねる。

※将来構想委員:評価・将来構想委員、院改組部会:大学院改組部会、質保証部会:内部質保証部会、
教学営部会:教学マネジメント部会

※△:年度末退職(定年、自己都合等で、特任教授等で再任された者を含む。)

◎健康保育学科

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	センター等事務上職名
10 (1)	学科長 (教授)	岡本 直行 おかもと なおゆき 2006. 4. 1	美術 造形表現 図画工作	教育研究審議員 質保証部会員	ハラスメント等防止委員 入試課題検討委員 入試委員 学生選抜等委員 教育支援委員
11 (2)	副学科長 (准教授)	芝崎 美和 しばさき みわ 2007. 4. 1	発達心理学 教育心理学 幼児心理学	将来構想委員 教学営部会員	教務委員 総合情報基盤委員 (IR 部門)
12 (3)	教授	松本 好生 まつもと よしお 2019. 4. 1△	医療福祉学 発達障害学 発達心理学等	—	教育推進委員 職員代表委員
13 (4)	教授	岡本 邦広 おかもと くにひろ 2022. 4. 1	特別支援教育	—	広報委員 総合情報基盤委員 (IR 部門) 地域共生推進研究員
14 (5)	特任教授	高月 教恵 たかつき のりえ 2017. 4. 1△	保育学 幼児教育学	将来構想委員	教育支援センター長
15 (6)	特任教授	梶本 佳照 かじもと よしてる 2017. 4. 1	教育工学 生活科 教育学	将来構想委員 教学営部会員	総合情報基盤センター長 (IR 部門、情報システム部門)
16 (7)	准教授	八尋 茂樹 やひろ しげき 2010. 4. 1	社会福祉学 児童家庭福祉 教育福祉	—	地域共生推進副センター長 ハラスメント等防止委員 研究倫理審査委員 教育支援委員 (教育保育実習担当)
17 (8)	准教授	渡部 昌史 わたなべ まさし 2006. 4. 1	身体教育学 発育発達学 体育学	将来構想委員	修学・キャリア支援センター長 ハラスメント等防止相談員
18 (9)	准教授	広瀬 綾子 ひろせ あやこ 2019. 4. 1	教育学 演劇教育 身体表現	—	地域共生推進委員 学生生活支援委員
19 (10)	准教授	加藤 由美 かとう ゆみ 2016. 4. 1	幼児教育学 保育学 臨床心理学	—	保健管理委員 教育支援委員 (教育実習担当) 地域共生推進委員
20 (11)	准教授	本渡 葵 ほんど あおい 2019. 4. 1	国語教育 国語科教育	—	修学・キャリア支援委員
21 (12)	講師	立浪 朋子 たちなみ ともこ 2019. 4. 1	特別支援教育 障害児教育史	—	FD・SD 委員 地域共生推進委員
22 (13)	講師	竹下 可奈子 たけした かなこ 2019. 4. 1	音楽学 幼児音楽教育学	—	入試委員 教育推進委員
23 (14)	講師	久恒 拓也 ひさつね たくや 2019. 4. 1	教育学 教育史 教師教育	—	教務委員 修学・キャリア支援委員

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	センター等事務上職名
24 (15)	講師	入江 慶太 いりえ けいた 2021. 4. 1	保育学 心理学	—	教育支援副センター長 ハラスメント等防止相談員 広報委員 保健管理委員
25 (16)	講師	高橋 彩 たかはし あやか 2019. 4. 1	特別支援教育 応用行動分析学	—	広報委員 保健管理委員 教育支援委員 (教育実習担当)
26 (17)	助教	松島 英恵 まつしま はなえ 2021. 4. 1	保育学 幼児教育学	—	教育推進委員 教育支援委員 (教育実習担当)
27 (18)	助教	福武 幸世 ふくたけ さちよ 2021. 4. 1	身体教育学 舞踊学 身体表現	—	入試委員 地域共生推進研究員

◎看護学科（助産学専攻科を含む。）

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	センター等事務上職名
28 (1)	学科長 (教授)	金山 時恵 かなやま ときえ 1990. 6. 1	公衆衛生看護学	教育研究審議員 質保証部会員	ハラスメント等防止委員 入試課題検討委員 入試委員 学生選抜等委員 教育支援委員
29 (2)	助産学 専攻科長 (教授)	四宮 美佐恵 しのみや みさえ 2015. 4. 1	助産学 母性看護学	—	ハラスメント等防止相談員 入試課題検討委員 学生選抜等委員
30 (3)	副学科長 (准教授)	山本 智恵子 やまもと ちえこ 2010. 4. 1	基礎看護学	将来構想委員 教学営部会員	ハラスメント等防止相談員 教務委員
31 (4)	教授	土井 英子 どい ひでこ 1996. 4. 1	基礎看護学 生命倫理学	将来構想委員	地域共生推進センター長 ハラスメント等防止委員
32 (5)	教授	木下 香織 きのした かおり 1994. 4. 1	老年看護学	—	入試課題検討委員 入試委員長 学生選抜等委員
33 (6)	教授	栗本 一美 くりもと かずみ 1996. 4. 1	在宅看護学	将来構想委員	学生生活支援センター長
34 (7)	教授	礪本 暁子 いそもと あきこ 2011. 4. 1	成人看護学	—	入試委員(入試主任) 学生選抜等委員 広報委員 職員代表委員
35 (8)	教授	塩見 和子 しおみ かずこ 2011. 4. 1	成人看護学	院改組部会員 教学営部会員	教務委員長 ハラスメント等防止相談員
36 (9)	特任教授	郷木 義子 ごうぎ よしこ 2019. 4. 1	学校保健	—	教育支援センター委員 (教育実習担当教員)

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	センター等事務上職名
37 (10)	特任教授	山田 雅夫 やまだ まさお 2020. 4. 1	ウイルス学 感染症学 解剖生理学 病態生理学	質保証副部長 教学営部会員	FD・SD 委員長 研究倫理審査委員長
38 (11)	准教授	山野井 尚美 やまのい ひさみ 2020. 10. 1	精神看護学 地域精神保健 メンタルヘルス対策	—	保健管理(アドバイザー) 地域共生推進委員
39 (12)	講師	真壁 五月 まかべ さつき 2017. 4. 1	成人看護学 看護管理学	—	入試委員
40 (13)	講師	安田 陽子 やすだ ようこ 2017. 4. 1	助産学	—	地域共生推進委員
41 (14)	講師	赤田いづみ あかだ いづみ 2020. 4. 1△	基礎看護学	—	修学・キャリア支援委員
42 (15)	講師	丸山 純子 まるやま じゅんこ 2013. 4. 1	在宅看護学	—	入試委員
43 (16)	講師	吉田 美穂 よしだ みほ 2013. 4. 1	基礎看護学	—	教務委員
44 (17)	講師	長崎 恵美子 ながさき えみこ 2021. 4. 1△	精神看護学	—	広報委員
45 (18)	助教	西川 由貴子 にしがわ ゆきこ 2019. 4. 1	母性看護学	—	保健管理委員
46 (19)	助教	平田 知子 ひらた ともこ 2019. 9. 1△	母性看護学	—	教育推進委員
47 (20)	助教	山本 裕子 やまもと ゆうこ 2015. 4. 1	小児看護学	—	保健管理委員 教育支援委員 (教育実習担当)
48 (21)	助教	宮武 一江 みやたけ かずえ 2017. 4. 1	成人看護学	—	教務委員
49 (22)	助教	中川 彩見 なかがわ あやみ 2014. 4. 1	公衆衛生看護学	—	FD・SD 委員 保健管理委員
50 (23)	助教	井上 弘子 いのうえ ひろこ 2016. 4. 1	成人看護学	—	—
51 (24)	助教	小林 匡美 こばやし まさみ 2020. 4. 1	成人看護学	—	教育推進委員
52 (25)	助教	安藤 亮 あんどう りょう 2020. 4. 1	老年看護学	—	広報委員
53 (26)	助教	高尾 緑 たかお みどり 2021. 4. 1	助産学	—	—
54 (27)	助教	大島 由美 おおしま ゆみ 2020. 9. 1	在宅看護学	—	地域共生推進委員

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	センター等事務上職名
55 (28)	助教	難波 香 なんば かおり 2019. 4. 1	老年看護学	—	学生生活支援委員
56 (29)	助教	西村 美紗希 にしむら みさき 2019. 4. 1	小児看護学	—	教育推進委員
57 (30)	助教	井上 竹美 いのうえ たけみ 2022. 4. 1	基礎看護学	—	修学・キャリア支援委員
58 (31)	助教	西森 千恵 にしもり ちえ 2022. 4. 1	基礎看護学	—	—

◎地域福祉学科

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	センター等事務上職名
59 (1)	学科長 (教授)	松本 百合美 まつもと ゆりみ 2003. 10. 1	介護福祉 高齢者介護	教育研究審議員 質保証部会員	ハラスメント等防止委員 ハラスメント等防止相談員 入試課題検討委員 入試委員 学生選抜等委員
60 (2)	副学科長 (教授)	井上 信次 いのうえ しんじ 2019. 4. 1	社会学 社会調査法	将来構想委員 院改組副部会長 教学営部会員	入試委員
61 (3)	教授	岡 京子 おか きょうこ 2013. 4. 1△	介護福祉 高齢者介護	教学営部会員	保健管理委員
62 (4)	教授	山内 圭 やまうち きよし 1995. 4. 1	英語 アメリカ文学	—	広報委員 保健管理委員
63 (5)	教授	山本 浩史 やまもと ひろふみ 2017. 4. 1	社会福祉学 文化科学 教育学	—	教務委員
64 (6)	教授	和田 美智代 わだ みちよ 2019. 4. 1△	民法 社会保障法 家族政策	—	FD・SD 委員 教育推進委員
65 (7)	教授	高杉 公人 たかすぎ きみひと 2021. 4. 1	社会福祉学(地 域福祉、国際福 祉、実習教育)	—	広報委員 修学・キャリア支援委員
66 (8)	教授	鄭 丞媛 じょん すんうおん 2019. 4. 1	医療福祉マネジ メント、社会疫学、 地域福祉	院改組部会員	入試委員
67 (9)	特任教授	八重樫 牧子 やえがし まきこ 2019. 4. 1△	子ども家庭福祉 ソーシャルワーク演習 子育て支援	—	職員代表委員
68 (10)	特任教授	小山 正善 こやま まさよし 2019. 4. 1△	公法学(憲法学、 行政法学)	—	—
69 (11)	准教授	小松尾 京子 こまつお きょうこ 2021. 4. 1	社会福祉学、ス ーパービジョン、事例 検討、地域福祉	—	研究倫理審査委員 修学・キャリア支援委員
70 (12)	講師	松田 実樹 まつだ みき 2020. 4. 1	介護福祉 障がい者福祉	—	教務委員

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	センター等事務上職名
71 (13)	講師	合田 衣里 ごうだ えり 2015. 4. 1	介護福祉 高齢者介護	—	—
72 (14)	講師	朴 蕙彬 ぱく へびん 2021. 4. 1	社会福祉学 高齢者福祉 エイジズム	—	教育推進委員 保健管理委員
73 (15)	助教	泉 宗孝 いずみ むねたか 2019. 4. 1	社会福祉学 障がい者福祉	—	地域共生推進委員 学生生活支援委員
74 (16)	助教	柳迫 三寛 やなぎさこ みつひろ 2020. 4. 1	保健医療福祉 医療ソーシャルワーク	—	広報委員 地域共生推進委員
75 (17)	助教	岸本 由梨枝 きしもと ゆりえ 2019. 4. 1	公共政策学 評価学 地域福祉学	—	教育推進委員 学生生活支援委員
76 (18)	助教	長宗 武司 ながむね たけし 2021. 4. 1	都市地域経済学 応用計量経済学 (統計解析) 地域公共政策	—	総合情報基盤委員 (IR 部門、情報システム部門) 地域共生推進研究員

◎客員教授等

番号	区 分	氏 名	現職（主なもの）	就任年度
1	客員教授	中村満紀男	筑波大学名誉教授、福山市立大学名誉教授	H30(2018)
2	〃	藻谷 浩介	(株)日本総合研究所 主席研究員	〃
3	〃	西村かおる	(特非)日本コンチネンス協会 理事長	R5(2023)
4	客員准教授	吉田 俊明	(株)山陽レイスポーツ 顧問	H30(2018)
5	〃	熊原 保	(福)優輝福祉会 理事長	〃
6	〃	高原 伸幸	(福)広島県社会福祉協議会地域共生社会 推進担当	R5(2023)
7	臨床特命教授	小山 珠美	J A神奈川県厚生連伊勢原共同病院摂食機能療法室	〃

◎名誉教授

番号	氏 名	年度	番号	氏 名	年度	番号	氏 名	年度
1	岡本 正	H14(2002)	2	新居 志郎	H14(2002)	3	桑原 一良	H18(2006)
4	逸見 英枝	H24(2012)	5	那須 毅	H25(2013)	6	小田 琢三	H25(2013)
7	井関 智美	H25(2013)	8	宇野 文夫	H27(2015)	9	難波 正義	H28(2016)
10	古城 幸子	H28(2016)	11	伊藤 博康	H28(2016)	12	安達 雅彦	H31(2019)
13	杉本 幸枝	R2(2020)	14	上山 和子	R5(2023)	15	岡 京子	R2(2023)
16	高月 教恵	R5(2023)						

◎非常勤講師（主共通科目）

番号	氏名	担当科目
1	国崎 信江	地域防災論
2	石井 将幸	〃
3	齋藤 美絵子	〃
4	松井 一洋	〃
5	近森 秀高	〃
6	山下 弘彦	地域防災演習、ボランティア論(看)
7	吉田 俊明	健康科学Ⅰ
8	後藤 眞己	〃、健康科学Ⅱ、健康科学Ⅲ
9	土井 浩二	〃、認知症の理解Ⅰ(地)
10	浜田 淳	健康科学Ⅰ
11	津崎 龍一郎	健康科学Ⅱ
12	宇野 文夫	健康科学Ⅱ、自然科学Ⅰ、自然科学Ⅱ、微生物学(看)、薬と健康(看)、 薬と疾病(看)、統合ヘルスケア(助)
13	古田 知久	健康科学Ⅱ
14	太田 隆正	健康科学Ⅲ、 病態治療学C(単元1:呼吸器疾患、単元2:血液・造血器疾患)(看)、 療養支援看護学特論(院)
15	太田 徹	健康科学Ⅲ
16	渡邊 誠	健康科学Ⅳ
17	遠藤 彰	健康科学Ⅳ
18	黒田 昌宏	〃
19	斎藤 信也	〃
20	山口 信夫	哲学
21	北川 歳昭	心理学
22	大柳 博	ICTリテラシーⅠ
23	辻極 秀次	自然科学Ⅱ
24	ジョアン・エレン・ラングレイ	英会話Ⅰ、英会話Ⅱ
25	井上 宏美	手話

◎非常勤講師（主健康保育科目）

番号	氏名	担当科目
26	住本 克彦	教育学総論、保育者論、教育相談(幼)、生徒指導論(看)、 教育相談(養)(看)
27	荻田 志津子	子どもの食と栄養
28	伊澤 和子	社会的養護Ⅱ
29	栗木 深香	音楽Ⅰ（幼児音楽Ⅰ）、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅱ）、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅲ）、 音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅳ）
30	藤原 香織	〃
31	池本 恭子	音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅱ）、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅳ）
32	長谷川 諒	音楽Ⅰ（幼児音楽Ⅰ）、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅲ）
33	山下 愛由子	〃
34	山田 愛	〃
35	平松 英子	音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅱ）、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅳ）
36	清水 敬子	〃
37	三宅 祐子	音楽Ⅱ(声楽)
38	藤原 あや	特別支援教育Ⅰ、特別支援教育Ⅱ、 特別な教育的ニーズの理解とその支援
39	中村 満紀男	特別支援教育総論、障害児教育の教育課程および指導法とその歴史
40	岡田 あゆみ	知的障害者の心理・生理・病理
41	赤澤 啓史	肢体不自由者の心理・生理・病理
42	佐藤 暁	肢体不自由者教育方法論、肢体不自由者教育課程論
43	深澤 美華恵	病弱者指導論
44	岸 哲志	視覚障害者教育総論
45	國末 和也	聴覚 〃

◎非常勤講師（主看護科目）

番号	氏名	担当科目
46	加藤 貴之	社会福祉、社会福祉開業論(地)
47	三好 弘人	人間関係論、発達と老化の理解Ⅰ(地)、心理的支援の知識・技術(地)
48	岡 剛史	基礎病理学Ⅰ(総論)、基礎病理学Ⅱ(各論)
49	田邊 克幸	病態治療学A(単元1:腎疾患)
50	辻 憲二	〃
51	竹内 英実	〃
52	稲垣 兼一	病態治療学A(単元2:内分泌・代謝疾患)
53	三好 智子	〃
54	寺坂 友博	〃
55	江口 潤	〃
56	松本 佳則	病態治療学A(単元3:膠原病・アレルギー)
57	宮脇 義重	〃
58	勝山 隆行	〃
59	片山 祐	〃
60	渡部 智文	病態治療学A(単元4:泌尿器疾患)
61	真邊 泰宏	病態治療学B(単元1:脳・神経疾患)
62	溝渕 雅之	〃 (単元2:脳神経外科)
63	那須 義久	〃 (単元3:運動器疾患)
64	児島 克英	〃 (単元4:放射線医学)
65	上岡 亮	病態治療学C(単元3:循環器疾患)
66	高谷 陽一	〃
67	三木 崇史	〃
68	三好 健太郎	病態治療学D(単元1:外科各論A)
69	溝尾 妙子	〃 (単元1:外科各論A)、療養支援看護学特論(院)
70	寺石 文則	〃 (単元2:外科各論B)
71	榎田 祐三	病態治療学D(単元2:外科各論B)
72	堀口 繁	〃 (単元3:消化器疾患)
73	白羽 英則	〃
74	川野 誠司	〃
75	諏澤 憲	〃 (単元4:手術療法)

番号	氏名	担当科目
76	越智 良文	女性の健康と疾患
77	仙波 恵樹	〃
78	戸枝 満	〃
79	梶田 沙也加	〃
80	藤本 喜史	小児の健康と疾患
81	岡本 基	心の健康と疾患
82	武田 陽子	臨床栄養学、食生活支援技術(地)
83	松田 佳子	成人看護学援助論 A(慢性期)
84	源内 しの	〃
85	岸本 長代	母性看護学概論、母性看護学援助論、助産管理(助)
86	大西 由美	カウンセリング
87	樋口 まち子	国際保健論
88	日高 正巳	地域リハビリテーション論
89	山口 立雄	運動指導論
90	渡邊 都貴子	看護管理
91	丸山 雅道	〃
92	土居 正明	救命救急医療論
93	江田 純子	訪問看護展開論Ⅰ、訪問看護展開論Ⅱ
94	秋川 陽一	教育制度論(養)、教育制度論(幼)
95	加藤 明	教育課程論
96	森 宏樹	免疫学
97	佐藤 勝	地域医療論、地域医療支援特論(院)
98	金田 道弘	地域医療論
99	本干尾 八州子	公衆衛生看護管理論
100	黒瀬 真由美	地域保健指導論Ⅱ(応用)
101	福岡 悦子	産業保健

◎非常勤講師（主地域福祉科目）

番号	氏名	担当科目
102	吉村 淳子	地域文化実習、アクティビティ活動援助法Ⅰ
103	池田 利文	地域文化実習
104	朱鷺 たたら	〃
105	黒河 葵	入門ゼミナール
106	和田 隆夫	更生保護制度
107	中田 雅章	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ， 低所得者に対する支援と生活保護制度
108	京 俊輔	障害者に対する支援と障害者自立支援制度
109	押野 りか	社会保険労務概論Ⅰ、社会保険労務概論Ⅱ
110	西村 こころ	地方行政インターンシップ、NPO事業論
111	石原 達也	NPO事業論
112	柴田 健志	〃
113	利根 弥生	〃
114	大塚 さやか	〃
115	岩淵 泰	公共政策論
116	増井 香名子	家族福祉論
117	小川 大輔	発達と老化の理解Ⅱ
118	飯田 征二	〃
119	小田 孔明	〃
120	塚本 幸恵	こころとからだのしくみⅠ、こころとからだのしくみⅡ
121	道繁 由香理	生活支援技術Ⅱ
122	杉原 悦子	生活支援技術Ⅴ
123	正保 正恵	生活と家事の支援学
124	岩満 賢次	就労支援サービス
125	住居 広士	介護の基本Ⅳ、生活支援のための運動学・生活支援のためのリハビリテーションの知識
126	亀山 徹	介護の基本Ⅳ、生活支援のための運動学・生活支援のためのリハビリテーションの知識、福祉用具と住環境
127	小山 京子	生活環境支援技術
128	石田 辰彦	生活環境支援技術、福祉用具と住環境
129	藤本 広平	介護予防運動指導Ⅰ、介護予防運動指導Ⅱ

◎非常勤講師（主助産科目）

番号	氏名	担当科目
130	村上 博美	ウィメンズヘルス
131	真嶋 允人	周産期ハイリスクケア論
132	堀 晋一郎	周産期医学
133	鷺尾 洋介	新生児・乳幼児学
134	金只 好永	助産診断・技術学Ⅱ(分娩期)
135	宇野 真由美	〃
136	遠藤 千穂	〃
137	美馬 千紘	〃
138	虫明 さとみ	助産管理
139	妹尾 展子	〃
140	小椋 宏美	〃

◎非常勤講師（主看護学研究科目）

番号	氏名	担当科目
141	芳賀 佳子	看護管理特論
142	小林 まり子	療養支援看護学特論
143	山下 亜矢子	精神看護ケア特論
144	水野 正憲	人間関係特論
145	井上 真一郎	療養支援看護学課題演習

(2) 事務局

令和 3(2021)年度に組織を改編し、総務課、学生課、教務課の3課体制とし、事務職員について財務員を担う一般事務職員と専門事務職員に明確な事務区分を設け、事務内容ごとに主担当、副担当、助担当を定めた(担当者制度)ほか、専門事務職員の基本的な業務内容も明らかにした。令和 4(2022)年度においてもこの体制を維持し、NiU 新見駅西サテライト対応で3名の増員を図っている。

なお、臨時職員制度は期間任用職員制度に変更しているほか、新見市からの派遣職員数は変わらなかったものの、プロパー2名を採用するとともに民間派遣職員1名を増員して完全4年制体制の完成年度事務に対応した。

◎令和 4(2022)年度事務局任用別職員数

単位:人

種	任用	総務課等	学生課	教務課	計
A	一般事務	1	1		2
B	一般事務(市派遣)	4	2	5	11
C	専門事務(期間任用)	5	8	9	22
D	専門事務(民間派遣)	1	5	1	7
E	専門事務(委託)	1			1
F	理事・審議会委員	1	1		2
計		13	17	15	45

◎令和 4(2022)年度管轄別事務局担当者及び担当事務【総務課】

事務内容				総務							広報	後援会	地域共生	研究
管轄	職名等	氏名	任用	組織	点検・評価	総務	人事	経理	施設	図書館				
事務局長		田枝 修己	F	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
総務課	課長	難波 俊介	B	★	★	★	★	★	★	★		△		
	主査	梶原 基典	〃	□	□			□	●	●				
	〃	眞治 章	A	●	●	□	□		□	□	△	△	△	
	〃	生田 淳介	B			●	●							
	主事	藤原 悠三	〃					●						●
	事務	南 智子	C					○						
	〃	忠田 淳子	〃			○								
	〃	福本 さやか	D			○								
	司書	中西 智子	C							○				
	〃	横内 恵子	〃							○				
	〃	木山 知香	〃							○				
	事務	能勢 修	E		○									

★: 課長事務、●: 主担当、□: 副担当、△: 助担当、○: 業務、・: 掌理、CD: コーディネーター

◎令和 4(2022)年度管轄別事務局担当者及び担当事務【学生課】

事務内容				入試広報		学生支援				
管轄	職名等	氏 名	任用	入試	広報	保健衛生	修学・キャリア	学生活動	後援会	地域共生
学生課	課長	吉川 国夫	B	★	★	★	★	★	★	★
	主幹	河田 恵子	A			●		□		
	主査	山根 智幸	B	●	●		●			□
	主事	安原 知章 ～5/15	〃	□	□	□	□	●	●	●
	事務	古屋 勅 5/16～	C	□	□	□	□	●	●	●
	〃	佐藤 昌美	〃				○			
	養護	吉尾 浩美	〃			○				
	〃	内田 みどり	〃			○				
	CD	福田 秀之	〃							○
	〃	吉田 裕明	〃							○
	〃	郷木 章 ～9/30	F							○
	事務	清水 勝	C							○
	〃	神崎 かずみ	〃							○
	〃	小林 一成	D				○			
	〃	古谷 明子	〃	○						
	〃	上田 千賀子	〃					○		
	〃	石田 真裕子	〃					○		
	〃	村上 保彦	〃		○					

◎令和 4(2022)年度スチューデント・アシスタント業務（事務職員数には加えない。）

番号	業務名	人数 (人)	総時間 (h)	平均時間 (h/人月)	単価 (円/h)	総額 (円)
1	地域共生推進センター業務	48	31,104	16.0	～9月 870 10月～900	6,413,370
2	学生生活支援センター業務(2/1～)	10	22	3.0	900	19,800

◎令和 4(2022)年度管轄別事務局担当者及び担当事務【教務課】

事務内容				教務						高等教育継続	研究	子育てカレッジ
管轄	職名等	氏 名	任用	学部共通	健康保育学科	看護学科	地域福祉学科	助産学専攻科	看護学研究科			
教務課	課長	吉田 征弘	B	★	★	★	★	★	★	★	★	★
	主査	嶋田 秀樹	〃	●		●		●	●	●		
	主事	近藤 七海 ～5/15	〃	□	●	□	□	□	□		△	●
	〃	安原 知章 5/16～	〃	□	●	□	□	□	□		△	●
	〃	古屋 祐樹	〃		□		●			□	□	□
	事務	竹崎 めぐみ	D	○								
	保育	黒川 直子	C									○
	〃	榎原 昌枝	〃									○
	〃	渡邊 恵美	〃									○
	〃	湯田 祥子	〃									○
	〃	田邊 喜子	〃									○
	事務	高見 亜希子	〃									○
	〃	小松 由枝	〃									○
	〃	稲岡 淑子	〃									○
	〃	名越 杏子	〃		○							

◎令和 4(2022)年度その他の職員（事務職員数には加えない。）

番号	職名等	氏 名	所属	任用
1	特任教授	黒山 靖弘	教育支援センター	特任教員
2	特任講師	城井田 郁江	〃	〃
3	〃	小藤 信子	〃	〃
4	医師	三宅 進	NiU 新見駅西サテライト(発達援センター)	業務委託
5	〃	樋口 祐二	保健管理センター(カウンセリングルーム)	〃
6	看護師	宮本 陽子	〃	〃
7	公認心理士	黒河 葵	〃	〃

7) 収入・支出予算

収入

(単位：千円)

区分	予算項目	科目別	節名	令和4(2022)年度予算額	
				内訳	計
一般経費	交付金	運営費交付金	一般運営費交付金	835,048	953,210
			授業料減免費交付金	29,932	
			臨時運営費交付金(経常的)	3,494	
			臨時運営費交付金(臨時的)	84,736	
	学生等納付金	授業料		328,589	387,078
		入学金		48,899	
		検定料		9,590	
	財産貸付等	土地使用料	PH 中継基地局使用料	1	2,101
		建物等使用料	体育施設使用料	300	
		職員宿舍使用料		1,800	
	手数料	手数料	各種証明手数料	40	40
	雑収入	財務収入	預金利子	10	160
		公開講座収入		30	
		文献複写料		20	
		その他雑入		100	
	借入金			250,000	250,000
	補助金	特定協働事業団体運営費補助金		130,807	130,807
	小計			1,723,396	1,723,396
積立金	積立金取崩	積立金		68,000	68,000
合計				1,791,396	1,791,396

支出

(単位：千円)

予算項目	科目別	令和4(2022)年度予算額		
		一般分	特殊要因	合計
教育研究支援経費 (附属図書館)	附属図書館運営費	19,443	—	19,443
一般管理費	審議会等経費	565	—	565
	広報経費	15,445	—	15,445
	施設等維持管理経費	35,523	76,047	111,570
	職員宿舍管理運営費	2,658	—	2,658
	地域共生推進センター建設経費	130,811	—	130,811
	一般管理費	99,870	326,689	426,559
教育経費	学生経費	51,897	—	51,897
	入学試験実施経費	5,284	—	5,284
	大学入学共通テスト実施経費	1,658	—	1,658
	保健管理費	20,215	—	20,215
	就職活動経費	2,690	—	2,690
	教育管理費	64,394	—	64,394
	式典費	714	—	714
	非常勤講師旅費	832	—	832
	地域共生推進センター経費	6,401	—	6,401
研究経費	教員研究費	27,960	—	27,960
人件費	役員人件費	34,343	—	34,343
	教員人件費	724,378	3,494	727,872
	職員人件費	140,085	—	140,085
小計	—	1,385,166	406,230	1,791,396
合計	—	1,385,166	406,230	1,791,396

8) 教授会

新見公立大学・新見公立大学大学院

月 日	分 類	項 目
4 月 1 日 (合同)	1. 議題	1) 2022 年度入学許可者 2) ライオンズクラブ賞及び学年成績最優秀者賞受賞者選考
	2. 連絡・報告	1) 令和 4 年度新見公立大学入学式
4 月 27 日 (合同)	1. 議題	1) 2022 年度新見公立大学院長期履修者選考
	2. 連絡・報告	1) 令和 4 年度公立大学法人新見公立大学年度計画 2) 令和 4 年度公立大学法人新見公立大学当初予算 3) 2023 年度助産学専攻科学生募集要項 4) 公立大学法人新見公立大学利益相反マネジメント規程 5) 各委員会報告 (F D ・ S D 委員会、教育推進委員会)
5 月 25 日 (合同)	1. 議題	1) 2023 年度健康科学部地域福祉学科教員選考委員選考 2) 2022 年度学外実習指導講師選考
	2. 連絡・報告	1) 2023 年度健康科学部入学者選抜要項 2) 2023 年度大学院学生募集要項 3) 学部、学科及び専攻科に係る 3 つのポリシー 4) 各委員会報告 (教育推進委員会、広報委員会、地域共生推進センター) 5) 公立大学法人新見公立大学職員給与規程等の一部改正 6) N i U 新見駅西サテライト管理規則の制定 7) 公立大学法人新見公立大学職員採用試験の実施
6 月 22 日 (合同)	1. 議題	1) 2022 年度非常勤講師選考 2) 2022 年度非常勤助手選考
	2. 連絡・報告	1) 学生会館多目的ホールの提供 2) 学術交流センターエレベーター改修工事
7 月 27 日 (合同)	1. 議題	1) 2022 年度学外実習指導講師選考
	2. 連絡・報告	1) コロナウイルス感染症対策 2) 2023 年度入学者選抜の日程変更 3) 2023 年度助産学専攻科特別選抜入試試験日程等 4) シラバス作成・点検のガイドライン 5) 各委員会報告 (教育推進委員会、総合情報基盤センター情報システム部門、地域共生推進センター) 6) 科学研究費助成事業
8 月 24 日 (合同)	1. 議題	1) 2023 年度健康科学部看護学科教員選考委員選考 2) 2023 年度非常勤講師選考
	2. 連絡・報告	1) 2023 年度健康科学部地域福祉学科教員 2) 2023 年度新見公立大学学生募集要項 3) 2023 年度大学院地域福祉学専攻修士課程学生募集要項 4) 2023 年度大学院一般・社会人特別入試 (I 期) 試験日程等 5) 令和 4 年度教員活動の省察 (試行) の実施結果 6) 令和 3 年度における業務の実績に関する評価結果

8月30日 (大学)	1. 議題	1) 2023 年度 助産学専攻科特別選抜入試合格者選考
9月28日 (合同)	1. 連絡・報告	1) 2023 年度大学院健康科学研究科教員採用 2) 2023 年度大学院看護学専攻博士後期課程学生募集要項 3) 2023 年度大学院地域福祉学専攻（修士課程）試験日程等 4) 各委員会報告(教育推進委員会、総合情報基盤センター情報システム部門、地域共生推進センター) 5) 研究活動に係る不正行為対応に関する規程の一部改正 6) 育児休業に係る法の改正に伴う関連規程等の一部改正
9月28日 (大学院)	1. 議題	1) 2023 年度大学院健康科学研究科一般・社会人特別入試(Ⅰ期)合格者選考
10月26日 (合同)	1. 議題	1) 2022 年度非常勤助手選考
	2. 連絡・報告	1) 2023 年度健康科学部看護学科教員採用 2) 2023 年度助産学専攻科一般入試試験日程等 3) 2023 年度学校推薦型選抜（地域福祉学科）試験日程等 4) 2023 年度大学院看護学専攻（博士後期課程）試験日程等 5) 第3回教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会 6) 韓国・延世(ヨンセ)大学との学部間学術交流協定
11月2日 (大学院)	1. 議題	1) 2023 年度大学院健康科学研究科地域福祉学専攻合格者選考
11月16日 (大学)	1. 議題	1) 2023 年度 助産学専攻科一般入試合格者選考
11月22日 (合同)	1. 議題	1) 2023 年度健康科学部看護学科教員選考委員選考
	2. 連絡・報告	1) 新型コロナウイルス感染症対策 2) 各委員会報告(教育推進委員会) 3) 職員の自家用車の業務使用に関する規程の一部改正 4) 公用車への学生の搭乗
11月30日 (大学)	1. 議題	1) 2023 年度地域福祉学科学学校推薦型選抜合格者選考
12月7日 (大学院)	1. 議題	1) 2023 年度大学院健康科学研究科看護学専攻（博士後期課程）合格者選考
12月28日 (合同)	1. 連絡・報告	1) 2023 年度学校推薦型選抜（健康保育・看護）試験日程等 2) 2023 年度看護学科選択制選考試験実施要項 3) 各委員会報告(地域共生推進センター)
12月28日 (大学院)	1. 議題	1) 大学院修士論文審査委員選考
1月25日 (合同)	1. 議題	1) 2023 年度健康科学部看護学科教員選考委員選考
	2. 連絡・報告	1) 2023 年度大学院Ⅱ期試験日程等 2) 2023 年度一般入試（前期・中期・後期日程）試験日程等 3) 健康科学部教員昇任 4) 各委員会報告(教育推進委員会)
2月8日 (大学)	1. 議題	1) 2023 年度健康保育学科・看護学科学学校推薦型選抜合格者選考

2月22日 (合同)	1. 議題	1) 卒業判定合格者及び赤木孜一賞受賞者選考 2) 2023 年度非常勤講師選考
	2. 連絡・報告	1) 2023 年度健康科学部看護学科教員採用 2) 各委員会報告(教育推進委員会)
	3. その他	1) 大学 IR コンソーシアム学生調査結果(1 年生及び3 年生調査)
2月22日 (大学院)	1. 議題	1) 2022 年度 大学院看護学研究科学位授与者選考
3月1日 (大学)	1. 議題	1) 2023 年度 学部一般入試合格者選考 2) 卒業判定合格者、称号認定者及び赤木孜一賞受賞者選考
3月1日 (大学院)	1. 議題	1) 2023 年度 大学院Ⅱ期入試合格者選考
3月20日 (大学)	1. 議題	1) 2023 年度 学部一般入試合格者選考
3月22日 (合同)	1. 議題	1) 2023 年度健康科学部地域福祉学科教員選考委員選考 2) 2023 年度非常勤助手選考
	2. 連絡・報告	1) 2025 年度入学者選抜の予告 2) 2023 年度健康科学部看護学科及び地域福祉学科教員採用 3) 各委員会報告(教育推進委員会) 4) 新見公立大学学則及び大学院学則の一部改正

9) 各種委員会・センター活動実績

(1) 評価・将来構想委員会

月 日	分 類	項 目
4 月 6 日	1. 議題	1) 新 3 ポリシーの改訂 2) 健康科学部実習費の取り扱い
	2. その他	1) NiU 駅西サテライト
5 月 2 日	1. 議題	1) 高校教員入試説明会 2) 学生の休日の施設利用 3) 3 ポリシーの改訂 4) 院生への修学支援
	2. その他	1) 新型コロナウイルス感染症対策
6 月 1 日	1. 議題	1) 2021 年度実績報告 2) 学生の休日の施設利用 3 教学マネジメント基本方針の一部改正 4) 教学マネジメント実施要領の作成 5) 地域包括ケア研究補助員制度
	2. その他	1) 新型コロナウイルス感染症対策 2) サンプル調査高校への聞き取り結果等
7 月 6 日	1. 議題	1) 内部質保証報告書 2) 公立大学協会中国・四国地区協議会への提案議題 3) 大学院の改組・拡充に向けての準備 4) 学士課程教育に係るシラバス作成・点検のガイドライン 5) 教育研究活動等点検及び評価実施要領等の一部改正 6) 教員活動の査察に関する実施要領の一部改正
8 月 3 日	1. 議題	1) 令和 4 年度の教員活動の査察（試行） 2) 2023 年度看護学科の教員採用 3) くらしきサテライトの増室 4) オープンキャンパス
9 月 7 日	1. 議題	1) 大学院改組の認可に係る記者発表の実施 2) 韓国・延世（ヨンセ）大学との交流 3) その他 新型コロナウイルス感染対策
	2. 連絡・報告	1) 後期に向けて 2) 就職活動状況 3) 大学職員採用試験結果
10 月 4 日	1. 議題	1) 韓国・延世（ヨンセ）大学との学部間協定式 2) 第 3 回教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会 3) 学力の 3 要素対比表の追加事項 4) 卒業式
	2. 連絡・報告	1) 全世代型地域包括ケア研究センター規定及びサーチ・アシスタント規定 2) 2023 年度認証評価受審に係る評価機関との事前相談の報告

11 月 2 日	1. 議題	1) 内部保証 2) 教員の担当授業科目に関する申し合わせ
	2. その他	1) 新型コロナワクチン集団接種
12 月 7 日	1. 議題	1) 大学院健康科学研究科 3 ポリシー 2) 助産学専攻科 3 ポリシー 3) 健康科学部実習費の取り扱い 4) 臨床特命教授に関する規定
	2. 連絡・報告	1) 修学・キャリア支援センター活動状況
	3. その他	1) 卒業式の会式時間及び卒業時の称号認定証等の授与 2) 新型コロナウイルスの感染症対策について
2 月 1 日	1. 議題	1) 健康科学部完成年度の教育評価 ・各学科のカリキュラムの教育評価 ・各学科の称号 ・特色ある科目 2) 次年度に向けての課題 全世代型地域包括ケア研究センター
	2. 連絡・報告	1) 2023 年度入試出願等
3 月 1 日	1. 議題	1) 令和 4 年度 教学マネジメントの実施状況 2) 点検評価ポートフォリオ (案) 3) 令和 5 年度の年度計画及び令和 4 年度の年度実績 4) 「中間評価・法人評価」及び「年度計画・年度評価の廃止」に向けた準備 5) 卒業式

(2) 教務委員会

月 日	分 類	項 目
4 月 20 日	1. 議題	1) 令和 4 (2022) 年度 在学生前期ガイダンスの反省 2) 令和 4 (2022) 年度 新入生ガイダンスの反省 3) 非常勤助手の採用 4) 履修登録状況 5) 大学院看護学研究科の長期履修期間変更及び申請 6) 教科書販売
	2. 連絡・報告	1) 学生の休学・退学
5 月 18 日	1. 議題	1) 気象警報発表時の対応 2) 教科書販売 3) 令和 4 (2022) 年度前期終講試験及び再試験の実施 4) 令和 4 (2022) 年度 後期時間割
	2. 連絡・報告	1) 学生の休学
6 月 15 日	1. 議題	1) 令和 4 (2022) 年度 非常勤講師および非常勤助手の採用 2) 授業進行状況 3) 令和 4 (2022) 年度 後期の時間割

7 月 20 日	1. 議題	1) 新見公立大学学士課程教育に係るシラバス作成・点検のガイドライン 2) 令和 4 (2022) 年度 後期について ・後期ガイダンスの日程確認と履修登録期間 ・後期教科書販売の確認 ・後期時間割
	2. 連絡・報告	1) 学生の公欠の対応、大雨警報の対応状況
8 月 17 日	1. 議題	1) 前期の成績入力と学生への成績開示 2) 令和 5 (2023) 年度学生便覧の作成 3) 非常勤助手の採用 4) 後期時間割
	2. 連絡・報告	1) 本学独自の修了証の発行 2) 学生の休学 3) 学生の公欠対応 4) 時間割変更の担当 5) 後期の抽選科目 6) 養護教諭及び幼稚園教諭の履修カルテ作成
9 月 21 日	1. 議題	1) 後期履修登録日程 2) 後期教科書販売 3) 成績および出欠席表の提出方法
	2. 連絡・報告	1) 学生の休学
10 月 19 日	1. 議題	1) 後期ガイダンスの気づきと履修状況 2) 前期科目の成績未提出状況 3) 履修科目の登録単位数の上限の特例 4) 教員の担当授業科目に関する申し合わせ 5) 成績評価基準の明示 6) 令和 5 (2023) 年度の共通科目編成方針 7) 令和 5 (2023) 年度のシラバス作成・点検のスケジュール 8) 令和 5 (2023) 年度の非常勤講師依頼 9) 教科書販売 10) 成績入力の提出方法 11) 空き教室の使用
	2. 連絡・報告	1) 学生の休学
11 月 16 日	1. 議題	1) 来年度のシラバス 2) 履修状況 3) 前期科目の成績未提出状況 4) 令和 5 (2023) 年度 学生便覧及び教務手帳の作成 5) 令和 5 (2023) 年度 入学式及び当初予定
	2. 連絡・報告	1) 学生の休学

12 月 21 日	1. 議題	1) 令和 5 (2023) 年度 シラバスの進捗状況 2) 前期科目の成績未提出状況 3) 令和 5 (2023) 年度 学年歴 4) 令和 5 (2023) 年度 入学式及び教務システム説明会 5) ユニバーサル・パスポートの改善 6) 地域共生推進センター棟の教室設備
	2. 連絡・報告	1) 学生の退学
1 月 18 日	1. 議題	1) 令和 5 (2023) 年度 シラバスの進捗状況 2) 令和 5 (2023) 年度 前期時間割作成 3) 令和 5 (2023) 年度 非常勤講師の採用 4) 学則改正 5) 令和 5 (2023) 年度 学生便覧及び教務手帳の作成 6) 令和 5 (2023) 年度 入学式及び当初予定案 7) 後期成績入力期間と最終学年の成績判定
2 月 15 日	1. 議題	1) 令和 5 (2023) 年度 非常勤講師の採用 2) 令和 5 (2023) 年度 前期時間割作成 3) 令和 5 (2023) 年度 シラバスの進捗状況 4) 令和 5 (2023) 年度 教務手帳及び学生便覧の進捗状況 5) 令和 5 (2023) 年度 新入生ガイダンス 6) 令和 5 (2023) 年度 入学式等の日程 7) 令和 5 (2023) 年度 教科書の確認・販売
	2. 連絡・報告	1) 学生の休学・退学
3 月 15 日	1. 議題	1) 令和 5 (2023) 年度 前期在学生ガイダンス 2) 令和 5 (2023) 年度 新入生ガイダンス 3) 令和 5 (2023) 年度 学年暦 4) 令和 5 (2023) 年度 非常勤助手の採用 5) 成績優秀者表彰 6) 4 月 12 日(水)学長講演会
	2. 連絡・報告	1) 学生の休学・退学

(3) FD・SD委員会

月 日	議 題
4 月 6 日	1) 各種アンケート調査のまとめ 2) 授業評価のまとめ 3) 令和 4(2022)年度の活動計画と運営方針
4 月 19 日	1) 初任者 SD 研修会「新見公立大学がめざす教職協働とは」 講師：健康科学部長 上山和子 対象：令和 4 年新任事務職員

4月27日	1) FD ワークショップ「内部質保証と教員活動の省察 Part 2：調査票入力説明会」内部質保証部会との共催 3回実施(28日、5月8日) 講師：山田, 斎藤
5月25日	1)FD/SD 集会テーマ「ディプロマポリシー(DP)と学修成果の可視化」 全体会と分科会(学科毎), 卒業研究等の DP 項目ルーブリック評価の導入 共催 内部質保証部会、教学マネジメント部会
7月1日	1)第2回教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会 ー学生参画 FD・SD システムの構築をめざしてー 地域共生推進センター棟1階 コミュニティカフェ 円卓会議 学生部、学生会との共催 教職員・学生 約60名参加 *実施にむけたメール会議を実施：調整のため複数回
12月21日	1)第3回教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会 ー学生参画 FD・SD システムの構築をめざしてー 『学生Firstの教職協働』 地域共生推進センター棟1階 コミュニティカフェ 円卓会議 学生生活と関連の深い3センター教職員のパネルディスカッション 学生部、学生会との共催 教職員・学生 約50名参加 *実施にむけたメール会議を実施：調整のため複数回
12月23日	メール会議：調整のため以後複数実施 1)卒業予定者アンケート(学修成果に関する項目, 調査方法変更) 2)各学年末アンケート(学修成果に関する項目) 3)関連する年度実績・年度計画の作成 4)報告：大学コンソーシアム岡山共同教育委員会 オンライン

(4) 教育推進委員会

月 日	部	議 題
4月13日	図書部	1)図書費予算 2)令和4年度図書館年間予定 3)学生図書委員会およびNewLibrary 4)アルバイト募集
	教養教育部	1)今年度活動方針 2)「学科合同学び報告会」 3)令和4年度読書アンケート
	年報部	1)2021年度年報
	紀要部	1)2022年度紀要第43巻
5月18日	図書部	1)学生アルバイトの決定 2)今年度図書の学科別集約状況 3)新型コロナ対策 図書館の取り組み 4)学生図書委員会およびNewLibrary 5)図書の除籍
	教養教育部	1)「学科合同学び報告会」の反省 2)「学科合同学び報告会」後期分 3)教養教育の充実
	年報部	1)2021年度年報の進行状況
	紀要部	1)2022年度紀要第43巻

6 月 15 日	図書部	1)2023 年度外国雑誌・電子ジャーナルの購入タイトル見直し 2) 学生図書委員会および NewLibrary
	教養教育部	1) 山陽新聞社連携協力特別講演会 2)「学科合同学び報告会」後期分 3) 教養教育の充実
	年報部	1)2021 年度年報の進行状況
	紀要部	1)2022 年度紀要第 43 巻
7 月 20 日	図書部	1) 図書費集約状況 2) 来年度外国雑誌の購入タイトルおよび価格値上がり 3) 学生図書委員会および NewLibrary 4) 大学夏期休業中および後期開始時の図書館開館時間 5) 夏期休業前の延滞図書と督促 6) その他確認事項
	教養教育部	1) 山陽新聞社連携協力特別講演会 2)「学科合同学び報告会」後期分 3) 教養教育の充実
	年報部	1)2021 年度年報の進行状況 2)2022 年度年報
	紀要部	1)2022 年度紀要第 43 巻
	紀要部	1) 紀要第 43 巻原稿整理 2) 紀要第 43 巻査読者決定 3) 今後の予定
	年報部	1)2022 年度年報
9 月 21 日	図書部	1) 学科予算図書発注状況 2) 学生図書委員会および NewLibrary 3) 公立大学図書館協議会中国四国地区協議会研修会 4) 学生選書ツアー 5) 読書推進
	教養教育部	1) 山陽新聞社連携協力特別講演会 2)「学科合同学び報告会」後期分
	紀要部	1)2022 年度紀要第 43 巻
	年報部	1)2022 年度年報
10 月 5 日	図書部	1) 学科予算図書発注状況 2) 来年度和雑誌 3) 学生図書委員会および NewLibrary 4) 公立大学図書館協議会中国四国地区協議会研修会・臨時総会 5) 学生選書ツアー 6) 読書推進
	教養教育部	1) 山陽新聞社連携協力特別講演会 2)「学科合同学び報告会」後期分 3) 令和 4(2022) 年度読書調査
11 月 16 日	図書部	1) 来年度和雑誌 2) 学科図書購入状況 3) 学生選書ツアーの報告 4) 学生図書委員会および NewLibrary 5) 読書推進 6) その他確認事項
	教養教育部	1)「学科合同学び報告会」後期分 2) 教員の推薦図書募集 3) 令和 4(2022) 年度読書調査
	紀要部	1) 紀要第 43 巻原稿整理 2) 今後の予定
	年報部	1) 令和 4(2022) 年度年報

12月21日	図書部	1) 2023 年度交流センター雑誌 2) 学生図書委員会および NewLibrary 3) 学術雑誌製本 4) 冬期休業中・年末年始図書館開館スケジュール 5) 学生および教員の延滞本督促 6) 公立大学協会図書館協議会中国・四国地区協議会 R5 総会
	教養教育部	1) 教員の推薦図書募集 2) 令和 4(2022) 年度読書調査
	紀要部	1) 紀要第 43 巻原稿 2) 今後の予定
	年報部	1) 令和 4(2022) 年度年報
1月18日	図書部	1) 学生への延滞本督促と退職教員研究室図書の返却 2) 学生図書委員会および NewLibrary
	教養教育部	1) 教養教育の充実 2) 令和 4(2022) 年度読書調査 3) 2023 年度前期学科合同学び報告会担当学生選定 4) 教員の推薦図書募集
	紀要部	1) 紀要第 43 巻進行状況 2) 今後の予定
	年報部	1) 令和 4(2022) 年度年報
2月15日	図書部	1) 3 月の図書館開館時間 2) 今年度の図書購入状況 3) 卒業学年の学生への延滞本督促と退職教員研究室図書の返却
	教養教育部	1) 2022(令和 4) 年度読書アンケート 2) 「学科合同学び報告会」 3) 教養教育の充実
	紀要部	1) 紀要第 43 巻進行状況 2) 今後の予定
	年報部	1) 令和 4(2022) 年度年報
3月15日	図書部	1) 卒業学年の図書貸出状況と退職教員研究室図書の返却 2) 『私の読書ノート』の大学ホームページへの掲載 3) 新年度の準備 4) 公大図協中四国地区協議会 5) 書籍の除籍
	教養教育部	1) 令和 4(2022) 年度読書アンケート 2) 「学科合同学び報告会」
	紀要部	1) 紀要第 43 巻進行状況
	年報部	1) 令和 4(2022) 年度年報

(5) 学生生活支援センター

月 日	分 類	項 目
4月1日	1. 議題	1) 委員の確認 2) 学生生活支援センター 3) 各学科会ダンス 4) 新型コロナウイルスに関する学生対応 5) 学生生活講演会(防犯・学生生活) 6) 春の交通安全運動街頭查察 7) その他(学生交流会)

4 月 21 日	1. 議題	1) 春の交通安全運動街頭査察の反省 2) 学生生活講演会(防犯・学生生活)の反省 3) 学生生活講演会(悪徳商法) 4) 新型コロナウイルス感染症
5 月 16 日	1. 議題	1) 学生生活講演会(悪徳商法)の反省等 2) 学生生活講演会(薬物乱用) 3) 社会福祉協議会より食材提供
	2. 連絡・報告	1) GW 中におけるコロナ感染症対策 2) 学生の駐輪場 3) 大学祭 (5/21. 22) 4) スポーツ大会 (6/4 1. 2 限) 5) 学友会総会が開催予定(日程は未定)
6 月 15 日	1. 議題	1) 学生生活講演会(薬物乱用)の反省 2) 定期的に学生へのルール連絡
	2. 連絡・報告	1) 食材提供(地域の方より大根・社会福祉協議会より米など) 2) デッキ同好会より⇒スケートボードの同好会へ変更 3) 学生の駐輪場(テントの設置の設置と工事の遅れ) 4) 駐輪場について(学生数増に伴い駅も不足、市へ要望) 5) 後期行事予定 6) 6 月 3 日のスポーツ大会 7) 7 月 1 日 FDS 集会 学生との意見交換会(コミュニティカフェ) 8) 学生へたまがき券配布予定 9) 日本学生支援機構の支援(学生 1 人あたり 3 千 0 円支援予定) 10) 夏季休暇中におけるコロナ感染症対策 11) 学友会総会開催予定 (6/4)
7 月 20 日	1. 議題	1) 新型コロナウイルス感染症に 2) 夏季休暇に向けての学生への周知 3) 学生生活実態調査 4) ロッカーの点検
	2. 連絡・報告	1) 学生との FDS 集会の結果 2) 学生へ「たまがき券」配布日程 3) 年金セミナー 4) 駐輪場 5) 地域からの苦情 6) 社会福祉協議会から食材提供のアンケート結果
8 月 17 日	1. 議題	1) 後期開始時の学生の交通ルールの対応 2) 学生生活実態調査 3) ロッカー点検 4) 学生の学生生活支援センターSA 5) 学生のアルバイト
	2. 連絡・報告	1) 秋の交通査察 2) 学生便覧の修正

9月21日	1. 議題	1) 後期開始時の対応(ガイダンス、ロッカー、アルバイトなど) 2) 学生生活実態調査 3) 学生生活支援センターSA 4) 年金セミナー 5) 学生委便覧
	2. 連絡・報告	1) 秋の交通査察 2) 後期行事
10月19日	1. 議題	1) 秋の全国交通安全運動に係る街頭査察の反省 2) 年金セミナー反省 3) 学生生活実態調査 4) 県産米および飲料加水の提供 5) 租税教室と国税局からのお酒に関する教室
	2. 連絡・報告	1) 日本学生支援機構から学生生活実態調査 2) たまがき券
11月16日	1. 議題	1) 交通マナー 2) 学生生活支援センターSA 3) 2023年度年間行事
	2. 連絡・報告	1) 学生生活実態調査 2) 県産米および飲料加水の提供 3) スポーツ大会 4) 西方公民館駐輪場 5) 感染対策 6) 悪徳商会のポスター掲示
12月21日	1. 議題	1) 学生生活支援センターSA 2) 学生生活実態調査 3) 冬季休暇における感染対策 4) 自動車通学のクレーム 5) 新見警察署より自転車のマナー
	2. 連絡・報告	1) 物価高騰に対する経済対策支援事業 2) 社会福祉協議会食材提供 3) 新見市からのアンケート調査 4) スポーツ大会と入試との重なり 5) クリスマス会 6) 新見市商工会青年部より事業と参加依頼
1月18日	1. 議題	1) 学生生活支援センターSA 2) 校内の喫煙について
	2. 連絡・報告	1) 学生生活実態調査 2) 2022年度実績と2023年度計画 3) 物価高騰に対する経済支援事業 4) スキーリフト券 5) 自動車通学の結果 6) 社会福祉協議会からアルバイトの求人
2月15日	1. 議題	1) 学生の駐車場 2) 新見税務署長による講演開催の依頼 3) 学生生活講演会の内容 4) ロッカーとメールBOXの点検
	2. 連絡・報告	1) 「春季休暇中の過ごし方」 2) 電子レンジの設置 3) 春の交通安全週間
3月15日	1. 議題	1) 2023年度のガイダンス(学生便覧) 2) ロッカーとメールBox 3) 学生生活支援センターSAの活動

		4) 新見市の ICOCA 利用と住民票の移動 5) 4 月の駐輪場対策
--	--	--------------------------------------

【新型コロナウイルス対応について】

- ・保健管理センターと連携をはかり、学生へ「新型コロナウイルス感染拡大防止」についての注意喚起や、食事時間の換気、座席数を減らし並列で食事がとれるようにする、アクリル板の設置など 3 密にならないような環境の工夫も継続実施した。
- ・各長期休暇への対応についても保健管理センターと連携をはかり「健康観察・行動履歴」の提出を学生に求め、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。
- ・「新型コロナウイルス感染拡大」や「物価高騰による経済支援」として、地域から学生への食材提供を受け、クオカードを全学生に配布するなどの学生生活支援を行った。
- ・学生生活を心身共に安心・安全に送れるために昨年度より、学生相談窓口フォーム設置した。昨年度よりも相談窓口を利用する学生も増え、学生相談窓口の認識がされつつある。
- ・例年実施している学生生活講演会(防犯・学生生活、薬物乱用など)については、感染対策を講じて開催することができた。

(6) 研究倫理審査委員会

令和 4(2022)年度は年間 27 件の倫理審査を行い、研究の質および透明性の向上を図った。

◎令和 4(2022)年度研究倫理審査実績【全件承認】

月日	番号	議 題
4/6	1	障害児をもつ家族との協働的アプローチによる FQOL に関する研究
	2	発達の気掛かりな幼児の家族と大学教員の協働的アプローチによる FQOL 研究
	3	特別支援学級に在籍する障害児をもつ保護者が教師から受けるサポートと FQOL の関連 ―障害の種類及びライフステージ別に応じて―
	4	障害のある子供を指導する教師に対する保護者との協働に関する課題の検討
	5	小・中学校における特別支援教育担当者に対する自立活動の指導プログラムの効果
	6	災害看護学習に地震発生時の病棟事例に対して図上型訓練形式を取り入れた教育効果と課題
	7	新人看護師のトランジション・ショックに対するレジリエンスの緩衝効果
	8	新見公立大学における UPI-27NT を用いたスクリーニングの有用性に関する研究 ―メンタルヘルス・スクリーニング体制の構築を目指して―
9/7	9	中山間地域における中高年世代の健康に関する調査
6/1	10	今後求められる放課後等デイサービスのあり方・役割に関する研究

	11	学生の歌詞理解の現状
7/6	12	実習が学生の子ども理解に与える影響：音楽表現に焦点をあてて
	13	保育現場における楽器活動の課題：環境構成と合奏への取り組みに焦点を当てて
8/3	14	地域の児童館の子育ち・子育て支援におけるソーシャルワークに関する実証的研究
	15	身近な高齢者のライフヒストリーのインタビューによる老年看護学初学者の高齢者理解
	16	子どもとともに遊びを創る保育者の資質 ―A 保育者との対話を通して―
9/7	17	大学生の子どもへの関心と育児に関する意識との関連
10/5	18	月経随伴症状と性格特性との関連
11/2	19	妊娠期の妻が満足と感じる夫の関りを高める助産師としての援助 ―A 助産院に勤務する助産師の経験に基づいて―
	20	妊娠期における男性の父親としての意識と父親役割意識の変化 ―夫婦によるインタビューより―
	21	術中麻酔管理特定行為看護師に対する一般手術室看護師の期待
12/7	22	地域福祉学科の副専攻科目「共生社会実践演習Ⅱ」における質改善を目的とした評価実践
2/1	23	訪問看護展開論実習における看護学生の経験
3/1	24	ヤングケアラー支援のための教育・福祉・看護専門職の連携構築に向けて
	25	本学における助産学実習（継続事例）の現状
	26	インシデント事例をもとに看護師長が行う安全学習支援の実践
	27	訪問看護・地域看護コースについての教育評価 ―履修生の学びから―

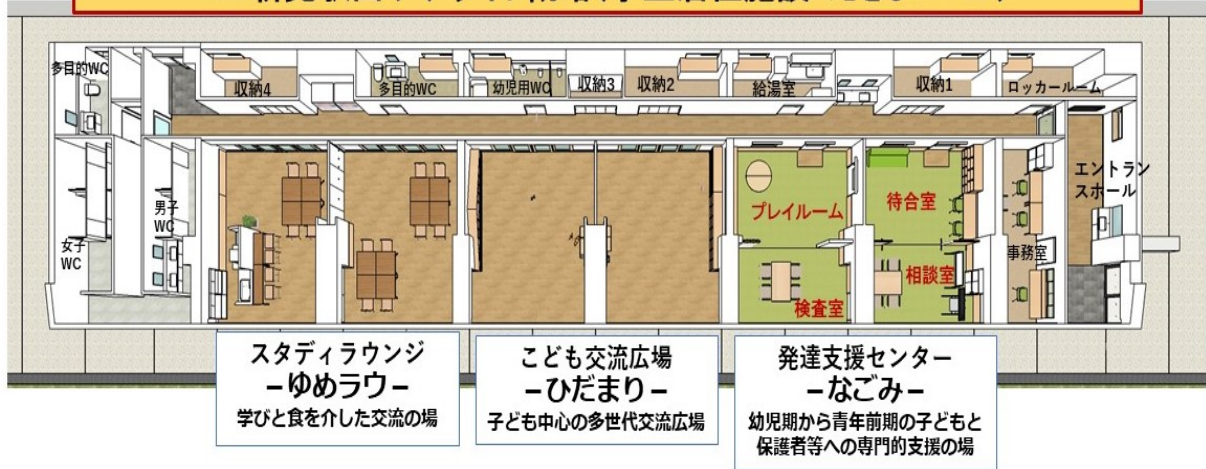
(7) 地域共生推進センター

【地域共生推進センターの目的と新事業】

新見公立大学には、大学と自治体とのより明確な目的意識を共有する連携関係のもとに、中山間地域にある医療福祉系の大学として「独自の地域連携プラットフォーム」を構築し、課題先進地域・新見の地域共生社会を実現するための open innovation の場として活用することが求められている。「研究」、「教育」とならぶ、第3の大学の役割である「社会貢献（地域貢献）」は、地域に学び地域を支える実践的研究・教育 そのものであり、大学の教育研究の成果を社会に還元するだけでなく、地域との関わりの中で課題を探索し教育研究の内容を学生とともに深めていくアプローチが必要である。地域共生推進センターは、「大学を活かしたまちづくり」の一環として、このアプローチを推進するとともに、その延長線上にある出口志向の産官学民連携の司令塔として機能し、広域連携を視野にいたした活動を目指している。

2022年度の新事業として、2021年9月から地域住民・地域諸団体・本学学生・教職員が中心となり、「駅西交流棟 PROJECT」を立ち上げるために5回のワークショップを重ねながら検討してきた「NiU 新見駅西サテライト」が4月にオープンした。

NiU新見駅西サテライト概略(学生居住施設“えきよこ”1F)



【事業の展開と課題】

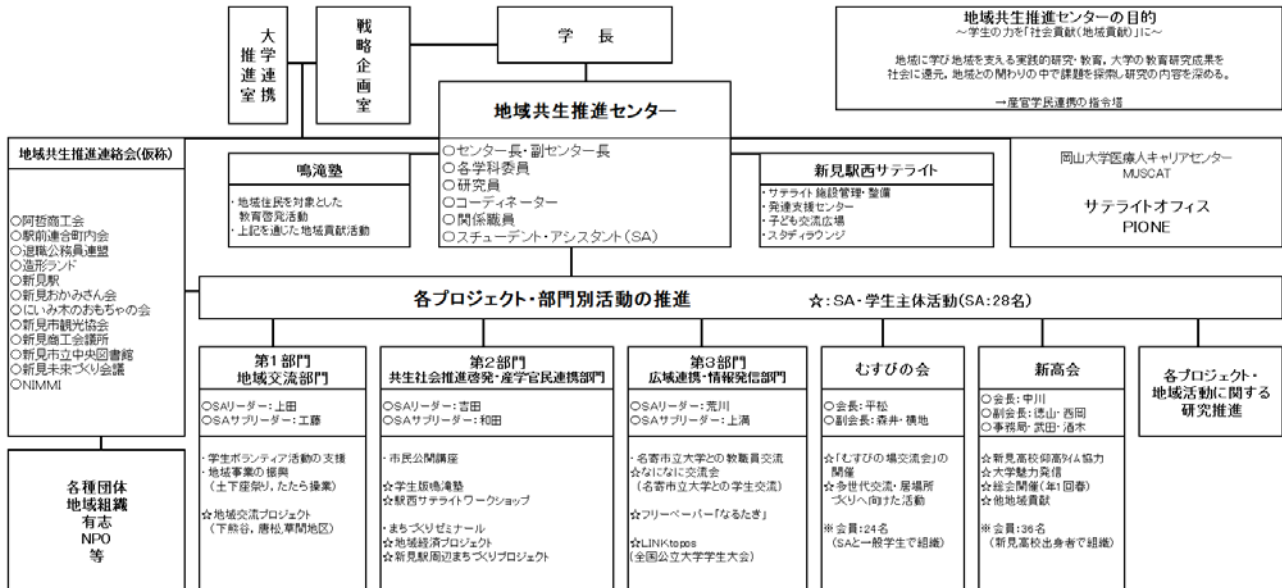
地域共生推進センターの事業については、市民や行政との連携を図り、協力を得ながら活動を進めてきた。特に2022年度は、大学の街中キャンパスとして、①発達支援センター「なごみ」、②こども交流広場「ひだまり」、③スタディラウンジ「ゆめラウ」の3部門で構成される「NiU新見駅西サテライト」を中心に展開した。4月17日にオープンし、地域共生推進センターSAを中心に地域住民や地域の協力団体と協働し、複数回のトライアルイベントの開催後、幼児期から青年前期の子どもと保護者への専門的支援の場、子ども中心とした新しい形の多世代交流広場、学生の学びと食を介した交流の場として積極的に活用してきた。なお、街中交流広場的役割を持たせるためサテライトの運用については、原則誰もが利用可能、年末年始を除き無休、利用可能時間は10時～21時としている。

地域共生推進センターの特徴の一つとして、学生の地域貢献活動への参画があり、48名程度のSA（スチューデント・アシスタント）が本センターの非常勤職員として主体的に活動した（希望者多数により選抜制を採用）。SAの指導には本センター研究員及びコーディネーターが中心となり、SA研修やまちづくりゼミナール等を通じて地域貢献活動やプロジェクトマネジメントに必要なスキルの習得を図った。今後はSAの学生から学内の一般学生を巻き込んだ活動へと展開することを目指していく計画である。

また、センター活動には、新見市からの業務委託として実施する地域連携事業と大学独自の事業としての地域貢献のための事業があり、ともにセンター活動の目的を達成する事業として実施してきた。

課題先進地域をOpen Innovationの場とするための
新見公立大学地域共生推進センター

2022年度 組織概要



地域共生推進センター活動日程、協議事項は以下の通りである。地域共生推進センター会議に先立ち、戦略会議を毎月第一週目の金曜日に開催した。また、NiU 駅西サテライト運営会議およびNiU 駅西サテライト発達支援センター会議を毎月開催した。

①地域共生推進センター会議

開催日	区 分	項 目
4月20日	1. 全体	1) 公文学長講話「地域共生推進センターの目指すところ」 2) 市担当者から新見市学校連携コーディネーターの活動等説明
	2. センター	1) 新年度メンバー紹介 2) 定例会議と進め方 3) 組織・年間活動概要
	3. SA	1) SA 活動方針 2) 駅西サテライト・トライアルイベント等
5月18日	1. 全体	1) 市担当者から新見市学校連携コーディネーター活動等説明
	2. センター	1) 業務分担
	3. サテライト	1) トライアルイベント検証会議 2) 今後の運用・活用関連取組
	4. SA	1) 今後活動予定・方針等 ・第5期 SA 募集日程 ・年間活動計画 ・SA リーダー会議の創設
6月15日	1. センター	1) 市民公開講座の実施 2) 「鳴滝塾V」の実施
	2. サテライト	1) 管理規則 2) 第7回 PROJECT ワークショップ 3) 専門会議
	3. SA	1) 活動予定・方針 ・第1部門 下熊谷地区との福祉サロンの実施計画 ・第2部門 駅西サテライト PROJECT 参画、オープンキャンパス活動紹介・ブース設置

7月20日	1. センター	1)「鳴滝塾Ⅴ」の実施
	2. サテライト	1)利用実績 2)第7回 PROJEC ワークショップ 3)専門会
	3. SA	1)活動予定・方針 ・前期(第5期)採用の決定 ・オープンキャンパスでの活動紹介・ブース設置 ・名寄市立大学との交流「なにになに会(N会)」
8月17日	1. センター	1)「土下座祭り」参加
	2. サテライト	1)利用実績 2)・トライアルイベントⅡ「ようこそ!きょだいすごろくの部屋」、 「流しなにになに」(むすびの会)の実施
	3. SA	1)学生版鳴滝塾 2)LINKtopos への参加 3)新高会の活動 ・仰高タイム(GT)への参加・助言・支援 ・大学の魅力を伝える活動
9月21日	1. センター	1)「土下座祭り」参加 2)ボランティアの活用促進
	2. サテライト	1)むすびの会「流しなにになに」 2)ストレッチ・ダンス講座 NiU(ニウ)の進捗状況
	3. SA	1)フリーペーパー「なるたき Vol. 5」の発行・進捗 2)名寄市立大学との「なにになに交流会」 3)市内地域運営組織との交流事項の展開(唐松、下熊谷、草間) 4)駅西サテライトの通常運用へ向けての取り組みの開始(第2部門)
10月19日	1. センター	1)「土下座祭り」参加 2) ボランティアの活用促進 3)市民公開講座
	2. サテライト	1)利用実績 2)むすびの会「流しなにになに」 3)ちびデポと退公連共同事業「第1回みんなのおうち」 4)ストレッチ・ダンス講座 NiU(ニウ)の進捗状況
	3. SA	1)フリーペーパー「なるたき Vol. 5」発行・進捗 2)駅西サテライトの運用への活動(第2部門) 3)市内地域運営組織との交流(唐松、下熊谷、草間) 4)地域経済プロジェクト・SA研修(長宗ゼミ)の開始 5)新見駅周辺まちづくりプラットフォーム関係企画
11月16日	1. センター	1)「鳴滝塾Ⅵ」12月3日(土)14:00～16:00(本学講堂) 講師：岡山大学病院小児医療センター小児心身医療科長 岡田あゆみ先生 特別講演：「子どもの生活リズム」～学校に行けない子どもたち～ 2)市民公開講座
	2. サテライト	1)利用実績 2)発達支援センター「なごみ」運営会議の進捗状況 3)ちびデポと退公連共同事業「第1回みんなのおうち」 4)ストレッチ・ダンス講座 NiU(ニウ)の進捗状況
	3. SA	1)フリーペーパー「なるたき Vol. 6」の発行 2)駅西サテライトの運用への活動(第2部門) 3)市内地域運営組織との交流(唐松、下熊谷、草間) 4)第3回むすびの場交流会の開催 5)名寄市立大学との「なにになに交流会」

		6) 駅周辺まちづくりイベントの実施
12月21日	1. サテライト	1) 利用実績 2) 発達支援センター「なごみ」運営会議の進捗状況 3) ちびデポと退公連共同事業「第2回みんなのひろば」開催11/26(土) 4) ストレッチ・ダンス講座 NiU(ニウ)の進捗状況
	2. SA	1) フリーペーパー「なるたき Vol. 6」の発行 2) 「にこみマスキングプレイス」(まちづくりカンパニーとの共催イベント) 3) 市内地域運営組織との交流((唐松、下熊谷、草間) 4) むすびの会: 福武教育文化振興財団・活動報告会 5) 名寄市立大学との「なにになに交流会」 6) 文章表現力研修 講師: 北浦菜緒 7) ファシリテーション力研修 講師: 高杉公人教授
1月18日	1. サテライト	1) 利用実績 2) 発達支援センター「なごみ」運営会議の進捗状況 3) ちびデポと退公連共同事業「第3回みんなのひろば」 4) 第8回駅西サテライト PROJECT ワークショップ
	2. SA	1) フリーペーパー「なるたき Vol. 6」の発行 2) 「にこみマスキングプレイス」(まちづくりカンパニーとの共催イベント) 3) 市内地域運営組織との交流(唐松、下熊谷、草間) 4) むすびの会: 福武教育文化振興財団・活動報告会
2月15日	1. サテライト	1) 利用実績 2) 発達支援センター「なごみ」運営会議の進捗状況 3) 発達支援センター地域関係団体情報交換会での専門職向けの研修会の開催 4) ちびデポと退公連共同事業「第3回みんなのひろば」エアーリング
	2. SA	1) フリーペーパー「なるたき Vol. 6」の発行 2) 「にこみマスキングプレイス」 3) 新見駅周辺まちづくりプラットフォーム構築に向けた勉強会 4) 市内地域運営組織との交流((唐松、下熊谷、草間) 5) 駅西サテライト見学会・映画イベント 映画「余命十年」の上映
3月15日	1. センター	1) 来年度組織 2) 市民公開講座 3) ボランティアノート活用啓発 4) 「土下座祭」参加
	2. サテライト	1) 利用実績 2) 「ひだまりの家」
	3. SA	1) むすびの会を学友会サークル活動へ移行 2) 活動・方針等 ・勤務管理変更 ・各部門年間活動計画 ・2023年度選考

②NiU 新見駅西サテライト運営会議

開催日 集積者数	部門	協議内容
4月15日 12人	1. 全体	1) 発達支援センター・こども交流広場等活用

6月29日 11人	1. 全体	1)退職公務員連盟新見支部、新見駅前連合町内会との連携 2)使用許可申請状況 3)定例会の開催日程 2)利用状況
	2. 発達支援センター	1)活用に向けた取り組みに関する進捗状況 2)地域関係団体との情報交換会
	3. こども交流広場	1)にこたん出張ひろばおよび託児サービス 2)ストレッチ・ダンス講座
	4. ステイラウンジ	1)新見おかみさん会からの調理器具等の寄贈
8月3日 11人	1. 全体	1)学報「まんさく」の原稿 2)退職公務員連盟新見支部との連携 3)使用許可申請状況 4)岡山県議会環境文化保健福祉委員会の視察 5)利用状況
	2. 発達支援センター	1)活用に向けた取り組みに関する進捗状況
	3. こども交流広場	1)にこたん出張ひろばおよび託児サービス 2)トライアルイベントⅡ[ようこそ！きょだいすごろくの部屋] 3)ストレッチ・ダンス講座
	4. ステイラウンジ	1)トライアルイベントⅣ第3回むすびの場交流会「流しなになに」 2)新見おかみさん会からの調理器具等贈呈式 3)えきよこフォー会議の実施
9月7日 10人	1. 全体	1)学報「まんさく」の原稿 2)退職公務員連盟新見支部との連携 3)使用許可申請状況 4)利用状況 5)駅西サテライトについて
	2. 発達支援センター	1)活用に向けた取り組みに関する進捗状況 ・夏季休業中の学習支援 ・相談活動 ・特別支援教育研修講座の開催 ・小学校教員と大学保健師の検討会議の開催 ・第2回地域関係団体との情報交換会について
	3. こども交流広場	1)にこたん出張ひろばおよび託児サービス 2)トライアルイベントⅡ「ようこそ！きょだいすごろくの部屋」 3)ストレッチ・ダンス講座
	4. ステイラウンジ	1)トライアルイベントⅣ[第3回むすびの場交流会「流しなになに」 2)市民公開講座
10月7日 9人	1. 全体	1)退職公務員連盟新見支部との連携 2)「みんなのおうち」 3)使用許可申請状況 4)「学生便覧」 5)利用状況
	2. 発達支援センター	1)活用に向けた取り組みに関する進捗状況 ・相談活動 ・特別支援教育研修講座の開催

		・第2回地域関係団体との情報交換会
	3. こども交流広場	1)にこたん出張ひろばおよび託児サービス 2)トライアルイベントⅡ「ようこそ！きょだいすごろくの部屋」 3)ストレッチ・ダンス講座
	4. ステイラウンジ	1)トライアルイベントⅣ「第3回むすびの場交流会(流しなになに)」 2) 市民公開講座
11月2日 11人	1. 全体	1)使用許可申請状況 2)にいみ i チャンネル(新見放送)の取材 3)フリーペーパー「にいみいろ」特集記事 4)市報にいみ「NiU 新見駅西サテライトの紹介」 5)退職公務員連盟新見支部との連携 6)「第1回みんなのひろば」 7)新見駅前イルミネーション構想会議 8)市民公開講座 9)利用状況
	2. 発達支援センター	1)活用に向けた取り組みに関する進捗状況 ・相談活動 ・特別支援教育研修講座の開催 ・第2回地域関係団体との情報交換会 ・小中学校教員大学保健師による事例検討会の開催 ・鳴滝塾の開催
	3. こども交流広場	1)にこたん出張ひろばおよび託児サービス 2)ストレッチ・ダンス講座
	4. ステイラウンジ	1)トライアルイベントⅣ「第3回むすびの場交流会(流しなになに)」
12月7日 9人	1. 全体	1)退職公務員連盟新見支部との連携 2)「第2回みんなのひろば」 3)新見駅前イルミネーション構想会議 4)にいみ i チャンネル(新見放送)の取材 5)フリーペーパー「にいみいろ」特集記事 6)使用許可申請状況 7)市報にいみ「NiU 新見駅西サテライトの紹介」 8)利用状況
	2. 発達支援センター	1)活用に向けた取り組みに関する進捗状況 ・相談活動 ・特別支援教育研修講座の開催 ・冬季休業中の学習支援 ・小中学校教員、大学保健師による事例検討会 ・鳴滝塾Ⅳ
	3. こども交流広場	1)にこたん出張ひろばおよび託児サービス 2)ストレッチ・ダンス講座
	4. ステイラウンジ	1)新見駅西交流棟 PUROJECT ワークショップ の開催
1月4日 8人	1. 全体	1)にいみ i チャンネル(新見放送)の取材 2)フリーペーパー「にいみいろ」特集記事 3)駅西サテライト 4)市報にいみ「NiU 新見駅西サテライトの紹介」 5)利用状況

	2. 発達支援センター	1) 活用に向けた取り組みに関する進捗状況 ・相談活動 ・冬季休業中の学習支援 ・第3回地域関係団体との情報交換会
	3. こども交流広場	1) にこたん出張ひろばおよび託児サービス
	4. ステディラウンジ	1) 新見駅西交流棟 PUROJECT ワークショップ 2) 見学会・映画イベント 3) 新見駅前イルミネーション点灯式
2月1日 10人	1. 全体	1) 「第3回みんなのひろば」 2) 利用状況
	2. 発達支援センター	1) 活用に向けた取り組みに関する進捗状況 ・相談活動 ・特別支援教育研修講座のフォローアップ研修 ・第3回地域関係団体との情報交換会
	3. こども交流広場	1) にこたん出張ひろばおよび託児サービス
	4. ステディラウンジ	1) 見学会・映画イベント
3月1日 10人	1. 全体	1) 利用状況 2) 「第3回みんなのひろば」 3) 使用許可申請状況 4) 運営会議のあり方
	2. 発達支援センター	1) 活用に向けた取り組みに関する進捗状況 ・相談活動 ・特別支援教育研修講座のフォローアップ研修 ・春休み学習支援 ・R4第2回不登校等支援実務者連絡会議 ・「行きしぶり・不登校・ひきこもり等の親の会」 ・第3回地域関係団体との情報交換会
	3. こども交流広場	1) にこたん出張ひろばおよび託児サービス

③NiU 新見駅西サテライト発達支援センター運営会議

月日 出席者数	協 議 内 容
5月18日 9人	1) 発達支援センター事業の進捗状況 2) 今後の情報共有会議の運営
6月1日 11人	1) 夏季休業中の学習支援の実施 2) 個別相談事例への対応 3) 内覧会の開催 4) 地域の学校との情報共有・関係づくりにおける学校訪問 5) 他機関との連携のための関係づくり会議の開催
6月15日 11人	1) 夏季休業中の学習支援の実施 2) 発達支援センター機能の検討 3) 大学へのニーズヒアリング 4) 地域関係団体との交流会(仮称)の開催
7月20日 12人	1) 地域関係団体との情報交換会 2) 夏季休業中の学習支援の実施 3) 相談や療育活動 4) 研修会ならびに事例検討会の実施
8月17日 11人	1) 夏季休業中の学習支援の実施 2) 相談活動 3) 研修会ならびに事例検討会の実施 4) 三宅先生による相談 5) 小学校教員、大学保健師の検討会議の開催 6) 不登校対策チームの立ち上げ準備 7) 第2回地域関係団体の情報交換会
9月21日 11人	1) 夏季休業中の学習支援 2) 相談活動 3) 特別支援教育に関する研修講座シリーズ 1 4) A 小学校と B 中学校の教員との合同事例検討会の開催 5) 第2回地域関係団体との情報交換会
10月19日 10人	1) 相談活動 2) 特別支援教育に関する研修講座シリーズ 1 2) 地域関係団体との情報交換会
11月16日 12人	1) 相談活動 2) 特別支援教育に関する研修講座シリーズ 1 3) 冬季休業中の学習支援の実施 4) 第2回地域関係団体との情報交換会 5) 鳴滝塾Ⅳの開催 6) 小中学校教員、大学保健師の事例検討会の開催
12月21日 12人	1) 相談活動 2) 特別支援教育に関する研修講座シリーズ 1 3) 冬季休業中の学習支援の実施 4) 鳴滝塾Ⅳの開催 5) 第3回地域関係団体との情報交換会 6) 小中学校教員、大学保健師の事例検討会の開催 7) 小中学校訪問 8) 巡回相談体制の見直し 9) 巡回診療 10) 高月先生の就学前支援
1月18日 11人	1) 相談活動 2) 冬季休業中の学習支援の実施 3) 特別支援教育に関する研修講座シリーズ 1 に対するフォローアップ 4) 第3回地域関係団体との情報交換会 5) 小中学校訪問
2月15日 10人	1) 相談活動 2) 特別支援教育に関する研修講座シリーズ 1 に対するフォローアップ 3) 春季休業中の学習支援 4) 第3回地域関係団体との情報交換会 5) 小中学校訪問 6) 不登校の子を支える親の会 7) 高月先生の就学前支援(「ひだまりの家」)

3月15日 12人	1) 相談活動 2) 特別支援教育に関する研修講座シリーズ1に対するフォローアップ 3) 春季休業中の学習支援 4) 第3回地域関係団体との情報交換会 5) 「行きしぶり・不登校・ひきこもり等の親の会」 6) 第3回障がい者自立支援協議会児童支援部会 7) こども相談・診療事業 8) 今後の運営会議
--------------	--

(8) 総合情報基盤センター

①広報部

◎令和4(2022)年度広報部活動実績

月 日	議 題
4月6日	1) 年間予定と主担当 2) 大学案内 3) 高校訪問 4) 高校教員入試説明会 5) オープンキャンパス 6) まんさく
4月23日	1) 大学案内 2) 高校訪問 3) 高校教員入試説明会 4) オープンキャンパス 5) まんさく
5月6日	1) 大学案内 2) 高校訪問 3) 高校教員入試説明会 4) オープンキャンパス 5) まんさく 6) 学科紹介 DVD 担当者
5月18日	1) 大学案内 2) 高校訪問 3) 高校教員入試説明会 4) オープンキャンパス 5) まんさく
6月1日	1) 大学案内発送 2) 高校訪問 3) 高校教員入試説明会 4) オープンキャンパス
6月15日	1) 高校教員入試説明会 2) オープンキャンパス 3) 山陽新聞「岡山の大学に行こう」
7月18日	1) 高校教員入試説明会反省 2) オープンキャンパス 3) 山陽新聞「岡山の大学に行こう」 4) まんさく
7月20日	1) オープンキャンパス
7月1日	1) オープンキャンパス 2) まんさく 3) 大学案内プロポーザル
8月3日	〃
8月17日	〃
9月3日	1) オープンキャンパス 2) まんさく
10月5日	1) 大学案内 2) まんさく 3) 高校訪問 4) 大学紹介 DVD 5) NHK取材
10月19日	1) 大学案内 2) まんさく 3) 市報にいみ
11月2日	〃
11月16日	1) 大学案内 2) まんさく
12月7日	1) 大学案内 2) まんさく 3) 年度計画及び年度実績の作成 4) Data BRAIN 研修会

12月21日	1) まんさくに 2) 高校訪問 3) 第 2 期高校訪問 4) お出かけキャンパス企画
1月18日	〃
2月1日	1) まんさくに 2) 高校訪問 3) お出かけキャンパス企画
2月15日	1) まんさくに 2) 大学案内 3) オープンキャンパスポスター 4) ガイダンスグッズ決定
3月1日	1) まんさく 2) 大学案内 3) オープンキャンパス日程
3月15日	1) まんさく 2) 大学案内 3) オープンキャンパス・高校教員説明会の日程 4) 高校訪問

②IR 部

◎令和 4(2022)年度 IR 部活動実績

月 日	議 題
4 月 5 日	1) 年間計画 2) 新入生アンケート
4 月 13 日	1) 新入生アンケート項目検討
4 月 26 日	〃
5 月 31 日	1) 新入生アンケート結果
6 月 20 日	1) 2021 年度大学 IR コンソーシアム学生調査の追加データ
6 月 29 日	1) 2022 年度大学 IR コンソーシアム学生調査の実施
10 月 18 日	1) 〃 (1 年生及び上級生調査:3 年生)実施
10 月 26 日	1) 〃 (3 年生)看護学科実施
10 月 31 日	1) 〃 (1 年生)看護学科実施
11 月 2 日	1) 〃 (3 年生)健康保育学科実施
11 月 7 日	1) 〃 (1 年生)健康保育学科、 〃 (3 年生)地域福祉学科実施
11 月 10 日	1) 〃 (1 年生)地域福祉学科実施
1 月 22 日	1) 〃 (1 年生・上級生調査:3 年生)結果集計
1 月 29 日	1) 2021 年度学生調査(1 年生及び上級生調査:3 年生)結果集計
2 月 6 日	1) 〃
2 月 20 日	1) 〃 結果
2 月 22 日	1) 2022 年度学生調査(1 年生及び上級生調査:3 年生)登録

③情報システム部

◎令和 4(2022)年度情報システム部活動実績

月 日	議 題
4 月 7 日	1) UNIVERSAL PASSPORT 使用説明会
4 月 8 日	1) 新入生対象学内無線 LAN への接続説明会
4 月 9 日	1) 入学式インターネットオンライン中継
4 月 14 日	1) 新入生対象学内無線 LAN への接続説明会

4月15日	1) 地域共生推進センター棟講堂音響・映像機器使用説明会
4月22日	1) UNIVERSAL PASSPORT 使用説明会
4月28日	〃
5月23日	1) 入試説明会インターネットオンライン中継テスト
6月28日	1) 〃 中継
7月11日	1) 大学関係者管理システム
7月29日	〃
8月9日	1) Windows アップデート制御サーバの可動打ち合わせ
8月15日	1) 大学関係者管理システム
9月5日	〃
9月28日	〃
9月29日	1) オンライン授業中継補助
12月4日	1) 大学院オンライン説明会補助
12月9日	1) 高校アプローチシステム研修会
12月7日	1) 大学関係者管理システム
3月16日	1) 卒業証書・学位記授与式インターネットオンライン中継テスト
3月18日	1) 〃 中継

(9) 教育支援センター

1. 会議開催実績

日時	議題
4月20日	1) 自己紹介 2) 各実習関連業務内容
5月18日	1) 校種別支援状況
6月15日	1) 校種別支援状況
7月20日	1) 校種別支援状況
9月21日	1) 校種別支援状況
10月19日	1) 校種別支援状況 2) 11月からの勤務体制
11月16日	1) 校種別支援状況 2) 11月からの勤務体制
3月15日	1) 教育支援センター規程 2) 校種別支援状況 3) 来年度の勤務体制

2. 市大連携の主な活動内容

月日	場所	内 容
6/2 (木)	ほほえみ広場	・新見市障害者自立支援協議会児童支援部会参加
7/26 (火)	新見公立大学	・新見市保育協議会研究部会指導助言
7/28日 (木)	新見公立大学	・新見市保育・教育カリキュラム研修－3歳児部会 「園児の主体性を育む環境構成」：各園の室内外の遊びの画像を見ながら環境について考える。
8/4 (木)	新見公立大学	・新見市保育・教育カリキュラム研修－5歳児部会－
8/18 (木)	新見公立大学	・新見市保育・教育カリキュラム研修－2歳児部会－

8/23 (火)	新見公立大学	・新見市保育・教育カリキュラム研修－4歳児部会－
8/25 (木)	新見公立大学	・新見市保育・教育カリキュラム研修－1歳児部会－
9/6 (火)	新見公立大学	・新見市保育・教育カリキュラム研修－0歳児部会－
11/10 (木)	新見市役所	・新見市特別支援教育支援委員会参加
11/24 (木)	新見市役所	・新見市特別支援教育支援委員会参加
3/9 (木)	新見公立大学	・新見市保育協議会研究部会指導助言

(10) 修学・キャリア支援センター

月 日	議 題
4月20日	1) 体制 2) 4/20 自己分析(SPI)講座とキャリア形成講座(3)の反省 3) 4/27 就職先分析講座の役割分担と 5/25 キャリア形成講座(2)のお願い 4) 有料公務員講座 5) 修学・キャリア支援センターのホームページ開設 6) ハローワークの無料出張相談 7) 求人票の書式 8) 講座の追加案、情報収集などの新たな計画 9) オンライン面接 10) 相談実績報告
5月18日	1) 4/27 就職先分析講座の反省 2) 5/25 キャリア形成講座(2)の役割 3) 講座の出席率 4) 修学・キャリア支援センターのホームページ開設 5) 公務員業務説明会の反省 6) 岡山県警の就職ガイダンス 7) 相談実績報告 8) 講座の追加案、情報収集などの新たな計画 9) 学内選考(連絡)
6月15日	1) 5/25 キャリア形成講座(2)と 6/15 キャリア形成講座(1)の反省 2) 2021 年度有料公務員講座の反省 3) 就職に関する履歴書と封筒 4) 修学・キャリア支援センターのホームページ開設 5) 相談実績報告 6) 講座の追加案、情報収集などの新たな計画 7) 各学科の就職・就活状況報告 8) 本学事務職員採用説明会(6/7)と新見市業務・職員採用試験説明会(6/15)(連絡) 9) 警察職員業務説明会報告 10) 回覧資料(連絡) 11) 後期講座(連絡)
7月20日	1) 修学・キャリア支援センターのホームページ開設 2) ハローワークとの連携 3) 2021 年度公務員講座を受験した学生に対する調査 4) 相談実績報告 5) 講座の追加案、情報収集などの新たな計画 6) 各学科の就職・就活状況報告 7) 警察職員業務説明会報告 8) インターンシップの状況報告
9月21日	1) 修学・キャリア支援センターのホームページ開設 2) 講座の役割分担 3) 講座の追加案、情報収集などの新たな計画 4) 相談実績報告 5) 各学科の就職・就活状況報告 6) 岡山コンソーシアム「第25回就職支援委員会」報告 7) インターンシップの状況報告 8) 後期FD・SD集会(連絡)
10月19日	1) 公務員試験対策講座(10/12Ⅲ限2年生対象)の反省 2) 講座の追加案、情報収集などの新たな計画 3) 就職関係書籍の選別 4) 公務員内定者懇談会 5) 相談実績報告 6) 各学科の就職・就活状況報告 7) 2023 年度有料公務員講座(連絡)

11月16日	1) 公務員内定者懇談会の反省 2) 就職関係書籍の決定 3) 2023 年度有料公務員講座 4) 講座の追加案、情報収集などの新たな計画 5) 有料公務員講座満足度アンケート 6) 相談実績報告 7) 各学科の就職・就活状況報告 8) キャリア形成講座(4) 11/30Ⅲ限(連絡) 9) 年度実績と年度計画(連絡) 10) 高梁川流域「学校・企業就職担当者情報交換会」(連絡) 11) 進路のてびきの改訂
12月13日	1) キャリア形成講座(4) 11/30Ⅲ限の反省 2) 進路のてびきのスケジュール 3) 公務員内定者懇談会(看護学科) 11/24 Ⅳ限の反省 4) 講座の追加案、情報収集などの新たな計画 5) 年度実績と年度計画 6) ホームページの課題 7) 相談実績報告 8) 各学科の就職・就活状況報告 9) 就職関係書籍(連絡) 10) 行事連絡票(公務員講座を含む) (連絡)
1月18日	1) 就活準備講座 12/21Ⅲ限 2 年生、就活マナー、合同企業説明会の周り方講座 12/21Ⅳ限 3 年生の反省 2) 進路のてびきのスケジュール 3) 講座の新たな計画 4) 就職ガイダンス 5) 相談実績報告 6) 各学科の就職・就活状況報告 7) 年度実績と年度計画(連絡)
2月15日	1) エントリーシート、履歴書、小論文対策講座(2/1Ⅲ限 3 年生)、 面接対策講座(2/1Ⅳ限 3 年生)の反省 2) 就活サポートに関する講座の反省 3) 進路のてびき確認 4) 一般企業に就職する学生の対応 5) 令和 5 年度からの大学生等のインターンシップの取扱い 6) 受験報告書の閲覧 7) 相談実績報告 8) 各学科の就職・就活状況報告 9) 大学コンソーシアム報告 10) 年報(連絡) 11) 有料公務員講座(報告)
3月15日	1) 就活サポートに関する講座の反省 2) 就活サポートに関する講座 3 月 3) 2023 年度前期講座の役割 4) 警察官採用試験に関する説明会 5) 大学案内における修学・キャリア支援センターの紙面案 6) 岡山県福祉人材センター運営委員会の委員 7) 相談実績報告 8) 各学科の就職・就活状況報告 9) 有料公務員講座報告 10) 年報報告 11) 進路のてびき(連絡) 12) 2023 年度の委員と第 1 回開催日時の確認(連絡)

(11) 保健管理センター

◎令和 4 (2022) 年度保健管理センター会議開催実績

月 日	議 題
4 月 13 日	1) COVID-19 の状況と対策 2) 保健管理センター委員名簿 3) 2021 年度活動報告 4) 2022 年度活動計画 5) ガイダンス、定期健康診断等実施・評価 6) 健康教育講演会 7) 学生保健委員会(前期)開催 7) 障がい学生支援
5 月 11 日	1) COVID-19 の状況と対策 2) 定期健康診断の事後 3) 健康教育講演会報告 4) 学生保健委員会

6月8日	1) COVID-19 の状況と対策 2) 予防接種状況 3) トイレ便座除菌クリーナー 4) 保健所からの依頼(愛育委員の健康教育) 5) 大学コンソーシアム岡山報告
7月13日	1) COVID-19 対策の現状と今後の対応 ・実習中の抗原検査および対応 ・4回目コロナワクチン接種予定 ・夏休みの感染対策 2) 定期健康診断での結核陽性者判明 3) 障がい学生支援研修会
9月14日	1) COVID-19 対策 ・現在の現状と今後の対応 ・夏期休暇前後の対応 2) 障がい学生支援研修会報告
10月12日	1) COVID19 対策 2) インフルエンザワクチン接種状況報告 3) 学生の予防接種状況 4) 学生保健委員会 5) 結核陽性学生経過報告
11月9日	1) COVID19 対策 2) インフルエンザ予防接種状況 3) 学生保健委員会報告
12月14日	1) COVID-19 対策 2) コロナワクチン集団予防接種 3) インフルエンザワクチン接種状況 4) 小児感染症ワクチン接種状況 5) 「感染症の予防と対策」改訂版作成 6) 2023 年度定期健康診断 7) 2023 年度健康教育講演会日程
1月18日	1) COVID-19 対策 2) インフルエンザワクチン予防接種状況報告 3) 小児感染症ワクチン接種状況 4) 2023 年度定期健康診断
2月8日	1) COVID-19 対策 2) 「感染症の予防と対策」改訂版作成 3) 2023 年度定期健康診 断 4) ガイダンス資料仕分け
3月15日	1) COVID-19 対策 ・春期休暇後対応 ・卒業式感染対策 2) 2023 年度定期健康診断およびガイダンス 3) 新入生配布文書 4) 令和5年度保健管理センター委員 5) 健康教育講演会
3月29日	1) COVID-19 対策 2) 2023 年度ガイダンス配布物 3) 定期健康診断 ・役割分担 ・健診の流れ ・会場設営 4) 令和5年度保健管理センター委員

※COVID-19：新型コロナウイルス感染症 コロナワクチン：新型コロナウイルスワクチン

10) 教育改善の取り組み

(1) FD/SD 研修会

令和4年度新任者 SD 研修会

1. 日時：2022年4月19日（火）午後1時～1時30分
2. 場所：新見公立大学 本館会議室B
3. テーマ：「新見公立大学がめざす教職協働とは」
4. 参加者：令和4年新任事務職員6名+FD委員会委員
5. 研修内容：今年度FD委員会が企画して初めて実施された。上山学部長の講演により、教職協働の理念と範囲を明確にするとともに、教員側と事務側との意見交換も行われた。

令和4年度前期 FD・SD 集会

1. 日時：2022年5月25日（水）教授会終了後 午後4時30分～5時30分

2. 場所：新見公立大学学術交流会館 交流ホール 研修室 1-4
3. テーマ：ディプロマポリシー：DP と学修成果の可視化
4. 参加者：教授会構成員＋事務職員若干名
5. 研修内容：これまでの自己点検のなかで、教学マネジメントのうち特に急がれる事項として、学修成果の可視化があること、そのために3つの計画が進行していることが示された。今回は、その一つとして卒業研究等の評価に DP 項目を盛り込んだルーブリック評価を取り入れることを、全学科で今年度中に試行的に実現することを目指して企画され、学科毎の 討論を促進するため、分化会形式も取り入れ、各学科 FD 委員がファシリテーターを務めた。まとめの全体会では、卒業研究だけでは必ずしも評価できない DP 項目があることを認識しつつも、卒業研究等を中心に、卒業年次の学修成果を捉えるキャップストーン評価（仮称）として3学科で適宜試行して改善を図ることを確認した。

教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会－学生参画 FD・SD システムの構築をめざして－

1. 日時：2022 年 7 月 1 日（金）午後 6 時 20 分～7 時 20 分
2. 場所：新見公立大学地域共生推進棟 1 階 コミュニティカフェ
3. テーマ：新「3つのポリシー」をお手元に
4. 参加者：学生教職員 約 55 名
5. 研修内容：学生の意見を大学の教育や運営に反映させる取り組みは、学生生活実態調査の実施や、学友会と学生部・事務局の協議を行うことで従来進められたが、昨年からこれを、学生および教職員が希望すれば自由に参加できるようにバージョンアップして、開催している。司会は、斎藤学生部長と中村学友会長がつとめた。第1部では学友会が集めた学生意見に大学側が回答した。意見の中で一番多かったものは、4大化にともなう学内外の修学環境の整備についての要望であった。第2部では、今年度改訂された3ポリシーを、学生が身近に実感できるよう情報提供があった。今回の改訂は、新ガイドライン(2017)に基づいて、学士の学位を与える課程（学位プログラム）教育の充実の観点からのものであるが、基本的には従来のものを踏襲していること、学部も学科も DP は6項目とし整合性を取ったことなどが説明され、さらに第3部では、キャリア支援：就職支援と進学支援について、学生と教職員の間で活発に議論され、最後に学長から学びの質の向上について提案があった。

教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会－学生参画 FD・SD システムの構築をめざして－

1. 日時：2022 年 12 月 21 日（水）午後 4 時 20 分～6 時 10 分
2. 場所：新見公立大学地域共生推進棟 1 階 コミュニティカフェ
3. テーマ：学生 First の教職協働
4. 参加者：学生教職員 約 60 名
5. 研修内容：司会は、斎藤学生部長と平松学友会長がつとめた。第1部では、学生生活に関連の深い3センター（保健管理センター、学生生活支援センター、修学・キャリア支援センター）の教員と職員から、学生から寄せられた要望・意見の答える形で各センター

の活動の概要が報告された。第2部では1) 学生から見えるセンターとは、学生にとってのワンストップとは、2) 各センター間の連携、センターと学科の連携の課題などについて総合討論を行い、最後に、学長から本学が目指す教職協働について提案があった。

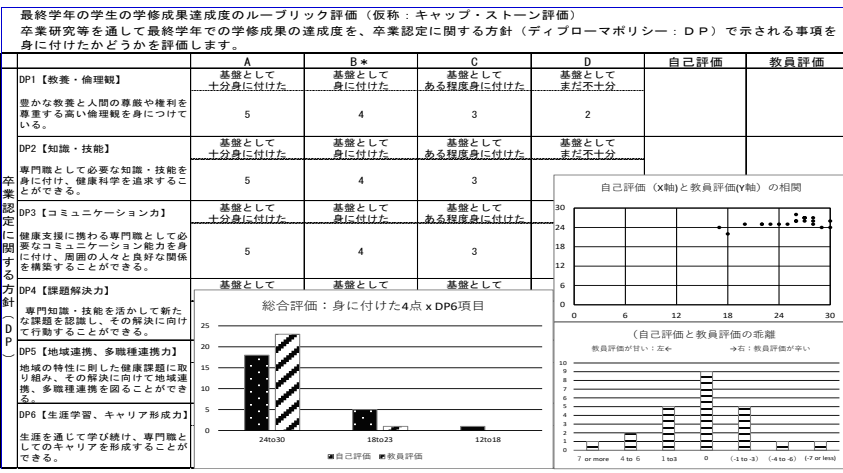
次に5月の前期FD/SD集会で取り上げたDPと学修成果の可視化について、今年度末までの実績を2つ述べる。

1) 卒業研究等へのDP項目のルーブリック評価：キャップストーン評価（仮称）の試行とその分析

看護学科では、10月の卒業論文発表会の前後で実施し、結果を分析した（右図表）。

健康保育学科では2月の卒業論文発表会前後で実施し、ほぼ全員の43組、地域福祉学科でも2月に実施し7組について分析し、同様の結果を得た。次年度は、より多くの学生について試行を重ねる。

看護学科 n=27	達成率（「身に付けた」以上）		（自己・教員）評価比較	
	自己評価	教員評価	一致率	乖離の方向
DP1【教養・倫理観】	92%	96%	71%	-0.21
DP2【知識・技能】	88%	96%	79%	-0.04
DP3【コミュニケーション力】	88%	100%	83%	0.13
DP4【課題解決力】	79%	96%	50%	0.08
DP5【地域連携、多職種連携力】	79%	96%	50%	0.08
DP6【生涯学習、キャリア形成力】	96%	100%	67%	0.17

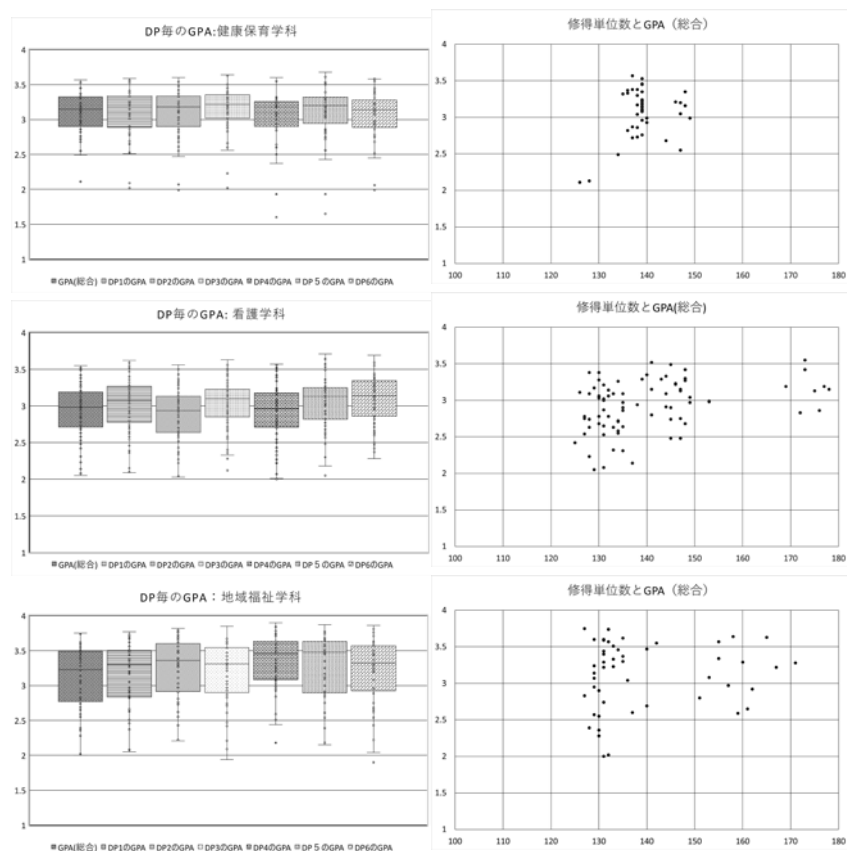


2) 卒業時学修成果の可視化を促進するディプロマ・サプリーメント：GPA サプリー（仮称）の算定（試行）とその分析

看護学科で、まず昨年度（2022年3月）卒業の看護学科学生（第9期生、57名）のGPAサプリーを作成し、その妥当性をゼミの指導教員へのアンケートにより調査した。その結果、指導時の印象とGPAサプリーの結果は概ね整合すること、サプリーを卒業時に3学科で実施することが妥当であることを確認した。改善のヒントとして、卒業時ではなく就職活動前など途中の段階でも示すこと；結果を前向きにとらえてもらう教員のフォロー・工夫の必要性；GPA算出方法の変化を見定める必要性；コース選択による修得科目数・単位数の差異の見極めの必要性が示された。

これを受けて、卒業判定確定から5日以内に、3学科卒業者全員のGPAサプリーを作成し、学科に提供した。その分析から3学科ともDP毎の学修成果可視化でき、それが概ね良好な状況であることが示された。一方で、コース選択とGPAの関連等、GPA一辺倒でよいのかとの課題も共有された。今後は、課題を改善しつつ、学生等への周知を図り、卒業証書を補完するものとして、卒業生に正式に授与する方向を模索したい。

	単位数	GPA(総合)	DP1のGPA	DP2のGPA	DP3のGPA	DP4のGPA	DP5のGPA	DP6のGPA
健康保育学科：45名								
最大値	149	3.57	3.59	3.60	3.64	3.60	3.68	3.58
4分位 (75%)	139	3.33	3.37	3.35	3.36	3.26	3.32	3.30
median	139	3.15	3.17	3.18	3.24	3.14	3.19	3.14
4分位 (25%)	137	2.93	2.90	2.94	3.02	2.90	3.03	2.92
最低値	126	2.11	2.02	1.99	2.02	1.60	1.65	1.99
看護学科：80名								
最大値	178	3.55	3.62	3.56	3.63	3.57	3.71	3.69
4分位 (75%)	146	3.19	3.26	3.13	3.23	3.17	3.25	3.34
中央値	135	2.99	3.08	2.94	3.10	2.97	3.13	3.14
4分位 (25%)	131	2.72	2.79	2.65	2.85	2.71	2.82	2.86
最低値	125	2.05	2.09	2.03	2.12	2.00	2.05	2.28
地域福祉学科：49名								
最大値	171	3.75	3.77	3.82	3.85	3.90	3.87	3.86
4分位 (75%)	151	3.47	3.49	3.58	3.54	3.63	3.61	3.57
中央値	133	3.23	3.30	3.36	3.31	3.46	3.48	3.32
4分位 (25%)	130	2.80	2.85	2.92	2.93	3.10	2.91	2.96
最低値	127	2.00	2.05	2.21	1.94	2.18	2.15	1.90



(2) 学科合同学び報告会

教育推進委員会教養教育部では、学生の教養教育の一環として「学科合同学び報告会」を毎年行っている。「学科合同学び報告会」は、3学科の学生たちの「学び」をお互いに「学びあう」ことを目的としている。令和4(2022)年度は前期に1回実施され、例年行っていた後期はコロナ禍のため中止された。

前期は令和4(2022)年4月20日(水)3時限に体育館で開催され、3学科の1年次生全員と2年次生担当者が参加した。3学科の1年次生全員に対し、地域福祉学科2年次生、健康保育学科2年次生、看護学科2年次生の担当者がそれぞれの学びを15分報告した。最後にアンケートを実施した。

「学科合同学び報告会」前期実施概要

開催日時：令和4(2022)年4月20日(水)3限(13:20～14:20)

開催場所：体育館

13:15 集合(1年次生全員、2年次生担当者)

13:20 開会

13:20～13:25 学長挨拶

趣旨説明(教養教育委員会委員長)

13:25～13:40 地域福祉学科の学び

進行係：工藤野乃、田盛琉成、税所拓斗

タイムキーパー：高見柚月、萬奥一颯、田草川 至

報告：「地域福祉学科～基礎ゼミで学んだ一年間～」

石上昌幸、森山蒼二郎、田中鈴菜

13:40～13:55 健康保育学科の学び

進行係：政所和花 タイムキーパー：千葉裕美

報告：「健康保育学科の学び」

京口実夢、高岡陽菜、丸川拓海、湯浅秀進

13:55～14:10 看護学科の学び

進行係：荒川真七帆 タイムキーパー：岩本あい

報告：「1年間の流れ」小野那津奈

「講義・演習について」上田遥愛、木曾純菜

「実習について」串田知穂、小野那津奈

「学生生活について」田中沙英、平松萌々子

14:10～14:20 学び報告のアンケート記入

アンケートの結果をみると、各学科の学生の感想はほとんど好意的な内容であり、他学科の学生たちの「学び」をお互いに「学びあう」ことが教養教育として有効であることが確認された。アンケートからは、新入生も報告を担当した2年次生も共に、目標がより明確になりモチベーションのアップにつながったことを読み取ることができた。

後期は令和4(2022)年12月14日(水)3時限に開催を予定していたが、コロナ禍のため中止された。

11) 広報活動

(1) 高校訪問・高校ガイダンス

1. 教職員による高校訪問

令和4(2022)年度の高校訪問の実績及び担当者は以下のとおりである。

◎都道県別高校訪問校数

◎都道府県別高校訪問校数

全体 順番	都道府県	校数（校）
1	広島県	38
2	岡山県	30
3	鳥取県	17
4	島根県	19
5	山口県	14
6	兵庫県	23
7	和歌山県	8
8	京都府	4
近畿・中国		153

9	愛媛県	9
10	香川県	9
11	徳島県	9
四国		27

全体 順番	都道府県	校数（校）
12	愛知県	6
13	静岡県	8
14	福井県	5
15	長野県	4
16	石川県	6
17	岐阜県	1
中部		30

全国（計）	210
-------	-----

◎学科別高校訪問担当者

◎学科別高校訪問担当者

全体 順番	学科名	氏名
1	健康保育	岡本 直行
2		松本 好生
3		梶本 佳照
4		八尋 茂樹
5		芝崎 美和
6		渡部 昌史
7		広瀬 綾子
8		加藤 由美
9		立浪 朋子
10		本渡 葵
11		竹下 可奈子
12		久恒 拓也
13		入江 慶太
14		高橋 彩
15		松島 英恵
16		福武 幸世

全体 順番	学科名	氏名
17	看護	上山 和子
18		土井 英子
19		山本 智恵子
20		礪本 暁子
21		真壁 五月

全体 順番	学科名	氏名
22	地域福祉	松本 百合美
23		井上 信次
24		岡 京子
25		鄭 丞媛
26		三上 ゆみ
27		山内 圭
28		山本 浩史
29		高杉 公人
30		和田 美智代
31		小松尾 京子
32		朴 蕙彬
33		松田 実樹
34		泉 宗孝
35		岸本 由梨枝
36		柳迫 三寛

2. 学生による母校訪問

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により今年度は実績なし。

3. 進学ガイダンス等

令和4(2022)年度に参加した進学ガイダンス・相談会等は、下表のとおりである。

◎ガイダンス参加状況

番号	開催日		担当者				
			会場	高等学校名	その他会場	氏名	人数
	R4(2022) 年						
1	4	12 (火)	村岡		芝崎 美和	1	
2		18 (月)		岡山コンベンションセンター	入江 慶太	1	
3	5	9 (月)		広島中小企業会館	柳迫 三寛	1	
4		20 (金)	呉港		合田 衣里	1	
5		21 (土)	倉敷		三上 ゆみ	1	
6		25 (水)	上郡		松本 好生	1	
7		26 (木)	光		広瀬 綾子	1	
8	6	6 (月)	創志学園		広瀬 綾子	1	
9		6 (月)	倉敷中央		山内 圭	1	
10		9 (木)		庄原市総合体育館	柳迫 三寛	1	
11		14 (火)	一宮		山本 裕子	1	
12		15 (水)		松江テルサ	岸本 由梨枝	1	
13		16 (木)	柏原		松島 英恵	1	
14		20 (月)	倉敷古城池		塩見 和子	1	
15		20 (月)	岡山県共生高校		山内 圭	1	
16		21 (火)	井原		入江 慶太	1	
17		23 (木)	玉島		栗本 一美	1	
18		24 (金)	綾部		立浪 朋子	1	
19	7	2 (土)	柳井		山内 圭	1	
20		5 (火)	林野		泉 宗孝	1	
21		6 (水)	総社南		山野井 尚美	1	
22		6 (水)		岡山コンベンションセンター	磯本 暁子	1	
23		7 (木)	三本松		長宗 武司	1	
24		8 (金)		御坊市市民文化会館	久恒 拓也	1	
25		9 (土)	東洋大学附属姫路		松島 英恵	1	
26		12 (火)	高梁		上山 和子	1	
27		12 (火)	庄原実業		金山 時恵	1	
28		13 (水)	津山東		金山 時恵	1	
29		15 (金)	明誠学院		金山 時恵	1	
30		15 (金)	西大寺		井上 信次	1	
31		20 (水)		四国4県・岡山度合同	岡本 直行、朴 蕙彬	2	
32		25 (月)	尼崎小田		金山 時恵	1	
33	26 (火)	明誠学院		塩見 和子	1		
34	27 (水)	美作		渡部 昌史	1		
35	8	4 (木)	笠岡		芝崎 美和	1	
36		31 (水)		三田市まちづくり協働センター	三上 ゆみ	1	
37	9	5 (月)	明石		高橋 彩	1	
38		16 (金)	新見		岡本 直行、山本浩史 真壁 五月	3	
39		28 (水)		神戸サンボーホール	長崎 恵美子	1	
40		28 (水)	勝山		丸山 純子	1	
41		29 (木)	就実		入江 慶太	1	

42	10	3 (月)		岡山コンベンションセンター	岡 京子	1
43		12 (水)	那賀		礧本 暁子	1
44		13 (木)		広島県立広島産業会館	岸本 由梨枝	1
45		13 (木)	松山中央		岡本 直行、礧本 暁子 長崎 恵美子	3
46		18 (火)	岡山学芸館		礧本 暁子 、長宗 武司	2
47		21 (金)	総社		土井 英子	1
48		28 (金)		岡山国際交流センター	赤田 いづみ	1
49		29 (土)	松山北		土井 英子	1
50	11	9 (水)	山崎		梶本 佳照、柳迫 三寛	2
51		30 (水)	和気閑谷		竹下 可奈子	1
52	12	7 (水)		大洲市民会館	岡本 直行	1
53		8 (水)	玉島		中川 彩見	1
54		7 (水)	呉港		吉田 美穂	1
55		8 (木)	広島観音		柳迫 三寛	1
56		9 (金)		いよてつ高島屋	金山 時恵	1
57		12 (月)		今治地域地場産業振興センター	山内 圭	1
58		13 (火)		新居浜市総合文化施設あかがねミュージアム	岡本 直行	1
59		14 (水)		神戸国際展示場	松島 英恵	1
60		16 (金)		広島県立広島産業会館	本渡 葵	1
61		21 (水)		ジップアリーナ岡山	松田 実樹	1
62		21 (水)	今治東中等教育		金山 時恵	1
63		23 (金)		四国4県・岡山県合同	渡部 昌史	1
R5(2023) 年						
64	2	7 (火)	大東		山内 圭	1
65		8 (水)		十日市きんさいセンター	柳迫 三寛	1
66	3	1 (水)	相生		八尋 茂樹	1
67		3 (金)	鳴尾		小松尾 京子	1
68		4 (月)	玉野		松本 百合美	1
69		6 (土)	米子北		木下 香織	1
70		11 (土)	岡山県共生		三上 ゆみ	1
71		14 (火)	佐用		梶本 佳照	1
72		15 (水)	岡山県美作		梶本 佳照	1
73		15 (水)	東洋大学附属姫路		礧本 暁子	1
74		17 (金)	米子松陰		礧本 暁子	1
75		17 (金)		中四国オンライン説明会	竹下 可奈子	1
76		22 (水)	飾磨		礧本 暁子	1
計			54校	22箇所	43人	83

4. 入試説明会

本学及びピュアリティまきび（オンラインシステムを使用しての同時開催）で高校生、保護者、高校教員等を対象に入試説明会を実施した。

■岡山県新見市・岡山市

日 時：2022年6月28日

会 場： ①新見公立大学 学術交流センター 交流ホール

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

②ピュアリティまきび

〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井4162

本学出席者：公文、小田、斎藤、上山、金山、岡本直行、松本百合美、土井、泉、梶本、丸山、

吉田美穂、高橋、安藤、長崎、山内、高杉、石田、三上

岡山会場従事者：芝崎、渡部、山本智恵子、栗本、柳迫、井上、岡、松田、久恒、入江、山根

対 象 者：高校生、保護者、高校教員

参加高校教員数：12人(高校生1人、保護者2人、高校教員9人)

(2) オープンキャンパス

◎令和4(2022)年度オープンキャンパス参加者数

単位：人

	7/24 (日)				8/7 (日)				8/21 (日)				合計			
	参加学生	男子学生	同伴者	計	参加学生	男子学生	同伴者	計	参加学生	男子学生	同伴者	計	参加学生	男子学生	同伴者	計
健康保育学科	24	(2)	19	43	42	(1)	28	70	23	(1)	17	40	89	(4)	64	153
看護学科	93	(3)	72	165	119	(6)	98	217	69	(1)	58	127	281	(10)	228	509
地域福祉学科	24	(5)	17	41	31	(14)	22	53	26	(8)	25	51	81	(27)	64	145
助産学専攻科	2	(0)	0	2	3	(0)	3	6	3	(0)	0	3	8	(0)	3	11
大学院(地福)	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0
合計	143	(10)	108	251	195	(21)	151	346	121	(10)	100	221	459	(31)	359	818

(3) 学報「まんさく」

令和4(2022)年度は、「まんさく」を大学としての広報誌と位置付け、次の日程および内容で各6,500部発行し、同窓生および在学生の保護者に送付した。また、新見市内の事業所等に置いていただき、新見市内全戸に回覧を行った。その他大学関係者にも適宜配付を行った。

63号 R4(2022).9 発行

- ・特集：NiU 新見駅西サテライトオープン
- ・各学科での取り組み紹介
- ・活躍している同窓生
- ・教員の活動紹介（教育支援センター長・高月教恵・健康福祉学科特任教授）
- ・同窓会だより
- ・お知らせ（大学院改組・大学バス紹介他）

64号 R5(2023).3 発行

- ・特集：With/Post コロナ
- ・Events & News 各学科の取り組み紹介
- ・活躍している同窓生
- ・教員の活動紹介（地域福祉学科教授・高杉公人）
- ・同窓会だより
- ・お知らせ（学術交流センター棟エレベーター増設他）

(4) ホームページ

大学のホームページの最も大きな役割は大学活動の広報です。どのような取り組みを行っているか、どんな学校行事があるかなどを知ってもらうということが非常に重要であるため、本学においてもホームページ（<https://www.niimi-u.ac.jp>）を開設して、受験生や保護者、一般市民に本大学の魅力を伝え、活動への信頼と理解を得るとともに、在学生にはタイムリーな情報を提供している。特に、受験シーズンである11月～3月と入学直後の4月にアクセス数が増加する傾向があるため、入試情報、修学情報、生活情報など学生ニーズに対応した内容を魅力的に紹介できるよう各学科を中心に計画的かつ速やかな情報更新に努めている。

また、学校教育法、地方独立行政法人法等の法令に基づき、業務内容（方法）、理事の任解、報酬・給与・手当、中期計画、年度計画、財務諸表、自己点検・評価結果、中期計画期間実績、年度実績、認証評価など、多くの情報について公開が義務付けられており、これらの公開を行う最大の手段（ツール）としてホームページを利用するとともに、教職員募集などの法人としての必要な社会に対する手続の透明性確保においても最大限活用しており、非常に重要な役割を担っている。

◎令和4(2022)年度のホームページアクセス数

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
100,359	90,102	101,995	64,651	39,281	78,657	103,776	110,591	113,708

1月	2月	3月	計
159,658	142,371	130,384	1,235,533

(5) メディアでの新見公立大学 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)

報道者別件数

備北民報 135 件、山陽新聞 33 件、市報にいみ 18 件、読売新聞 1 件、朝日新聞 1 件

【市報にいみ】「新見公立大学での学び」
看護学科 4 年有井さん
まちの話題「3/19 新たな門出を祝う」新
見公立大学卒業証書・学位記授与式
4 月号

「電子ピアノ役立てて」3/22 東亜電工と
トマト銀行が新見公立大に電子ピアノを
贈呈

2022. 4. 1 山陽新聞

「祝 竣工「えきよこ」NiU 新見駅西サ
テライト」新築工事」公文学長の挨拶、
「えきよこ」概要

2022. 4. 1 備北民報

「専門職目指し 201 人が入学」4/9 新見
公立大学入学式を実施、新体制の完成年
度がスタート

2022. 4. 12 備北民報

「駅西サテライトがオープン」内覧会・イ
ベント参加を市民に呼び掛け 2022. 4. 12
備北民報

「契約内容よく確認を」4/8 新見警察署
生活安全刑事課の戸川係長が新入生に防
犯講和

2022. 4. 13 備北民報

「「なごみ」など愛称決定」4/11 駅西サ
テライト 3 セクションの愛称が決まり、
お披露目会と表彰式が行われた。

2022. 4. 14 備北民報

「子育て支援、にぎわい創出」新見公立
大が「発達支援センター」「ラウンジ」
「交流広場」を新見駅前に開設

2022. 4. 16 山陽新聞

「市民と交流のキャンパスに」4/17 駅西
サテライトがオープン 2022. 4. 19
備北民報

「親子でボードゲームに歓声」4/17 駅西
サテライトでトライアルイベントが始ま
った。

2022. 4. 19 備北民報

「「なるたき」第 4 号配布」公立大生が編
集、新見の魅力発信 2022. 4. 20
備北民報

「花まつり本番に備える」4/17 田治部み
らい会が花の種まきを行い、新見公立大生
15 人が参加 2022. 4. 20
備北民報

「地元産材ではしご下り」4/18 にいみ木
のおもちやの会がからくりおもちゃ「はし
ご下り」を新見保育所へ贈呈。デザインは
新見公立大学の岡本直行教授や学生らが考
案。

2022. 4. 21 備北民報

「竹キャンドルで世代間交流を」4/24NiU
新見駅西サテライトの第 2 回トライアルイ
ベント開催され、市内の親子ら 20 人が参
加した。

2022. 4. 28 備北民報

【市報にいみ】「強く・凛々しく・逞しく
～羽ばたけ！不死鳥のように～」

健康保育学科 3 年戸田さん

まちの話題「4/17NiU 新見駅西サテライト
オープン」市民と学生の交流の場に
5 月号

「養老さんと隈さん対談」5/1 養老孟司さ
んと隈研吾さんによる特別対談が行われ、
公文裕巳新見公立大学長があいさつした。

2022. 5. 7 備北民報

「かしわ餅作りなど楽しむ」5/1NiU 新見駅
西サテライト第 3 回トライアルイベントが
催され、市内の親子 21 人がかしわ餅とこい

のぼりバッグ作りに取り組んだ。2022. 5. 7
備北民報

「誰もが楽しめる鳴滝祭に」新見公立大学の第 24 回鳴滝祭が 5 月 21 日(土)と 22 日(日)に開かれ、学生有志でつくる実行委員会が準備を進めている。
2022. 5. 10 備北民報

「時間を忘れて熱中」5/3 にいみ木のおもちの会が「みんなであそぼっ」を催し、新見公立大学の学生 16 人がボランティアとして参加した。
2022. 5. 10 備北民報

「12 日(木)からにこたん出張」新見公立大学の親子交流ひろば“にこたん”が NiU 新見駅西サテライトの子ども交流広場「ひだまり」に出張する。
2022. 5. 10 備北民報

「竹コースに木の車走らす」5/5 にいみ木のおもちの会主催の体験イベント「みんなでつくろっ!!」があり、新見市内外の親子、新見公立大学生と一般のボランティアらを合わせて約 20 人が集まった。
2022. 5. 12 備北民報

「まつりに備え花の植え替え」5/17 大佐田治部の田治部みらい会は、花の植え替え作業を行い、新見公立大学生 15 人が手伝った。
2022. 5. 12 備北民報

「親子で楽しい一時」5/12 新見公立大の親子交流ひろば“にこたん”が、NiU 新見駅西サテライト内の子ども交流広場「ひだまり」で出張ひろばを開いた。
2022. 5. 14 備北民報

「横顔」鳴滝祭実行委員長戸田さん
2022. 5. 17 備北民報

「「鳴滝祭」盛り上がり」新見公立大学の大学祭「鳴滝祭」が、新見市民に限り来場可能で 21、22 日に開催。
2022. 5. 19 山陽新聞

「往時の人々の生活音は」5/18 新見公立

大学地域福祉学科 2 年が、新見本町・中町の御殿町かいわいを訪ね、大正から昭和に掛けて栄えた街並みを散策した。

2022. 5. 21 備北民報

「岡山の大学へ行こう！」2022 オープンキャンパス・学校説明会ガイド 2022. 5. 22
山陽新聞

「明るい未来に希望持とう」5/21, 22 新見公立大学第 24 回鳴滝祭が 2 年ぶりに地域住民に公開し、交流の輪を広げた。

2022. 5. 23 備北民報

「目玉のお笑いライブに 300 人」5/21 鳴滝祭初日にお笑いライブがあり、約 300 人が県ゆかりのコンビ 2 組と人気芸人の話芸やパフォーマンスを存分に楽しんだ。

2022. 5. 23 備北民報

「バンドーラの魅力伝えたい」5/17 新見公立大学の広瀬綾子准教授と学生 2 人は、新見保育所を訪れて手作りしたバンドーラの演奏を披露した。

2022. 5. 24 備北民報

「マイナンバー制度に登録を」5/21 岡山県と新見市は、新見公立大学の協力を得てマイナンバーカードに関する相談会を開催した。

2022. 5. 24 備北民報

「二酸化炭素ゼロ実現へ」5/27 新見公立大学とガットは、ゼロカーボン、レジリエンス強化などを盛り込んだ協定を締結した。

2022. 5. 28 備北民報

「防災力強化へ連携協定」5/27 新見公立大とガットは、温室効果ガスの排出実質ゼロや災害時の防災力強化に向け、連携して取り組む協定を交わした。

2022. 5. 31 山陽新聞

「シナモン目当てに長蛇の列」5/29 新見美術館で開かれている「ふわふわシナモール展」の特別企画が公立大学内の地域共生センター棟講堂で催された。

2022. 5. 31 備北民報

「**公文学長の講話も**」5/24 県退職公務員連盟新見支部は、公立大学内の地域共生推進センター棟で総会を開催。総会前に、公文裕巳学長が「新見公立大学のめざすところ」と「中高年の排尿トラブルについて」と題して話した。

2022. 5. 31 備北

民報

「**薬剤師の講演**」5/25 新見市社会福祉協議会は、地域福祉センターでピオーラカフェを開き、公立大学の学生 5 人が企画コーナーで参加者と交流した。

2022. 5. 31 備北民報

【**市報にいま**】「新見公立大学で学んだこと」

地域福祉学科 4 年 亀山さん

特集「**NiU 新見駅西サテライト**」

まちの話題「5/21・22 学生が一致団結して盛り上げる」新見公立大学 第 24 回鳴滝祭

6

月号「**運動と食事で筋力アップを**」5/26 西方公民館と新見公立大学は、西方ふれあいセンターで「サテライト・デイ」を開いた。

2022. 6. 3 備北民報

「**本格運用に備え、時間変更**」新見公立大学の NiU 新見駅西サテライトは、利用時間などを変更。

2022. 6. 4 備北民報

「**利用増へ促進策必要**」6 月定例新見市議会は、一般質問を続行し、市側は NiU 新見駅西サテライトについて、利生促進に向けた取り組みが必要との認識を示した。

2022. 6. 16 山陽新聞

「**行革推進本部 7 月に設置**」6 月定例市議会は一般質問最終日を行い、5 人の議員が執行部の政治姿勢をただした。

2022. 6. 16 備北民報

「**23 組がダブルスで熱戦**」6/12 第 17 回セムラススポーツ杯バドミントン大会が、新見公立大学体育館で行われ、選手がダブルスで熱戦を繰り広げた。

2022. 6. 17 備北民報

「**フードドライブで支援**」6/10 コロナ禍で経済的に困っている学生を支援しようと、新見市社会福祉協議会は市民から寄付があった米などの食料品を新見公立大学生に無料で配った。

2022. 6. 17 備北民報

「**新見公立大生に食料品**」6/10 新見市社会福祉協議会は、新型コロナウイルス禍で経済的な打撃を受けている新見公立大の学生を支援するため、寄付で集まった食料品などを希望する学生に配布した。

2022. 6. 17 山陽新聞

「**覚せい剤や大麻は怖い**」6/15 新見公立大学の学生生活支援センターは、今年度の入学生を対象に、薬物乱用防止の講演会を開いた。

2022. 06. 18 備北民報

「**岡山の大学へ行こう！vol.1 地元大学の魅力**」「地域共生社会築く人材育成」

2022. 6. 19 山陽新聞

「**学生の接種率 84.5%に**」6/17 新見公立大学の保健管理センターは、学生の新型コロナウイルス感染症抑制のため、1 年生を対象に 3 回目のワクチン接種を行った。

2022. 6. 20 備北民報

「**井倉洞インスタで集客を**」「井倉洞」の運営会社は、まちづくりに関心がある新見公立大と岡山大の学生を相次いで招き、集客に向けたアイデアを求めた。

2022. 6. 21 山陽新聞

「**大学生らが和紙で短冊作り**」6/25 神郷下神代の夢すき公園を拠点に神代和紙保存会が実施する「かみさま夢風鈴」を前に、ガラスの風船を飾る神代和紙のキットや短冊をボランティアの新見公立大生らに準備

してもらった。

2022. 6. 28 備北民報

【市報にいま】「助産学専攻科での学び」

助産学専攻科 安原さん 7
月号

「豪華寝台列車「瑞風」が新見市へ」7/2
JR西日本の豪華寝台列車「トワイライト
エクスプレス・瑞風」が新見駅に停車し、
列車を降りた乗客を新見公立大学生や市職
員が接待した。

2022. 7. 4 備北民報

「食費に限り 3000 円分」7/4 新見公立大
学の学生生活支援センターは、全学生 770
人に新見市内で利用できる地域共通商品券
「たまがき券」を贈った。

2022. 7. 5 備北民報

「親子で体を動かそう！」新見公立大学の
地域共生推進センターは、7 月 16 日から
NiU 新見駅西サテライト開催するストレッ
チ・ダンス講座 NiU の参加者を募集。

2022. 7. 5 備北民報

「新見に「瑞風」市民歓迎」7/2 豪華寝台
列車「トワイライトエクスプレス・瑞風」
が新見駅に停車し、乗客らは新見公立大の
学生らに案内されて「NiU 新見駅西サテラ
イト」に移動した。

2022. 7. 6 山陽新聞

「経済負担軽減へ 全学生に商品券」7/4
新見公立大は、長引く新型コロナウイルス
禍や物価高騰などで学生の経済的負担が増
していることを踏まえ、全学生 770 人を対
象に、学内の店舗で食料品が購入できる商
品券の配布を始めた。

2022. 7. 6 山陽新聞

「移住・定住テーマに決定」7/13 新見市
地域審議会の委員委嘱式と今年度の初会合
が市役所で開かれた。今回、新たに加わっ
た新見公立大学生ら委員が自己紹介した。

2022. 7. 6 山陽新聞

「「ゆめラウ」応援します」7/12 新見おか
みさんは、NiU 新見駅西サテライトのス
タディラウンジ「ゆめラウ」に、調理器具
などを寄贈した。

2022. 7. 15 備北民報

「岡山の大学へ行こう！vol.2 輝く大学
生」地域福祉学科 2 年平畑さん 2022. 7. 17
山陽新聞

「環境計画策定に審議会設置」7/15 新見
市は第 3 次新見市環境基本計画(仮称)の策
定に向けて環境保全審議会を設置し、市役
所南庁舎で委員委嘱式と第 1 審議会を開い
た。

2022. 7. 19 山陽新聞

「調理器具など 300 点贈る」7/12 新見市
内の女性有志でつくる「新見おかみさん会」
は、新見公立大が運営する「NiU 新見駅西
サテライト」に、約 300 点の調理器具や食
器などを贈った。

2022. 7. 20 山陽新聞

「「中村賞」表彰や講演」7/14 新見市青少
年育成センターの非常勤青少年育成員連絡
協議会は、市役所南庁舎で研修会を開き、
「明日を生きる子どもの力～子どもの育ち
を考える」と題し、新見公立大学の芝崎准
教授が講演した。

2022. 7. 20 備北民報

「7 月 30 日(土)に活動紹介」新見公立大
学の地域共生推進センター S A は 7 月 30
日(土)午後 0 時半から、学内の同センター
棟講堂で「新見のためにできること」をテ
ーマに学生版鳴滝塾を開く。

2022. 7. 21 備北民報

「学生グループの地域活動を紹介」7/30
新見公立大の学生グループが取り組んでい
る地域活動を紹介する「学生版鳴滝塾」が
同大で開かれ、企画した学生有志が来場を
呼び掛けている。

2022. 7. 23 山陽新聞

「**充実の実習施設に驚き**」7/24 新見公立大学は、オープンキャンパスを開催。教職員や在学生在が県内外から訪れた高校生と保護者らに同大学の魅力を伝えた。

2022. 7. 28 備北民報

「**和牛とたたら製鉄テーマに**」8/6 午後2時から、新見公立大学地域共生推進センター「鳴滝塾」Vが、中国山地の和牛とたたら製鉄をテーマに学内の同センター棟講堂で開かれる。

2022. 7. 28 備北民報

【市報にいみ】「新見で過ごす日々に感謝して」

健康保育学科4年白波瀬さん 8月号

「**就学前幼児木に親しむ**」7/17 就学前の幼児と保護者を対象にしたイベント「このはの森」がNiU新見駅西サテライトで開かれ、大勢の人でにぎわった。

2022. 8. 2 備北民報

「**新見のためにできることは**」7/30 学生版鳴滝塾が、新見公立大学の地域共生推進センター棟講堂で初めて開かれた。

2022. 8. 3 備北民報

「**国家試験の合格率高い**」7/27 新見市地方独立行政法人評価委員会は、新見公立大学の2021年度事業実績を市長に報告した。

2022. 8. 3 山陽新聞

「**国家試験 100%合格など評価**」7/27 新見市地方独立行政法人評価委員会は、市長室で新見公立大から提出があった昨年度事業実績の評定結果を報告した。

2022. 8. 3 備北民報

「**大学生とソバの種まきで交流**」7/31 八鳥・大野部地区社会福祉協議会は、哲西町大野部地内で新見公立大学の学生らとソバの種まきを行って交流した。

2022. 8. 6 備北民報

「**和牛と製鉄に関心深める**」8/6 地域共生

推進センター鳴滝塾が講堂であり、市内外の参加者が和牛とたたら製鉄に関心を深めた。

2022. 8. 13 備北民報

「**親子ら楽しく体動かす**」8/13 新見公立大学のリズムダンスとストレッチの講座が、NiU新見駅西サテライトのこども交流広場「ひだまり」で開かれた。

2022. 8. 22 備北民報

【市報にいみ】「新見での大学生活を振り返って」看護学科3年藤井さん 9月号

「**巨大すごろく楽しく遊ぼう**」地域共生推進センターは9月18日(日)にNiU新見駅西サテライトこども交流広場「ひだまり」で、トライアルイベントIV「ようこそ！きょだいすごろくの部屋」を開く。

2022. 9. 1 備北民報

「**7月開始から実績伸ばす**」新見公立大学の地域子育て支援拠点「にいみ子育てカレッジ運営協議会」がNiU新見駅西サテライトで提供している一時預かりが、利用実績を伸ばしている。

2022. 9. 16 備北民報

「**地域福祉学専攻を新設**」公立大学法人新見公立大は2023年度から、大学院の看護学研究科を「健康科学研究科」に改称し、新たに地域福祉学専攻を設け、2専攻制とする。

2022. 9. 17 山陽新聞

「**岡山の大学へ行こう！vol.3 活躍する卒業生**」2014年看護学科卒業生が県内の医療機関で活躍。

2022. 9. 18 山陽新聞

「**来年から新しい大学院へ**」公立大学法人新見公立大学は大学院を改組。来年4月から看護学研究科の名称を健康科学研究科に変更し、地域福祉学専攻(修士課程)と看護学専攻に博士後期課程を新設。

2022. 9. 22 備北民報

「一室すごろくに多世代交流」9/18 新見
公立大学の地域共進推進センターは、NiU
新見駅西サテライトでトライアルイベント
IV「ようこそ！きょだいすごろくの部屋」
を開いた。

2022. 9. 22 備北民報

「対話をかく力を学ぶ」9/16 新見公立大
学は、NiU 駅西サテライトで第 1 回市民講
座「対話をかく力」を開き、市内外の男女
18 人が参加した。

2022. 9. 27 備北民報

「安心健康な職場づくりを」9/22 衛生管
理講習会で、看護学科の山野井尚美准教授
が「職場のメンタルヘルス」と題して特別
講演。

2022. 9. 29 備北民報

【市報にいま】「実習を終えて」

地域福祉学科 3 年本田さん

まちの話題「9/18 ミッションにチャレン
ジしてゴールを目指そう」学生企画「きょ
だいすごろくの部屋」

10 月号

「中山間地域の現状を考える」9/21 新見
公立大学地域福祉学科 1 年生は、福祉サー
ビス入門実習の帰路で JR 芸備線に乗り、
中山間地域の公共交通機関の現状と存在意
義について考えた。

2022. 10. 3 備北民報

「まちづくり審議会 7 人を委嘱」10/6 新
見市は市役所で第 8 期まちづくり審議会委
員 7 人の委嘱式を行った。山本浩史教授も
委嘱された。

2022. 10. 10 備北民報

「自己紹介で打ち解ける」10/4 新見市国
際交流協会は、今年度初回の英語講座をス
タート。山内圭教授を進行役に、学生や社
会人と ALT が交流した。

2022. 10. 10 備北民報

「カフェ来客の反応は」10/1「コンコンイ
ルズ・カフェ」が 10/22 に開店するのを前

に、同店をプレオープンさせて来店客の反
応を探った。

2022. 10. 10 備北民報

「新見市街地で土下座まつり」10/15「土
下座まつり」が行われ、新見公立大学の学
生有志もおはやしなどで行列に加わった。

2022. 10. 17 備北民報

「300 年の伝統 大名行列練る」10/15 新
見で 3 年ぶりに「土下座まつり」が行わ
れ、新見公立大生による囃子もまつりムー
ドを盛り上げた。

2022. 10. 18 山陽新聞

「最期まで食べて幸せに」10/16 新見地域
医療ネットワークと新見公立大学は講演会
「食はいのち、生きること～食べる幸せを
まもりたい」を同大学講堂で開いた。

2022. 10. 19 備北民報

「変化する音楽の歴史学ぶ」9/30 新見公
立大学は、第 2 回市民公開講座「時代を反
映して変化する音楽」を学术交流センター
で開き、市民 18 人が受講した。

2022. 10. 19 備北民報

「協働で初の地域発見企画」新見公立大
学の学生サークル、ちびデポを岡山県退職公
務員連盟新見支部の地域貢献ボランティア
部は、10/29 に地域の自然、歴史、文化の
再発見と新発見をテーマに「みんなのひろ
ば」を開催する。

2022. 10. 22 備北民報

「終末期の食事「口から」大切」10/16 新
見公立大で、終末期の食事をテーマにした
講演会「食はいのち、生きること」が開か
れ、食事支援の重要性を訴えた。

2022. 10. 19 備北民報

「最期まで食べて幸せに」10/16 新見地域
医療ネットワークと新見公立大学は講演会
「食はいのち、生きること～食べる幸せを
まもりたい」を同大学講堂で開いた。

2022. 10. 19 備北民報

「ドキドキ森のゆうえんち」第5回森のゆうえんち in にいみが11/6(日)、学生有志でつくる実行委員会主催で開かれる。

2022. 10. 27 備北民報

「今日から新見市文化展」第45回新見市文化展が10/28(金)、まなび広場に始まり、10/29(土)午前10時から裏千家流茶道の部員と新見公立大学の学生が抹茶を振る舞う。

2022. 10. 28 備北民報

「施設見学し学生と交流」福本公民館は、バスツアー「新見公立大学へ行こう」を行い、地区民18人が同大学の施設を見学し学生と交流した。

2022. 10. 31 備北民報

「まちおこしに一役」10/22新見公立大学生が手掛ける「コンコンイルズ・カフェ」が新見中町の太池邸にオープンし、地域のまちおこしに一役買った。

2022. 10. 31 備北民報

「菓子作りとポッチャ体験」10/19新見公立大学の地域福祉学科1年生は、高尾ふれあいセンターで高尾学区の住民と親睦を深めた。

2022. 10. 31 備北民報

【市報にいみ】「将来の夢」

健康保育学科2年高岡さん 11月号

「延世大と学部間学術交流協定」10/28新見公立大学は、韓国の延世大学と少子高齢化が進む両国の課題解決に向けた取り組みを進める。

2022. 11. 1 備北民報

「保健福祉分野で協力」10/28新見公立大の健康科学部と韓国・延世大の保健行政学部は、保健福祉分野での教育や研究で協力することを盛り込んだ学術交流協定を結んだ。

2022. 11. 1 山陽新聞

「多世代の居場所つくろう」10/23新見公

立大学のむすびの会は、NiU新見駅西サテライトでむすびの場交流会を開き、市民と交流した。

2022. 11. 2 備北民報

「鍾乳洞の魅力や工作学ぶ」10/29地域の歴史や魅力を学び合い交流を深めるイベント「みんなのひろば」が、NiU新見駅西サテライトで始まった。新見公立大学のちびデポと岡山県退職公務員連盟新見支部が共催。

2022. 11. 11 備北民報

「なるたき」第5号発行 11/1新見公立大学生らで作る「なるたき」第5号が発行され、学生4人が岡山県共生高校で配布式を行った。

2022. 11. 15 備北民報

「楽しく歩いて健康づくりを」11/3上市地区社会福祉協議会と新見公立大学地域福祉学科は、上市健康ウォーキングを催し、学生考案のコースを歩いた。

2022. 11. 17 備北民報

「平和願い 奏でる自作バンドーラ」月田小学校の児童たちが、ウクライナの民族楽器をアレンジした「バンドーラ」を制作。新見公立大の広瀬綾子准教授らが児童たちを指導した。

2022. 11. 18 朝日新聞

「不登校テーマ 先着150人募集」新見公立大学地域共生推進センターは12/3講堂で鳴滝塾VIを開催。

2022. 11. 19 備北民報「親子で楽しめる工夫好評」11/6新見公立大学生有志でつくる実行委員会主催の「第5回森のゆうえんち in にいみ」が新見公立大学体育館で開かれた。

2022. 11. 22 備北民報

「正月飾り作ろう！」新見公立大学のちびデポと岡山県退職公務員連盟新見支部は11/26、NiU新見駅西サテライトで「みんなのひろば」を開催。

2022. 11. 22 備北民報

「**患者の容態が急変！**」11/5 岡山大学医療人キャリアセンターMUSCAT サテライトオフィス PIONE は、新見公立大学地域共生推進センター棟で「シュミレーショントレーニング in 新見」を実施。サポート役の公立大看護学科教員らが参加した。

2022. 11. 22 備北民報

「**正しい食習慣を身に付けて**」11/19 新見市栄養改善協議会は、NiU 新見駅西サテライトスタジオでフードセミナーを開催。公立大生が参加。

2022. 11. 24 備北民報

「**33 人が試験に挑み 1.8 倍**」11/26 新見公立大学は、地域福祉学科の学校推薦型選抜を実施。

2022. 11. 28 備北民報

「**Clover、公立大がV**」11/23 第 35 回大佐男女混合バレーボール大会が開かれ、B リーグは新見公立大学が頂点に立った。

2022. 11. 28 備北民報

【市報にいま】「地域交流を通じて」
地域福祉学科 2 年工藤さん 12
月号 「**一足早く正月飾り仕上げる**」
11/26 新見公立大学のちびデポと駅西サポ共催の「みんなのひろば」が開かれ、正月の飾り作りを通して交流した。

2022. 12. 2 備北民報

「**地域福祉に 18 人が合格**」12/2 新見公立大学 2023 年度学校推薦型選抜のうち地域福祉学科の合格者を発表した。

2022. 12. 3 備北民報

「**ゆめぼけっと準備進む**」新見公立大学健康保育学科は、12/10 に「にいまゆめのぼけっと 2022」を開催する。

2022. 12. 6 備北民報

「**しめ縄、ミニ門松できた**」11/26 新見公立大「ちびデポ」と県退職公務員連盟新見支部の「駅西サポ」は、正月飾り用のしめ縄やミニ門松を作る教室を開いた。

2022. 12. 9 山陽新聞

「**子どもの不登校を考える**」12/3 新見公立大学の鳴滝塾が開かれ、岡山大学病院小児医療センター小児心身医療科の岡田あゆみ科長が講演した。

2022. 12. 13 備北民報

「**公立大生が読み聞かせ**」12/4 高尾学区福祉ネットワーク推進会は、「えほんのせかいでメリークリスマス」を開催し、新見公立大学生有志 10 人が読み聞かせた。

2022. 12. 13 備北民報

「**猿田彦面や大蛇の頭など**」12/7 福本神楽同好会は、新見公立大学へ猿田彦の神楽面や大蛇の頭などを寄贈した。

2022. 12. 17 備北民報

「**舞台とあそびで集大成**」12/10 新見公立大学健康保育学科は、「にいまゆめのぼけっと 2022」を開催した。 2022. 12. 16
備北民報

「**そっと近付き優しい声で**」12/10 高尾学区連合町内会は、認知症行方不明者捜索訓練の研修会を開催し、新見公立大学の教員から認知症について学んだ。

2022. 12. 20 備北民報

「**幻想空間 3.3 万球で演出**」12/17 新見駅前連合会町内会は、西方の駅前広場を中心にイルミネーションを点灯。セレモニーでは新見公立大学の公文学長と学生 12 人もスイッチを入れた。

2022. 12. 20 備北民報

「**明かり見て心温かく**」12/17 新見公立大学と同大学後援会は、3 号館玄関前でイルミネーションの点灯式を行った。

2022. 12. 20 備北民報

「**知識を深めて備えよう**」12/11 田治部みらい会は、旧田治部小学校体育館で防災訓練を行い、地域福祉学科 3 年生と担当教員の約 20 人が講師を務めた。

2022. 12. 21 備北民報

「**幻想空間 3.3 万球で演出**」12/17 新見駅

前連合会町内会は、西方の駅前広場を中心にイルミネーションを点灯。セレモニーでは新見公立大学の公文学長と学生 12 人もスイッチを入れた。

2022. 12. 20 備北民報

「**地域との絆さらに深めて**」12/12 新見公立大学の地域共生推進センターと SA は、第 8 回 NiU 駅西交流棟プロジェクト・ワークショップを開いた。

2022. 12. 22 備北民報

「**学生に 2000 円分の商品券**」12/19 学生の経済対策支援として、新見公立大学は全国共通ギフトカードの贈呈式を行った。

2022. 12. 24 備北民報

「**コロナ禍の学生を支援**」12/21 新見市社会協議会は、コロナ禍で困窮している新見公立大学の学生を支援するため食品などを寄贈した。

2022. 12. 27 備北民報

「**心穏やかに新年迎えて**」新見野田の西来寺はおおみそかの夜、参道や境内を竹灯籠でライトアップする。ボランティアで新見公立大学の学生が準備に参加。

2022. 12. 27 備北民報

「**竹灯籠で出迎え**」新見市新見の西来寺は 31 日深夜、参道を 108 基の竹灯籠で照らす。ボランティアで新見公立大学の学生が製作や試験点灯に参加した。

2022. 12. 27 備北民報

「**備北回顧 2022 4～6 月**」4/17 新見公立大が発達支援センター開設。2022. 12. 27 備北民報

「**読者が選ぶ 2022 年新見市 10 大ニュース**」第 3 位 NiU 新見駅西サテライト開所。

2022. 12. 30 備北民報

【**市報にいみ**】「新見公立大学に入学して」

看護学科 1 年宮田さん

特集「新見公立大学 NiU 新見駅西サテライトを紹介します！」7～10 月に行われたイ

ベントなどをピックアップ。

1 月号

「**少子高齢化の地域に活気を**」新見公立大学の学生が地域に出向き、3 学科の特性も生かしてさまざまな活動を展開。

2023. 1. 1 備北民報

「**新見公立大生に食料品**」12/21 新見市社会福祉協議会は、新型コロナウイルス禍や物価高騰などが生活に影響する新見公立大の学生に、市民らから寄せられた食料品を贈った。

2023. 1. 13 山陽新聞

「**学生の暮らしを支援**」新見公立大は、物価高を受けた学生の生活支援策として、在籍する 762 人を対象に一人二千円分の QUO カードを贈る。

2023. 1. 13 山陽新聞

「**お囃子と備中神楽を習得**」新見公立大学地域福祉学科の第 14 回地域文化実習発表会が 1 月 20 日(金)午後 2 時から、地域共生推進センター棟講堂で開かれる。

2023. 1. 14 備北民報

「**育てたそばを打って食べる**」1/11 新見公立大学地域福祉学科 1 年生は、神郷公民館高瀬分館で地域住民とそば打ちに取り組んだ。

2023. 1. 14 備北民報

「**新見駅前をマステで飾ろう**」新見まちづくりカンパニーと新見公立大学地域共生推進センターは 1 月 29 日(日)、JR 新見駅前をマスキングテープで飾る子ども向けイベント「にいみマスキングプレイス～みんなで楽しむマスキングアート体験」を催す。

2023. 1. 18 備北民報

「**看護奨学金制度の財源に**」1/20 看護学生奨学支援金給付制度の財源にしてもらおうと、新見医師会は新見市に 180 万円を寄付した。受給者は新見公立大学生など。

2023. 1. 21 備北民報

「**お囃子と備中神楽を披露**」1/20 新見公

立大学地域福祉学科 2 年生は、地域共生推進センター棟講堂で第 14 回地域文化実習発表会を催した。

2023. 1. 25 備北民報

「コンコンイルズ 2 回目オープン」新見公立大学の学生が手がけるカフェ「コンコンイルズ」が 1 月 28 日(土)、新見中町の旧商家・太池邸にオープンする。

2023. 1. 25 備北民報

「看護師育成に役立てて」1/20 新見医師会は、市が設けている「看護学生奨学支援金給付制度」の原資として 180 万円を寄付した。2022 年度は、新見公立大などに通う学生 17 人が受給している。

2023. 1. 25 山陽新聞

「安全にスキー楽しんで」1/23、1/24 新見公立大学のスポーツ実習が千屋花見のいぶきの里スキー場で行われ、看護学科 1 年生がスキーとの知識や技術を学んだ。

2023. 1. 27 備北民報

「マステでまちを彩ろう」新見まちづくりカンパニーと新見公立大学地域共生推進センターは 1 月 29 日(日)、JR 新見駅前「にいみ「マスキングプレイス～みんなで楽しむマスキングアート体験」を催す。

2023. 1. 28 備北民報

「マステでまちをデコる」1/29 JR 新見駅前でカラフルなマスキングテープを使って建物やバスのデコレーションイベントが新見まちづくりカンパニーと新見公立大学地域共生推進センター主催開かれた。

2023. 1. 31 備北民報

「保健師が講和 大学生企画も」1/25 新見市社会福祉協議会は、地域福祉センターで第 9 回ピオーラカフェを開いた。新見公立大学生がクイズで参加者と交流した。

2023. 1. 31 備北民報

「想像以上のクオリティー」1/26 新見公立大学生が、高尾のアパート敷地内に「カオナシ」の雪像を作り、近所の住民を和ませ

た。

2023. 1. 31 備北民報

「地域文化や芸能学習成果を披露」1/20

新見公立大の地域福祉学科は、学生たちが練習を積んだ囃子と備中神楽の発表会を地域共生推進センターで開いた。

2023. 1. 31 山陽新聞

【市報にいみ】「大学生になって」

健康保育学科 1 年古賀さん 2 月号

「看護 2.6 倍、保育 1.6 倍に」1/31 新見公立大学健康保育学科と看護学科の学校推薦型選抜試験が行われ、受験生 106 人が小論文と面接に挑んだ。

2023. 2. 1 備北民報

「カフェに 80 人が来店」1/28 新見公立大学生が手がけたカフェ「コンコンイルズ」が、新見中町の旧商家・太池邸に再オープンした。昨年 10 月に続いて 2 回目。

2023. 2. 1 備北民報

「バスや建物 マステで彩る」1/29 バスや建物にマスキングテープを貼って楽しむイベント「にいみマスキングプレイス」が JR 新見駅周辺で繰り広げられ、大勢の家族連れらが楽しんだ。

2023. 2. 8 山陽新聞

「SA 学生に草間の魅力伝える」2/5 草間カルスト里山の会は、新見公立大学の地域共生推進センターで SA を務めている学生を招き、地元の特徴と魅力を伝えた。

2023. 2. 9 備北民報

「手打ちうどんや大学生カフェも」来る 3 月 3 日～6 日に開催される「新見御殿町のひなめぐり」の第 3 回準備会が開かれた。新見公立大生によるカフェ「コンコンイルズ」も予定している。

2023. 2. 10 備北民報

「学生にまちの魅力を案内」2/5 新見公立大学生に新見市の魅力を知ってもらおうと、新見 YEG・新見商工会議所青年部は、

観光案内バスツアーを催した。

2023. 2. 10 備北民報

「**保育と看護各 25 人に “春”**」 2/10 新見公立大学は、2023 年度学校推薦型選抜(健康保育・看護学科)合格者を発表。

2023. 2. 11 備北民報

「**学生と卒業生ら初協演共演**」 2/11 チャリティーコンサート「新見市民と学生による音楽の集い」が、地域共生推進センター棟講堂で開かれた。

2023. 2. 16 備北民報

「**おもちゃと遊び世界広げる**」遊びの本質、おもちゃの本当の役割を学ぶ「おもちゃインストラクター」養成講座が 3 月 21 日(火)新見公立大学が開かれる。

2023. 2. 16 備北民報

「**原案「おおむね妥当」**」新見市長の諮問機関・まちづくり審議会は、「行財政改革大綱」(23~25 年度)の原案について「おおむね妥当」とする審議結果をまとめ、市長に答申した。審議会は、元市職員や新見公立大教授ら 7 人で構成する。

2023. 2. 16 山陽新聞

「**発達障害児らの支援充実へ連携**」 2/22 「発達支援センター」を運営している新見公立大学は、小児心身医療の共同研究に関する協定を、岡山大学大学院の小児医科学教室と結んだ。

2023. 2. 25 山陽新聞

「**3900 人志望校へ最終関門**」 2/25 国公立大 2 次試験・前期日程が全国の大学で始まり、県内では岡山大、県立大、新見公立大で試験が行われた。

2023. 2. 26 山陽新聞

「**前期日程 19 万人受験**」 2/25 国公立大 2 次試験の前期日程が全国の大学で始まり、171 大学 590 学部が実施。新見公立大の欠席率は 21.9%で、全国の公立大学で最も高かった。

2023. 2. 26 山陽新聞

「**3 会場で 3952 人挑む**」 2/25 国公立大の 2 次試験の前期日程が始まり、県内でも岡山大、県立大、新見公立大で試験が行われた。新見公立大では、375 人が受験した。

2023. 2. 26 読売新聞

「**計画に基づき着実に施策を**」 2/20 新見市環境保全審議会は、諮問を受けていた第 3 次新見市環境基本計画について戎斉市長に答申した。斎藤健司会長(新見公立大学教授)が市長室を訪問。

2023. 2. 27 備北民報

「**保育 3.5 倍、看護 3.7 倍、福祉 4.2 倍**」 2/25 新見公立大学は、2023 年度入学者一般選抜のうち前期日程試験を行い、3 学科受験生 375 人が小論文と面接に挑んだ。

2023. 2. 27 備北民報

「**ユニーク工作で多世代交流**」 2/25 多世代の交流を図る「みんなのひろば」が NiU 新見駅西サテライトで開かれた。新見公立大学の学生サークルちびデポと岡山県退職公務員連盟新見支部地域貢献ボランティア部による協働の試み。

2023. 2. 28 備北民報

【市報にいみ】「大学進学の新たなチャレンジ」

地域福祉学科 1 年今氏さん 3 月号

「**岡大大学院小児医科学教室と協定**」 2/22 新見公立大学は、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科の小児医科学教室と共同研究に関する協定を締結した。

2023. 3. 1 備北民報

「**認知症啓発へ学生団体発足**」岡山県内で福祉分野を学ぶ 5 大学の学生が認知症について啓発する団体「認知症オレンジパートナー」を発足させた。岡大、川崎医療福祉、美作、新見公立、ノートルダム清心女子の各大学の計約 40 人で昨年 11 月に設立。

2023. 3. 2 山陽新聞

「**雛人形見物しながら市街地散策**」 3/3~

3/6「新見御殿町のひなめぐり」が新見中央商店街で開かれ、新見公立大学生による親子手打ちうどん体験会、「コンコンイルズ・カフェ」、太池邸うどんも大好評だった。 2023. 3. 6 備北民報

「3 学科 131 人に喜びの“春”」3/4 新見公立大学は一般選抜前期日程の合格発表を行い、健康保育 31 人、看護 64 人、地域福祉 36 人が合格した。

2023. 3. 6 備北民報

「土下座まつり特集ほか」3/1 新見公立大学地域共生推進センターの学生組織 SA は、新見市と大学の魅力を学生目線で発信するフリーペーパー「なるたき第 6 号」を発行した。

2023. 3/11 備北民報

「電気代 250 万円の削減予測」3/13 新見公立大学に整備していた太陽光発電システムが完成し、同大学と GRE 備北は竣工式を開いた。

2023. 3. 14 備北民報

「発達障害を共同研究」3/10 新見公立大と国立病院機構岡山医療センターは、子どもの発達障害について共同研究を進める協

定を結んだ。

2023. 3. 14 山陽新聞

「絵画 3 点寄贈で感謝状」3/8 公立大学法人新見公立大学は、NiU 新見駅西サテライトで絵画 3 点の寄贈に対する感謝状を難波ふく枝さんに贈った。

2023. 3. 15 備北民報

「患者の様子がおかしい！」3/4 岡山大学医療人キャリアセンター MUSCAT サテライトオフィス PIONE は、新見公立大学地域共生推進センター棟で「シュミレーショントレーニング in 新見」を行った。

2023. 3. 17 備北民報

「新 3 学科の 1 期生 182 人旅立つ」3/18 新見公立大学の今年度卒業証書・学位記授与式が地域共生推進センター棟で行われ、182 人が学びやを旅立った。

2023. 3/20 備北民報

「知識生かし社会貢献を」3/18 新見公立大学で卒業式が行われ、完全四年制に移行した 2019 年度の入学生をはじめ、大学院生ら計 182 人が新たな一歩を踏み出した。

2023. 3/20 備北民報

12) 施設の拡充

(1) 特徴的な施設整備

① NIU 新見駅西サテライト

新見駅西の学生居住施設（アパート）の 1 階に、貸借したテナントスペース 483 m²の施設整備が令和 4(2022)年 3 月 31 日に完了し、4 月 17 日のオープニングセレモニー並びにトライアル期間でのイベント実施を経て 6 月 1 日から新たな大学施設として設置された。学生が地域の団体と協働して行う地域貢献活動などに活用され、多世代交流が図られた。

1. 目的 地域共生社会の実現に向け、賑わいと交流を創り出し発信する「子ども中心の多世代交流広場」並びに「大学を活かしたまちづくり」の推進に寄与する。
2. 位置 岡山県新見市西方 463 番地 11 えきよこ 1 階
3. 施設 ① 発達支援センター「なごみ」・・・子どもと保護者等への専門的支援の場
② 子ども交流広場「ひだまり」・・・子どもを中心とした多世代交流広場
③ スタディラウンジ「ゆめラウ」・・・学びと食を介した交流の場

4. 時間 10:00～21:00 (12月29日から1月3日休館)
5. 使用 ① 大学教職員・学生などによる大学業務 ② 大学との連携活動団体等
③ 学長が事前に認める事業 ④ 目的に資する活動

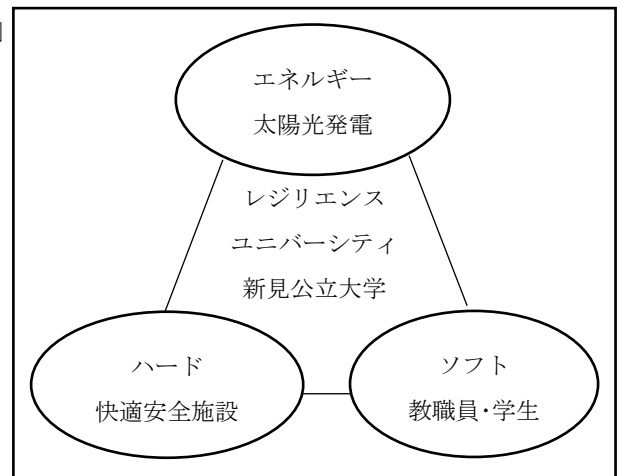
② 太陽光発電施設

本学は、令和4(2022)年4月13日の理事会、経営審議会及び教育研究審議会の合同会議で、「ゼロカーボンの実現に向けた取組方針」を決定し、政府における「カーボンニュートラルを目指す」こと並びに新見市が2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」にチャレンジしていくことと連携した取り組みを目指す方向性を定めた。

そして、5月27日に「ゼロカーボンの実現」に向けた協定を(株)ガットと締結し、次に掲げる設備等が国の補助金を利用して設置された太陽光発電設備の電力を購入する仕組みであるPPA事業を令和5年3月に実現させ、国土強靱化に資する環境を創出した。

記

1. 総発電容量：約337.15kW
2. 設置パネル：550W/枚発電パネル×613枚
3. CO₂削減：約213.81t/年(予測値)
4. 再エネ率：約38.1%(目標値)
5. 電気代削減：約128万円/年(予測値)
6. 発電量：地域共生推進センター棟 59.40kw：学术交流センター棟 82.50kw：体育館 195.25kw
7. パワコントローラ：地域共生推進センター棟 50kw 1台 4.95kw 1台：本館 50kw 4台 4.95kw 6台
8. EDMS(デマントコントローラ)：地域共生推進センター棟 9.リチウムイオン蓄電池：本館横 10kWh 2台



③ 大学院改組対応

令和5(2023)年度に大学院を改組し、院生が増えることに対応するため、院生室整備工事、3号館出入管理システム改修工事、3号館出入口改修工事、蔵書数増加対応を目的とした体育館裏倉庫設置工事、学术交流センター出入管理システム改修工事を実施した。

(2) 継続的な施設整備

① コンピュータ・ネットワーク機能強化

次に掲げる項目を実施することで、学生等に快適なデジタル環境を創出した。

1. 学内の情報機器及びネットワークシステム

学内の無線LANアクセスポイントを増設し、本学125P、NiU新見駅西サテライト7P、倉敷サテライト1Pの合計133Pを運用することとし、通信環境の改善を図った。

2. 学術情報ネットワークSINET6

日本全国の大学、研究機関等の学術情報基盤として、国立情報学研究所が構築、運用している学術情報ネットワーク S I N E T 5 を使用していたが、学術情報基盤として発展させた S I N E T 6 が世界最高水準の 400 Gbps であることを理由として移行し、回線ネットワークで有機的につながるハイレベルな学術情報基盤を構築することで、研究・教員の I C T 環境の充実を図った。

3. 高速プリンター複合機

本館内へ高速プリンター複合機を整備し、授業資料等の作成作業の効率化を図った。

② バリアフリー対策

令和 4(2022)年度におけるバリアフリー対策事業では、1 号館の各階に車イスで移動できるように隣接する学術交流センター棟のエレベータを 4 階まで伸ばし、1 号館の出入口等を改修することで、11 月から 2 号館の移動をより安全で円滑なものとした。

③ 4 年生大学化対応

増加する学生数に対応するため、西方公民館の駐車場を臨時駐車場として使用することで、駐輪場の不足に対応した。

④ 管理費適正化

令和元(2019)年度から高騰する燃料費を低減しつつ更新時期を迎えたエアコンの管理効率を上げる目的で継続的に実施している湿式(ボイラー式)エアコンを電気式に交換する工事について、令和 4(2022)年度は、1 号館 1 階及び 2 号館を対象として施工した。

⑤ その他

太陽光発電を監視する太陽光発電電力計測表示システム改修工事、また、その工事以外で設置している既存エアコンの効率を高めるためのデマンドコントロールシステム設置工事を実施して事務の適性化及び効率化を図るとともに、新見公立大学の広報強化を目指して新見駅裏に看板を設置した新見駅裏看板設置工事を実施した。

⑥ 環境整備

グラウンド及び学舎周辺の草刈、庭木の剪定、構内・倉庫等不要物品廃棄などを随時実施し、構内美化に努めるとともに、校地の測量を実施して管理の適正化を図った。また、A E D、シミュレータ人形、きぐみの積み木などを整備することで、安全性の確保並びに学修環境の高度化に資する整備を行った。

13) 日本学術振興会科学研究費助成事業

◎令和 4(2022)年度日本学術振興会科学研究費助成実績内容

研究代表者	採択年度	分類	研究課題
山本 智恵子	平成 29(2017) - 令和 4(2022)	基盤C一般	チーム医療の成果に関する実証研究:感染対策チームを対象とした調査
芝崎 美和	〃	基盤C一般	幼児期の感情コンピテンスを支える文化的要因の検討ー感情表出機能に着目してー
松田 実樹	平成 29(2017) - 令和 5(2023)	基盤C一般	重度障害者の地域移行成立要件の検討
加藤 由美	平成 30(2018) - 令和 4(2022)	基盤C一般	人間関係力を育む保育者養成教育のあり方に関する実践的研究
赤田 いづみ	〃	基盤C一般	看護基礎教育における卒後の組織社会化促進に向けた予期的社会化尺度の開発
入江 慶太	〃	基盤C一般	病棟保育士の専門性の特定と新しい病棟保育士養成カリキュラムの開発
長崎 恵美子	〃	基盤C一般	心疾患をもつ高齢者の DNAR 選択に対する看護師の意思決定コーチングの教育開発
木下 香織	平成 31(2019) - 令和 5(2023)	基盤C一般	小規模病院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価
井上 信次	〃	基盤C一般	知的障害・発達障害児者のインクルーシブ教育の制度刷新にむけた国際比較研究
真壁 五月	令和 2(2020) - 令和 5(2023)	基盤C一般	看護職の介護離職防止対策ー看護職が介護離職を選択する要因ー
八重樫 牧子	〃	基盤C一般	地域の児童館の子育ち・子育て支援におけるソーシャルワークに関する実証的研究
高月 教恵	〃	基盤C一般	戦後の保育所「若竹の園」にみる幼保一体化カリキュラム・保育実践に関する歴史的研究
岡本 邦広	〃	基盤C一般	障害児をもつ家族と教師の協働的アプローチによる FQOL に関する研究
広瀬 綾子	令和 2(2020) - 令和 6(2024)	基盤C一般	ドイツの学校教育における演劇教育の研究
芝崎 美和	令和 2(2020) - 令和 5(2023)	基盤C一般	幼児期の感情コンピテンスを支える環境的要因の検討ー居場所感の獲得プロセスから
井上 弘子	〃	基盤C一般	臨床研究コーディネーターにおけるモラルディストレス尺度を用いた倫理的悩みの検証
三上 ゆみ	〃	基盤C一般	中山間地域での長期就労定着に向けた外国人介護労働者支援プログラムの検討

鄭 丞媛	令和 3(2021) - 令和 7(2025)	基盤B一般	Age Friendly Cities 指標を用いた介護予防 政策評価と社会実装研究
原田 信之	令和 3(2021) - 令和 6(2024)	基盤C一般	南西諸島における祭事説明伝説の調査研究
矢嶋 裕樹	令和 3(2021) - 令和 6(2024)	基盤C一般	被援助志向性の低い高齢者の実態把握と支 援方策の検討
本渡 葵	令和 3(2021) - 令和 5(2023)	基盤C一般	児童心理治療施設併設校の国語科教育カリ キュラム開発に向けた基礎研究
泉 宗孝	令和 4(2022) - 令和 6(2024)	基盤C一般	今後のインクルーシブな社会に向けた放課 後等 デイサービスの在り方について
久恒 拓也	〃	基盤C一般	養護教諭養成に特化した教職論の内容・方法 の 開発
立浪 朋子	〃	基盤C一般	感化院・少年教護院における障害児教育の意 義 と学校教育への影響に関する歴史的・研究
合田 衣里	〃	若手研究	通所介護事業所に従事する生活相談員の終 末期 ケアに関するソーシャルワーク実践

◎令和 4(2022)年度日本学術振興会科学研究費助成採択及び実績人数

単位：人

実施年度 採択年度	H29 (2019) 年度	H30 (2018) 年度	H31 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度	R5 (2023) 年度	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度
H29(2017)	3	3	3	3	3	3	1		
H30(2018)		4	4	4	4	4			
H31(2019)			2	2	2	2	2		
R02(2020)				8	8	8	8	1	
R03(2021)					3	3	3	2	1
R04(2022)						5	5	5	
計	3	7	9	17	20	25	19	8	1

14) 学長配分研究費研究報告

◎原田 信之（看護・教授）：新見地域および中国地方の文化的研究

新見地域には、多数の興味深い伝説が伝承されている。それらの伝説群のうち、全国的に著名な人物や事物にまつわる伝説としては、南都法相宗興福寺の高僧であった玄賓(734-818)僧都の伝説、後醍醐天皇(1288-1339)の伝説、『義経記』などに登場する平安時代末期の伝説的人物である金売吉次の伝説、全国的に分布が確認される人柱の伝説などがある。報告者はこれまで長年にわたってこれらの伝説群の調査研究を行ってきたわけであるが、今年度もこれまでの研究成果と新しい研究成果をまとめる研究を集中的に行った。

◎栗本 一美（看護学科 教授）・郷木 義子(看護学科 特任教授)・山野井尚美（看護学科 准教授）・三上 ゆみ（地域福祉学科 教授）： ヤングケアラー支援のための教育・福祉・看護専門職の連携構築に向けて

近年子どもをめぐる問題として「ヤングケアラー」が大きな課題となっており、各自治体で実態調査も始まっている。ヤングケアラーは、家庭内の問題であり、介入の困難さ、本人の認識の低さから支援の必要性が表面化しにくい。そこで、①新見市内の教育・福祉・看護専門職の「ヤングケアラー」についての認知度を明らかにする。②教育・福祉・看護専門職が「ヤングケアラー」への支援の在り方を共通認識として持ち、多職種連携や統合の在り方を推進していくための基礎資料とすることを目的に研究を進めている。

本年度は、本学の学生のヤングケアラーへの認識調査結果の公表や、学生福祉国会に学生と共に参加し、支援にあり方について発表した。また、県外で先進的取り組みを行っている自治体の勉強会への参加や、昨年度に引き続き、当者をお招きし、新見市内の教育・福祉専門職と学生を交え、支援のあり方についての勉強会を開催した。

今後は、新見市内の教育・福祉・看護専門職の「ヤングケアラー」についての認知度を明らかにするための調査結果をまとめ、支援のあり方について検討していきたいと考えている。

◎郷木義子（看護学科 特任教授）久恒拓也（健康保育学科 講師）金山時恵（看護学科教授）：看護系大学において養成する養護教諭の資質・能力に関する研究（2）－養護実習の成果と課題－

本学において2019年度より看護学科に養護教諭養成課程が発足し、発足当時から看護師養成が主でのカリキュラムの中で、時代が求める養護教諭像を明確にしながら、看護系大学としての特徴を生かし、地域に根づいた養護教諭養成教育を行ってきた。その成果の一部を2019年度に報告した。2022年度は完成年度を迎え、4年間の集大成として養護実習に着目し、①学生の学び②現場の管理職と指導養護教諭の本学における養護実習指導への認識を明らかにする③本学における養護実習の再検討の課題を継続的に行っている。今年度は①学生の学びを分析中であるが、養護実習が終了したのが10月末であったため、成果として「養護実習報告書」を完成させた。今後もより充実した養護実習を目指すために継続して取り組む予定である。

◎安田陽子（助産学専攻科 講師）山野井尚美（看護学科 准教授）矢嶋裕樹（看護学科 准教授）眞壁五月（看護学科 講師）：中山間地域における中高年世代の健康に関する調査

本研究は、中山間地域における中高年世代約862人を対象に更年期症状・障害に関する質問紙調査を行った。3月末現在、男性339人、女性340人から回答が得られた（回収率：男性79%、女性78%）。次年度6月をめぐって調査を完了し、その後、更年期症状の実態及び受診行動に関連する心理快適要因について検討していく予定である。

◎岡本直行（健康保育学科 教授：子どもの描画表現を引き出すクレヨンの活用方法—キットパスを画材とした楽しい落書き遊びの環境づくり—

子どもの描画活動において「落書き」は子どもの思いが詰まった作品である。しかし、家庭や保育現場において「落書き」やその活動中の「子どもの姿」は無視される傾向が強い。その点について新見市内の保育教諭の先生方とともに考えることを目的に、子どもの落書き遊びが展開される環境づくりを実践し、子どもの描画活動に使用する画材の知識の共有や画材の活かし方と指導法について探求した。

本研究では「楽しい落書き遊び」が展開される「お絵かきボード」を開発・使用し、新見市内の保育現場で子どもの描画活動を実践した。子どもの活動は観察・記録、分析によって、スティック画材の活かし方や指導法について模索するとともに、子どもの描画活動を認めるポイントや画材に関する知識、経験を保育教諭と共有している。透明なボードを使用した活動では、子どもたちの活発な活動や子どもの絵と絵が対話しているかのような「描画による対話」が見られ、保育教諭の先生方からも「お絵かきボード」による環境づくりや子どもの活動を活発にする取り組みに対して高い評価を得ている。今後も継続して取り組んでいきたいと考える。

◎梶本佳照（健康保育学科 特任教授）：Google Workspace for Education の共同編集機能を用いた授業効果

「対面授業」と「遠隔・オンライン教育」との「ハイブリッド型授業」の事例開発研究対面授業でおこなっている活動の中で、どのような活動をオンラインでの活動にすればよいかであるが、今回の研究において、共同編集機能を用いた授業効果を調べた。

(1) 授業の概要：健康保育学科1年の選択科目「生活」の授業「庭のファッションショー」で作成した作品の写真をクラウド上のスプレッドシートに張り付けて、それに対する各自のコメントを相互評価として記入することをおこなった。対面授業で感想を口頭で交換することもできるが、時間を要するのと記録として残りにくい。また、全員の意見を交換することは、事実上無理である。そこで、次回の授業までの課題としてGoogle Workspace for Educationを使用して、クラウド上のスプレッドシートの各セルに作品を掲示し、相互に感想を記入し、その授業効果を検証することにした。

(2) 授業効果：共同編集機能を使うことで同時に複数の学生が記入していくことができ、他の学生が記入を終わるまで待つ必要がないために、時間も短縮できると、お互いの記入時刻が重なった場合、リアルタイムで記入されているところを見ることができる。

感想から、共同編集をすることにより授業意欲が高まったり、自己肯定感が高まったりしていることが伺える。

小麦粘土づくり及びシャボン玉づくりで作成した作品へのコメント記入を共同編集によりおこなったが、学生には高評価であった。

◎芝崎 美和（健康保育学科 准教授）・中川 彩見（看護学科 助教）：児童期を対象とした SST プログラムの開発

発達障がい児の社会的スキル（以下、SST）に関するツール開発を行った。具体的には、第 1 に、10 のターゲットスキルのうちの 1 課題（仲間関係の開始）の課題およびアニメーション作成を行った。第 2 に、過年度においてアニメーションを作成した課題（聞く・話す）に関して、音声入力作業を行った。今後も、特別支援学級教諭からの継続的なヒアリングを重ねつつ、ツールの精緻化を進めて行く。

- ・発達障がい児支援プロジェクトミーティング， 2022. 4. 10， 5. 22， 6. 12， 7. 10， 9. 19， 10. 1， 10. 15， 10. 23， 12. 3， 12. 17， 2023. 1. 7， 1. 21， 2. 26， 3. 4， 3. 21.
- ・アニメーションへの音声入力， 2022. 7. 30.
- ・発達障がい児支援プロジェクトミーティング（本郷小学校ヒアリング）， 2022. 10. 11.
- ・発達障がい児支援プロジェクトミーティング（学内ヒアリング）， 2022. 10. 12.

◎広瀬綾子（健康保育学科 准教授）：特別支援教育における表現活動に関する研究—岡山県健康の森学園支援学校における弦楽器「バンドーラ」の制作と演奏および新見公立大学学生との交流活動を中心に—（2 年間（2021 年度～2022 年度）の継続課題）

本研究は、特別支援教育における創作・表現活動（弦楽器の制作とその演奏活動）の教育的効果および意義について明らかにするものである。岡山県健康の森学園支援学校の生徒たちが約 2 年間をかけて、弦楽器「バンドーラ」の制作と演奏を行い、本学健康保育学科の学生と共同で「バンドーラプロジェクト」に取り組んだ。弦楽器の制作（造形活動）と演奏活動（音楽活動）が、特別な支援を必要とする子どもへもたらす教育的効果および意義について明らかにした。健康保育学科の学生たちが弦楽器・バンドーラ制作のサポートに入り、生徒たちと交流を行うことを通して、障害を持った子どもと健常児がともに創作活動を行うインクルーシブ教育について研究を進めることができた。特別支援学校における弦楽器「バンドーラ」の制作と演奏の派生普及事業として、岡山県真庭市立月田小学校との弦楽器「バンドーラ制作共同プロジェクト」に着手し、新見と真庭という木材の産地である中山間地域連携事業として、また、国内でも例を見ない中山間地域の大学と小学校の連携および接続に関する実践研究を行った。

◎高杉公人（地域福祉学科 教授）：社会福祉法人の地域における公益的な取組と地域密着度及び資源マネジメント度の関連性に関する研究

本研究は、全国の社会福祉施設に対して「地域における公益的な取組」の実施状況を調査し、その活動を促進させる要因として「地域密着度」と「資源マネジメント度」が公益的な取組の推進にどのように影響しているのかを明らかにすることを目的とした。

2022 年度は「資源マネジメント度」や「地域密着度」を表す指標は何かを考え、研究計画を練り直して、令和 5 年～令和 7 年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）研究課題「社会福祉施設の公益的な取組を促進する地域密着度と資源マネジメント度に関する研究」（課

題番号：23K01853）として採択された。

また、指標を確定した上で「社会福祉施設の地域における公益的な取組を促進する要因に関するアンケート調査票」を開発した。そして、WAM NETの情報システムを活用して、施設種別及び地域別の送り先リストを作成した。更に、この研究の前身となる質的調査「社会福祉法人の地域における公益的な取組を促進する資源マネジメントに関する研究」の結果をまとめ、2022年度日本地域福祉学会第36回大会で発表した上で、論文を日本社会福祉学会中国四国ブロック機関誌に投稿し、「中国四国社会福祉研究第10号」に掲載された。

◎八重樫牧子（地域福祉学科 特任教授）・高月教恵（健康保育学科 特任教授）・長宗武司（地域共生推進センター・地域福祉学科 助教）・小藤信子（教育支援センター 特任講師）：「新見市就学前親子の居場所」に関するニーズ調査

中山間地域の新見市の地域子育て支拠点事業（A 拠点）を利用している保護者 100 人（有効回答数 55 人、有効回答率 55%）と中核市の倉敷市の同事業（B 拠点）を利用している保護者 50 人（有効回答数 29 人、有効回答率 58%）を対象に「就学前親子の居場所に関する質問紙調査」を実施し、比較検討をすることによって、中山間地域特有の子育て状況、就学前親子の居場所ニーズ、利用評価（満足度）について検討を行った。その結果、B 拠点に比べ、A 拠点は常勤の母親の利用が約 4 割と多く、不定期的な利用が多いことがわかった。居場所ニーズについては両拠点とも高くなっていたが、利用者評価についていくつかの項目について、B 拠点の評価が高く地域差があり、今後、地域の状況を踏まえた活動の工夫・展開が期待される。

◎小松尾京子（地域福祉学科 准教授）：行政職員に対する職員研修プログラムの開発に関する研究－ケースワーカーと査察指導員を対象として－

本研究の目的は、生活保護行政に携わる県及び市職員に対する職階ごとの研修会についてその内容と効果について検証し、研修プログラムの開発を試みることである。2 か年計画の初年度は、ケースワーカーに必須の業務であるスーパービジョンと事例検討会の実態を明らかにするために、スーパービジョン機能を有する事例検討会に関する研修会を開催し、さらに事例検討会に関して参加メンバーにインタビュー調査を実施した。

研修会の振り返りから、スーパービジョンの必要性は十分理解されているものの、実践については、スーパーバイザー側に自信がないことがうかがえた。また、インタビュー調査からは、スーパーバイザーとスーパーバイジー間で、事例検討会の目的等の共通認識がないことで、展開過程に齟齬が生じやすいこと、事例のまとめ方や事例に関して、スーパーバイジーへの教育が必要であることなどが示唆された。

これらの結果を含め、これまでの研究成果をもとに、科研を申請した結果、採択された。（令和 5 年度～令和 7 年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）研究代表者：小松尾京子、研究課題「スーパービジョン機能を有する事例検討会における教育プログラムの開発」）

◎小松尾京子（地域福祉学科 准教授）・山本浩史（地域福祉学科 教授）・高杉公人（地域福祉学科 教授）・八重樫牧子（地域福祉学科 特任教授）・朴蕙彬（地域

福祉学科 講師）・泉宗孝（地域福祉学科 助教）・柳迫三寛（地域福祉学科 助教）・岸本由梨枝（地域福祉学科 助教）：地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習に関する研究－教材開発を中心に

本研究の目的は、地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習の教材研究と開発を行うことである。本研究は2か年計画であり、2年である2022年度は、21年度の第1期生の実習記録および実習評価から実習における学びの内容を分析および実習指導者へのインタビュー調査結果から、新カリキュラムにおける実習教育の教材開発を中心に行った。210時間のコミュニティ・ソーシャルワーク実習における課題シート等の教材を開発し、授業で試用した。30時間のソーシャルワーク実習との連動性を確認しながら、今後改良を進めていく予定である。

また、教育プログラムの開発に関しては、2か所実習が効果的に展開できるよう、実習の手引きを改訂した。また、2か所実習の教育効果を高めるための、実習指導者との調整会議のあり方や具体的な実習内容等を検討し、実習指導Ⅰ～実習指導Ⅴの科目の連動性をふまえた授業展開ができるよう、教育プログラムを作成した。次年度以降、その検証を行いつつ、更なる改良を進めていく予定である。

◎朴 蕙彬（地域福祉学科 講師）：エイジング教育のあり方に関する探索的研究～地域における諸活動の活用可能性の検討～

本研究は、エイジング教育の場として、学生を含む地域活動を活用できる可能性を検討することが目的である。特に、エイジズムの解消に向けたエイジング教育を想定しているため、だれもが「老いの当事者として生きる存在」である認識をもつことが本研究におけるエイジング教育の最終ゴールともいえる。

先行研究を検討した結果、従来のエイジング教育は対象の年齢や立場別に行われることが多く、「老いの当事者として」主体的な学びを十分に経験したとは言い難い点が課題として明らかにされた。したがって、本研究は「学ぶ側」として学生だけではなく多様な年代の人を想定し、誰もが「老い」について主体的に考え・学ぶことができる教育の場が必要と考えた。

上述の内容をふまえて、2022年度は、地域で年齢や性別などに制限なく集まる場の活用可能性について検討するために、本研究のテーマに関心のある学生とともに先駆的な福祉実践の場を見学した。また、研究を通して想定されるエイジング教育の実現または参加希望などについて地域活動実践家と意見交換を行うことができた。これらの成果を踏まえて、実践に向けて教材の開発や地域での活動の立ち上げを計画している。

◎福武幸世（健康保育学科 助教）・芝崎美和（健康保育学科 准教授）・渡部昌史（健康保育学科 准教授）：保育者養成校の学生が抱く子どもに対するダンス指導不安と自己開示、他者受容との関連

本研究では、保育者養成校の学生50名を対象に自記式質問紙調査を実施し、就学期前の子どもに対するダンス指導の不安感の構成要素と、ダンス指導における不安感と自己開示、他者受容の関連について検討した。その結果、保育者養成校の学生におけるダンス指導不安の構成要素として、第Ⅰ因子「幼児への動機づけ、指導方法に対す

る不安」第Ⅱ因子「自分自身のダンス技術に対する不安」、第Ⅲ因子「自分自身の教材活用、指導力に対する不安」、第Ⅳ因子「幼児の表現力、主体性の誘発に対する不安」の4つの因子が確認できた。ダンス指導不安と各自己開示レベルについては、趣味や最近楽しかった出来事などの表層的な自己開示を行う人は、第Ⅰ因子「幼児の動機づけ、指導方法に対する不安」、第Ⅱ因子「自分自身のダンス技術に対する不安」と有意な負の相関関係が認められた。他者受容とダンス指導不安の各下位尺度得点については、第Ⅰ因子「幼児への動機づけ、指導方法に対する不安」、第Ⅱ因子「自分自身のダンス技術に対する不安」、第Ⅳ因子「幼児の表現力、主体性の誘発に対する不安」について、低群の得点が高群の得点と比べて高かった。以上より、ダンス系科目担当者は、学生のこれらの特性を十分に理解した上で、授業の展開を考える必要がある。学生の性格特性に着目した研究は希少であり、本研究はダンス指導研究に寄与できると考える。

◎長宗武司（地域共生推進センター研究員・地域福祉学科 助教）・福武幸世（地域共生推進センター研究員・健康保育学科 助教）・土井英子（看護学科 教授）・福田秀之（地域共生推進センター コーディネーター）：新見市の地域経済構造及び、新見公立大学が地域経済に与える経済的影響に関する実証分析

本研究の目的は、①新見市の産業構造を詳細に分析し、市の地域経済活性化の方向性を検討・提言すること、②本学学生の消費活動による市内への経済波及効果を算出し、本学の経済的貢献を把握すること、③上記の分析内容を本学学生と共有し、経済面をはじめ市全体の活性化の方策を検討することの3点である。2年目の今年度は、①②の分析結果をもとに、地域共生推進センターSAを対象としたまちづくりゼミナールを開講した。ゼミでは学生自身が基礎分析スキルの習得し、地域経済の分析を行った上で、「大学生にとって住みやすいまち」について、新見市職員へ提案を行った。今後は、新見駅周辺まちづくりプラットフォームへ参入し、新見市が掲げる“ウォーカブルなまち”の実現へ向けて、学生と協働しながら活動を進めていく。

15) 同窓会

2023年3月に新見公立大学健康保育学科（1期生）45人及び看護学科（1期生）81人及び地域福祉学科（1期生）49人及び助産学専攻科（8期生）5人が卒業した。本学は、1982年に新見女子短期大学の1期生（幼児教育学科）の卒業以来、2023年4月現在、大学と短期大学を合わせて5,984人の卒業生を送り出したこととなる。その内訳は、短期大学の看護学科1,805人、幼児教育学科2,062人、地域福祉学科1,166人及び地域看護学専攻科140人と今春第9期生が卒業した大学の健康科学部健康保育学科45人、看護学科640人、地域福祉学科49人及び助産学専攻科45人と大学院看護学研究科32人である。

新見公立大学・短期大学同窓会では、卒業生と本学の絆を強めるため、同期生会の幹事からの連絡により、同窓会事務局から会員や教員（旧教員含む）への開催案内を発送し、出欠の取りまとめをして、同期生会（クラス会）の開催の支援を行っている。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、同窓会の開催はなかった。

2. 学科・研究科の活動

1) 健康科学部健康保育学科

2022年度は4年制大学移行後4年目を迎え、学生在籍者数は1年生53名、2年生57名、3年生47名、計157名となった。授業については、保健管理センターから指示されたコロナ感染症対策を厳守しながら、ほとんどの授業を対面で実施し、各学年ともにカリキュラムの計画通りに学修を進めることができた。

健康保育学科の2022年度学科運営目標は以下の8点である。

- ① 学生が、就学前教育・保育に関心を持ち、資格取得に向けて着実に学修できるように設定した、教育、保育、福祉、心理、障がい分野を中心とする重層的なカリキュラムに沿って、質の高い保育学教育を実施し、こども理解や保育実践の力を充実させる。特に、1期生（4年次生）の特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育実習と関連授業を着実に実施し、さらに、理解を深めるための学修プログラムの構築に着手する。

(実績)

就学前教育・保育の学修、資格取得の充実を目的に、設置科目の見直し・計画を行い、質の高い保育学教育を実施することに重点を置いた新カリキュラムを作成した。2023年度から新カリキュラムによる授業を展開する予定である。

- ② 教育支援センターやにいみ子育てカレッジと連携し実施している「実地体験実習」や「チームアプローチ演習」など、地域をフィールドとした授業や行事等の内容を精査することによって、地域ニーズを把握し課題を解決する能力や方法の学修の充実を図る。

(実績)

地域をフィールドとした授業や行事を計画どおりに実施した。「にいみ子育てカレッジ」を活用した授業や、地域をフィールドとした「実地体験実習」、「にいみゆめのぼけっと」を通して、家庭での子どもの姿や家族への支援の課題、方法に気づく等の学修成果が確認できた。

- ③ チューター制の利点を生かし、定期的実施してきた綿密な学修指導や学生相談のデータをもとに、学生の学修状況や成長度を把握した適切な指導を重ねる。

(実績)

データをもとにした個別相談や学修指導を実施した。4年生の就職支援においては、チューターと学生の出身地を担当する教員が連携した「地区担当制」を導入した指導を行った。また、岡山県保育士養成施設連携強化事業の支援を受け、学外有識者による学科内キャリア支援講座を開催する等、新たな支援を行った。

- ④ チューター制を活用した定期的な修学支援や生活相談をさらに充実させ、そのデータを教育改善や学生指導に活かし、卒業時に学生全員が保育士登録資格、幼稚園教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状の取得、さらに、新見公立大学こども発達支援士の称号を取得することを目指す。

(実績)

カリキュラムの履修指導や学修支援、相談を、丁寧、かつ適切に実施した。また、各資格の取得を通して自身の理想とする将来像を見出すために、チューターと授業担当者、実習担当者が綿密に連携した支援を行った。

- ⑤ 基礎ゼミナールで育成する、学問を学ぶ姿勢と学修力の充実を図る。昨年度実施した、授業内容にグループワーク・調査研究・発表などを加えた教育改善を継続するとともに、「個別面談シート」を活用した学生の学修状況の把握に努め、学生の成長段階に応じた「点」「線」「面」へ拡大する指導内容や方法を充実させる。また、データの分析結果等をもとに、アカデミック・スキル習得のための基本的プログラムの作成に取り組む。

(実績)

学生の学ぶ姿勢と学修力の向上を確認することができた。また、ゼミナール間の連携を強化し、個別指導と全体指導の充実を図った。科目の内容拡充のため、教授内容を発展させた「発展ゼミナール（2 年次開講予定）」開講に向け科目や組織の見直しを行い、2023 年度から開講する計画を進めた。

- ⑥ 大学、保育現場、行政が連携して作成した「新見市保育・教育カリキュラム」を活かして強化した実習体制を継続して質の高い保育者養成を実践する。また、実践の結果を大学や実習施設、実習指導者が共有し、保育現場にフィードバックすることによって全体の質の向上を図るとともに、大学と保育現場が協働した研修の実施を目指す。

(実績)

授業では、保育実践の内容やこどもの様子、保育プログラムの理解力向上、保育技術の習得が確認できた。また、新見市保育教諭とともに「新見市保育・教育カリキュラム研修会」を 6 回実施（のべ参加者 110 名）し、保育課題の抽出、解決方法等の協議を通して実際の保育にフィードバックすることができた。

- ⑦ 子どもの生活の場を対象とした実地体験活動や実習をすすめるために、「教育支援センター」を基盤として実習施設との連携を図り、学生の実習効果が向上する実施体制の計画や調整を行う。

(実績)

これまでに引き続き、大学、実習施設、実習指導者が連携した実習体制の強化を図った。また、「新見市保育・教育カリキュラム研修会」で得た内容を新見市の保育内容の充実や支援方法の改善に活かすとともに、学生にフィードバックすることにより保育専門職としての姿勢や優れた保育力を育成できた。

- ⑧ 保育・教育現場の質の向上や課題解決を図るよう、保育現場や教育現場との連携や地域との取り組みを推進する。子どもの保育から就学前まで一貫する幼保一体化カリキュラム（新見市保育・教育カリキュラム）実現を目指し、コロナ禍で進めることが困難であった、新見市の保育教諭と各教員が連携した保育実践研究に取り組む。その過程を通して理想の教育・保育について共通理解を図り、現場に即した保育実践モデルの作成を進める。

(実績)

保育現場や教育現場と連携し、各教員の各専門分野の研究を活かした子どもの実践研究に取り組んだ。また、教育支援センター機能を活用して、保育・教育現場の質の向上や課題解決を図る研究会等の取り組みを推進し、現場に即した保育実践モデルの作成を進めた。

◎2021 年行事（健康科学部健康保育学科）

月日	学科行事
4 月 13 日	基礎ゼミナール開始（1 年生）
4 月 20 日	自己分析講座・キャリア形成講座（3 年生）
4 月 27 日	就職先分析講座（3 年生）
5 月 19 日	公務員講座開始（3 年生）
5 月 21 日～5 月 22 日	鳴滝祭
5 月 30 日～6 月 6 日	保育実習 I（施設）（3 年生）
7 月 4 日～7 月 15 日	保育実習 I（保育所）（2 年生）
7 月 24 日	第 1 回オープンキャンパス
7 月 30 日	キャリア支援セミナー
8 月 7 日	第 2 回オープンキャンパス
8 月 21 日	第 3 回オープンキャンパス
10 月 3 日～	幼稚園教育実習（3 年生）

10月28日	
10月5日	普通救命救急講習（2年生）
10月12日	卒業研究ガイダンス（2年生）
10月15日	いもほり（2年生）
10月27日	キャリア支援講座（2年生）
11月10日～	保育実習Ⅱ（2年生）
11月18日	
11月11日	学内シミュレーション実習開始（3年生）
11月17日	卒業研究テーマ発表会（3年生）
11月25日	実地体験実習ガイダンス（2年生）
12月3日	中・四国保育学生研究大会参加（オンライン）
12月3日	スポーツ大会
12月8日	キャリア支援講座（3年生）
12月10日	にのみゆめのぼけっと2021
12月17日	クリスマス会
12月21日	卒業研究中間発表会（2・3年生）
1月25日	卒業研究訪問ゼミ開始（2年生）
1月31日	学校推薦型選抜入試
2月1日	3年生実習報告会（2・3年生）
2月3日	キャリア支援講座（3年生）
2月16日	卒業研究発表会（3・4年生）
2月25日	一般前期入試
3月8日	一般後期入試

◎卒業生の進路状況について

4年次生の就職支援はキャリア支援センターと学科が協力しながら実施しました。学科では、提出書類や小論文の添削、面接（個別面接、集団面接、集団討論）、保育実技の指導を行いました。進路状況は以下の通りです。

◆卒業生数 45名 ◆進路決定者数 45名 ◆進路決定率 100%

保育専門職		一般・進学	
公立保育所・こども園（正規）	16	公務員一般	3
公立幼稚園（正規）	1	一般企業	2
公立保育所（臨時）	5	大学院進学	1
私立保育園・こども園	10	教育機関（留学）	1
私立幼稚園	2		
社会福祉施設	3		
医療機関	1		

※単位は人

2) 看護学科・助産学専攻科・大学院研究科

(1) 看護学科

令和元(2019)年度から健康科学部 3 学科体制となり、令和 4(2022)年度は完成年度を迎えた。看護学科としては 10 期生を輩出することができた。定員 80 人となり、学生数は 4 学年で計 334 人である。令和 4(2022)年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの対面授業を行った。臨地実習は、3 年後期および 4 年次前期の領域実習では臨地での実習を 1～2 週間実施し、残りの期間については学内での技術演習を内容としたとしたシミュレーションを用いた学内実習を行った。また、臨地での受け持ち患者の看護実践をととしての意味づけ、学びの振り返りを丁寧に行うことができた。

保健師助産師看護師法施行規則の一部改正による看護師教育の内容が改正されるに伴い、令和 4(2022)年度入学生からのカリキュラム改正による卒業要件単位数を変更した。看護師教育課程は現行のままの 125 単位以上、訪問看護・地域看護コースは 134 単位以上とした。保健師教育課程では 142 単位以上、養護教諭養成課程では 153 単位以上へと変更した。基礎看護学の科目名の変更なども行い看護基礎教育の内容の充実を図ることができた。

学科運営の目標は以下の 8 点である。

- ① 学生が充実感を持って学修に取り組めるよう、教育内容や教育方法の改善に努め、より質の高い看護学教育を実施する。

(実績)

10 期生から 13 期生の授業進行に沿って、各教員は熱心に教育指導に取り組んだ。教育内容や教育方法の改善について Web による学会や研修会への参加、あるいは学内での研修会への参加、学修のリフレクションなどをとおして、より質の高い看護学教育を実施した。

- ② 10 期生からカリキュラム改正の進行を効果的に行い、保健師教育課程、養護教諭養成課程および訪問看護・地域看護コースの選択制の適正な選考及び適切な教育の実施と評価を行う。

(実績)

10 期生の保健師教育課程では 20 人の履修者に対し適切な教育の実施により、保健師国家試験受験資格を取得し 19 人が保健師国家試験に取り組んだ。

また、12 期生は 3 月 14 日に行われた選択制選考試験において、保健師教育課程 20 人、養護教諭養成課程 6 人、訪問看護・地域看護コース 4 人の履修者が確定した。

- ③ 10 期生からの看護学教育モデル・コア・カリキュラム順調に遂行できる。

(実績)

10 期生から 3 学科体制に伴う定員 80 人となったカリキュラム改正の時間割進行において、各科目担当者および教務委員などが学生への適時適切に説明を行うと同時に、チューターによる一人ひとりにきめ細かな指導助言を行い、順調に履修を遂行することができた。

- ④ 臨地実習指導担当教員は、臨地の実習指導者と緊密に連携を図り、学生の実習効果が高められるように良好な関係を築くなど最大限の環境調整を行う。

(実績)

3年次の領域看護学実習前となる9月9日に臨地実習施設連絡会議をZOOMにより開催することができた。令和4(2022)年度看護教育カリキュラム改正から、現在の看護基礎教育において基礎看護学および地域・在宅看護論など重要とされる項目および本学の新カリキュラム、また3つの選択コースの説明を行った。臨地実習担当教員はこれまでどおり実習指導者と緊密に連携を図り、学生のレディネスを踏まえた学生個々の実習効果が十分に得られるよう双方向による指導の方向性の理解を図ることができた。

- ⑤「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」を学生が主体的に創造的に取り組めるよう、各領域のゼミ担当教員の連携を強化し、質の高い研究発表ができる。

(実績)

「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」は、グループまたは個人による研究へと変更した。10月21日には82人全員が卒業研究発表会を行った。卒業研究発表会は、対面で行い、学生はすべて口演による発表を行うことができた。座長、タイムキーパーなど学会形式で行うことにより良い経験になったと思われる。また、在学生などからの質問や意見交換は活発に行うことができた。論文集の編纂においても、各領域のゼミ担当教員の指導のもとで、質の高い論文を仕上げることができた。

- ⑥ 看護師、保健師国家試験の合格に向けて、支援体制を整え、全員の合格を目指す。

(実績)

看護師、保健師国家試験の合格に向けた取り組みは、4年次チューターアドバイザーを中心に、チューターが丁寧に適宜指導を行い、支援体制の強化を図った。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら学内での模擬試験を数回実施することができた。学生の主体的な学修力を引き出しながら、成績不良者にはチューターアドバイザー、チューターが適宜指導を行った。大学図書館などを活用し、国家試験の勉強に取り組むことができた。その結果、看護師国家試験は97.5%、保健師国家試験は100%であった。

- ⑦ 学生の進路選択・決定に、学生の適性や希望に応じたキャリア支援をきめ細かく行う。

(実績)

学生の進路選択・決定は、学生個々の志望を重視しながらチューターアドバイザー、チューター、修学・キャリア支援センターと連携を図り支援を行った。病院などの医療機関の看護職として52人、保健師として15人、助産学専攻科へ進学5人、養護教諭として2人、訪問看護師として2人、本学大学院へ1人と、志望の進路が決定し、岡山県内を中心とした実習病院、新見市内の病院、行政機関(一般職)へ就職することができた。

- ⑧ 教員一人ひとりが教育の質向上に向けて、学部内外の研修・研究の取り組みを継続する。地域貢献活動も積極的に行う。

(実績)

教員の専門領域における学会参加はほとんどがWEB開催また対面開催など、積極的に参加することができた。学科内では、FD5回、研究力向上のための研修会5回、教員相互の交流と教育力、研究力の質向上を図ることができた。

◎令和 4(2022)年度行事 (健康科学部看護学科)

月 日	学科行事
4 月 20 日	基礎ゼミナール開始(1 年生)
4 月～8 月	臨地実習再開(4 年生)
5 月 21 日～22 日	鳴滝祭(全)
7 月 4 日～22 日	基礎看護学実習Ⅱ(2 年生)
7 月 24 日	第 1 回オープンキャンパス
8 月 7 日	第 2 回オープンキャンパス
8 月 10 日	卒業研究中間発表会(3 年生)
8 月 21 日	第 3 回オープンキャンパス
10 月 1 日	後期開始
10 月 4 日	臨地実習(3 年生)
10 月 21 日	卒業研究発表会(4 年生)口頭発表、対面による質疑応答
10 月 28 日	看護学セミナー(2 年生)
2023 年	
1 月 23 日～25 日	スポーツ実習 A スキー実習(1 年生)宿泊なし、バスによる移動
2 月 10 日	先輩と語る会(3 年生)対面による質疑応答(一部オンライン)
2 月 10 日	保健師国家試験(4 年生)
2 月 12 日	看護師国家試験(4 年生)
2 月 28 日	基礎看護学実習Ⅰ 施設見学実習(1 年生)
3 月 14 日	保健師教育課程、養護教諭養成課程、訪問看護・地域看護コース選考試験
3 月 24 日	看護師、保健師国家試験合格発表 保健師教育課程、養護教諭養成課程、地域看護・訪問看護コース選考結果発表

◎ 看護学科 F D 活動

1. 活動目標

- 1) 教育や研究に活用できる知識や技術の向上を目指した活動を支援する。
- 2) 継続的に研究活動を行い、科研費の申請や研究業績を増やす。
- 3) 学科内外の教員相互および実習病院との学術的交流を深める。
- 4) 地域の看護職への先進的知識を提供し、地域に貢献する。

2. 活動内容

●看護教育 FD および研究力向上研修会

看護教育 FD の開催

日時：隔月 奇数月最終金曜日 16:40～17:40、場所：会議室 B

研究力向上研修会の開催

日時：隔月 偶数月第 3 水曜日 16:40～、場所：会議室 B

英語論文勉強会の開催、日時：毎月第 3 水曜日 12:30～13:15

(英語論文勉強会、3 学科合同研修として開催。

場所：会議室 B

＜看護教育FD＞

回数	月 日	担当者	テーマ	参加人数 (人)
1	6 月 17 日	礪本暁子 真壁五月	・統合実習について	23
2	6 月 24 日	礪本暁子 真壁五月	・統合実習について	9
3	8 月 9 日	山田雅夫	・科研費研究計画について	24
4	10 月 7 日	土井英子	・卒業研究倫理審査について	20
5	3 月 3 日	コース担 当者	・保健師教育課程、養護教諭養成課程 訪問看護・地域看護コースの到達状況と今後の展望	28

＜研究力向上研修会＞

回数	月 日	担当者	テーマ	参加人数 (人)
1	6 月 10 日	平田知子	Excel 講習会①	17
2	7 月 1 日	平田知子	Excel 講習会②	11
3	9 月 16 日	平田知子	Excel 講習会③	13
4	1 月 20 日	平田知子	Excel 講習会④	10
5	2 月 10 日	平田知子	Excel 講習会⑤	11

●臨地実習指導者連絡会議

令和4(2022)年度は、9月9日にオンラインによる会議を開催し、26人の参加があった。
第5次指定規則改正の概要および改正に伴う本学のカリキュラムの要点として、基礎看護学、
地域・在宅看護論の概説、さらに、3つの選択コースにおける進捗状況等を内容とした。

(2) 助産学専攻科

助産学専攻科は、修業期限1年で5人の学生を確保し、以下の2点が目標である。

- ①助産学専攻科の教育目的・教育目標を達成するために、1年間の教育計画を効果的に実施する。
(実績)

学部内進学希望者4人、他大学の入学希望者2人、計6人の入学生を迎えたが、1人は、一身上の都合により休学したため、5人で授業と臨地実習を行った。

- ②助産師国家試験の合格に向けて、支援体制を整え、全員合格を目指す。
(実績)

8期生の国家試験は5人全員合格であった。

◎令和 4(2022)年度行事

実施日	活動内容	備 考
令和 4(2022)年		
4 月 6 日	ガイダンス・基礎知識確認テスト	
4 月 7 日	授業開始	
7 月 1 日	授業終了	
7 月 6 日	臨地実習開始判定試験（知識・技術）	
7 月 8 日	実習オリエンテーション（学内） 実習オリエンテーション（学外）	個人面接
7 月 11 日～12 月 24 日	臨地実習 助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
8 月 20 日～12 月 23 日	助産師国家試験対策（講義・模擬試験）	
令和 5(2023)年		
1 月 10 日～2 月 5 日	助産師国家試験対策（講義・模擬試験）	個人面接
2 月 9 日	助産師国家試験	
2 月 13 日～3 月 3 日	研究論文作成	
3 月 24 日	助産師国家試験合格発表	

(3) 大学院 看護学研究科

2014 年の開設から 10 年目を迎える 2023 年 4 月に「看護学研究科」は「健康科学研究科」に名称変更するとともに、「中山間地域の未来を拓く全世代型地域包括ケアの追究・実践」を目指し、大学院改組に向けて検討・準備を行ってきた。2022 年 8 月、文部科学省から地域福祉学専攻（修士課程）、看護学専攻（博士後期課程）の設置が認可され、同年 12 月には、看護学専攻（博士前期課程）において、養護教諭専修免許を取得する教職課程が認定された。2021 年度に申請した全ての設置申請が順調に認可されたことになる。さらに、2022 年度末には、看護学研究科（修士課程）として最後となる 2 人が修士課程を修了した。

看護学研究科として最終年度となる 2022 年度は、以下の 3 点を目標とし教育活動を実施した。

① 研究科の教育目的・教育目標を達成するために、教育・研究指導計画を効果的に実施する。

（実績）今年度新たに 9 期生 3 人を迎え、7 期生 2 人、8 期生 3 人を加えて計 8 人の大学院生への教育・研究指導を行った。9 期生全員が社会人であり、2 人が 3 年間の長期履修制度を申請し、各自の履修スケジュール計画に基づいて主指導教員ならびに副指導教員の指導を受け履修を進めた。授業は、平日の夕方および土曜日に開講し、社会人大学院生に配慮した教育・研究指導計画を実施した。

② 大学院生の学修環境を整え、修士論文作成に向けて研究活動への支援を十分に行う。

（実績）学修環境として、土日や夜間に有効に活用できるよう、研究が進めやすい院生室の学修環境を整えている。また、従来より「くらしきサテライト」会場を活用し大学院生への利便性を図っている。今年度はコロナ禍の影響もあり、オンライン授業やオンデマンド授業等遠隔授業と対面授業の併用により、全ての院生が 1 年次、2 年次に予定されていた学修を終えることが出来たと評価する。

7 期生と 8 期生の 2 人は、今年度計画的に研究を進め、12 月末には修士論文を提出した。いずれも 1 月に実施した修士論文審査に合格し、全ての履修単位を修得し修了を迎えることができた。

- ③ 研究科教員の連携と相互の研鑽を図り、研究科の教育内容の充実と評価を行うとともに、研究指導の質向上に向けスキルアップを目指す。

(実績) 月 1 回の大学院会議では、研究指導の進め方や教育内容の充実のために様々な検討を行った。研究指導においては、2018 年度より、主指導教員と副指導教員の 2 人指導体制としており、「特別研究」などを通して定期的に指導助言できる機会を設けている。指導教員は、研究指導計画を立案するとともに主指導教員・副指導教員間で課題を共有しながら取り組んだ。さらに、「地域生活支援看護学領域」「療養支援看護学領域」各領域の課題演習を通して、領域に属する複数の教員からの助言や指導を受ける機会を得て、多角的な視点で研究計画を立案することにつながった。

今年度の 1 月に、本学の山田雅夫教授を講師に「修士論文審査評価とコメント」をテーマに「看護学研究科研修会」を開催した。さらに、各教員は研究力向上のために関連学会主催の研究手法の研修、学会参加を通してスキルアップを目指した。

- ④ 地域福祉学専攻（修士課程）、看護学専攻（博士後期課程）設置の開設準備を進める。

(実績) 2014 年の開設から 10 年目を迎える 2023 年 4 月に「看護学研究科」から「健康科学研究科」に名称変更するとともに、「中山間地域の全世代型地域包括ケア」を看護学と福祉学の視点から新たに体系化し、「中山間地域の未来を拓く全世代型地域包括ケアの追究・実践」を目指し、大学院改組に向けて検討・準備を行ってきた。2022 年 8 月、文部科学省から地域福祉学専攻（修士課程）、看護学専攻（博士後期課程）の設置が認可され、同年 12 月には、看護学専攻（博士前期課程）において、養護教諭専修免許を取得する教職課程が認定された。以上、2021 年度に申請した全ての設置申請が順調に認可されたことは評価できる。設置認可後、県内外関係機関に研究科設置を周知するとともに、オンライン進学相談を 2 回実施した(巻末資料参照)。

今後とも、中山間地域にある公立大学として、さらなる発展に向けて全世代型地域包括ケア看護学および福祉学の探究を目指し、高度専門職者・研究者の育成を目指す。

◎年間行事（大学院看護学研究科）

実施月日	行 事
2022 年	
4 月 9 日	入学式、授業開始
9 月 6 日	M2 中間発表会(2 年次生)
10 月 28 日	修士論文題目提出
12 月 26 日	修士論文提出(2 年次生) 研究計画書提出(1 年次生)
2023 年	
1 月 10 日	研究構想発表会 (1 年次生)
1 月 17 日	修士論文審査
2 月 7 日	修士論文公開発表会
3 月 18 日	看護学研究科修了式

3) 地域福祉学科

今年度四年制大学の完成年度を迎え、1 期生の最終学年のスムーズな教育実施および主幹資格である社会福祉士、介護福祉士の資格取得支援に取り組んだ。

その他、今年度の学科教育の主な目標は以下の3点であった。

①地域福祉学科が目指す地域や生活理解を基本とした福祉人材養成のための地域交流活動の継続

基礎ゼミナールでは、3 地区計 6 グループによる交流活動を行い、地域踏査や住民との検討会による地域理解と活動を行った。また、対象地域住民の世代交代やニーズの変化を把握し、活動内容を検討、見直しを行った。地域文化実習では、3 年ぶりに举行されたにいみ土下座祭りにお囃子隊として参加した。事前の特別講義では地域理解や地域福祉推進における祭りの役割について事前学習もできた。福祉サービス入門実習では、実習施設との連携により、福祉を中核としたまちづくりを展開する社会福祉法人からの講話を聴き、入門実習における学修の視点を明確化してうえで、新見市内 14 ヶ所の事業所での体験実習を実施した。学修が現場体験のみに偏らないよう、各種福祉サービスが地域福祉推進に果たしている役割を学ばせる時間を増やした。また、中山間地域の保健医療福祉政策や介護福祉関連の科目において、多職種協働による地域医療および高齢者介護を展開している法人、介護予防、地域交通などに関わる講師を招き、中山間地域での課題解決に取り組む実践の学修を充実できた。

②複数の学び・資格を持った福祉人材育成

基幹資格である社会福祉士、介護福祉士の資格取得のための学修支援を計画通り実施することができた。社会福祉士国家試験福祉系大学等ルート新卒 65%の合格率に対し、本学科は 86.7%であった。介護福祉士国家試験は 12 人受験し合格率 100%であった。このうち社会福祉士、介護福祉士双方の合格者は 11 人であった。副専攻共生社会推進士 5 人、副専攻地域介護専門士 2 人が取得した。その他、社会調査士や介護予防運動指導員等を含め、53%の学生が複数の学び・資格を取得した。卒業後の進路としては、県や市町村職員、社会福祉協議会、病院、社会福祉施設等で福祉職としての就職が 86%であり、4 年間の福祉専門職としての学びを活かし活躍してくれるものと考えている。

今年度の防災士資格については、本学科では 51 人が合格し登録資格を得ている。

③地域福祉推進のための学修の実践

共生社会実践演習では、1 期生が上市地区社協との協働で 2 年次で地域踏査、3 年次で地域計画への提言を行い、4 年次では地域住民ニーズに基づいて、住民と共にウォーキングコースの作成・整備し『かみいちウォーキングマップ』を作成した。2 月 8 日の基礎ゼミナール発表会において、1 期生 3 年間の学修の報告を行った。介護福祉実習Ⅳでは、居宅介護事業所での訪問介護実習に加え、地域ケア会議、サービス担当者会議等へ参加し地域における介護福祉展開について学修した。また、対象者の心身状態だけでなく、生活している地域の社会資源や人的資源との関連を含めた情報収集を行わせ、学修まとめを行った。

<年間行事>

実施月日	行事・活動
2022 年	
4 月 4 日	前期各資格説明・在学生履修ガイダンス
4 月 6～7 日	新入生ガイダンス
5 月 26 日	地域福祉研究中間発表会
6 月 27 日	介護福祉実習Ⅱ（2 年生）
～7 月 23 日	
6 月 20 日	
～7 月 16 日	
（内 38 時間）	介護福祉実習Ⅳ（4 年生）
6 月 20 日	
～8 月 2 日	
（内 180 時間）	コミュニティソーシャルワーク実習（3 年生）
9 月 20 日～29 日	福祉サービス入門実習（1 年生）
10 月 3 日	後期各資格履修ガイダンス
10 月 15 日	にいみ土下座祭り参加（2 年生）
12 月 5 日～17 日	
2023 年 1 月 16 日～28 日	介護福祉実習Ⅲ（3 年生）
1 月 21 日	地域文化実習発表会
2 月 8 日	基礎ゼミ・共生社会実践演習発表会（1・2 年生）
2 月 15 日	地域福祉研究発表会（4 年生）
2 月 27 日	
～3 月 11 日	介護福祉実習Ⅰ（1 年生）

3. 教員の教育・研究・社会貢献への実績

学長 公文裕巳

教育活動

専門分野

医学全般, 遺伝子治療, 泌尿器科学

教育活動

専門分野

医学全般, 遺伝子治療, 泌尿器科学

担当科目

- ・健康科学Ⅰ：健康科学部3学科1年, 前期2時間必修
- ・健康科学Ⅲ：健康保育学科1年, 地域福祉学科1年, 後期6時間必修, 看護学科1年, 後期6時間選択
- ・健康科学Ⅳ：健康保育学科1年, 地域福祉学科1年, 後期4時間必修, 看護学科1年, 後期4時間
- ・医療概論：看護学科1年, 必修

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・大学全体の教育活動の管理・運営
- ・全学生に対する読書指導
- ・地域共生推進センターにおける「鳴滝塾」などの企画・運営
- ・NiU 駅西サテライトの企画・運営

2) その他

- ・岡山大学名誉教授、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科特命教授

研究活動

学術論文

- 1) Araki K, kurosawa A, Kumon H: Development of a quantitative methylation-specific droplet digital PCR assay for detecting Dickkopf-related protein 3. BMC Research Notes. 15:169, 2022.
- 2) Xue R, Lin W, Fujita H, Sun J, Kinoshita R, Ochiai K, Futami J, Watanabe M, Ohuchi H, Sakaguchi M, Tang Z, Peng H, Nasu Y, Kumon H:

Dkk3/REIC Deficiency Impairs Spermiogenesis, Sperm Fibrous Sheath Integrity and the Sperm Motility of Mice. Genes. 13: 285(1-12), 2022.

- 3) Miyamoto I, Honjo T, Masui M, Kinoshita R, Kumon H, Kakimi K, Futami J: Engineering cancer/testis antigens with reversible S-cationization to evaluate antigen spreading. Front Oncol. 12:869393, 2022.

外部資金獲得状況

- 1) 令和4年度 特別電源所在県科学技術振興事業 (岡山県) 新産業の創出につながる基盤技術研究 (委託事業グループ研究) 研究課題「がん免疫サイクルを活性化する高機能化 REIC タンパク質製剤の実用化」研究代表者: 阪口政清, 研究アドバイザー: 公文裕巳, 分担研究者: 二見淳一郎, 大内淑代, 黄 鵬, 木下理恵

その他

公文裕巳: 「メディカルテクノおかやま」とメディカルテクノバレー構想 - 16年間の歩みを振り返って - 岡山医学同窓会報 第132号、35-40, 2022.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 公文裕巳: Part1「新見公立大学の目指すところ」 Part2「中高年の排尿トラブルについて」岡山県退職公務員連盟令和4年度新見支部定期総会, 2022. 5. 24.
- 2) 公文裕巳: 「新見高校の皆さんへのメッセージ - ともに新見の未来を拓こう -」. 県立新見高校, 2022. 7. 27.
- 3) 公文裕巳: 「人と地域を創る新見公立大学」岡山県議会視察環境文化保健福祉委員会, NiU 新見駅西サテライト, 2022. 7. 29.
- 4) 公文裕巳: 基調講演「人と地域を創る」課題先進地新見での社会福祉教育, 日本社会福祉教育学会第18回岡山大会, 2022, 8. 20

役職

- 1) 地域共生推進センター「鳴滝塾」塾長
- 2) 岡山大学ナノバイオ標的医療イノベーションセンター長 (岡山大学特命教授)
- 3) 岡山大学発バイオベンチャー「桃太郎源社」学

術担当取締役

- 4) 岡山県医用工学研究会 名誉会長
- 5) NP0 法人アジア太平洋遺伝子細胞治療コンソーシアム 理事
- 6) 公益財団法人 両備てい園記念財団 評議員
- 7) 両備てい園記念財団 助成金 選考委員
- 8) 排尿と泌尿器科疾患に関する臨床懇話会 代表世話人
- 9) 新見市国際交流協会 顧問
- 10) 新見市子育てカレッジ運営協議会 会長
- 11) 社会福祉法人健康の森学園 評議員
- 12) 新見市医師会介護老人保健施設等管理運営委員会 委員
- 13) 新見中央病院 理事
- 14) 岡山県大学人の会 会長

副学長・特任教授 小田 慈

教育活動

専門分野

小児科学, 小児保健, 母子保健, 血液・腫瘍学, 感染免疫学, 移植医療学

担当科目

- ・小児の健康と疾患：看護学科2年, 前期3時間, 必修
- ・子どもの保健：健康保育学科1年, 前期22.5時間, 必修
- ・新生児・乳幼児学：助産学専攻1年, 前期6時間, 必修
- ・健康科学Ⅰ（健康・医療論）：健康科学部1年, 前期1.5時間, 必修（健康保育学科, 地域福祉学科）, 選択（看護学科）
- ・健康科学Ⅲ（基礎病態学）：健康科学部1年, 前期3時間, 必修（健康保育学科, 地域福祉学科）, 選択（看護学科）
- ・健康科学Ⅳ（病気の治療）：健康科学部1年, 前期1.5時間, 必修（健康保育学科, 地域福祉学科）, 選択（看護学科）
- ・病弱児の心理・生理・病理：健康保育学科2年, 後期13.5時間, 必修
- ・重度・重複障害者教育総論：健康保育学科3年, 後期3時間, 必修（特別支援学校教諭養成課程履修生必修科目）
- ・実地体験実習：健康保育学科3年, シミュレーション実習, 後期7.5時間（1.5時間, 5回）必修
- ・小児看護実習：看護学科3年, 小児科外来実習実習：各グループ 3時間（新見中央病院小児科外来実習）

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・副学長
- ・理事（総務担当）
- ・理事会・経営審議会・教育研究審議会委員
- ・大学経営戦略室
- ・教員選考・評価委員会（教員再任委員会）委員
- ・評価・将来構想委員会委員
- ・FD・SD委員会委員
- ・ハラスメント等防止委員会委員長
- ・保健管理センター センター長
- ・学生選抜等委員会委員

- ・研究倫理審査委員会委員
- ・地域共生推進センター会議
- ・にいみ子育てカレッジ運営委員会

2) その他

- ・岡山大学名誉教授, 岡山大学医学部特命教授
- ・岡山大学医学部保健学科講義：看護と病態生理Ⅳ（WEB講義 7時間）
- ・ノートルダム清心女子大学研究倫理審査委員会 外部委員

研究活動

学術論文

- 1) Yoshihiro Takahashi, Tatsutoshi Nakahata, Megumi Oda, 他21名: JACLS ALL-02 SR protocol reduced-intensity chemotherapy produces excellent outcomes in patients with low-risk childhood acute lymphoblastic leukemia. Inter Journal of Hematology doi.org/10.1007/s12185-022-03315-x. Pub on line. 08 March 2022.
- 2) 菅 秀, 石黒信久, 小田 慈, 他8名: 小児侵襲性肺炎菌感染症（IPD）の発生動向および起炎菌血清型変化の解析 IASR Vol44 p11-12 2023年1月.
- 3) 河田恵子, 黒川 葵, 小田 慈, 他5名: A 大学保健室における学生メンタルヘルスケア実施状況についての検討と今後の課題. 新見公立大学紀要, 43, 171-176, 2022.
- 4) 上山和子, 山本裕子, 西村美紗季, 小田 慈: 小児の地域包括ケアにおける小児看護実習の展開と実習構造図. 新見公立大学紀要, 43, 177-179, 2022.

外部資金獲得状況

- 1) 令和4年度～令和6年度, 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「既存ワクチンの有用性検証および今後の予防接種施策の向上に資する基礎的・臨床的研究」（研究開発協力者）：小田 慈
- 2) 令和3年度～, 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 革新的がん医療実用化研究事業「小児およびAYA世代の横紋筋肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療

法の開発」(研究開発協力者):小田 慈

- 3)令和2年度～,国立研究開発法人日本医療研究開発機構 革新的がん医療実用化研究事業「小児急性リンパ性白血病に対する標準的治療法の確立:フォローアップ課題」(研究開発協力者):小田 慈

社会的活動

講演・研修会

- 1)小田 慈:子育て支援活動(談話),BABYすくうーる. 新見市役所健康づくり課(4回)
- 2)小田 慈:子育て支援活動(談話)子育てサロン(10回),教育従事者対象医療講習会(2回). 井原市,井原市民病院,毎月1回(一部WEB)
- 3)小田 慈:子育て支援活動(談話),にっこりサロン“ヘルス編”. 鳥取県日南町子育て支援センター,毎月1回(一部WEB)
- 4)小田 慈:保育サポーター養成講座. 子どもの身体の発達と病気(その1,その2). 新見公立大学
- 5)小田 慈:にこみ子育てカレッジ(談話),ハートフルサロン. にこたん(新見公立大学内)(コロナ禍のため3回)
- 6)小田 慈:講演「子どもの体と心の変化」新見市学校給食センター(令和4年7月22日)

地域医療貢献活動

- 1)小田 慈:新見中央病院(連携施設)における小児科外来診療(月曜日午前中及び木曜日)

役職

- 1)日本小児科学会 専門医,指導医,名誉会員
- 2)日本小児保健協会 前理事,前岡山県支部長
- 3)日本小児血液・がん学会 名誉会員
- 4)日本小児感染症学会 名誉会員
- 5)日本血液学会 専門医,指導医
- 6)日本造血・免疫細胞療法学会 功労会員
- 7)日本感染症学会 ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター
- 8)日本がん治療認定医機構 暫定教育医
- 9)日本小児白血病研究会(JACLS) 名誉会員
- 10)日本小児白血病・リンパ腫治療研究グループ(JPLSG)名誉会員
- 11)日本小児がん研究グループ(JCCG)設立メンバー,監査委員会委員(相談役)

- 12)特定非営利活動法人 日本クリニクラウン協会 理事

- 13)岡山県社会福祉審議会 委員,職務代理者

- 14)岡山県社会福祉審議会児童福祉専門分科会 委員長

- 15)岡山県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会委員

- 16)岡山県難病対策委員会 委員

- 17)岡山市予防接種健康被害調査委員会 委員

- 18)岡山県・岡山市・倉敷市小児慢性特定疾病審査委員会 委員長

1) 健康保育学科

学科長・教授 岡本直行

教育活動

専門分野

美術, 造形表現, 図画工作

担当科目

- ・美術: 健康科学部共通科目, 前期 30 時間, 選択, 履修者 11 名
- ・にこみ地域協同演習: 健康科学部共通科目, 前期 30 時間, 選択, 履修者 43 名
- ・にこみの保健医療福祉: 健康科学部共通科目, 後期 30 時間, 必修,
- ・基礎ゼミ: 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修
- ・図画工作 I: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修
- ・図画工作 II: 健康保育学科 2 年, 通年 30 時間, 必修
- ・卒業研究 I: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修
- ・卒業研究 II: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修
- ・卒業研究 III: 健康保育学科 4 年, 前期 30 時間, 必修
- ・卒業研究 IV: 健康保育学科 4 年, 後期 30 時間, 必修

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・評価・将来構想委員会 委員
- ・健康保育学科長
- ・部局会議 委員
- ・教育支援センター 委員
- ・教育・保育実習運営委員会 委員
- ・ハラスメント等防止委員会 委員
- ・入試課題検討委員会 委員
- ・入試委員会 委員
- ・学生選抜等委員会 委員
- ・美術部 顧問
- ・保育実習巡回指導

2) 高校訪問等

- ・愛媛県内高校を 4 校訪問, 2022. 10. 17.
- ・岡山県内高校を 6 校訪問, 2022. 11. 17.
- ・進学ガイダンス, 2022. 12. 6, 2022. 12. 13

研究活動

学術論文(論文, 演奏, 作品による発表)

- 1) 岡本直行, 八子美代子, 蓮沼唯: キミ子方式を用いた子どもの絵画活動の指導法—A 認定子ども園 5 歳児「お父さんの絵を描こう」の活動記録から—, 新見公立大学研究紀要 43, 21-28, 2022
- 2) 岡本直行: 描画法を活かした子どもの造形表現活動の内容—キミ子方式を用いた A 認定子ども園の実践から—, 新見公立大学研究紀要 43, 121-128, 2022
- 3) 岡本直行, 八子美代子, 蓮沼唯: キミ子方式を用いた子どもの絵画活動の指導法—A 認定子ども園 5 歳児「船の絵を描こう」の活動記録から—, 新見公立大学研究紀要 43, 129-136, 2022
- 4) 岡本直行: 植物の栽培活動を通じた遊びや造形表現の内容—T 市の取り組み「親子で自然とあそぼう」の実践から—, 新見公立大学研究紀要 43,

作品

- 1) 岡本直行: 星降る夜に (45×15×10・ポリエステル樹脂). 選抜, 広島日展小品展, 福屋八丁堀本店 7 階画廊, 2022. 4. 29-5. 5.
- 2) 岡本直行: 雨のかたち (33×30×20・石膏). かたち展 2022, 銀工房しろがねや (今治市), 2022. 9. 3-9. 19.
- 3) 岡本直行: 雨のかたち II (25×25×25・石膏). かたち展 2022, 銀工房しろがねや (今治市), 2022. 9. 3-9. 19.
- 4) 岡本直行: 雨のかたち III (25×25×10・石膏, 木). かたち展 2022, 銀工房しろがねや (今治市), 2022. 9. 3-9. 19.
- 5) 岡本直行: 雨のかたち IV (30×15×15・石膏). かたち展 2022, 銀工房しろがねや (今治市), 2022. 9. 3-9. 19.
- 6) 岡本直行: 風のたより (30×30×5・石膏, 木). 選抜, 第 18 回広島日展会総合小品展, 美術館 あーとあい・さき (三次市), 2022. 11. 6-12. 18.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 津山市1・2・3年保育士研修会講師,「絵具の特性を活かした子どもの描画活動の指導方法」,津山すこやか・こどもセンター(津山市), 2022. 6. 9.
- 2) 津山市保育士表現部会研修会講師,「トイレットペーパーを用いた紙粘土遊びの内容と指導方法」, つやま西幼稚園(津山市), 2022. 8. 18.
- 3) 新見市幼稚園教諭表現部会研修会講師,「身の回りの素材を利用した子どもの遊びの内容と指導方法」, 新見市, 2022. 11. 8.
- 4) ノートルダム清心女子大学児童学科特別講演「舞台装置製作の素材と技術について」ノートルダム清心女子大学(岡山市), 2022. 7. 15.
- 5) かたち展2022 対談「立体表現の面白さ」, 銀工房しろがねや(今治市), 2022. 9. 18.
- 6) ノートルダム清心女子大学音楽研究室特別講演「クリスマスコンサートに向けての大道具制作指導」, ノートルダム清心女子大学(岡山市), 2022. 11. 29.
- 7) 子どもの描画に関する研修「キットパスを用いた描画活動」, 哲西認定こども園(新見市), 2023. 3. 16, 2023. 3. 29.

役職

- 1) 日展 会友
- 2) 広島日展会 会員
- 3) 新見市文化財保護審議会 委員
- 4) 新見市産業振興会 委員
- 5) 中・四国保育士養成協議会 委員
- 6) 西日本公立大学保育士養成所長会議 委員
- 7) 岡山県保育養成協議会 理事
- 8) 新見市雇用対策協議会委員会 委員
- 9) 新見美術館に関する懇話会 委員

その他

- 1) 新見市文化財保護審議会会議、新見市教育委員会生涯学習課, 2022. 9. 29.

教授 斎藤健司

教育活動

専門分野

保育内容「環境」、生化学

担当科目

- ・保育内容「環境」：健康保育学科1年，後期30時間，必修
- ・保育内容「環境」の指導法：健康保育学科2年，前期30時間，必修
- ・生活：健康保育学科1年，後期10時間，選択，31人
- ・自然科学I：共通科目，前期10時間，選択，54人
- ・自然科学II：共通科目，後期10時間，選択，88人
- ・生命活動と代謝：看護学科1年，後期30時間，必修

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・理事（教育・研究担当）
- ・学生部 部長
- ・経営審議会 委員
- ・教育研究審議会 委員
- ・評価・将来構想委員会 委員
- ・評価・将来構想委員会内部質保証部会 部会長
- ・評価・将来構想委員会教学マネジメント部会 委員
- ・評価・将来構想委員会大学院改組部会 部会長
- ・学生選抜等委員会 委員長
- ・入試課題検討委員会 委員長
- ・入試委員会 委員
- ・教務委員会 委員
- ・学生生活支援センター会議 委員
- ・修学・キャリア支援センター会議 委員
- ・教育・保育実習連絡協議会 委員
- ・教員選考委員会 委員
- ・再任審査委員会 委員
- ・ハラスメント等防止委員会 委員
- ・障害者差別解消の推進 総括監督責任者
- ・個人情報保護委員会 委員
- ・個人情報保護 副管理者
- ・特定個人情報 監査責任者

- ・奨学基金審査委員会 委員
- ・ふるさと育英奨学金審査委員会 委員長
- ・災害対策本部 副本部長
- ・自動車事故等処理審査会 委員
- ・業者等指名審査委員会 委員
- ・財産管理補助者
- ・施設管理者 学生会館、部室
- ・学生会館管理運営委員会 委員長
- ・海外派遣研修学生選考会 委員
- ・後援会 理事
- ・課外活動顧問 バスケットボール部

2) その他

- ・公立大学協会主催「第2委員会教学マネジメントに関するWGセミナー」，2022.7.15. オンライン会議
- ・大学教育質保証・評価センター「大学機関別認証評価事前打ち合わせ」，2022.9.30、2023.3.29

研究活動

著書

- 1) 住本克彦，斎藤健司，他23名：新しい視点からの教育社会学. 分担執筆（第9章、コラム⑥担当），住本克彦編，教育情報出版社，岡山，2022.
- 2) 永渕泰一郎，斎藤健司，他15名：新・保育内容「環境」ラーニング・ストーリーで綴る学びの記録. 分担執筆（第13章担当），永渕泰一郎編，教育情報出版社，大阪，2023.
- 3) 住本克彦，斎藤健司，他14名：教職入門. 分担執筆（第12章担当），住本克彦編，建帛社，東京，2023.

社会的活動

役職

- 1) 岡山・産学官連携推進会議 幹事
- 2) 岡山県立新見高等学校 学校評議員
- 3) 岡山県立新見高等学校 学校関係者評価委員
- 4) 岡山県立新見高等学校 教科用図書選定委員
- 5) 岡山大学医学部分子医化学同門会 会長
- 6) 新見市環境保全審議会 会長
- 7) 大学連携事業推進会議 委員

その他

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022.9.22.

教授 松本好生

教育活動

専門分野

医療福祉学, 臨床心理学, 発達障害学, 障害児保育, 重度・重複障害学, 特別支援教育学, 知的障害学, 肢体不自由者の心理学, 病弱者の心理学

担当科目

- ・知的障害者の心理・生理・病理: 健康保育学科 2年, 前期 30 時間, 必修, 53 人
- ・肢体不自由者の心理・生理・病理: 健康保育学科 2年, 後期 30 時間, 必修, 53 人
- ・病弱者の心理・生理・病理: 健康保育学科 2年, 後期 30 時間, 必修, 53 人
- ・重度・重複障害者教育総論: 健康保育学科 3年, 後期 30 時間, 必修, 54 人
- ・発達障害者教育総論: 健康保育学科 3年, 後期 30 時間, 必修, 54 人
- ・特別支援教育実習指導: 健康保育学科 4年, 通年 30 時間, 必修, 42 人
- ・特別支援教育実習: 健康保育学科 4年, 通年 90 時間, 必修, 42 人
- ・卒業研究Ⅲ: 健康保育学科 4年, 前期 30 時間, 必修, 3 人
- ・卒業研究Ⅳ: 健康保育学科 4年, 後期 30 時間, 必修, 3 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・衛生委員会 委員
- ・職員代表者委員会 委員
- ・教育推進委員会 委員
- ・教育保育実習運営委員会 委員

2) 岡山県における活動

- ・大学コンソーシアム岡山 障がい学生支援委員会 委員
- ・岡山県保養協養護実習委員会 委員
- ・岡山県教育保育実習連絡協議会 委員
- ・岡山県教育保育実習運営協議会 委員
- ・岡山県養護実習委員会 委員

3) 高等学校訪問

①高等学校進路指導室電話訪問

- ・岡山城東高等学校, 2022.5.16. (電話)
- ・玉野光南高等学校, 2022.5.16. (電話)
- ・岡山学芸館高等学校, 2022.5.16. (電話)
- ・広島県内の高校(5校), 2022.6.14. (電話)
- ・兵庫県立佐用高等学校, 2022.12.15. (電話)
- ・兵庫県立山崎高等学校, 2022.12.15. (電話)

4) 高校進学ガイダンス

- ・兵庫県立上郡高等学校, 2022.5.25 (WEB)

5) その他

- ・環太平洋大学 IPU 次世代教育学部こども発達学科 2年生 (障害児保育) 前期・講義 (30 時間)

研究活動

学術論文等

1) 松井剛太, 七木田 敦 (編)『実践事例を通して具体的なかかわりを学ぶ「保育現場における特別支援」』, 教育情報出版, 2023.2.1.

松本好生: 第 3 章 不注意や落ち着きのなさがある子どもの保育,

・1 節「注意欠如・多動性障害 (注意欠如・多動症) とは」 pp. 50-51.

・6 節「気が散りやすく, 集中が続きにくい子ども」とのかかわり, pp. 60-62.

・7 節「友達とのトラブルが多い子ども」とのかかわり, pp. 63-65.

2) 塚原貴子, 末光 茂, 後藤裕之, 松本好生, 神埼 晋: 新型コロナウイルス感染症予防活動の心身への影響～知的障害者施設職員が捉えた影響, 日本発達障害学会, 第 57 回研究大会 12 月 24 日～25 日, 2022.

外部資金獲得状況

1) 科学研究費助成事業・基盤研究 (C) 課題番号 95303-061-08020-0001 研究課題名「新型コロナウイルスが知的障害者施設にもたらした影響の学際的及び国際的研究」研究代表者: 末光 茂 研究分担者: 松本好生 他, 2020—2022.

社会的活動

講演・研修会

1) 松本好生: 発達障害がある人の行動が落ち着く裏技, 2022 年度「吉備創生カレッジ」, 山陽新聞

本社,2022.5.9.

2) 松本好生：「落ち着きのない子ども」や「トラブルを起こしやすい子ども」への支援技法～発達障害のある子どもが不適応を示す行動の背景にあるカラクリ～,保育園・幼稚園等発達障害研修講座,旭川荘療育アカデミー,2023.3.5.

役職

- 1) 中国四国心理学会 理事
- 2) 学校法人旭川荘 評議員

その他

1) 松本好生：ASD（自閉スペクトラム症）の感覚器官の特殊性,にいみ子育てカレッジ,2022年度子育て支援者に対する研修（領域別：発達障害）,2022.12.15.

2) 松本好生：ADHD（注意欠如・多動症）の気が散りやすく、集中が続きにくい子どもに対する支援の実践例,にいみ子育てカレッジ,2022年度子育て支援者に対する研修（領域別：発達障害）,2023.1.12.

特任教授 高月教恵

教育活動

専門分野

保育学、幼児教育学

担当科目

- ・保育原理：健康保育学科1年，前期30時間，必修，履修者54人
- ・保育・教育課程論：健康保育学科2年（3・4年各1名含む），前期30時間，必修、履修者54人
- ・教育学総論：健康保育学科2年（3年1名含む），前期14時間，必修，履修者56人
- ・保育実習指導Ⅰ：健康保育学科2年，前期30時間，必修，履修者52人
- ・保育実習Ⅰ：健康保育学科2年，前期90時間，必修，履修者52人
- ・保育内容総論：健康保育学科1年（3年1名含む），後期16時間，必修，履修者54人
- ・乳児保育Ⅱ：健康保育学科1年（3年1名含む），後期30時間，必修，履修者54人
- ・幼児理解の理論及び方法：健康保育学科2年，後期10時間，必修，履修者53人
- ・保育実習指導Ⅱ：健康保育学科2年，後期30時間，選択，履修者52人
- ・保育実習Ⅱ：健康保育学科2年，後期90時間，選択，履修者52人
- ・保育実習指導Ⅰ：健康保育学科3・4年，後期30時間，選択，履修者2人
- ・保育実習Ⅰ：健康保育学科3・4年，後期90時間，選択，履修者2人
- ・卒業研究Ⅲ：健康保育学科3年，前期30時間，必修，履修者3人
- ・卒業研究Ⅳ：健康保育学科3年，後期30時間，必修，履修者3人

その他の教育活動

- 1) 本学における活動
 - ・教育支援センター長
 - ・評価・将来構想委員会委員
 - ・保育・教育実習運営委員会委員
- 2) その他
 - ・ノートルダム清心女子大学特別講義「教師論—モンテッソーリ教育の理論と実際」（4時間）

研究活動

著書

- 1) 高月教恵：第4章4節保育。八重樫牧子・原葉子・土田美代子編，他7名，児童・家庭福祉，弘文堂，142-151. 2022

学術論文

- 1) 高月教恵：保育所「若竹の園」倉敷さつき會100年の歴史，新見公立大学紀要，43，29-41，2022.

外部資金獲得状況

- 1) 令和2年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)研究課題「戦後の「若竹の園」にみる幼保一体化カリキュラム・保育実践に関する歴史的研究」，課題番号20K02432，研究代表者 高月教恵

その他

- 1) 高月教恵：短期大学・福山市立大学附属幼稚園から福山市立大学附属こども園へ，福山市立大学附属こども園研究紀要，2018（平成30）年度～2022（令和4），2023.

社会的活動

講演

- 1) 高月教恵：倉敷さつき會100年の歴史，倉敷さつき會100周年記念講演会，倉敷国際ホテル，2023. 1. 18.

研修・研究会指導

- 1) 高月教恵：保育者の資質向上—新見市保育・教育カリキュラムを通して（岡山県保育協議会発表課題），新見市保育協議会研究部会第1回，新見公立大学，2022. 7. 26.
- 2) 高月教恵：3歳児の主体性を育む環境構成，新見市保育協議会保育・教育カリキュラム研修会3歳児部会，新見公立大学，2022. 7. 28.
- 3) 高月教恵：5歳児の主体性を育む環境構成，新見市保育協議会保育・教育カリキュラム研修会5歳児部会，新見公立大学，2022. 8. 4.
- 4) 高月教恵：2歳児の主体性を育む環境構成，新見市保育協議会保育・教育カリキュラム研修会2歳児部会，新見公立大学，2022. 8. 18.

- 5) 高月教恵：4歳児の主体性を育む環境構成，新見市保育協議会保育・教育カリキュラム研修会 4歳児部会，新見公立大学，2022. 8. 23.
- 6) 高月教恵：1歳児の主体性を育む環境構成，新見市保育協議会保育・教育カリキュラム研修会 1歳児部会，新見公立大学，2022. 8. 25.
- 7) 高月教恵：0歳児の主体性を育む環境構成，新見市保育協議会保育・教育カリキュラム研修会 0歳児部会，新見公立大学，2022. 9. 6.
- 8) 高月教恵：子供の育ち（発達の道筋）に関する評価指標等の素案について，広島県教育委員会学びの変革推進部乳幼児教育支援センター研修会，ピュアリティまきび，2022. 11. 11.
- 9) 高月教恵：子供の育ち（発達の道筋）に関する評価指標等の素案について，広島県乳幼児教育支援センターアドバイザーボード，新見公立大学（オンライン），2022. 11. 21.
- 10) 高月教恵：福山市立大学附属こども園開園後5年間の振り返りと保育指導，園内研修会，福山市立大学附属こども園，2022. 11. 28.
- 11) 高月教恵：保育者の資質向上－新見市保育・教育カリキュラムを通して（岡山県保育協議会発表課題），新見市保育協議会研究部会第2回，新見公立大学，2023. 3. 9.
- 12) 高月教恵：子供の育ち（発達の道筋）に関する評価指標等の修正案について，広島県乳幼児教育支援センターアドバイザーボード，新見公立大学（オンライン），2023. 3. 15.

役職

- 1) にいみ子育てカレッジ運営委員会委員
- 2) 岡山県保育実習委員会委員
- 3) 広島県教育委員会乳幼児教育支援センターアドバイザーボード委員
- 4) 社会福祉法人「若竹の園」（倉敷市）理事

特任教授 梶本 佳照

教育活動

専門分野

教育学, 生活科, 教育学

担当科目

- ・自然科学Ⅰ：教養科目, 前期 10 時間, 選択, 36 人
- ・ICT リテラシーⅠ：健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 54 人
- ・ICT リテラシーⅠ：看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 85 人
- ・ICT リテラシーⅠ：地域福祉学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 53 人
- ・ICT リテラシーⅡ：全学科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 10 人
- ・生活：健康保育学科 1 年, 後期 20 時間, 選択, 31 人
- ・教育方法・技術論：健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 56 人
- ・教育方法・技術論：看護学科養護教諭養成課程 3 年, 前期 30 時間, 必修, 10 人
- ・卒業研究Ⅰ：健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修 4 人
- ・卒業研究Ⅱ：健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修 4 人
- ・卒業研究Ⅲ：健康保育学科 4 年, 前期 30 時間, 必修 3 人
- ・卒業研究Ⅳ：健康保育学科 4 年, 後期 30 時間, 必修 3 人

その他の教育活動

- 1) 本学における活動
 - ・総合情報基盤センター 長
 - ・IR 委員会 長
 - ・情報システム委員会 長
 - ・評価・将来構想委員会 委員
- 2) 高校訪問
 - ・兵庫県内の高校(2 校電話訪問), 2022. 12. 19.
 - ・兵庫県内の高校ガイダンス, 2023. 3. 14.
 - ・岡山県内のオンライン高校ガイダンス, 2023. 3. 15.
- 3) その他

- ・UNIVERSAL PASSPORT 使用説明会, 2022. 4. 7, 4. 22, 4. 28.
- ・地域共生推進センター棟講堂音響・映像機器使用 説明会, 2022. 4. 15
- ・高校アプローチシステム研修会, 2022. 12. 7.
- ・勤怠管理及び旅費管理システム検討会, 2022. 8. 9, 9. 20, 9. 26, 10. 26, 11. 8, 1. 13, 1. 18, 2. 3,
- ・大学関係者管理システム研修会, 2022. 7. 11, 7. 29, 8. 15, 9. 5, 9. 28, 12. 9.
- ・オンライン面接補助, 2022. 4. 18, 5. 2, 5. 13, 5. 23, 6. 7, 6. 15, 7. 21, 7. 22, 11. 24, 11. 28, 1. 12, 2. 15, 3. 9,

研究活動

動画教育教材

- 1) 梶本佳照：ネット社会の歩き方動画教材, 公式サイトで購入したはずなのに, 一般社団法人日本教育情報化振興会, 2022.

その他

- 1) 梶本佳照:Google Workspace for Education 研修会, 2022. 7. 14, 7. 15, 8. 31, 10. 6, 11. 10, 12. 2. 2022 年度学長配分研究費

社会的活動

講演・研修会

- 1) 情報モラル教育研修会「鹿児島市教育総合センター」, 2022. 8. 26.
- 1) 新見市 GIGA スクール構想実現事業 授業研修会「新見市立本郷小学校・満歳小学校」, 2022, 10. 25.
- 2) 第 47 回全日本教育工学研究協議会全国大会春日井大会、研究発表座長、閉会式司会, 2022. 11. 28. 29.
- 3) 令和 4 年度新見市プログラミング発表会(オンデマンド), 2022. 12. 19.
- 4) 新見市 GIGA スクール構想実現事業 授業研修会「新見市立高尾小学校」, 2023, 1. 17.
- 5) Wireless Navi (学校向けウェビナー)「学校 DX で進化する学校、取り残される学校」ーGIGA スクール構想で進化した学校とは?ー(GIGA スクール構想を達成するための ICT 環境を目指して), 2023. 2. 24
- 6) 新見市ドローンプログラム教育研修会「新見市立哲西中学校」, 2023. 3. 3.

役職

- 1) 日本教育工学協会(JAET)評議委員
- 2) 学校情報化認定委員会委員(日本教育工学協会)
- 3) ICT 活用教育アドバイザー (文部科学省)
- 4) デジタル庁デジタル推進委員
- 5) 「ネット社会の歩き方」情報モラルセミナー」
検討委員会委員 (一般財団法人日本教育情報振
興会)
- 5) 新見市報道委員

その他

- 1) 交通安全週間街頭査察, 西方小学校前交差点,
2022. 9. 22

准教授 八尋茂樹

教育活動

専門分野

社会福祉学(児童家庭福祉,教育福祉)

担当科目

- ・社会福祉:健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修
- ・社会的養護Ⅰ:健康保育学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
- ・子育て支援: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修
- ・保育実習Ⅰ(施設): 健康保育学科 3 年, 前期 90 時間, 必修
- ・保育実習Ⅲ: 健康保育学科 3 年, 前期 90 時間, 選択必修, 1 人
- ・保育実習指導Ⅰ: 健康保育学科 3 年, 前期 90 時間, 必修
- ・保育実習指導Ⅲ: 健康保育学科 3 年, 前期 90 時間, 選択必修, 1 人
- ・卒業研究Ⅰ: 健康保育学科 3 年, 前期 15 時間, 必修 5 人
- ・卒業研究Ⅱ: 健康保育学科 3 年, 後期 15 時間, 必修 5 人
- ・卒業研究Ⅲ: 健康保育学科 3 年, 前期 15 時間, 必修 3 人
- ・卒業研究Ⅳ: 健康保育学科 3 年, 後期 15 時間, 必修 3 人
- ・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修 4 人
- ・地域防災論: 健康保育学科 2 年(必修), 地域福祉学科 2 年(必修), 看護学科 2 年(選択), 集中 30 時間, 169 人
- ・地域防災演習: 健康保育学科 2 年(必修), 地域福祉学科 2 年(必修), 看護学科 2 年(選択), 集中 15 時間, 169 人

その他の教育活動

- 1) 本学における活動
 - ・地域共生推進センター 副センター長
 - ・教育支援センター 委員
 - ・研究倫理審査委員会 委員
 - ・健康保育学科卒業研究 委員
 - ・軟式野球部 顧問
 - ・ドラムサークル・サークル 顧問

- ・ボードゲーム・サークル 顧問

2) 高校訪問

- ・山口県内の高校(3 校訪問), 2022.12.28.
- ・静岡県内の高校(4 校訪問), 2022.9.29-30.
- ・進学ガイダンス, 兵庫県立相生高等学校, 2023.3.1.

3) その他

- ・新見公立大学軟式野球部大会引率 (WEST BASEBALL CHALLENGE 2022, 福山市曙運動公園野球場), 2022.5.28.

研究活動

学術論文

- 1) 八尋茂樹, 李鵬飛訳: 游戏论・他山之石 宮澤賢治と《理想郷物語》2. 澎湃新聞(WEB 版), 2022.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 講話・静岡県島田市川根町災害復旧支援活動からの教訓(第3回福祉セミナー), 島田市社会福祉協議会主催, 島田市金谷生きがいセンター・夢づくり会館, 2023.1.29.
- 2) 講話・台風15号川根町家山地区の復旧と福祉的援助について, 川根町婦人会主催, 川根町文化センター, 2022.10.19.
- 3) 講話・地域から学ぶ防災学習(探求学習 2022 SDGs X アクション), 島田市立川根中学校主催, 2022.11.21.
- 4) 講話・災害からの学び(6年生総合的な学習), 島田市立川根小学校主催, 2022.11.29.
- 5) 八尋茂樹, 松久拓未: 不登校児童支援団体・にいのすみっこ相談業務, 岡山県備北県民局新見支所, 2022.4.1-2023.3.31(5回).

役職

- 1) 岡山県保育養成協議会養護実習委員会 委員
- 2) 岡山県健康の森支援学校評議員 学校評議委員
- 3) 新見市思春期の健康相談員
- 4) 新見市不登校・ひきこもり者地域支援会委員
- 5) 新見市不登校・ひきこもり者支援団体顧問
- 6) 大学コンソーシアム岡山地域貢献委員会 委員

その他

・社会貢献活動

- 1)令和4年度全国地域青年・実践大賞「実践奨励賞（全国3位）」, 日本青年団協議会 2023.2.7. および表彰式, 日本青年館（東京新宿区）, 2023.3.18.
- 1)思春期の心の健康相談, 岡山県備北県民局新見支所, 2022.4.1-2023.3.31.(5回)
- 2)健康の森学園支援学校・学校評議委員会, 岡山県健康の森学園支援学校, 2022.4.1-2023.3.31.(3回)
- 3)令和元年新見市集中豪雨災害支援活動, 2022.4.1-2022.9.1.(15回)
- 4)新見市三室地域農業支援活動, 新見市神郷油野, 2022.7.1-10.1. (計15回、保育学生5名に関しては有償ボランティア)
- 4)令和2年7月熊本豪雨災害支援活動（人吉子ども遊び場・くまびばファイナルイベント）, 熊本県人吉市, 2022.8.27-29.
- 5)豪雨災害用レインウェア開発・配布活動（MAN WITH A MISSION とのコラボ） 2022.4.1-2022.5.31.
- 6)災害支援・防災ミーティング vol.1, 大阪市住之江区 GORILLA HALL, 2023.1.29.
- 7)災害支援・防災ミーティング vol.2, 広島県福山市 MUSIC FACTORY, 2023.3.21.
- 8)災害支援・防災ミーティング vol.3, 静岡県榛原郡川根本町, 2023.3.25.
- 9)BIG NATURE2022 災害復興支援ブース, 静岡県島田市川根町天王山公園, 2022.9.2.
- 10)令和4年8月山形県西置賜郡飯豊町豪雨災害復旧支援活動, 2022.8.23-29.
- 11 島田市立川根小学校災害復旧に関する PTA ミーティング, 島田市立川根小学校校長室, 2022.9.27.
- 12)水害にあった後（被災者向け説明会）, 島田市社会福祉協議会主催, 川根町文化センター, 2022.10.29.
- 13)家族で缶バッジワークショップ(かわねさくらマルシェ 2023), 川根町駅前会およびNPO まちづくり川根の会主催, 2023.3.26.
- 14)困りごと相談会（しまつなカフェ）, 川根健康プラザ, 2022.12.12.
- 15)東日本大震災震災遺児・孤児支援活動(笑顔の連鎖・チャリティ活動), 西方公民館他, 2022.4.1-2022.8.30.(3回).
- 16)静岡県島田市川根町豪雨災害支援用ラバーバンド(ロックバンド ELLEGARDEN 高橋宏貴とのコラボ)作成・配布活動, 2022.10.1-2023.3.31.
- 17)静岡県島田市川根町豪雨災害支援用ラバーバンド(ロックバンド鉄槌とのコラボ)作成・配布活動, 2022.10.15-2023.3.31.
- 18)静岡県島田市川根町豪雨災害支援用ラバーバンド(イベント団体・大阪喫茶部とのコラボ)作成・配布活動, 2022.11.20-2023.3.31.
- 19)静岡県島田市川根町豪雨災害支援用パーカー(インストゥルメンタルユニット PAM とのコラボ)作成・配布活動, 2022.9.30-2023.2.20.
- 20)静岡県島田市川根町復旧要望書署名活動, 島田市川根町文化センター, 2023.2.5
- 21)東日本大震災風化防止活動(ISHINOMAKI BUCHI ROCK とのコラボ), 2022.11.23-12.31.
- 22)令和元年新見市豪雨災害支援用ラバーバンドおよびステッカー(松竹芸能・チキチキジョニーとのコラボ)作成・配布活動, 2022.4.1-2022.8.31.
- 23)令和元年新見市豪雨災害募金活動, 東京都目黒区恵比寿 Club aim, 2022.5.6 および 7.29.
- 24)令和元年新見市豪雨災害募金活動, 札幌市 CRAKZY MONKEY, 2022.4.10-11.
- 25)#サポウィズ災害支援金贈呈式, 広島県広島市, 2022.6.17.
- 26)ライブハウス・新型コロナウイルス感染症対策支援活動, SAVE THE LIVEHOUSE2022, 2022.6.3.
- 27)新型コロナウイルス感染症対策支援活動(広島県立廿日市高等学校とのコラボ), 広島県廿日市市, 2022.5.5.
- 28)ウクライナ応援活動, 広島県福山市 INN-OVATION, 島根県松江市 AZTiC CANOVA, 2022.6.25-26.
- 29)新見公立大学ヤヒロラボ活動紹介, ま〜ぶる! チキチキ遠藤 Nami 乗りジョニー, KBS 京都, 2022.7.13.
- 30)#サポウィズ熊本県豪雨災害支援寄付活動 (MAN WITH A MISSION とのコラボ・災害用ヤッケ作成・配布活動), 2022.4.1-2022.6.10.
- 31)令和2年7月熊本豪雨災害支援活動, 熊本県人吉市, 2022.4.29-5.4.

- 32)宮城県石巻市での東日本大震災風化防止活動
(珈琲工房いしかわとのコラボ), 宮城県石巻市
北村字小崎一, 2022.4.1-2023.3.31.
- 33)大阪府飲食店新型コロナウイルス感染症対策
支援活動(大阪喫茶部とのコラボ), 大阪梅田,
2022.4.1-2023.3.31.
- 34)天王山冬まつり駄菓子屋ブース運営, 静岡県
島田市川根町, 2022.12.24.
- 35)障害児者交流活動(缶バッジ制作ワークショッ
プ), 放課後等デイサービス・ホハル, 小田郡矢
掛町, 2022.4.11.
- 36)岡山児童文化継承活動, 坪井商店, 岡山市東区,
2022.11.23.
- 37)トルコ地震募金活動(募金活動及び駐日トルコ
共和国大使館寄付),2023.2.15-2023.3.21.
- 38)KLF かわね・こいのぼりマルシェ復興支援ブ
ース, 島田市川根町文化センター, 2022.4.3.
- 39)若者の投票率向上のための選挙啓発支援活動
(WEB), 2022.7.1-7.20.

・メディア出演／新聞・雑誌（広報誌）等掲載

- 1) ラジオ番組「週刊ヤヒロラボ」, FM ふくろう
(隔週月曜日放送。10分番組。関東エリアで
FM放送、インターネットで全国放送),
2022.4.11-2023.3.27 (24回放送)
- 2) 土砂撤去進まず 遠い日常, 静岡新聞(朝刊),
2022.10.5.
- 3) 9・23-24 豪雨の爪痕～台風15号災害と復旧
の記録, 広報しまだ293, 2022.11.1.
- 4) 災害ボラ経験地元に生かして, 川根町合同広
報誌桜町便79号, 2022.11.1.
- 5) 災害支援・防災用品一輪手押し車寄付, 川根
町合同広報誌桜町便80号, 2022.12.1.
- 6) 災害復旧に役立つ手押し一輪者寄贈, 静岡新
聞(朝刊), 2022.12.13.
- 7) 笑顔の連鎖を目指して～令和4年度台風15
号, みんなのふくしだより124, 2023.1.1.
- 8) 報道されない災害の実態, Youth Post 2023
vol.1, 日本青年団協議会, 2023.2.1.
- 9) 島田市立川根小学校ラブ・フェスティバル54
「ボランティア活動」, 川根町合同広報誌桜町
便82号, 2023.2.1.
- 10) 台風爪痕残る茶畑 元の姿に, 静岡新聞(朝
刊), 2023.2.16.

准教授 芝崎 美和

教育活動

専門分野

発達心理学, 教育心理学, 幼児心理学

担当科目

- ・保育の心理学: 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修
- ・子ども教育心理学: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 必修
- ・子ども家庭支援の心理学: 健康保育学科 1 年, 後期 8 時間, 必修
- ・保育内容「人間関係」: 健康保育学科 2 年, 必修, 後期 30 時間, 必修
- ・子ども理解の理論及び方法: 健康保育学科 2 年, 後期 20 時間, 必修
- ・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修
- ・卒業研究Ⅰ: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修
- ・卒業研究Ⅱ: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修
- ・卒業研究Ⅲ: 健康保育学科 4 年, 前期 30 時間, 必修
- ・卒業研究Ⅳ: 健康保育学科 4 年, 後期 30 時間, 必修

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・健康保育学科副学科長
- ・評価・将来構想委員会委員
- ・評価・将来構想委員会教学マネジメント部会委員
- ・教務委員会委員
- ・総合情報基盤センターIR 部門 委員
- ・発達障がい児支援プロジェクト 委員
- ・保育実習巡回指導
- ・教育実習巡回指導

2) 高校訪問

- ・進学ガイダンス
村岡高等学校, 2022.4.12, 笠岡高等学校, 2022.8.4.
- ・岡山県内, 徳島県内, 愛媛県内, 広島県内の高校訪問 (3 校訪問), 2022.5.23, 6.14, 6.21, 7.15,

12.6, 12.7

- ・高校入試説明会
2022.6.28.

3) その他

- ・発達障がい児支援プロジェクトミーティング, 2022.4.10, 5.22, 6.12, 8.21, 9.19, 10.1, 10.23, 12.3, 12.17, 1.7, 2.19, 2.26, 3.4, 3.21.
- ・発達障がい児支援プロジェクト音声入力
2022.7.30.
- ・日本発達心理学会査読委員

研究活動

著書

- 1) 芝崎美和: 第 8 章 領域「人間関係」からとらえる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは, 第 11 章 保育者が大切にしたい領域「人間関係」での援助とは. 齊藤崇 (編), 資質・能力を育む 保育内容 領域 人間関係. 教育情報出版, 89, 94-95, 98, 124-125, 130, 2022.

学術論文

- 1) 芝崎美和・芝崎良典: 協同学習における子ども理解: 領域「人間関係」における事例検討から. 新見公立大学紀要, 43, 43-50, 2022.
- 2) 福武幸世, 芝崎美和, 渡部昌史: 保育者養成校の学生が抱く子どもに対するダンス指導不安と自己開示, 他者受容との関連. 新見公立大学紀要 43, 81-87, 2022.

外部資金獲得状況

- 1) 2017~2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 「幼児期の感情コンピテンスを支える文化的要因の検討: 感情表出機能に着目して」, 研究代表者: 芝崎美和.
- 2) 2020~2023 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 「幼児期の感情コンピテンスを支える環境的要因の検討: 居場所感の獲得プロセスから」, 研究代表者: 芝崎美和.

その他

- 1) 学長配分助成金「児童期を対象とした SST (ソーシャルスキルトレーニング) プログラムの開発」, 研究代表者: 芝崎美和, 研究分担者: 中川彩見

社会的活動

講演・研修会

- 1) 芝崎美和：明日を生きる子どもの力:子どもの育ちを考える. 新見市青少年育成センター非常勤青少年育成員連絡協議会・新見市青少年育成連絡協議会合同研修会, 新見市役所, 2022.7.14.
- 2) 芝崎美和：ことばの力. 新見市 PTA 連合会哲多支部教育講演会, 新見市哲多総合センター, 2022.10.22.
- 3) 芝崎美和：哲多地区ミュージックフェスティバルオープニングイベント, 新見公立大学, 2022.11.10.
- 4) 芝崎美和：心の発達とその問題. 保育サポーター養成講座, 新見公立大学, 2022.11.15.
- 5) 芝崎美和：生きる力を育む. 新見南中学校区学校保健委員会・PTA 合同研修会, 新見市立新見南中学校, 2022.12.1.
- 6) 芝崎美和：ことばの力. 草間台保育所研修会, 新見市立草間台保育所, 2023.2.17.

准教授 渡部昌史

教育活動

専門分野

身体教育学、発育発達学、体育学

担当科目

- ・スポーツ実習 A: 全学科 1 年対象、後期 30 時間、85 人
- ・スポーツ実習 B: 健康保育学科 1 年、前期 30 時間、必修
- ・生涯スポーツ論: 全学科 1 年対象、前期 15 時間、69 人
- ・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年、通年 30 時間、必修
- ・保育内容「健康」: 健康保育学科 1 年、後期 30 時間、必修
- ・保育内容「健康」の指導法: 健康保育学科 2 年、前期 30 時間、必修
- ・卒業研究 I: 健康保育学科 3 年、前期 30 時間、必修
- ・卒業研究 II: 健康保育学科 3 年、前期 30 時間、必修
- ・卒業研究 III: 健康保育学科 4 年、前期 30 時間、必修
- ・卒業研究 IV: 健康保育学科 4 年、前期 30 時間、必修

その他の教育活動

2) 本学における活動

- ・修学・キャリア支援センター長
- ・評価・将来構想委員
- ・ハラスメント等防止委員会相談員
- ・大学コンソーシアム岡山就職支援委員会
- ・保育園教育実習巡回指導
- ・幼稚園教育実習巡回指導

2) 高校訪問

- ・岡山県内と島根県内の高校 (5 校訪問)
2022. 5. 20.、5. 27.、6. 14.、7. 5. (対面)
- ・高校入試説明会
2022. 6. 28.
- ・高校内オンラインガイダンス 2 件
2022. 7. 27.、12. 23.

3) その他

- ・豊岡短期大学通信教育部こども学科教職専門
科目「こどもの指導法」7.5 コマ

研究活動

学術論文

- 1) 渡部昌史、矢嶋裕樹、青木謙介、古田康生：
女子学生の体力・運動能力に関連する心理社会的
的要因一構造方程式モデリングによる検討一。
新見公立大学紀要 43、51-55、2022.
- 2) 青木謙介、廣瀬文彦、渡部昌史：幼児におけ
る鎖骨折後の対応と日常生活ならびに園生活
での留意点. 幼児体育学研究 (1)、95-102、2022.
- 3) 福武幸世、芝崎美和、渡部昌史：保育者養成
校の学生が抱く子どもに対するダンス指
導不安と自己開示、他者受容との関連. 新
見公立大学紀要 43、81-87、2022.

その他

- 1) 御南まんまるこども園研究活動報告書 2022.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 岡山県環境文化部スポーツ振興課令和 4 年度
スポーツ活動奨励事業。
スポーツ教室「陸上競技」指導者
新見市立千屋小学校
第 1 回「短距離」2022. 9. 6.
第 2 回「ハードル走・ボール投げ」2022. 9. 16.
第 3 回「走り幅跳び・走り高跳び・その他」
2022. 10. 13.
- 2) 岡山県環境文化部スポーツ振興課令和 4 年度
ス ポーツ活動奨励事業。
スポーツ教室「陸上競技」指導者
新見市立草間台小学校
第 1 回「短距離」2022. 9. 29.
第 2 回「走り高跳び・ボール投げ」2022. 10. 4.
- 3) 岡山県環境文化部スポーツ振興課令和 4 年度
スポーツ活動奨励事業。
スポーツ教室「陸上競技」指導者
真庭市立美甘小学校
第 1 回「走りの基本」2022. 9. 27.
- 4) 岡山県環境文化部スポーツ振興課令和 4 年度
スポーツ活動奨励事業。
スポーツ教室「陸上競技」指導者

新見市立高尾小学校

第1回「走りの基本」2022. 9. 27.

第2回「走り幅跳び・走り高跳び・ハードル走」
2022. 10. 18.

- 5) 岡山県津山市幼稚園教育部健康部会
研修会講師 2022. 8. 26.
- 6) 令和4年度新見市小学校体育連陸上運動
講習会講師 2022. 9. 29.
- 7) 第12回新見市陸上フェスティバル競技役員
(跳躍審判員主責任) 2022. 9. 23.
- 8) 第18回新見市民スポーツ祭運営補助員
2022. 10. 9.

役 職

- 1) 岡山体育学会(日本体育学会岡山地域)理事
- 2) 日本幼児体育学会理事
- 3) 新見市スポーツ推進委員(新見市教育委員会)
- 4) 岡山県陸上競技協会学童部会部員

准教授 広瀬綾子

教育活動

専門分野

教育学, 演劇教育, 身体表現

担当科目

- ・保育内容「表現」(身体表現): 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修
- ・保育内容「表現」(身体表現) の指導法: 健康保育学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
- ・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修
- ・卒業研究Ⅲ: 健康保育学科 4 年, 前期 30 時間, 必修
- ・卒業研究Ⅳ: 健康保育学科 4 年, 後期 30 時間, 必修
- ・道德教育の理論と実践: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 選択
- ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 選択

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・学生生活支援センター 委員
- ・地域共生推進センター 委員
- ・保育実習巡回指導
- ・幼稚園実習巡回指導
- ・にこみゆめのぼけっと 2022, 新館講堂, 演劇指導, 2022.12.10

2) 高校訪問

- ・石川県の高校 (3 校訪問), 2022.10.29. (対面)
- ・岡山県内の高校 (2 校訪問), 2022.12.20. (対面)
- ・進路ガイダンス
創始学園高校, 2022.6.6. (対面)
山口県立光高等学校, 2022.5.26. (WEB)

研究活動

学会発表

- 1) 広瀬綾子: シンポジウム「学びのメディア変容の思想史／同時代的考察—GIGA スクールの時代をどう見るか—」(教育思想史学会第 32 回大会 (ハイブリッド形式: 対面+オンライン同時双方向型), 2022.9.18, 同志社大学)
- 2) 広瀬綾子: コロキウム 1「エネルギーの教育思

想史序説—フロイト、シュタイナー、バタイユを事例として—」(教育思想史学会第 32 回大会 (ハイブリッド形式: 対面+オンライン同時双方向型), 2022.9.17, 同志社大学)

出演

- 1) 岡山河畔芸術祭: スロー・シアター・プロジェクト公演『デクノボー変奏曲』出演, 2022.10.29, 10.30.

外部資金獲得状況

- 1) 2020 年度～2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C) 研究課題「ドイツの学校教育における演劇教育の研究」, 課題番号 20K02458, 研究代表者: 広瀬綾子.

その他

- 1) 2022 年度 新見公立大学学長配分研究費「芸術活動および表現活動を通じた人間形成に関する研究—岡山県健康の森学園支援学校における弦楽器「バンドーラ」の制作と演奏および新見公立大学学生との交流活動を中心に—」研究代表者: 広瀬綾子, 2022.4.～2023.3.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 弦楽器「バンドーラ」ボランティア演奏, 新見中央認定こども園, 南認定こども園, 2022.5.10.
- 2) 弦楽器「バンドーラ」ボランティア演奏, 新見保育所, 2022.5.17.
- 3) 広瀬綾子: 演劇とコミュニケーション, 2022 年度「吉備創生カレッジ」, 山陽新聞本社, 2022.5.28.
- 4) 岡山県健康の森学園支援学校高等部 バンドーラサークルにおける弦楽器「バンドーラ」制作・演奏指導監修, 2022.5.～2023.3.
- 5) 真庭市立月田小学校 6 年生「総合的な学習の時間」における弦楽器「バンドーラ」制作・演奏指導, 2022.5～2022.10
- 6) 弦楽器・バンドーラ制作サークル, 制作指導, 京田辺市立中部住民センター, 2022.7.31.
- 7) 森のゆうえんち in にこみ 2022 (新見市木育普及活動事業 (一般社団法人にこみ木のおもちゃの会主催) 大会運営, 新見公立大学体育

館, 2022.11.6.

- 8) 広瀬綾子：シュタイナー幼児教育，2022 年度
にいみ子育てカレッジ・子育て支援者に対する
研修，新見公立大学，2023.1.17.

役職

- 1)岡山県保育士養成協議会保育士養成研究会 委
員

その他

- 1)「バンドーラの魅力伝えたいー手作りした公立
大学生、新見保育所で演奏会ー」（備北民報，
2022 年 5 月 24 日付）
2)「ウクライナの楽器作るよー真庭・月田小 6 年
生が挑戦ー」（山陽新聞，2022 年 6 月 5 日付）
3)「ウクライナ思い演奏発表ー真庭の児童、手作
り民族楽器でー」（読売新聞岡山版，2022 年
11 月 4 日付）
4)「平和願い 奏でる自作バンドーラウクライ
ナゆかりの楽器で演奏会 真庭・月田小ー」（朝
日新聞岡山版，2022 年 11 月 18 日付）
6) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，
2022.10.5.

准教授 加藤由美

教育活動

専門分野

幼児教育学, 保育学, 臨床心理学

担当科目

- ・保育者論：健康保育学科1年, 前期8時間, 必修, 履修者54人
- ・保育方法論：健康保育学科3年, 前期15時間, 選択, 履修者55人
- ・教育実習指導：健康保育学科3年, 通年15時間, 選択, 履修者54人
- ・教育実習：健康保育学科3年, 後期180時間, 選択, 履修者54人
- ・保育内容総論：健康保育学科1年, 後期7時間, 必修, 履修者55人
- ・卒業研究Ⅰ・Ⅱ：健康保育学科3年, 通年30時間, 必修, 履修者4人
- ・卒業研究Ⅲ・Ⅳ：健康保育学科4年, 通年30時間, 必修, 履修者4人
- ・基礎ゼミナールB：健康保育学科1年, 通年15時間, 必修, 履修者4人
- ・教職・保育実践演習：健康保育学科4年, 通年30時間, 必修, 履修者45人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・保健管理センター 委員
- ・地域共生推進センター 委員
- ・にいみ子育てカレッジ 運営委員
- ・教育支援センター教育保育実習運営委員会 委員
- ・保育実習 巡回指導 新見市内の保育所・認定こども園(2園訪問), 2022. 7. 7, 11. 10.
- ・教育実習 巡回指導 新見市内の認定こども園(8園訪問), 2022. 10. 11, 13, 14, 18, 2023. 3. 1
- ・「2022年度幼稚園教育実習の手引」編著

2) その他

- ・九州保健福祉大学社会福祉学部通信教育部「発達心理学」添削指導(通年)

研究活動

著書

- 1) 加藤由美：保育者をめざす学生のための人間関係力育成ワークブックー心理教育プログラム “サクセスフル・セルフ” 保育者養成版一, 丸善雄松堂, 2023.
- 2) 加藤由美：保育の友2022年6月号[第70巻第8号], 特集 保育者のこころとからだの健康 総論「保育者のかかえているストレスについて知ろう!」, 全国社会福祉協議会, 8-13, 2022.
- 3) 加藤由美 他14名：幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト「マネジメント」. 第5章 働きやすい職場づくり 第2節 職員の人間関係とメンタルヘルス, 中央法規出版, 127-132, 2022.
- 4) 加藤由美 他15名：教職ライブラリ 教職入門ー教育学のエッセンスから学ぼう, 第12章 教員のメンタルヘルス, 建帛社, 119-128, 2023.

学術論文

- 1) 上山和子・岡京子・加藤由美・山本智恵子：「チームアプローチ演習」における教育方法の評価ー課題レポートの分析よりー, 新見公立大学紀要43, 89-96, 2022

外部資金獲得状況

- 1) 平成30年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤研究C)研究課題「人間関係力を育む保育者養成教育のあり方に関する実践的研究」, 課題番号18K03163, 研究代表者：加藤由美, 研究分担者：安藤美華代・住本克彦.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 加藤由美：令和4年度東京都社会福祉協議会 保育部会 公立委員会主催研修「若手保育者の困難感と対処に着目した心理的支援」2022. 7. 8. Zoom収録(後日オンデマンド配信)
- 2) 加藤由美：第1回保育サポーター養成講座「保育サポーターとしての心構え」新見公立大学, 2022. 11. 15.
- 3) 加藤由美：兵庫県保育協会 民間施設部会主催令和4年度施設長等オンライン研修会「若手保育者の困難感と対処に着目した心理的支援」2022. 12. 5.
- 4) 加藤由美：第4回保育サポーター養成講座「ファミサポの実際と親支援」新見公立大学, 2022.

12. 13.

役職

1) 新見市子ども・子育て会議 委員

その他

1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点,
2022. 4. 14, 10. 4.

准教授 本渡葵

教育活動

専門分野

国語教育, 国語科教育

担当科目

- ・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修
- ・卒業研究 I: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修
- ・卒業研究 II: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修
- ・卒業研究 III: 健康保育学科 4 年, 前期 30 時間, 必修
- ・卒業研究 IV: 健康保育学科 4 年, 後期 30 時間, 必修
- ・国語表現法 B: 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 選択, 53 人
- ・国語表現法 C: 地域福祉学科 1 年, 前期 30 時間, 選択, 54 人
- ・国語: 健康保育学科 1 年, 前期 10 時間, 選択, 23 人
- ・保育内容「言葉」: 健康保育学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
- ・保育内容「言葉」の指導法: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 必修
- ・地域防災論: 健康保育学科 2 年 (必修), 地域福祉学科 2 年 (必修), 看護学科 2 年 (選択), 集中 30 時間, 171 人
- ・地域防災演習: 健康保育学科 2 年 (必修), 地域福祉学科 2 年 (必修), 看護学科 2 年 (選択), 集中 15 時間, 171 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・修学・キャリア支援センター委員
- ・野外活動研究部 顧問
- ・にこみゆめのぼけっと運営(学科内分担)

2) 高校訪問

- ・岡山県内の高校(2 校訪問), 2022.5.19.(対面)
- ・愛知県内の高校(6 校訪問), 2022.6.16-17.(対面)
- ・山口県内の高校(2 校訪問), 2022.11.16. (対面)

- ・広島県内での高校ガイダンス, 2022.12.16. (対面)

3) 実習巡回

- ・新見市内のこども園(1 園巡回), 2022.7.7.
- ・岡山市内のこども園・幼稚園 (5 園巡回), 2022.10.20,21,27.
- ・新見市内のこども園(1 園巡回), 2022.11.10.

4) その他

- ・広島大学「初等国語科教育法」(30 時間)
- ・広島大学「保育内容論 (言葉)」(30 時間)
- ・長野県松本市立岡田小学校・女鳥羽中学校あさひ分校指導助言

研究活動

著書

- 1) 大塚常樹, 本渡葵, 他 20 人: 現代の国語. 第一学習社, 2022.
- 2) 大塚常樹, 本渡葵, 他 19 人: 標準 現代の国語. 第一学習社, 2022.
- 3) 大塚常樹, 本渡葵, 他 19 人: 精選 現代の国語. 第一学習社, 2022.
- 4) 伊井春樹, 本渡葵, 他 25 人: 標準 言語文化. 第一学習社, 2022.
- 大塚常樹, 本渡葵, 他 25 人: 精選 言語文化. 第一学習社, 2022.
- 5) 大塚常樹, 本渡葵, 他 20 人: 新編 現代の国語. 第一学習社, 2022.
- 6) 大塚常樹, 本渡葵, 他 25 人: 新編 言語文化. 第一学習社, 2022.
- 7) 難波博孝, 本渡葵, 他 20 人: 論理国語. 第一学習社, 2022.
- 8) 難波博孝, 本渡葵, 他 20 人: 標準 論理国語. 第一学習社, 2022.
- 9) 川合紀宗, 本渡葵, 他 24 人: 特別支援教育総論 インクルーシブ時代の理論と実践 第 2 版. 北大路書房, 2023.

学会発表

- 1) 難波博孝, 本渡葵, 他 6 人: 小学校における「深く読む」ことについての紙とデジタルによる比較調査 特に質的な部分に注目して. 全国大学国語教育学会第 142 回春期大会, WEB 学会, 2022.5.28.

- 2) 幸坂健太郎, 本渡葵, 他 5 人: “私たち” は学習者のどのような読みを論理的だとみなすのか—国語科論理教育研究者のセルフスタディ—. 全国大学国語教育学会第 142 回春期大会, WEB 学会, 2022.5.28.

外部資金獲得状況

- 1) 令和 3 年度～令和 5 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「児童心理治療施設併設校の国語科教育カリキュラム開発に向けた基礎研究」, 課題番号 21K02607, 研究代表者: 本渡葵.
- 2) 令和 3 年度～令和 5 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 B)研究課題「小学校国語科におけるデジタル端末で「深く読む」ための調査・実践研究」, 課題番号 21H00866, 研究代表者: 難波博孝.
- 3) 令和 3 年度～令和 5 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「論理を教える国語の先生をどう育てるか: 国語科教育学研究者によるセルフスタディ」, 課題番号 21K02456, 研究代表者: 幸坂健太郎.

その他

- 1) こころもち学習ネットワーク: いま、この時代において“文章を読む”とはどのようなことか, 広島大学教育学部 (ハイブリッド開催), 2022.5.14.

講師 立浪朋子

教育活動

専門分野

特別支援教育, 障害児教育史

担当科目

- ・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 4 人
- ・特別支援教育総論: 健康保育学科 1 年, 後期 20 時間, 必修
- ・子ども家庭支援の心理学: 健康保育学科 1 年, 後期 4 時間, 必修
- ・障害児教育の教育課程および指導法とその歴史: 健康保育学科 2 年, 前期 10 時間, 選択, 54 人
- ・特別支援教育(幼・保) I: 健康保育学科 2 年, 後期 10 時間, 必修
- ・特別支援教育(幼・保) II: 健康保育学科 3 年, 後期 10 時間, 必修
- ・特別な教育的ニーズの理解とその支援: 健康保育学科 3 年, 前期 16 時間, 必修
- ・特別支援教育: 看護学科 3 年, 前期 20 時間, 選択, 10 人
- ・卒業研究 I: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 3 人
- ・卒業研究 II: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 3 人
- ・卒業研究 III: 健康保育学科 4 年, 前期 30 時間, 必修, 1 人
- ・卒業研究 IV: 健康保育学科 4 年, 後期 30 時間, 必修, 1 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・学生生活支援センター 委員
- ・FD委員会 委員
- ・健康保育学科 2 年 チューター・アドバイザー
- ・保育実習巡回指導
- ・幼稚園教育実習巡回指導
- ・予算調整
- ・オープンキャンパス模擬授業

2) 高校訪問

- ・香川県内の高校(4 校訪問), 2022.6.30~7.1 (対面)

- ・愛媛内の高校(4 校訪問), 2022.12.20. (電話)
- ・高校ガイダンス

綾部高校, 2022.6.24.(WEB)

3) その他

- ・福山市立大学大学院教育学研究科集中講義「特別支援教育特講Ⅳ」(22 時間).

研究活動

著書

- 1) 立浪朋子: 第 10 章特別支援教育 1. 教育社会学と特別支援教育. 住本克彦編著, 他 25 人, 新しい支援からの教育社会学—人間形成論の視点から—. 大学教育出版, 161-165, 176-177, 2022.

学会発表

- 1) 立浪朋子: 戦前期石川県の少年教護院における夫婦職員による家族制度の実施とその背景. 日本福祉心理学会第 20 回大会, WEB 発表, 2022.12.24-25.

外部資金獲得状況

- 1) 令和 2 年度~令和 4 年度日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤研究 C) 研究課題 「戦後の保育所「若竹の園」にみる幼保一体化カリキュラム・保育実践に関する歴史的研究」, 課題番号 20K02432, 研究分担者: 立浪朋子.
- 2) 令和 4 年度~令和 6 年度日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤研究 C) 研究課題 「感化院・少年教護院における障害児教育の意義と学校教育への影響に関する歴史的研究」, 課題番号 22K02787, 研究代表者: 立浪朋子.

その他

- 1) 立浪朋子: 戦前期石川県の少年教護院における夫婦職員による家族制度の実施とその背景. 日本福祉心理学会第 20 回大会プログラム・抄録集, 37, 2022.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 立浪朋子: 障害児教育に挑んだ先生たち—2022 年度にいみ子育てカレッジ子育て支援者に対する研修, 新見公立大学, 2022.2.3.

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022.4.12, 9.30.

講師 竹下可奈子

教育活動

専門分野

音楽学, 幼児音楽教育学

担当科目

- ・基礎ゼミナールB: 健康保育学科1年, 前期30時間, 必修, 4人
- ・音楽: 看護学科1年, 地域福祉学科1年, 前期30時間, 選択, 39人
- ・音楽Ⅰ(基礎音楽): 健康保育学科1年, 前期30時間, 必修
- ・音楽Ⅰ(幼児音楽Ⅰ): 健康保育学科1年, 通年30時間, 必修
- ・音楽Ⅱ(幼児音楽Ⅱ): 健康保育学科2年, 通年30時間, 選択, 52人
- ・音楽Ⅱ(幼児音楽Ⅲ): 健康保育学科3年, 通年30時間, 選択, 43人
- ・音楽Ⅱ(幼児音楽Ⅳ): 健康保育学科4年, 通年30時間, 選択, 19人
- ・卒業研究Ⅰ: 健康保育学科3年, 前期30時間, 必修, 3人
- ・卒業研究Ⅱ: 健康保育学科3年, 後期30時間, 必修, 3人
- ・卒業研究Ⅲ: 健康保育学科4年, 前期30時間, 必修, 3人
- ・卒業研究Ⅳ: 健康保育学科4年, 後期30時間, 必修, 3人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・健康保育学科3年 チューターアドバイザー
- ・入試委員会 委員
- ・教育推進委員会 委員
- ・吹奏楽部 顧問
- ・軽音サークル 顧問
- ・にのみゆめのぼけっと 2022, 実行委員, 2022.12.10.

2) 高校訪問

- ・岡山県内の高校(3校訪問), 2022.6.13.
- ・島根県内の高校(4校訪問), 2022.7.4.
- ・鳥取県内の高校(2校電話訪問), 2022.12.27.
- ・進学ガイダンス
和気閑谷高等学校, 2022.11.30.

中四国オンライン進路相談会, 2023.3.17.

研究活動

著書

- 1) 竹下可奈子, 他 26名: 改訂5版 幼児の音楽教育法—美しい歌声をめざして—. ふくろう出版, 41-45, 2022.

学術論文

- 1) 竹下可奈子: 実習が学生の子ども理解に与える影響—音楽表現に焦点をあてて—. 新見公立大学紀要, 43, 71-79, 2022.
- 2) 竹下可奈子: 音楽表現指導への困難感の体系化の試み. 新見公立大学紀要, 43, 209-215, 2022.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 竹下可奈子: 時代を反映して変化する音楽—クラシックからポップスまで—. 新見公立大学市民公開講座, 新見公立大学学術交流ホール, 2022.9.30.
- 2) 竹下可奈子: 楽器の奏法とアンサンブル 2. 子育て支援者研修, 新見公立大学多目的ホール, 2022.11.4.
- 3) 芝崎美和, 竹下可奈子, 福武幸世: 哲多地区ミュージックフェスティバルにおけるリモート出演. 新見公立大学講堂, 2022.11.10.

その他

- 1) リズム遊びだ! 1・2・3. 子育て広場にこたん, 新見公立大学リズム教室, 2022. 4.19., 5.24., 6.21., 7.19., 8.16., 9.20., 10.18., 11.15., 12.20., 2023.1.24., 2.21., 3.14.
- 2) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022.4.15, 9.28.

講師 久恒拓也

教育活動

専門分野

教育学, 教育史, 教師教育

担当科目

- ・基礎ゼミナール: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 4 人
- ・教育原理: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 必修
- ・教育学: 共通, 後期 30 時間, 選択
- ・教職基礎論: 看護学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
- ・卒業研究 I: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 4
- ・卒業研究 II: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 4
- ・卒業研究 III 健康保育学科 4, 前期 30 時間, 必修, 3 人
- ・卒業研究 IV 健康保育学科 4, 後期 30 時間, 必修, 3 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・修学・キャリア支援センター センター員
- ・教務委員会 委員

2) 高校訪問

- ・広島県内の高校(5 校訪問), 2022.7.14.
- ・進学ガイダンス
御坊市民文化会館, 2022.7.8.

3) その他

- ・本学見学対応(愛媛県の高校), 2022.10.6

研究活動

学術論文

- 1) 久恒拓也: 優れた養護教諭の規定要因に関する考察—専門性と職務をめぐる言説を中心に—. 教育学研究紀要 (CD-ROM 版), 68, 548-553, 2023.

学会発表

- 1) 久恒拓也: 義務教育教員養成を担う帝大系教育学部での教育学教育に関する考察—新制東北大学教育科学科を事例として—. 日本教師教育学会第 32 回大会, 秋田大学(秋田市・Web),

2022.9.18.

- 2) 久恒拓也: 優れた養護教諭の規定要因に関する考察—専門性と職務をめぐる言説を中心に—. 第 74 回中国四国教育学会大会, 香川大学(高松市), 2022.12.4.

外部資金獲得状況

- 1) 平成 31 年度～令和 5 年度 日本学術振興会科学研究費助成課題 (基盤研究 C) 「コンピテンシー重視の時代における教師教育と教育学の在り方に関する日独比較研究」, 課題番号 19K02506, 研究代表者: 鈴木篤, 研究分担者: 久恒拓也.
- 2) 令和 4 年度～令和 6 年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C) 研究課題 「養護教諭養成に特化した教職論の内容・方法の開発」, 課題番号 22K02579, 研究代表者: 久恒拓也.

その他

- 1) 久恒拓也: 1950～60 年代における教員養成と教育学教育の関係性についての試論. 「コンピテンシー重視の時代における教師教育と教育学の在り方に関する日独比較研究」研究成果中間報告会, 九州産業大学, 2022.11.13, 14.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 久恒拓也: 〈意欲をもっていきいきと活動する児童委員会活動を目指して〉に関する講演. 新見市教育研修所養護研究部研修会, 阿新教育会館, 2022.12.14.

役職

- 1) 岡山県・岡山市教員等育成協議会 委員

その他

- 1) 研究指導講師
 - ・新見市教育研修所養護研究部研究指導. 阿新教育会館, 新見公立大学, 2022.5.30, 6.13, 7.7, .

講師 入江慶太

教育活動

専門分野

保育学, 心理学

担当科目

- ・基礎ゼミナール: 健康保育学科 1 年, 前期 20 時間, 必修, 4 人
- ・乳児保育 I: 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修
- ・乳児保育 II: 健康保育学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
- ・保育実習指導 I (保育所): 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 必修
- ・保育実習指導 II: 健康保育学科 2 年, 後期 30 時間, 必修
- ・保育実習 I (保育所): 健康保育学科 2 年, 前期 90 時間, 必修
- ・保育実習 II: 健康保育学科 2 年, 後期 90 時間, 選択
- ・実地体験実習: 健康保育学科 2 年, 後期 45 時間, 選択
- ・卒業研究 I: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 4 人
- ・卒業研究 II: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 4 人
- ・卒業研究 III: 健康保育学科 4 年, 前期 30 時間, 必修, 2 人
- ・卒業研究 IV: 健康保育学科 4 年, 後期 30 時間, 必修, 2 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・教育支援センター 副センター長
- ・広報委員会 委員
- ・保健管理センター委員会 委員

2) 高校訪問

- ・山陽新聞進学ガイダンス, 2022.4.18. (対面)
- ・進学ガイダンス(井原高校(北校地))2022.6.21.(対面)
- ・進学ガイダンス(就実高校)2022.9.29.(対面)
- ・山口県内の高校(5 校訪問), 2022.10.25~26.(対面)
- ・広島県内の高校(2 校訪問), 2022.12.13.(対面)

3) その他

- ・岡山県立大学保健福祉学部子ども学科 (非常勤講師)
「保育内容指導法」(30 時間)
- ・川崎医療福祉大学医療福祉学部子ども医療福祉学科 (非常勤講師)
「乳児のケアと発達支援 I」(10 時間)
「子どもの理解と援助」(16 時間)

研究活動

学術論文

- 1) 入江慶太: 小児病棟における認定資格を有していない保育士の専門性の検討. 保育学研究, 60(1), 137-147, 2022.
- 2) 入江慶太: 小児病棟における認定資格を有しない保育士の専門性の認識に関する検討—認定資格保持者と非保持者の比較を通して—. 広島大学大学院人間社会科学研究紀要「教育学研究」, 3, 414-420, 2022.

外部資金獲得状況

- 1) 2018 年度~2021 年度 (延長特例により 2022 年度まで延長) 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「病棟保育士の専門性の特定と新しい病棟保育士養成カリキュラムの開発」, 課題番号 18K02512, 研究代表者: 入江慶太.
- 2) 2021 年度~2023 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「保育所の事業継続マネジメントによるソーシャル・キャピタル醸成手法の開発」, 課題番号 21K02372, 研究代表者: 森本寛訓. 研究分担者: 入江慶太, 他 2 人.
- 3) 2022 年度~2026 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「ICT を活用した医療職との連携による新しい保育者実習プログラムの開発と評価」, 課題番号 22K02397, 研究代表者: 中川智之. 研究分担者: 入江慶太, 他 10 人.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 入江慶太: 子どもの特徴と保育(生活・遊びについて). 新見公立大学保育サポーター講座, 新見公立大学学術交流センター, 2022.11.15.

役職

- 1)日本医療保育学会 理事
- 2)社会福祉法人にじのこ福祉会 理事
- 3)日本医療保育学会調査研究委員会 副委員長
- 4)岡山県保育士養成協議会保育実習委員会 委員
- 5)第 27 回日本医療保育学会総会・学術集会 実行委員

その他

- 1)交通安全街頭査察, 新見 I.C.口交差点, 2022.4.7,
9.27.

講師 高橋 彩

教育活動

専門分野

特別支援教育, 応用行動分析学

担当科目

- ・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
- ・卒業研究 I: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 2 人
- ・卒業研究 II: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 2 人
- ・卒業研究 III: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 4 人
- ・卒業研究 IV: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 4 人
- ・特別支援教育 (幼・保) I: 健康保育学科 2 年, 後期 10 時間, 必修
- ・知的障害者教育方法論: 健康保育学科 2 年, 後期 20 時間, 必修
- ・知的障害者教育課程論: 健康保育学科 3 年, 前期 20 時間, 選択, 56 人
- ・特別支援教育: 看護学科 3 年, 前期 10 時間, 選択, 10 人
- ・発達障害者教育総論: 健康保育学科 3 年, 後期 16 時間, 必修
- ・特別支援教育 (幼・保) II: 健康保育学科 3 年, 後期 10 時間, 必修
- ・特別支援教育実習指導: 健康保育学科 4 年, 前期 30 時間, 選択, 42 人
- ・特別支援教育実習: 健康保育 4 年, 通年 30 時間, 選択, 42 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・健康科学部健康保育学科 4 年 チューターアドバイザー
- ・総合情報基盤センター広報部門 委員
- ・保健管理センター 委員
- ・保育・教育実習運営委員会 委員
- ・アコギサークル 顧問

2) 高校訪問

- ・兵庫県内の高校(5 校訪問), 2022.7.8.(対面)
- ・山口県内の高校(5 校訪問) 2022.7.13.(電話)
- ・広島県内の高校(4 校訪問), 2022.12.6.(対面)

- ・兵庫県立明石高等学校進学ガイダンス, 2022.9.5.(対面)

3) その他

- ・関西福祉大学社会福祉学部社会福祉学科・教育学部児童教育学科講義「心理学基礎論」(遠隔授業) 非常勤講師 (10 時間)

研究活動

著書

- 1) 高橋彩: 第 14 章 自閉症スペクトラム障害者への教育的支援. 吉利宗久・千賀愛編著, 他 17 人, 特別支援教育・インクルーシブ教育のかたち. 培風館, 143-151, 2023.

学会発表

- 1) 澤山郁夫, 高橋彩, 丹治敬之: 小学校教員における共感性のタイプと授業中の「気になる」行動に対する介入意識の関係. 日本学校心理学会第 24 回大会(オンライン開催)抄録集, p.53, 2022.
- 2) 澤山郁夫, 高橋彩, 丹治敬之: 子どもの ADHD 特性についての情報が授業中の「気になる」行動に対する小学校教員の介入意識に与える影響. 日本教育心理学会第 64 回総会(オンライン開催), 2022.

外部資金獲得状況

- 1) 令和 2 年度～令和 4 年度日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤研究 C) 研究課題「戦後の保育所「若竹の園」にみる幼保一体化カリキュラム・保育実践に関する歴史的研究」, 課題番号 20K02432, 研究分担者.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 高橋彩: 新見公立大学 NiU 特別支援教育に関する研修講座シリーズ 1. (担当: ③行動の原理. ④行動の機能. ⑤望ましい行動を増やす方法) 2022.11.4, 2022.11.18, 2022.12.2.
- 2) 高橋彩: 気になる子どもの理解. 気になる子どもとの関わり方. にいみファミリー・サポート・センター保育サポーター養成講座, 2022.11.29.
- 3) 高橋彩: 特別なニーズのある子どもたちへの支援に関する最近の話題. 子育てカレッジ専門研修, 2022.12.20.

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022.4.6, 2022.10.5.

助教 松島 英恵

教育活動

専門分野

保育学, 幼児教育学

担当科目

- ・教職・保育実践演習: 健康保育学科 4 年, 後期 30 時間, 必修
- ・子ども家庭支援の心理学: 健康保育学科 1 年, 後期 14 時間, 必修
- ・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
- ・卒業研究 I: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 3 人
- ・卒業研究 II: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 3 人
- ・地域防災論: 健康保育学科 2 年(必修), 地域福祉学科 2 年(必修), 看護学科 2 年(選択), 集中 30 時間, 171 人
- ・地域防災演習: 健康保育学科 2 年(必修), 地域福祉学科 2 年(必修), 看護学科 2 年(選択), 集中 15 時間, 171 人
- ・保育・教育課程論: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 必修
- ・教育実習指導: 健康保育学科 3 年, 通年 30 時間, 選択, 54 人
- ・教育実習: 健康保育学科 3 年, 後期 180 時間, 選択, 54 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・健康保育学科 1 年 チューターアドバイザー
- ・保育・教育実習運営委員会 委員
- ・教育推進委員会 委員
- ・保育実習巡回指導
- ・幼稚園実習巡回指導
- ・にこみゆめのポケット 2022, 実行委員
- ・華道部 顧問

2) 高校訪問

- ・福井県内の高校(5 校訪問), 2022.6.20, 6.21.(対面)
- ・京都府内の高校(4 校訪問), 2022.7.13.(電話)
- ・岐阜県内の高校(1 校訪問), 2022.7.15.(電話)
- ・広島県内の高校(3 校訪問), 2022.11.15.(対面)

・進学ガイダンス

兵庫県立柏原高等学校, 2022.6.16.(対面)

東洋大学附属姫路高等学校, 2022.7.9.(対面)

・会場ガイダンス

神戸国際展示場 3 号館, 2022.12.15(対面)

研究活動

学術論文

- 1) 松島英恵: 保育記録「プリンセスごっこ・プリキュアごっこ(4 歳児)」についてー役・保育者の関わり・子どもの人間関係に焦点を合わせてー. 新見公立大学紀要, 43, 159-169, 2022.

学会発表

- 1) 松島英恵: 「ごっこ遊び」を支える保育者の関わりを考えるー保育記録「プリンセスごっこ・プリキュアごっこ(4 歳児)」よりー. 備北人文科学学会第 47 回学術集会, 新見公立大学(新見市), 2023.1.30.
- 2) 松島英恵: 保育記録(4 歳児)より、「ごっこ遊び」を支える保育者の関わりを振り返る. 武庫川臨床教育学会第 17 回研究大会(Web 発表), 2023.3.4.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 松島英恵: 子育て支援実習・地域子育て支援事業拠点事業についてーにこみ子育てカレッジ・親子交流広場「にこたん」の取組を中心にー. 保育サポーター養成講座講師, 新見公立大学リズム教室(新見市), 2022.12.13.
- 2) 松島英恵: 「ごっこ遊びのネーミング」. 子育て支援者に対する研修(領域別)講師, 新見公立大学多目的室(新見市), 2022.11.18.
- 3) 松島英恵: 個人情報と守秘義務-子育て支援者の立場から考えるー. 第 4 回地域子育て支援者カレッジ研修会講師, 新見公立大学ホール(新見市), 2023.3.1.

役職

- ・にこみ子育てカレッジ運営委員会 委員

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点,

2022.4.14, 9.30.

2)高尾小学校まなびサポート隊, 引率, 高尾小学校, 2022.6.1, 3.1.

3)高尾公民館絵本読み聞かせ, 指導・引率, 高尾公民館, 2022.12.4.

4)にこたん学生ボランティア, 調整, 親子交流ひろば「にこたん」, 2022.7.1.-2023.3.31.

2) 看護学科・助産学専攻科・大学院研究科

学部長・教授 上山和子

教育活動

専門分野

小児看護学，看護教育学

担当科目

- ・小児看護学概論：看護学科2年，前期30時間，必修
- ・小児看護学援助論：看護学科2年，後期45時間，必修
- ・小児看護学実習：看護学科4年，前期90時間，必修
- ・小児看護学実習：看護学科3年，後期90時間，必修
- ・看護生涯教育論：看護学科3年，前期15時間，選択，80人
- ・継続看護論：看護学科3年，前期15時間，選択，8人
- ・インターンシップ実習：看護学科4年，通年45時間，選択，0人
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，前期30時間，必修，4人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科4年，通年30時間，必修，4人
- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
- ・親子関係論：助産学専攻科，前期15時間，選択，5人
- ・特別研究Ⅱ：看護学研究科2年，通年60時間，必修，1人
- ・看護学の動向と展望：看護学研究科1年，前期30時間，選択，3人
- ・療養支援看護学課題演習：看護学研究科1年，後期30時間，選択，1人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・健康科学部長
- ・新見公立大学教育研究審議会
- ・新見公立大学評価・将来構想委員会
- ・新見公立大学FD・SD委員会 委員

- ・新見公立大学ハラスメント防止委員会 委員
- ・大学院改組部会委員
- ・大学院運営委員会委員

2) 高校訪問

- ・岡山県立高梁高校進学ガイダンス，2021. 7. 15.（対面）
- ・岡山県立高校3校訪問（朝日高校，操山高校，芳泉高校，城東高校，一宮高校），2020. 11. 9.（対面）

3) 学術交流協定

- ・韓国・延世（ヨンセ）大学との学部間学術交流協定式，2022. 10. 28

研究活動

学術論文

- 1) 上山和子，岡京子，加藤由美，山本智恵子：「チームアプローチ演習」における教育方法の評価－課題レポートの分析より－. 新見公立大学紀要，43，89-96，2022.
- 2) 上山和子，山本裕子，西村美紗希，小田慈：小児の地域包括ケアにおける小児看護学実習の展開と実習構造図. 新見公立大学紀要，43，177-179，2022.

学会発表

- 1) 西村美紗希，上山和子，栗本一美：医療的ケア児をもつ家族へ看護師が行う退院支援の実態. 日本小児看護学会第32回学術集会，福岡国際会議場（福岡市），2022. 7. 9-10.

外部資金獲得状況

- 1) 令和4（2022）年度～令和6（2024）年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）研究課題「教育研究組織を基盤とした予防的・開発的・学生支援モデルの開発的研究」，課題番号22K02716，研究代表者：杉本郁代. 研究分担者：上山和子

社会的活動

講演・研修会

- 1) 上山和子：子どものケアについて. 令和4（2022）年度保育サポーター養成講座継続研修，新見公立大学学術交流ホール，2022. 11. 26.
- 2) 上山和子：日々の保育と感染予防. 令和4（2022）年度にこたん専門研修会講演，新見公立大学多

目的ホール，2022. 12. 2.

役職

- 1) 日本看護系大学協議会 委員
- 2) 日本公立大学協議会 委員
- 3) インターナショナルNursing Care Research, 評議員・査読委員

表彰

- ・令和4年度岡山県看護協会会長賞，2022. 6. 8

その他

- 1) 栗本一美, 上山和子, 丸山純子, 吉田美穂, 他2名: 第1回訪問看護・地域看護コースと滋賀医科大学公衆衛生講座訪問看護領域交流会(online), 新見公立大学, 2022. 11. 4.
- 2) 交通安全街頭査察, 自転車置き場, 2022. 9. 28.

教授 金山時恵

教育活動

専門分野

公衆衛生看護学

担当科目

- ・にいみの保健医療福祉: 全学科 1 年, 後期 15 時間, 必修
- ・チームアプローチ演習: 全学科 3 年, 前期 15 時間, 必修
- ・基礎ゼミナール: 看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 8 人
- ・公衆衛生看護学概論: 看護学科 2 年, 後期 16 時間, 必修
- ・公衆衛生看護活動展開論: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 必修
- ・健康教育論: 看護学科 3 年, 前期 15 時間, 必修
- ・地域保健指導論 I (基礎): 看護学科 3 年, 後期 4 時間, 必修
- ・保健医療福祉法制: 看護学科 2 年, 後期 15 時間, 必修
- ・地域医療論: 看護学科 3 年, 前期 6 時間, 必修
- ・卒業研究 I (基礎編): 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 6 人
- ・卒業研究 II (実践編): 看護学科 4 年, 後期 15 時間, 必修, 7 人
- ・疫学調査・疫学演習: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 20 人
- ・公衆衛生看護学実習 I: 看護学科 4 年, 通年 45 時間, 必修, 8 人
- ・公衆衛生看護学実習 II: 看護学科 4 年, 通年 180 時間, 4 人
- ・養護実習: 看護学科 4 年, 前期, 180 時間, 2 人
- ・地域母子保健: 助産学専攻科 1 年, 前期 30 時間, 必修
- ・健康支援活動特論: 看護学研究科 1 年, 前期, 30 時間, 選択, 3 人
- ・地域医療支援特論: 看護学研究科 1 年, 後期 30 時間, 必修, 3 人
- ・看護学の動向と展望: 看護学研究科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 3 人
- ・地域生活支援看護学課題演習: 看護学研究科 1

年, 後期, 30 時間, 2 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・看護学科学科長
- ・新見公立大学教育審議会 委員
- ・新見公立大学評価・将来構想委員会 委員
- ・にいみ子育てカレッジ事務局長
- ・NiU 駅西サテライト子ども交流ひろば担当
- ・衛生委員会 委員
- ・同窓会新見支部長
- ・選択制選考委員会委員長
- ・新見公立大学大学院修士論文審査委員

2) 高校ガイダンス・高校訪問等

- ・高校ガイダンス: 庄原実業高校, 2022. 7. 12, 津山東高等学校, 7. 13, 明誠学院高校, 7. 15
- ・オンライン進路ガイダンス: 尼崎小田高校 2022. 7. 25, 済美高校, 2022. 12. 21.

3) その他

- ・美作大学短期大学部, 子どもの保健, 30 時間.
- ・高校生・教員 WEB 個別相談会及びガイダンス, 2022. 5. 13, 12. 9.

研究活動

著書

- 1) 高内正子編著: 子どもの保健と安全第 3 版, 教育情報出版(大阪市), 金山時恵: 第 3 章 4 節子どもの心身の健康状態とその把握, 39-41, 第 10 章 1 節子どもの健康と保育の環境, 116-117, 2022.

学会発表

- 1) 桑原ひとみ, 栗本一美, 金山時恵: A 県内における在宅療養診療所で働く看護師の原動力. 日本ルーラルナース学会第 17 回学術集会, 43, 2022. 9. 16.
- 2) 脇本美香, 土井英子, 金山時恵, 矢嶋祐樹: 中小規模病院看護師の両立支援的組織文化と職務満足感及び職業継続意思との関連. 第 42 回日本看護科学学会学術集会, 2022. 12. 3-4.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 金山時恵: 健診結果からとらえた健康づくり,

保健指導, 仲岡運輸事業所, 2022. 4. 28.

- 2) 金山時恵: コロナ禍における新生児と母親の生活, にいみ子育てカレッジ後期研修, 多目的ホール, 2022. 11. 10.
- 3) 金山時恵: 子どもの事故と安全, 2022 年度保育サポーター養成講座, 市学術交流センター, 2022. 11. 24.

役職

- 1) 新見市立西方小学校学校運営協議会 委員
- 2) 日本医学看護学教育学会 理事、査読委員
- 3) 日本養護教諭養成協議会 評議員
- 4) 全国保健師教育機関協議会中国、四国ブロック 理事
- 5) 保健師教育 査読委員

その他

- 1) にいみ子育てカレッジ事務局長・副運営委員長
- 2) 大佐ふるさとまつり：看護学科学生と健康チェック, 2022. 11. 6.
- 3) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 4. 15, 9. 22.
- 4) 備北地域産業保健センター登録保健師
- 5) 岡山産業保健総合支援センター両立支援促進員
- 6) 両立支援促進員個別訪問支援
高梁商工会議所, 2. 27.

助産学専攻科長・教授 四宮美佐恵

教育活動

専門分野

助産学, 母性看護学

担当科目

- ・助産学概論：助産学専攻科, 前期 15 時間, 必修
- ・性と生殖の形態機能：助産学専攻科, 前期 15 時間, 必修
- ・生殖医療と生命倫理：助産学専攻科, 前期 15 時間, 必修
- ・助産診断・技術学Ⅱ：助産学専攻科, 前期 60 時間, 必修
- ・健康教育：助産学専攻科, 前期 30 時間, 必修
- ・助産管理学：助産学専攻科, 前期 30 時間, 必修
- ・助産学研究：助産学専攻科, 前期 30 時間, 必修
- ・統合ヘルスケア：助産学専攻科, 前期 15 時間, 必修
- ・助産学実習Ⅰ：助産学専攻科, 通年 90 時間, 必修
- ・助産学実習Ⅱ：助産学専攻科, 通年 360 時間, 必修
- ・助産学実習Ⅲ：助産学専攻科, 通年 45 時間, 必修
- ・助産学実習Ⅳ：助産学専攻科, 通年 45 時間, 必修
- ・療養支援看護学課題演習：看護学研究科 1 年, 後期 30 時間, 選択必修, 2 人
- ・看護学の動向と展望：看護学研究科 1 年, 前期 30 時間, 選択, 3 人
- ・特別研究Ⅰ：看護学研究科 1 年, 通年 60 時間, 必修, 1 人

その他の教育活動

- 1) 本学における活動
 - ・助産学専攻科 科長
 - ・助産学専攻科 チューター
 - ・学生選抜等委員会 委員
 - ・国家試験対策委員会 委員

研究活動

学術論文

- 1) 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子, 杉山

萌：女子大学生の健康に関する意識と妊孕性に関する知識の現状. 新見公立大学紀要 43, 105-111, 2023.

- 2) 安田陽子, 四宮美佐恵：臨床実習指導者が分娩介助実習に係る上で必要と考えている能力. 母性衛生, 63(4), 858-870, 2023.
- 3) 高尾緑, 四宮美佐恵：子宮頸がんワクチン接種と子宮頸がん検診の実態に関する文献レビュー. インターナショナル Nursing Care Research, 21(3), 43-52, 2022.

学会発表

- 1) 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子：女子大学生の健康に関する意識と妊孕性に関する知識の現状. 第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.
- 2) 高尾緑, 四宮美佐恵, 安田陽子, 平田知子：子宮頸がんワクチン接種と子宮頸がん検診の実態に関する文献検討. 第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.
- 3) 安田陽子, 四宮美佐恵, 高尾緑：分娩介助実習での学びー新型コロナウイルス感染症の背景下での現状ー. 第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.
- 4) 平田知子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑：中山間地域の A 市における母親の産前産後のニーズの実態調査. 第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 四宮美佐恵：岡山県看護協会, 新人助産師合同研修会, 司会・アドバイザー, 2023. 1. 21.

役職

- 1) 岡山県看護協会 理事
- 2) 全国看護・保健科学研究誌 査読委員

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 4. 6.
- 2) 岡山県保健福祉部長表彰, 2022. 11. 10.

研究科長・教授 矢庭さゆり

教育活動

専門分野

公衆衛生看護学，地域看護学

担当科目

- ・公衆衛生看護学概論：看護学科2年，後期14時間，必修
- ・保健医療福祉行政論：看護学科3年，前期45時間，必修
- ・地域保健指導論Ⅰ（基礎）：看護学科3年，後期20時間，選択必修，20人
- ・地域保健指導特論Ⅱ（応用）：看護学科4年，前期10時間，選択必修，20人
- ・地域ケアシステム論：看護学科4年，後期30時間，選択必修，19人
- ・地域看護学：看護学科1年，後期8時間，必修
- ・疫学調査・疫学演習：看護学科3年，前期30時間，選択必修，20人
- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期15時間，必修，4人
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年30時間，必修，6人
- ・卒業研究Ⅱ（応用編）：看護学科4年，通年30時間，必修，6人
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：「量的調査研究」講義，看護学科3年，通年2時間，必修
- ・公衆衛生看護学実習Ⅰ（基礎）：看護学科4年，通年45時間，必修，6人
- ・公衆衛生看護学実習Ⅱ（応用）：看護学科4年，通年180時間，選択必修，9人
- ・看護研究特論：看護学研究科，1年，前期24時間，必修，3人
- ・看護学の動向と展望：看護学研究科，1年，後期30時間，選択，3人
- ・療養支援看護学特論：看護学研究科，1年，前期6時間，選択，3人
- ・地域ケアマネジメント特論：看護学研究科，1年，前期30時間，選択，1人
- ・地域生活支援看護学課題演習：看護学研究科，1年，後期30時間，選択必修，2人
- ・特別研究Ⅱ：看護学研究科，2年，通年90時間，

必修，1人

- ・家族と社会：助産学専攻科，前期15時間，必修，6人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・新見公立大学大学院看護学研究科 研究科長
- ・新見公立大学教育研究審議会 委員
- ・評価・将来構想委員会 委員
- ・内部質保証部会 メンバー
- ・研究倫理審査委員会 委員
- ・ハラスメント等防止委員会 相談員
- ・利益相反マネジメント委員会 委員
- ・入試課題検討委員会 委員
- ・学生選抜等委員会 委員
- ・大学院改組部会 副部会長
- ・大学院運営委員会 委員長
- ・大学院看護学研究科入学資格審査会 会長
- ・2022年度大学院修士論文審査委員会 委員長
- ・2022年度保健師教育課程履修等に係る選考委員会、養護教諭養成課程専攻委員会、訪問看護・地域看護コース選考委員会 委員
- ・看護学科チューター：看護1年(3人)，看護2年(3人)，看護3年(6人)，看護4年(6人)
- ・訪問看護・地域看護コースプロジェクト メンバー
- ・全世代型地域包括ケア研究センター ワーキングメンバー

2) その他

- ・オープンキャンパス(進学相談)：2022.8.21.
- ・大学院健康科学研究科オンライン説明会，2022.11.8，12.3.

研究活動

論文

- 1) 矢庭さゆり：質の高いケアマネジメントに対する主任介護支援専門員の認識とケアマネジメントにおける課題. 看護・保健科学研究誌，22，52-63，2022.4.

報告書

- 1) 渡辺修一郎，藤原佳典，矢庭さゆり他：，高齢者の医療と福祉領域研究，2021/2022年度公衆衛生モニタリング・レポート報告書. 日本公衆衛生学会，2022.9.

学会発表

- 1) 安西将也, 石崎達郎, 植木省三, 渡辺修一郎, 奥村二郎, 矢庭さゆり, 甲斐一郎: 新型コロナウイルス感染症が日本の高齢者の健康と生活に及ぼした影響. 第81回公衆衛生学会拡大モニタリング委員会, 2022. 10. 8 (Web 開催) .

外部資金獲得状況

- 1) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金基盤研究(C))課題番号 21K11090, [被援助志向性の低い高齢者の実態把握と支援方策の検討] 令和 3(2021)年度～令和 6(2024)年度. 研究代表者: 矢嶋 裕樹, 研究分担者: 矢庭さゆり

その他

- 1) 矢庭さゆり: 日本地域看護学会第 25 回学術集会, : 第 4 群, 健康づくり・ヘルスプロモーション. 座長, 2022. 8. 27-9. 16 (Web 開催) .
- 2) 矢庭さゆり: 第 6 回 岡山県地域包括ケア学会, 座長, 岡山県看護協会(岡山市), 2022. 9. 25.
- 3) 矢庭さゆり: 日本公衆衛生学会認定専門家;健康危機管理モニタリング活動, 高齢者の QOL と介護予防, 高齢者の医療と福祉領域研究活動, 2022 年度.
- 4) 矢庭さゆり: 岡山県地域包括ケア学会及び全国大会, 研究指導, 2022. 7-11.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 矢庭さゆり: 岡山県介護支援専門員実務研修.
・「ケアマネジメントの知識・技術・展開」「アセスメント総合演習」. きらめきプラザ(岡山市), 2022. 5. 14.
・「ケアマネジメントプロセス」「専門職への説明と同意」. 2023. 1. 14, 1. 15 (Web 開催) .
・「相談援助専門職としての基本姿勢・面接技術」. きらめきプラザ(岡山市), 2023. 2. 2, 2. 3.
・「自立支援のためのケアマネジメント」「ケアマネジメント総合演習」. きらめきプラザ(岡山市), 2023. 2. 26, 2. 28, 3. 2.
- 2) 矢庭さゆり: 岡山県専門研修
・「相談援助面接」. 2022. 5. 31 (Web 開催) .
・「家族支援に必要な理論と支援展開」. ターミナルスクエア(岡山市), 2022. 7. 5, 8. 30, 9. 8, 10. 4, 11. 10.

- 3) 矢庭さゆり: 「新見地域で行なう事例検討会」. 新見市地域福祉センター, 2022. 4. 7, 8. 4, 2023. 1. 12.
- 4) 矢庭さゆり: 「複合的課題を抱える家族への支援」. 倉敷市研修会, 倉敷市児島支所(倉敷市), 2022. 6. 16.
- 5) 矢庭さゆり: 「事例検討の質を上げよう!」. 高梁市職員研修会, 高梁総合文化会館 (高梁市), 2022. 9. 29.
- 6) 矢庭さゆり: 「対人援助の基本」「スーパービジョン実践」, 岡山県相談援助研修会, ターミナルスクエア(岡山市), 2022. 10. 4, 10. 11, 10. 13, 10. 14, 10. 18.
- 7) 矢庭さゆり: 「コミュニティソーシャルワーク」「対人援助の基本」「スーパービジョン実践」. 岡山県相談援助研修会, ターミナルスクエア(岡山市), 2022. 11. 29, 2023. 1. 9, 2. 7.
- 8) 矢庭さゆり: 「対人援助の基本」, 岡山県相談援助技術研修会. ライフパーク倉敷(倉敷市), 2022. 12. 20.
- 9) 矢庭さゆり: 「複合的課題に対応する力をつける」. 津山市職員研修会, 津山市総合福祉会館 (津山市), 2023. 3. 7.

役職

- 1) 新見市権利擁護委員会 副委員長
- 2) 新見市社会福祉協議会法人後見運営委員会 副委員長
- 3) 新見地域在宅医療連携実務者協議会 委員
- 4) 岡山県地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員
- 5) 岡山県認知症対策連携会議 委員
- 6) 岡山県介護支援専門員研修向上委員会 委員
- 7) 岡山県介護支援専門員指導者
- 8) 岡山県介護支援専門員協会 副会長, 研修担当理事
- 9) 岡山県介護支援専門員協会新見支部 顧問
- 10) 岡山県介護支援専門員協会倫理審査会 会長
- 11) 岡山県対人援助職スーパーバイザー養成研修了者組織パレットの会 代表
- 12) 岡山県公衆衛生看護学教育 ワーキングメンバー
- 13) 岡山県看護協会学会委員会 委員
- 14) 社会福祉法人恵愛会 評議員
- 15) 日本公衆衛生看護学会 学会誌査読委員

- 16) 日本公衆衛生学会 認定専門家 健康危機管理
モニタリングレポート委員会 メンバー
- 17) 日本地域看護学会 代議員
- 18) 日本地域看護学会 学会誌査読委員/ 優秀
論文表彰委員
- 19) 日本在宅ケア学会 代議員
- 20) 日本在宅ケア学会 学会誌査読委員
- 21) 日本公衆衛生看護学会第 11 回学術集会
一般演題抄録査読委員
- 22) 日本地域看護学会第 25 回学術集会
一般演題抄録査読委員

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点,
2022. 4. 12, 10. 3.
- 2) 新見市認知症キャラバメイト

教授 原田信之

教育活動

専門分野

日本文学（古代中世説話文学，口承文学）

担当科目

- ・基礎ゼミナール A:看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 8 人
- ・にいみの文化: 看護学科 1 年, 健康保育学科 1 年, 地域福祉学科 1 年, 前期 16 時間, 必修, 192 人
- ・文学: 看護学科 1 年, 健康保育 4 年, 前期 30 時間, 選択, 61 人
- ・国語: 健康保育学科 1 年, 前期 30 中 20 時間, 選択, 23 人
- ・国語表現法 A: 看護学科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 19 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・進学・就職希望者のための小論文指導(全学科・随時)
- ・教育推進委員会 委員長
- ・附属図書館長
- ・教育研究審議会 委員
- ・評価・将来構想委員会 委員

2) その他

- ・学長読書感想文プロジェクト担当（2022 年度夏期休業後，春期休業後実施）
- ・2022 年度「市報にいみ」学生作文添削担当

研究活動

著書

- 1) 丸山顕徳編，阿部奈南，笠井昇，田尻紀子，原田信之，他 13 名：キャリアアップ国語表現法 23 訂版，分担執筆，嵯峨野書院，2023.

学術論文

- 1) 原田信之：鹿児島県沖永良部島のシニグ・ウミリ伝承. 新見公立大学紀要，43，1-19，2022.

学会発表

- 1) 原田信之：鹿児島県沖永良部島のシニグ・ウミ

リ伝承. 備北人文科学学会第 47 回学術集会，新見公立大学(新見市)，2022. 8. 3.

- 2) 原田信之：南西諸島の民間説話(基調講演)—令和 4 年度奄美沖縄民間文芸学会大会シンポジウム・奄美沖縄民間文芸の展望—. 奄美沖縄民間文芸学会大会，沖縄国際大学(WEB 開催)，2022. 9. 10.

外部資金獲得状況

- 1) 令和 3 年度～令和 6 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C) 研究課題「南西諸島における祭事説明伝説の調査研究」，課題番号 21K00285，研究代表者原田信之(単独研究).

その他

- 1) 原田信之：山下欣一先生の思い出. 奄美沖縄民間文芸学(奄美沖縄民間文芸学会)，20，10-11，2022.
- 2) 原田信之：令和 4 年度学長配分研究費研究課題「新見地域および中国地方の文化的研究」

社会的活動

役職

- 1) 日本昔話学会 委員，査読委員
- 2) 奄美・沖縄民間文芸学会 代表委員
- 3) 説話・伝承学会 委員，査読委員
- 4) 立命館大学日本文学会 評議員
- 5) 備北人文科学学会 代表委員
- 6) 岡山民俗学会 理事，査読委員
- 7) 公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会 会長
- 8) 公立大学協会図書館協議会拡大役員会 役員

その他

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022. 4. 6，9. 21.
- 2) 新見市教育委員会「令和 3 年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」外部評価担当.
- 3) 大学コンソーシアム岡山社会人教育委員会委員
- 4) 岡山民俗学会 2022 年度大会研究発表司会，岡山県生涯学習センター4F 中研修室(対面・WEB 開催)，2022. 4. 17.
- 5) 原田信之：玄賓僧都と仏教. 令和 4 年度新見市退職校長会総会事業講演，NiU 新見駅西サテライ

ト, 2022. 10. 27.

6) 和泊町の歩み(和泊町誌) 令和 4 年度歩み編さん
委員(鹿児島県和泊町教育委員会)

教授 土井英子

教育活動

専門分野

基礎看護学, 生命倫理学

担当科目

- ・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期30時間, 必修, 8人
- ・基礎看護学概論: 看護学科1年, 前期30時間, 必修
- ・健康生活援助技術論: 看護学科1年, 前期60時間, 必修
- ・療養生活援助技術論: 看護学科1年, 後期60時間, 必修
- ・看護過程論: 看護学科2年, 前期45時間, 必修
- ・健康障害援助技術論: 看護学部2年, 後期60時間, 必修
- ・看護倫理: 看護学科3年, 後期30時間, 必修
- ・基礎看護学実習Ⅰ: 看護学科1年, 通年, 45時間, 必修
- ・基礎看護学実習Ⅱ: 看護学科2年, 90時間, 必修, 16人
- ・統合実習: 看護学科4年, 90時間, 必修, 1人
- ・卒業研究Ⅰ(基礎編): 看護学科3年, 通年45時間, 必修, 4人
- ・卒業研究Ⅱ(実践編): 看護学科3年, 通年45時間, 必修, 4人
- ・療養支援看護学特論: 研究科1年, 前期12時間, 選択, 3人
- ・看護学の動向と展望: 大学院1年, 後期30時間, 選択, 3人
- ・療養支援看護学課題演習: 研究科1年, 後期6時間, 選択, 1人
- ・看護技術特論: 研究科1年, 後期4時間, 選択, 3人
- ・特別研究Ⅰ: 研究科1年, 通年60時間, 必修, 1人
- ・特別研究Ⅱ: 研究科2年, 通年60時間, 必修, 1人

その他の教育活動

- 1) 本学における活動
 - ・地域共生推進センター長
 - ・看護学科3年生チューターアドバイザー

・バドミントン部顧問

研究活動

学会報告

- 1) 脇本美香, 土井英子, 金山時恵, 矢嶋裕樹: 中規模病院看護師の両立支援組織文化と職務満足感及び職業継続意思との関連, 第42回日本看護科学学会 広島国際会議場, 2022. 12. 4
- 2) 安原奈那, 土井英子, 木下香織, 矢嶋裕樹: 炎症性腸疾患患者の就労継続に関する要因と就労支援. 第10回日本難病医療ネットワーク学会学術集会, 国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス, 2022. 11. 18.

その他

外部資金獲得状況

- 1) 平成29年度～令和3年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C) 研究課題「チーム医療の成果に関する実証研究: 感染対策チームを対象とした調査」, 課題番号17K09241, 研究分担者

社会的活動

表彰

- ・岡山県保健衛生功労者表彰, 2022. 11. 10

役職

- 1) 新見市男女共同参画審議会 会長
- 2) 大学コンソーシアム岡山地域貢献委員会

教授 木下香織

教育活動

専門分野

老年看護学

担当科目

- ・老年看護学概論：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・老年看護学援助論：看護学科2年，前期45時間，必修
- ・老年看護学実習：看護学科3～4年，前後期90時間，必修
- ・生活支援看護学実習：看護学科3～4年，前後期90時間，必修
- ・臨床コミュニケーション論：看護学科3年，前期15時間，選択，83人
- ・地域ボランティア活動：看護学科3～4年，30時間，選択，5人
- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，9人
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，5人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科4年，通年30時間，必修，8人
- ・統合実習：看護学科4年，前期45時間，必修，5人
- ・救命救急医療論（災害看護）：看護学科3年，後期14時間，必修，8人
- ・地域防災論：看護学科2年（選択），健康保育学科2年（必修），地域福祉学科2年（必修），前期30時間，168人
- ・地域防災演習：看護学科2年（選択），健康保育学科2年（必修），地域福祉学科2年（必修），前期30時間，168人
- ・卒業研究（基礎編）：看護学科3年生，前期2時間（講義 研究計画の立案），必修
- ・高齢者ケア特論：研究科1年，前期30時間，選択，1人
- ・高齢者コミュニケーション特論：研究科1年，後期30時間，選択，2人
- ・看護学の動向と展望：研究科1年，後期30時間，選択，3人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・入試委員会 委員長
- ・入試課題検討委員会 委員
- ・学生選抜等委員会 委員
- ・看護学研究科 修士論文審査委員会 委員（副査）
- ・大学院運営委員会 委員
- ・全世代型地域包括ケア研究センター ワーキングメンバー
- ・看護学科チューター：1年生(3人)，2年生(4人)，3年生(5人)，4年生(6人)
- ・学修成果確認講座（老年看護学）：看護学科4年
- ・看護学科 研修研究委員
- ・看護学科 新カリキュラムにおける「卒業研究」検討委員
- ・PIONE 活動メンバー
- ・バレーボール部 顧問

2) 高校訪問

- ・高校ガイダンス 模擬授業1・2年生対象
米子北高等学校，2023. 3. 6.（対面）

3) その他

- ・大学院健康科学研究科オンライン説明会，2022. 11. 8，12. 3.

研究活動

学術論文

- 1) 木下香織，安田陽子，真壁五月他1名：中山間地域に位置する医療機関における看護職員の継続教育の支援活動報告と今後の課題. 新見公立大学紀要，43，181-187，2022.
- 2) 宮武一江，井上弘子，木下香織他7名：救命救急医療論に看護領域別演習を取り入れた「災害看護演習」の学修効果と課題－演習前後の関心度の変化とフロー体験についての考察－. 新見公立大学紀要，43，153-158，2022.

外部資金獲得状況

- 1) 平成31年度～令和5年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C) 研究課題「小規模病院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価」，課題番号19K10806，

研究代表者 木下香織

社会的活動

講演・研修会

- 1) 木下香織：福本公民館人権学習講演会「伝えよう、大切なあの人に。私の人生とこれからを。エンディングノートというカタチ」，福本公民館，2022. 10. 27.
- 2) 木下香織：美郷地区民生委員・児童委員協議会研修会「人生会議 考えてみませんか 一大切な人に伝えるために」，新見公立大学5号館5309講義室，2022. 11. 29.
- 3) 木下香織：神郷公民館人権学習講演会「伝えよう、大切なあの人に。私の人生とこれからを。エンディングノートというカタチ」，神郷公民館，2022. 12. 9.

役職

- 1) 日本老年看護学会 学会誌査読委員
- 2) 日本高齢者虐待防止学会 学会誌査読委員
- 3) 日本老年看護学会 第28回学術集会一般演題抄録査読委員
- 4) 日本看護系大学協議会 災害対策委員会 災害連携教員
- 5) 新見市地域包括支援センター運営協議会 副会長
- 6) 認知症カフェネットワーク委員会 委員

その他

- 1) 日本看護系大学協議会 災害対策委員会 災害連携教員 中国ブロック会議 (Web 開催) . 2022. 11. 4, 12. 2, 2023. 1. 6, 2. 3, 3. 3.
- 2) 日本看護系大学協議会 災害対策委員会 災害連携教員 中国・四国ブロック会議 (Web 開催) . 2022. 9. 30.
- 3) 看育びおーえん (旧：新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会) 会議. 新見公立大学 (Zoom ミーティング), 2022. 4. 20, 5. 18, 6. 15, 7. 20, 8. 18, 9. 21, 10. 19, 11. 16, 12. 21, 2023. 1. 18, 2. 15, 3. 15. 2022. 6. 18 (臨時) のみ新見公立大学5号館コミュニティカフェ.
- 4) まなびの森にいみ (旧：新見市内4病院看護師臨床研修会) 研修会実施サポート. 新見公立大学 (Zoom ミーティング) , 2022. 4. 9, 5. 21, 6. 11, 10. 8, 11. 19, 2023. 3. 4.

- 5) 新見市内4病院1～3年め看護師交流会. 新見公立大学5号館コミュニティカフェ, 2022. 6. 18.
- 6) キャラバン・メイト連絡会: 新見市役所南庁舎3階大会議室, 2022. 7. 21.
- 7) 新見市地域包括支援センター運営協議会: 新見市役所南庁舎3階大会議室, 2022. 6. 24.
- 8) ユマニチュードキャラバン2022交流会. 新見公立大学 (Zoom ミーティング) , 2022. 7. 23
- 9) 認知症カフェネットワーク委員会 (Web 開催) . 2022. 5. 30, 7. 7, 8. 25, 9. 27, 11. 1, 2023. 2. 2, 3. 14.
- 10) 交通安全街頭查察: 2022. 4. 14 (渡辺病院前交差点) , 2022. 10. 4 (西方交差点) .
- 11) 学生とのボランティア活動.
 - ・水舟サテライト・デイ. まなび広場にいみ特別会議室, 2022. 7. 16.
 - ・菅生サテライト・デイ. 旧菅生中学校体育館, 2022. 10. 20.
 - ・足見サテライト・デイ. 足見ふれあいセンター, 2022. 10. 25.
 - ・土橋サテライト・デイ. 土橋交流センター 2022. 12. 8.
 - ・草間サテライト・デイ. 草間公民館別館, 2022. 12. 8.

教授 栗本一美

教育活動

専門分野

在宅看護

担当科目

- ・在宅看護論：看護学科2年，前期15時間，必修
- ・在宅看護援助論：看護学科2年，後期30時間，必修
- ・在宅看護実習：看護学科3-4年，通年90時間，必修
- ・継続看護論：看護学科3年，後期15時間，選択，担当7人
- ・訪問看護展開論Ⅰ：看護学科3年，前期30時間，選択，担当4人
- ・訪問看護展開論Ⅱ：看護学科3年，後期30時間，選択，担当4人
- ・訪問看護展開論実習：看護学科4年，前期120時間，選択，担当6人
- ・地域看護学：看護学科1年，後期15時間，必修
- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，担当9人
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，前期30時間，必修，担当6人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科3-4年，後期15時間，必修，担当6人
- ・在宅看護支援特論：研究科1年，前期30時間，選択，1人
- ・地域医療支援特論：研究科1年，後期30時間，必修，3人
- ・地域生活支援看護学課題演習：研究科1年，後期30時間，必修，2人
- ・看護学の動向と課題：研究科1年，後期30時間，必修，3人

その他の教育活動

- 1) 本学における活動
 - ・学生生活支援センター センター長
 - ・将来評価構想委員会 委員
 - ・全世代型地域包括ケア研究センターワーキング部会
 - ・訪問看護・地域看護コースプロジェクト
 - ・実習調整委員

- ・看護学セミナー委員
- ・ちびデポ 顧問
- ・オープンキャンパス，2022.7.24.

2) 高校訪問・進学ガイダンス

(1) 進学ガイダンス

- ・キャリアガイダンス，岡山県立玉島高校，2022.6.23.（対面）

(2) 入試説明会

- ・岡山県内の高校（岡山会場），2022.6.28.（対面）

3) その他

- ・在宅看護論：岡山県立大学看護学科3年，前期48時間，必修

研究活動

学術論文

- 1) 大島由美，丸山純子，栗本一美：高齢糖尿病患者のインスリン自己注射の現状についての文献レビュー，*インターナショナルNursing Care Research*，21(4)，57-66，2022.11.
- 2) 栗本一美，丸山純子，大島由美：本学における在宅看護の変遷と地域看護学の再構築-看護基礎教育課程の第5次カリキュラム改正を受けて-，*新見公立大学紀要*，43，113-119，2022.
- 3) 山野井尚美，郷木義子，栗本一美，三上ゆみ：ヤングケアラーに着目した教育、福祉、看護分野の同一教材の有効性に関する検討，*新見公立大学紀要*，43，203-207，2022.
- 4) 三上ゆみ，栗本一美，山野井尚美：福祉教育におけるヤングケアラーの新聞記事を用いた教材の有効性に関する検討，*日本看護福祉学会誌*，28(2)，181-187，2023.

学会発表

- 1) 西村美紗希，上山和子，栗本一美：医療的ケア児を持つ家族への看護師が行う退院支援の実態，第32回日本小児看護学会学術集会（WEB&会場），福岡国際会場（福岡市），2022.7.9-10.
- 2) 三上ゆみ，山野井尚美，栗本一美：福祉教育におけるヤングケアラーの教材の有効性に関する検討～テキストマイニングを用いて～，第35回日本看護福祉学会学術大会（WEB），国際医療福祉大学（神奈川県），2022.9.4.
- 3) 桑原ひとみ，栗本一美，金山時恵：A県内に

における在宅療養支援診療所で働く看護師の原動力. 第17回日本ルーラルナースング学会(WEB), 長崎県立大学(長崎市), 2022. 9. 17-18.

4) 郷木義子, 三上ゆみ, 栗本一美, 他 1 名:

「学校保健」における教材の有効性に関する検討-ヤングケアラーに着目して-. 第 68 回日本学校保健学会第 68 回学術集会(WEB), 和歌山県立医科大学伏虎キャンパス(和歌山県), 2022. 11. 5-7.

5) 桑原ひとみ, 栗本一美: 看護師の原動力についての文献レビュー. 第 53 回日本看護学会学術集会(対面), 幕張メッセ(千葉県), 2022. 11. 8-9.

その他

- 1) 2022 年度学長配分研究費, 研究課題「ヤングケアラー支援のための教育・福祉・看護専門職の連携構築に向けて」, 申請者栗本一美.
- 2) 栗本一美: 地域・在宅看護のカリキュラム改正について, 看護学科臨地実習指導者会議(web), 地域共生推進センター棟, 2022. 9. 9.
- 3) 栗本一美, 上山和子, 丸山純子, 吉田美穂, 他 2 名: 第 1 回訪問看護・地域看護コースと滋賀医科大学公衆衛生講座訪問看護領域交流会(WEB), 新見公立大学, 2022. 11. 4.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 栗本一美: 「在宅における保健医療福祉制度」, 保健師助産師看護師実習指導者講習会, 岡山県保健福祉部医療推進課, 岡山県看護協会, 2022. 8. 23.
- 2) 栗本一美: 「実習指導における原理と評価～地域・在宅看護～」, 保健師助産師看護師実習指導者講習会, 岡山県保健福祉部医療推進課, 岡山県看護協会, 2022. 8. 23, 24
- 3) 栗本一美: 保健師助産師看護師実習指導者講習会(実習指導方法演習), 岡山県保健福祉部医療推進課, 岡山県看護協会, 2022. 8. 31. 9. 1. 5. 6. 8. 13. 15.
- 4) 栗本一美: 「健口講座」, 市民公開講座, 新見公立大学, 新見公立大学駅西サテライト, 2022. 10. 14.
- 5) 栗本一美: 特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会(演習), 岡山県保健福祉部

医療推進課, 岡山県看護協会, 2022. 12. 6, 13, 20.

6) 栗本一美: 「在宅看護実習における診療所実習について」, PNs 勉強会(WEB), 岡山県奈義町, 2023. 3. 31.

役職

- 1) 岡山県訪問看護総合支援センター 委員
- 2) 日本ルーラル看護学会 査読委員
- 3) 日本エンドオブライフケア学会 査読委員
- 4) 日本在宅看護教育研究会 委員
- 5) 泌尿器科疾患に関する臨床懇話会 世話人
- 6) 新見こころの健康を考える会 委員

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 4. 14, 9. 29, 10. 5.
- 2) 三光ミニ・デイ: 三光生活改善センター, 看護学科 3 年生 6 人と参加, 健康測定・健康教室「インフルエンザに負けないからだをつくろう!」, 2021. 10. 18.
- 3) リアルボイス 2022in 岡山, 天神山文化センター, 地域福祉学科 3 年生 3 人と参加, 「ヤングケアラーに私たちができること～にみんとゆかいな仲間たち～」と題して発表, 2022. 10. 30.
- 4) 唐松ふれあいサロン: 唐松公民館, 看護学科 3 年生 5 人と参加, 健康測定・健康教室「食事で予防する糖尿病」, 2022. 11. 21.
- 5) ヤングケアラー勉強会: 新見公立大学, 「ヤングケアラーの経験者から～看護・福祉・教育分野で支援するかもしれないあなたへ～」と題して、ヤングケアラーの当事者をお招きした勉強会を開催。学生や新見市内の行政、教育機関の方など 17 名が参加。

教授 礪本暁子

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

- ・成人看護学概論：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・成人看護学援助論B（急性期）単元1：看護学科2年，後期24時間，必修
- ・成人看護学援助論B（急性期）単元3：看護学科2年，後期10時間，必修
- ・成人看護学援助論C（緩和ケア）単元1・2：看護学科3年，前期24時間，必修
- ・成人看護学援助論C（緩和ケア）単元3：看護学科3年，前期6時間，必修
- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修
- ・成人看護学実習A（慢性期）：看護学科4年，前期180時間，必修
- ・成人看護学実習A（慢性期）：看護学科3年，後期180時間，必修
- ・成人看護学実習B（急性期）：看護学科4年，前期180時間，必修
- ・成人看護学実習B（急性期）：看護学科3年，後期180時間，必修
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，5人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科4年，通年30時間，必修，4人
- ・療養支援看護学課題演習：看護学研究科1年，後期4時間，選択必修，1人
- ・成人看護支援特論：看護学研究科1年，前期18時間，選択，1人
- ・看護研究特論：看護学研究科1年，前期2時間，必修，3人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・広報委員会委員
- ・看護学科卒業研究委員
- ・看護学科チューター：1年生(3人)，2年生(4人)，3年生(5人)，4年生(4人)

- ・学修成果確認講座（成人看護学）
- ・看護学科卒業研究計画書倫理審査
- ・看護学研究科 卒業研究Ⅰ 副指導

研究活動

学会発表

- 1) 岡本絵里子，湯浅恵理，礪本 暁子：救急看
師から病棟看護師へ継続看護に活かせる申
し送り内容の検討. 岡山県看護協会岡山県看
護学，2022. 6. 30.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 礪本暁子：岡山市立市民病院令和4年度看護研
究指導，岡山市立市民病院，1階多目的ホール
他
 - ・「文献検討、調査研究手法，対象者の検討」，
2022. 6. 16.
 - ・「調査項目の検討」，2022. 8. 16.
 - ・「データ分析」，2022. 10. 3.
 - ・「データ分析・考察指導」，2022. 10. 14.
 - ・「データ分析・考察、論文作成指導」，2022. 11. 8.
 - ・「データ分析・考察、論文作成指導」，2022. 12. 9.
 - ・岡山市立市民病院令和4年度看護部「看護研
究発表会」講評，2023. 3. 4.
- 2) 礪本暁子：「令和4年度岡山看護協会真庭支部
第48回看護研究発表会」講評，勝山文化セン
ター，2023. 2. 9.

3) 高校訪問

- ・就実高等学校，山陽学園高等学校，岡山学芸館
高等学校 2022. 10. 18.
- ・岡山県立笠岡高等学校，岡山龍谷高等学校
岡山県立矢掛高等学校，2022. 10. 24.
- ・和歌山県立田辺高等学校，和歌山県立日高等
学校，和歌山県立星林高等学校，和歌山県立海
南高等学校，和歌山県立耐久高等学校，和歌山
信愛高等学校，2022. 10. 11.
- ・和歌山県立橋本高等学校，近畿大学附属和歌山
高等学校，2022. 10. 12.

4) 進学ガイダンス

- ・岡山コンベンションセンター(Web)，2022. 7. 6.
- ・和歌山県立那賀高等学校，2022. 10. 12.

- ・愛媛県立松山中央高等学校, 2022. 10. 13.
- ・岡山学芸館高等学校, 2022. 10. 18.
- ・東洋大学附属姫路高等学校, 2023. 3. 15.
- ・米子松陰高等学校, 2023. 3. 17.
- ・姫路市立飾磨高等学校, 2023. 3. 22.

教授 塩見和子

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

- ・成人看護学援助論A（慢性期）単元1：看護学科2年，前期20時間，必修。
- ・成人看護学援助論A（慢性期）単元3：看護学科2年，前期4時間，必修。
- ・成人看護学援助論A（慢性期）単元5：看護学科2年，前期2時間，必修。
- ・成人看護学援助論B（急性期）単元3：看護学科2年，後期10時間，必修。
- ・成人看護学援助論C（緩和ケア）単元3：看護学科3年，前期6時間，必修。
- ・看護生涯教育論：看護学科3年，前期16時間，80人。
- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人。
- ・成人看護学実習A（慢性期）：看護学科4年，前期180時間，必修，8人。
- ・成人看護学実習A（慢性期）：看護学科3年，後期180時間，必修，17人。
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，5人。
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科4年，通年30時間，必修，3人。
- ・特別研究Ⅱ：看護学研究科3年，通年60時間，必修，1人。
- ・療養支援看護学課題演習：看護学研究科1年，後期6時間，選択必修，1人。

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・教務委員会 委員長
- ・大学運営委員会 委員
- ・看護学研究科 特別研究Ⅱ 修士論文 主指導
- ・看護学科ハラスメント等防止委員会 相談員
- ・教学マネジメント部会 委員

2) 高校訪問

- ・岡山県立倉敷古城池高等学校，出張講義，1～3年生，32人，2022.6.20。（対面）

- ・岡山県明誠学院高等学校，高校内進学ガイダンス，2年生（特別進学コースⅢ類除く），36人，2022.7.26。（対面）

研究活動

著書

- 1) 塩見和子：聴く姿勢が伝わる心配り．田村美子監修，二重作清子，久木原博子，実藤基子（編），「看護者に期待されるもの」シリーズ④ 聴く力．初版，ふくろう出版，124-129（単），2022.6.24.

学術論文

- 1) 木原和子，塩見和子：回復期リハビリテーション病棟における患者の自宅退院支援に関する文献レビュー．インターナショナル Nursing Care Research 研究会，21（2），101-109，2022.

学会発表

- 1) 田邊明子，森上由美子，塩見和子：一般病棟における新型コロナウイルス感染症透析患者を受け入れるためのゾーニングによる感染予防対策と今後の課題．第53回日本看護学会学術集会，プログラム集58，幕張メッセ，千葉県，2022.11.9.

外部資金獲得状況

- 1) 令和5（2023）年度～令和8（2026）年度 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）研究課題「1937年～1974年における結核看護史の構築のための歴史研究」，課題番号23K09791，研究代表者 塩見和子（単独）。

社会的活動

講演・研修会

- 1) 令和4（2022）年度岡山県保健師助産師看護師実習指導者講習会，岡山県保健福祉部医療推進課公益社団法人岡山県看護協会，岡山県看護研修センター
- ・「実習指導原理と評価（成人看護慢性期）」（3時間）（Web開催），2022.8.16.

- ・「実習指導の実際 実習指導案の作成(成人看護慢性期)」(18時間)(Web開催)9/1～全6回.
 - ・「演習発表会・講評」(3時間)(Web開催), 2022.9.15.
 - ・成人看護慢性期実習【指導案】, 令和4(2022)年度岡山県保健師助産師看護師実習指導者講習会「指導案」集録, 81-114, 2022.
- 2) 塩見和子: 医療法人創和会しげい病院 令和4(2022)年度「看護研究発表会」講師, 本館4階研修室, 2021.12.15.
- 3) 塩見和子: 医療法人創和会しげい病院研修会講師「研究計画書および発表原稿の指導ポイント」, 各部署長対象, 2022.12.15.

役職

- ・一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
専任査読者

特任教授 郷木義子

教育活動

専門分野

学校保健

担当科目

- ・学校保健：看護学科3年，前期16時間
- ・健康科学1：全学科1年生，必修，前期2時間
- ・養護学概論：看護学科3年，前期30時間
- ・健康相談活動：看護学科3年，前期30時間
- ・学校救急処置：看護学科3年，後期30時間
- ・教育実習指導：看護学科4年生前期30時間
- ・教育実習：看護学科4年生 120時間
- ・教職実践演習：看護学科4年生後期30時間

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・教育支援センター教育・保育実習運営委員会（養護教諭部会）
- ・看護学科選択制選考委員会 委員

2) その他

- ・美作大学集中講義「保育及び家庭看護学」（30時間）
- ・くらしき作陽大学「子どもの保健」（30時間），「子どもの健康と安全（演習）」（16時間）

研究活動

著書

- 1) 津島ひろ江編集代表：学校における養護活動の展開第9版，ふくろう出版(岡山市)，郷木義子：第2章養護教諭の歴史，9－16，2022. 4

学術論文

- 1) 山野井尚美，郷木義子，栗本一美，三上ゆみ：ヤングケアラーに着目した教育、福祉、看護分野の同一教材の有効性に関する検討，新見公立大学紀要，43，203-207，2022.

- 2) 大学生における月経セルフケア行動の実態と情報源との関連. 教育保健研究，11－22 第22号 2022. 12

学会発表

- 1) 中川彩見，山本裕子，郷木義子：食物アレルギーに関する講義後の保育専攻学生の意識・知識の実態調査(第2報)－自由記述に焦点を当てて－. 第69回日本小児保健協会学術集会，三重(WEB学会)，2022. 6. 24-26.
- 2) 郷木義子，三上ゆみ，栗本一美，山野井尚美：「学校保健」における教材の有効性に関する検討－ヤングケアラーに着目して－. 第68回日本学校保健学会学術集会，和歌山(Web学会)，2022. 11. 5-7.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 第4回養護教諭の集い. 新見公立大学，2022. 3. 19.
- 2) ヤングケアラー勉強会：「知ってくださいヤングケアラー」. 新見公立大学，2022. 3. 21.
- 3) 研究指導
- ・新見市小学校養護部会，2022. 8, 10，2023. 3.
 - ・岡山県学校保健会高等学校備北ブロック研究指導 9. 13
- 講演
- ・養護教諭が果たす「健康観察」 岡山県学校保健会高等学校備北ブロック研究指導 1. 30

役職

- 1) 日本学校保健学会理事
- 2) 日本学校保健学会学術委員
- 3) 日本養護教諭実践学会評議員
- 4) 養護教諭養成協議会代表評議員
- 5) 中四国学校保健学会理事長

特任教授 山田雅夫

教育活動

専門分野

ウイルス学, 感染症学, 解剖生理学, 病態生理学

担当科目

- ・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期20時間, 必修, 9人
- ・人体構造学: 看護学科1年, 前期45時間, 必修
- ・人体機能学: 看護学科1年, 前期45時間, 必修
- ・医療概論: 看護学科1年, 後期15時間, 必修
- ・微生物学: 看護学科1年, 後期30時間, 必修
- ・発達と老化の理解Ⅱ: 地域福祉学科2年, 前期30時間, 介護福祉士コース必修, 9人
- ・健康科学Ⅱ: 共通科目, 前期8時間, 113人
- ・英文論文講読: 共通科目, 選択, 前期30時間, 3人
- ・研究特論: 研究科1年, 前期2時間, 3人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・FD・SD委員会 委員長
- ・研究倫理委員会 委員長
- ・評価将来構想委員会内部質保証部会 副委員長
- ・評価将来構想委員会教学マネジメント部会 委員

2) その他

- ・岡山大学医学部医学科講義(特命教授:8時間)
- ・岡山商科大学講義(非常勤講師:2時間)

研究活動

学術論文

- 1) Ogawa H, Ohya K, Ayizanga R, Miyamoto H, Shigeno A, Yamada M, Takashima Y, Inoue-Murayama M, Takeda A, Baboreka Kayangb B. Detection of anti-ebolavirus antibodies in Ghanaian pigs. (ガーナの豚における抗エボラウイルス抗体の検出) J. Vet. Med. Sci. 84(11): 1491-1494, 2022. doi: 10.1292/jvms.22-0186
- 2) 鳥越貞義, 渡辺正博, 難波ひかる, 山田雅夫. 日本での突発性発疹の罹患年齢の上昇と感染様式. 日本小児科学会雑誌 126: 494-499,

2022.

- 3) 山田雅夫. 医学ウイルス分類の現状 臨床と微生物 49 巻増刊号【微生物検査をめぐる最近の動向 一葉剤耐性菌・全自動遺伝子検査・微生物分類学に学ぶ】 pp. 169-174, 近代出版、東京、2022.

社会的活動

役職

- 1) 日本ウイルス学会 評議員
- 2) 日本臨床ウイルス学会 理事
- 3) 日本感染症学会 評議員
- 4) 日本医学教育学会 会員
- 5) 中国四国ウイルス研究会 幹事
- 6) 公益財団岡山医学振興会 代表理事
- 7) 岡山県環境保健センター外部評価委員会 委員
- 8) 岡山県環境保健センター倫理審査委員会 委員
- 9) 岡山県美作地域感染症診査協議会 委員
- 10) 岡山大学評価センター専門部会 学外委員

准教授 矢嶋裕樹

教育活動

専門分野

保健統計学, 疫学

担当科目

- ・ 基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修
- ・ 医療情報：看護学科2年，前期10時間，必修
- ・ 保健医療統計学Ⅰ（基礎）：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・ 統計学：健康保育学科3年，前期30時間，選択，8人
- ・ 保健医療統計学Ⅱ（応用）Aクラス：看護学科3年，後期15時間，必修，42人
- ・ 保健医療統計学Ⅱ（応用）Bクラス：看護学科3年，後期15時間，必修，41人
- ・ 疫学：看護学科3年，前期30時間，必修
- ・ 疫学調査・疫学演習：看護学科3年，後期30時間，選択必修，20人
- ・ 卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，前期30時間，必修，4人
- ・ 卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学部3年，後期15時間，必修，4人
- ・ 卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科4年，通年30時間，必修，5人
- ・ 統計学特論：看護学研究科1年，前期30時間，選択，2人
- ・ 看護研究特論：看護学研究科1年，前期4時間，「データ収集と分析」，必修，2人
- ・ 地域生活支援看護学課題演習：研究科1年，後期30時間，必修，2人
- ・ 大学院看護学研究科 副指導教員 2人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・ 学生部次長
- ・ 評価・将来構想委員会 委員
- ・ 評価・将来構想委員会内部質保証部会 委員
- ・ 評価・将来構想委員会 教学マネジメント部会委員長
- ・ 入試課題検討委員会 委員
- ・ 入試委員会 委員
- ・ FD・SD委員会 副委員長

- ・ 学生生活支援センター 委員
- ・ 修学・キャリア支援センター 委員
- ・ 総合情報基盤センター 情報システム部門 委員
- ・ 総合情報基盤センター IR 部門 委員
- ・ 新見公立大学大学院改組部会 委員
- ・ 新見公立大学リポジトリサイトの管理・運営

3) その他

- ・ 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科看護学専攻（修士課程）「保健統計論」，講義15時間
- ・ 日本赤十字広島看護大学大学院看護学研究科（修士課程）「疫学」，講義18時間

研究活動

学術論文

- 1) 真壁五月，矢嶋裕樹，沖本克子：実親に対する子の「介護意識」の概念分析—Rodgersの概念分析の手法を用いて—。新見公立大学紀要，43，57-70，2022.
- 2) 渡部昌史，矢嶋裕樹，青木謙介，古田康生：女子学生の体力・運動能力に関連する心理社会的要因—構造方程式モデリングによる検討—。新見公立大学紀要43，51-55，2022.

学会発表

- 1) 中川彩見，矢嶋裕樹：乳幼児をもつ母親の不安全行動の実態。第81回日本公衆衛生学会，山梨(WEB学会)，2022.10.7-10.9.
- 2) J Sakano, Y Sawada1, H Okata, Y Yajima. Sense of Coherence as a Mediator between Social Support and Mental Well-being among Japanese Elderly People. The ISOQOL 29th Annual Conference, Prague, Czech, 10.19-22, 2022.
- 3) 安原奈那，土井英子，木下香織，矢嶋裕樹：炎症性腸疾患患者の就労継続に関する要因と就労支援，第10回日本難病医療ネットワーク学会学術集会，国際医療福祉大学，東京，2022.11.18.
- 4) 真壁五月，矢嶋裕樹，沖本克子：実親の介護に対する子の「介護意識」の概念分析—Rodgersの概念分析の手法を用いて—。第42回日本看護科学学会学術集会，広島国際会議場(WEB開催)，2022.12.3.
- 5) 脇本美香，土井英子，金山時恵，矢嶋裕樹：中規模病院看護師の両立支援組織文化と職務満足感及び職業継続意思との関連，第42回日本看

護科学学会， 広島国際会議場（WEB 開催），
2022. 12. 4

- 6) 福島康子， 矢嶋裕樹， 森山美知子:大規模小売
店従業員の職業性ストレス：事業所単位の分析，
第 42 回日本看護科学学会 広島国際会議場（WEB
開催）， 2022. 12. 4.

外部資金獲得状況

- 1) 平成 29～令和 3 年度 日本学術振興会科学研究
費補助金（基盤研究 C）研究課題「チーム医療の
成果に関する実証研究： 感染対策チームを対象
とした調査」， 課題番号 17K09241， 研究代表者：
山本 智恵子， 研究分担者： 土井 弘子， 矢嶋
裕樹， 佐々木 順造.
- 2) 平成 29～令和 3 年度 日本学術振興会科学研究
費補助金（基盤研究 B）研究課題「地域支援事業
の適用に向けたストレス対処力 SOC の社会・認
知・神経基盤の解明」， 課題番号 17H02609， 研
究代表者：坂野 純子， 研究分担者： 矢嶋 裕樹，
山崎 喜比古， 澤田 陽一.
- 3) 令和 3 年度～令和 7 年度 日本学術振興会科学研
究費補助金（基盤研究 C）研究課題「被援助志向
性の低い高齢者の実態把握と支援方策の検討」，
課題番号 21K11090， 研究代表者：矢嶋 裕樹， 研
究分担者： 矢庭さゆり.

その他

- 1) 2022 年度学長配分研究費， 研究課題「中山間地
域における中高年世代の健康に関する調査」， 申
請者： 安田陽子， 共同研究者 矢嶋裕樹， 真壁
五月， 山野井尚美.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 2022 年度 岡山県看護協会主催研修会講師「看
護研究に必要な統計分析」， 岡山県看護研修セ
ンター(オンライン)， 2022. 9. 12.
- 2) 香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（精神
看護学分野）「介入研究のデザインとデータ解
析」研修会講師（オンライン開催）， 2023. 2. 16.
- 3) 香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（精神
看護学分野）「COSMIN の概要に基づく信頼性、
妥当性の検討方法」（オンライン開催），
2023. 5. 2.

准教授 山本智恵子

教育活動

専門分野

基礎看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，9人
- ・健康生活援助技術論：看護学科1年，前期30時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅰ：看護学科1年，前期30時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅱ：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・フィジカルアセスメント：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・看護過程論(演習指導)：看護学科2年，前期45時間，必修
- ・健康障害援助技術論：看護学科2年，後期60時間，必修
- ・救命救急医療論：看護学科3年，後期30時間，必修
- ・臨床援助技術演習：看護学科4年，後期30時間，選択，4人
- ・基礎看護学実習Ⅰ：看護学科1年，通年45時間，必修
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，後期90時間，必修，12人
- ・卒業研究Ⅰ(基礎編)：看護学科3年，通年45時間，必修，4人
- ・卒業研究Ⅱ(実践編)：看護学科4年，通年30時間，必修，3人
- ・チームアプローチ演習：共通科目3年，前期15時間，必修
- ・統合実習：看護学科4年，前期45時間，必修，5人
- ・地域防災論：共通科目2年，前期30時間，地域福祉学科・健康保育学科必修・看護学科選択，168人
- ・地域防災演習：共通科目2年，前期30時間，地域福祉学科・健康保育学科必修・看護学科選択，168人
- ・看護技術特論：看護学研究科1年，後期30時

間，選択，3人

- ・療養支援看護学課題演習：看護学研究科1年，後期4時間，選択，1人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・看護学科 副学科長
- ・評価・将来構想委員会 委員
- ・評価・将来構想委員会 教学マネジメント部会 委員
- ・教務委員会 委員
- ・ハラスメント等防止委員会 相談員
- ・看護学科選択制選考委員会 委員
- ・看護学科4年チューターアドバイザー
- ・国試対策委員会 委員
- ・新見公立大学大学院 修士論文審査委員会 委員(副査)
- ・PIONE 活動メンバー
- ・継続教育プロジェクト

2) 高校訪問

- ・兵庫県内高校訪問(3校)，2022.10.31(対面)。
- ・広島県内高校訪問(4校)，2022.11.14(対面)。

研究活動

学術論文

- 1) 宮武一江，井上弘子，山本智恵子，他：救命救急医療論に看護領域別演習を取り入れた「災害看護演習」の学修効果と課題－演習前後の関心度の変化とフロー体験についての考察－。新見公立大学紀要，VOL. 43，153 - 158，2022。
- 2) 丸山純子，溝尾妙子，山本智恵子，他2名：中山間地域における医療・介護施設の管理職が捉える急変対応シミュレーション教育の効果と展望。新見公立大学紀要，VOL. 43，145 - 151，2022。
- 3) 上山和子，岡京子，加藤由美，山本智恵子：「チームアプローチ演習」における教育方法の評価－課題レポートの分析より－。新見公立大学紀要，VOL. 43，89 - 96，2022。
- 4) 木下香織，安田陽子，真壁五月，山本智恵子：中山間地域に位置する医療機関における看護職員の継続教育の支援活動報告と今後の課題。新見公立大学紀要，VOL. 43，181 - 187，2022。

学会発表

- 1) 井上弘子, 山本智恵子: 臨床研究コーディネーターの離職とバーンアウトに関する海外文献レビュー, 第22回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 2022. 9. 17. ～9. 18.
- 6) 山本智恵子: 第33回院内看護研究発表会講評. 落合病院会議室, 2022. 11. 24.
- 7) 山本智恵子: 吉備創生カレッジ(大学コンソーシアム岡山), 安全な入浴のススメ, 山陽新聞本社ビル, 2023. 2. 6
- 8) 交通査察 2022. 9. 26

外部資金獲得状況

- 1) 平成29年度～31年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「チーム医療の成果に関する実証研究: 感染対策チームを対象とした調査」, 課題番号17K09241, 研究代表者: 山本智恵子.
- 2) 平成31年度～令和5年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「小規模病院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価」, 課題番号17K09241, 研究分担者: 山本智恵子.
- 3) 令和2年度～令和4年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「臨床研究コーディネーターにおけるモラルディストレス尺度を用いた倫理的悩みの検証」, 課題番号20K10666, 研究分担者: 山本智恵子.

社会的活動

役職

- 1) 新見市防災会議委員

その他

- 1) シミュレーショントレーニング, 新見公立大学シミュレーション室, 2022. 7. 9, 10. 1.
- 2) 看育びおーえん(新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会) 会議. 新見公立大学 (Zoom ミーティング), 2022. 4. 20, 5. 18, 6. 15, 7. 20, 8. 17, 9. 21, 10. 19, 11. 16, 12. 21, 2023. 1. 18, 3. 15.
- 3) まなびの森にいみ(新見市内4病院看護師臨床研修会). 新見公立大学 (Zoom ミーティング), 2022. 4. 9, 5. 21, 6. 11, 10. 8, 11. 19, 2023. 2. 5, 3. 4.
- 4) まにわナーシングカレッジ卒業後2年目研修(シミュレーショントレーニング) 実施補助. 新見公立大学5号館シミュレーション室, 2022. 6. 18, 2022. 10. 22, 2023. 2. 18.
- 5) Advanced life support コース, 新見公立大学シミュレーション室, 2023. 1. 14.

准教授 山野井尚美

教育活動

専門分野

精神科看護学, 地域精神保健, メンタルヘルス対策

担当科目

- ・精神看護学概論: 看護学科2年, 前期30時間, 必修
- ・精神看護学援助論: 看護学科2年, 後期45時間, 必修
- ・精神看護学実習: 看護学科4年, 前期45時間, 必修
- ・精神看護学実習: 看護学科3年, 後期45時間, 必修
- ・救命救急医療論: 看護学科3年, 後期14時間, 必修, 7人
- ・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期30時間, 必修, 8人
- ・卒業研究Ⅰ(基礎編): 看護学科3年, 通年45時間, 必修, 3人
- ・卒業研究Ⅱ(実践編): 看護学科4年, 通年45時間, 必修, 4人
- ・卒業研究Ⅰ(基礎編): 「質的調査研究」講義, 看護学科3年, 通年2時間, 必修
- ・保健医療福祉行政論: 看護学科3年, 45時間, 必修
- ・地域保健指導論Ⅰ(基礎): 看護学科3年, 後期6時間, 選択必修, 20人
- ・統合実習: 看護学科4年, 前期45時間, 必修, 8人
- ・教育実習: 看護学科4年, 必修, 16時間, 2人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域共生推進センター委員
NiU 駅西サテライト発達支援センター担当
市民公開講座: 9. 16, 9. 30, 10. 14, 10. 21
土下座まつり対応: 10. 14, 10. 15
- ・看護学科2年チューターアドバイザー
- ・保健管理センター委員アドバイザー
- ・コロナウイルスワクチン接種関係業務
- ・看護学科チューター: 看護1年(3人), 看護2年(4人), 看護3年(3人), 看護4年(4人)

2) 高校訪問・進学ガイダンス

(1) 進学ガイダンス

- ・岡山県総社南高等学校キャリアガイダンス, 2022. 7. 10. (対面)

3) その他

- ・岡山県立大学大学院保健福祉学研究科博士前期課程 公衆衛生看護管理論 (15時間)
- ・玉野医療総合医療専門学校保健看護学科(14時間)
- ・旭川荘厚生専門学校

研究活動

学術論文

- 1) 山野井尚美, 郷木義子, 栗本一美, 三上ゆみ: ヤングケアラーに着目した教育、福祉、看護分野の同一教材の有効性に関する検討, 新見公立大学紀要, 43, 203-207, 2022.
- 2) 三上ゆみ, 栗本一美, 山野井尚美: 福祉教育におけるヤングケアラーの新聞記事を用いた教材の有効性に関する検討, 日本看護福祉学会誌, 28(2), 181-187, 2023.

学会発表

- 1) 郷木義子, 三上ゆみ, 栗本一美, 山野井尚美: 「学校保健」における教材の有効性に関する検討—ヤングケアラーに着目して—, 第68回日本学校保健学会学術集会, 和歌山(Web学会), 2022. 11. 5-7.
- 2) 三上 ゆみ, 山野井尚美, 栗本 一美: 福祉教育におけるヤングケアラーの教材の有効性に関する検討—テキストマイニングを用いて—, 第35回日本看護福祉学会学術大会, 神奈川県(Web開催), 2022. 9. 4.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 山野井尚美: 「新型コロナウイルス感染症の予防対策について」, 新見市学校給食衛生管理研修会, 2022. 5. 18
- 2) 山野井尚美: 「地域に寄り添う愛育委員活動」, 令和4年度美作保健所管内愛育委員連合会総会研修会, グリーンヒルズ津山リージョンセンター, 2022. 6. 13
- 3) 山野井尚美: 「コロナ禍における愛育委員活動」, 新見市愛育委員会総会研修会, 新見市役所南庁舎, 2022. 6. 29

- 4) 山野井尚美:「コロナ禍での愛育委員活動～生き生きと活動していくために～」, 総社市愛育委員協議会研修会, サンロード吉備路, 2022. 7. 1
- 5) 山野井尚美:「コロナ禍における愛育委員活動」, 新見市愛育委員会哲西支部研修会, 哲西地域センター, 2022. 8. 2
- 6) 山野井尚美:「こころの健康～自分とまわりを大切に～」, 新見市社会福祉協議会メンタルヘルス勉強会, 新見市地域福祉センター, 2022. 8. 23
- 7) 山野井尚美:「コロナ禍における愛育委員活動」, 新見市愛育委員会大佐支部研修会, おおさ総合センター, 2022. 10. 7
- 8) 山野井尚美:「コロナ禍における愛育委員活動」, 新見市愛育委員会新見北支部研修会, 新見市役所南庁舎, 2022. 9. 6
- 9) 山野井尚美:「職場のメンタルヘルス」, 岡山県労働基準協会新見支部 衛生管理講習会, 新見公立大学, 2022. 9. 22
- 10) 山野井尚美:「新型コロナウイルス感染症予防」, 新見市保育士研修会, 新見保育園, 2022. 11. 1
- 11) 山野井尚美:「こころと身体の健康」, 吉備創生カレッジ講座, 山陽新聞社, 2023. 1. 13
- 12) 山野井尚美:「コロナ禍における愛育委員活動」, 新見市愛育委員会哲多支部研修会, 哲多総合センター, 2023. 3. 2
- 13) 山野井尚美:「コロナ禍における愛育委員活動」, 新見市愛育委員井倉支部研修会, 井倉総合センター, 2023. 3. 3
- 14) 山野井尚美:「新任期の人材育成～若葉保健師の成長を支えるために～」, 岡山市保健師連携会議, 2023. 2. 27

その他

- 1) 2022 年度学長配分研究費, 研究課題「看護、福祉、教育の協働を目指した同一教材の有効性に関する検討ーヤングケアラーに着目してー」, 申請者:栗本一美, 共同研究者, 三上ゆみ, 郷木義子, 山野井尚美.
- 2) 2022 年度学長配分研究費, 研究課題「中山間地域における中高年世代の健康に関する調査」, 申請者:安田陽子, 共同研究者, 矢嶋裕樹, 真壁五月, 山野井尚美.

役職

- 1) 岡山県新型コロナウイルス クラスター専門家
- 2) 岡山県児童虐待防止等専門サポートチーム委員
- 3) 新見市コロナウイルス感染症対策アドバイザー
- 4) 岡山いのちの電話協会 評議委員
- 5) 赤磐市介護保険審査会委員
- 6) 新見市保健活動検討会メンバー

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 4. 8, 2022. 9. 22
- 2) NiU 駅西サテライトにおける地域関係者会議, 2022. 7. 5, 2022. 10. 19, 2023. 3. 22
- 3) 新見市保健医療課等との調整会議 (通年)
- 4) 岡山県クラスター対策班(OCIT)活動報告会議(Web), 2023. 3. 18
- 5) 厚生労働省:令和4年度市町村保健師の管理者能力育成の推進に向けたアドバイザー支援事業, ヒヤリング調査への協力
- 6) 岡山マラソン救護ボランティア, シティライトスタジアム, 2022. 11. 13
- 7) ヤングケアラー勉強会(第4回養護教諭の集いと共催):「知ってくださいヤングケアラー」, 新見公立大学, 2022. 3. 19
- 8) 新見市新型コロナウイルス対策本部会議への出席, 2022. 4. 26, 2022. 9. 26, 2022. 12. 23
- 9) 日本公衆衛生学会認定専門家
- 10) 日本公衆衛生看護学会認定専門家

講師 真壁五月

教育活動

専門分野

成人看護学，看護管理学

担当科目

- ・成人看護学援助論A(慢性期) 単元2: 看護学科2年，前期10時間，必修
- ・成人看護学援助論B(急性期) 単元2: 看護学科2年，後期20時間，必修
- ・成人看護学援助論B(急性期) 単元3: 「急性期にある紙上事例演習」: 看護学科2年，後期10時間，必修
- ・成人看護学援助論C(がん看護) 単元3「紙上事例による看護過程の展開」: 看護学科3年，前期6時間，必修
- ・成人看護学実習A(慢性期): 看護学科4年，前期180時間，必修，7人
- ・成人看護学実習A(慢性期): 看護学科3年，後期180時間，必修，22人
- ・成人看護学実習A(慢性期) 欠席者の補充実習: 看護学科3年，後期60時間，必修，1人
- ・看護管理: 看護学科3年，前期22時間，必修，83人
- ・統合実習: 看護学科4年，前期90時間，必修，78人(県北5病院統括責任者)
- ・統合実習 公欠者補充実習: 看護学科4年，前期18時間，必修，1人
- ・救命救急医療論: 看護学科3年，後期14時間，必修，8人
- ・基礎ゼミナール: 看護学科1年，前期16時間，必修，8人
- ・卒業研究Ⅰ(基礎編): 看護学科3年，通年45時間，必修，3人
- ・卒業研究Ⅱ(実践編): 看護学科4年，通年30時間，必修，3人
- ・基礎看護学実習Ⅱ: 看護学科2年，前期，90時間，必修，3人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・入試委員会 委員
- ・看護学科 研修・研究委員
- ・看護学科課題「継続教育」担当

2) 高校訪問

- ・高校訪問: 岡山県立新見高等学校南校地・岡山県立高梁高等学校，2022. 11. 24(対面)

3) その他

- 1) 礪本暁子，真壁五月: 統合実習について. 2022年度新見公立大学健康科学部看護学科看護教育FD研修，2022. 6. 17，6. 24

研究活動

学術論文

- 1) 真壁五月，矢嶋裕樹，沖本克子: 実親に対する子の「介護意識」の概念分析—Rodgersの概念分析の手法を用いて—. 新見公立大学紀要，43，57-70，2022.
- 2) 木下香織，安田陽子，真壁五月，他1名: 中山間地域に位置する医療機関における看護職員の継続教育の支援活動報告と今後の課題. 新見公立大学紀要，43，181-187，2022.
- 3) 宮武一江，井上弘子，山本智恵子，他7名(7番目): 救命救急医療論に看護領域別の演習を取り入れた「災害看護演習」の学修効果と課題—演習前後の関心度の変化とフロー体験についての考察—. 新見公立大学紀要，43，153-158，2022.

学会発表

- 1) 真壁五月，矢嶋裕樹，沖本克子: 実親の介護に対する子の「介護意識」の概念分析—Rodgersの概念分析の手法を用いて—. 第42回日本看護科学学会学術集会，広島国際会議場およびWEB開催，2022. 12. 3.
- 2) 井上弘子，宮武一江，真壁五月: 災害看護演習に地震発生時の病棟事例に対して図上型訓練形式を取り入れた教育効果と課題. 日本災害看護学会第24回年次大会，オンデマンド配信期間: 2022. 8. 26～9. 22.

外部資金獲得状況

- 1) 令和2年度～令和4年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)，研究課題「看護職の介護離職防止対策—看護職が介護離職を選択する要因—」，課題番号 20K02161，研究代表者: 真壁五月，研究分担者: 沖本克子.
- 2) 平成31年度～令和5年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)，研究課題「小規模

病院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価」, 課題番号 19K10806, 研究代表者: 木下香織, 研究分担者: 山本智恵子, 真壁五月, 安田陽子.

その他

- 1) 2022 年度新見公立大学学長配分研究費, 研究課題「中山間地域における中高年世代の健康に関する調査」, 申請者: 安田陽子, 共同研究者: 矢嶋裕樹, 山野井尚美, 真壁五月.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 真壁五月: 造血の変遷と献血・輸血について.
岡山県立新見高等学校, 職業紹介(看護)のための模擬授業(2 回実施), 2022. 9. 16. (WEB)

役職

- 1) 新見市介護認定審査会 委員
- 2) 岡山県看護協会新見支部役員(新見支部会計)

その他

- 1) 新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会(看育びおーえん)検討会議: 新見公立大学 (Zoom ミーティング): 2022. 4. 20, 5. 18, 6. 15, 7. 20, 8. 17, 9. 21, 10. 19, 11. 16, 12. 21, 2023. 1. 18, 2. 15, 3. 15.
- 2) 新見市内 4 病院看護師臨床研修会(まなびの森にいみ)オンライン開催(補助): 2022. 4. 9, 5. 21, 6. 1, 10. 8, 11. 19, 2023. 2. 11. (計 6 回)
- 3) 新見市内 4 病院「新人～3 年目看護師交流会」.
新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会(看育びおーえん)主催, 新見公立大学地域共生推進センター棟, 2022. 6. 18.
- 4) まにわ・ナーシングカレッジ 2 年目研修③(金田病院主催)開催補助. 新見公立大学地域共生推進センター棟, 2022. 6. 18.
- 5) 岡山県看護協会新見支部研修開催準備および会計担当
 - ①クリニカルラダーの基礎～自身の目標設定のためのラダー～. 新見公民館, 2022. 7. 9.
 - ②地域包括ケアを支える看護機能システムの構築～地域における看護連携を考える～. 新見公民館およびオンライン開催. 2022. 9. 3.
 - ③せん妄・認知症患者の対応～一般病院での対

応～. 新見公民館およびオンライン開催, 2022. 11. 26.

④新見地域若手医療従事者交流会. 新見公民館, 2022. 12. 10.

- 6) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 4. 6.

助産学専攻科 講師 安田陽子

教育活動

専門分野

助産学

担当科目

- ・助産診断・技術学Ⅰ：前期 30 時間，必修
- ・助産診断・技術学Ⅲ：前期 30 時間，必修
- ・助産診断・技術学Ⅳ：前期 30 時間，必修
- ・助産学実習Ⅰ：通年 90 時間，必修
- ・助産学実習Ⅱ：通年 360 時間，必修
- ・助産学実習Ⅲ：通年 45 時間，必修
- ・助産学実習Ⅳ：通年 45 時間，必修
- ・助産学研究：前期 30 時間，必修

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・国家試験対策委員会 委員
- ・学生生活支援センター 委員
- ・看護学科課題「継続教育」担当

研究活動

学術論文

- 1) 安田陽子，四宮美佐恵：臨床実習指導者が分娩介助実習に関わる上で必要と考えている能力。母性衛生，63(4)，858－870，2023.
- 2) 木下香織，安田陽子，真壁五月他 1 名：中山間地域に位置する医療機関における看護職員の継続教育の支援活動報告と今後の課題。新見公立大学紀要，43，181-187，2022.

学会発表

- 1) 安田陽子，四宮美佐恵，高尾緑：分娩介助実習での学びー新型コロナウイルス感染症の背景下での現状ー。第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市)，2022. 9. 9-10.
- 2) 平田知子，四宮美佐恵，安田陽子，高尾緑：中山間地域の A 市における母親の産前産後のニーズの実態調査。第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市)，2022. 9. 9-10.

外部資金獲得状況

- 1) 平成 31 年度～令和 5 年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C) 研究課題「小規模病

院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価」，課題番号 19K10806，研究分担者 安田陽子。

- 2) 2022 年度学長配分研究費，研究課題「中山間地域における中高年世代の健康に関する調査」，申請者：安田陽子，共同研究者，矢嶋裕樹，真壁五月，山野井尚美。

社会的活動

その他

- 1) 新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会(看育びおーえん)検討会議：新見公立大学 (Zoom ミーティング)：2022. 4. 20，5. 18，6. 15，7. 20，8. 17，9. 21，10. 19，11. 16，12. 21，2023. 1. 18，2. 15，3. 15.
- 2) 新見市内 4 病院看護師臨床研修会(まなびの森にこいみ)オンライン開催(補助)：2022. 4. 9，5. 21，6. 1，10. 8，11. 19，2023. 2. 11。(計 6 回)
- 3) 新見市内 4 病院「新人～3 年目看護師交流会」。新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会(看育びおーえん)主催，新見公立大学地域共生推進センター棟，2022. 6. 18.
- 4) まにわ・ナースングカレッジ 2 年目研修③(金田病院主催)開催補助。新見公立大学地域共生推進センター棟，2022. 6. 18.
- 3) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022. 4. 6.

講師 赤田いづみ

教育活動

専門分野

基礎看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
- ・健康生活援助技術論：看護学科1年，前期30時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅰ：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅱ：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・フィジカルアセスメント：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・健康障害援助技術論：看護学科2年，後期60時間，必修
- ・看護過程論：看護学科2年，前期45時間，必修
- ・基礎看護学実習Ⅰ：看護学科1年，通年45時間，必修
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期90時間，必修，8人
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修，12人
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，前期45時間，必修，3人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科4年，通年30時間，必修，3人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・修学・キャリア支援センター員
- ・実習調整委員会 委員

2) 高校訪問

- ・進路ガイダンス

岡山市立岡山後楽館高等学校，2022.10.28.（対面）

研究活動

学術論文

1) Akiko Yamaguchi, Atsue Ishii, Haruna

fukushige, Yoshiyuki Inoue, Izumi Akada, Rie Mitani, Akiko Ito, Mio Hosona, Sayaka Suga, Akiko Yamada, and Yoko Arima:

Opportunities for Interactive Communication in Mechanically Ventilated Critically Ill Patients: A Video-Based Observational Study, Nursing Research and Practice, Volume 2022, P1-11, 2022.

2) Izumi Akada, Atsue Ishii, Akiko Yamaguchi, Haruna fukushige, Rie Mitani, Akiko Ito, Akihito Nakajima, Sayaka Suga: Discrepancy between the Image Held by Nursing Students of Themselves as Employed Nurses during the Pre-Employment Period and the Post-Employment Reality Faced by Novice Nurses, Health, 2022, vol. 14, No. 12, P1244-1266, 2022.

学会発表

1) 中嶋章仁，石井豊恵，井上文彰，赤田いづみ，他 11 名：手術体位固定時の 急角度頭低位における腓腹筋部の体圧変化の特徴 第61回日本生体医工学学会大会 2022, 朱鷺メッセ(新潟市)，2022.6.28-30.

外部資金獲得状況

1) 平成30年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「看護基礎教育における卒後の組織社会化促進に向けた予期的社会化尺度の開発」，課題番号18K10222，研究代表者：赤田いづみ.

社会的活動

その他

1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022.4.13. 2022.9.27.

講師 丸山純子

教育活動

専門分野

在宅看護

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，担当9人
- ・在宅看護援助論：看護学科2年，後期20時間，必修
- ・在宅看護実習：看護学科3-4年，通年90時間，必修
- ・救命救急医療論：看護学科3年，後期30時間，必修
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期90時間，必修，4名
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修，12人
- ・訪問看護展開論Ⅱ：看護学科3年，後期30時間，必修，6人
- ・養護実習：看護学科4年，後期180時間，選択必修
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修3人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科4年，通年30時間，必修3人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・入試委員会 委員
- ・看護学科4年チューターアドバイザー
- ・国試対策委員会 委員
- ・訪問看護・地域看護コースプロジェクト担当
- ・卒業研究プロジェクトメンバー
- ・PIONE プロジェクトメンバー
- ・KT プロジェクトメンバー

2) 高校訪問

- ・岡山県立勝山高等学校進学ガイダンス，2022. 9. 28. (対面)

研究活動

学術論文

- 1) 丸山純子，溝尾妙子，吉田美穂，山本智恵子，

三上ゆみ：中山間地域における医療・介護施設の管理職が捉える急変対応シミュレーション教育の効果と展望．新見公立大学紀要，43，145-151，2022.

- 2) 栗本一美，丸山純子，大島由美：本学における在宅看護の変遷と地域看護学の再構築－看護基礎教育課程の第5次カリキュラム改正を受けて－．新見公立大学紀要，43，113-119，2022.

- 3) 宮武一江，井上弘子，丸山純子，他7人：救命救急医療論に看護領域別演習を取り入れた「災害看護演習」の学修効果と課題－演習前後の関心度の変化とフロー体験についての考察－．新見公立大学紀要，43，153 - 158，2022.

- 4) 大島由美，丸山純子，栗本一美：高齢糖尿病患者のインスリン自己注射の現状についての文献レビュー．Nursing care research21(4)，57-66，2022.

社会的活動

役職

- 1) 新見こころの健康を考える会 委員

その他

- 1) 哲西地区ミニデイ．三光生活改善センター，看護学科3年生6人と参加，健康測定，レクリエーション，2022. 10. 18.
- 2) 唐松ふれあいサロン．唐松公民館，看護学科3年生10人と参加，健康測定，レクリエーション，健康教室担当，2022. 11. 21.
- 3) シミュレーショントレーニング，新見公立大学シミュレーション室，2022. 10. 1，11. 5，3. 4
- 4) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022. 4. 7，10. 5.

講師 吉田美穂

教育活動

専門分野

基礎看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
- ・健康生活援助技術論：看護学科1年，前期30時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅰ：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅱ：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・フィジカルアセスメント：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・健康障害援助技術論：看護学科2年，後期60時間，必修
- ・看護過程論：看護学科2年，前期45時間，必修
- ・訪問看護展開論Ⅱ：看護学科3年，訪問看護・地域看護コース履修生必修，後期30時間，必修，4人
- ・基礎看護学実習Ⅰ：看護学科1年，通年45時間，必修
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期90時間，必修，8人
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修，8人
- ・基礎看護学実習Ⅱ（実習指導）：看護学科2年，後期90時間，必修，12人
- ・訪問看護展開論実習（実習指導）：看護学科4年，前期180時間，必修，3人，訪問看護・地域看護コース履修生必修
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，3人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科4年，通年30時間，必修，3人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・教務委員会 委員
- ・看護学科2年チューターアドバイザー
- ・看護学科卒業研究 委員

- ・訪問看護・地域看護コースプロジェクト担当
- ・PIONE メンバー
- ・ソフトテニス部顧問

2) 高校訪問

- ・進学ガイダンス，2022. 12. 7. (対面)，呉港高校（広島県）

3) その他

- ・美作大学，保育及び家庭看護学，13時間

研究活動

学術論文

- 1) 宮武一江，井上弘子，吉田美穂，他：救命救急医療論に看護領域別演習を取り入れた「災害看護演習」の学修効果と課題－演習前後の関心度の変化とフロー体験についての考察－. 新見公立大学紀要，VOL. 43，153 - 158，2022.
- 2) 丸山純子，溝尾妙子，吉田美穂，他2名：中山間地域における医療・介護施設の管理職が捉える急変対応シミュレーション教育の効果と展望. 新見公立大学紀要，VOL. 43，145 - 151，2022.

社会的活動

役職

- 1) 看護連盟新見支部 代表連絡員
- 2) 新見市建築審査会 委員

その他

- 1) シミュレーショントレーニング，新見公立大学 5 号館 シミュレーション室，2022. 11. 14. 2023. 3. 4
- 2) まにわナーシングカレッジ卒後2年目研修（シミュレーショントレーニング）実施補助. 新見公立大学5号館シミュレーション室，2023. 2. 18.
- 3) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022. 9. 21.

講師 長崎恵美子

教育活動

専門分野

精神看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期20時間，必修，9人
- ・精神看護学援助論：単元7「疾患のプロセスと看護（2）：気分障害・神経性障害・ストレス関連障害」「精神科看護におけるケアの方法（4）：身体ケア、リエゾン看護」「精神疾患をもつ対象の理解（4）：主な状態への対応①②」「事例による看護過程の展開（1）（2）まとめ」看護学科2年，後期45時間，必修
- ・精神看護学実習：看護学科3～4年，前後期90時間，必修
- ・救命救急医療論：看護学科3年，後期14時間，必修，7名
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，前期30時間，必修，3人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科4年，前後期30時間，必修，2人
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，後期90時間，必修
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・広報委員会 委員
- ・卒業研究委員会 委員

2) 高校訪問

- ・会場型入試説明
甲南女子高等学校他，2022. 9. 28. (Web)
- ・進学ガイダンス
愛媛県立松山中央高等学校，2022. 10. 13. (対面)

研究活動

著書

- 1) 長崎恵美子，（監修）伊東美佐江，（医学監修）伊東克能：プチナース Vol. 31 No. 4 疾患ポイントノート メニエール病. 照林社，11-15，2022. 12.

外部資金獲得状況

- 1) 平成30年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「心疾患をもつ高齢者のDNAR選択に対する看護師の意思決定コーチングの教育開発」，課題番号18K10263，研究代表者：長崎恵美子.

社会的活動

その他

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022. 4. 7，9. 29.

助教 西川由貴子

教育活動

専門分野

母性看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期16時間，必修，8人
- ・母性看護学実習：看護学科4年，前期90時間，必修
- ・母性看護学実習：看護学科3年，後期90時間，必修
- ・母性看護学援助論：看護学科2年，後期45時間，必修
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，2人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科3年，通年30時間，必修，3人
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修，9人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・保健管理センター委員（障がい学生支援担当）
- ・実習室管理委員
- ・幹事

社会的活動

講演・研修会

- 1) 西川由貴子：障がい学生支援について，健康教育講演会，地域共生推進センター講堂，2022. 5. 11.

役職

- 1) 岡山 SRH 研究会運営委員
- 2) そーる訪問看護ステーション エンリッチカフェ運営委員
- 3) 倉敷市消防団 倉敷撫子隊 玉島方面隊女性部本部員

その他

- 1) そーる訪問看護ステーション エンリッチカフェ 健康教育相談，2022. 4. 10， 5. 8，

6. 12，7. 10，8. 14，10. 9，11. 13，12. 11，2023. 1. 8，2. 12.

- 2) そーる訪問看護ステーション みそらシェア 作業，草取り，環境調整，2022. 4. 3，6. 11，8. 13，12. 10，2023. 2. 4.
- 3) そーる訪問看護ステーション オンライン開催，災害看護でまちづくり，2022. 4. 1.
- 4) 倉敷市消防団意見交換会 オンライン開催，倉敷市消防団玉島方面隊，2022. 5. 3，6. 3，7. 16，10. 22.
- 5) 真備写真洗浄「あらいぐまサロン」，元田集会所，2022. 5. 4
- 6) 防災ばあ，呉妹・服部地区，2022. 7. 30， 11. 19.
- 7) 2022 年度岡山 SRH 研究会オンライン，岡山 SRH 研究会，2022. 12. 2.
- 8) まび減災女子部座談会，そーる訪問看護ステーション，2023. 1. 22.
- 9) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022. 4. 8，9. 22.

助教 平田知子

教育活動

専門分野

母性看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
- ・医療情報：看護学科2年，前期4時間，必修
- ・母性看護学援助論：看護学科2年，後期45時間，必修
- ・救命救急医療論：看護学科3年，後期14時間，必修，7人
- ・母性看護学実習：看護学科3年，後期90時間，必修
- ・母性看護学実習：看護学科4年，前期90時間，必修
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，2人
- ・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科3年，通年30時間，必修，2人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・教育推進委員会 委員
- ・研修研究委員 委員
- ・PIONE プロジェクトメンバー
- ・看護学科FD研究研修会 講師

研究活動

学術論文

- 1) 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子, 杉山萌：女子大学生の健康に関する意識と妊孕性に関する知識の現状. 新見公立大学紀要 43, 105-111, 2022.
- 2) 小林匡美, 平田知子、齋藤信也：周術期に関わる看護師の役割の変遷と現状、および展望について. 新見公立大学紀要 43, 217-225, 2022.
- 3) 「災害看護学習」に領域毎の演習を取り入れた教育効果と課題フロー体験チェックリストを用いて-. 新見公立大学紀要 43, 153-158, 2022.

学会発表

- 1) 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子: 女子大学生の健康に関する意識と妊孕性に関する知識の現状. 第63回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.
- 2) 高尾緑, 四宮美佐恵, 安田陽子, 平田知子: 子宮頸がんワクチン接種と子宮頸がん検診の実態に関する文献検討. 第63回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.
- 4) 平田知子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑: 中山間地域のA市における母親の産前産後のニーズの実態調査. 第63回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.

助教 山本裕子

教育活動

専門分野

小児看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，9人
- ・小児看護学実習：看護学科3～4年，通年90時間，必修
- ・小児看護学援助論：看護学科2年，後期45時間，必修
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，2人
- ・救命救急医療論：看護学科3年，後期30時間，必修
- ・子どもの健康と安全：健康保育学科1年，後期30時間，必修

1) 本学における活動

- ・看護学科3年生 チューター・アドバイザー
- ・国家試験対策委員会 委員
- ・保健管理センター委員会 委員
- ・研修・研究委員会 委員
- ・教育支援センター委員会 委員

2) 高校訪問

- ・岡山県立岡山一宮高等学校，2022.6.14.

研究活動

学術論文

- 1) 上山和子，山本裕子，西村美紗希，小田慈：小児の地域包括ケアにおける小児看護学実習の展開と実習構造図. 新見公立大学紀要, 43, 177-179.

学会発表

- 1) 中川彩見，山本裕子，郷木義子：食物アレルギーに関する講義後の保育専攻学生の意識・知識の実態調査(第2報) 自由記述に焦点を当てて. 第69回日本小児保健協会学術集会，三重県総合文化センター，2022.6.24-26.

助教 宮武一江

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

- ・成人看護学援助論A(慢性期) 単元4: 看護学科2年, 前期2時間, 必修
- ・成人看護学援助論A(慢性期) 単元5: 看護学科2年, 前期2時間, 必修
- ・成人看護学援助論B(急性期) 単元3「急性期にある紙上事例演習」: 看護学科2年, 後期10時間, 必修
- ・成人看護学援助論C(がん看護) 単元3「紙上事例による看護過程の展開」: 看護学科3年, 前期6時間, 必修
- ・成人看護学実習B(急性期): 看護学科4年, 前期180時間, 必修, 21人
- ・成人看護学実習A(慢性期): 看護学科3年, 前期180時間, 必修, 5人
- ・成人看護学実習B(急性期): 看護学科3年, 後期180時間, 必修, 8人
- ・統合実習: 看護学科4年, 前期90時間, 必修, 12人
- ・救命救急医療論: 看護学科3年, 後期30時間, 必修
- ・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期30時間, 必修, 10人
- ・卒業研究Ⅰ(基礎編): 看護学科3年, 通年45時間, 必修, 2人
- ・卒業研究Ⅱ(応用編): 看護学科4年, 通年30時間, 必修, 2人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・教務委員会 委員
- ・看護学セミナー 委員
- ・実習室管理委員会 委員
- ・看護学科風花会 委員

研究活動

学術論文

- 1) 宮武一江, 井上弘子, 山本智恵子他: 救命救急医療論に看護領域別演習を取り入れた「災害看護演習」の学修効果と課題ー演習前後の関心度の変化とフロー体験についての考察ー. 新見公立大学紀要, VOL. 43, 153 - 158, 2022.

学会発表

- 1) 井上弘子, 宮武一江, 真壁五月: 地震発生時の病棟事例に対して図上型訓練形式を取り入れた教育効果と課題. 日本災害看護学会 第24回年次大会, オンデマンド配信期間: 2022. 8. 26～9. 22.

社会的活動

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点
2022. 4. 8, 2022. 9. 30

助教 中川彩見

教育活動

専門分野

公衆衛生看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，9人
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期90時間，必修，4人
- ・疫学調査・疫学演習：看護学科3年，後期30時間，選択必修，20人
- ・救命救急医療論：看護学科3年，後期14時間，必修，20人
- ・地域保健指導論Ⅰ（基礎）：看護学科3年，後期10時間，選択必修，20人
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，2人
- ・卒業研究Ⅱ（応用編）：看護学科4年，通年30時間，必修，3人
- ・統合実習：看護学科4年，前期45時間，必修，6人
- ・公衆衛生看護学実習Ⅰ（基礎）：看護学科4年，通年45時間，選択必修，8人
- ・公衆衛生看護学実習Ⅱ（応用）：看護学科4年，通年180時間，選択必修，6人
- ・子どもの健康と安全：健康保育学科1年，後期22時間，必修
- ・子ども家庭の心理学：健康保育学科1年，後期4時間，必修

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・ソーシャルスキルトレーニング(SST)プロジェクト 委員
- ・FD・SD委員会 委員
- ・保健管理センター 委員
- ・認証評価 委員
- ・国家試験対策委員会 委員
- ・実習調整委員会 委員
- ・先輩と語る会 委員

2) 高校訪問等

- ・進学ガイダンス
岡山県立玉島高等学校，2022.12.7.（対面）

3) その他

- ・発達障がい児支援プロジェクトミーティング，2022.4.10，5.22，6.12，7.10，7.30（音入れ），9.19，10.1，10.15，10.23，12.3，12.17，2023.1.7，1.21，2.26，3.4，3.21.
- ・発達障がい児支援プロジェクトミーティング（本郷小学校ヒアリング），2022.10.11.
- ・発達障がい児支援プロジェクトミーティング（学内ヒアリング），2022.10.12.

研究活動

学術論文

- 1) 宮武一江，井上弘子，山本智恵子，中川彩見，他6名：救命救急医療論に看護領域別の演習を取り入れた「災害看護演習」の学修効果と課題－演習前後の関心度の変化とフロー体験についての考察－. 新見公立大学紀要，43，153-158，2022.

学会発表

- 1) 中川彩見，山本裕子，郷木義子：食物アレルギーに関する講義後の保育専攻学生の意識・知識の実態調査（第2報）－自由記述に焦点を当てて－. 第69回日本小児保健協会学術集会，三重（WEB学会），2022.6.24-26.
- 2) 中川彩見，矢嶋裕樹：乳幼児をもつ母親の不安全行動の実態. 第81回日本公衆衛生学会，山梨（WEB学会），2022.10.7-10.9.

その他

- 1) 学長配分研究費「児童期を対象としたSST（ソーシャルスキルトレーニング）プログラムの開発」，研究代表者：芝崎美和，研究分担者：中川彩見.

社会的活動

役職

- 1) 新見市障害支援区分認定審査 委員
- 2) 日本医学看護学教育学会 評議員
- 3) 一般社団法人全国保健師教育機関協議会中国・四国ブロック会計担当

その他

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022.4.14，9.29.

助教 井上弘子

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

- ・成人看護学援助論B(急性期) 単元 1・2：看護学科 2 年，後期 10 時間，必修
- ・成人看護学援助論B(急性期) 単元 3：「急性期にある紙上事例演習」：看護学科 2 年，後期 10 時間，必修
- ・成人看護学援助論C(緩和ケア) 単元 3「紙上事例による看護過程の展開」：看護学科 3 年，前期 6 時間，必修
- ・成人看護学実習B(急性期)：看護学科 4 年，前期 180 時間，必修，25 人
- ・成人看護学実習A(慢性期)：看護学科 3 年，後期 180 時間，必修，8 人
- ・救命救急医療論：看護学科 3 年，後期 30 時間，必修
- ・基礎ゼミナール：看護学科 1 年，前期 30 時間，必修，8 人
- ・卒業研究Ⅰ(基礎編)：看護学科 3 年，通年 45 時間，必修，2 人
- ・卒業研究Ⅱ(応用編)：看護学科 4 年，通年 30 時間，必修，2 人
- ・統合実習：看護学科 4 年，前期 45 時間，必修，8 人
- ・地域防災論：共通科目 2 年，前期 30 時間，地域福祉学科・健康保育学科必修・看護学科選択，168 人
- ・地域防災演習：共通科目 2 年，前期 30 時間，地域福祉学科・健康保育学科必修・看護学科選択，168 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・修学・キャリア支援センター 委員
- ・1 年生 チューターアドバーザー
- ・国試対策委員会 委員
- ・献血推進サークル S・B・D.niimi 部 顧問

研究活動

学術論文

1) 宮武一江，井上弘子，山本智恵子他：救命救急医療論に看護領域別演習を取り入れた「災害看護演習」の学修効果と課題－演習前後の関心度の変化とフロー体験についての考察－. 新見公立大学紀要，VOL. 43，153 - 158，2022.

学会発表

- 1) 井上弘子，宮武一江，真壁五月：地震発生時の病棟事例に対して図上型訓練形式を取り入れた教育効果と課題. 日本災害看護学会 第 24 回年次大会，オンデマンド配信期間：2022. 8. 26～9. 22.
- 2) 井上弘子，山本智恵子：臨床研究コーディネーターの離職とバーンアウトに関する海外文献レビュー，第 22 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議，2022. 9. 17. ～9. 18

外部資金獲得状況

- 1) 令和 2 年度～令和 4 年度 日本学術復興会科学研究費補助金(基盤研究 C)，研究課題「臨床研究コーディネーターにおけるモラルディストレス尺度を用いた倫理的悩みの検証」，課題番号 20K10666，研究代表者：井上弘子.

その他

- 1) 交通安全週間街頭査察，西方小学校交差点，2022. 9. 21.

助教 小林匡美

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

1) 教育補助

- ・成人看護学援助論B（急性期）单元1「手術療法と看護」：看護学科2年，後期6時間，必修
- ・成人看護学援助論B（急性期）单元3「急性期にある紙上事例演習」：看護学科2年，後期10時間，必修，16人
- ・成人看護学援助論C（緩和ケア）单元3「紙上事例による看護過程の展開」：看護学科3年，前期6時間，必修
- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，9人
- ・成人看護学実習A（慢性期）：看護学科4年，前期180時間，必修，6人
- ・成人看護学実習B（急性期）：看護学科4年，前期180時間，必修，17人
- ・成人看護学実習A（慢性期）：看護学科3年，前期180時間，必修，8人
- ・成人看護学実習B（急性期）：看護学科3年，後期180時間，必修，8人
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修，11人
- ・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，2人
- ・卒業研究Ⅱ（応用編）：看護学科4年，通年30時間，必修，2人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・実習調整委員
- ・教育推進委員
- ・倫理審査振り分け

研究活動

学術論文

- 1) 小林匡美，平田智子，齋藤信也：周術期に関わる看護師の役割の変遷と現状および展望について. 新見公立大学紀要，43，217 - 225，2022
- 2) 小林匡美，齋藤信也：中小規模病院における手術室看護師の現状と課題. 看護・保健科学研究誌，23-1，59-70，2023. 3

社会的活動

その他

- 1) 交通安全週間街頭査察，西方小学校交差点，2022. 9. 30

助教 安藤亮

教育活動

専門分野

老年看護学

担当科目

- ・老年看護学援助論：看護学科2年，前期45時間，必修
- ・老年看護学実習：看護学科3～4年，前後期90時間，必修
- ・生活支援看護学実習：看護学科3～4年，前後期90時間，必修
- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，6人
- ・卒業研究Ⅰ：看護学科3年，通年45時間，必修，3人
- ・卒業研究Ⅱ：看護学科4年，通年30時間，必修，2人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・広報委員会 委員（看護学科）
- ・風花会 担当（看護学科）

研究活動

学術論文

- 1) 安藤亮，名越恵美，實金栄：終末期維持透析患者の医療・ケア方針の検討に関わる看護実践尺度の開発. 日本看護科学学会誌，42，263-270，2022.

報告書

- 1) 安藤亮：終末期維持血液透析患者の医療・ケア方針の検討に関わる看護実践に関する研究. ウエスコ学術振興財団 令和3年度研究費助成 研究報告書集.

学会発表

- 1) Ryo Ando, Megumi Nagoshi, Sakae Mikane: Study of Factors Relevant to Nursing Practice for Treatment and Care Policies for Terminal-Stage Patients on Maintenance Hemodialysis. 26th East Asia Forum of Nursing Scholars, Tokyo, March 10-11.

外部資金獲得状況

- 1) 公益財団法人ウエスコ学術振興財団 令和4(2022)年度学術研究費助成金

社会的活動

その他

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022. 10. 4.

助産学専攻科・助教 高尾緑

教育活動

専門分野

助産学

担当科目

- ・助産学実習Ⅰ：助産学専攻科，通年 90 時間，必修
- ・助産学実習Ⅱ：助産学専攻科，通年 360 時間，必修
- ・助産学実習Ⅲ：助産学専攻科，通年 45 時間，必修
- ・助産学実習Ⅳ：助産学専攻科，通年 45 時間，必修

研究活動

学術論文

- 1) 高尾緑, 四宮美佐恵: 子宮頸がんワクチン接種と子宮頸がん検診の実態に関する文献レビュー. インターナショナル Nursing Care Research, 21 (3), 43-52, 2022. 2)
- 2) 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子, 杉山萌: 女子大学生の健康に関する意識と妊孕性に関する知識の現状. 新見公立大学紀要 42 (1), 61-66, 2023.

学会発表

- 1) 高尾緑, 四宮美佐恵, 安田陽子, 平田知子: 子宮頸がんワクチン接種と子宮頸がん検診の実態に関する文献検討. 第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.
- 2) 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子: 女子大学生の健康に関する意識と妊孕性に関する知識の現状. 第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.
- 3) 安田陽子, 四宮美佐恵, 高尾緑: 産科実習での学びー新型コロナウイルス感染症の背景下での現状ー. 第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.
- 4) 平田知子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑: 中山間地域の A 市における母親の産前産後のニーズの実態調査. 第 63 回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022. 9. 9-10.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 高尾緑：岡山県不妊専門相談センター・相談業, 2022. 1. 21.
- 2) 高尾緑：交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 4. 13.
- 3) 高尾緑：岡山県不妊専門相談センター・不育症当事者の会, 2022. 4. 23.
- 4) 高尾緑：公開セミナー「第 18 回不妊・不育とこころの講演会」個別相談, 2022. 7. 30.

助教 大島由美

教育活動

専門分野

在宅看護

担当科目

- ・在宅看護実習：看護学科3-4年，通年90時間，必修
- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，9人
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，後期90時間，必修3人
- ・統合実習：看護学科4年，後期90時間，必修8人
- ・チームアプローチ演習：共通科目3年，前期16時間，必修

その他の教育活動

1) 教育補助

- ・看護生涯教育論（授業補助）：看護学科3年生，前期1.5時間，選択
- ・基礎看護学実習Ⅰ：看護学科1年，通年45時間，旭川荘1日，必修

2) 本学における活動

- ・地域共生推進センター 委員
- ・NiU 駅西交流棟PROJECT 担当
- ・看護学科卒業研究委員
- ・看護学科卒業研究倫理審査振り分け 委員

研究活動

学術論文

- 1) 大島由美, 丸山純子, 栗本一美：高齢糖尿病患者のインスリン自己注射の現状についての文献レビュー. Nursing care research21(4), 57-66, 2022.
- 2) 栗本一美, 丸山純子, 大島由美：本学における在宅看護の変遷と地域看護学の再構築－看護基礎教育課程の第5次カリキュラム改正を受けて－. 新見公立大学紀要, 43, 113-119, 2022.

その他

- 1) 大島由美：心に残る私のストーリー19. 日本糖尿病教育・看護学会，大阪国際会議場（ハイブリット開催），2022.9.17-9.18.

社会的活動

役職

- ・CDEJ(日本糖尿病療養指導士) チーム岡山 委員

その他

- 1) 三光ミニデイ. 三光生活改善センター，看護学科3年生6人と参加，健康測定，レクリエーション担当，2022.10.18.
 - 2) 唐松地区サテライト・デイ. 唐松公民館，看護学科3年生7人と参加，健康測定，レクリエーション担当，2022.11.21.
 - 3) 交通安全街頭査察，西方地区内交差点，2022.4.6, 9.27.
 - 4) 医療法人緑隆会太田病院，糖尿病療養指導，2022.4.25, 5.23, 6.27, 7.25, 8.22, 9.26, 10.31, 11.28, 2023.1.23, 2.27, 3.27.
 - 5) 医療法人千手会瀬尾医院，糖尿病教室 2022.4.25, 5.23, 9.26, 11.28, 2023.1.23, 3.27.
- 医療法人千手会瀬尾医院, 事例検討会ファシリテーター
2022.6.27, 8.22, 10.31, 2023.2.27.

助教 難波香

教育活動

専門分野

老年看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，9人
- ・老年看護学実習：看護学科4年，前期90時間，必修
- ・老年看護学実習：看護学科3年，後期90時間，必修
- ・生活支援看護学実習：看護学科4年，前期90時間，必修
- ・生活支援看護学実習：看護学科3年，後期90時間，必修
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修，9人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・学生生活支援センター 委員
- ・看護学科 看護学セミナー 委員
- ・看護学科 実習室管理委員会 委員

研究活動

学会発表

- 1) Namba K, Mikane S, Nagoshi M, Morinaga Y, Kinoshita K.: Factors associated with declaration regarding wishes for end-of-life care in community-dwelling older adults. 25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference. Taiwan(web開催). 21-22 April 2022.
- 2) Nagoshi M, Kawabata M, Namba K, Onoda Y.: Learning needs of nursing in outpatient admission and discharge support department. 25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference. Taiwan(web開催). 21-22 April 2022.
- 3) 實金栄, 難波香, 井上かおり, 名越恵美: 地域在住高齢者の意思表示への関連要因の検討～高齢化率40%以上の山間地域を対象に～. 第27回日本老年看護学会学術集会. Web開催.

2022. 6. 25-7. 25.

社会的活動

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 4. 11, 10. 4.
- 2) 学生とのボランティア活動. 菅生サテライト・デイ. 旧菅生中学校体育館, 2022. 10. 20, 足見サテライト・デイ. 足見ふれあいセンター, 2022. 10. 25, 土橋サテライト・デイ. 土橋交流センター, 2022. 12. 8, 草間サテライト・デイ. 草間公民館別館, 2022. 12. 8.

助教 西村美紗希

教育活動

専門分野

小児看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期20時間，必修，6人
- ・小児看護学実習：看護学科3年，後期90時間，必修
- ・小児看護学実習：看護学科4年，前期90時間，必修
- ・救命救急医療論：看護学科3年，後期14時間，必修
- ・統合実習：看護学科4年，前期45時間，必修，5人
- ・小児看護学援助論(授業補助)：看護学科2年，後期45時間，必修

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・教育推進委員会 委員
- ・看護学科先輩と語る会 委員

研究活動

学術論文

- 1) 上山和子，山本裕子，西村美紗希，小田慈：
小児の地域包括ケアにおける小児看護学実習の
展開と実習構造図. 新見公立大学紀要，43，
177-179，2022.

学会発表

- 1) 西村美紗希，上山和子，栗本一美：医療的ケア
児をもつ家族への看護師が行う退院支援の実
態. 日本小児看護学会 第32回学術集会，福
岡国際会議場(福岡市)，2022. 7. 9-10.

社会的活動

その他

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，
2020. 4. 11， 9. 21.

助教 井上竹美

教育活動

専門分野

基礎看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
- ・健康生活援助技術論：看護学科1年，前期16時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅰ：看護学科1年，後期18時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅱ：看護学科1年，後期20時間，必修
- ・フィジカルアセスメント：看護学科1年，後期18時間，必修
- ・健康障害援助技術論：看護学科2年，後期38時間，必修
- ・看護過程論：看護学科2年，前期20時間，必修
- ・基礎看護学実習Ⅰ：看護学科1年，通年45時間，必修
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期90時間，必修，8人
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修，7人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・看護学科看護学セミナー 委員

社会的活動

その他

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，
2022. 9. 26.
- 2) 土下座祭り参加
2022. 10. 15.

助教 西森千恵

教育活動

専門分野

基礎看護学

担当科目

- ・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
- ・健康生活援助技術論：看護学科1年，前期30時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅰ：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・療養生活援助技術論Ⅱ：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・フィジカルアセスメント：看護学科1年，後期30時間，必修
- ・健康障害援助技術論：看護学科2年，後期60時間，必修
- ・看護過程論：看護学科2年，前期45時間，必修，必修
- ・救命救急医療論：看護学科3年，後期30時間，必修
- ・基礎看護学実習Ⅰ：看護学科1年，通年45時間，必修
- ・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期90時間，必修，6人
- ・統合実習：看護学科4年，前期90時間，必修，5人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・看護学科実習室管理委員会 委員
- ・看護学科基礎ゼミナール担当

社会的活動

その他

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022. 9. 21.
- 2) 福山市医師会看護専門学校准看護科 BLS コースインストラクター，2023. 2. 18.

3) 地域福祉学科

学科長・教授 松本 百合美

教育活動

専門分野

介護福祉, 高齢者介護

担当科目

- ・福祉サービス入門実習: 地域福祉学科 1 年, 集中 30 時間, 必修
- ・介護福祉論: 地域福祉学科 1 年, 前期 10 時間, 必修
- ・介護過程総論: 地域福祉学科 1 年, 後期 30 時間, 12 人
- ・認知症の理解Ⅰ: 地域福祉学科 1 年, 後期 22 時間, 必修
- ・認知症の理解Ⅱ: 地域福祉学科 1・2 年, 後期 30 時間, 13 人
- ・生活支援技術Ⅲ: 地域福祉学科 2 年, 前期 30 時間, 8 人
- ・生活支援技術Ⅳ: 地域福祉学科 2 年, 後期 4 時間, 8 人
- ・生活支援技術Ⅶ: 地域福祉学科 4 年, 前期 30 時間, 12 人
- ・アクティビティ活動援助法Ⅰ: 地域福祉学科 2 年, 後期 2 時間, 13 人
- ・アクティビティ活動援助法Ⅱ: 地域福祉学科 3 年, 後期 20 時間, 12 人
- ・福祉用具と住環境: 地域福祉学科 4 年, 後期 10 時間, 5 人
- ・疾患障害がある人への生活支援・連携Ⅰ: 地域福祉学科 3 年, 後期 2 時間,
- ・介護総合演習Ⅰ: 地域福祉学科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 9 人
- ・介護福祉実習Ⅰ: 地域福祉学科 1 年, 後期 84 時間, 選択 9 人
- ・介護過程演習Ⅰ: 地域福祉学科 2 年, 前期 30 時間, 選択 13 人
- ・介護総合演習Ⅱ: 地域福祉学科 2 年, 前期 30 時間, 選択, 13 人
- ・介護福祉実習Ⅱ: 地域福祉学科 2 年, 前期 164 時間, 選択 13 人
- ・介護過程演習Ⅱ: 地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択 13 人

- ・基礎ゼミナール C: 地域福祉学科 1 年, 通年 30 時間, 必修
- ・専門ゼミナール: 地域福祉学科 3 年, 通年 30 時間, 必修 (2 人)
- ・地域福祉研究: 地域福祉学科 4 年, 必修 (2 人)

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域福祉学科 学科長
- ・評価・将来構想委員会 委員
- ・ハラスメント等防止委員会 委員
- ・ハラスメント等防止委員会 相談員
- ・介護福祉士国家試験対策, 16 時間
- ・岡山県共生高等学校高大連携事業「介護過程の基本的理解」6 時間, 2022. 9. 1, 10. 6, 10. 13.

2) 高校訪問

- ・岡山県玉野高校 校内ガイダンス, 2023. 3. 3.
- ・広島県内の高校 (7 校訪問), 2022. 7. 13, 7. 15, 12. 26.

研究活動

外部資金獲得状況

- 1) 令和 2 年度～令和 4 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 C) 研究課題「中山間地域での長期就労定着に向けた外国人介護労働者支援プログラムの検討」課題番号 20K12349, 研究分担者

社会的活動

講演・研修会

- 1) 松本百合美: 事故防止の介護技術. 特別養護老人ホームケアポート生き生き館神郷職員研修 (新見市), 2022. 9. 27.
- 2) 三上ゆみ, 岡京子, 松本百合美: 自立に向けた介護実践の指導領域・応用的生活支援の展開と指導. 認定介護福祉士研修研修, 岡山県介護福祉士会, きらめきプラザ (岡山市), 2022. 12. 26.

役職

- 1) 介護福祉士養成大学連絡協議会 理事
同調査研究委員会 委員
- 2) 日本介護福祉学会 幹事
- 3) 岡山県介護福祉研究会 会長

その他

- 1) 交通安全週間街頭査察, 西方小学校前交差点,
2022. 4. 12, 9. 22.
- 2) シミュレーショントレーニング in 新見: 新見
公立大学, 2022. 7. 9.

教授 岡 京子

教育活動

専門分野

介護福祉, 高齢者介護

担当科目

- ・障がいの理解Ⅰ:地域福祉学科1年,後期32時間,必修
- ・認知症のある人への生活支援・連携:地域福祉学科3年,前期16時間,選択,11人
- ・疾患・障害がある人への生活支援・連携Ⅰ:地域福祉学科3年,前期16時間,選択,10人
- ・基礎ゼミナールC:地域福祉学科1年,通年30時間,必修
- ・入門ゼミナール:地域福祉学科2年,通年8時間,必修
- ・地域福祉研究:地域福祉学科4年,必修,担当5人
- ・健康科学Ⅳ:学科共通科目1年,後期2時間,選択,109人
- ・チームアプローチ演習:学科共通科目3年,前期16時間,必修
- ・福祉サービス入門実習:地域福祉学科1年,集中30時間,必修
- ・介護予防運動指導Ⅰ:地域福祉学科4年,前期30時間,選択11人
- ・介護予防運動指導Ⅱ:地域福祉学科4年,前期15時間,選択11人
- ・介護総合演習Ⅳ:地域福祉学科4年,前期30時間,選択12人
- ・介護福祉実習Ⅳ:地域福祉学科4年,前期38時間,選択12人
- ・介護総合演習Ⅲ:地域福祉学科3年,後期30時間,選択,13人
- ・介護福祉実習Ⅲ:地域福祉学科3年,後期164時間,選択,13人

その他の教育活動

2) 本学における活動

- ・保健管理センター 委員
- ・茶道部 顧問
- ・1期生チューターアドバイザー
- ・岡山県共生高等学校高大連携事業「介護の基本」4時間,2022.5.31.
- ・同「障がいの基礎的理解」1時間,2022.6.22.

・介護福祉士国家試験対策 16時間

2) 高校訪問

- ・香川県内の高校(4校訪問),2022.7.1.(対面)
- ・高校教員説明会(岡山会場),2022.6.28.
- ・山陽新聞社進学ガイダンス(岡山),2022.10.3

研究活動

著書

- 1) 岡京子:第7章障害の基礎的理解,第2節障害による生活障害、心理・行動の特徴⑥腎臓機能障害,⑧小腸機能障害,⑩肝臓機能障害,第8章障害の医学的理解と支援の実践,第1節医学的側面からみた障害の理解 6 腎臓機能障害,8 小腸機能障害,10肝臓機能障害. 太田貞司,上原千寿子,白井孝子(編),介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 ころとからだのしくみ(第3版). 中央法規出版,415,417,419,456,459,461,2023.
- 2) 岡京子:第9章生活支援技術の展開,第3節終末期の介護. 川井太加子,秋山昌江,竹田幸司(編),社会福祉学習双書2023第15巻介護概論. 全国社会福祉協議会,244-255,2023.
- 3) 岡京子:第8章障害の理解,第2節障害の医学的側面,生活障害などの基礎知識,1身体障害④内部障害(腎臓機能障害・肝臓機能障害). 太田貞司,上原千寿子,白井孝子(編),介護職員初任者研修テキスト第1巻介護のしごとの基礎(第4版). 中央法規出版,416-417,424-425,2023.

学術論文

- 1) 辻真美,三好弥生,岡京子,荒川泰士,下元佳子:ホームヘルパーが体験した最もつらく深刻なハラスメント—質問紙調査からの分析—. 高知県立大学紀要社会福祉学部編,第72巻,59-71,2023.
- 2) 上山和子,岡京子,加藤由美,山本智恵子:「チームアプローチ演習」における教育方法の評価—課題レポートの分析より—. 新見公立大学紀要,第43巻,89-96,2023.

学会発表

- 1) 辻真美,三好弥生,岡京子,荒川泰士:ホームヘルパーが利用者から受けるハラスメントの実態報告. 第30回日本介護福祉学会大会(白梅大学/WEB開催),2022.10.9.

外部資金獲得状況

- 1) 令和2年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）研究課題「中山間地域での長期就労定着に向けた外国人介護労働者支援プログラムの検討」課題番号20K12349, 研究分担者

| | |-------| | 社会的活動 | |-------|

講演・研修会

- 1) 岡京子：総合学習発表会講師. 令和3年度岡山県介護福祉士会ファーストステップ研修, きらめきプラザ（岡山市）, 2022. 6. 3.
- 2) 岡京子：介護過程の理論と指導方法. 岡山県介護福祉士会介護福祉士実習指導者講習会, きらめきプラザ（岡山市）, 2022. 8. 30.
- 3) 岡京子：認知症高齢者ケアのあり方について.
令和4年度岡山県認知症対応型サービス事業開設者研修, きらめきプラザ（岡山市）, 2022. 9. 4.
- 4) 岡京子：2022年度岡山県介護福祉士会第14回介護実践研究発表会助言者. 岡山県介護福祉士会, きらめきプラザ（岡山市）, 2022. 12. 16.
- 5) 三上ゆみ, 岡京子, 松本百合美, 松田実樹：自立に向けた介護実践の指導領域・応用的生活支援の展開と指導. 認定介護福祉士研修研修, 岡山県介護福祉士会, きらめきプラザ（岡山市）, 2022. 12. 26, 2023. 1. 24.

役職

- 1) 岡山県福祉人材センター運営委員会 委員
- 2) 若年性認知症自立支援ネットワーク会議 委員
（岡山県若年性認知症コーディネーター支援事業）
- 3) 岡山県介護福祉士会倫理委員会委員

その他

- 1) シミュレーショントレーニング in にいみ, 新見公立大学, 2022. 7. 9.
- 2) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 4. 14, 10. 3

教授 山内 圭

教育活動

専門分野

英語, アメリカ文学(John Steinbeck, Saul Bellow 他), 国際姉妹都市交流, 時事英語

担当科目

- ・英語Ⅰ: 地域福祉学科1年, 後期30時間, 必修
- ・英語Ⅰ: 看護学科1年, 後期30時間, 必修
- ・英語Ⅱ: 健康保育学科・地域福祉学科2年, 前期30時間, 選択, 3人
- ・英語Ⅱ: 看護学科2年, 前期30時間, 必修
- ・英語論文講読: 学科共通3年, 前期30時間, 選択, 3人
- ・基礎ゼミナールC(御殿町グループ主担当): 地域福祉学科1年, 通年30時間, 必修
- ・入門ゼミナール: 地域福祉学科2年, 必修
- ・専門ゼミナール: 地域福祉学科3年, 必修, ゼミ6人
- ・地域福祉研究: 地域福祉学科4年, 必修, ゼミ4人
- ・国際コミュニケーション: 全学科1-4年, 選択, 8人単位修得
- ・健康科学英語: 全学科2年, 前期15時間, 選択, 9人
- ・地域文化実習: 地域福祉学科2年, 通年60時間, 必修, 科目コーディネータ(備中神楽)

外部資金獲得状況

1) 令和3年度～令和7年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)

研究課題「Age Friendly Cities 指標を用いた介護予防政策評価と社会実装研究」, 課題番号21426520, 研究代表者: 鄭丞媛, 研究分担者: 近藤克則、尾島俊之、井上祐介、宮園康弘、井手

一茂、山本浩史、山内 圭、岸本由梨枝

2) 令和4年度～令和8年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)

研究課題「DV・児童虐待併存ケースの子ども家庭福祉等実践モデルと専門職育成に関する研究」, 課題番号22H00935, 研究代表者: 増井香名子, 研究分担者: 岩本華子、山内 圭

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域福祉学科4年生チューターアドバイザー
- ・地域福祉学科チューター, 4年生4人, 3年生6人, 2年生4人, 1年生4人
- ・他大学大学院受験のための英語指導
- ・実用英語技能検定受験者のための英語面接練習
- ・TOEIC 受験者のための英語指導
- ・写真部顧問
- ・写真部写真展指導および出品, 鳴滝祭(2022. 5. 21-22.)
- ・硬式テニス部顧問
- ・英会話サークル顧問
- ・モルッククラブ(NiUMol)顧問
- ・広報委員
- ・学報「まんさく」部会長
- ・保健管理センター委員
- ・教員対象英語論文講読勉強会コーディネータ, 2022. 4. 20, 5. 25, 6. 15, 7. 20, 8. 17, 9. 21, 10. 19, 11. 16, 12. 21, 2023. 1. 18, 2. 15, 3. 15.
- ・オープンキャンパス 2022. 7. 24(地域福祉学科全体統括), 8. 21(受け付け).
- ・学生健康診断誘導, 4. 12
- ・学生保健委員会出席, 5. 27, 10. 21.
- ・駅西交流棟オープニングセレモニー備中神楽披露引率, 2022. 4. 17.
- ・船川八幡宮湯立ての神事学生ボランティア引率・榊奉納, 2022. 10. 14.
- ・船川八幡宮秋季例大祭(土下座祭り)地域福祉学科2年生引率, 2022. 10. 15.
- ・新見ライオンズクラブ認証65周年記念大会備中神楽披露引率, 2022. 10. 23.
- ・大学入試共通テスト実施補助, 岡山県立大学, 2023. 1. 15.

2) 高校訪問等

(1) 進学ガイダンス出席

- ・岡山県立倉敷中央高等学校(対面), 2022. 6. 6.
- ・岡山県共生高等学校(対面), 2022. 6. 20.
- ・山口県立柳井高等学校(対面), 2022. 7. 2.
- ・今治地域地場産業振興センター(対面), 2022. 12. 12.
- ・島根県立大東高等学校(対面), 2023. 2. 7.

(2) 高校訪問

- ・兵庫県内高等学校訪問(対面), 2022. 7. 11, 7. 12, 2023. 1. 10.
- (3) 高校教員対象入試説明会(学内会場受け付け), 2022. 6. 28.

3) その他

- ・就実大学 English Reading I, English Reading II 講義
- ・就実短期大学 英語 I, 英語 II 講義
- ・福山医療専門学校 英会話講義

研究活動

論文

- 1) 山内 圭: ジョン・スタインベックの *The Grapes of Wrath* の翻訳者としての新居格, 新見公立大学紀要, 43, 97-104.

学会発表

- 1) Kiyoshi YAMAUCHI: Between John Steinbeck and *Between Pacific Tides*. Monterey History Slam, online. 2022. 5. 8.
- 2) 山内 圭: ニューヨークのユダヤ人—アルフレッド・ケイジンの描くニューヨーケー—. 欧米言語文化学会関西支部第 34 回例会, オンライン開催, 2022. 9. 17.
- 3) 増井香名子, 薬師寺順子, 小川衛子, 山内 圭, 他 6 名: DV ケースにおける子どもの安全と福祉につながる家族力動のアセスメントの再考—加害親の支配理解に焦点づけて—(公開シンポジウム). 日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会, 福岡国際会議場. 2022. 12. 10.
- 4) 岡本正子, 増井香名子, 岩本華子, 山内 圭, 他 4 名: 米国マニュアルからみる DV ケースの児童福祉実践への示唆①—対応の変遷及び親と子どもの面接に関する検討—(ポスター発表). 日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会, 福岡国際会議場. 2022. 12. 10-11.
- 5) 増井香名子, 浅野恭子, 薬師寺順子, 岡本正子, 山内 圭, 他 3 名: 米国マニュアルからみる DV ケースの児童福祉実践への示唆②—ワーカールの安全に焦点付けて—(ポスター発表). 日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会, 福岡国際会議場. 2022. 12. 10-11.

- 6) 山内 圭: New York City と Alfred Kazin, 第 48 回備北人文科学学会学術集会, 新見公立大学, 2023. 1. 30.
- 7) Kiyoshi YAMAUCHI: Itaru Nii, the First Translator of *The Grapes of Wrath* into Japanese, International John Steinbeck Conference 2023, online. 2023. 3. 22.

その他

- 1) 山内 圭: 書評 加藤好文著『スタインベックのまなざし—我がアメリカ文学・文化研究の原点—』, 中・四国アメリカ文学研究 58, 76-78, 2022.
- 2) 山内 圭: 書評 酒井康宏編著『ジョン・スタインベックの文学「ケルトの薄明」の魔法』The John Steinbeck Society of Japan Newsletter(日本ジョン・スタインベック協会会報)69, 3-7, 2022.
- 3) 山内 圭: 会長挨拶, 日本ジョン・スタインベック協会 2022 年度第 1 回オンライン学会, 2022. 9. 4.
- 4) 山内 圭: 日本ジョン・スタインベック協会特別講演会, 司会・講師紹介, 専修大学神田キャンパス, 2022. 9. 18.
- 5) 山内 圭: 会長挨拶, 日本ジョン・スタインベック協会 2022 年度第 2 回オンライン学会, 2023. 2. 26.
- 6) 山内 圭: 新語フォーラム報告, 日本メディア英語学会第 156 回新語・語法研究分科会, オンライン開催. 2022. 4. 9.
- 7) 山内 圭: 新語フォーラム報告, 日本メディア英語学会第 159 回新語・語法研究分科会, オンライン開催. 2023. 1. 14.
- 8) 山内 圭: 日本メディア英語学会夏季セミナー「英和辞典の作成における新語の収集、訳語の執筆と編集」内シンポジウム「辞書作成現場から見た英和辞典の訳語」司会進行, オンライン, 2022. 8. 27.
- 9) 山内 圭: 日本メディア英語学会年次大会研究発表司会, オンライン開催. 2022. 10. 29.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 山内 圭: 英語の絵本を読む, 2022 年度にいみ子育てカレッジ 子育て支援者に対する研

- 修, 新見公立大学, 2022. 12. 2.
- 2) 山内 圭: 講評, 令和4年度新見市中学校
英語学習表現発表会, 正田公民館,
2022. 12. 24.
 - 3) 山内 圭, 新見市 ALT: 新見市国際交流協会
外国語講座(英語)講師, 新見市学術交流セン
ター, 2022. 10. 4, 10. 11, 10. 18, 10. 25,
11. 1, 11. 8, 11. 14, 11. 22, 11. 29, 12. 13.
 - 4) 山内 圭: 新聞記者と英語教員と一緒に英字
新聞を読もう講座(新見英語サロン), 新見公
立大学, 2022. 4. 18, 5. 16, 6. 7, 6. 27, 7. 25,
8. 29, 9. 26, 10. 17, 11. 7, 11. 28, 12. 19,
2023. 1. 16, 2. 6, 2. 27, 3. 20.
 - 5) 交通安全週間街頭査察, 大学下西方交差点,
2022. 4. 15, 9. 30.
 - 6) Fav-RIC 研究会と Safe & Together の David
Mandel 氏とのオンライン面談通訳,
2022. 10. 1, 2023. 1. 29, 対面通訳(メルボル
ン), 2023. 3. 11.
 - 7) 山内 圭: 翻訳, Safe & Together Institute
オンラインアカデミーE コース「Safe &
Together: イントロダクション[モデル入門]
日本語版, 2023. 2.
 - 8) 新見市国際交流協会「にこみ国際交流まちあ
るき」通訳, 新見市御殿町エリア・城山公園,
2022. 11. 12.
 - 9) New Paltz Internatinal Association 会長
David Caccamo 氏新見訪問時通訳, 2022.
10. 30-11. 1.

役職

- 1) 日本ジョン・スタインバック協会会長, 理事,
国際広報担当, 機関誌編集委員
- 2) 日本メディア英語学会監事(9月まで), 理事(広
報委員長・選挙管理委員長・全国分科会担当)(10
月から)
- 3) 日本メディア英語学会学会誌 *Media, English
and Communication* 編集委員・査読委員
- 4) 新見市国際交流協会理事, アメリカ班班長, 総
務副委員長, 「国際交流だより」編集委員
- 5) 備北人文科学学会幹事
- 6) International Society of Steinbeck Scholars,
Vice President, Regional Director in Japan
- 7) 新見市立思誠小学校運営協議会委員

教授 山本浩史

教育活動

専門分野

社会福祉学, 文化科学, 教育学

担当科目

- ・にこみの保健医療福祉: 共通科目, 後期 15 時間, 必修, 193 人
- ・地域防災論: 共通科目, 夏期集中, 30 時間, 必修(地域福祉学科、健康保育学科), 選択(看護学科), 171 人
- ・地域防災演習: 共通科目, 夏期集中, 15 時間, 必修(地域福祉学科、健康保育学科), 選択(看護学科), 171 人
- ・社会福祉の原理と政策Ⅰ: 地域福祉学科 1 年生(2 年生再履修者 2 名を含む), 前期 30 時間, 必修
- ・ソーシャルワーク演習Ⅱ: 地域福祉学科 2 年生(3 年生再履修者 2 名を含む), 前期 30 時間, 選択, 59 人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅳ: 地域福祉学科 3 年生(4 年生履修者 3 人を含む), 前期 30 時間, 選択, 49 人(うち山本クラス 9 人)
- ・地方行政インターンシップ: 地域福祉学科 3 年生, 集中 30 時間, 選択, 16 人
- ・福祉教育とボランティアコーディネーション論: 地域福祉学科 2 年生, 前期 15 時間, 選択, 20 人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ: 地域福祉学科 3 年生(4 年生履修者 3 名を含む), 前期 30 時間, 選択, 48 人(うち山本クラス 9 人)
- ・災害ソーシャルワーク: 地域福祉学科 3 年生, 後期 15 時間, 選択, 29 人
- ・コミュニティ・ソーシャルワーク実習: 地域福祉学科 3 年生(4 年生履修者 3 人を含む), 集中 180 時間, 選択, 48 人(うち山本クラス 9 人)
- ・高齢者福祉: 地域福祉学科 1 年生, 後期 30 時間, 選択, 54 人(高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ: 3 年生再履修者 1 人を含む)
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ: 地域福祉学科 2 年生(3 年生 2 人を含む), 後期 30 時間, 選択, 58 人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ: 地域福祉学科 3 年生(4 年生履修者 3 人を含む), 後期 30 時間, 選択, 48 人(うち山本クラス 9 人)
- ・ソーシャルワーク演習Ⅴ: 地域福祉学科 3 年生(4 年生履修者 3 人を含む), 後期 30 時間, 選択,

48 人(うち山本クラス 10 人)

- ・共生社会実践演習Ⅰ: 地域福祉学科 2 年生, 通年 60 時間, 選択, 27 人
- ・共生社会実践演習Ⅱ: 地域福祉学科 3 年生, 通年 60 時間, 選択, 16 人
- ・共生社会実践演習Ⅲ: 地域福祉学科 4 年生, 通年 60 時間, 選択, 8 人
- ・基礎ゼミナール C: 地域福祉学科 1 年, 通年 30 時間(うち「アサーショントレーニング」4 コマ), 必修, 53 人
- ・専門ゼミナール: 地域福祉学科 3 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
- ・地域福祉研究: 地域福祉学科 4 年, 必修, 4 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・教務委員会委員

2) 高校訪問

- ・岡山県内の高校(3 校訪問) 2022. 7. 5. (対面)
- ・岡山県内の高校(2 校訪問) 2023. 1. 11. (対面)
- ・新見高校(南校地) ガイダンス(模擬講義), 2022. 9. 16. (WEB)

その他

- ・倉敷翠松高等学校看護専攻科「社会福祉」(30 時間)

研究活動

学術論文

- 1) 山本浩史: 岡山県済世顧問制度とエルバーフェルト制度についてー笠井信一によるエルバーフェルト制度模倣の否定ー, 日本社会福祉学会中国・四国ブロック『中国・四国社会福祉研究』(10), p35-49.
- 2) 山本浩史: 戦時下における岡山県の部落会等と済世顧問および方面委員との関係性についてー政策からの考察ー(研究ノート), 日本福祉文化学会『福祉文化研究』(32), p77-88.
- 3) 山本浩史: 済世顧問のモデルとされた藤井静一の信念に関する考察, 大阪公立大学人間社会システム科学研究科博士後期課程社会福祉学専攻『社会問題研究』(72), p59-71.
- 4) 山本浩史: 「岡山県済世顧問制度の通史的検討ー

現代地域福祉の視座を求めてー」大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科博士後期課

程社会福祉学専攻, 博士論文(学位: 博士(社会福祉学)), A4 版全 180 頁.

学会発表

- 1) 山本浩史: 共生社会実践演習での取り組み - コミュニティ・ベースド・ラーニングによる地域協働学習 -, 開催校企画シンポジウム「社会福祉教育は地域づくりに向けた支援にどう向き合うのか〜地域の様々なアクターとの共創による社会福祉教育実践」(招聘) 日本社会福祉教育学会第 18 回大会, オンライン, 2022.8. 20.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 山本浩史: 認定介護福祉士養成研修「心理・社会的支援の領域」(地域に対するプログラム企画) 講師, 一般社団法人岡山県介護福祉士会, 研修会. きらめきプラザ (岡山市), 2022. 7. 8, 7. 22.
- 2) 山本浩史: ケアマネジャーに求められる支援者としての視点, 令和 4 年度第 1 回赤磐市介護支援専門員連絡会研修会(主任介護支援専門員法定外研修), 赤磐市地域包括支援センター, オンライン, 2022. 8. 26.
- 3) 山本浩史: 新見市神郷地区民生・児童委員研修会, 新見公立大学交流ホール (新見市) 2022. 9. 30.
- 4) 山本浩史: 赤磐市社会福祉協議会令和 4 年度地区社協交流会における講話. 赤磐市社会福祉協議会, 赤磐市笹岡公民館 (赤磐市), 2023. 1. 13.

役職

- 1) 日本社会福祉学会理事 (地域ブロック担当)
- 2) 日本社会福祉学会広報委員副委員長
- 3) 日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック委員長
- 4) 岡山県共同募金会配分委員副委員長
- 5) 岡山県社会福祉協議会経営企画委員会委員長
- 6) 岡山県運営適正化委員会苦情解決合議体副委員長
- 7) 岡山県社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員
- 8) 岡山県福祉サービス第三評価推進委員会副会長

- 9) 岡山県社会福祉士会災害支援委員
- 10) 倉敷市介護認定審査会委員
- 11) 赤磐市生活困窮者自立支援ネットワーク連絡会議座長
- 12) 赤磐市社会福祉協議会第 4 次地域福祉活動計画策定委員会委員長
- 13) 総社市ボランティアセンター運営委員会委員長
- 14) 特定非営利活動法人岡山 NPO センター (担当部署, 参画推進センター) 顧問
- 15) 新見市まちづくり審議会委員

その他

- 1) 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会, 『市町村社協職員向けコミュニティソーシャルワーク研修【試行版】アドバイザーヒアリング・情報交換会, きらめきプラザ (岡山市) 2022. 9. 1.
- 2) 山本浩史: 哲西の「小さな拠点」のつくり方とつかい方〜小さな拠点の都市計画的整理を含めて〜シンポジウム, 日本都市計画学会中国四国支部, コーディネーター, きらめきプラザ哲西 (新見市) 2023. 2. 18
- 3) 山本浩史: 地域福祉の視点から見た集落づくり, 哲西の「小さな拠点」のつくり方とつかい方〜小さな拠点の都市計画的整理を含めて〜シンポジウム, 日本都市計画学会中国四国支部, パネリスト (招聘), きらめきプラザ哲西 (新見市)

教授 和田美智代

教育活動

専門分野

民法、社会保障法、家族政策

担当科目

- ・基礎ゼミナール：地域福祉学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 53 人
- ・社会保障Ⅰ：地域福祉学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 54 人
- ・社会保障Ⅱ：地域福祉学科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 53 人
- ・入門ゼミ：地域福祉学科 2 年, 通年 30 時間, 必修
- ・民法概論Ⅰ：地域福祉学科 2 年, 前期 30 時間, 選択, 37 人
- ・民法概論Ⅱ：地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 17 人
- ・社会保険労務概論Ⅰ：地域福祉学科 2 年, 前期 16 時間, 選択, 45 人
- ・社会保険労務概論Ⅱ：地域福祉学科 2 年, 後期 16 時間, 選択, 43 人
- ・行政書士概論Ⅰ：地域福祉学科 2 年, 前期 30 時間, 選択, 44 人
- ・行政書士概論Ⅱ：地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 38 人
- ・専門ゼミナール：地域福祉学科 3 年, 通年 30 時間, 必修, 5 人
- ・権利擁護と成年後見制度：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 50 人
- ・医療福祉関係法規：地域福祉学科 3 年, 後期 15 時間, 選択, 22 人
- ・地域福祉研究：地域福祉学科 4 年, 通年 30 時間, 必修, 5 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域福祉学科 3 年生 チューターアドバイザー
- ・FD・SD 委員会 委員
- ・教育推進委員会 委員
- ・岡山県共生高等学校高大連携授業 「介護保険」 4 時間, 2022.6.14
- ・シーズンスポーツサークル 顧問

2) 高校訪問

- ・岡山県内の高校(2 校訪問), 2022.6.24.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 和田美智代: 家族の機能が問われている, 新見市 自立支援協議会生活部会研修会, 新見市役所南庁舎 3 階, 2023.3.10.

役職

- 1) 日本政治法律学会 理事 企画委員
- 2) 日本法政学会 理事 編集副委員長
- 3) 関西法政治研究会 理事

その他

- 1) 新見市情報公開制度運営審議会 委員
- 2) 新見市情報公開不服審査会 委員
- 3) 新見市個人情報保護制度運営審議会 委員
- 4) 新見市個人情報保護不服審査会 委員
- 5) 新見市行政不服審査会 委員
- 6) 大阪府 消費のサポーター
- 7) 大阪市 暮らしのナビゲーター
- 8) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022.4.11, 9.29.

教授 高杉 公人

教育活動

専門分野

社会福祉学（地域福祉、国際福祉、実習教育）

担当科目

- ・地域福祉と包括的支援体制Ⅰ，後期 30 時間，必修
- ・地域福祉の理論と方法Ⅱ，前期 30 時間，必修
- ・ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ，後期 30 時間，必修
- ・相談援助の理論と方法Ⅳ，前期 30 時間，必修
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ，後期 6 時間，選択
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ，前期 12 時間，選択
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ，後期 20 時間，選択
- ・ソーシャルワーク演習Ⅳ，前期 20 時間，選択
- ・ソーシャルワーク演習Ⅴ，後期 27 時間，選択
- ・SDGs と社会福祉，前期 12 時間
- ・ソーシャルキャピタルとコミュニティデザイン，後期 6 時間，選択
- ・基礎ゼミナール：地域福祉学科 1 年，前期 4 時間，必修
- ・専門ゼミナール：地域福祉学科 3 年，通年 30 時間，必修，6 人
- ・地域福祉研究：地域福祉学科 4 年，必修，4 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域福祉学科入試 副委員長
- ・広報委員会 委員、修学・キャリア支援委員

2) 高校訪問

- ・愛媛県内の高校(4 校訪問)，2022.7.14，2023.1.13.

3) その他

- ・西エリア検討部会 学科代表

研究活動

学術論文

- 1) 高杉公人：外国人介護通訳者の主体性と文化媒介力に関する研究—多文化共生を促進させる福祉教育・ボランティア学習の発展を目指して—，日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要，Vol.39，p. 82-96，2022.11.

- 2) 高杉公人：社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を促進する資源マネジメントに関する研究，中国・四国社会福祉研究，第 10 号，p. 51-65，2023.2.

学会発表

- 1) 高杉公人：社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を促進する資源マネジメントに関する研究，2022 年度日本地域福祉学会第 36 回大会，オンライン，2022.6.12.
- 2) 高杉公人：外国人介護通訳者の主体性と文化媒介力に関する研究—多文化共生を促進させる福祉教育・ボランティア学習の発展を目指して—，日本福祉教育・ボランティア学習学会第 28 回こうべ大会，2022.11.27

外部資金獲得状況

- 1) 令和 5 年～令和 7 年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）研究課題「社会福祉施設の公益的な取組を促進する地域密着度と資源マネジメント度に関する研究（採択済），研究代表者：高杉公人.
- 2) 令和 4 年度地域に飛び出せ大学生！おokayま元気！集落研究・交流事業補助金.

その他

- 1) 学長研究費：個人研究 高杉公人「社会福祉法人の地域における公益的な取組と地域密着度及び資源マネジメント度の関連性に関する研究」
- 2) 学長研究費：共同研究 小松尾京子，高杉公人，柳迫三寛，岸本由梨枝「社会福祉士実習における実習生のモチベーションの変化及び影響を与える要因」

社会的活動

講演・研修会

- 1) 高杉公人：日本社会福祉教育学会第 18 回岡山大会（実行委員長）主催，オンライン，2022.8.20，21.
- 2) 高杉公人：実習プログラミング論，ソーシャルワーク実習社会福祉士実習指導者講習会講師養成研修，日本社会福祉士会主催，2022.7.23.

役職

- 1) 日本社会福祉教育学会 理事
- 2) 日本福祉教育・ボランティア学習学会特任理事
- 3) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟中国四国ブロック 副委員

准教授 三上ゆみ

教育活動

専門分野

介護福祉, 高齢者介護

担当科目

- ・福祉サービス入門実習：地域福祉学科1年生, 夏季集中, 30時間, 必修, 57人
- ・介護福祉論：地域福祉学科1年生, 前期, 20時間, 必修, 53人
- ・生活支援技術Ⅵ：地域福祉学科2年, 後期, 30時間, 選択, 8人
- ・介護の基本Ⅴ：地域福祉学科3年生, 後期, 30時間, 選択, 13人
- ・医療的ケアⅠ：地域福祉学科1年生, 後期, 30時間, 選択, 13人
- ・医療的ケアⅠ：地域福祉学科4年生, 前期, 30時間, 選択, 12人
- ・医療的ケアⅡ：地域福祉学科4年生, 前期, 30時間, 選択, 12人
- ・医療的ケアⅢ：地域福祉学科4年生, 後期, 30時間, 選択, 12人
- ・医療的ケアⅣ：地域福祉学科4年生, 後期, 30時間, 選択, 12人
- ・疾患・障害がある人への生活支援・連携Ⅰ：地域福祉学科3年生, 後期, 14時間, 選択, 10人
- ・認知症がある人への生活支援・連携、地域福祉学科3年生, 後期, 14時間, 選択, 11人
- ・介護総合演習Ⅲ：地域福祉学科3年生, 後期, 14時間, 選択, 12人
- ・介護福祉実習Ⅲ：地域福祉学科3年生, 後期, 164時間, 選択, 12人
- ・介護総合演習Ⅳ：地域福祉学科4年生, 前期, 14時間, 選択, 12人
- ・介護福祉実習Ⅳ：地域福祉学科3年生, 前期, 38時間, 選択, 12人
- ・介護福祉事例研究(在宅)：地域福祉学科4年生, 後期, 30時間, 選択, 12人
- ・基礎ゼミナールC：地域福祉学科1年, 通年30時間, 必修, 57人
- ・入門ゼミナール：地域福祉学科2年, 通年16時間, 必修, 54人
- ・専門ゼミナール：地域福祉学科3年, 通年30時間, 必修, 5人

- ・地域福祉研究：地域福祉学科4年, 通年30時間, 必修, 4人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域福祉学科3年生チューターアドバイザー
- ・広報部長
- ・大学院改組部会委員
- ・大学院運営委員会委員
- ・KTプロジェクトメンバー
- ・介護実習調整 統括
- ・町おこしサークル顧問
- ・グラレコサークル顧問
- ・岡山県共生高等学校 高大連携授業
「介護の基本・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護職の安全」, 4時間, 2022.9.2.
- ・岡山県共生高等学校 高大連携授業
「こころとからだのしくみと生活支援技術」, 7時間, 2022.10.4-5.
- ・介護福祉士国家試験学習支援54時間

2) 高校訪問

- ・岡山県立倉敷高等学校ガイダンス, 2022.5.21.
- ・三田市まちづくり協働センター進学ガイダンス, 2022.8.31.
- ・岡山県共生高等学校学校ガイダンス 2023.3.13.
- ・島根県内の高校(3校訪問), 2022.6.20.(対面)
- ・島根県内の高校(3校訪問), 2022.12.20.(対面)

研究活動

学術論文

- 1) 三上ゆみ, 栗本一美, 山野井尚美：福祉教育におけるヤングケアラーの新聞記事を用いた教材の有効性に関する検討, 日本看護福祉学会誌, 28(2), 181-187, 2023.
- 2) 丸山純子・溝尾妙子・吉田美穂・山本智恵子・三上ゆみ：中山間地域における医療・介護施設の管理者が捉える急変対応シミュレーション教育の効果の検証, 新見公立大学紀要, 43, 145-151, 2023.
- 3) 山野井尚美, 郷木義子, 栗本一美, 三上ゆみ, : ヤングケアラーに着目した教育、福祉、看護分野の同一教材の有効性に関する検討, 新見公立大学紀要, 43, 203-207, 2023.

学会発表

- 1) 三上 ゆみ, 山野井尚美, 栗本 一美：福祉教育

におけるヤングケアラーの教材の有効性に関する検討～テキストマイニングを用いて～, 第35回日本看護福祉学会学術大会, 神奈川県 (Web開催), 2022. 9. 4.

- 2) 郷木義子, 三上ゆみ, 栗本一美, 山野井尚美: 学校保健教育における教材の有用性に関する検討ーヤングケアラーに注目してー, 第68回日本学校保健学会学術集会, 和歌山 (Web開催), 2022. 11. 5-7.

外部資金獲得状況

- 1) 令和2年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究C) 研究課題「中山間地域での長期就労定着に向けた外国人介護労働者支援プログラムの検討」課題番号 20K12349, 研究代表者: 三上ゆみ

その他

- 1) 2022年度学長配分研究費, 研究課題「ヤングケアラー支援のための教育・福祉・看護専門職の連携構築に向けて」共同研究者: 三上ゆみ

社会的活動

講演・研修会

- 1) 三上ゆみ: 感染と予防, ケアポート生き活き館神郷, 2022. 5. 20
- 2) 三上ゆみ: 認定介護福祉士研修 応用的生活支援の展開と指導, きらめきプラザ, 2022. 11. 28, 2022. 11. 26, 2023. 1. 30.
- 3) 三上ゆみ: 介護福祉士養成施設留学生の就労支援への考察, ケアネット研修会: 新見公立大学, 2023. 3. 4.

役職

- 1) 新見市教育委員会委員
- 2) スマイルワーカーズにいみ (新見市社会福祉士会) 事務局
- 3) 市民の健康維持・増進・介護・介護予防事業WG委員
- 4) 社会福祉法人恵愛会評議員
- 5) 日本在宅ケア学会誌査読委員

その他

- 1) 新見駅西サテライト第3回トライアルイベント企画・運営, 新見市, 2022. 5. 1.
- 2) シミュレーショントレーニング in 新見: 新見

公立大学, 2022. 7. 9

- 3) 交通安全週間街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 4. 8, 2022. 9. 22.
- 4) リアルボイス第1回学生福祉国会in岡山: 学生発表引率, 2022. 10. 30.
- 5) 市民と学生による音楽の集い企画・運営: 新見公立大学, 2023. 2. 11.
- 6) 新見市社会福祉協議会なんでも相談会相談員, 新見市, 2023. 3. 11.
- 7) ヤングケアラー研修会企画・運営: 新見公立大学, 2023. 3. 19.
- 8) 認知症サポーター養成講座 (新見市) 2022. 05. 10.

教授 井上信次

教育活動

専門分野

社会学, 社会調査法

担当科目

- ・社会学：共通, 前期 30 時間, 選択, 78 人
- ・倫理学：共通, 後期 15 時間, 選択, 23 人
- ・地域防災論：共通, 前期 30 時間, 必修 (地域福祉学科), 171 人
- ・地域防災演習：共通, 前期 30 時間, 必修 (地域福祉学科), 171 人
- ・基礎ゼミナールC：地域福祉学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 53 人
- ・入門ゼミナール：地域福祉学科 2 年, 通年 30 時間, 必修, 58 人
- ・専門ゼミナール：地域福祉学科 3 年, 通年 30 時間, 必修, 7 人
- ・地域福祉研究：地域福祉学科 4 年, 必修, 7 人
- ・社会調査論Ⅱ：地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 42 人
- ・社会調査論Ⅲ：地域福祉学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 26 人
- ・社会調査演習：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 25 人
- ・社会調査論Ⅳ：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 25 人
- ・社会調査実習Ⅰ：地域福祉学科 4 年, 前期 30 時間, 選択, 7 人
- ・社会調査実習Ⅱ：地域福祉学科 4 年, 後期 30 時間, 選択, 7 人
- ・医療と福祉の社会学：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 24 人
- ・ソーシャルキャピタルとコミュニティデザイン：地域福祉学科 3 年, 後期 6 時間, 選択, 30 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域福祉学科 副学科長
- ・評価・将来構想委員会 委員
- ・入試委員会 委員
- ・評価・将来構想委員会大学院改組部会 副会長
- ・評価・将来構想委員会教学マネジメント部会

委員

- ・空手部 顧問

2) 高校訪問

- ・鳥取県内の高校(3 校訪問) (対面), 2022. 7. 5.
- ・西大寺高校(WEB), 2022. 7. 13
- ・鳥取県内の高校(1 校訪問) (電話), 2023. 1. 10.

3) その他

- ・地域福祉学科 2 年生チューターアドバイザー

研究活動

学術論文

- 1) 井上信次, 北川裕美子, 吉田 浩子: COVID-19 まん延下における首尾一貫感覚(SOC)と責任感との関連—一般市民を対象としたインターネット調査結果から—. 厚生学の指標 69(6), 30-35, 2022.
- 2) 香西早苗, 中新美保子, 稲川喜一, 井上信次, 手塚征宏, 岐部俊郎, 中村典史: 口唇裂口蓋裂児の同胞の QOL 自己評価と保護者による評価の差異について. 日本口蓋裂学会雑誌, 47(2), 171-171, 2022.
- 3) 井上信次, 末光茂, 大月政和, 小田桐早苗: 知的障害児者や発達障害児者の生涯学習の必要性に対する福祉施設職員の意識—高等学校卒業の進路に対する意識調査—. 新見公立大学紀要, 43, 137-143, 2023.

外部資金獲得状況

- 1) 平成 31(2019)年度／令和元(2019)年度～令和 5(2023)年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「知的障害・発達障害児者のインクルーシブ教育の制度刷新にむけた国際比較研究」, 課題番号 19K02177, 研究代表者: 井上信次
- 2) 令和 2(2020)年度～令和 5(2023)年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「地域の児童館の子育ち・子育て支援におけるソーシャルワークに関する実証的研究」, 課題番号 20K02298, 研究代表者: 八重樫牧子
- 3) 令和 3(2021)年度～令和 5(2023)年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「子ども虐待対策における精神科医療機関

の機能活用の実態把握とその促進システム開発」，課題番号 21K02048，研究代表者：松宮透高

4) 令和 4(2022)年度 財団法人生存科学研究所自主研究「我が国におけるソーシャル・インクルージョンの実際と実現可能性の検討ー育児や介護に関する社会的支援に対する意識調査からー」，研究代表者：吉田浩子

5) 令和 4(2022)年度～令和 7(2025)年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「社会福祉実践におけるスピリチュアリティに配慮した実践モデルの開発的研究」，課題番号 22K02025，研究代表者：岡本宣雄

社会的活動

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2022. 4. 11.
- 2) しんごう湖畔マラソン実行委員会 委員

教授 鄭丞媛

教育活動

専門分野

医療福祉マネジメント, 社会疫学, 地域福祉

担当科目

- ・ 基礎ゼミナール：地域福祉学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 53 人
- ・ 専門ゼミナール：地域福祉学科 3 年, 通年 30 時間, 必修, 6 人
- ・ 地域福祉研究：地域福祉学科 4 年, 必修, 5 人
- ・ 社会調査論 1: 地域福祉学科 2 年, 前期 15 時間, 選択, 43 人
- ・ 保健医療サービス：地域福祉学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 48 人
- ・ 社会調査の基礎：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 54 人
- ・ 福祉サービスの組織と経営：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 51 人
- ・ 福祉行財政と福祉計画：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 51 人
- ・ 中山間地域の保健医療福祉：地域福祉学科 3 年, 後期 15 時間, 選択, 31 人
- ・ 国際保健医療福祉政策：地域福祉学科 3 年, 後期 15 時間, 選択, 29 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・ 入試委員会 委員
- ・ 大学院運営委員会 委員
- ・ ダンス部 顧問
- ・ 書道部 顧問

2) 高校訪問

- ・ 鳥取県内の高校(2 校訪問), 2022.8.9.(対面)
- ・ 鳥取県内の高校(1 校訪問), 2022.9.8.(対面)
- ・ 鳥取県内の高校(1 校訪問), 2023.1.12.(電話)

3) その他

- ・ 地域福祉学科 1 年生チューターアドバイザー

研究活動

学術論文

- 1) Kazushige Ide, Seungwon Jeong, Taishi

Tsuji, Ryota Watanabe, Yasuhiro Miyaguni, Hirokata Nakamura, Miyako Kimura, Katsunori Kondo. Suggesting Indicators of Age-Friendly City: Social Participation and Happiness, an Ecological Study from the JAGES. Int. J. Environ. Res. Public Health, 19(9), 5096, 2022

- 2) Yukiko Nishita, Hyuma Makizako, Seungwon Jeong, Rei Otsuka, Hunkyung Kim, Shuichi Obuchi, Yoshinori Fujiwara, Yuki Ohara, Shuichi Awata, Minoru Yamada, Katsuya Iijima, Hiroyuki Shimada, Takao Suzuki. Temporal trends in cognitive function among community-dwelling older adults in Japan: Findings from the ILSA-J integrated cohort study. Int. Archives of gerontology and geriatrics, 102, 104718, 2022
- 3) 井上祐介, 鄭丞媛, 井手一茂, 近藤克則. 主体の「通いの場」の介護予防効果 システマティック・レビュー. 地域保健 53(5), 72-75, 2022
- 4) 中村恒穂, 井手一茂, 鄭丞媛, 高橋聡, 香田将英, 尾島俊之, 近藤克則. 都道府県レベルにおけるソーシャル・キャピタル指標と自殺死亡率との関連—社会生活基本調査を用いた横断研究—. 構成の指標, 70(1), 16-23, 2023
- 5) Yasuyuki Arai, Takao Suzuki, Seungwon Jeong, Hideki Ohta. Prognosis of home-cared or hospital-treated acute fever in older adults: A prospective multicenter case-control study. Geriatrics & Gerontology International (in press)

報告書

- 1) 井上祐介, 鄭丞媛. 令和 3 年度岡山県介護予防効果測定専門家派遣事業報告書. 2023.3
- 2) 井上祐介, 鄭丞媛. 令和 4 年度岡山県介護予防効果測定事業委託業務報告書. 2023.3
- 3) 鄭丞媛, 井上祐介, 芳我ちより, 方恩知, 藤並祐馬, 近藤克則. 令和 4 年度「SIB を活用した健康ポイント評価等業務委託」報告書. 2023.3
- 4) 近藤克則, 鄭丞媛. 長寿医療研究開発費 2022 年度分担研究報告「長寿コホートの総合的研

究(ILSA-J)2 次的データ収集と分析」. 2023.3

シンポジウム

- 1) 鄭丞媛. 日本における高齢者介護・給付と負担. 介護保障政策セミナー (韓国), 2023 年 3 月 28 日

学会発表

- 1) 鄭丞媛, 井上祐介, 芳我ちより, 方恩知, 近藤克則, 健康ポイント事業における「ウォーキングポイント」は医療費の抑制につながったのか. 第 33 回日本疫学会学術総会, 2022.2.1-3.
- 2) 井上祐介, 鄭丞媛, 芳我ちより, 方恩知, 近藤克則, SIB による健康ポイント事業の参加者の運動, 栄養・食生活, 社会参加, ソーシャル・キャピタルの 3 年間の変化第 33 回日本疫学会学術総会, 2022.2.1-3.
- 3) 芳我ちより, 鄭丞媛, 井上祐介, 近藤克則, SIB を活用した健康ポイント事業による国保加入者の体重適正化の効果検証. 第 33 回日本疫学会学術総会, 2022.2.1-3.
- 4) 野口泰司, 藤原聡子, 鄭丞媛, 井手一茂, 斎藤民, 近藤克則, 尾島俊之, 高齢者にやさしいまちは家族介護負担による抑うつを軽減するか. JAGES 第 33 回日本疫学会学術総会, 2022.2.1-3.

外部資金獲得状況

- 1) 令和 3 年度～令和 8 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 B), 研究課題「Age Friendly Cities 指標を用いた介護予防政策評価と社会実装研究」, 課題番号 21H00792, 研究代表者: 鄭丞媛.
- 2) 令和 5 年度～令和 8 年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C), Age Friendly Cities の展開に関する国際比較研究, 課題番号 2K02069, 研究分担者: 鄭丞媛 (研究代表者: 井上祐介)
- 3) 2018 年度～2023 年度国立長寿医療研究開発費「長寿コホートの総合的研究」分担研究者: 鄭丞媛 (研究代表者: 鈴木隆雄)

受賞

- 1) 野口泰司, 藤原聡子, 鄭丞媛, 井手一茂, 斎藤

民, 近藤克則, 尾島俊之, 高齢者にやさしいまちは家族介護負担による抑うつを軽減するか: JAGES. 第 33 回日本疫学会学術総会, 2023.2.3

社会的活動

講演・研修会

- 1) 鄭丞媛: 延世大学大学院学術セミナー講師「超高齢社会の保健医療一病院から地域への変化」桜美林大学大学院, 東京, 2023.1.27

役職

- 1) 日本老年学的評価研究機構 研究員
- 2) 国立長寿医療研究センター 外来研究員
- 3) 日本福祉大学健康社会研究センター 客員研究員
- 4) International Journal of Environmental Research and Public Health, Special Issue “Toward Healthy Aging and Age-Friendly Communities: Advances in Methods and Challenge for Implementation Research” 編集長
- 5) International Journal of Environmental Research and Public Health 査読委員
- 6) 日本社会福祉学会 「社会福祉学」査読委員

その他

- 1) 岡山県保健福祉部 岡山県介護予防効果測定事業 市町村分析支援事業, 2022.4-2023.3
- 2) 岡山県保健福祉部 岡山県介護予防効果測定事業 市町村専門家派遣事業, 2022.4-2023.3
- 3) 岡山市保健福祉局 SIB (Social Impact Bond) を活用した健康ポイント事業評価, 2022.4-2023.3
- 4) 堺市健康福祉局 「あ・し・た」プロジェクト事業評価, 2022.4-2023.3.
- 5) 鄭丞媛, 講師. 岡山県介護予防効果測定事業市町村専門家派遣事業実績報告会, 2022.7.22
- 6) 鄭丞媛, 講師. 岡山市 SIB (Social Impact Bond) を活用した健康ポイント事業評価中間報告会, 2022.8.30
- 7) 鄭丞媛, 講師. 岡山市 SIB (Social Impact Bond) を活用した健康ポイント事業評価中間報告会, 2022.8.30
- 8) 鄭丞媛, 現地コーディネーター・通訳. 韓国延

世大学地域包括支援センターセミナー,
2022.10.27～10.28

- 9) 交通安全週間街頭査察, 西方小学校前交差点,
2022.9.28
- 10) 井上祐介, 鄭丞媛, コンサルティング. 備前市
介護予防効果測定, 2023.1～2023.3.
- 11) 井上祐介, 鄭丞媛, コンサルティング. 早島町
介護予防効果測定, 2023.1～2023.3.
- 12) 井上祐介, 鄭丞媛, コンサルティング. 総社市
介護予防効果測定, 2023.1～2023.3.
- 13) 井上祐介, 鄭丞媛, コンサルティング. 井原市
介護予防効果測定, 2023.1～2023.3.
- 14) 鄭丞媛, メディア紹介. 介護保障政策セミナー.
MBS NEWS (韓国), 2023.3.29

特任教授 八重樫牧子

教育活動

専門分野

子ども家庭福祉, ソーシャルワーク演習, 子育て支援,

担当科目

- ・ソーシャルワーク演習Ⅰ：地域福祉学科1年, 後期30時間, 選択, 53人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科2年, 後期30時間, 選択, 57人
- ・児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度：地域福祉学科2年, 後期30時間, 選択, 57人
- ・入門ゼミナール：地域福祉学科2年, 通年30時間中(6時間), 必修
- ・地域福祉研究：地域福祉学科4年, 通年120時間, 必須, 7人
- ・子育て支援論：地域福祉学科3年, 後期15時間, 選択, 30人
- ・子ども家庭福祉：健康保育学科3年, 前期30時間, 選択, 55人
- ・子ども家庭支援論：健康保育学科3年, 前期30時間, 選択, 55人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・職員代表委員会 委員

2) その他

- ・ノートルダム清心女子大学人間生活学科特別講義「人間生活概論」(4時間)
- ・川崎医療福祉大学大学院医療福祉学研究科後期課程「児童・家庭医療福祉実践特殊講義」春学期30時間(本年度受講者無)

研究活動

学会発表

- 1) 八重樫牧子：岡山市就学前親子の居場所づくりの現状と課題(その2)ー利用者のプレポスト調査結果とグループ・インタビュー調査結果からー. 日本保育学会第75回大会(大会発表論文集掲載), 2022.5.
- 2) 泉宗孝, 末光茂, 八重樫牧子：放課後等デイサービスの現状と課題-職員のインタビュー調

査を通して-. 第27回岡山県保健福祉学会, 2023.1.

外部資金獲得状況

- 1) 令和2年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「地域の児童館の子育ち・子育て支援におけるソーシャルワークに関する実証的研究」, 課題番号20K02298, 研究代表者: 八重樫牧子.
- 2) 令和4年度～令和6年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「今後のインクルーシブな社会に向けた放課後等デイサービスの在り方について」, 課題番号22K02036, 研究分担者: 八重樫牧子.

その他

- 1) 令和4年度学長配分研究費「『新見市就学前親子の居場所』に関するニーズ調査」, 研究代表者: 八重樫牧子

社会的活動

講演・研修会

- 1) 八重樫牧子：子育て支援に求められることは何?ー子育て支援の必要性と理念ー. 2022年度 地域子育て支援者カレッジ研修会, 新見公立大学, 2022.8.31.
- 2) 八重樫牧子：子育て支援に大切なこととは何?ー子育て支援の基本と技法ー. 2022年度 地域子育て支援者カレッジ研修会, 新見公立大学, 2022.6.29.
- 3) 八重樫牧子：気持ちのワークショップ. 2022年度にいみ子育てカレッジ子育て支援者に対する研修, 新見公立大学, 2022.11.30.
- 4) 八重樫牧子：泣く力は生きる力. みんな和やかサロン「子育て講座, 岡山市子どもセンター, 2022.9.14.
- 5) 八重樫牧子：児童館論Ⅰ. 令和4年度広島県児童館連絡協議会・第2回職員研修会, 広島県社会福祉会館, 2022.10.7.
- 6) 八重樫牧子：放課後児童クラブにおける権利的擁護と機能・役割. 令和4年度広島県子育て支援員研修 放課後児童コース, RCC 文化センター, 2022.10.11.
- 7) 八重樫牧子：放課後児童クラブにおける権利的擁護と機能・役割. 令和4年度広島県子育て

支援員研修 放課後児童コース, 福山会議室,
2022.11.11.

- 8) 八重樫牧子：⑤子どものための制度と施策
(子ども虐待を中心に)・⑥女性のための制度
と施策 (DV をを中心に). 公開講座：女性と子ども
の支援のために知っておきたい基礎講座, 特定
非営利活動法人 CAP プロジェクトおかや
ま, 2022.12.3.

役職

- 1)社会福祉法人中野社会福祉協会 評議委員
- 2)社会福祉法人備作恵済会若松園 第三者委員
- 3)特定非営利活動法人子育て応援ナビぽっかぽか
理事
- 4)特定非営利活動法人CAPプロジェクトおかや
ま 監事
- 5)子ども家庭福祉学会誌「子ども家庭福祉学」査
読委員.

准教授 小松尾京子

教育活動

専門分野

社会福祉学, スーパービジョン, 事例検討, 地域福祉.

担当科目

- ・ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ：地域福祉学科2年, 前期30時間, 選択, 61人.
- ・ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ：地域福祉学科2年, 後期30時間, 選択, 58人.
- ・相談援助の基盤と専門職Ⅱ：地域福祉学科3年, 前期30時間, 選択, 48人.
- ・社会調査Ⅴ：地域福祉学科4年, 前期30時間, 選択, 3人.
- ・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科2年, 後期30時間, 選択, 57人.
- ・ソーシャルワーク演習Ⅴ：地域福祉学科3年, 前期30時間, 選択, 8人.
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ：地域福祉学科2年, 後期30時間, 選択, 57人.
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ：地域福祉学科3年, 前期30時間, 選択, 8人.
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ：地域福祉学科3年, 後期30時間, 選択, 8人.
- ・コミュニティ・ソーシャルワーク実習：地域福祉学科3年, 集中180時間, 選択, 47名(実習指導担当学生8人).
- ・基礎ゼミナール：地域福祉学科1年, 通年30時間, 必修, 53人.
- ・入門ゼミナール：地域福祉学科2年, 通年30時間, 必修, 58人.
- ・専門ゼミナール：地域福祉学科3年, 通年30時間, 必修, 6人.

その他の教育活動

1) 本学における活動

1) 本学における活動

- ・修学・キャリア支援委員会 委員
- ・倫理審査会 委員

2) 高校訪問

- ・香川県の高校(1校訪問), 2022.7.20(対面)
- ・愛媛県の高校(5校訪問) 2022.7.11, 12, 21(対面)
- ・模擬授業
オープンキャンパス, 2022.8.7.(対面)

兵庫県立鳴尾高校, 2023.3.2.(対面)

研究活動

学会発表他

- 1) 文部科学省基盤B「ヒューマンケアにおける重層的システム構築」研究成果最終報告会. スーパーバイザーのスキル向上のための仕組み—調査結果と実践—, 日本福祉大学名古屋キャンパス, 2022.12.17.

その他

- 1) 小松尾京子：学長研究費, 地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習に関する研究—教育プログラムおよび教材開発を中心に—, 研究代表者.
- 2) 小松尾京子：学長研究費, 行政職員に対する職員研修プログラムの開発に関する研究—ケースワーカーと査察指導員を対象として—, 研究代表者.
- 3) 東海・北陸ブロックソーシャルワーク教育研究協議会事務局員.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 小松尾京子：近隣ケアグループ活動に活かせるコミュニケーションスキル「聴く」ことから始めよう. 近隣ケアグループ全体研修会, プリニーの市民会館, 2022.5.21.
- 2) 小松尾京子：職員育成とスーパービジョン. スマイルソーシャルワーカーズ新見, 新見公立大学グループスタディールーム, 2022.6.6.
- 3) 小松尾京子：家族への支援の視点, 三重県主任介護支援専門員更新研修会, Web開催, 2022.7.6.
- 4) 小松尾京子：スーパービジョンの実践に向けて. 佐賀県生活困窮者自立支援制度主因相談支援員養成研修, 唐津市加唐島漁村環境改善総合センター, 2022.7.7.
- 5) 小松尾京子：家族への支援の視点, 三重県主任介護支援専門員更新研修会, Web開催, 2022.7.14.
- 6) 小松尾京子：家族への支援の視点, 三重県主任介護支援専門員更新研修会, Web開催, 2022.7.16.
- 7) 小松尾京子：スーパービジョン講座—スーパーバイザー編—. キャリア形成訪問指導事業, 幸生デイサービスセンター, 2022.10.6.
- 8) 小松尾京子：コミュニケーションに役立つ！

傾聴講座（基礎編）．ぐる〜ん岡山,岡山市岡南
公民館,2022.11.4.

9) 小松尾京子：介護支援専門員の成長を促すス
ーパービジョン．武豊町主任介護支援専門員資
質向上研修会,武豊町思いやりセンター,
2023.1.18.

10)小松尾京子：聴き方の工夫,傾聴ボランティア
フォローアップ研修会．新見市地域福祉センタ
ー,2023.2.9.

11) 小松尾京子：事例検討会を活用したグループ
スーパービジョン．主任介護支援専門員資質向
上研修, 武豊町思いやりセンター,2023.2.27.

12) 小松尾京子：傾聴ボランティアフォローアッ
プ研修会．聴き方講座, 武豊町思いやりセンタ
ー,2023.2.27.

役職

- 1) 佐賀県生活保護研修検討会 委員
- 2) 佐賀県生活困窮者自立支援制度関係者研修企
画チーム 委員
- 3) 武豊町社会福祉協議会 アドバイザー

その他

- 1)認定社会福祉士認証・認定機構 認定社会福祉
士制度スーパーバイザー

講師 松田 実樹

教育活動

専門分野

介護福祉,障がい者福祉

担当科目

- ・コミュニケーション技術Ⅰ:地域福祉学科1年,前期30時間,必修,53人
- ・コミュニケーション技術Ⅱ:地域福祉学科1年,後期30時間,選択,22人
- ・障がいの理解Ⅱ:地域福祉学科2年,前期30時間,選択,29人
- ・生活支援技術Ⅰ:地域福祉学科1年,後期30時間,選択,22人
- ・生活支援技術Ⅱ:地域福祉学科1年,後期10時間,選択,22人
- ・介護福祉論:地域福祉学科1年,前期4時間,必修,59人
- ・福祉サービス入門実習:地域福祉学科1年,集中30時間,必修,59人
- ・介護総合演習Ⅲ:地域福祉学科3年,後期30時間,選択,13人
- ・介護福祉実習Ⅲ:地域福祉学科3年,後期84時間,選択,13人
- ・基礎ゼミナールC:地域福祉学科1年,通年30時間,必修,59人
- ・入門ゼミナール:地域福祉学科2年,通年30時間,必修,53人
- ・専門ゼミナール:地域福祉学科3年,通年30時間,必修,3人
- ・チームアプローチ演習:学科共通科目3年,前期16時間,必修,189人

その他の教育活動

1)本学における活動

- ・教務委員会 委員
- ・手話部 顧問
- ・TRPG サークル 顧問
- ・岡山県共生高等学校高大連携授業「介護におけるコミュニケーション技術」8時間,2022.06.02, 06.09.
- ・岡山県共生高等学校高大連携授業「障がいの理解」3時間,2022.06.22.
- ・岡山県共生高等学校高大連携授業「こころとか

らだのしくみと生活支援技術(入浴、清潔保持演習)」2時間,2022.06.07.

- ・介護福祉士国家試験対策「人間関係とコミュニケーション・コミュニケーション技術」4年生,2時間,2022.04. 28,2022.12.09.
- ・介護福祉士国家試験対策「社会の理解」4年生,1時間,2022.07.21.
- ・介護福祉士国家試験対策「学内模試」4年生,1時間,2022.11.18.
- ・介護福祉士国家試験対策「障がいの理解」4年生,1時間,2022.12.16.
- ・介護福祉士国家試験対策「生活支援技術」4年生,1時間,2022.12.23.
- ・介護福祉士国家試験対策「総合問題」4年生,1時間,2023.01.17.
- ・介護福祉士国家試験対策「人間関係とコミュニケーション・コミュニケーション技術」3年生,1時間,2022.11.01.

2)高校訪問

- ・岡山県内の高校(3校訪問), 2022.06.27,06.30 (対面)
- ・高校教員説明会(新見公立大学内),2022.06.28.(対面)
- ・高校進学ガイダンス 岡山会場,2022.12.21.(対面)

研究活動

外部資金獲得状況

- 1)平成29年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究B)研究課題「重度障害者の地域移行成立要件の検討」, 課題番号17K13879, 研究代表者:松田実樹.
- 2)令和4年度 地域に飛び出せ大学生!おかやま元気!集落研究・交流事業(備前市神根本地区)

社会的活動

講演・研修会

- ・特別養護老人ホームケアポート生き活き館神郷認知症と身体拘束について(職員研修)2023.02.27.(1時間)人数12人
- ・認知症サポーター養成講座 2022.05.10.

役職

- 1)旭川荘愛育寮 第三者評価委員

その他

- 1) 第三者委員報告会.旭川荘愛育寮,
2023.03.03.
- 2) シミュレーショントレーニング in にいみ,新見
公立大学,2022.07.09.
- 3) 岡山県介護福祉士会 認定介護福祉士養成研
修「応用的生活支援の展開と指導」, 2022.12.26.
- 4) 岡山県介護福祉士会 認定介護福祉士養成研
修「地域における介護実践の展開」 2023.02.15,
02.16.

講師 朴蕙彬

教育活動

専門分野

社会福祉学, 高齢者福祉, 社会問題

担当科目

- ・基礎ゼミナールC:地域福祉学科1年生, 通年 30 時間, 必修
- ・入門ゼミナール: 地域福祉学科2年生, 通年 30 時間, 必須
- ・専門ゼミナール: 地域福祉学科3年生, 通年 30 時間, 必須, 6人
- ・社会福祉の原理と政策Ⅱ:地域福祉学科1年生, 後期 30 時間, 選択, 53人
- ・ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ:地域福祉学科1年生, 後期 30 時間, 選択, 53人
- ・コミュニティ・ソーシャルワーク実習: 地域福祉学科3年生, 集中 180 時間, 選択, 46人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ:地域福祉学科2年生, 後期 30 時間, 選択, 58人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ:地域福祉学科3年生, 前期 30 時間, 選択, 48人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ:地域福祉学科3年生, 後期 30 時間, 選択, 48人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅰ:地域福祉学科1年生, 後期 30 時間, 選択, 53人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅴ:地域福祉学科3年生, 選択, 48人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・新見公立大学&韓国・延世大学 学部間学術交流協定締結式 翻訳・通訳
- ・教育推進委員会委員
- ・保健管理委員会委員
- ・入試委員会委員
- ・地域福祉学科社会福祉士国家試験対策ワーキング(全体統括)
- ・社会福祉士国家試験対策勉強会及び対策講座(15コマ)
- ・Chung-shil 顧問
- ・映画研究サークル顧問

2) 高校訪問

- ・兵庫県内の高校(2校訪問) 2022.6.29, 2022.7.14. (対面)
- ・進路ガイダンス 2022.7.20. (オンライン)

3) その他

- ・同志社大学社会学部社会福祉学科「社会福祉士国家試験対策講座」, 2022.12.6. (オンライン, 150分)

研究活動

その他

- 1) 朴蕙彬: 招聘講演. 「日本の地域支援事業と地域包括支援センター」 韓国延世大学地域包括支援センターセミナー(大学院生対象), 2022.10.27.
- 2) 朴蕙彬: 現地コーディネーター・資料翻訳・通訳. 韓国延世大学地域包括支援センターセミナー, 2022.10.27~10.28.
- 3) 朴蕙彬: 監修. 「エイジズムとは? 年齢差別と偏見の問題、具体例を紹介」
(<https://media.lifull.com/crossviews/2022101348/>)

外部資金獲得状況

- 1) 朴蕙彬: 学長研究費「エイジング教育のあり方に関する探索的研究 ~地域における諸活動の活用可能性の検討~, 研究代表者.
- 2) 朴蕙彬: 学長研究費「地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習に関する研究—教育プログラムおよび教材開発を中心に—」, 分担研究者.
- 3) 令和4年度~9年度日本学術振興会科学研究助成基金助成金(国際共同研究強化B)「福祉サービスの質と政策評価—東アジア3ヵ国(日本・韓国・中国)を中心に—」, 課題番号 22KK0024, 分担研究者.

社会的活動

役職

- 1) 日本キリスト教社会福祉学会 国際委員
- 2) 韓国統合事例管理学会 国際交流委員

その他

- ・メディア掲載

- 1) 「年齢で決めつけてない? 「いい年して」他人や自分への偏見解消を」産経新聞 2023.3.23.
※上記、記事内容で中国新聞(2023.3.24.), 山梨日日新聞(2023.3.20.) など掲載

助教 泉 宗孝

教育活動

専門分野

社会福祉学,障がい者福祉

担当科目

- ・ソーシャルワーク演習Ⅰ：地域福祉学科1年,後期30時間,選択,53人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅱ：地域福祉学科2年,前期30時間,選択,59人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科2年,後期3時間,選択,57人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅳ：地域福祉学科3年,前期3時間,選択,52人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅴ：地域福祉学科3年,後期3時間,選択,48人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ：地域福祉学科2年,後期30時間,選択,58人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ：地域福祉学科3年,前期6時間,選択,49人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ：地域福祉学科3年,後期3時間,選択,48人
- ・コミュニティ・ソーシャルワーク実習：地域福祉学科3年,前期180時間,選択,49人
- ・障害者福祉：地域福祉学科2年,集中講義30時間,選択,58人
- ・にいき地域協働演習：共通科目,集中講義30時間,選択,42人
- ・基礎ゼミナールC（高尾地区）地域福祉学科1年生,通年30時間,必修,10人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域共生推進センター委員会 委員
- ・学生生活委員会 委員
- ・岡山県共生高等学校高大連携授業「障害者自立支援制度およびその他の制度」4時間,2022.6.15
- ・フットサルサークル顧問

2) 高校訪問

- ・岡山県内の高校（2校訪問）,2022.6.22.（対面）
- ・岡山県内の高校（1校訪問）,2022.7.4.（対面）

- ・岡山県立林野高等学校ガイダンス,2022.7.11.（対面）

- ・岡山県内の高校（1校訪問）,2022.12.22.（対面）

- ・岡山県内の高校（1校訪問）,2023.1.6.（対面）

3) その他

- ・地域福祉学科2年生チューターアドバイザー

研究活動

著書

- 1) 泉宗孝：第4章子ども家庭福祉サービスの実際3節障害児への支援。八重樫牧子,原葉子,土田美世子（編）,新・社会福祉士シリーズ15 児童・家庭福祉[初版],弘文堂,126-141,2022.

学術論文

- 1) 泉宗孝：障害のある子どもを対象とする放課後等デイサービスの役割・機能の整理,川崎医療福祉学会誌,32(2),255-366,2023.

学会発表

- 1) 泉宗孝：障害のある子どもを対象とする放課後等デイサービスの役割・機能の整理,日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック第53回岡山大会,2022.7.9
- 2) 泉宗孝・末光茂・八重樫牧子：放課後等デイサービスの現状と課題-職員のインタビュー調査を通して-,岡山県保健福祉学会,2023.1.23.

外部資金獲得状況

- 1) 令和2（2020）年度～令和4（2022）年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「地域の児童館の子育ち・子育て支援におけるソーシャルワークに関する実証的研究」,課題番号20K02298,研究代表者:八重樫牧子,研究分担者:泉宗孝・三好年江・直島克樹・井上信次.
- 2) 令和4（2022）年度～令和6（2024）年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「今後のインクルーシブな社会に向けた放課後等デイサービスの在り方」,課題番号22K02036,研究代表者:泉宗孝,研究分担者:末光茂・八重樫牧子.

社会的活動

役職

- 1) 社会福祉法人阿新社会福祉事業協会評議員
- 2) にいみ子育てカレッジ運営協議会運営委員および事務局 委員

その他

- 1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，
2022.4.11, 2022.9.21.
- 2) 2022 年度スクール（学校）ソーシャルワーク
教育課程専門科目群担当教員講習会修了，
2022.11.25.

助教 柳 迫 三寛

教育活動

専門分野

保健医療福祉、医療ソーシャルワーク、

担当科目

- ・保健医療サービス：地域福祉学科3年，前期30時間，選択，50人
- ・基礎ゼミナールC（高尾③）：地域福祉学科1年，通年30時間，必修，
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ：地域福祉学科2年，後期30時間，選択，58人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ：地域福祉学科3年，前期30時間，選択，49人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ：地域福祉学科3年，後期30時間，選択，48人
- ・コミュニティ・ソーシャルワーク実習：地域福祉学科3年，前期180時間，選択，49人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅰ：地域福祉学科1年，後期6時間，選択，53人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅱ：地域福祉学科2年，前期30時間，選択，59人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科2年，後期30時間，選択，57人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅳ：地域福祉学科3年，前期30時間，選択，52人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅴ：地域福祉学科3年，後期30時間，選択，48人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・広報委員会 委員
- ・地域共生推進センター 委員
- ・地域福祉学科社会福祉士国家試験対策ワーキング
- ・社会福祉士国家試験対策勉強会及び対策講座（3コマ）
- ・医療ソーシャルワーカーを目指す学生を対象とした勉強会（3年生） 10.17, 10.24, 11.7, 11.21, 12.12, 12.22, 2022.1.16, 1.23, 2.13, 3.13
- ・医療ソーシャルワーカーを目指す学生を対象とした勉強会（4年生） 4.19, 5.10, 7.7, 7.19,

2) 高校訪問

- ・島根県内の高校（2校訪問），2022.6.24
- ・広島県内の高校（4校訪問），2022.6.30
- ・広島県内の高校（3校訪問），2022.7.1

3) 進学ガイダンス

- ・合同進学ガイダンス（広島会場），2022.5.9（対面）
- ・合同進学ガイダンス（庄原会場），2022.6.9（対面）
- ・兵庫県立山崎高等学校進学ガイダンス（模擬授業），2022.11.9（対面）
- ・広島県立観音高等学校進学ガイダンス 2022.12.8（対面）
- ・合同進学ガイダンス（十日市きんさいセンター），2023.2.8（対面）

4) 高校教員対象入試説明会（岡山会場），2022.6.28（対面）

5) その他

- ・独立行政法人国立病院機構呉医療センター附属看護学校「社会福祉」（28時間）

研究活動

学術論文

- 1) 柴田絹代，石村美由紀，柿沼洋子，中藤由佳美，柳迫三寛 他3名：少子化と子育て支援の現状-3人目の壁に着目して-，山口県立大学大学院論集，24,93-98, 2023.3

依頼原稿

- 1) 1) 柳迫三寛：巻頭言．患者と福祉No.41，広島県医療ソーシャルワーカー協会，2023.2

外部資金獲得状況

- 1) 2022年度 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団公募助成事業，研究代表者：柳迫三寛

その他

- 1) 新見公立大学学長配分研究費採択「地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習に関する研究－教育プログラムおよび教材開発を中心に－」，研究分担者

社会的活動

講演・研修会

- 1)柳迫三寛：上手な病院のかかり方, 新見公立大学市民公開講座, NiU 新見駅西サテライト,
2022.10.21.
- 2)柳迫三寛：退院支援. 広島県医療ソーシャルワーカー協会養成講座, 広島ビッグフロント
2022.10.2.
- 3)柳迫三寛：認知症を知ることから始めよう. 高尾連合町内会・新見公立大学地域福祉学科 認知症行方不明者捜索訓練研修会, 高尾公民館,
2022.12.10.
- 4)柳迫三寛：第9回広島県医療ソーシャルワーク学会, 講演座長, 分科会座長, Web 開催,
2023.2.23

その他

- 1)地域運営組織活性化のためのヒアリング活動,
菅生地域, 2022.6.20
土橋みらいの会, 2022.10.13, 11.14, 2023.2.16

役職

- 1)新見庄たたら学習実行委員会 委員
- 2)「オール新見！公募型まちづくり事業」に係る
市民協働推進事業 審査員
- 3)広島県医療ソーシャルワーカー協会 副会長
- 4)広島県地域両立支援推進チーム 委員
- 5)三原市地域包括ケア連携推進協議会 オブザーバー
- 6)社会福祉法人萌生会 評議員

その他

- 1)土下座祭り, 2022.10.15.
- 2)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点,
2022.4.7, 2022.10.4.

助教 岸本由梨枝

教育活動

専門分野

公共政策学,評価学,地域福祉学

担当科目

- ・ソーシャルワーク演習Ⅰ：地域福祉学科 1 年, 後期 6 時間, 選択, 53 人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅱ：地域福祉学科 2 年, 前期 30 時間, 選択, 59 人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科 2 年, 後期 3 時間, 選択, 57 人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅳ：地域福祉学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 52 人
- ・ソーシャルワーク演習Ⅴ：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 48 人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ：地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 58 人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ：地域福祉学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 49 人
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 48 人
- ・コミュニティ・ソーシャルワーク実習：地域福祉学科 3 年, 前期 180 時間, 選択, 49 人
- ・共生社会実践演習Ⅰ：地域福祉学科 2 年, 通年 60 時間, 選択, 27 人
- ・共生社会実践演習Ⅱ：地域福祉学科 3 年, 通年 60 時間, 選択, 16 人
- ・共生社会実践演習Ⅲ：地域福祉学科 4 年, 通年 30 時間, 選択, 8 人
- ・ソーシャルキャピタルとコミュニティデザイン：地域福祉学科 3 年, 後期 3 時間, 選択, 30 人
- ・地域防災論：地域福祉学科・健康保育学科 2 年 (必修)、看護学科 2 年 (選択), 夏季集中 (30 時間), 171 人
- ・地域防災演習：地域福祉学科・健康保育学科 2 年 (必修)、看護学科 2 年 (選択), 夏季集中 (30 時間), 171 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・教育推進委員会 委員
- ・学生生活委員会 委員
- ・地域福祉学科 3 年生学年団

- ・地域福祉学科社会福祉士国家試験対策ワーキング
- ・社会福祉士国家試験対策勉強会及び対策講座 (2 コマ)
- ・卓球部顧問

2) 高校訪問

- ・進路相談会, 松江テルサ, 2022.6.15
- ・島根県内の高校 (1 校訪問), 2022.6.28 (電話)
- ・島根県内の高校 (1 校訪問), 2022.6.28
- ・島根県内の高校 (1 校訪問), 2022.6.30
- ・進路相談会, 2022.10.13 (WEB)
- ・島根県内の高校 (1 校訪問), 2023.1.5 (電話)
- ・島根県内の高校 (2 校訪問), 2023.1.10

研究活動

学術論文

- 1) 岸本由梨枝：大学の地域貢献プログラムに質改善を目的とした評価を行うことの意義. 日本評価研究, 22 (2), 137-147, 2022
- 2) 岸本由梨枝：地域貢献プログラムの質改善におけるロジックモデルの活用. 京都府立大学紀要福祉社会研究, 23, 109-123, 2023

報告書

- 1) 岸本由梨枝・高塚創(2022), 日本都市計画学会・中国四国支部ニュースレター第 57 号, pp.4-5, 公益社団法人日本都市計画学会, 2022.10

外部資金獲得状況

- 1) 2022 年度 日本都市計画学会中国四国支部地域活動助成事業, 研究代表者: 岸本由梨枝.

その他

- 1) 岸本由梨枝・高塚創: 四国のまちづくり情報交換会&見学会 in 丸亀, 丸亀町商店街, 2022.9.9.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 岸本由梨枝：コロナ禍における訪問活動の意義. 新見市社会福祉協議会 令和 4 年度見守り訪問事業研修会, 新見市地域福祉センター, 2022.8.4.
- 2) 岸本由梨枝：地域貢献プログラムの質改善に向

けた評価.まいづる赤レンガオフィスの研究会,
オンライン,2022.11.22.

役職

- 1)日本都市計画学会中国四国支部研究交流委員会
委員

その他

- 1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点,
2022.4.13, 2022.10.4

4) 地域共生推進センター・全学

教授 岡本邦広

教育活動

専門分野

特別支援教育

担当科目

- ・基礎ゼミナール：健康保育学科1年，前期30時間，必修，4人
- ・卒業研究Ⅰ：健康保育学科3年，前期30時間，必修，4人
- ・卒業研究Ⅱ：健康保育学科3年，後期30時間，必修，4人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域共生推進センター研究員

2) その他

- ・岡山県立新見高等学校進路ガイダンス(オンライン) 2022. 9. 16.
- ・発達支援センター(なごみ)における相談活動 69件
- ・NiU 新見公立大学地域共生推進センター「みんなで一緒に学ぼう！—宿題大作戦！—」. 2022. 7. 27, 8. 3, 8. 17, 8. 24, 12. 27, 12. 28, 2023. 3. 28, 3. 29, 3. 30
- ・川崎医療福祉大学非常勤講師
 - ・知的障害教育Ⅰ，春学期，28時間
 - ・特別支援教育基礎理論，春学期，30時間
 - ・障害児教育総論，春学期，8時間
 - ・LD等教育総論，春学期，10時間
 - ・特別支援教育実習，春学期・秋学期，40時間
 - ・知的障害教育Ⅱ，秋学期，30時間
 - ・特別支援教育概論，春学期，20時間

研究活動

学術論文

- 1) 岡本邦広，知的障害を伴う自閉症幼児の家族と大学教員の主に郵送での協議ツールを活用した協働的アプローチ—Family Quality of Lifeの分析—。発達障害研究 44(3)，303-320，2022.
- 2) 岡本邦広，特別支援学級担任対象の自立活動の指導目標設定に至る判断の根拠を身に付けさせ

る研修の効果。自閉症スペクトラム研究 20(2)，23-32，2023.

- 3) 岡本邦広，障害や特別な教育的ニーズを有する子供の保護者と教師の連携・協働の現状を踏まえた研修内容の検討—支援実施段階に焦点を当てて—。新見公立大学紀要 43，195-202，2022.

学会発表

- 1) 岡本邦広，障害や特別な教育的ニーズを有する子供の保護者と教師の連携・協働の現状を踏まえた研修内容の検討—支援実施段階に焦点を当てて—。一般社団法人日本LD学会第31回大会 京都 2022. 10. 30.
- 2) 岡本邦広，自閉症幼児の家族と大学教員の郵送での協議ツールを活用した協働的アプローチによるFQOLの分析。日本発達障害学会第57回大会(WEB開催)。2022. 12. 24-25.

外部資金獲得状況

- 1) 令和2年度～令和5年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)研究課題「障害児をもつ家族と教師の協働的アプローチによるFQOLに関する研究」，研究代表者：岡本邦広.

報告書

- 1) 強度行動障害に関する支援ガイドライン作成委員会委員長：井上雅彦 委員：大久保賢一・岡村章司・岡本邦広・倉光晃子・下山真衣・田熊立・村本浄司 協力委員：奥田健次・園山繁樹・野口幸弘・平澤紀子，強度行動障害に関する支援ガイドライン。2023.

https://drive.google.com/file/d/1j8tqkKGj8Wt1oeoRX4Hyb66d0aET1LAH/view?usp=share_link

社会的活動

講演・研修会

- 1) 岡本邦広：新見市保育士研修「子供の行動の捉え方—応用行動分析に基づく支援—」2022. 5. 14.
- 2) 岡本邦広：兵庫教育大学大学院「行動問題の理解と支援の基礎・基本」2022. 7. 29.
- 3) 岡本邦広：浅口市民生委員児童委員協議会障害者福祉部会合同研修「障害のある子供の行動の見方や適切な関わり」2022. 9. 1.
- 4) 岡本邦広：令和4年度岡山県教育職員免許法認

定講習. 2022. 8. 25-26.

- 5) 岡本邦広：ワルツ ONLINE SCHOOL「子供の行動の捉え方」(動画コンテンツ). 2023. 2.
- 6) 岡本邦広：新見公立大学 NiU「特別支援教育に関する研修講座シリーズ1」令和に求められる特別支援教育(1). 2022. 10. 14.
- 7) 岡本邦広：新見公立大学 NiU「特別支援教育に関する研修講座シリーズ1」令和に求められる特別支援教育(2). 2022. 10. 28.
- 8) 岡本邦広：新見公立大学 NiU「特別支援教育に関する研修講座シリーズ1」令和に求められる特別支援教育(2). 2022. 10. 28.
- 9) 岡本邦広：新見公立大学 NiU「特別支援教育に関する研修講座シリーズ1」支援事例検討. 2022. 12. 9.
- 10) 岡本邦広・高橋彩：NiU 新見公立大学 発達支援センター研修講座シリーズ1 フォローアップ(第1回). 2023. 2. 3.
- 11) 岡本邦広・高橋彩：NiU 新見公立大学 発達支援センター研修講座シリーズ1 フォローアップ(第2回). 2023. 3. 10.

役職

- 1) 日本 LD 学会 編集委員 (～2022. 6)
- 2) 日本自閉症スペクトラム学会 編集委員
- 3) 浅口市障害者自立支援協議会委員
- 4) 日本 LD 学会常任編集委員 (2022. 6～)
- 5) 矢掛町専門評価委員
- 6) 矢掛町立矢掛中学校学校運営協議会委員
- 7) A 市障害支援区分認定審査会委員
- 8) 矢掛町特別支援教育支援委員会委員
- 9) 強度行動障害に関する支援ガイドライン作成特別委員会委員

その他

- 1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2022. 9. 21.

特任教授 加藤雅彦

教育活動

専門分野

公衆衛生学, 応用獣医学

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・ 教学マネジメント業務 担当
- ・ 研究体制の構築業務 担当
- ・ 評価・将来構想委員会教学マネジメント部会
副委員長
- ・ 評価・将来構想委員会内部質保証部会 委員

社会的活動

役職

- 1) 日本防菌防黴学会微生物制御システム研究会
運営委員

その他

1) 日本語教授

- ・ グローバル広場 KOJIMA. 倉敷市児島市民交
流センター,
2023. 2. 19, 2. 26, 3. 5, 3. 12, 3. 19, 3. 26

助教 福武幸世

教育活動

専門分野

身体教育学, 舞踊学, 身体表現

担当科目

- ・表現技術: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 選択, 44 人
- ・スポーツ実習 B: 看護学科 1 年, 地域福祉学科 1 年, 前期 30 時間, 選択, 46 人
- ・卒業研究 I: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 3 人
- ・卒業研究 II: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 3 人

※以下の科目は補助的立場で担当

- ・スポーツ実習 A: 全学科 1 年対象, 後期 30 時間, 85 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域共生推進センター 研究員
- ・入試委員 委員
- ・にいみゆめのぽけっと 2022, 実行委員, 2022. 12. 10.

2) その他

- ・名寄市立大学との交流会企画会議, 2022. 10. 24, 12. 12.
- ・名寄市立大学との交流会, 2023. 1. 16.
- ・学生フリーペーパーなるたき発行, 2022. 11. 1, 2023. 2. 28.
- ・新見高校卒業生の会 (新高会) 及び役員会, 2022. 4. 14, 5. 27, 6. 21, 6. 23, 7. 29, 8. 22, 10. 19, 10. 21, 12. 19, 2023. 1. 17, 2. 27.
- ・鳴滝塾Ⅳの運営, 2022. 12. 3.
- ・全学生へのボランティア活動の推進・啓発

研究活動

学術論文

- 1) 福武幸世, 芝崎美和, 渡部昌史: 保育者養成校の学生が抱く子どもに対するダンス指導不安と自己開示, 他者受容との関連. 新見公立大学紀要, 43, 81-87, 2022.
- 2) 福武幸世, 太田一枝, 酒向治子: 創作ダンス指導における教師の省察に関する質的研究—熟練

教師の「行為の中の省察」に焦点を当てて一. 岡山大学教師教育開発センター紀要, 13, 207-219, 2022.

その他

- 1) 長宗武司, 福武幸世, 土井英子, 福田秀之: 令和 3 年度学長配分研究課題「新見市の地域経済構造及び, 新見公立大学が地域経済に与える経済的影響に関する実証分析」.
- 2) 福武幸世, 芝崎美和, 渡部昌史: 令和 4 年度学長配分研究課題「保育者養成校の学生が抱く子どもに対するダンス指導不安と自己開示, 他者受容との関連」.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 福武幸世: ストレッチ・ダンス講座 NiU (ニウ) 親子【未就学児 (2~6 歳児)】と保護者で行うストレッチ・リズムダンス講座, NiU 新見駅西サテライト, 2022. 8. 13, 8. 27, 9. 10, 9. 24, 10. 22, 11. 12, 11. 26.
- 2) 北浦菜緒, 福武幸世 (アドバイザー): 対話をかく力〜頭も身体もつかう「かきかた」〜新聞記事を持ち寄り, 気になる部分を可視化しよう!. 新見公立大学市民公開講座, NiU 新見駅西サテライト, 2022. 9. 16.
- 3) 福武幸世: キッズダンス教室. 令和 4 年度福浜公民館主催講座, 岡山市立福浜公民館, 2021. 10. 2, 10. 16, 11. 5.
- 4) 福武幸世: 第 18 回にいみ市民スポーツフェスタ体操指導, 運営補助, 新見市民運動公園, 2022. 10. 9.
- 5) 芝崎美和, 竹下可奈子, 福武幸世: 哲多地区ミュージックフェスティバルにおけるリモート出演およびダンス指導, 新見公立大学講堂, 2022. 11. 10.
- 6) 福武幸世: ふくふくダンス. 子育て広場にこたん, 新見公立大学リズム教室, 2023. 2. 14.
- 7) 福武幸世: ふくふくダンス. にこたん出張ひろば, NiU 新見駅西サテライト, 2023. 3. 16.

その他

- 1) 唐松地区地域運営組織連携事業 (SA 事業) 唐松チューリップ祭り, 唐松市民センター, 2022. 4. 10.

- 2) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点,
2022. 4. 13, 9. 28.
- 3) NiU 駅西サテライトトライアルイベントⅠ(学生
有志) 企画・運営指導, 新見駅西サテライト,
2022. 4. 17.
- 4) 下熊谷地区いきいきサロン SA 健康体操指導,
旧下熊谷地区小学校, 下熊谷地区集会場,
2022. 6. 25.
- 5) NiU 駅西サテライトトライアルイベントⅣ(学生
有志) 企画・運営指導, 新見駅西サテライト,
2022. 9. 18.
- 6) NiU 新見駅西サテライト見学会・映画イベント(
SA 事業), 新見駅西サテライト, 2023. 1. 22.

助教 長宗武司

教育活動

専門分野

都市・地域経済学，応用計量経済学(統計解析)，
地域公共政策

担当科目

- ・経済学：共通科目，後期 15 時間，選択，28 人
- ・共生社会実践演習Ⅰ：地域福祉学科 2 年生，通年 60 時間，選択，27 人
- ・共生社会実践演習Ⅱ：地域福祉学科 3 年生，通年 60 時間，選択，16 人
- ・共生社会実践演習Ⅲ：地域福祉学科 4 年生，通年 30 時間，選択，8 人
- ・地方行政インターンシップ：地域福祉学科 3 年生，夏季集中 30 時間，選択，16 人
- ・公共政策論：地域福祉学科 2 年，夏季集中 15 時間，選択，28 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

- ・地域共生推進センター 研究員
(SA 主担当教員・第 1 部門・第 2 部門担当)
- ・地域共生推進センターむすびの会 担当教員
- ・総合情報基盤センター情報システム部門 委員
- ・総合情報基盤センターIR 部門 委員
- ・まちづくりゼミナール(地域共生推進センターSA 対象)，後期 26 時間，27 人受講

2) 高校訪問

- ・広島県内の高校(3 校訪問)，2022. 7. 5，7. 14. (対面)
- ・香川県立三本松高校進学ガイダンス，2022. 7. 7. (対面)
- ・岡山学芸館高校進学ガイダンス，2022. 10. 18. (対面)

研究活動

学術論文

- 1) 中村良平，長宗武司：地域雇用産業連関モデルの開発と適用。岡山大学経済学会雑誌，53(3)，103-126，2022.
- 2) 川池智子，綿貫恵子，樋川隆，根岸洋人，加藤稔子，川池秀明，長宗武司，佐々木さち子：〈ケア労働〉のヴァルネラビリティと価値に関する

る実証的研究(2)-障害者支援/ケア専門職の”仕事観”：みずほ福祉助成財団助成研究から-。鶴見大学紀要，60(3)，43-56，2023.

報告書

- 1) ケアの倫理・ケア労働研究会：障がい者ケアの質の向上のための〈専門職支援〉に関する研究報告書(公益財団法人みずほ福祉助成財団 助成研究)。2023.
- 2) ケアの倫理・ケア労働研究会：ケアの原点：障がい者支援/ケアを担う人たちの〈声〉-魅力と価値と「ケアの倫理」-ブックレット(公益財団法人みずほ福祉助成財団 助成研究)。2023.

学会発表

- 1) 長宗武司：経済基盤モデルの空間的展開 -まちの経済の成り立ちと地域的な特徴の解明-。第 47 回備北人文科学学会学術集会，新見公立大学，2022. 8. 3.

外部資金獲得状況

- 1) 日本計画行政学会・中国支部 2021 年度研究助成(2 年目)「移出産業による地域乗数効果の地域的な分布及び，空間的な波及範囲に関する研究」，研究代表者：長宗武司.
- 2) みずほ福祉助成財団 2021 年度社会福祉助成金(2 年目)「障害者ケアの質の向上のための〈障害者ケア専門職支援〉に関する研究 -ケア専門職，リーダー格職員，障害者家族，三者の比較を通して-」，共同研究者：長宗武司(研究代表者：川池智子).
- 3) 2022 年度岡山大学文明動態学研究所 共同研究「地域を変える若者の参画 -先進事例の基礎分析-」，共同研究者：長宗武司(研究代表者：岩淵泰).

その他

- 1) 長宗武司，福武幸世，土井英子，福田秀之：2022 年度学長配分研究課題「新見市の地域経済構造及び，新見公立大学が地域経済に与える経済的影響に関する実証分析」.
- 2) 八重樫牧子，高月教恵，小藤信子，長宗武司：2022 年度学長配分研究課題「新見市就学前親子の居場所」に関するニーズ調査」.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 長宗武司: 地域経済学の概説・新見市の地域産業関連構造について. 新見市地域おこし協力隊「フリートーク」主催事業, NiU 新見駅西サテライト, 2022. 7. 26.
- 2) 長宗武司: 大学生のまちづくり -実践者から教育者へ-. 新見ふるさと塾21, 伯備, 2023. 3. 16.

役職

- 1) 独立行政法人 経済産業研究所 RA

その他

- 1) 唐松地区地域運営組織連携事業(SA 事業).
 - ・唐松チューリップ祭り. 唐松市民センター, 2022. 4. 10.
 - ・唐松チューリップ祭り後の球根掘り交流事業. 唐松市民センター, 2022. 5. 15.
 - ・唐松チューリップ祭りへ向けた畑作業. 唐松市民センター, 2022. 10. 29, 11. 5.
- 2) 下熊谷地区地域運営組織連携事業(SA 事業).
 - ・花桃公園祭り. 下熊谷地区花桃公園, 2022. 4. 17.
 - ・下熊谷地区いきいきサロン(SA 主催回). 旧下熊谷地区小学校, 下熊谷地区集会場, 2022. 6. 25, 8. 6, 12. 3, 2023. 1. 21.
- 3) 草間地区地域運営連携事業(SA 事業).
 - ・SA 草間体験ツアー, 草間台エコミュージアム他, 2023. 2. 5.
- 4) 学生版鳴滝塾(SA 事業). 新見公立大学, 2022. 7. 30.
- 5) NiU 新見駅西サテライト見学会・映画イベント(SA 事業), NiU 新見駅西サテライト, 2023. 1. 22.
- 6) 鳴滝祭 SA 地域活動紹介ブース出展(SA 事業). 新見公立大学, 2022. 5. 21.
- 7) フリーペーパー・なるたき配布式(SA 事業). 新見市商工会議所, 2022. 4. 12.
- 8) むすびの会主催事業(福武教育文化振興財団・2022 年度教育文化助成事業).
 - ・第2回むすびの場交流会. NiU 新見駅西サテライト, 2022. 4. 24.
 - ・第3回むすびの場交流会. NiU 新見駅西サテライト, 2022. 10. 23.

- ・2021 年度福武教育文化振興財団・活動報告会. NiU 新見駅西サテライト, 2022. 11. 26.
- 9) LINKtopos 全国公立大学学生大会. 福知山公立大学, 2022. 8. 31-9. 2.
 - 10) 地域経済プロジェクト・新見駅周辺まちづくりプロジェクト(SA 事業).
 - ・にいみマスキングプレイス(新見市都市整備課委託事業・株式会社新見まちづくりカンパニー共催事業), 2023. 1. 29.
 - ・新見駅周辺まちづくりプラットフォーム構築に向けた勉強会. 新見駅前交流センター, 2023. 1. 30.
 - 11) 新見高校仰高タイム(GT)への参加・助言・支援(新高会事業). 新見高校, 2022. 10. 19.
 - 12) 山陽新聞社・吉備の環プロジェクト. 井倉洞, 2022. 6. 19.
 - 13) 岡山デスティネーションキャンペーン事業. 新見駅, 2022. 7. 2.
 - 14) 交通安全街頭查察, 新見インター前交差点, 2022. 8. 27.
 - 15) 新見市立図書館朗読会・及びNHK 岡山放送局アナウンサーによる勉強会. 新見中央図書館, 2022. 11. 26.

研究員 河田 恵子

教育活動

専門分野

公衆衛生看護学, 災害看護学

その他の教育活動

1) 本学における活動

(保健室業務)

- ・全学生への健康診断
- ・保健指導の実施
- ・新入生対象の健康教育講演会の企画・運営
- ・本学の保健リスク管理
- ・本学の感染症対策
- ・保健管理センター会議の運営
- ・カウンセリング事業の実施
- ・冊子「感染症の予防と対策」の改訂

(地域共生推進センター)

- ・鳴滝塾VIの企画・運営
- ・NiU 駅西サテライト発達支援センターなごみの事業における企画・運営

研究活動

学術論文

- 1) 河田恵子, 黒河葵, 下平耕司, 宮本陽子, 吉尾 浩美, 内田みどり, 樋口裕二, 小田 慈: A 大学保健室における学生メンタルヘルスケア実施状況についての検討と今後の課題, 新見公立大学紀要第 43, 171-176, 2022.

学会発表

- 1) Yuko Ida, Mayumi Okuyama, Aiko Tanaka, Daiji Araki, Keiko Kawata, Yukae Shionoya, Nobuko Mera, Kohji Murata: A Longitudinal Study of Changes in Cognitive Function for the Prevention of MCI in Community Elders, 26th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2023.
- 2) Aiko Tanaka, Keiko Kawata, Yuko Ida, Yukae Shionoya, Daiji Araki, Nobuko Mera, Mayumi Okuyama, Kohji Murata, Changes in Bone Density and Motor Function of Elderly Residents Before and After the COVID-19 Pandemic, 26th East Asian Forum of Nursing

Scholars 2023, Tokyo, Japan.

外部資金獲得状況

- 1) 令和2年度～令和5年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C) 研究課題「性差に着目した地域高齢者の認知機能低下に関する新たな早期発見指標の開発」, 課題番号 20K11037, 研究分担者: 河田 恵子.

社会的活動

講演・研修会

- 1) 河田恵子: 大学生の健康管理について, 健康教育講演会, 新見公立大学地域共生推進センター講堂, 2022. 5. 11.

その他

- 1) NiU 駅西サテライト発達支援センターなごみにおける発達相談, 発達障害の特性や不登校に関する保護者からの相談, 2022. 5～2023. 3.
- 2) NiU 駅西サテライトの内覧会, 2023. 5. 10.
- 3) NiU 駅西サテライトにおける地域関係機関における交流会, NiU 新見駅西サテライト内スタジオラウンジ, 2022. 7. 5, 10. 19, 2023. 3. 23.
- 4) 岡山市中区平井地区 健康測定, 東山公民館 2022. 9. 5, 9. 6, 2023. 3. 27, 3. 28 .
- 5) 岡山マラソン救護ボランティア, シティライトスタジアム, 2022. 11. 13.
- 6) 新見市障害者自立支援協議会児童支援部会, 新見市障害者地域活動支援センター, 2022. 10. 26, 2023. 3. 7.
- 7) 小児精神科医師による発達相談, 発達支援センターなごみ, 2022. 5～10 月.
- 8) 市内小中学校教員との合同事例検討会, 発達支援センターなごみ, 2022. 11. 24.
- 9) 鳴滝塾VI「子どもの生活リズム～学校に行けない子どもたち～」, 地域共生推進センター棟講堂, 2022. 12. 3.
- 10) 不登校等支援実務者連絡会議, 新見市地域福祉センター, 2023. 2. 20.
- 11) 「行きしぶり・不登校等の親の会」プレ開催, 発達支援センターなごみ, 2023. 3. 8.
- 12) 「行きしぶり・不登校等の親の会」立ち上げのための支援検討会, 発達支援センターなごみ, 2023. 3. 29.

4. 地域及び社会貢献を含む諸活動

1) 新見市との連携

新見市は、新見市版地域共生社会の実現に向け、「小規模多機能自治による地域共生社会の基盤構築」と「大学を活かしたまちづくり」を2本柱として各事業に取り組んでいる。

本学は、令和4(2022)年度地域共生推進センター会議等において新見市総合政策課大学連携推進室(以下「推進室」という。)と協議して、次の事業に取り組んだ。(推進室集計外は不掲載。)

◎令和4(2022)年度実績

単位：件

番号	申出日		新見市					大学						具体的な連携内容 (一部略称・系統表示)	
	月	日	部署 (一部略称)	目的				申出	部署				目的		
				委嘱	派遣	参加	実施		保育	看護	地福	その他	派遣		受入
1	4	1	介護保険課	○				▷			○				権利擁護委員会委員
2			健康医療課		○			▷			○				COVID-19対策アドバイザー
3		6	総合政策課	○				▷				地域共生大 学			市民協働推進審査会委員
4		13	〃				○	▷							男女共同参画川柳作成
5		18	介護保険課		○			▷			○				認知症サポーター養成講座講師
6		21	学校給食C		○			▷			○				COVID-19予防対策研修会講師
7	5	19	健康医療課					▷	◁			教務課	○		「地域保健指導論Ⅱ」講師
8		23	〃		○			▷			○				愛育委員研修会講師
9		27	介護保険課	○				▷			○				地域包括支援センター運営協議会委員
10		30	学校教育課					▷	◁		○		○		「学校保健」講師
11	6	1	環 境 課	○				▷				大 学			環境保全審議会委員
12		3	生涯学習課		○			▷		○					青少年育成センター研修会講師
13		6	学校教育課					▷	◁		○		○		「養護実習」講師
14		7	介護保険課		○			▷			○				在宅医療系協議会アドバイザー
15		20	〃			○		▷			○				キャンパスマイト連絡会参加
16		29	学校給食C		○			▷				副学長			栄養教諭等研修会講師
17	7	11	健康医療課		○			▷	◁		○				愛育委員(哲西支部)研修会講師
18		12	消 防 署					▷	◁	○		○		○	「普通救命救急Ⅰ」講師
19			消 防 本 部			○		▷				学生全体			学生機能別団員加入説明会
20			総合政策課					▷	◁			○			「地方行政インターシップ」受講生受入
21		15	〃	○				▷				○			まちづくり審議会委員
22	8	2	教育総務課		○			▷			○				教育事務管理等点検・評価委員
23			健康医療課		○			▷			○				愛育委員(大佐支部)研修会講師
24			〃		○			▷			○				愛育委員(新見北支部)研修会講師
25		5	消 防 署					▷	◁		○		○		「普通救命救急Ⅰ」講師
26			健康医療課		○			▷			○				愛育委員(井倉支部)研修会講師
27		17	消 防 本 部					▷	◁			教務課	○		「地域防災演習」講師
28	9	7	総合政策課					▷	◁			○			「公共政策論」講師
29		8	都市整備課		○			▷				地域共生			駅周辺社会実験イベント企画運営員
30		15	学校教育課					▷	◁		○		○		「教職実践演習(養)」講師
31			図 書 館					▷	◁		○		○		〃
32		28	介護保険課				○	▷				大 学			キャンパスマイト研修会開催
33		30	健康医療課				○	▷				〃			大佐ふるさとまつりボランティア参加
34			〃					▷	◁			〃	○		「にいみの保健医療福祉」講師
35			学校教育課					▷	◁			〃	○		〃
36			介護保険課					▷	◁			〃	○		〃

番号	申出日		新見市					大学					具体的な連携内容 (一部略称・系統表示)			
	月	日	部署 (一部略称)	目的				申出	部署						目的	
				委嘱	派遣	参加	実施		保育	看護	地福	その他			派遣	受入
37	10	7	新見保育所						△				大 学	○		保育所・ター養成講座講師
38			子育て支援課						△				〃	○		〃
39			〃		○								〃			入園・入所のおはなし会講師
40	11		危機管理室			○							〃			避難所開設・運営訓練学生参加
41	31		健康医療課		○								〃			認定こども園園長研修会講師
42	11	21	総合政策課			○							〃			市民アンケート参加
43	28		介護保険課	○									〃			介護認定審査会委員
44	12	5	林業振興課			○							〃			つみき製作ボランティア参加
45			健康医療課						△		○			○		「公衆衛生看護学概論」講師
46	26		〃						△				教務課		○	保健師実習生受入
47	27		子育て支援課						△				〃	○		「入園入所のお話会」講師
48	1	17	健康医療課		○						○					愛育委員(哲多支部)研修会講師
49	18		福祉課	○							○					障害支援区分認定審査会委員
50	2	8	総務課										大 学			情報公開・保護系審議等委員
51	3	20	都市整備課	○							○					建築審査会・公衆衛生担当委員
計			18 部署	8	16	5	3	33	18	2	21	5	24	16	1	

2) 地域共生推進センター

(1) 地域共生推進センター鳴滝塾

◎令和4(2022)年度実績

回数	日時	内容
V	8/6(土) 14:00～ 16:00	講演:「中国山地 和牛のふるさと ～たたら製鉄の繁栄にも貢献～」 【講師】島根大学法文学部准教授 板垣貴志氏 パネルディスカッション:「日本最古の蔓・千屋牛の祖 竹の谷蔓牛とたたら製鉄」 【パネラー】井石和美(竹の谷蔓牛活用推進協議会事務局長) 林 陽介(市民団体「つなぐ-TUNAGU」代表) 前原陽一(市民団体「つなぐ-TUNAGU」副代表) 橋本正純(新見庄たたら学習実行委員長) 【アドバイザー】板垣貴志(島根大学法文学部准教授) 【コーディネーター】郷木 章(NiU 地域共生推進センターCD) 場所:地域共生推進センター棟 講堂 参加:62名
VI	12/3(土) 14:00～ 16:00	特別講演:「子どもの生活リズム」～学校に行けない子どもたち～ 【講師】岡山大学病院小児医療センター 小児心身医療科 科長 岡田あゆみ先生 場所:地域共生推進センター棟 講堂 参加:110名

(2) 市民公開講座

昭和57(1982)年から実施している市民公開講座の令和4(2022)年の開催は、新型コロナウイルス感染症予防に努め、9・10月時期に計4回を開催し、受講者数は延べ65名であった。

コロナ禍における「心と身体を整える健康講座」を共通テーマに掲げ、講師をセンター会議にて選任した講師が、それぞれテーマを設定し実施した。

公開講座の開設情報は、①新見市市報への情報の掲載、②新見公立大学ホームページでの情報公開、③公開講座のポスターで一般市民に周知した。開催時間、会場、対象等については、以下のとおりである。

- ◆ 時間：13時30分～15時00分[毎回]
- ◆ 会場：NiU 新見駅西サテライト（駅西サテライト）、新見市学術交流センター（学術）
- ◆ 対象：学びたい人はどなたでも
- ◆ 申込期限：随時受け付けます
- ◆ 受講料：1,000円（1講座のみの受講の場合は、1講座300円）

◎令和4(2022)年度実績

回数	日付・会場	テーマ・参加者数	講師
第1回	9/16(金) 駅西サテライト	対話をかく力 ～頭も身体もつかう「かきかた」～ 新聞記事を持ち寄り、気になる部分を可視化しよう！ 参加：17名	北浦 菜緒 教育コーディネーター/ グラフィックデザイナー 福武 幸世 本センター研究員
第2回	9/30(金) 学術	時代を反映して変化する音楽 クラシックからポップスまで 参加：15名	竹下 可奈子 本学健康保育学科講師
第3回	10/14(金) 駅西サテライト	健口講座～口からはじめる健康寿命の延伸～ 参加：15名	栗本 一美 本学看護学科教授
第4回	10/21(金) 駅西サテライト	上手な病院のかかり方 参加：15名	柳迫 三寛 本学地域福祉学科助教

各回ともに、地域共生推進センター委員が準備運営等を行い、担当者を2名以上配置し、第4回目の講座終了時に、受講者に終了証を授与した。

講座毎に実施する受講者アンケートから、講演に対する評価が高いこと、満足度が高いこと、時間も適当であること、来年度も参加する意向が強いことがわかった。

令和5(2023)年度新見公立大学市民公開講座は、テーマを決定して令和5(2023)年9月、10月に計4回の講座を実施する予定とすることを決めている。

(3) 他大学との交流

① 名寄市立学との交流

◎令和4(2022)年度実績

日時	形式(場所)	内容	名寄市立大		新見公立大	
			学生	ほか	学生	ほか
10/24(月) 18:30～19:30	We b (会議室B)	「2022年度なになに交流会」へ向けての第1回学生企画会議	6	2	9	2
12/12(月) 18:30～19:30	〃	〃 第2回学生企画会議	7	2	10	1
1/16(月) 18:30～20:00	〃	「2022年度なになに交流会」開催	5	2	11	2

② L I N K t o p o s

LINK topos（リンクトポス：全国公立大学学生大会）は、全国の公立大学の学生活動（社会貢献活動）のネットワーク組織で、東日本大震災の際の学生らによるボランティア活動をきっかけに始まったもの。

本学も、本学の学生が全国的な学生活動に参加できるよう支援しきており、令和4(2022)年度においては、3年度ぶりに対面により幹事校で開催され本学の学生が積極的に参加することで、全国に本学の魅力や活動、学生の思いなどの情報発信を行うことができた。

◎令和4(2022)年度実績

期間	場所	内容	参加者
8/31(水) ～ 9/2(金) 3日間	福知山公立大学 (京都府福知山市)	福知山市内のまちづくり視察地域、貢献活動のポスター発表、 ワークショップへの参加、 各大学地域貢献活動情報共有(教員)	・運営委員2名 徳山, 和田 ・SA 2年3名 平松, 荒川, 池本 ・SA 1年4名 難波, 中塚, 小塚, 河本 計9名 ・引率教員1名 長宗
4～3月 (12か月)	We b	大会運営委員による運営会議	・運営委員2名 週1回程度

(4) NiU 新見駅西サテライト活動

「人と地域を創る新見公立大学」として、新見駅西学生アパート1階に令和4(2022)年度に開設した「NiU 新見駅西サテライト」(以下「サテライト」という。)で地域貢献活動を以下のとおりで実施した。

◎令和4(2022)年度実績

内 容
○オープニングセレモニー、内覧会 日時：R4(2022)年4月17日(日)/参加(オープニングセレモニー)：来賓38人、一般市民7人、教職員21人、SA10人、学生5人(神楽：地域福祉学科)/(内覧会)：①11:00～11:30 36人 ②11:30～12:00 4人 ③12:00～12:30 3人 ○愛称お披露目会・表彰式 日時：R4(2022)年4月11日(月)12:40～13:10/場所：地域共生推進センター棟1F コミュニティカフェ ○「えきよこ」入居者ミーティングの開催(自治・防火組織作り) 日時：R4(2022)年4月11日(月)18:20～/場所：地域共生推進センター2F5202 講義室/参加：83人(入居者78人、職員5人)/内容：えきよこの運営及びフロア委員の選出について ○第1回トライアルイベント ～親子でボードゲーム～ 日時：R4(2022)年4月17日(日)13:30～15:00/参加：イベント来場者20人、PROJECT学生9人、教職員6人/内容：ボードゲーム、学生手作りのカード遊び ○第2回トライアルイベント(第2回むすびの場交流会) ～竹キャンドルに明かりを灯し、新見の歴史に思いを馳せよう～ 日時：R4(2022)年4月24日(日)13:00～16:00/場所：NiU 新見駅西サテライト/参加：イベント来場者23人、むすびの会学生16人、教職員6人/内容：竹キャンドルづくり、たまがきのお話 ○第3回トライアルイベント ～子どもの日「元気な子プロジェクト」親子でかしわもちとこいのぼりバックを作ろう！～ 日時：R4(2022)年5月1日(日)10:30～12:30/参加：イベント来場者23人、PROJECT学生13人、教職員10人/内容：かしわ餅作り、鯉のぼりバック作り ○トライアルイベントⅡ(第4回トライアルイベント) ～ようこそ！きよだいすごろくの部屋～ 日時：R4(2022)年9月18日(日)11:00～16:00/参加：イベント来場者39人、おかみさん会4人、PROJECT学生6人/内容：学生手作りのきよだいすごろく遊び ○第3回むすびの場交流会 新見で秋を満喫しませんか？ ～ほのぼの旅行気分で全国各地の名産品をゲットとしよう！～ 日時：R4(2022)年10月23日(日)10:30～12:00/参加：イベント来場者30人、むすびの会学生29人、教職員6人 ○駅西サテライト管理アルバイト説明会の実施 日時：R4(2022)年5月24日(火)18:30～19:30/参加：学生27人、職員4人/内容：駅西サテライトの管理についての説明 ○新見おかみさん会調理器具等贈呈式 日時：R4(2022)年7月12日(火)17:15～18:00/参加：新見おかみさん会5人、学生3人、教職員

8人/内容：キッチンで使用する調理器具等の寄贈

○えきよこフロア運営委員会の実施

日時：R4(2022)年6月30日(木)18:45～19:30/場所：駅西サテライト スタディラウンジ「ゆめラウ」/内容：防火管理、利用状況、サテライトへの要望及び地域との交流等について/参加：学生8人、職員3人

○ストレッチ・ダンス講座NiU(ニウ)

講座名：親子【未就学児(2～6歳児)】と保護者で行うストレッチ・リズムダンス講座

日時：第1回 R4(2022)年8月13日(土)11:00～11:50(参加：8人)/第2回 R4(2022)年8月27日(土)11:00～11:50(参加：2人)/第3回 R4(2022)年9月10日(土)11:00～11:50(参加：4人)/第4回 R4(2022)年9月24日(土)11:00～11:50(参加：6人)/第5回 R4(2022)年10月22日(土)11:00～11:50(参加：2人)/第6回 R4(2022)年11月12日(火)11:00～11:50(参加：2人)/第7回 R4(2022)年11月26日(火)11:00～11:50(参加：2人)/内容：保護者のためのミニ講座(座学)、手遊び、楽器遊び、運動遊び、ストレッチ・リズムダンス

○駅西サポ(退公連)とちびデポとの協働事業

・第1回みんなのひろば

日時：R4(2022)10月29日(土)13:30～15:30/内容：・新見の宝もの知ってる？「カルスト台地の鍾乳洞の魅力」/・「飛べ！オニヤンマ」を作ってみよう！/参加：親子17人、退公連4人、ちびデポ学生6人、教職員3人 計30人

・第2回みんなのひろば

日時：R4(2022)11月26日(土)13:30～15:30/内容：小学生から80代の方が参加し、しめ縄づくり・ミニ門松づくりを実施/参加：一般(親子、高齢者)29人、退公連4人、一般ボラ5人、ちびデポ学生4人、教職員3人 計45人

・第3回みんなのひろば

日時：R5(2023)2月25日(土)13:30～15:30/内容：エアーカーリング、ストロンボーンづくりと多世代交流/参加：一般(親子、高齢者)28人、退公連8人、ちびデポ学生5人、教職員3人計44人

○第6回NiU新見駅西サテライトPROJECTワークショップ

～あなたの夢を叶えるときがやってきた～

日時：R4(2022)年5月17日(火)18:30～20:30/場所：新棟3F グループスタディールーム/参加：ファシリテーター2人、関係団体9人、学生26人、教職員14人/内容：トライアルイベントの振り返りと今後の取り組みについて

○第7回NiU新見駅西サテライトPROJECTワークショップ

日時：R4(2022)年12月12日(月)18:30～20:30/場所：新棟3F グループスタディールーム/参加：ファシリテーター2人、関係団体7人、学生21人、教職員10人/内容：サテライトの理想のあり方と今後のワークショップについて

○駅前連合町内会イルミネーションの点灯式

日時：R4(2022)年12月17日(土)18:00～19:00/場所：新見駅前ロータリー及びえきよこアパート
内容：新見駅前ロータリー及びえきよこアパートイルミネーション点灯/参加：学生1人、教員1人(式参加)

○NiU新見駅西サテライト見学会・映画イベント

日時：R5(2023)1月22日(日)16:30～18:30/内容：本学学生を対象に駅西サテライトの紹介と映画「余命10年」の上映/参加：学生35人、SA8人、教職員5人

(5) NiU 新見駅西サテライト・発達支援センター

①相談活動

相談活動は、学習面や行動面等に支援ニーズを有する子供の保護者や教員を対象として行われた（1回あたり 60 分程度）。相談活動の件数（2022/6/3～2023/3/31）は、71 件であった。相談方法は、対面（発達支援センター（なごみ））が 58 件、対面（対応者が学校や学童を訪問）が 4 件、電話が 8 件、mail が 1 件であった。

相談活動における取組一覧 令和 4(2022)年度

単位：人数(人)、日数(日)、回数(回)

実施				相談者数					対 応 者 数	方法・場所			取組件数			
月	日にち	日 数	回 数	母 親	子 供	父 親 等	学 校 等	計		な ご み	学 校 等	電 話 等	全 般	生 活	不 登 校	学 業
6	3、6、20、22	4	4	4	4	1		9	14	4			3		1	
7	4、21	2	2	2	2			4	4	2			1	1		
8	1、10、19、22、31	5	7	6	6		1	13	11	4		3	1		3	3
9	7、10、16、28、29	5	5	4	2		1	7	7	2		3	2	2		1
10	4、5、14、15、20、 25、28	7	8	7	8	2	2	19	14	6	1	1	1	2		5
11	1、4、5、15、18、 22、29、30	8	10	7	8	3	4	22	20	8	2		2	6		2
12	2、9、15、21、22	5	5	5	5			10	12	5				2		3
1	4、11、17、18、20、 27	6	7	7	6			13	15	7				2		5
2	1、2、3、4、8、10、 15、17、22、24、 27、28	12	12	12	12	1		25	16	11		1	1	3		8
3	1、7、9、10、15、 17、22、23、29	9	11	9	7	2	3	21	15	9	1	1	3	1		7
計		63	71	63	60	9	11	143	128	58	4	9	14	19	4	34

※相談者数 父親等：父(8)、祖父(1) 学校等：校長(3)、教頭(2)、担任(3)、教員、学校関係者(2)、学童スタッフ(1)

※対応者数 岡本(71回)、高橋(40回)、河田(1回)、福武(1回)、学生(9回で合計 15人)

※方法・場所 なごみ：NiU 新見駅西サテライト発達支援センター 電話等：電話(8回)、メール(1回)

※取組内容 全般：調査(11回)、支援(2回) 生活：対人(10回)、家庭(8回)、学童(1回)
学業：学校(1回)、学習(32回)、進学(1回)

②長期休業企画！ みんなで一緒に学ぼう！― 宿題大作戦！―

全9回（夏季4回、冬季2回、春季3回）にわたり、特別支援学校教諭免許状取得を志す健康保育学科学生が市内小学生を対象とした夏季休業中の学習支援を行った。参加児童は、休業中に提示された国語や算数の宿題を持参し勉強をした。学生は、児童から宿題に関する質問を受けると、問題を解く手がかりを示し根気強く丁寧にに関わり、正解すると称賛したりしながら、児童の学習意欲を高めていた。

「長期休業企画！ みんなで一緒に学ぼう！― 宿題大作戦！―」参加者数

時期	回数	日にち	児童(人)	学生(人)
夏季	第1回	7月27日	4	6
	第2回	8月3日	2	7
	第3回	8月17日	9	3
	第4回	8月24日	3	4
冬季	第1回	12月27日	10	4
	第2回	12月28日	13	2
春季	第1回	3月28日	11	5
	第2回	3月29日	8	5
	第3回	3月30日	9	5

③NiU 新見公立大学発達支援センター研修講座シリーズ1

NiU 新見公立大学発達支援センター研修講座シリーズ1は、2022年10月から12月の6回にわたり、保育士、教員等、特別な教育的ニーズを有する子供に携わる支援者を対象に、特別支援教育や応用行動分析の基礎・基本に関する研修を行った。

NiU 新見公立大学発達支援センター研修講座シリーズ1の内容

- ① 令和に求められる特別支援教育（1）（担当：岡本邦広）
「障害者の権利に関する条約」以降の特別支援教育に関する制度、ならびにインクルーシブ教育システム構築の実現に向け、理解しておくべき事項を整理した。
- ② 令和に求められる特別支援教育（2）（担当：岡本邦広）
令和に提出された報告等から、特別支援教育を充実させるために必要な視点を整理した。
- ③ 行動の原理（担当：高橋 彩）
行動の直後に好子や嫌子といったものが出現する、あるいは出現しないことによって、人の行動は増えたり減ったりすることを説明した。
- ④ 行動の機能（担当：高橋 彩）
他者からの注目、自己刺激、嫌悪事態からの逃避、あるいは、ものや活動の要求を獲得するために、離席行動や私語等の行動が見られることを説明した。
- ⑤ 望ましい行動を増やす方法（担当：高橋 彩）
分化強化、課題分析、トークン・エコノミーシステム、クラスワイドな支援、機会利用型指導法等の普段の実践で活用できる技法を紹介した。
- ⑥ 支援事例検討（担当：岡本邦広）
上記①から⑤の知識を活用し、実践現場で見られる課題解決に向け、参加者で議論を行った。

NiU 新見公立大学発達支援センター研修講座シリーズ1 参加者一覧

回	1	2	3	4	5	6
期日	10/14	10/28	11/4	11/18	12/2	12/9
保育所	1	4	3	2	1	1
小学校	2	3	3	3	3	3
中学校	1	2	4	3	2	1

高等学校	1	2	2	2	1	1
特別支援学校	2	1	0	0	1	1
療育機関	2	2	1	1	1	0
合計	9	14	13	11	9	7

さらに、NiU 新見公立大学発達支援センター研修講座シリーズ1 参加者対象に、2 回のフォローアップを実施した。その内容は、NiU 新見公立大学発達支援センター研修講座シリーズ1 で提供した特別支援教育や応用行動分析の知識・技能を活用し架空事例の問題解決を目的とした演習や教員との情報交換を行った。

1 回目 2023 年 2 月 3 日（金）参加者 3 名

2 回目 2023 年 3 月 10 日（金）参加者 2 名

④NiU 駅西サテライトにおける地域関係機関の交流会

こどもの健やかな発達を支援するための大学の目指す姿を発信するとともに、地域の関係機関がどんな役割を担っているのかそれぞれの役割を把握し、連携・協働できる関係づくりや顔の見える関係づくりの場の提供を行った。

第1回 令和4年7月5日（火）参加者 24名

・各関係機関の紹介、どんな役割を担っているか/グループ討議「地域のこどもの健康課題は何か、地域の強みは何か、今後どうあるべきか」

第2回 令和4年10月19日（水）参加者 16名

・学校教育課、特別教育推進センターによる新見市の現状についての講話/グループ討議「不登校問題についてめざすべき姿に向けて、何ができるか、今後どんな取り組みが必要か」

第3回 令和5年3月22日（水）参加者 24名

・講話「子どもの生活リズム～学校に行けない子どもたちⅡ～（仮題）」岡山大学病院小児医療センター小児心身医療科 科長 岡田あゆみ 先生

参加関係団体：新見医師会、市健康医療課、市福祉課、市子育て支援課、市学校教育課、特別教育推進センター、市社会福祉協議会、児童発達支援関係者、保健所、大学

⑤発達支援センターなごみ 小児精神科医師による相談

発達障害や不登校など課題を有する子供とその保護者を対象に、毎月第2、4月曜日に小児精神科による相談を行ってきた。/令和4年度 相談件数 実3件、延べ11件

⑥小中学校教員との事例検討会

市内A小学校とB中学校で事例検討会、今後の方向性の検討、学校間で顔の見える関係づくりを構築し、個から集団へと展開していけるよう、2事例の検討、意見交換を行った。/令和4年11月24日（木）小・中学校の担任、教頭、特別支援コーディネーター、大学保健師の計6名

⑦行きしぶり・不登校等の親の会

行きしぶり・不登校・ひきこもり等の保護者が、経験者と話をすることで気持ちを整理したり、本人に寄り添うヒントを見つける。/プレ相談：令和5年3月8日（水）相談者 4名

今後の開催についての検討会：令和5年3月29日（水）6名（保健所保健師、市保健師、学校教育課教員、社協精神保健福祉士、親の会事務局、大学保健師）

新見市障害者自立支援協議会児童支援部会

① トータルライフ支援プロジェクト（就学前後の関係機関連携強化事業）、②ペアレント・トレーニング事業、③保護者向け研修会、④巡回相談、⑤出張こそだて応援講座、⑥発達障害者支援連携会議、⑦特別支援教育関係者支援者向け研修会、⑧医療的ケア児者支援WGの8つのテーマに応じて療育関係者、民生委員児童委員、教育機関、行政など情報共有や連携を図り、社会資源の開

発・改善、障害児支援などについて協議しており、2回目からは大学保健師として構成メンバーとなった。令和5年度からは具体的な活動に参加する。

第2回目 令和4年10月26日(水)

第3回目 令和5年3月8日(水)

(6) 地域との交流

① 地域共生推進センター スチューデント・アシスタント(SA)活動

地域共生推進センタースチューデント・アシスタントとして、部門別に地域貢献活動を実施した。

<第1部門SA活動：地域交流部門>

内容
○下熊谷地区地域運営組織との連携等について ・下熊谷花桃公園祭り 日時：R4(2022)年4月17日(日)/場所：下熊谷地区・花桃公園/内容：運営スタッフとして参加 参加：SA9人、教職員1人 ・第1回いきいきサロン 日時：R4(2022)年6月25日(土)10:00~12:00/場所：旧下熊谷小学校/内容：サロンについての情報交換/参加：SA3人、教職員1人 ・第2回いきいきサロン 日時：R4(2022)年8月6日(土)10:00~12:00/場所：下熊谷集会場/内容：健康寿命についての講話、リズム体操(講師：SA)/参加：地域住民12人、SA13人、教職員2人 ・第5回いきいきサロン 日時：R4(2022)年12月3日(土)10:00~12:00/場所：下熊谷集会場/内容：エコテープでしめ縄づくり(講師：SA)/参加：地域住民10人、SA15人、教職員2人 ・第6回いきいきサロン 日時：R5(2023)年1月21日(土)10:00~12:00/場所：下熊谷集会所/内容：お正月！百人一首大会(講師：SA)/参加：地域住民12人、SA7人、教員1人
○唐松地区地域運営組織との連携等について ・唐松チューリップ祭り 日時：R4(2022)年4月10日(日)/場所：唐松市民センター/内容：子供向けゲームコーナーのブースの出店、運営スタッフ/参加：SA16人、教職員3人 ・唐松チューリップ祭り後の球根堀り交流事業 日時：R4(2022)年5月15日(日)/場所：唐松市民センター/内容：チューリップの球根堀り/参加：SA7人、教職員2人 ・唐松チューリップ祭りへ向けた畑作業 日時：R4(2022)年10月29日・11月5日・12日・19日(計4回)/場所：唐松市民センター
○草間地区地域運営組織との連携等について ・SA草間体験ツアー 日時：R5(2023)年2月5日(日)/内容：草間地区現地踏査、草間地区活動紹介、活性化の意見交換・提案/参加：草間カルスト里山の会5人、SA15人、教職員2人

<第2部門SA活動：共生社会推進啓発・産学官民連携部門>

内容
○学生版鳴滝塾 日時：R4(2022)年7月30日(土)12:30～14:00/場所：地域共生推進センター棟1階講堂 参加：計101人（一般43人）
○第7回NiU新見駅西サテライトPROJECT ワークショップ 日時：R4(2022)年12月12日(月)18:30～20:30/場所：新棟3F グループスタディールーム 参加：40人
○SAスキルアップ研修 ・文章表現力研修 講師：北浦 菜緒先生（教育コーディネーター/グラフィックデザイナー）/日時：R4(2022)年12月21日(水)15:00～16:30/場所：新棟3F グループスタディールーム/参加：SA7人、教職員4人 ・ファシリテーション力研修 講師：高杉公人先生（地域福祉学科教授）/日時：R5(2023)年1月18日(水)・2月8日(水)/場所：新棟3F グループスタディールーム/参加：1月18日(水)SA19人、教職員3人/2月8日(水)/ SA12人、教職員3人
○NiU新見駅西サテライト見学会・映画イベント 日時：R5(2022)年1月22日(日)16:30～18:30/場所：新見駅西サテライト/内容：本学学生を対象に駅西サテライトの紹介と映画「余命十年」の上映/参加：学生35人、教職員5人
○地域経済プロジェクト・新見駅周辺まちづくりプロジェクト ・「にこみマスキングプレイス」(市都市整備課委託事業・株式会社新見まちづくりカンパニーと共催) 日時：R5(2023)年1月29日(日)10:00～15:00/場所：新見駅周辺（駅前アーケード、ら・くるっと(バス)、新見駅構内）/内容：マスキングテープアート/参加：一般180人（55組）、新見まちづくりカンパニー5人、市役所3人、SA19人、教職員3人/・新見駅周辺まちづくりプラットフォーム構築に向けた勉強会/日時：R5(2023)年1月30日(日)10:00～12:00/参加：SA2人、教職員2人

<第3部門SA活動：広域連携・情報発信部門>

内容
○フリーペーパー「なるたき Vol. 4」完成・配布式 日時：R4(2022)年4月12日(火)12:40～13:10/場所：新見市商工会議所/参加：学生6名、教職員3名
○フリーペーパー「なるたき Vol. 5」完成・配布式 日時：R4(2022)年11月1日(火)12:40～13:10/場所：共生高校/参加：学生4名、教職員3名
○フリーペーパー「なるたき Vol. 6」完成・配布式 日時：R5(2022)年2月28日(火)12:40～13:10/場所：げんき広場にいみ/参加：学生3名、教職員2名
○名寄市立大学との「2022年度なになにに交流会」へ向けての第1回学生企画会議（オンライン） 日時：R4(2022)年10月24日（月）18時30分～19時30分/参加：名寄 学生6名、教職員2名/新見 学生9名、教職員2名
○名寄市立大学との「2022年度なになにに交流会」へ向けての第2回学生企画会議（オンライン） 日時：R4(2022)年12月12日（月）18時30分～19時30分/参加：名寄 学生6名、教職員2名/新見 学生9名、教職員2名
○名寄市立大学との「2022年度なになにに交流会」（オンライン） 日時：R5(2023)年1月16日(月)/参加：名寄 学生5名、教職員2名/新見 学生11名、教職員2名

<むすびの会>

むすびの会の趣旨：子どもから高齢者までが気軽に集える居場所づくり (福武教育文化振興財団・2022年度教育文化助成事業)
○第2回むすびの会交流会 日時：R4(2022)年4月24日(日)13:00～16:00/場所：NiU 新見駅西サテライト/参加：イベント来場者23人、むすびの会学生16人/内容：竹キャンドルづくり、たまがきのお話
○第3回むすびの会交流会 日時：R4(2022)年10月23日(日)10:30～12:00/場所：NiU 新見駅西サテライト/参加：イベント来場者30人、むすびの会学生29人/内容：お宝流し、アロマソープづくり
○2021年度福武教育文化振興財団・活動報告会 日時：R4(2022)年11月26日(土)10:00～12:00/場所：NiU 新見駅西サテライト・スタディラウンジ/ 参加：むすびの会学生7人

<部門枠を越えたSA関係の取組・他部署との合同取組等 活動実績>

○OSA 全体会議（毎月開催）
○OSA リーダー会議（毎週開催）
○SNS を通じた情報発信 内容：Instagram「Web フリーペーパーなるたき」にて、SA活動を発信（年間32件投稿）
○OSA 研修（SA 初任者研修） 日時：R4(2022)年6月15日(水) 16:40～18:10/R5(2023)年1月27日(金) 18:30～20:00/内容：大学生によるまちづくり活動の意義、教育的効果についての講義/担当：長宗（地域共生推進センター研究員）
○まちづくりゼミナール（長宗ゼミ） 開講：後期13コマ開講（毎週火曜日放課後）/内容：まちづくりの基本スキル、情報収集法の講義、地域分析実習等/参加：SA27人（ゼミ生）/担当：長宗（地域共生推進センター研究員）
○鳴滝祭 SA ブースの開設 日時：R4(2022)年5月21日(土)・22日(日)/場所：地域共生推進センター棟1F コミュニティカフェ /内容：来場市民へ向けた、本学の地域活動の紹介、地域活動ニーズ調査
○山陽新聞社「吉備の環プロジェクト」 日時：R4(2022)年6月19日(日)/場所：井倉洞/内容：井倉洞の来訪者増加へ向けた意見交換・提案 参加：学生SA3名、教職員1名/
○岡山デスティネーションキャンペーン事業 日時：R4(2022)年7月2日(土)/場所：新見駅/内容：TWILIGHT EXPRESS 瑞風の出迎え、乗客のアテ

ンダント/参加：学生 16 名、教職員 3 名 ○オープンキャンパスでの SA 活動発表及び SA ブースの開設 日時：R4(2022)年 7 月 24 日(日)・8 月 7 日(日)・21 日(日)/場所：地域共生推進センター棟 1F イノベーションルーム/内容：本学の地域活動の紹介 ○福本公民館「新見公立大学へ行こう！ツアー」 日時：R4(2022)年 10 月 12 日(水) 9:50～13:10/内容：大学見学、学生との交流/場所：新棟講堂、地域共生推進センター棟 1F コミュニティカフェ、看護実習室、ビューラウンジ、NiU 新見駅西サテライト ○新見市立図書館朗読会・及びNHK 岡山放送局アナウンサーによる勉強会 日時：R4(2022)年 11 月 26 日(土)13:30～朗読会、15:30～学生対象勉強会/場所：新見中央図書館 ○「牛の聖地新見市を巡る～歴史探訪と聖地ロードの策定～」事業（ワークショップ） 日時：第 1 回 R4(2022)年 9 月 18 日(日)・第 2 回 10 月 16 日(日)・第 3 回 10 月 22 日(土)・第 4 回 11 月 20 日(土)・第 5 回 11 月 26 日(土)・第 6 回 12 月 10 日(土)・第 7 回 R5(2023)1 月 22 日(日)・第 8 回 2 月 12 日(日)/内容：ワークショップ、パンフレット作成/場所：駅前交流センター、新見中央図書館/所属学生：SA 7 名、職員 1 名

②「新高会」の活動推進

これまで実施してきた、本学在籍の新見高校卒業生と学長とが地域貢献に関する意見交換を行う「学長と語る会」を契機に、新見高校卒業生のさらなる活動推進を目的に、「新高会」が発足した。今年度は組織の体制づくりと活動方針の検討等、下記の通り活動を行ってきた。

開催日	内容
4 月 14 日(木) 18:30～20:00	新高会交流会・新入生歓迎会 出席者：新見高校出身学生 14 名、学長、地域共生推進センター関係委員 場所：地域共生推進センター棟 1F コミュニティカフェ
6 月 21 日(火) 18:30～20:00	新高会総会、公文学長から新見高校卒業生のみなさんへ（講話）
10 月 19(水)・21 日(金) 14:50～15:35	新見高校仰高タイム(GT)への参加・助言・支援 参加：10 月 19 日(水)4 名、21 日(金) 6 名
随時：右欄に記入 各 1 時間程度実施	全 8 回の役員会を実施 5/27(金)、6/21(火)、6/23(木)、7/29(金)、8/22(月)、12/19(月)、1/17(火)、2/27(月)

(7) 教員・学生の地域貢献活動

◎複数名での実施または学生を参加させた教員等活動 令和4(2022)年度実績

順	内容【詳細】・開催日【日数】・場所【詳細】 教員等氏名、学生参加延べ数(貢献区分) ➡ 対象者 人数
1	オープニングセレモニー 4/17 駅西サテライト 山内圭、学生5人(奉仕) ➡ 来賓、一般市民 42人
2	〃 【内覧会】 4/17 駅西サテライト 教職員21人、学生15人(奉仕) ➡ 来賓、一般市民 45人
3	第1回トライアルイベント【ボードゲーム、手作りのカード遊び】 4/17 駅西サテライト 福武幸世、学生9人(奉仕) ➡ 一般市民 20人
4	第2回トライアルイベント【竹かんづくり、たまがきのお話】 4/24 駅西サテライト 長宗武司、学生16人(奉仕) ➡ 一般市民 20人
5	第3回トライアルイベント【しお餅・鯉のぼりバック作り】 5/1 駅西サテライト 長宗武司他教職員10人、学生6人(奉仕) ➡ 一般市民 43人
6	第4回トライアルイベント【ようこそ!きょだいのすごろくの部屋】 9/18 駅西サテライト 福武幸世、学生6人(奉仕) ➡ 一般市民 23人
7	第3回むすびの場交流会【参画】 10/23 駅西サテライト 長宗武司、福田秀之、吉田裕明、学生29人(奉仕) ➡ イベント来場者 30人
8	福武教育文化振興財団・活動報告会【オンライン報告】 11/26 駅西サテライト 長宗武司、学生7人(奉仕) ➡ 報告会参加者
9	見学会・映画イベント【参画】 1/22 駅西サテライト 福武幸世、吉田裕明、福田秀之、長宗武司、学生9人(奉仕) ➡ 学生 35人
10	「みんなで一緒に学ぼう!宿題大作戦!」【夏休み企画!】 7/27~8/27【4日】 駅西サテライト 岡本邦広、高橋彩、学生19人(奉仕) ➡ 市内小学生 18人
11	〃 【冬休み企画!】 12/27・28【2日】 駅西サテライト 岡本邦広、高橋彩、学生6人(奉仕) ➡ 市内小学生 23人
12	〃 【春休み企画!】 3/28・29・30【3日】 駅西サテライト 岡本邦広、高橋彩、学生15人(奉仕) ➡ 市内小学生 28人
13	保護者等からの相談対応 6/3~3/23【62日】 駅西サテライト 岡本邦広、高橋彩、河田恵子、福武幸世、学生15人(活動) ➡ 母親・学校関係者等【69回】 139人
14	市保育協議会研究部【第2回研究会参加】 3/9 本大学 高月教恵、小藤信子(奉仕) ➡ 保育士 3人
15	市保育協議会研究部【第1回研究会講師・参加】 7/2 本大学 高月教恵、小藤信子(奉仕) ➡ 保育士 3人
16	市保育・教育カリキュラム研修【開催補助等】 7/28~9/6【6日】 本大学 高月教恵、小藤信子、保育教員2~5名(奉仕) ➡ 0歳児担当保育教諭 69人
17	学生版鳴滝塾【「地域活動発表会」講師】 7/30 本大学 長宗武司、福武幸世、福田秀之(奉仕) ➡ 来場者 101人
18	市養護研究部活動【研究指導】 2/2 本大学 久恒拓也、郷木義子(活動) ➡ 市内小養護教諭 7人
19	ヤングケアラー勉強会【参加】 3/19 本大学 栗本一美、郷木義子、山野井尚美、三上ゆみ、学生6人(活動) ➡ 研究会参加者 14人
20	哲多地区ミュージックフェスティバル【リモート出演】 11/10 本大学【講堂】 芝崎美和、竹下可奈子、福武幸世、学生16人(活動) ➡ 参加者
21	市民と学生による音楽の集い【参画】 2/11 本大学【講堂】 三上ゆみ(奉仕) ➡ 学生・市民 100人
22	市国際交流協会活動【英語講座講師】 10/4~12/13【10日】 本大学【学術交流センター】 山内圭(活動) ➡ 一般市民
23	親子交流支援等 7/1~3/3【34日】 本大学【にこたん】 松島英恵、学生84人(奉仕) ➡ 来場未就学児等
24	学生ボランティア活動【「にこたんタイムダンス」出演】 1/24、2/14【2日】 本大学【にこたん】 福武幸世、学生12人(奉仕) ➡ にこたん来室親子
25	まにわナーシング・カレッジ2年目研修【講師】 6/18、10/22、2/18【3日】 本大学【シミュレーションルーム】 山本智恵子、吉田美穂、安田陽子(活動) ➡ 真庭・市内卒後2年目看護師 17人
26	シミュレーショントレーニングin新見【介護施設職員リカレント教育実施】 7/9 本大学【シミュレーションルーム】 溝尾妙子、山本智恵子、吉田美穂、岡京子、松田実樹、三上ゆみ(活動) ➡ 介護施設職員 13人
27	〃 【看護指導者リカレント教育実施】 10/1、11/5、3/4【3日】 本大学【シミュレーションルーム】 溝尾妙子、丸山純子、山本智恵子、吉田美穂(活動) ➡ 市内病院看護師 21人
28	Advanced Life Support コース【リカレント教育実施】 1/14 本大学【看護実習室】 溝尾妙子、山本智恵子(活動) ➡ 市内看護師 6人
29	「看育びおーえん」(市内医療・看護人材育成検討会)【出席】 4/20~3/15【13回】 本大学【コミュニティカフェ】 木下香織、山本智恵子、真壁五月、安田陽子(活動) ➡ 参加者

順	内容【詳細】・開催日【日数】・場所【詳細】 教員等氏名、学生参加延べ数(貢献区分) ➡ 対象者 人数
30	市内4病院1～3年め看護師交流会【参加】6/18 本大学【コミュニティカフェ】 木下香織、真壁五月、安田陽子(活動) ➡ 参加者
31	「まなびの森にいま」(市内4病院看護師臨床研修会)【実施サポート】4/・9～3/4【6回】本大学【Zoom】 木下香織、山本智恵子、真壁五月、安田陽子(活動) ➡ 参加者
32	にいま市民スポーツフェスタ2022【参画【準備】】10/8・9【2日】市民運動公園 渡部昌史、福武幸世、学生28人(奉仕) ➡ 一般市民
33	朗読会・NHK岡山放送局アナウンサーによる勉強会【参加】11/26 新見中央図書館 長宗武司、学生4人(奉仕) ➡ イベント参加者
34	なんでも相談会【相談員相談】3/11 市地域福祉センター 三上ゆみ(奉仕) ➡ 一般市民 29人
35	フーバー・パー「なるたき」配布式【参画】4/12 新見商工会議所 土井英子、長宗武司、福田秀之、学生7人(奉仕) ➡ 商工会議所職員
36	農業支援活動【参加】7/1～10/1【15回】神郷油野 八尋茂樹、学生75人(活動) ➡ 三室地域農家
37	岡山デスティネーションキャンペーン事業【参画】7/2 新見駅 福田秀之、長宗武司、学生16人(奉仕) ➡ ツアー参加者
38	にいまマスキングプレイス【参加】1/29 新見駅周辺 長宗武司、吉田裕明、福田秀之、学生19人(奉仕) ➡ 来場者 180人
39	土下座祭り【参加【湯立ての神事参加】】10/14・15【2日】船川八幡宮およびその周辺 山内圭(奉仕) ➡ 一般市民
40	市国際交流協会国際交流【まち歩き通訳】11/12 市御殿町・城山公園 山内圭(活動) ➡ 一般市民
41	サテライト・デイ 【井倉地区介護予防活動】5/24～11/21【4日】井倉公民館 木下香織、安藤亮、難波香、学生39人(生活支援看護学実習) ➡ 井倉地区高齢者 14人
42	〃 【熊野・法曾地区介護予防活動】5/24～11/21【4日】熊野総合センター 安藤亮、難波香、馬本智恵、学生44人(生活支援看護学実習) ➡ 熊野・法曾地区高齢者 16人
43	〃 【豊永地区介護予防活動】5/26～11/24【4日】豊永公民館 安藤亮、難波香、馬本智恵、学生43人(生活支援看護学実習) ➡ 豊永地区高齢者 15人
44	〃 【西方地区介護予防活動】5/26～11/24【4日】西方公民館 木下香織、安藤亮、馬本智恵、学生42人(生活支援看護学実習) ➡ 西方地区高齢者 14人
45	〃 【水舟地区介護予防活動】7/16 まなび広場にいま 木下香織、学生10人(奉仕) ➡ 水舟地区高齢者 13人
46	〃 【菅生地区介護予防活動】10/20 旧菅生中体育館 木下香織、難波香、学生5人(奉仕) ➡ 菅生地区住民 21人
47	〃 【足見地区介護予防活動】10/25 足見ふれあいセンター 木下香織、難波香、学生6人(奉仕) ➡ 足見地区住民 15人
48	〃 【草間地区介護予防活動】12/8 草間公民館別館 木下香織、難波香、学生6人(奉仕) ➡ 草間地区住民 13人
49	〃 【土橋地区介護予防活動】12/8 土橋交流センター 木下香織、難波香、学生6人(奉仕) ➡ 土橋地区住民 23人
50	哲西地区ミニデイ【三光地区高齢者介護予防活動】10/18 三光生活改善センター 栗本一美、丸山純子、大島由美、学生6人(奉仕) ➡ 三光地区高齢者 8人
51	弦楽器・バンド演奏【保育セミナー】5/10・17【2日】中央認定こども園、南認定子ども園、新見保育所 広瀬綾子、学生6人(卒業研究) ➡ 園児、保育者
52	市英語表現発表会【指導講評】12/24 正田ふれあいセンター 山内圭(活動) ➡ 小・中学生、保護者、英語教員
53	唐松チューリップ祭【畑作業支援】10/29、11/5【2日】唐松市民センター 長宗武司、学生7人(奉仕) ➡ 唐松地区住民
54	唐松地域交流事業【「唐松チューリップ祭ブース」出店】4/10 唐松市民センター 長宗武司、福武幸世、学生16人(奉仕) ➡ イベント来場者
55	〃 【参加【球根掘り】】5/15 唐松市民センター 長宗武司、福武幸世、学生7人(奉仕) ➡ 唐松地区住民
56	唐松ふれあいサロン【高齢者介護予防活動】11/21 唐松公民館 栗本一美、丸山純子、大島由美、学生10人(奉仕) ➡ 唐松地区高齢者 18人
57	いきいきサロン【主催参加】12/3、1/21【2日】下熊谷集会場 長宗武司、福田秀之、学生22人(奉仕) ➡ 下熊谷地区住民 22人
58	〃 【参画】8/6 下熊谷集会場 長宗武司、福田秀之、学生13人(奉仕) ➡ 下熊谷地区住民 12人
59	第1回下熊谷地区いきいきサロン【参加】6/25 旧下熊谷小学校 長宗武司、学生3人(奉仕) ➡ 下熊谷地区住民
60	花桃公園祭り【運営スタッフ】4/17 下熊谷花桃公園 長宗武司、学生9人(奉仕) ➡ イベント来場者

順	内容【詳細】・開催日【日数】・場所【詳細】 教員等氏名、学生参加延べ数(貢献区分) ➡ 対象者 人数
61	まなびサポート隊活動【絵本読み聞かせ】6/1～3/1【21日】高尾小 井上信次、松島英恵、学生170人(奉仕) ➡ 高尾小全児童 49人
62	高尾学区福祉ネットワーク推進会子育て支援事業【絵本読み聞かせ】12/4 高尾公民館 松島英恵、学生10人(奉仕) ➡ 高尾学区満1歳児～小学2年生
63	上市地区史跡ウォーキング【参加】5/14、6/25【2日】上市地区 山本浩史、岸本由梨枝、長宗武司(共生社会実践演習ⅠⅢ) ➡ 上市地区社協行事参加者
64	山陽新聞社・吉備の環プロジェクト【参加】6/19 井倉洞 長宗武司、学生3人(奉仕) ➡ 一般市民
65	草間地区活性化意見交換・体験ツアー等【参加】8/3、2/5【2日】草間地区 長宗武司、学生43人(活動) ➡ 草間カルスト里山の会 9人
66	大佐ふるさとまつり【健康チェック】11/6 大佐総合センター 金山時恵、学生6人(奉仕) ➡ 参加者
67	田治部地区活動【参加【花まつり準備・花の苗植え】】4/17～12/11【5日】田治部小 山本浩史、岸本由梨枝、長宗武司(共生社会実践演習Ⅱ・Ⅰ) ➡ 田治部みらい会
68	地域住民の交流【蕎麦種まき、収穫、蕎麦打ち等の授業】8/6・10/26・1/11【3日】高瀬公民館 岡京子、和田美智代、朴蕙彬、学生26人(授業) ➡ 高瀬地区住民 17人
69	神郷湖畔マラソン大会運営【運営、準備、引率】11/5・6 神郷温泉グラウンド周辺 井上信次、岡京子、学生9人(授業) ➡ 大会参加・スタッフ
70	下野部地区活動【参加【そばの種まき参加】】7/31～12/4【4日】下野部公民館 山本浩史、岸本由梨枝、長宗武司(共生社会実践演習Ⅰ) ➡ 下野部地区若連行事参加者
71	県介護福祉士会【介護福祉士実習指導者講習会、】8/30 きらめきプラザ 岡京子(活動) ➡ 県介護福祉士会員 47人
72	リアルボイス2022in岡山【ヤングケアラー関係発表】10/30 県天神山文化プラザ 栗本一美、学生3人(活動) ➡ 参加者
73	認定介護福祉士研修会【講師等】11/28、12/26、1/24【3日】きらめきプラザ 三上ゆみ、岡京子、松本百合美(活動) ➡ 介護福祉士 15人
74	お米分け【参加】12/11 岡山市北長瀬コミュニティアトリウム 朴蕙彬、学生3人(奉仕) ➡ イベント参加者
75	子どもの権利条約【周知活動】11/20 岡山さん太広場 朴蕙彬、泉宗孝、岸本由梨枝、学生9人(奉仕) ➡ 県内高校生、大学生
76	県集落研究・交流事業【稲刈り、災害時養護支援等体験教授】9/17～3/5【6日】津山市上加茂地区 高杉公人、学生47人(授業) ➡ 津山市上加茂地区住民 103人
77	仰高タイム(GT)【参加・助言・支援】10/19 新見高校 長宗武司、学生4人(奉仕) ➡ 新見高校・生徒
78	リアルボイスミーティング【住民と大学生の地域活動・社会参画活動報告・意見交換】3/11 美作市豊国公民館 朴蕙彬、学生9人(奉仕) ➡ NPO法人関係者 9人
79	LINKtopos【地域活動発表引率】8/31～9/2【3日】福知山公立大学 長宗武司、学生9人(奉仕) ➡ 参加者

◎教員等が単独で実施または参加した活動 令和4(2022)年度実績

番号	教員等 氏名	内 容(一部省略・要約)
1	公文裕巳	県退公連新見支部定期総会【「中高年の排尿トラブルについて」講演】5/24本大学【講堂】
2		新見高校の皆さんへのメッセージ【「ともに新見の未来を拓こう」講演】7/27新見高校
3		県議会環境文化保健福祉委員会視察【「人と地域を創る本大学」説明】7/29駅西サテライト
4		日本社会福祉教育学会第18回岡山大会【「人と地域を創る」講師】8/20本大学【開催校オンライン】
5	小田 慈	保育サポーター養成講座【「子どもの身体の発達と病気」講師】(2回)にこたん
6		にこたん子育てカレッジ【「ハートフルサロン」談話】(3回)にこたん
7		子育て支援活動【「BABYすくうる」談話】(4回)市役所健康づくり課
8		子育て支援活動【「子育てサロン」談話】(10回)井原市
9		教育従事者対象医療講習会【講師(一部Web)】(井原市2回、病院月1回)井原市・井原市民病院
10		子育て支援活動【「にこたんサロン」ヘルス編」談話】(毎月1回一部Web)鳥取県日南町子育て支援センター
11		地域医療貢献活動【小児科外来診療】(毎週月曜午前、木曜)新見中央病院
12		学校関係者研修【「子どもの体と心の変化」講師】7/22市学校給食センター
13	斎藤健司	環境基本計画(案)【策定委員長審議・提出】11/2市役所
14	矢嶋裕樹	保健師等実習指導者講習会【統計分析系講師】9/12県看護研修センター
15	三上ゆみ	介護施設職員研修【「感染と予防」講師】5/20～2/27生き生き館神郷
16		高大連携【介護の基本・生活支援技術関連授業】9/2、10/4・5【3日】共生高校
17		「ケアネットにこたん」講習会【施設留学生就労支援関連講師】3/4本大学【講堂】
18		なんでも相談会【相談員】3/11市地域福祉センター

番号	順	教員等 氏名	内 容(一部省略・要約)
19	6	原田信之	市退職校長会総会【講演「玄賓僧都と仏教」講師】10/27駅西サテライト
20	7	上山和子	保育サポーター養成講座継続研修【「子どものケアについて」講師】11/26本学【交流ホール】
21			にこたん専門研修会【「日々の保育と感染予防」講師】12/2本学【多目的ホール】
22	8	矢庭さゆり	新見地域相談援助職事例検討会【講師】4/7、8/4、1/12【3日】市地域福祉センター
23			新見地域で行なう事例検討会【講師】4/7、8/4、1/12【3日】市地域福祉センター
24			県専門研修【相談援助面接・家族支援関連講師】5/3～11/10【6日】岡山市ターミナルスクエア
25			県介護支援専門員実務研修【「ケアマネジメント関連講師】5/14～3/2【8日】きらめきプラザ
26			複合的課題を抱える家族への支援講演【講師】6/16倉敷市児島支所
27			倉敷市研修会【「複合的課題を抱える家族への支援」講師】6/16倉敷市児島支所
28			県相談援助技術研修会【「対人援助」関連講義講師】7/5～1/9【6日】岡山市ターミナルスクエア
29			事例検討の質を上げよう!【高梁管内相談援助研修会講師】9/29高梁総合文化会館
30			高梁市職員研修会【「事例検討の質を上げよう!」講師】9/29高梁総合文化会館
31			県相談援助研修会【対人援助、スペシャリティ関連講師】10/4～18【5日】岡山市ターミナルスクエア
32			職員研修会【「複合的課題に対応する力をつける」講師】3/7津山市総合福祉会館
33	10	岡本直行	1・2・3年保育士研修会【描画活動指導方法関連講師】6/9津山すこやか・こどもセンター
34			児童学科特別講演【舞台装置製作の素材と技術について】講師】7/5ノートルダム清心女子大学
35			津山市保育士表現部会研修会【紙粘土遊び関連講師】8/18津山市立つやま西幼稚園
36			かたち展【「立体表現の面白さ」対談】9/18今治市【銀工房しろがねや】
37			市幼稚園教諭表現部会研修会【素材利用遊びの指導方法関連講師】11/8新見市
38			音楽研究室特別講演【大道具制作関係指導】11/29ノートルダム清心女子大学
39			職員研修【「ネットバスを用いた描画活動」講師】3/16・29【2日】哲西認定こども園
40	11	芝崎美和	青少年育成連絡協議会等合同研修会【子どもの力・育ち関連講師】7/14市役所
41			PTA連合会哲多支部教育講演会【「ことばの力」講師】10/12哲多総合センター
42			心の発達とその問題・保育サポーター養成講座【「心の発達とその問題」講師】11/15本大学
43			学校保健委員会・PTA合同研修会【「生きる力を育む」講師】12/1新見南中
44			保育所研修会【「ことばの力」講師】2/17草間台保育所
45	12	松本好生	療育アカデミー保育園・幼稚園等発達障害研修講座【講師】3/5旭川荘
46			吉備創生カレッジ【「発達障害がある人の行動が落ち着く裏技」講師】5/9山陽新聞本社ビル
47	13	岡本邦広	市保育士研修【「子供の行動の捉え方-応用行動分析に基づく支援-」講師】5/14市役所
48			院生研修【「行動問題の理解と支援の基礎・基本」講師】7/29兵庫教育大学
49			県教育職員免許法認定講習【講師】8/25・26県医師会館
50			民生委員等協議部会研修【「障害のある子供」関連講師】9/1浅口市健康福祉センター
51			相談【事例・実態把握】10/4、11/29・29(3日)他市小・学童保育
52			動画コンテンツ1ヶ月間配信【「子供の行動の捉え方」】2/1ワルツONLINE SCHOOL
53	14	高月教恵	市保育協議会保育・教育カキアム研修会各歳時部会【研修指導】7/8～3/9【7日】本大学
54			広島県乳幼児教育支援センター研修会等【講師】11/11・21、3/15【3日】ビュアティまきび等
55			園内研修会【開園後5年間の振り返りと保育指導】11/28福山市立大学附属こども園
56			倉敷さつき会100周年記念講演会【講師】1/18倉敷国際ホテル
57	15	梶本佳照	各校【GIGAスクール、学校DX関連情報配信】2/24Wireless Navi【学校向けウェビナー】
58			教育研修会【情報モラル関連研修講師】8/26鹿児島市教育総合センター
59			授業研修会【GIGAスクール構想実現関連研修講師】10/25、1/17【2日】本郷・万才・高尾小
60			全日本教育工学研究協議会全国大会【閉会式司会】11/28・29【2日】春日井市民会館
61			市プログラミング発表会【参加】12/19本大学【オンデマンド】
62			市ドローンプログラム教育研修会【参加】3/3哲西中
63	16	八尋茂樹	不登校児童支援団体「にいのすみっこ」【相談】4/1～3/31【5回】県備北県民局新見支所
64			思春期の心の健康相談【相談】4/1～3/31【5回】県備北県民局新見支所
65			集中豪雨災害支援【参加】4/1～9/1【15回】市内令和元年被災箇所等
66			東日本大震災震災遺児・孤児支援活動【参加】4/1～8/30【3回】西方公民館他
67			災害用グッズ等作成・配布活動(コラボ)【企画参加】4/1～3/31【7企画】静岡県島田市等
68			東日本大震災風化防止活動【企画参加】4/1～31【1企画】宮城県石巻市
69			型コロナウイルス感染症対策支援活動【企画参加】4/1～31【1企画】大阪府飲食店
70			R1新見市豪雨災害募金活動【企画参加】4/10～7/29【4日】目黒区恵比寿・札幌市
71			障害児者交流活動【ワークショップ参加】4/11矢掛町【放課後等デイサービス・ホール】
72			豪雨災害支援【参加】4/29～5/4【6日】熊本県人吉市令和2年7月被災箇所等
73			新型コロナウィルス感染症対策支援活動【参加】5/5、6/3【2日】廿日市市、ライブハウス
74			ウクライナ応援活動【参加】6/25・26【2日】島根県松江市AZTIC CANOVA
75			豪雨災害復旧支援活動【参加】8/23～29【6日】山形県飯豊町令和4年8月被災箇所等
76			R2.7熊本豪雨災害支援活動【参加】8/27～29【3日】熊本県人吉市
77			災害復興支援【参加】9/2～2/5【6日】静岡県島田市川根町各所
78			婦人会主催講演会【台風15号復旧・援助関係講師】10/19静岡県川根町文化センター
79			学校主催講演会【防災学習・学び関連講師】11/21・29【2日】島田市立川根中・小
80			岡山児童文化継承活動【参加】11/23岡山市東区【坪井商店】

番号	順	教員等 氏名	内 容(一部省略・要約)
81	16	八尋茂樹	福祉セミナー【「川根町災害復旧支援活動からの教訓」講師】1/29静岡県島田市金谷生きがいセンター
82			災害支援・防災ミーティング【参加】1/29、3/21・25【3日】静岡県島田市、大阪府住之江区、福山市等
83			トルコ地震募金活動【参加】2/15～3/21駐日トルコ共和国大使館等
84	17	渡部昌史	幼稚園教育部健康部会研修会【講師】8/26津山市役所
85			県スポーツ教室「陸上競技」【指導】9/6～10/18【7日】千屋・草間台・高尾・真庭市立美甘小
86			陸上フェスティバル競技【跳躍審判員主責任】9/23防災公園
87			小学校体育連陸上運動講習会【講師】9/29防災公園
88			市民スポーツ祭【営補助員】10/9憩いとふれあいの公園等
89	18	広瀬綾子	弦楽器「バンドーラ」制作・演奏【指導監修】5/1～3/31健康の森学園支援学校高等部
90			バンドーラ等楽器演奏【指導】5/26～10/18【14日】真庭市立月田小
91			吉備創生カレッジ【「演劇とコミュニケーション」講師】5/28山陽新聞本社ビル
92			弦楽器・バンドーラ制作【指導】7/31京田辺市立中部住民センター
93			岡山河畔芸術祭【プロジェクト公演『デクボア変奏曲』出演】10/29・30【2日】岡山市スロー・シアター
94			市木育普及活動事業【「森のゆうえんちin にいみ2022」大会運営】11/6本大学【体育館】
95			子育て支援者研修【シュタイナー幼児教育講師】1/17本大学【多目的ホール】
96	19	加藤由美	保育部会公立委員会主催研修【若手保育者心理的支援関連講師】7/8東京都社協
97			保育サポーター養成講座【保育サポーター心構え・支援等の講師】11/15にこたん
98			保育施設長等研修会【若手保育者心理的支援関連講師】12/5・13【2日】兵庫県【オンライン】
99	21	立浪朋子	子育て支援者研修【「障害教育に挑んだ先生たち」講師】2/3にこたん
100	22	竹下可奈子	リズム遊びだ!1・2・3...【講師】毎月1回【12回】にこたん【リズム教室】
101			市民公開講座【「時代を反映して変化する音楽」講師】9/30本学【学術交流ホール】
102			子育て支援者研修【「楽器の奏法とアンサンブル2」講師】11/4本学【多目的ホール】
103	23	久恒拓也	養護研究部会【研究指導】5/30、6/13【2日】阿新教育会館
104			市養護研究部研究活動【指導講評】12/15阿新教育会館
105			養護研究部会【児童委員会活動関連講師】12/14阿新教育会館
106	24	入江慶太	保育サポーター養成講座【「子どもの特徴と保育」講師】11/5本学【学術交流センター】
107	25	高橋彩	特別支援教育研修講座【行動関連講師】11/4・18、12/2【3日】駅西サテライト
108			保育サポーター養成講座【「気になる子どもの理解・関わり方」講師】11/29にこたん
109			子育てカレッジ専門研修【「特別なニーズのある子どもたちへの支援」講師】12/20にこたん
110	26	松島英恵	子育て支援者研修【「ごっこ遊び」講師】11/18本学【多目的ホール】
111			地域子育て支援者カレッジ研修会【「個人情報と守秘義務」講師】3/1本学【講堂】
112	27	福武幸世	にこたん出張ひろば【ダンス指導】3/16駅西サテライト
113			市民公開講座【対話をかく力関連講師】9/16駅西サテライト
114			ストレッチ・ダンス講座NiU(ニウ)【講師】8/13～11/26【7日】駅西サテライト
115			キッズダンス教室【講師】10/2・16、11/5【3日】岡山市立福浜公民館
116	28	金山時恵	職員保健指導【「健診結果からとらえた健康づくり」講師】4/8仲間運輸事業所
117			子育てカレッジ専門研修【コロナ禍新生児生活関連講師】11/10本大学【多目的ホール】
118			保育サポーター養成講座【「こどもの事故と安全」講演】11/24本大学【学術交流センター】
119	29	四宮美佐恵	新人助産師合同研修会【司会・アドバイザー】1/21県看護研修センター
120	30	山本智恵子	看護研究発表会【講評】11/24落合病院
121			吉備創生カレッジ【「安全な入浴のススメ」講師】2/6山陽新聞本社ビル
122	32	木下香織	福本公民館人権学習講演会【講師】10/27福本公民館
123			キャラバン・メイト【参加】7/21市役所【南庁舎大会議室】
124			美郷地区民生委員・児童委員研修会【講師】11/29本大学
125			神郷公民館人権学習講演会【講師】12/9神郷公民館
126	33	栗本一美	保健師等実習指導者講習会【地域・在宅看護系講師】8/23～12/8【12日】県看護研修センター
127			市民公開講座【「健口講座」講師】10/14駅西サテライト
128	34	磯本暁子	看護研究【データ分析・考察、論文作成指導】6/16～3/4【7日】岡山市立市民病院
129			看護協会真庭支部看護研究発表会【講評】2/9勝山文化センター
130	35	塩見和子	県保健師等実習指導者講習会【講師】8/16、9/15【2日】県看護研修センター
131			保健師等実習指導者講習会【講師】8/16～9/15他【9回】県看護研修センター
132			看護研修会・研究発表会【発表原稿指導・講評】12/15しげい病院
133	36	郷木義子	養護研究部会【講師】8/10、3月【2回】阿新教育会館
134			県高等学校備北ブロック研究【指導・講師】9/13、1/30【2回】高梁市総合文化会館
135			養護教諭の集い【参加】3/19本大学
136	38	山野井尚美	職員研修【「新型コロナウイルス感染予防対策について」講師】5/18市学校給食センター
137			地域に寄り添う愛育委員活動【講師】6/13グリーンヒルズ津山リージョンセンター
138			愛育委員研修【「コロナ禍の愛育委員活動」講師】6/29～3/3【6日】市役所など8会場
139			愛育委員協議会総会【「コロナ禍での愛育委員活動」講師】7/1総社市役所
140			メンタルヘルス研修会【「こころの健康～自分と周りを大切に～」講師】8/23市地域福祉センター

番号	順	教員等 氏名	内 容(一部省略・要約)
141	38	山野井尚美	衛生管理講習会【「職場のメンタルヘルス」講師】9/22本大学【交流ホール】
142			保育士感染症予防研修【新型コロナウイルス感染症予防】11/1新見保育所
143			岡山マラソン【救護ボランティア参加】11/13シティライトスタジアム
144			吉備創生カレッジ【「こころと身体」の健康」講師】1/13山陽新聞本社ビル
145			ともに育ちあう保健師活動研修会【講師】2/28岡山市保健所
146	39	真壁五月	県看護協会新見支部研修会(オンライン含)【開催補助等】7/9～12/10【4日】新見公民館
147			県看護協会新見支部研修【開催補助担当】7/9～12/10【4日】新見公民館
148			看護進路説明会(模擬授業)【「造血の変遷と献血・輸血について」オンライン講師】9/16新見高校
149			模擬授業【「造血の変遷と献血・輸血について」講師】9/16新見高校
150	45	西川由貴子	防災・減災等貢献活動【参加】4/1～1/22【12日】倉敷市真備町【「そーる訪問看護ステーション等」
151			健康教育講演会【講師】5/11本大学【講堂】
152	53	高尾緑	不妊・不育とこころの講演会【個別相談】7/30本大学【オンデマンド】
153	54	大島由美	糖尿病療養【指導】4/25～3/27【11日】太田病院
154			糖尿病教室【教師】4/25～3/27【6日】庄原市瀬尾医院
155			事例検討会【ファシリテーター】6/27～2/27【4日】庄原市瀬尾医院
156	59	松本百合美	介護施設職員研修【「故防止の介護技術」講師】5/20～2/27生き活き館神郷
157			高大連携【「介護過程の基本的理解」授業】9/1、10/6・13【3日】共生高校
158	61	岡京子	高大連携【「介護の基本」「障がい」の基礎的理解」授業】3/31・6/22【2日】共生高校
159			県介護福祉士会ファーストステップ研修【講師】6/3きらめきプラザ
160			県認知症対応型サービス事業開設者研修【講師】9/4きらめきプラザ
161			県介護福祉士会【実践研究発表会講師】12/16きらめきプラザ
162	62	山内圭	新見ライオンズクラブ記念大会【神楽披露】10/23新見商工会議所
163			保育サポーター養成講座【「英語の絵本を読む」講師】12/2本大学【学術交流センター】
164	63	山本浩史	認定介護福祉士養成研修【「心理・社会的支援の領域」講師】7/8・22きらめきプラザ
165			介護支援専門員連絡会研修会【講師】8/26赤磐市地域包括支援センター【オンライン】
166			主任介護支援専門員研修【ケアマネの支援者視点関連講師】8/26赤磐市地域包括支援センター【Web】
167			市町村社協職員向けコミュニケーション研修【「アドバイザー・ヒアリング」9/1きらめきプラザ
168			神郷地区民生・児童委員研修会【講師】9/30本大学【交流ホール】
169			認定介護福祉士養成研修【「心理・社会的支援の領域」講師】7/8・22【2日】きらめきプラザ
170			社協地区社協交流会【講話】1/13赤磐市笹岡公民館
171			地区社協交流会【講話】1/13赤磐市笹岡公民館
172			日本都市計画学会支部シンポジウム【小さな拠点関連講師・パネリスト】2/18きらめきプラザ 哲西
173	64	和田美智代	高大連携【「介護保険」授業】6/14共生高校
174			自立支援協議会生活部会研修会【「家族の機能が問われている」講師】3/10市役所
175	65	高杉公人	社会福祉士実習指導者講習会講師養成研修【「実習プログラミング論」等講師】7/23きらめきプラザ
176	66	鄭丞媛	SIB(Social Impact Bond)を活用した健康ポイント事業【評価員】4～3月【12ヶ月】岡山市保健福祉局
177			「あ・し・た」プロジェクト事業【評価員】4～3月【12ヶ月】堺市健康福祉局
178			介護予防効果測定【コンサルティング】1～3月【3ヶ月】井原・総社・備前市等4市町
179	67	八重樫牧子	子育てカレッジ専門員・支援者研修【子育て支援関連講師】6/29～11/30【3日】本大学【多目的ホール】
180			みんな和やかサロン【「泣く力は生きる力」講師】9/14岡山市子どもセンター
181			広島県児童館連絡協議会職員研修会【「児童館論Ⅰ」講師】10/7、11/11【2日】広島県社会福祉会館
182			広島県子育て支援員研修放課後児童コース【権利的擁護関係講師】10/11広島県(RCC)文化センター
183			公開講座【こども虐待・DV関連法等講師】12/3岡山市男女共同参画推進センター
184	69	小松尾京子	近隣ケアグループ全体研修会【「活かせるコミュニケーションスキル」講師】5/21各務原市文化会館
185	70	松田 実樹	認知症サポーター養成講座【講師】5/10新見市内
186			高大連携【介護コミュニケーション技術、障がい理解、生活支援技術関連授業】6/2～22【4日】共生高校
187			県認定介護福祉士養成研修【生活支援、介護実践関連講師】12/26、2/16【2日】きらめきプラザ
188		松田実樹	介護施設職員研修【「身体拘束と認知症」講師】2/27生き活き館神郷
189	73	泉 宗孝	高大連携【「障害者自立支援制度およびその他の制度」授業】6/15共生高校
190	74	柳迫三寛	地域運営組織活性化のためのヒアリング活動【実施】6/20菅生地域
191			医療ソーシャルワーカー協会養成講座【「退院支援」講師】10/2広島ビッグフロント
192			地域運営組織活性化のためのヒアリング活動【実施】10/13、11/14、2/16【3日】土橋地区
193			公開講座【「上手な病院のかかり方」講師】10/21駅西サテライト
194			認知症行方不明者捜索訓練研修会【「認知症を知ることから始めよう」講師】12/10高尾公民館
195	75	岸本由梨枝	見守り訪問事業研修会【「コロナ禍における訪問活動の意義」講師】8/4市地域福祉センター
196			市社協 活動支援【令和4年度見守り訪問事業研修会講師】8/9市地域福祉センター
197			四国のまちづくり情報交換会&見学会in丸亀【参加】9/9丸亀町商店街
198	76	長宗武司	市地域おこし協力隊「アートーク」【新見市地域経済について」講演】7/26駅西サテライト
199			新見ふるさと塾21【講演講師】3/16伯備

◎教員等の地域別機関就任【学会等参加及び評議員等を除く】令和4(2022年度実績)

順	自治体・地域	機関名・役割等
1	特定庁	強度行動障害に関する支援ガイドライン作成特別委員会【委員】(保)岡本邦広
2	岡山県(22)	共同募金会配分委員会【委員】(福)山本浩史
3		社会福祉協議会経営企画委員会【委員長】(福)山本浩史
4		運営適正化委員会苦情解決合議体【副委員長】(福)山本浩史
5		社会福祉協議会評議員選任・解任委員会【委員】(福)山本浩史
6		福祉サービス第三評価推進委員会【副会長】(福)山本浩史
7		社会福祉士会災害支援【委員】(福)山本浩史
8		介護福祉研究会【会長】(福)松本百合美
9		福祉人材センター運営委員会【委員】(福)岡 京子
10		若年性認知症自立支援ネットワーク会議【委員】(福)岡 京子
11		地域包括・在宅介護支援センター協議会研修【委員】(看)矢庭さゆり
12		認知症対策連携会議 委員【委員】(看)矢庭さゆり
13		新見こころの健康を考える会【委員】(看)栗本一美
14		環境保健センター外部評価委員会【委員】(看)山田雅夫
15		環境保健センター倫理審査委員会【委員】(看)山田雅夫
16		美作地域感染症診査協議会【委員】(看)山田雅夫
17		クラスター対策班(OCIT)活動報告会議【メンバー】(看)山野井尚美
18		新見こころの健康を考える会【委員】(看)丸山純子
19		岡山性感染症(STD)研究会運営【委員】(看)西川由貴子
20		新見高校学校関係者評価【委員】(保)斎藤健司
21		新見高校学校教科書図書選定【委員】(保)斎藤健司
22		県・岡山市教員等育成協議会【委員】(保)廣瀬綾子
23		岡山・産学官連携推進会議【幹事】(保)斎藤健司
24	広島県(2)	医療ソーシャルワーカー協会【副会長】(福)柳迫三寛
25		地域両立支援推進チーム【委員】(福)柳迫三寛
26	大阪府	消費のサポーター【委員】(福)和田美智代
27	佐賀県(2)	生活保護研修検討会【委員】(福)小松尾京子
28		生活困窮者自立支援制度関係者研修企画チーム【委員】(福)小松尾京子
29	新見市(36)	情報公開制度運営審議会【委員】(福)和田美智代
30		情報公開不服審査会【委員】(福)和田美智代
31		個人情報保護制度運営審議会【委員】(福)和田美智代
32		個人情報保護不服審査会【委員】(福)和田美智代
33		行政不服審査会【委員】(福)和田美智代
34		権利擁護委員会【副委員長】(看)矢庭さゆり
35		防災会議【委員】(看)山本智恵子
36		公募型まちづくり事業【審査員】(福)柳迫三寛
37		まちづくり審議会【委員】(福)山本浩史
38		障害支援区分認定審査会【委員】(看)中川彩見

順	自治体・地域	機関名・役割等
39	新見市(36)	子ども・子育て会議【委員】(保)廣瀬綾子
40		地域包括支援センター運営協議会【副会長】(看)木下香織
41		認知症カフェネットワーク委員会【委員】(看)木下香織
42		介護認定審査会【委員】(看)真壁五月
43		社会福祉協議会法人後見運営委員会【副委員長】(看)矢庭さゆり
44		思春期心の健康【相談員】(保)八尋茂樹
45		訪問看護総合支援センター【委員】(看)栗本一美
46		新型コロナウイルス対策本部会議【メンバー】(看)山野井尚美
47		不妊専門相談センター【相談員】(看)高尾 緑
48		市民の健康維持・増進・介護・介護予防事業WG【委員】(福)三上ゆみ
49		地域在宅医療連携実務者協議会【委員】(看)矢庭さゆり
50		環境保全審議会【会長】(保)斎藤健司
51		産業振興会【委員】(保)岡本直行
52		雇用対策協議会【委員】(保)岡本直行
53		建築審査会【委員】(看)吉田美穂
54		教育委員会【委員】(福)三上ゆみ
55		不登校・ひきこもり者地域支援会【委員】(保)八尋茂樹
56		男女共同参画審議会【会長】(看)土井英子
57		思誠小学校運営協議会【委員】(福)山内 圭
58		文化財保護審議会【委員】(保)岡本直行
59		新見美術館に関する懇話会【委員】(保)岡本直行
60		スポーツ推進【委員】(保)渡部昌史
61		教育事務管理・執行外部評価【委員】(看)原田信之
62		国際交流協会【理事】(福)山内 圭
63		しんごう湖畔マラソン実行委員会【委員】(福)井上信次
64		新見庄たたら学習実行委員会【委員】(福)柳迫三寛
65	倉敷市(2)	消防団倉敷撫子隊玉島方面隊女性部本部【部員】(看)西川由貴子
66		介護認定審査会【委員】(福)山本浩史
67	総社市	ボランティアセンター運営委員会【委員長】(福)山本浩史
68	赤磐市	生活困窮者自立支援ネットワーク連絡会議【座長】(福)山本浩史
69	浅口市	障害者自立支援協議会【委員】(保)岡本邦広
70	矢掛町(2)	専門評価【委員】(保)岡本邦広
71		矢掛中学校学校運営協議会【会長】(保)岡本邦広
72	大阪市	くらしのナビゲーター【委員】(福)和田美智代
73	三原市	地域包括ケア連携推進協議会【オブザーバー】(福)柳迫三寛
74	和泊町	町誌編さん【委員】(看)原田信之
75	武豊町	社会福祉協議会【アドバイザー】(福)小松尾京子
76	特定市	障害支援区分認定審査会【委員】(保)岡本邦広

(8) 学生の地域貢献活動

令和4(2022)年度実績

◎令和4(2022)年度学生ボランティア活動実績

順	内容【場所】 学生数（学科・学年内訳）
1	4/1 塗り絵コンテスト手伝い【サンパーク新見催事場】 4人看護4
2	4/17 駅西内覧会手伝い【駅西こども交流広場】 11人保育1(3)3(7)4(1)
3	4/19 駅西第2回トライアルイベント【駅西こども交流広場】 9人保育1(2)3(3)、看護2(1)3(2)、地福2(1)
4	4/23 新見手話サークル交流会【上市公民館二階研修室】 1人地福2
5	5/1 養老孟司・隈研吾対談【まなび大ホール】 8人保育3(1)、看護1(1)2(2)4(2)、地福2(2)
6	5/3 親子体験活動「みんなであそぼう!」【caféきらり周辺】 9人保育1(2)3(1)、看護2(2)、地福2(4)
7	5/4 // 【市岡駅500m周辺】 7人看護2(4)、地福2(3)
8	5/5 親子体験活動「みんなであそぼう!」【杜の工房HANAGI】 6人保育3(1)、看護2(2)、地福2(3)
9	5/14 献血活動【献血ルームうらら】 5人保育4(1)、看護1(2)、地福2(2)
10	5/22 養護教諭業務観察【高尾小】 4人看護3
11	5/25 市社協活動支援【市社協】 5人地福1(4)4(1)
12	5/28 養護教諭業務観察【西方小】 5人看護3
13	6/1、15、22、29 読み聞かせ【高尾小】 9人保育2(8)3(12)、地福2(2)3(5)
14	6/4 新見市のことを知る【市地域福祉センター】 1人地福4
15	// 次世代農業魅力伝達プログラム【総社市山手地区】 4人看護1(1)3(2)、地福1(1)
16	// イベント補助【花木公房】 3人地福2
17	6/5 2年生親子交流【哲西中】 4人看護2(1)、地福2(3)
18	6/6 認知症理解活動【南ヶ丘集会場】 3人地福1(2)4(1)
19	6/11 サマーカーンペーン詳細説明【献血ルームうらら】 6人看護1
20	// 新見手話サークル交流会【新見中央公民館】 1人地福2
21	6/18 バルーンアート研修会【駅西】 5人看護1(2)、地福2(3)
22	6/19、25 かみさま夢風鈴準備【紙の館】 27人保育1(4)3(4)、看護1(11)2(2)3(6)
23	6/25 新見手話サークル交流会【新見中央公民館】 7人看護1(3)2(1)、地福1(1)2(2)
24	7/2 次世代農業魅力伝達プログラム【総社市山手地区】 6人看護1
25	7/11 子供と一緒に過ごすサポーター【ひろば栗の家】 1人保育3
26	7/6、13 絵本の読み聞かせ【高尾小】 11人保育3(7)、地福2(4)
27	7/15 大学美化活動【大学前駐車場】 1人看護1
28	7/16 水舟サライト・デイ【まなび広場にいみ】 10人看護3(4)4(6)
29	7/1、2、8、15、16、22、23、29 にこたんでの親子との交流【にこたん】 29人保育3(23)4(6)
30	7/8 中・高生の学習支援【総社市社会福祉協議会】 1人地福1
31	7/23 哲西町八鳥の地域運営組織立ち上げ会議【八鳥公民館】 1人地福4
32	7/28 哲西町八鳥サロンの【八鳥公民館】 1人地福4
33	7/27、29 夏休み習字教室【西方公民館】 3人保育2(2)3(1)
34	7/30 自然の中で遊んで学ぼう【お～さ源流公園】 2人保育1
35	7/31 かみさま夢風鈴準備【紙の館】 5人保育1(2)、看護1(2)3(1)

順	内容【場所】 学生数（学科・学年内訳）
36	8/3 認知症カフェ(八鳥地区)【きらめき広場哲西】 3人地福4
37	8/5、12、19 中高生と一緒に勉強【総社市社協】 3人地福1
38	8/5 夏のお勉強会【西方公民館】 2人保育3
39	〃 夏休み勉強会大学生募集【新見市哲多総合センター】 1人保育3
40	〃 なんでも相談会【市社協】 1人地福4
41	8/5、6 にこたんでの親子との交流【にこたん】 5人保育3(3)4(2)
42	8/6 高尾若連祭運営スタッフ【高尾小グループ】 4人看護1
43	8/7 次世代への農業の魅力を伝えるプログラム【総社市山手地区】 1人保育1
44	8/8 夏のお勉強会【西方公民館】 2人地福3
45	8/13、14 かみさま夢風鈴準備【紙の館】 12人看護1(8)3(4)
46	8/16 玉島学園児童養護施設ふれあい活動【玉島学園児童養護施設】 1人保育3
47	〃 献血活動【倉敷イオンモール】 1人看護1
48	8/18 夏休み造形イベント【西方公民館】 1人保育3
49	8/27 のびのび西方っ子体験活動【西方公民館】 9人保育3(1)、看護1(2)3(6)
50	8/30 子どもとの交流【岡山市立幡多幼稚園】 1人保育3
51	9/2、9 〃 【総社市社協】 2人地福1
52	9/16 市民公開講座手伝【駅西ステイラウンジ】 2人看護1(1)、地福2(1)
53	9/17 FAN2022【新見市憩いとふれあいの公園】 3人看護1(1)2(2)
54	〃 地域づくり講座受講【市社協】 1人地福4
55	9/18 駅西第4回トライアルイベント【駅西ひだまり】 7人保育2(1)3(3)、看護2(2)、地福3(1)
56	9/24 運動会補助【萬歳小】 2人保育3
57	9/29、30 〃 【岡山市立幡多幼稚園】 2人保育3
58	10/1、14、15、21、28、29 にこたんでの親子との交流【にこたん】 10人保育2(3)4(7)
59	10/5、12、16 絵本の読み聞かせ【高尾小】 28人保育1(2)2(8)4(5)、地福1(2)2(1)3(10)
60	10/8、9 市民スポーツフェス【市民運動公園】 28人保育1(4)4(6)、看護1(12)2(4)、地福1(2)
61	10/9 利用者ぬりえ交流【ほほえみ広場】 1人地福1
62	10/10 芋ほり【新見市哲西町大竹】 6人保育4(4)、看護2(2)
63	10/14 湯立ちの神事【船川八幡宮】 2人看護1
64	10/15 土下座祭り・稲荷神輿【新見御殿町】 2人看護1
65	10/20 サライト・テイク補助【旧菅生中体育館】 5人看護3
66	10/22 入所者の介護補助【グループホームファミリア愛】 2人地福1
67	10/23 駅西第3回むすびの場交流会【駅西】 29人保育1(3)2(1)、看護1(4)2(4)、地福1(10)2(7)
68	10/25 サライト・テイク補助【足見ふれあいセンター】 8人看護4
69	10/29 登山の補助【千屋剣山】 2人看護1
70	10/30 3年生親子科学教室手伝い【高尾小】 4人保育1(1)、地福2(3)
71	〃 にいみウォークin哲西【きらめき広場哲西周辺】 2人看護1

順	内容【場所】 学生数（学科・学年内訳）
72	11/3 小学生のワークリーのお手伝い【総社西小】 1人看護2
73	11/5 吉備ケーブテレビ撮影【新見市内】 2人保育1(1)、看護2(1)
74	11/5、11、12、18、19 にこたんでの親子との交流【にこたん】 13人保育3(12)4(1)
75	11/6 おおさふるさとまつり手伝【大佐総合センター】 6人看護1(2)4(4)
76	11/9、16、30 絵本の読み聞かせ【高尾小】 24人保育1(2)2(3)3(12)、地福1(2)3(5)
77	11/12 若年性認知症実行委員会参加【県ボランティア等センター】 4人看護1(2)、地福2(2)
78	11/12 岡山マラソンランナー受付【ｼﾞｯﾌﾟアリーナ岡山】 15人看護1(10)、地福1(5)
79	11/13 岡山マラソン【ｼﾞｯﾌﾟアリーナ岡山】 11人保育1(1)、看護1(9)、地福1(1)
80	〃 岡山マラソン救護サポート【岡山市役所5km救護所】 8人看護1
81	11/17 合同訓練お客様役【新見駅】 4人看護1
82	11/19 子ども学習サポート【ひろば栗のお家】 1人保育3
83	11/20 子ども権利条約批准活動支援【岡山駅周辺】 6人地福1
84	11/23 総社市フェスティバル運営手伝い【総社スポーツセンター】 1人看護2
85	12/2、24 にこたんでの親子との交流【にこたん】 5人保育1(1)2(2)3(2)
86	12/3 子ども学習サポート【ひろば栗のお家】 2人保育3
87	〃 イルミネーション設置手伝い【駅前ロータリー広場等】 3人地福1
88	12/4、7、14、21 絵本の読み聞かせ【高尾小】 32人保育1(1)2(8)3(6)4(2)、看護1(7)、地福2(4)3(4)
89	12/8 サライト・デイ【草間公民館等】 6人看護3
90	12/12 寄付食料品分配お届け【ハッシュタグ岡山】 1人地福1
91	12/11 クリスマス会【正田公民館】 6人保育4(1)、看護1(5)
92	12/17 ぴおーらキッチン【新見市地域福祉センター】 1人保育4
93	12/21 なごみ相談の補助【駅西】 1人保育3
94	12/22 児童の学習支援【駅西なごみ】 1人保育3
95	〃 「新見ピオーネつみき」製作支援【新見公立大学3101教室】 1人保育1
96	12/26 冬休み習字教室【西方公民館】 2人保育3
97	12/27、28 小学生冬休み宿題支援【駅西ひだまり】 6人保育3(4)4(2)
98	1/6、7、13、21、28 にこたんでの親子との交流【にこたん】 11人保育2(6)3(4)4(1)
99	1/11 なごみ相談の補助【駅西】 1人保育3
100	1/18 児童の学習支援【駅西なごみ】 1人保育3
101	1/25 絵本の読み聞かせ【高尾小】 7人保育1(3)3(1)、地福2(2)3(1)
102	1/28 イルミネーション撤去作業【新見駅前ロータリー等】 2人地福1
103	1/29 にいみマスキングプレイス【新見駅駅前歩道周辺】 19人保育2(2)、看護1(1)2(3)、地福1(4)2(9)
104	〃 なごみ相談補助【駅西】 1人地福1
105	2/1、8、22 絵本の読み聞かせ【高尾小】 35人保育1(9)2(12)3(4)、地福3(10)
106	2/3、4、10、24 にこたんでの親子との交流【にこたん】 11人保育2(7)3(4)
107	2/26 吉備路マラソンサポート【吉備路マラソン第7給水所】 2人看護1(1)、地福1(1)
108	2/27 認知症啓発活動【岡山県立大学】 1人看護1
109	3/1 絵本の読み聞かせ【高尾小】 6人地福2(2)3(4)
110	3/3 認知症啓発活動【岡山県立大学】 17人看護1(11)、地福2(6)
111	3/3、10、17、24、31 にこたんでの親子との交流【にこたん】 10人保育2(4)3(6)
112	3/5 子どものお世話【非眼院】 1人保育3
113	3/8 施設運営の補助【若松園】 1人保育3
114	3/18、19、20、21、22、23 歯科医療の助手【ワイルドソカガノ島】 6人看護2
115	3/19、28 施設運営の補助【南野育成園】 2人保育3
116	3/28 なごみ相談補助【駅西】 3人保育3

3) くらしきサテライト

新見公立大学では、平成 28(2016)年 10 月 19 日、倉敷成人病センター（倉敷市白楽町）との連携協力に関する協定を結び「新見公立大学くらしきサテライト」を開設した。看護学科と助産学専攻科の実習の拠点としている。また、大学院の研究指導を行う際にも利用している。

【看護学科領域実習】

令和 4(2022)年度は、成人病センター内にカンファレンス室が確保できた為、利用しなかった。

【助産学専攻科】

倉敷成人病センターの医師・助産師等の授業を実施し、一部の授業は大学とサテライトを結んだ遠隔授業を実施した。また、助産学実習での継続事例発表会、カンファレンス、勉強会などを実施した。

◎令和 4(2022)年度行事

科 目	期 間
講 義	4 月 6 日～7 月 8 日
助産学実習	7 月 11 日～12 月 23 日

【大学院】

令和 4(2022)年度は、コロナ禍の関係でくらしきサテライトにおいて研究指導は実施しなかった。

4) にいみゆめのぼけっと

「にいみゆめのぼけっと 2022」を、12 月 10 日（土）に開催した。昨年同様にインターネット事前申し込み方法により、新見市在住の方々のみの参加とし、多数の皆様にご来場いただいた。学生実行委員会が中心となり、協議や準備・練習を重ね、学生全員が同じ目標を持って取り組むとともに、各々の学生が自分の役割を果たすことができた。当日発表した内容は以下のとおり。

◆舞台演目

合奏「おねえさんといっしょ～どうぶつ み～つけ！～」、手品「まほうの家でクリスマスパーティー」、合唱とダンス「さあ！みんなに“ありがとう”をとどけるよ」、劇「赤ずきんちゃん」、ダンス「とびだせ！広い世界へ 探そう！世界に一つの宝物」

◆遊びコーナー

つくる・かがく「わくわくドキドキ 造形・科学コーナー」、おはなし「あつまれ！おはなしのもり」、むかしあそび「昔あそび広場へようこそ!!」、プラネタリウム迷路「キラキラ迷路ヘレッツゴー！」

※本学 HP 「健康保育学科：「にいみ ゆめのぼけっと 2022」が開催されました」

参照（ <https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/7,8462,27,158,html> ）

5) にいみ子育てカレッジ

にいみ子育てカレッジは、主に以下の 8 つの活動を行った。

(1) 子育て中の親子交流・活動（ひろば「にこたん」の開設）

令和 4(2022)年度は、新型コロナウイルス感染症による感染対策として、利用時間の制限、体調管理のチェックを行いながら、週 5 日間（火曜・水曜・木曜・金曜・土曜：10 時～16 時）開設した。令和 5(2022)年 3 月 31 日現在の開設日数は 234 日で、年間 5,746 人（昨年同日で 5,483 人）の親子が利用し（延べ人数）、1 日の平均利用者数が 25 人であった。令和 4(2022)年 4 月、NiU 駅西サテライトの開設に伴い 5 月から「にこたん出張ひろば」を開始した。施設の広さを考慮し 5 組の予約制とし、月平均 3 回、11 か月で 35 回、延べ 300 人の利用があった。また、学生ボランティアを組織し、これ真は健康保育学科の学生のみであったが、地域福祉学科の学生も加わり、主体的な活動につながった。

(2) 子育て支援者の育成・連携

市内の子育て支援者を対象に合計 4 回の研修を行った。令和 4(2022)年度は、子育て支援者の基本とその技

法について、ソーシャルワークの視点から学ぶことができた。「主人公は子どもであり、そのために親を支援する」ことなどの感想もあり参加者の意識の向上につながった。また、市内の広場間における月1回の情報交換を行った。保育サポーター養成講座は、令和3(2021)年度同様、4日間実施し8人の保育サポーターの登録があった。さらに、保育サポーター養成講座に付随する地域子育て支援講座では、「子どもとの関わりがもっと楽しくなりおもちゃ選び」をテーマに講師を招き、24人の参加があり、おもちゃを使った子どもの関わり方を学ぶことができた。

(3) 子育て支援者に対する専門研修

子育て支援者(保育士、幼稚園教諭等)が課題とする問題を、大学教員等が専門知識に基づいて研修を実施するものである。令和4(2022)年度は、発達障害、子育て支援、看護・保健、教育・幼児保育、音楽、保育・教育、特別支援教育など10領域の講座が開かれた。実施日数13日間で、延べ受講者数は136人であった。昨年に比べ受講者数は減少しているが、専門職だけでなく気軽に受講でき子育て支援を知る機会となっている。今後も地域の方々への受講を呼びかけ地域の子育て支援力の向上に努める必要がある。

(4) 将来の子育て支援者育成支援

令和4(2022)年度は、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、直接かかわる活動は控えて、授業における室内環境学習や子育て広場スタッフによるミニ講座にとどまった。健康保育学科学生1年次生54人が授業「乳幼児保育Ⅱ」、看護学科学生2年次生84人が授業「小児看護学援助論」、地域福祉学科学生3年次生15人が授業「子育て支援論」でかかわった。さらに、地域福祉学科では子ども家庭福祉分野への就職を希望する学生により親子交流、専門ゼミ活動によるフィールドワークとしてかかわった。

(5) 専門的な子育て相談

令和4(2022)年度は、新見公立大学保健管理センターセンター長による座談会「ハートフルサロン」を3回、新見市健康医療課による保健師訪問を11回、子育て相談室を11回、子育て支援者が随時対応するフロアー相談や電話相談を行った。保健師訪問における相談は23件、子育て支援者が随時対応するフロアー相談は14件であった。子育て相談室における相談は8件であった。

(6) 子育て情報発信

親子交流ひろば「にこたん」の利用状況や子育てに関する最新情報等をフェイスブックにて毎日発信して、利用者への情報提供を積極的に行った。また、9月からInstagramを開設し、令和5(2023)年3月末で100名以上のフォロワーが在籍している。毎月「にこたん通信」を、年1回に「いみ子育てカレッジだより」を発行した。県内からの視察も受け入れ「にこたん子育てカレッジ」の情報発信を行った。ポータルサイト「新見まちナビ」に、「にこたんおたより」「にこたん」を毎月掲載した。主任児童委員による赤ちゃん訪問でのひろば紹介により利用につながった。

(7) にこたん・ファミリー・サポート・センター

保護者の残業や休日出勤、急用等の時に、育児の援助を受けたい人と、育児の援助を行う人が有償で助け合う会員組織をつくり、相互援助活動の普及を図った。令和4(2022)年度の利用者数は39人、利用時間は216時間であり、託児や送迎などが行われた。提供会員登録数は82人、依頼会員登録数は92人である。新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、提供会員同士の積極的な交流活動はできなかったが、子育て家庭のニーズに細やかに対応しながら、誰もが利用しやすい子育て支援サービスを提供していくことができた。

(8) 一時預かり事業(託児サービス)

令和4(2022)年7月から新規事業として開始した。日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより一時的に家庭での保育が困難となる場合があり、また、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するための支援として一時預かりを実施した。にこたんに登録(利用)がある、原則6か月以上の健康な乳幼児を対象とし、NiU駅西サテライト内になることも交流ひろば「ひだまり」において毎週2日間、予約制により実施することができた。稼働日数は43日間、利用人数は80人、利用時間は152時間であった。

6) 看護学セミナー

2022(令和4)年10月28日に地域共生推進センター棟の講堂にて、第13回新見公立大学看護学セミナーを開催した。今年度は「専門性を極めた看護職から学ぶ」をテーマとし、保健師の松本彩佳先生(倉敷保健所健康づくり課倉敷保健推進室)、集中ケア認定看護師の佐藤正和先生(独立行政法人岡山市立総合医

療センター)、訪問看護認定看護師の菅崎仁美先生(岡山県看護協会訪問看護ステーション)の3名の講師の方からご講演をしていただいた。新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、Zoom開催となった。看護学科1・2年生の約160名が参加し、講師の講和に熱心に耳を傾けていた。講演後、学生からは「看護の視野が広がった」、「自分の将来のキャリアアップについて考える機会となった」などの感想が聞かれ、看護学を学び始めた学生たちが看護の専門性について考えを深めるとともに、自身の進路の可能性を広げる機会となった。

7) 疫学調査

本学では「疫学調査・疫学演習」(看護学部3年生保健師課程開講科目)にて、地域住民を対象とした疫学調査を実施している。この調査は二つの目的をもって実施されている。一つは、疫学調査の計画から実施、データの集計・分析、発表までの一連の過程を通じて、学生の疫学的な知識や技能の修得および定着を図ること、二つ目は、地域貢献として地域住民の健康課題を明らかにし、その課題解決に資する資料を得ることである。

令和4(2022)年度は、新見市木谷地区周辺の住民を対象に疫学調査を実施した。

本調査の概要は以下のとおりである。

- ① 調査期間：調査票の各戸配布 令和4(2022)年7月26日(水)
記入済み調査票は郵送により回収した。
- ② 調査対象：新見市選挙管理名簿より抽出された木谷地区周辺の住民 全808人(396世帯)
- ③ 調査方法：無記名・自記式質問紙調査(一部、回収時に調査員による聞き取り調査を含む)とした。調査票の配付と回収は、留置き法または郵送法にて実施した。
- ④ 調査内容：基本属性、健康生活習慣(食生活、身体活動、睡眠、飲酒、喫煙、健診受診、予防接種の有無など)、社会関係、口腔状態、心身の健康など
- ⑤ 調査結果：調査の結果、277人から回答が得られた(回収率34.3%)。
5つのテーマ(「現病歴・身体活動・座位行動」「食習慣・やせ・肥満」「飲酒・喫煙・がん検診受診」「睡眠習慣・精神健康」「う歯・歯周病・口腔ケア」)を設定し、テーマ毎に課題を明らかにした。
- ⑥ 結果の公表：次年度に、調査結果の概要と健康の維持・増進のための提言をまとめたチラシを作成し、木谷地区周辺の住民へ配布する予定である。

8) 「新見船川八幡宮秋季例大祭」参加

10月15日に3年ぶりに举行された「新見船川八幡宮秋季例大祭」別名「こいみ土下座祭り」に参加した。地域福祉人材養成を目指す地域福祉学科では、地域住民の祭りへの思いや祭りによる住民間の紐帯等が当該地域の一つの特徴を形成することから、地域福祉学科2年生の必修科目として開講している地域文化実習の授業に位置付けている。祭り前には土下座祭り特別講義において、船川八幡宮の宮司、土下座祭り実行委員長、若連中の頭取を招き、子どもの頃から親しんだ祭りを支える担い手としてのお話を聴くことができ学修を深めた。当日は音の文化論コースの学生がお囃子隊を組み、神楽コースの学生は獅子頭などで行列を盛り上げた。

9) 高大連携プログラム

地域福祉学科では、短期大学であった2004年度から岡山県共生高等学校との高大連携授業に取り組んでいる。2022年度は8人の生徒が受講した。このプログラムは、介護職員初任者研修修了証取得を目指す同校の生徒に対し、新見公立大学に来て講義や演習を受けることで、専門性の高い大学教育に触れる機会を提供することを目的としている。プログラムの内容は以下の通りである。

研修科目 研修項目	コマ数	月日	時間	教室	講師名
3. 介護の基本 (1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携 (2) 介護職の職業倫理	4	5. 31 (火)	1～4	1202	教授 岡 京子
5. 介護におけるコミュニケーション技術 (1) 介護におけるコミュニケーション	4	6. 2 (木)	3～6	生活文化 演習室	講師 松田 実樹
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (Ⅱ生活援助技術の講義・演習) (9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4	6. 3 (金) 6. 7 (火)	3・4 3・4	生活文化 演習室 1202	講師 合田衣里 松田実樹
5. 介護におけるコミュニケーション技術 (2) 介護におけるチームのコミュニケーション	4	6. 9 (木)	3～6	生活文化 演習室	講師 松田 実樹
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1) 介護保険制度	4	6. 14 (火)	1～4	1202	教授 和田 美智代
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3) 障害者自立支援制度およびその他制度	4	6. 15 (水)	1～4	1202	助教 泉 宗孝
8. 障がいの理解 (1) 障がいの基礎的理解	1	6. 22 (水)	2	1202	教授 岡 京子
8. 障がいの理解 (3) 家族の心理、かかわりの支援の理解	1	6. 22 (水)	3	1202	講師 松田 実樹
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (Ⅲ生活援助技術演習) (13) 介護過程の基礎的理解	2	9. 1 (木)	2～3	1202	教授 松本 百合美
3. 介護の基本 (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント (4) 介護職の安全	4	9. 2 (金)	1～4	1202	教授 三上 ゆみ
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (Ⅲ生活援助技術演習) (14) 総合生活支援技術演習	4	10. 4 (火)	1～4	1202 実習室	教授 三上ゆみ
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (Ⅲ生活援助技術演習) (14) 総合生活支援技術演習	3	10. 5 (水)	1～3	1202 実習室	教授 三上ゆみ
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (Ⅲ生活援助技術演習) (13) 介護過程の基礎的理解	2	10. 6 (木)	1～2	実習室	教授 松本 百合美
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (Ⅲ生活援助技術演習) (13) 介護過程の基礎的理解	2	10. 13 (木)	1～2	実習室	教授 松本 百合美

10) 新見英語サロン

新見公立大学では「新見英語サロン」と称し、外国語指導助手や海外出身の市民、外国を訪問した市民、本地域を訪問する外国からのゲストなどを招き、英語による講演会を開催するほか、平成 17(2005)年度から新見市国際交流協会との共同開催である「外国語講座(英語)」を毎年度実施してきている。また、海外研修を行った本学学生などの研修報告会や英語による茶話会なども行っている。

令和 4(2022)年度においては、英語による講演会について対面の会話が增多する英会話よりリスクが低いと考えられる「英字新聞読解講座」を新たに始め 15 回を開催した。また、「外国語講座(英語)」については、新

型コロナウイルス感染症の感染防止策を実施した上で予定どおり 10 回開催することができた。

◎令和 4(2022)年度「新見英語サロン」開催実績

歴代回数	実施日	内 容	報告者等	会 場	参 加 人数
第 368 回	4 月 18 日	英字新聞読解講座	山内 圭(本学教授) 相見知伸(備北民報社)	ゼミ室	7
第 369 回	5 月 16 日	〃	〃	〃	6
第 370 回	6 月 7 日	〃	〃	〃	4
第 371 回	6 月 21 日	交流協会講演会共催	David Taylor 氏 (新見市国際交流員)	交流ホール	30
第 372 回	6 月 27 日	英字新聞読解講座	山内 圭(本学教授) 相見知伸(備北民報社)	ゼミ室	5
第 373 回	7 月 25 日	〃	〃	〃	4
第 374 回	8 月 29 日	〃	〃	〃	7
第 375 回	9 月 26 日	〃	〃	〃	5
第 376 回	10 月 4 日	英語講座 第 1 回	山内 圭(本学教授) 新見市 ALTs	交流ホール	30
第 377 回	10 月 11 日	〃 第 2 回	〃	〃	30
第 378 回	10 月 17 日	英字新聞読解講座	山内 圭(本学教授) 相見知伸(備北民報社)	ゼミ室	7
第 379 回	10 月 18 日	英語講座 第 3 回	山内 圭(本学教授) 新見市 ALTs	交流ホール	30
第 380 回	10 月 25 日	〃 第 4 回	山内 圭(本学教授) 新見市 ALTs 〃	〃	30
第 381 回	11 月 1 日	〃 第 5 回	〃	〃	30
第 382 回	11 月 7 日	英字新聞読解講座	山内 圭(本学教授) 相見知伸(備北民報社)	ゼミ室	6
第 383 回	11 月 8 日	英語講座 第 6 回	山内 圭(本学教授) 新見市 ALTs 〃	交流ホール	30
第 384 回	11 月 14 日	〃 第 7 回	〃	〃	30
第 385 回	11 月 22 日	〃 第 8 回	〃	〃	30
第 386 回	11 月 28 日	英字新聞読解講座	山内 圭(本学教授) 相見知伸(備北民報社)	ゼミ室	5
第 387 回	11 月 29 日	英語講座 第 9 回	山内 圭(本学教授) 新見市 ALTs 〃	交流ホール	30
第 388 回	12 月 13 日	〃 第 10 回	〃	〃	30
第 389 回	12 月 19 日	英字新聞読解講座	山内 圭(本学教授) 相見知伸(備北民報社)	ゼミ室	4
第 390 回	1 月 16 日	〃	〃	〃	8
第 391 回	2 月 6 日	〃	〃	〃	6
第 392 回	2 月 27 日	〃	〃	〃	5
第 393 回	3 月 20 日	〃	〃	〃	6

*歴代回数は、平成 17(2005)年発足当時の通算回数を表示している。

- ・協会：新見市国際交流協会 ・英語講座：令和 4 年度協会外国語講座(英語)
- ・英字新聞読解講座：新聞記者と英語教員と一緒に英字新聞を読もう講座
- ・ゼミ室：新見公立大学本館ゼミ室 ・交流ホール：新見市学術交流センター学術交流ホール

5. 学生指導・支援

1) 卒業研究テーマ一覧

(1) 健康科学部健康保育学科【卒業研究】

研究テーマ	学生	担当教員
動物介在療法による入院中の子どもの心理的变化		入江慶太
親子の信頼関係が叱られる場面での反応に与える影響		
木育を通した子どもの発達 ―KUMINO を 使用した子どもの遊びから―		岡本直行
自然環境を通した遊びが育む子どもの力 ―森のようちえんに着目して―		
視覚の発達と色の認識の関係 ―子どもの玩具に使用される色の特徴から―		
子どもの主体性を育む保育 ―遊びの環境構成と保育者の援助に着目して―		加藤由美
男性保育者の実態と求められる役割 ―男性保育者および園長へのインタビュー調査から―		
親子交流ひろばで求められる学生ボランティアの役割 ―学生による親子交流活動を通して―		
若手保育者の職員間の人間関係における困難感 ―インターネット上の書き込み内容から―		
保幼小連携の現状と課題 ―質問紙調査を通して―		梶本佳照
保幼小連携についての認識・意識調査 ―質問紙調査を通して―		
保育者養成課程の学生と教員養成課程の学生の保幼小連携に対する認識について		
社会的スキルには何に関連しているのか ―関係性攻撃に着目して―		芝崎美和
乳幼児期における抱っこの意義		
自己開示の返報性に居場所感が与える影響		
向社会性が高い子どもは感情を偽りやすいのか		
4歳児の自己調整能力と保育者のかかわりについて		高月教恵
混合保育における4歳児の思いやり行動について		
2歳児の人間関係 ―保育者のかかわり方を中心に―		
保育所における「気になる子ども」の保護者支援 ―子どもの様子の伝え方に着目して―		高橋彩
集団を対象とした包括的な支援の方法 ―クラスワイドな支援に着目して―		
保育者のティーチング・スタイルに関する研究		
自閉スペクトラム症児における特別な興味関心とそれを用いた保育・教育実践について ―文献考察の視点から―		

保育雑誌における音環境に関する記述の変遷 ―2009 年以降に着目して―		竹下可奈子
実習における音楽表現活動を阻む要因 ―学生を対象としたアンケートおよびグループインタビューから―		
未就学児対象の器楽合奏譜の難易度について ―幼小接続を見据えて―		
発達障害のある子どもをもつ保護者の障害受容過程 ―手記の分析を通して―		立浪朋子
授業づくりという言葉の持つ意味合い		久恒拓也
子どもに愛されるキャラクターの条件 ―人気アニメの主人公からの考察―		
過疎地域における保育事業に関する研究 ―保育の課題と保育施設の統廃合を中心に―		
子どもと身体表現 ―リズム表現活動を中心に―		広瀬綾子
音楽療法の実態 ―保育・幼児教育への応用を見据えて―		
月刊絵本『かがくのとも』『ちいさなかがくのとも』の分析研究 ―2017 年～2021 年に焦点をあてて―		本渡葵
被虐待当事者の手記から捉える「虐待の世代間連鎖」 ―当事者は何を求めているのか―		
素話実践者へのインタビュー調査 ―楽しい実践を目指して―		
大学生の対人ストレスに対する有効な対処法と有効な対処法を行う人の傾向に関する研究 ―A大学保育学生を対象とした調査研究―		松本好生
教員養成系大学の学生における特別支援教育実習への負担感・不安感に関する研究 ―障害がある子どものかわり経験による障害種比較―		
ペアレントトレーニングにおける親子の認知行動的特徴に関する研究		
企業主導型保育の役割と課題		八尋茂樹
要保護児童の権利に関する研究 ―明石市の社会的養育推進計画に着目して―		
豪雨災害時における保育現場の対応についての研究		
幼児の自然体験活動で育つ力 ―戸外における園外保育と園庭遊びの発話を比べて―		渡部昌史
運動の好き嫌いの要因と運動遊びの環境づくりに関する調査		
保育学生と現職保育者の安全面への配慮の違い ―運動遊び場面に着目して―		
子どもの夏季における活動環境の一考察 ―熱中症対策の観点から―		

(2) 看護学科【卒業研究】

	研究テーマ	学生	担当教員
専門基礎	思春期の自傷行為・自殺予防を目的とした教育的介入研究の報告の質		矢嶋 裕樹
	大学生における多様なセクシュアリティに対する認識と態度		
基礎看護学	我が国のリプロダクティブ・ヘルス/ライツの研究の動向と課題		土井 英子
	我が国の障害児の療育支援に関する文献検討		
	産後うつ病の予防的介入に関する文献研究		山本 智恵子
	看護師のコミュニケーションスキルに関する文献研究		
	看護学生における自身とその家族の臓器提供への意思決定と意思		赤田 いづみ
	成人期の運動習慣獲得に向けた保健指導に関する文献検討		吉田 美穂
	大学生が受けてきた食育の成果に関する文献検討		
成人看護学	恋愛関係が大学生に及ぼす影響		礪本 暁子
	ソーシャルサポートが臨地実習における対人関係ストレスによる精神的健康に及ぼす効果		
	救急外来における家族への悲嘆ケアに関する文献検討		
	看護大学生の臨地実習における月経に伴う不快症状の実態調査		塩見 和子
	一般病棟において看護師が患者から受ける暴力・暴言の実態と対処方法に関する文献検討		真壁 五月
	脳卒中患者とその家族へ関わる看護師の退院支援に関する文献検討		宮武 一江
	看護学生のコロナ禍における健康行動・感染対策に伴う行動変容の実態		井上 弘子
	看護学生の脳死による臓器提供への意思に及ぼす影響について		小林 匡美
老年看護学	男性介護者の介護肯定感獲得プロセス～要因と支援の考察～		木下 香織
	看護職を志望する若者の高齢者の性に対する意識傾向について		
	男性看護師の役割期待についての文献研究		

	わが国における入院関連機能障害（HAD）に関する研究の動向と看護の役割		
	独居高齢者の他者との交流に対する思いに関する文献研究		安藤 亮
在宅看護論	西日本豪雨災害における訪問看護師の在宅療養者への対応の実態と今後の方策		栗本 一美
	病棟看護師と訪問看護師の連携における情報共有の課題に関する文献レビュー		
	A 県内の訪問看護ステーションにおけるインシデント・アクシデントの発生状況および 医療安全管理の実態と今後の課題		
	小学校の養護教諭が実践する感染対策に関する文献検討		丸山 純子
精神看護学	双極性障害患者をもつ家族への支援に関する文献検討		山野井 尚美
	アルコール依存症の家族が抱える問題への支援に関する文献検討		
	精神科で働く新人看護師が感じるやりがいについての文献検討		
	思春期における自傷行為の現状と課題に関する文献検討		長崎 恵美子
小児看護学	小児慢性特定疾病をもつ患児に対する学習支援 -看護学生・保育学生への調査より-		上山 和子
	重症心身障害児の家族が求めている在宅での療養支援に関するスコーピングレビュー		
	被虐待児がかかえる身体的および精神的問題とその支援についての文献レビュー -看護的側面からの介入について-		
母性看護学	女子看護大学生の出産に関するイメージ		西川 由貴子
	妊娠期における抑うつが母体の健康状態に及ぼす影響と看護についての文献検討		平田 知子
公衆衛生看護学	認知症をもつ高齢者の家族介護者の仕事と介護の両立につながるための支援		金山 時恵
	A 県 B 事業所の従業員を対象とした糖尿病に対する関心と運動習慣		
	中学校の養護教諭が実践する性的マイノリティに関する保健指導の実態		
	児童・思春期病棟に入院する子どもに対する看護実践		
	保健所及び市町村の地震に関する取り組みの現状と課題からとらえた保健師の役割		矢庭 さゆり
	閉じこもり高齢者の行動範囲拡大を促す支援の実際		

	特定保健指導による健康意識の変化と行動変容		
	妊娠期から育児期における初産婦の母性意識を高める専門職からの支援に関する文献研究		中川 彩見

(3) 助産学専攻科【助産学研究】

研究テーマ	学生	担当教員
男性の父親としての意識と父親役割意識の変化		四宮美佐恵 安田 陽子
妊娠期の妻が満足と感じる夫の関わりを高める助産師としての援助 － A助産院に勤務する助産師の経験に基づいて －		
月経随伴症状と性格特性との関連		
大学生の子どもへの関心と育児に関する意識の現状		
大学生の親性準備性を高める因子に関する文献検討		

(4) 地域福祉学科【地域福祉研究】

研究テーマ	学生	担当教員
映像を使って振り返る研修の有効性に関する調査		松本百合美
現役世代の認知症に関する意識及び認知症の人の搜索訓練が及ぼす影響		
介護職員が認知症利用者と有効なコミュニケーションをとる際の工夫について		
移動用バーを使用した立ち上がりの簡易的動作分析アプリの有効性の検討		
訪問リハビリテーションと介護支援専門員との連携についての考察		岡京子
施設利用者に美味しく食事をとってもらうための工夫～特別養護老人ホームに勤める職員のインタビュー調査から～		
「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」宣言事業所の職員の職場環境に対する意識調査		
男性高齢者の地域活動に参加する要因と課題		
『ヘルプマン！』から見る介護保険制度と利用者・家族・専門職の葛藤		
不妊治療の歴史とソーシャルワーカーの支援の在り方		山内圭
小学校教科書における「ネガティブな事象」の学習内容について		
ラジオの福祉的な役割を考える		
医療ソーシャルワーカーから見たアピアランスケアと求められている支援		
災害発生時の高校生におけるボランティア活動の要因と課題～大学生への調査を通して～		山本浩史
一般避難所において実施される認知症高齢者に対する福祉避難所移動のためのスクリーニングに関する研究について		

DWAT(災害派遣福祉チーム)における社会福祉士の役割～岡山県におけるDWAT の活動からの検証～		
若者の移住・定住に関する自治体の先駆的な取り組みについて		
地域共生社会の実現を目指した多世代交流の居場所作りに関する研究～岡山県の社会福祉法人による多世代交流を目的とした居場所づくりの現状と課題～		高杉公人
岡山県新見市における地域運営組織に関わる動機に関する研究		
四国中央市における高校生の地域交流に関する意識調査		
高齢者の福祉アクセシビリティとボランティアの主体性の関連性に関する研究		
債権管理回収業における市民の幸福実現とは		和田美智代
同性婚および同性パートナーシップ制度への取り組みに関する一考察～諸外国と日本国内の動き～		
子どもの貧困支援におけるスクールソーシャルワーカーの役割 と課題		
成年後見制度の利用促進についての一考察		
十分な養育能力のない親の子どものためにできることー虐待してしまう親を中心にー		
大学生の親子関係・子どもとの接触経験と子育て支援力の関連性ー福祉・保育を学ぶ学生へのアンケート調査を通してー		八重樫牧子
放課後等デイサービスの対応困難な場面における職員の支援方法		
放課後等デイサービスにおける居場所づくり支援についてーA 放課後等デイサービスの支援に着目してー		
地域子育て支援事業における情報提供のあり方ーA 地域子育て支援拠点の支援者と利用者へのインタビュー調査を通してー		
地域における子ども食堂の現状と課題ー社会福祉協議会が果たす役割を中心にー		
地域の子育て支援拠点事業における父親への支援ー大学内の A 地域子育て支援拠点の支援者と利用者へのインタビュー調査を通してー		
大学生の親子関係・子どもとの接触経験と親準備性の関連性ー福祉・保育を学ぶ学生へのアンケート調査を通してー		
福祉サービスをマネジメントする専門職が考える中山間地域に暮らす要援護高齢者が公的サービスに繋がりにくい要因		三上ゆみ
難治性の小児慢性疾患の緩和ケアにおける MSW の役割と今後期待されることへの考察		
新見市高齢者と若者における多様化するセルフレジ等買い物行動への支援		
病院で働く介護福祉士のストレングスへの考察		
ポリティカル・コレクトネス (PC) に関する研究ーポジティブな PC の必要性ー		井上信次
家族における「血のつながり」への意識に関する研究		
新型コロナウイルス感染症の大学生への影響ーストレスの状況と対処方法の変化ー		

少子高齢化が進む地域におけるソーシャル・キャピタルに関する研究自然災害における「自助」「公助」「共助」の視点から		
LGBTにみる家族観の研究－生殖家族イデオロギーからの脱却をめざして－		
現代の日本における複式学級の現状と課題－中山間地域を事例として－		
中山間地域における福祉系学生のソーシャル・キャピタルと地域活性化への意識に関する調査		
ユニバーサルツーリズムの現状と課題		鄭丞媛
日本における精神障害者スポーツの現状と課題		
要介護認定率に影響を及ぼす要因：四国中央市のデータ分析から		
ディズニープリンセスによるジェンダー表現の変化		
DV民間シェルターの現状と課題－財政的問題を中心に－		

2) キャリア支援

(1) 講座・ガイダンス等

令和4(2022)年度は、全学を対象にキャリア形成に関する講座を4件、就職に関する講座を7件、実施した(表参照)。各学科においては、健康保育学科講座2件、ガイダンス4件、看護学科講座2件、ガイダンス7件、地域福祉学科講座1件、ガイダンス3件、実施した(表参照)。また、全学科共通版ならびに各学科に関する進路の手引きを作成し、配布を行った。

全学対象

◎令和4(2022)年度全学生対象講座開催実績

講座名	対 象	開催日	講 師
キャリア形成講座(3)	3年次生	4/20(水) 4限	オフィス f u k u r e 松井 克
自己分析(SPI)講座	〃	4/20(水) 3限	(株)リクルート 中野 実咲
就職先分析講座	〃	4/27(水) 3限	〃
キャリア形成講座(2)	2年次生	5/25(水) 3限	オフィス f u k u r e 松井 克
キャリア形成講座(1)	1年次生	6/15(水) 4限	オフィス f u k u r e 松井 克
公務員試験対策講座	2年次生	10/12(水) 3限	(株)東京リーガルマインド 市川雅宏
キャリア形成講座(4)	4年次生	11/30(水) 3限	オフィス f u k u r e 松井 克
就活マナー、 合同企業説明会の周り方講座	3年次生	12/21(水) 4限	(株)マイナビ 一色 嘉樹
就活準備講座	2年次生	12/21(水) 3限	〃

面接対策講座	3 年次生	2/1(水) 4 限	〃
エントリーシート、 履歴書、小論文対策講座	〃	2/1(水) 3 限	〃

健康保育学科

◎令和 4(2022)年度健康保育学科生対象講座開催実績

講座名	対 象	開催日	講 師
学科キャリア講演会 「チームで保育をする そ の一員であるために」	3 年次生	12/14 (水)	認定こども園いぶき幼稚園 園長 阿部 能光先生
学科キャリア講演会 「遊び込むことを支える保 育者」	2 年次生	1/26 (木)	岐阜聖徳学園大学 教授 松本信吾 先生

◎令和 4(2022)年度健康保育学科生対象ガイダンス開催実績

ガイダンス名	対 象	開催日	内 容
学科キャリアセミナー(4) 実技・面接試験対策	4 年次生	5/12 (木)	保育職を希望する学生を対象とし、実技試 験、面接試験に向けた対策について説明し た。
学科キャリアセミナー (1) 保育専門職を知る	2 年次生	8/10(火)	様々な保育専門職について紹介するととも に、保育現場の話をもとに、保育者の仕事内 容や業界の性質等について説明した。
学科キャリアセミナー (2) 「進路のてびき」の説明	3 年次生	5/12(木)	学部のでびき及び学科のでびきについて説 明を行い、情報収集の方法や就職活動時の 留意点をおさえた。
学科キャリアセミナー (3) 保育インターンガイダンス	〃	2/14(火)	保育インターンの概要（就職希望園での就 業体験や見学を通して子ども理解を深めたり、施設について学んだりする）を理解させ るとともに、今後の就職活動で活用できる ようにした。

看護学科

◎令和 4(2022)年度看護学科生対象講座開催実績

講座名	対 象	開催日	講 師
国家試験対策講座	4 年次生	4/4(月)	㈱看護師国家試験対策 吉川塾 吉川久美子
〃	3 年次生	4/4(月)	〃

◎令和 4(2022)年度看護学科生対象ガイダンス開催実績

ガイダンス名	対 象	開催日	内 容
学科進路ガイダンス(4)	4 年次生	4/4(月)	就職に関する諸注意と受験報告書、内定届、 最終進路報告について

学科進路ガイダンス (3)-①	3 年次生	4/4(月)	「進路のてびき」を配布し、活用方法についての説明と進路選択の情報収集等を積極的に行うよう促した。
学科進路ガイダンス (2)-①	2 年次生	4/4(月)	「進路のてびき」を配布し、活用方法についての説明とキャリア形成講座の参加について説明をした。
学科進路ガイダンス(1)	1 年次生	4/6(水)	「進路のてびき」を配布し、活用方法についての説明とキャリア形成講座の参加について説明をした。
学科進路ガイダンス (3)-②	3 年次生	8/5(金)	夏休みを利用して、就職活動に向けた情報収集、キャリアガイダンスやインターンシップ、合同就職説明会への参加等について勧奨を行った。
学科進路ガイダンス (2)-②	2 年次生	2/7(火)	公務員対策講座等についての案内をした。
学科進路ガイダンス (3)-③	3 年次生	2/15(水)	進路希望調査実施の周知とともに春期休暇期間を有効に活用し、進路選択、就職活動の情報収集およびインターンシップ、合同就職説明会等への参加を勧奨した。

地域福祉学科

◎令和 4(2022)年度地域福祉学科生対象講座開催実績

講座名	対 象	開催日	講 師
就職講座 「自分にあった職場を見つけるために」	3 年次生	3/14 (月)	岡山県社会福祉協議会 福祉人材センター

◎令和 4(2022)年度地域福祉学科生対象ガイダンス開催実績

ガイダンス名	対 象	開催日	内 容
学科ガイダンス(1) てびき	3 年次生	10/1(金)	学部のとびき及び学科の「てびき」を配布し、説明を行い、情報収集の方法や就職活動時の留意点について説明した。
学科ガイダンス(2) 社会福祉士国家試験対策	〃	2/8(火)	社会福祉士国家試験対策について、担当朴講師が、対策、支援体制、模擬試験の予定、国家試験について説明を行った。
学科ガイダンス(3) 就職活動	〃	2/21(火)	岡山県社会福祉協議会福祉人材センター出張講座とあわせて、就職活動について説明を行った。

(2) 学科の特性を生かしたキャリア支援プログラムの充実

学生が実社会を知り、その中で自分の未来をどのようにデザインしていくのかについて、全学科の学生を対象に「キャリア形成講座」を各学年で開催した。今年度は全学科が完成年度を迎え、卒業後に社会人としてのキャリアを積み上げる事が出来るように、4 年生を対象にした「キャリア形成講座

(4)を開催した。各講座においては、学生アンケートの結果より「とてもよかった」「まあまあよかった」の割合がどの学年も多く、意義のある講座であったと判断した。

また、学生がインターンシップ等の就学体験を円滑に行うことが出来るように、中国・四国地方の官公庁インターンシップをはじめ、県内外の情報集約と情報提供を修学・キャリア支援センターで行った。学生に対しては、ユニバーサルパスポートで情報を周知し、希望者に対しては個別に対応した。

国家試験に臨む学科に関しては、模試など国家試験対策のサポートを行った。また、ハローワーク職員が毎月、本学へ来ていただき、希望学生に対して、就職に関する相談と情報提供を行った。さらに、有料公務員講座を専門業者に委託して開講し、3年次生 83 人（健康保育学科 53 人、看護学科 3 人、地域福祉学科 27 人）が新たに受講した。昨年度受講した学生を対象にアンケート調査を行い 72% が満足していると回答していることから、本講座は就職試験に対して一定の役割を果たしているといえる。

新たな試みとしては、今年度の公務員試験に合格した 4 年生の学生を講師に、今後、公務員を目指す 3 年生以下の学生と懇談する「公務員内定者懇談会」を学科別に実施した。

各学科の取り組みは、下記の通りである。

各学科の取り組み

健康保育学科

◎令和 4(2022)年度健康保育学科キャリア支援実績

項 目	内 容
就職指導全般	チューターは、学生と定期的な面談を行って状況を把握し、キャリア指導を担っている。その際、地区担当教員と連携して指導を行っている。修学・キャリア支援センター員は、学科内の就職指導体制を整備するための資料作成等を行っている。
就職先希望調査	修学・キャリア支援センター員は、適宜、就職先希望調査を行っている。また、就職活動実施状況報告書を学生に配布し、チューターに自身の就職・進学活動の計画と経過を報告するよう指導している。
地区担当教員	地区担当教員は、担当地区の就職試験情報を収集し、チューターと連携して学生の就職支援にあたる。
就職試験対策	就職試験（特に公務員保育職）に向けて、各分野の専門性の高い教職員や保育・教育現場での勤務経験豊富な教員が連携して、実技や面接、各専門科目についての指導・助言を行う体制を構築している。また、翌年度当初に実施される、保育士採用模擬試験の準備を整えている。
その他	令和 5 年度健康保育学科求人依頼のための保育所・幼稚園・施設等への案内送付の準備を整えている。

看護学科

◎令 4(2022)年度看護学科キャリア支援実績

項 目	内 容
進路希望調査	4 年次生を対象に 4 月に進路希望調査を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、就職活動と実習を安全に並行して取組めるよう、学生の就職活動状況について学科教員で共有し、可能な限り実習との調整が図れるよう体制を整えた。3 年次生には、2 月に進路希望調査実施に向けた周知を行い、情報収集等、円滑な就職・進学活動に繋がるよう意識付けを行った。

就職・進学支援対策(小論文・作文、履歴書・エントリーシート作成、面接指導)	指導はチューター(ゼミ担当教員)を中心に、チューター長、修学・キャリア支援センター員その他学科教員も行っている。学生は、希望する教員に指導を依頼し、1つの就職先につき必要に応じて1～3人の教員に指導を受けている。また、新型コロナウイルス感染症の影響によるWeb面接に対応するため、大学のWi-Fi環境の利用、面接室確保の調整や情報提供を行った。また、Web面接時の注意点の情報提供やライトの貸し出し等の支援を行った。
国家試験対策	学科の国家試験対策委員が、模擬試験や補講を企画、実施している。令和4(2022)年度も、科目別業者模試や学内教員作成の試験を用いた学生の学修到達度の確認と各科目の担当教員による補講で構成する「学修成果確認講座」を開講した。国家試験対策模擬試験として、4年次に看護師国家試験対策模試として、240問模試を8回、さらに、科目別強化模試11回、必修対策模試等6回、保健師国家試験対策模試を3回実施している。3年次に基礎学力到達度チェックテスト130問模試、国家試験形式の模擬試験(240問模試)の実施を行い、学修の促進を図った。成績不振者に対しては、チューターが面接を行い、学修計画の検討などの学修支援とともに、学生の体調の管理、生活指導等のサポートも行っている。また、本年度も、3.4年次生を対象に、業者による国家試験対策講座を企画し、実施し、国家試験対策の充実を図った。
奨学金	修学・キャリア支援センター事務局が各学年のガイダンス時およびメール配信、掲示等により、奨学生募集について周知、対応した。
就職先のおおよその比率	病院等の看護師7割弱、保健師2割、助産学専攻科・養護教諭特別別科への進学1割

地域福祉学科

◎令和4(2022)年度地域福祉学科キャリア支援実績

項 目	内 容
国家試験対策	国家試験対策として3年次生に対し、下記の取り組みを行った。 ・社会福祉士国家試験模擬試験・赤マル福祉模試(3/3) ・介護福祉士国家試験対策・問題集小テスト(10～2月) ・介護福祉士国家試験対策学内模試(12/2、1/13、2/21)
進路希望調査票配布	4年次生でのチューター面接による個別指導のため、進路希望調査票を3年次生に配布した。(3/14)
その他	第一期生が卒業年次を迎えるため求人件数を増やす取り組みとして、求人票の送付依頼を全国の医療・福祉機関、施設に対し行った。

(3) 修学・キャリア支援センター体制の充実

修学・キャリア支援センター専用窓口を月曜日から金曜日の8時30分から17時00分まで開設し、学生がいつでも相談できる環境を整えた。授業料減免・奨学金、進路相談・試験対策に関する相談が多かった。修学・キャリア支援センター専用窓口へ相談に来た学生については、必要に応じて専任職員と各学科が情報共有を図り指導にあたった。また、ハローワークとの連携に関しては、毎月、ハローワーク職員と就職に関する専門的な個別相談が出来る機会を設けて、情報提供や学生の疑問、悩みに対応した。さらに、本学のホームページに修学キャリア支援センターのバナーを設置し、学内外か

ら修学キャリア支援センターの情報を確認できるようにした。

◎令和 4 (2022)年度修学・キャリア支援センター個別相談実績【4/1～3/31】

単位：件

項目	修学支援 就学支援	授業料等 減免奨学	キャリア 形成	進路相談 試験対策	就職先 再就職	その他	計	対全体 率(%)
1 年次		61		2			63	17.1
2 年次		10		14			24	6.5
3 年次		8	7	64			79	21.4
4 年次		15	1	187			203	55.0
計		94	8	267			369	100
率(%)		25.5	2.2	72.3			100	

(4) 卒業生との連携

学生が進路決定する際の情報として、看護学科・健康保育学科において、卒業生と繋がる機会を提供した。

◎令和 4 (2022)年度看護学科における卒業生との連携実績

項目	内 容
先輩と語る会	看護師(病院、訪問看護ステーション)、保健師、助産師、養護教諭として活躍の先輩方から仕事内容、やりがい、就職・進学等の進路選択、就職活動、実習をはじめとした学修、国家試験対策について、講演および交流会(対面とオンデマンドのハイブリッド)で話を伺い、学生の進路選択について考える機会を持った。なお、交流会は3年次生のみだが、講演は、1.2年次生も聴講できるように配信し、コース選択等進路の幅を考える機会の提供を行った。(2/10)
卒業生との連携	学生が卒業生からの情報収集を希望する場合、チューター長、修学・キャリア支援センター員等が仲介し、情報収集の機会を広げている。

◎令和 4 (2022)年度健康保育学科における卒業生との連携実績

項目	内 容
先輩と語る会	保育士(公立保育所、児童養護施設等)、幼稚園教諭(公立園)として活躍する先輩方から仕事内容、やりがい、就職・進学等の進路選択、就職活動、実習をはじめとした学修、就職試験対策について、講演および交流会(対面)で話を伺い、学生の進路選択について考える機会を持った。
卒業生との連携	学生が卒業生からの情報収集を希望する場合、チューター長、修学・キャリア支援センター員等が仲介し、情報収集の機会を広げている。

◎令和 4 (2022)年度地域福祉学科における卒業生との連携実績

項目	内 容
先輩と語る会	社会福祉協議会(社会福祉士取得・機関係)及び高齢者施設(介護福祉士取得・施設系)として活躍する先輩方から、仕事内容や仕事のやりがい、福祉系就職活動の仕方や国家試験に向けた勉強の方法等についてご講演頂いた後に、座談会形式で4年生と懇談を行って頂いた。(4/27)

卒業生との連携	学生が卒業生からの情報収集を希望する場合、チューター長、修学・キャリア支援センター員等が仲介し、情報収集の機会を広げている。
---------	--

(5) 保護者懇談会

保護者懇談会については、下記の通り実施した。

健康保育学科

- ・新入学生保護者説明会(1年次生)※コロナ禍のため資料郵送のみ

看護学科

- ・新入学生保護者説明会(1年次生)※コロナ禍のため資料郵送のみ

地域福祉学科

- ・新入学生保護者説明会(1年次生)※コロナ禍のため資料郵送のみ

(6) 大学コンソーシアム岡山就職委員会への参加

令和 3(2021)年度に引き続き、大学コンソーシアム岡山就職委員会に参加し、岡山県内の大学と就職支援に関する情報交換を行った。

3) 国家試験対策

(1) 看護師・保健師国家試験対策

2022 年度は集合模試を基本とし、合同講義室で実施した。結果を可視化できるよう、成績一覧プロットグラフを活用した。適宜、チューターやチューターアドバイザーによる個別面接を行い、準備状況・精神状態を確認した。今年度も修学・キャリア支援センターと連携し、模擬試験の準備・実施等下記のとおり実施した。

1) 看護学科 4 年生に対する国家試験対策

- ① 国家試験形式の看護師国家試験模擬試験(240 問模試 8 回)、及び必修問題、科目別模模擬試験の実施
- ② 専門基礎分野及び各看護学領域の学修成果確認講座(科目別トレーニングテスト活用)及び補習講義の実施
- ③ 保健師教育課程履修学生に対し、保健師国家試験模擬試験の実施
- ④ 模擬試験結果の分析、学年全体及び個別の学生指導
- ⑤ 閲覧用の国家試験対策用問題集を購入し、図書館に配置(低学年の学生も活用)
- ⑥ 自己学修のための学修環境の確保、休日利用の促進(新館 1 階イノベーションルーム、本館ゼミ室、図書館・閲覧室、教室を利用)

月	4 年生	3 年生
4 月	・ 国家試験対策講座(外部委託) ・ 国家試験対策方針の決定	・ 国家試験対策講座(外部委託)
5 月	・ 看護師必修模試 3 回	
6 月	・ 看護師必修模試 1 回 ・ 保健師模試 1 回	
7 月	・ 看護師必修模試の復習	
8 月	・ 看護師 240 問模試 1 回	
10 月	・ 看護師 240 問模試 2 回	
11 月	・ 看護師学修成果確認講座(科目別模試 8 回) 及び補習講義 8 回 ・ 保健師模試 2 回	
12 月	・ 看護師学修成果確認講座(科目別模試 3 回) 及び補習講義 3 回 ・ 看護師必修模試 2 回 ・ 看護師 240 問模試 3 回	・ 基礎学力到達度 130 問模試
1 月	・ 看護師 240 問模試 2 回 ・ 保健師模試 1 回 ・ 自己学修・過去の模擬試験問題に再挑戦	
2 月	・ 自己学修・過去の模擬試験問題に再挑戦	・ 看護師 240 問模試(自宅受験)
3 月	・ 国試申し送り	・ 国試申し送り

2) 看護学科 3 年生に対する国家試験対策

- ①必修問題及び科目別模擬試験、国家試験形式の模擬試験(240 問模試)の実施
- ②図書館に配置の国家試験対策用問題集を活用した学修の促進
- ③3 年後期からの領域実習と関連づけた学修指導
- ④4 年生との協同学習による意識付け

3) 1・2 年生に対して解剖・生理、看護師必修問題の基礎固めを行った。

(2) 助産師国家試験対策

① 令和 4(2022)年度入学生に対して次の国家試験対策を行った。

- i 「さんもし」3 回と「クオリス」2 回、全て受けるか確認して申し込む。
- ii 6 月より学生に過去模試を実施(各自実習中可能な日に計 10 回分を月に 1~2 回のペースで実施するように計画を立て配布)した。午前 85 分、午後 75 分で実施後に解答・解説を渡し、必要に応じて解説を行った。

◎令和 4(2022)年度助産師国家試験対策実施

業者	さんもし	業者	クオリス	過去模試	
1 回	8/19	1 回	10/21	1 回	8/5
2 回	1/17	2 回	12/20	2 回	8/8
3 回	1/26			3 回	8/15
				4 回	9/16
				5 回	10/21
				6 回	11/30

				7 回	12/3
				8 回	1/20
				9 回	1/24
				10 回	2/1

(3) 社会福祉士国家試験対策

地域福祉学科では、初めて社会福祉士国家試験を受験することとなった（2019 年度入学生）。その結果、45 名が受験し 39 名が合格した（合格率 86.7%、全国平均合格率 44.2%）。本学は福祉系大学（10 人以上受験）205 校の中 7 位となった（厚生労働省発表）。

主な国家試験対策は、以下のように行った。

1) 4 年次生に対する国家試験対策

- ① 学習スケジュールや受験までの学習内容ガイダンスを実施（計 4 回）
- ② 定期的な国家試験対策勉強会の開催（春学期、毎週 1 コマ以上実施）
- ③ 模擬試験の実施（計 3 回）
- ④ 国家試験対策ワーキング教員を中心に直前対策講座を実施（秋学期、毎週 1 コマ以上実施）
- ⑤ 閲覧用の国家試験対策用問題集や参考図書を購入し図書館および学科備品として配置
- ⑥ 学生の自己学習のために学習環境を確保（1 号館の教室、図書館・閲覧室などを利用）
- ⑦ 随時、学年全体・小グループ・個別の学生相談および指導の実施

2) 3 年次生に対する国家試験対策

- ① 学習スケジュールや受験までの学習内容のガイダンスを実施（計 2 回）
- ② 模擬試験の実施（計 1 回）
- ③ 先輩による学習方法やアドバイス・相談会を実施（計 2 回）
- ④ 随時、学年全体・小グループ・個別の学生相談および指導の実施

月	4 年生	3 年生
4 月	・ 学習スケジュールなどのガイダンス ・ 国家試験対策勉強会（毎週 1 コマ）	
5 月	・ 国家試験対策勉強会（毎週 1 コマ）	
6 月	・ 国家試験対策勉強会（毎週 1 コマ）	
7 月	・ 国家試験対策勉強会（毎週 1 コマ）	
8 月	・ 模擬試験 1 回	・ 国家試験に関するガイダンス ・ 先輩によるアドバイス・相談会
9 月	・ 受験申込説明会、ガイダンス	
10 月	・ 模擬試験 1 回 ・ 教員による直前対策講座（毎週 1 コマ）	
11 月	・ 教員による直前対策講座（毎週 1 コマ）	
12 月	・ 模擬試験 1 回 ・ 教員による直前対策講座（毎週 1 コマ） ・ 模擬試験結果を踏まえた直前ガイダンス（外部委託）	・ 学習スケジュールなどのガイダンス ・ 先輩によるアドバイス・相談会
1 月	・ 教員による直前対策講座（毎週 1 コマ）およびガイダンス ・ 学科教員による激励会	
2 月		・ 模擬試験 1 回
3 月		

(4) 介護福祉士国家試験対策

地域福祉学科では、介護福祉士養成科目受講者は 12 人でありうち国家試験受験者は全員が受験した（2019 年度入学生）。その結果、12 名全員が合格した（合格率 100%）。

主な国家試験対策は、介護を担当する専任教員が「学習支援」を開講し、以下のように行った。

1) 3～4 年次生に対する国家試験対策

- ① 学習スケジュールや受験までの学習内容のガイダンスを実施
- ② 模擬試験の実施（学内模試 6 回／中央法規外部模試 4 年次 2 回）
- ③ 介護福祉士養成施設協会学力評価試験
- ④ 介護専任教員による定期的対策講座を実施（27 コマ実施）
- ⑤ 卒業生による国家試験受験直前講座の開催
- ⑥ 閲覧用の国家試験対策用問題集や参考図書を購入
- ⑦ 学生の自己学習のために学習環境を確保（1 号館の教室、図書館・閲覧室などを利用）
- ⑧ 学年全体・チューター・個別の随時学生相談および指導

月	4 年生	3 年生
4 月	・学習スケジュールなどのガイダンス ・教員による対策講座 3 回	
5 月	・教員による対策講座 1 回 ・学内模試 1 回	
6 月	・教員による対策講座 2 回	
7 月	・国家試験中央法規模試 1 回 ・教員による対策講座 1 回	
8 月	・教員による対策講座 1 回	
9 月	・受験申込説明会、ガイダンス	
10 月	・国家試験中央法規模試 1 回 ・教員による対策講座 3 回	教員による対策講座 1 回
11 月	・学内模試 1 回 ・教員による対策講座 2 回 ・介護福祉士養成施設協会学力評価試験	教員による対策講座 2 回
12 月	・学内模擬 1 回 ・教員による対策講座 6 回	学内模試 1 回
1 月	・学内模擬 1 回 ・教員による対策講座 5 回 ・卒業生必勝対談！3 年生合同 ・学科教員による激励会 ・直前ガイダンス	学内模試 1 回

4) オフィスアワー

本学は、教員が学生から授業のことや就職・進路などについて個人的な相談を受けるために、研究室などあらかじめ指定した場所に待機している時間帯を設けている。

◎令和 4 (2022) 年度オフィスアワー設定実績

前期

学科	職氏名		第 1 日		第 2 日		第 3 日	
全学	学長	公文 裕巳	火	17:00～18:00				
	副学長	小田 慈	火	12:30～13:20	水	12:30～13:10		
看護学科	教授	上山 和子	火	12:30～13:20	金	12:30～13:20	木	12:30～13:20
	〃	金山 時恵	木	12:40～13:10	火	12:40～13:10	金	12:40～13:10
	〃	四宮美佐恵	月	13:30～15:00	火	13:30～15:00	水	11:30～13:10
	〃	矢庭さゆり	月	16:30～17:30	水	16:30～17:30	金	16:30～17:30
	〃	原田 信之	火	12:50～13:20	木	12:50～13:20	金	12:50～13:20
	〃	土井 英子	火	12:40～13:10	木	12:40～13:10	金	12:40～13:10
	〃	木下 香織	月	12:40～13:10	金	12:40～13:10		
	〃	栗本 一美	水	12:30～13:00	金	12:30～13:00	木	17:30～18:00
	〃	磯本 暁子	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
		塩見 和子	金	10:00～12:00	水	12:40～13:10		
	特任教授	郷木 義子	木	10:00～12:00	木	15:00～17:00	水	10:00～12:00
	〃	山田 雅夫	木	9:30～11:00	月	15:00～18:00		

	准教授	矢嶋 裕樹	木	12:30～13:20	火	12:30～13:20	金	12:30～13:20
	〃	山本智恵子	金	12:35～13:10	火	12:35～13:10		
	〃	山野井尚美	月	12:30～13:20	金	12:30～13:20		
	講師	真壁 五月	木	13:00～13:30	水	17:00～17:30	金	17:00～17:30
	〃	安田 陽子	金	12:40～13:10	水	12:40～13:10		
	〃	赤田いづみ	水	12:00～13:00	火	12:00～12:30	金	9:30～10:00
	〃	丸山 純子	火	13:00～14:00	月	13:00～14:00	金	13:00～14:00
	〃	吉田 美穂	金	16:30～17:30	火	16:30～17:30		
	〃	長崎恵美子	火	13:30～14:00	水	11:00～11:30	木	13:30～14:00
	助教	西川由貴子	火	12:30～13:00	金	12:30～13:00		
	〃	平田 知子	火	12:00～13:00	木	12:30～13:20	金	12:30～13:20
	〃	山本 裕子	金	12:30～13:00				
	〃	宮武 一江	金	12:40～13:10	金	16:00～16:20		
	〃	中川 彩見	火	12:40～13:10	月	12:40～13:10		
	〃	井上 弘子	金	16:30～17:00	水	16:30～17:00		
	〃	小林 匡美	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	安藤 亮	火	12:40～13:10	水	12:40～13:10		
	〃	高尾 緑	水	11:30～13:20				
	〃	大島 由美	金	12:45～13:15	木	12:45～13:15	火	12:45～13:15
	〃	難波 香	月	12:40～13:10	金	12:40～13:40		
	〃	西村美紗希	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	井上 竹美	火	12:40～13:10	木	12:40～13:10	金	12:40～13:10
	〃	西森 千恵	火	12:40～13:10	木	12:40～13:10	金	11:30～13:20

学科	職氏名		第1日		第2日		第3日	
健康 保育 学科	教授	岡本 直行	火	16:30～18:00	木	16:30～18:00		
	〃	斎藤 健司	火	12:30～13:20	木	12:30～13:20	金	12:30～13:20
	〃	松本 好生	月	11:00～14:00	火	9:00～11:30	水	9:00～12:00
	〃	岡本 邦広	木	11:00～13:20	火	10:00～13:20	水	11:00～13:00
	特任教授	高月 教恵	木	12:40～13:10	金	12:40～13:10		
	〃	梶本 佳照	月	12:30～13:20	木	13:20～14:20	火	11:00～12:00
	准教授	八尋 茂樹	月	12:30～13:20	金	12:30～13:20	金	15:00～16:30
	〃	芝崎 美和	月	12:30～13:20	火	12:30～13:20	金	11:30～13:20
	〃	渡部 昌史	火	12:00～13:00				
	〃	広瀬 綾子	火	13:00～14:00	木	15:00～16:00		
	〃	加藤 由美	火	9:30～13:00	木	11:00～13:20		
	〃	本渡 葵	火	11:00～12:30	木	15:00～16:30	金	11:00～12:30
	講師	立浪 朋子	水	12:30～13:20	木	12:30～13:20		
	〃	竹下可奈子	火	11:00～12:30	火	15:00～16:30	金	10:00～11:00
	〃	久恒 拓也	月	12:40～13:20	金	13:30～14:00		
	〃	入江 慶太	木	11:00～13:20	火	10:00～13:20	水	11:00～13:00
	〃	高橋 彩	火	12:30～13:20	水	12:30～13:20	木	12:30～13:20
	〃	松島 英恵	火	12:30～13:20	木	12:30～14:00	金	13:00～14:30

	〃	福武 幸世	月	13:30～15:00	火	11:00～12:30	金	9:20～10:50
地域福祉学科	教授	松本百合美	火	12:00～13:00	火	18:20～19:00	金	12:00～13:00
	〃	岡 京子	木	12:30～13:20	金	12:30～13:20	月	12:30～13:20
	〃	山内 圭	月	13:00～18:30	火	13:00～16:30	金	13:00～16:30
	〃	山本 浩史	木	15:00～15:30	木	16:00～16:30		
	〃	和田美智代	月	11:00～12:30	火	11:00～12:30	木	11:00～12:30
	〃	高杉 公人	火	15:00～16:30	木	13:20～14:50	金	13:20～14:50
	〃	三上 ゆみ	月	12:40～13:10	火	12:40～13:10	木	12:40～13:10
	〃	井上 信次	木	11:00～12:30	月	11:00～12:30	木	15:00～16:30
	〃	鄭 丞媛	火	12:30～13:30	月	13:00～13:30		
	特任教授	八重樫牧子	火	16:40～17:35	木	16:40～17:35		
	〃	小山 正善	月	15:00～16:00	火	10:30～11:30		
	准教授	小松尾京子	月	13:30～14:30	火	13:30～15:00	木	15:00～16:00
	講師	松田 実樹	火	13:20～14:50	木	13:20～14:50		
	〃	合田 衣里	火	12:40～13:40	木	12:40～13:40		
	〃	朴 蕙彬	火	11:30～12:30	金	11:30～12:30	金	13:30～15:00
	助教	泉 宗孝	月	11:00～12:30	火	16:00～17:00		
	〃	柳迫 三寛	月	10:00～12:00	火	15:00～16:00	木	13:00～14:00
	〃	岸本由梨枝	水	12:30～13:10	木	12:30～13:10	火	12:30～13:10
	〃	長宗 武司	火	12:30～13:10	木	12:30～13:10	金	12:30～13:10

後期

学科	職氏名		第 1 日		第 2 日		第 3 日	
全学	学長	公文 裕巳	火	17:00～18:00				
	副学長	小田 慈	火	12:30～13:20	水	12:30～13:20		
看護学科	教授	上山 和子	火	12:30～13:20	金	12:30～13:20	木	12:30～13:20
	〃	金山 時恵	火	12:40～13:10	金	12:40～13:10	木	12:40～13:10
	〃	四宮美佐恵	月	13:30～14:50	火	13:30～14:50	金	11:00～12:00
	〃	矢庭さゆり	月	16:30～17:30	水	16:30～17:30	金	16:30～17:30
	〃	原田 信之	火	12:50～13:20	木	12:50～13:20	金	12:50～13:20
	〃	土井 英子	火	12:40～13:10	木	12:30～13:00	金	12:40～13:10
	〃	木下 香織	月	12:40～13:10	金	12:40～13:10		
	〃	栗本 一美	水	12:30～13:00	金	12:30～13:00	木	17:30～18:00
	〃	礪本 暁子	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	塩見 和子	金	12:40～13:10	水	12:40～13:10		
	特任教授	郷木 義子	木	10:00～12:00	木	15:00～17:00	水	10:00～12:00
	〃	山田 雅夫	木	9:30～11:00	月	15:00～18:00		
	准教授	矢嶋 裕樹	木	16:30～17:00	金	11:30～13:10		
	〃	山本智恵子	火	12:40～13:10	金	12:40～13:10		
	〃	山野井尚美	月	12:30～13:20	金	12:30～13:20		
	講師	真壁 五月	水	11:00～11:30	金	15:00～15:30		
	〃	安田 陽子	金	12:40～13:10	水	12:40～13:10		

	〃	赤田いづみ	水	12:00～12:30	金	12:00～12:30		
	〃	丸山 純子	火	13:00～14:00	月	13:00～14:00	金	13:00～14:00
	〃	吉田 美穂	金	12:40～13:10	火	12:40～13:10		
	〃	長崎恵美子	火	13:30～14:00	水	11:00～11:30	木	13:30～14:00
	助教	西川由貴子	火	12:30～13:00	金	12:30～13:00		
	〃	平田 知子	火	12:00～13:10	金	12:30～13:10		
	〃	山本 裕子	金	12:30～13:00				
	〃	宮武 一江	金	12:40～13:10	金	16:30～17:00		
	〃	中川 彩見	火	12:40～13:10	月	12:40～13:10		
	〃	井上 弘子	金	16:30～17:00	水	16:30～17:00		
	〃	小林 匡美	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	安藤 亮	火	12:40～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	高尾 緑	水	11:30～13:20				
	〃	大島 由美	金	12:45～13:15	木	12:45～13:15	火	12:45～13:15
	〃	難波 香	月	12:40～13:10	金	12:40～13:40		
	〃	西村美紗希	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	井上 竹美	火	12:40～13:10	木	12:40～13:10	金	12:40～13:10
	〃	西森 千恵	火	12:40～13:10	木	12:40～13:10	金	11:30～13:20

学科	職氏名		第 1 日		第 2 日		第 3 日	
健康 保 育 学 科	教授	岡本 直行	火	16:30～18:00	木	16:30～18:00	木	11:00～12:30
	〃	斎藤 健司	火	12:30～13:20	木	12:30～13:20	金	12:30～13:20
	〃	松本 好生	水	12:30～13:15	火	12:30～13:15		
	〃	岡本 邦広	木	11:00～13:20	火	10:00～13:20	水	11:00～13:00
	特任教授	高月 教恵	木	12:30～13:10	金	12:30～13:10		
	〃	梶本 佳照	月	12:30～13:10	木	13:20～14:20	火	11:00～12:00
	准教授	八尋 茂樹	月	16:30～18:00	木	16:30～18:00	金	16:30～18:00
	〃	芝崎 美和	月	12:30～13:20	火	12:30～13:20	金	12:30～13:20
	〃	渡部 昌史	月	11:00～12:00				
	〃	広瀬 綾子	水	12:30～13:00	火	12:30～13:30		
	〃	加藤 由美	水	12:30～13:00	木	12:30～13:00	火	12:30～13:00
	〃	本渡 葵	月	11:00～12:30	木	11:00～12:30	金	11:00～12:30
	講師	立浪 朋子	火	12:30～13:20	水	12:30～13:20		
	〃	竹下可奈子	水	11:00～12:30	木	11:00～12:30	金	10:00～12:30
	〃	久恒 拓也	木	12:50～13:20	月	12:00～13:00		
	〃	入江 慶太	火	9:30～11:30	水	16:30～18:00	木	9:30～11:30
	〃	高橋 彩	火	12:30～13:20	木	12:30～13:20	水	12:30～13:20
	〃	松島 英恵	火	12:50～13:20	月	12:00～13:00		
	〃	福武 幸世	月	12:40～13:10	火	12:40～13:10	水	12:40～13:10

地域福祉学科	教授	松本百合美	火	11:30～13:00	金	11:30～13:00		
	〃	岡 京子	木	12:30～13:20	金	12:30～13:20		
	〃	山内 圭	金	11:00～18:30	火	12:30～14:50	水	18:10～18:30
	〃	山本 浩史	木	16:30～17:15	月	10:00～10:40		
	〃	和田美智代	火	13:20～14:50	木	13:20～14:50		
	〃	高杉 公人	月	13:20～14:50				
	〃	三上 ゆみ	月	12:40～13:10	火	12:40～13:10	木	12:40～13:10
	〃	井上 信次	水	9:20～10:50	金	13:20～14:50	火	10:00～11:00
	〃	鄭 丞媛	火	12:30～13:30	月	13:00～13:30		
	特任教授	八重樫牧子	火	9:30～10:30	木	9:30～10:30		
	〃	小山 正善	月	15:00～16:00	火	11:00～12:00		
	准教授	小松尾京子	月	13:30～14:30	火	13:30～15:00	木	15:00～16:00
	講師	松田 実樹	金	13:30～14:30	火	11:00～12:00		
	〃	合田 衣里	月	12:00～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	朴 蕙彬	火	11:30～12:30	金	11:30～12:30	金	13:30～15:00
	助教	泉 宗孝	火	10:00～11:00	月	11:00～12:00		
	〃	柳迫 三寛	火	11:00～12:30	月	11:00～12:30	木	15:00～16:00
	〃	岸本由梨枝	月	13:30～15:00	木	12:00～13:00	月	12:00～13:00
	〃	長宗 武司	火	12:00～13:00	水	12:00～13:00	月	12:00～13:00

5) 各種講演会

◎令和4(2022)各種講演会開催実績

月日	主催	講演会名	講師(所属)	講演題名	対象者
4月8日 (金)	学生生活 支援センター	学生生活講演会 (防犯・学生生活)	戸川菜摘 (新見警察署生活 安全刑事課)	安全対策につ いて	学部 新入生
5月18日 (水)	学生生活 支援センター	学生生活講演会 (悪徳商法)	矢吹香月 (岡山県消費生活 センター)	悪徳商法につ いて	学部 新入生
6月15日 (水)	学生生活 支援センター	学生生活講演会 (薬物乱用防止)	宇野文夫 (本学名誉教授) 合田大貴 (新見警察署生活 安全刑事課)	薬物乱用防止 について	学部 新入生
10月5日 (水)	学生生活 支援センター	学生生活講演会 (年金セミナー)	舩越正吾 (日本年金機構 高梁年金事務 所)	国民年金制度 の概要及び必 要性等につい て	2年生 (看・保・地)
10月19日 (水)	教育推進 委員会	山陽新聞社と公 立大学法人新見 公立大学との包 括的連携協力に よる特別講演会	神吉孝彦 (山陽新聞社読者 局 NIE 推進部長)	新聞の読み方・ 文章の書き方	1年生 (看・保・地)

6) 海外研修

(1) オーストラリア研修旅行

令和 4(2022)年度についても前年に引き続き、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み実施を見送った。2023 年 3 月に国際交流担当の山内がオーストラリアを訪問した際、受け入れ先のメルボルン・ランゲージ・センターとの打ち合わせ、及び情報収集を行った。

(2) カンボジア・スタディツアー

令和 4(2022)年度についても前年に引き続き、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み実施を見送った。国際交流担当の山内が旅行実施会社および現地の通訳ガイドとは随時連絡を取り合っている。

7) 奨学金・授業料免除・学生生活活動支援

(1) 奨学金利用状況

◎令和 4(2022)年度奨学金利用人数実績

奨学金の種類	利用学生数 (人)	対全学生数 利用率(%)
日本学生支援機構 第一種奨学金	220	29.1
日本学生支援機構 第二種奨学金	144	19.0
日本学生支援機構 給付型奨学金	81	10.7
新見公立大学ふるさと育英奨学金	34	4.5
新見市看護学生奨学支援金	3	0.4
新見市介護学生奨学支援金	2	0.3
計(延べ数)	484	64.0

※全学生数は、学部生のみ 756 人。

(2) 授業料免除

◎令和 4(2022)年度授業料(国の修学支援制度は入学金を含む。)免除実績

種類	人数(人)					適用率 (%)	金額 (千円)
	満額	2/3 免除	1/2 免除	1/3 減免	計(人)		
国の修学支援制度	32	23	—	15	70	9.3	31,071
R3(2021)年度実績	29	20	—	15	64	10.1	25,623
差	3	3	—	—	6	▲0.8	5,448
本学独自減免	10	—	7	—	17	2.2	6,561
計	42	23	7	15	87	11.5	37,632

※国の修学支援制度は、前後期で人数が異なるため、前年度所得が反映する後期分で表示。

(3) 学生生活活動支援

◎令和 4(2022)年度学生生活活動支援実績【物品提供を除く寄附金充当分を含む。全学生数 770 人】

番号	項目	適用号	対象	人数 (人)	適用率 (%)	金額 (千円)	備考
1	食に対する支援事業(たまがき券@3,000 円)	—	全	763	99.1	2,289	寄附金・助成金

2	物価高に対する経済対策支援事業(QUOカード②2,000円)	—	全	760	98.7	1,581	寄附金・助成金
3	インフルエンザワクチン接種	1号	全	237	30.8	237	一部後援会
4	健康・文化施設利用支援※	5号	全	770	100.0	756	一部後援会
5	食事支援(食品ロス対策)	2号	全	12,504	1,623.9	2,466	一部後援会
6	大学祭「鳴滝祭」支援	—	全	770	100.0	3,080	後援会対応
7	式典(入学式・卒業式)	—	入卒者	383	49.7	1,333	後援会対応
8	学生生活活動支援等	—	全	770	100.0	12,103	後援会対応
	計	—	—	—	—	23,845	

※適用号は、「修学支援事業基金管理運用要項」第5条第3項各号表示で適性表示。

8) 読書指導

本学に入学した学生に、入学後卒業まで毎休日に読書感想文を提出してもらう読書活動を続けている(学長読書感想文プロジェクト。このプロジェクトは平成25(2013)年より始まった)。

◆2022年通年読書調査結果(2023年1月調査)

保育…1年54人中51人回答(21.82冊)、2年54人中52人回答(22.58冊)、

3年56人中53人回答(5.40冊)、4年46人中42人回答(8.71冊)。

看護…1年85人中71人回答(6.83冊)、2年84人中71人回答(6.18冊)、

3年83人中82人回答(7.34冊)、4年83人中77人回答(3.73冊)。

地福…1年53人中48人回答(7.38冊)、2年57人中54人回答(7.96冊)、

3年53人中43人回答(7.67冊)、4年49人中24人回答(5.79冊)。

保平均14.63冊、看平均6.02冊、地平均7.20冊。通年全学生平均9.28冊。

令和4(2022)年度卒業生(令和5(2023)年3月卒業。保育・看護・地福学科)は、在学中に8回(夏期・春期×4年間)の提出機会があった。これらをすべて提出した学生には、多読奨励賞を授与することになっている。多読奨励賞授与率は、下記の表に示すとおりであった。さらなる提出率の向上のためには、督促を繰り返すなど種々の工夫が必要となろう。なお、短期大学の幼児教育学科・地域福祉学科が4年制へ移行したため、健康保育学科と地域福祉学科の2学科は令和2(2020)年度と令和3(2021)年度については卒業生が出なかった。また、冬期休暇分と春期休暇分の提出間隔が短すぎることから、令和2(2020)年度より冬期休暇分の提出を中止して夏期と春期の2回提出に改めた。提出された読書感想文の採点は名簿順に全教員が担当し、コメントを付して返却しているが、平成29(2017)年度後期より1クラス分を2～3名の教員で分担して採点している。

教育推進委員会教養教育部(旧教養教育委員会)が実施した令和4(2022)年読書冊数調査結果(紙で実施)は、健康保育学科年平均14.63冊、看護学科年平均6.02冊、地域福祉学科年平均7.20冊、全学生年平均9.28冊であった。全学生年平均冊数は、下記の表のとおりであったので、この1年間の読書冊数は令和3(2021)年度より1.70冊分の増となったことがわかる。平成27(2015)年度までは紙によるアンケートで、平成28(2016)及び平成29(2017)年度はオンラインアンケートであったが、平成30(2018)年度からまた紙に戻した。

平成30(2018)年度から、読んだ本のジャンルを聞く質問も実施している。令和4(2022)年度の実書ジャンル選択結果は、下記の表のとおりであった。学生の読書傾向がうかがえ、興味深い。読書冊数・読書ジャンル調査は継続して実施する予定である。今後とも全教員が学生の読書推進のために努力することが望まれる。

◎令和 4(2022)年度までの読書に係る調査結果

年 度	多読奨励賞 授与率※(%)			年間平均 読書冊数 (冊/人)	ジャンル別年間読書冊数(冊)【延べ数】					
	保育 短幼	看護	地福 短福		小説	ノン フィク ション	趣味・ 実用	教養・ 自己啓発	専門書	その他
R04	13.0	42.2	14.3	9.28	466	68	120	168	209	100
R03	—	30.3	—	7.58	382	62	105	117	161	80
R02	—	7.8	—	6.06	332	69	85	86	106	52
R01	49.1	22.5	52.2	5.98	283	73	82	68	90	28
H30	63.0	46.2	66.7	5.04	303	70	68	66	63	38
H29	76.8	50.0	56.8	5.65	—	—	—	—	—	—
H28	78.2	51.6	85.3	7.49	—	—	—	—	—	—
H27	—			4.44	—	—	—	—	—	—
H26	—			4.31	—	—	—	—	—	—
H25	—			4.05	—	—	—	—	—	—

※令和 2(2020)～3(2021)年度が看護学科生のみ卒業のため、「多読奨励賞授与率」は、看護学科表示。
平成 28(2016)～令和 01(2019)年度は、看護学科(4 大。10-11 回提出)、幼児教育学科(短大。4-5 回提出)、地域福祉学科(短大。4-5 回提出)。

9) カウンセリング

本学は、学校保健安全法第 4 条の規定に基づき令和 4 年度 4 月から学生、学生の保護者及び大学職員等を対象として実施する健康相談を精神科医師により実施している。

(1) 令和 4 年度カウンセリング実績

- ① 実施体制 月 1 回、水曜日の午後、精神科医師診察、公認心理士カウンセリング
- ② 利用者数 166 人
- ③ カウンセリング件数 48 件

対応別利用者数

単位：人数

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
心理士によるカウンセリング ※1	8	8	9	3	2	0	0	5	1	3	7	2	48
医師等による面接	1	3	12	6	1	0	1	5	2	1	5	0	37
コンサルテーション	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
医療機関での診察 ※2	5	4	10	11	6	7	6	4	6	4	7	6	79

※1 心理士は、公認心理士資格取得者 ※2 医療機関は、「こころの医療新見」

④ 学年・学科別利用者数

	看護	健康保育	地域福祉	計
1 年次	1	12	6	19
2 年次	23	1	3	27
3 年次	2	1	5	17
4 年次	8	1	6	15
その他	0	0	0	1
計	34	24	20	79

単位：人数

(2) 令和 5(2023)年度に向けた取り組み

1 年間を通じて、原則毎週水曜日にカウンセリングルームを開室した。上記の通り、多くの学生や教員が利用しており、短期的な相談で終結する利用者もいる一方で、1年以上利用し続ける利用者もいたことから、幅広いニーズが認められた。今後も、相談しやすい環境を整備しつついき、より学生の心身の健康に寄与できるように努めていく。また、今年度より新入生を対象とした健康調査内容の見直しを行い、スクリーニング調査を実施した。来年度は、在校生も含めてスクリーニング調査を実施し、よりきめ細やかな支援体制を構築することを目指す。

10) 保健管理センター

保健管理センターは、本学における学生及び職員の健康の保持増進を図るとともに、障がいのある学生が学生生活において、適切な支援を受けられる体制を整備して、その支援を円滑に実施することを目的に平成 27(2015)年度に設置されている。医師であるセンター長を中心として、保健室、各学科担当教員、学生課・教務課担当で、会議を開催して組織的な対応を実施している。

(1) 保健室業務

◎令和 4(2022)年度保健室利用実績

単位：人

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外科的処置(けが等)	13	19	6	6	6	2	7	6	4	4	3	0	76
内科的処置(頭痛等)	16	12	16	15	6	3	16	7	10	8	8	0	117
健康相談	4	23	2	4	2	2	19	17	5	2	5	0	85
心理(精神)相談	6	12	16	9	1	1	9	8	7	2	11	2	84
健診・抗体相談	0	0	2	0	0	2	3	0	0	0	3	2	12
その他	17	9	13	7	4	1	27	15	13	9	7	11	133
計	56	75	55	41	19	11	81	53	39	25	37	15	507

◎令和 4(2022)年度体調等に関する相談 (フォームズ、電話)

単位：人

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
体調不良の相談	55	46	17	76	17	7	35	225	164	122	35	2	801
相 談	4	13	3	8	21	11	21	8	12	9	7	0	117
計	59	59	20	84	38	18	56	233	176	131	42	2	918

※チームズでの相談は、計上されていないケースもある。

(2) 健康診断及び感染症対策

学生等の健康状態を確認し、実習等で求められる健康維持などについて新入生を対象とした教育講演会を実施し、指定感染症リスク低減に向けた啓発及び相談対応を行っている。

◎令和 4(2022)年度健康診断及び抗体検査実施状況

内 容	対象	人数(人)	実施日	参加率 (%)

定期健康診断	在学 生	558	4/11, 12, 13	98.8
	新入 生	197	4/13	98.5
B型・C型肝炎抗原抗体検査	新入 生	197	〃	98.5
麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体検査	新入 生	197	〃	98.5
クオンティフェロン検査	新入 生	197	〃	98.5
健康教育講演会	新入 生	190	5/11	99.0

※ 該当率の母数は、休学者及び大学院等での他職場対応者を含む。

(3) インフルエンザ予防接種

令和 2(2020)年度までは後援会の一部支援を行っていたが、令和 3(2021)年度から要項に基づき部分的に本学負担に切替えている。今後、学内接種を含めた体制の充実が望まれる。

◎令和 4(2022)年度インフルエンザワクチン接種状況【後援会支援申請者数】

区分	在籍者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)
1 年次生	192	96	50.0
2 年次生	193	31	16.1
3 年次生	192	53	27.6
4 年次生	179	58	32.4
助産・院	14	2	14.3
計	770	240	31.2

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症を予防する観点から、学生及び教職員一人ひとりが自己の健康管理に十分留意し、マスク着用やアルコールによる手指消毒等の基本的な感染対策の徹底を図った。また、感染リスクが高まる行動を避けるよう学生生活委員会と連携して、情報提供や注意喚起を行った。

本学で陽性者が発生した際には陽性者の聞き取りを丁寧に行い、濃厚接触者やその疑いのある学生には、抗原検査を実施したり自宅待機をさせたりして感染の蔓延防止に努めた。また、アパート等で一人暮らしをしている学生も多いため、陽性者の自宅療養期間には、必要に応じて食料品や生活用品の援助や体調の経過確認などのフォローを行った。

さらに新型コロナウイルスの感染やワクチン接種に関して不安を感じる学生に対しては、医師による相談もきめ細かく行った。

この他にも、昼食時の感染防止の呼びかけや担当職員による見回り、学生保健委員会による感染症予防ポスターの作成や掲示等を行い、感染対策の意識を高めるよう努めた。

また、12 月にはワクチン接種希望者に対して、学内で 2 日間の日程で集団接種を実施した。

◎令和 4(2022)年度新型コロナ陽性者と濃厚接触者・接触者・接触者疑いの人数

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
陽性者	2	4	1	19	16	12	19	72	31	26	3	1	206
濃厚接触者等	5	16	4	72	26	32	48	184	46	22	7	1	463

◎令和4(2022)年度新型コロナワクチン接種実績【集計日令和4(2022)年12月17,18日】

接種回数	集団接種日	集団接種会場 (大学主導による自治体対応)	希望者 数(人)	接種者 数(人)	接種 率(%)
1日目	12/17	学術交流センター	206	184	89.3
2日目	12/18	〃	136	117	86.0

(5) 障がい学生支援

障がいをもつ学生支援では、支援申請時の提出書類の作成や支援記録の作成、学生への周知、個別の相談業務を行うとともに、大学受験では、入試の特別措置に関する相談、決定、連絡等の支援業務を担い、入試の特別措置が行われた。また、障がいのある学生の支援の基本的な知識の習得や支援方法の検討や情報共有を図ることを目的として、日本学生支援機構(JASSO)主催の研修会(基礎プログラム)、障がい学生支援専門テーマ別セミナー(JASSOによるオンデマンド配信)等への参加、障がい学生支援に関するアンケート調査への協力等を継続している。そして、障がいのある学生の研修会の報告を教授会の資料として提出をし、教員間での周知徹底を図っている。

6. 学生自治活動

1) 新見公立大学学友会執行部

新見公立大学学友会は、開学年度の昭和 55(1980)年 5 月 14 日に発足し、学生の自主的な活動によって学生生活の充実を図ることとして、学生生活の安定、健康管理、専門の学術技能の共同集団研究と修練、機関紙等の発行、他大学との連絡提携、クラブ活動、大学祭に関することなどについて活動している。入会金及び会費に加え、後援会や地元企業等からの支援等で運営されている。

(1) 学友会活動

◎令和 4(2022)年度学友会活動内容

日付	曜	行事名	実施内容	備考
4/7	木	学生交流会	開催	新入生に学生生活説明、サークル紹介
4/9	土	入学式	歓迎のあいさつ	副会長
4 月中		機関誌発行	製作・印刷・配布	「キャンパスガイド」の新入生配布
5/21・22	土日	鳴滝祭	実行委員会形成	模擬店を出店(土曜日)
6/4	土	スポーツ大会	開催	体育館でバレーボール
7/1	金	意見交換会	意見集約・参加	教育・学生支援等について大学と協議
12/3	土	スポーツ大会	開催	体育館でバレーボール
12/17	日	クリスマス会	開催	演奏、ビンゴゲーム等
12/21	水	意見交換会	意見集約・参加	教育・学生支援等について大学と協議
3/18	土	卒業式	送辞	会長

(2) 執行部体制

会 長 平松 萌々子(看 2) 副会長 小林 京楓(保 2)、荒川 真七帆(看 2)、田中 鈴菜(福 2)
 事務局長 杉原 穂乃花(看 2) 〃次長 坂入 志穂(福 2)、櫻下 花野(福 2)
 会 計 中島 孝一郎(保 2)、丸川 拓海(保 2)、湯浅 秀進(保 2)、
 外部交渉 木村 汐翔(福 2)、田草川 至(福 2)
 監 査 吉田 茉莉香(看 2)、木下 拓海(保 2)
 書 記 楠原 由乃(看 2)、谷口 木乃実(看 2)
 補 佐 有川 双葉、大下 桃華、藤田 愛実、松田 茉南、安本 葵衣(保 1)
 北添 美咲、佐伯 美咲、中島 紗葵、山代 知奈、吉村 真佳(看 1)
 奥村 心優、圓尾 優香、光永 仁月、元岡 茜音、湯浅 円穂加(福 1)

2) 鳴滝祭実行委員会

大学祭の実施は、学友会が主導して全学で実行委員会を形成し、第 24 回鳴滝祭の企画、運営を行った。会計部、プロコンサート部、広告管理部、企画部、外部交渉部、演出部、装飾備品部、中夜祭部に分割して責任分担を行って実施した。

◎令和 4(2022)年度鳴滝祭実行委員会役職

- ・実行委員長 戸田 早耶(保 3) ・副委員長 直井 康史郎(福 3)、本田 朱音(福 3)
- ・会計部長 坂田 栞理(保 3) ・企画部長 森 七郁(看 3) ・プロコン部長 藤井 佑衣(看 3)
- ・演出部長 山村 大悟郎(看 3) ・中夜祭部長 島田 瑞希(保 3) ・外部交渉部長 西田 鈴菜(看 3)
- ・装飾備品部長 梅田 祐芽(保 3) ・広告管理部長 安達 希(保 3)

3) クラブ活動

◎令和4(2022)年度クラブ活動団体毎の活動内容

	サークル名	代表者		人数	活動場所	活動日	顧問
		属	氏名				氏名
1	野球部	福3	宇多 悠也	24	大学・矢崎グラウンド	水土日	八尋 茂樹
2	手話サークル	看2	平田 智咲	17	新見中央公民館 研修室	月2土	松田 実樹
3	茶道部	福3	森田 真子	14	学生会館和室	木	岡 京子
4	ソフトテニス部	福2	梶谷 佑希	6	体育館	金	吉田 美穂
5	ダンス部	保3	大前 花音	50	リズム教室 体育館	不定期	鄭 丞媛
6	バスケットボール部	福2	斎藤 蘭	42	体育館	火	斎藤 健司
7	バドミントン部	保2	半田 園恵	52	体育館	月木	土井 英子
8	バレーボール部	看2	内藤 月秋	62	体育館	火木	木下 香織
9	フットサル部	看2	吉田 茉莉香	28	体育館	水	泉 宗孝
10	岡山県献血推進 連盟 S. B. D. Momo	保4	永島 光	11	献血ルームうらら他	月1.2土	井上 弘子
11	軽音サークル	看3	小谷 葵	49	学生会館地下 体育館	月木金	竹下 可奈子
12	卓球部	保3	安達 希	24	体育館	月	岸本 由梨枝
13	写真部	保4	中山 由衣	13	特になし	不定期	山内 圭
14	ちびデポ	保3	小見山 和子	98	新見市内	随時	栗本 一美
15	空手部	福4	植木 桃子	6	リズム教室 体育館	月1.2	井上 信次
16	吹奏楽サークル	看3	森崎 莉菜	12	音楽室、ピアノ教室 合同講義室	月金	竹下 可奈子
17	アロギサークル	福3	鈴木 藍夏	12	3号館1階 空き教室	月金	高橋 彩
18	まちおこしサークル (Love whisper)	福4	松本 幸夕	12	空き教室、松葉亭 地域の会議会場	随時	三上 ゆみ
19	野外活動研究部	看2	平田 智咲	52	やけんの畑 たわさんの畑	土日	本渡 葵
20	ボードゲームサークル	保4	山本 奈央	12	学生会館和室 新見中央図書館	木土	八尋 茂樹

	サークル名	代表者		人数	活動場所	活動日	顧問
		属	氏名				氏名
21	書道部	福 3	澤田 知憲	12	生活文化演習室	月 1 火	鄭 丞媛
22	硬式テニス部	福 3	林 凌寛	45	新見市民運動公園	月金	山内 圭
23	TRPG サークル	福 3	平尾 まどか	8	1201 講義室 1301 講義室	火木	松田 実樹
24	美術サークル	福 4	大橋 美来	7	生活文化演習室	隔週金	岡 京子
25	カチスポーツ部	保 4	若松 凌太	15	体育館、グラウンド 防災公園	金	渡部 昌史
26	競技かるた部	看 3	森 七郁	10	学生会館和室	水	原田 信之
27	カードゲームサークル	福 3	生原 温人	5	学生会館和室	木	岡 京子
28	chung-shil	福 2	横地 成美	12	コミュニティフェ、ビューラ ウンジ、調理室	金	朴 蕙彬、 鄭 丞媛
29	デッキ部	保 4	一木 美乃	10	食堂下スペース 防災公園	不定期	久恒 拓也
30	映画研究サークル	福 2	江草 菜々美	11	研究室	土	朴 蕙彬
31	シーズンスポーツサークル	福 1	渡辺 愛彩	8	市民体育館など	不定期	和田 美智子
32	華道部	保 2	佐藤 優芽	6	ディスカッションルーム	月水	松島 英恵

7. 施設利用状況

1) 図書館

(1) 開館状況

本学附属図書館は、教育及び研究の基本的な環境を維持する役割を担っており、必要な図書、雑誌、新聞、視聴覚教材等の学術資料を収集し、施設及び収集した学術資料等の適正な利用管理を通じて施設利用の促進及び利用者へのサービス向上に努め、本学の教育・研究活動の振興に寄与する目的をもって業務を行っている。また、学術交流センター図書館として一般市民に対しての施設利用及び学術資料の貸出等を行うことで地域貢献活動にも取り組んでいる。

① 開館時間

月～金 9時～21時30分

土・日 10時～18時 (夏・冬・春期休業中 : 10時～18時)

*ただし、一般利用者の利用時間: 10時～18時

② 休館日

国民の祝日に関する法律に規定する休日および年末・年始(12/28～1/4)

(2) 図書所蔵冊数、図書受入冊数等

① 図書所蔵冊数 108,090 冊

② 令和4(2022)年度図書受入冊数 . . . 3,367 冊

③ 学術雑誌購読種類数 91 種 (和雑誌 79 種、洋雑誌 12 種)

④ 一般雑誌購読種類数 24 種

⑤ 視聴覚資料所蔵点数 1,541 点

(3) 文献複写

令和4(2022)年度複写枚数 1,158 枚

(4) I L L (図書館間相互協力) 件数 (令和4(2022)年度)

① 複写依頼 467 件

② 複写受付 197 件

③ 貸借依頼 155 件

④ 貸借受付 81 件

(5) データベースアクセス件数 (令和4(2022)年度)

① 医中誌 4,191 件

② 最新看護索引 Web 608 件

③ マガジンプラス 199 件

(6) 文献ダウンロード件数 (令和4(2022)年度)

メディカルオンライン 4,608 件

(7) 図書貸出状況等

令和4(2022)年度

月	貸出状況									開館日数	
	教職員対象			学生対象			学外者対象				
	冊数 (冊)	人数 (人)	予約数 (件)	冊数 (冊)	人数 (人)	予約数 (件)	冊数 (冊)	人数 (人)	予約数 (件)	学内 (日)	学外 (日)
4月	107	44	0	1,120	459	3	25	10	0	29	29
5月	140	44	0	1,049	455	1	18	10	0	26	26
6月	133	38	0	1,672	562	2	10	4	0	30	30
7月	140	50	0	1,001	414	2	36	15	0	29	29
8月	123	51	0	472	204	0	18	8	0	30	30
9月	107	47	0	429	212	1	6	2	0	28	28
10月	126	43	1	1,232	561	0	8	4	0	30	30
11月	180	49	1	1,217	519	2	2	1	0	27	27
12月	133	53	0	740	363	3	7	2	0	28	28
1月	133	47	0	642	301	1	24	6	0	26	26
2月	99	40	0	568	266	1	19	6	0	27	26
3月	97	25	0	238	107	1	20	5	0	27	25
合計	1,518	531	2	10,380	4,423	17	193	73	0	337	334

(8) 図書館利用状況等

令和4(2022)年度

月	利用者数 (人)				開館日数 (日)	
	教職員	学生	学外者	全体(合計)	学内	学外
4月	95	2,297	24	2,416	29	29
5月	100	2,103	19	2,222	26	26
6月	80	2,821	15	2,916	30	30
7月	73	2,184	26	2,283	29	29
8月	80	1,535	39	1,654	30	30
9月	90	957	24	1,071	28	28
10月	114	3,138	39	3,291	30	30
11月	96	2,776	17	2,889	27	27
12月	79	2,483	23	2,585	28	28
1月	54	1,938	10	2,002	26	26
2月	72	2,483	21	2,576	27	26
3月	42	398	14	454	27	25
合計	975	25,113	271	26,359	337	334

2) 学生会館

- (1) 利用時間 : 平日 8:30~20:00 休日(土日を含む) 8:30~20:00
 (2) 使用方法 : 学生課配置予約簿記入

3) 教室等

- (1) 利用時間 : 平日 8:30~20:00(5号館 21:00) 休日 8:30~17:00
 (2) 休日利用 : 本館(ゼミ室、体育館、リズム教室、トレーニングルーム)、3号館(ピアノ教室、ピアノ練習室)、5号館(コミュニティカフェ、インフォメーションルーム、コンピュータ室 B1、20人教室 B1)、グラント、部室

4) 文化施設

- (1) 学生無料化契約等施設 (全施設月曜日休館)
 ・ 新見美術館[協定 400 円] 9:30~17:00
 ・ 岡山後楽園[キャンパスメンバーズ 520 円] 【3/20~9/30】 7:30~18:00 【10/1~3/19】 8:00~17:00
 ・ 大原美術館[学校メンバーズ 1,500 円] 【12~2月】 9:00~15:00 【3~11月】 9:00~17:00

(2) 利用者数年度実績

年度	R3	R4
新見美術館	130 人	1,129 人
岡山後楽園	16 人	66 人
大原美術館	—	49 人

(3) 利用者数月別実績 令和 4(2022)年度

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新見美術館	61	44	61	52	23	9	5	5	0	3	0	1	264
岡山後楽園	6	2	0	1	19	1	1	30	3	3	2	10	78
大原美術館	—	—	—	—	7	9	6	4	3	5	4	11	49

5) 健康施設

- (1) 学生無料化協定施設 げんき広場にいみ【げんき】
 [1,100 円]午前 9:00~20:00 (月曜日休館)

(2) 利用者数年度実績

単位：人

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
げんき	702	1,129	1,167	1,352	631	1,024	2,095

(3) 利用者数月別実績 令和 4(2022)年度

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
げんき	287	233	165	117	71	165	239	236	121	156	168	137	2,095

(4) 登録者数・率 令和 5(2023)年 2 月末

単位：人

げんき	保育	看護	地福	全体(助産・院含む)
	65/202 32.2%	137/341 40.2%	112/214 52.3%	315/780 40.4%

6) N i U新見駅西サテライト

(1) 利用実績 平日 10:00～21:00 休日 10:00～21:00

年度	R4
利用者数	7,714 人

(2) 利用状況 令和4(2022)年度

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
全体	164	56	72	26	36	51	49	32	16	15	30	111	658
なごみ		6	33	31	94	15	54	67	62	40	51	120	573
ひだまり	115	130	103	153	67	220	260	188	155	107	109	167	1,774
ゆめラウ		109	577	582	383	323	542	473	417	450	548	305	4,709
合計	279	301	785	792	580	609	905	760	650	612	738	703	7,714

7) 学術交流センター（図書館以外）

(1) 一般利用回数 令和4(2022)年度

単位：回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
交流ホール	11	8	14	6	7	11	6	6	10	7	10	9	105
研修室	11	9	9	3	5	8	5	5	6	9	6	4	80
アリーナ			1	1	1	2	1	3	2	1	1		13
講堂		2		1			2						5
60人教室							1	1				1	3
会議室A											1		1
にこたん	19	17	22	21	18	21	21	19	20	19	17	19	233
合計	41	36	46	32	31	42	36	34	38	36	35	33	440

(2) 一般利用人数 令和4(2022)年度

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
交流ホール	80	34	62	10	23	154	124	195	50		27	10	769
アリーナ			40	60	92	150	90	135	50	50	50		717
講堂		460		50			300						810
60人教室			30					30				30	90
会議室A											5		5
にこたん	343	335	532	598	324	497	504	388	474	455	486	533	5469
合計	423	829	664	718	439	801	1018	748	574	505	568	573	7937

(3) 大学利用を含めた利用日数 令和4(2022)年度

単位：日、%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	使用率
会議室A	13	15	16	14	14	14	12	17	15	13	17	12	172	47.1
会議室B	9	20	15	14	17	14	16	12	13	12	9	17	168	46.0
会議室C(参考)	15	13	17	15	16	18	19	13	17	14	17	13	187	51.2
ミーティングルーム	18	19	17	19	17	17	19	19	15	14	16	19	209	57.3
アリーナ	10	21	17	19	6	11	15	20	19	6	8	4	156	42.7
リズム教室	24	20	17	21	12	25	27	24	21	11	12	22	236	64.7
本館	25	26	29	30	27	28	27	27	26	23	24	29	321	87.0
交流ホール	11	9	14	6	7	11	6	6	10	7	10	9	105	28.8
研修室1・2	11	9	9	3	5	8	5	5	6	9	6	4	80	21.9
学術交流センター棟	12	10	14	7	8	12	7	9	10	11	10	10	120	32.9
講堂	15	16	12	12	11	5	22	21	20	8	8	7	157	43.0
控室	24	23	22	25	15	15	22	23	21	17	21	14	242	66.3
地階ICT教室	9	9	16	13	4	2	9	11	11	8	12	0	104	28.5
〃 20人教室1	13	12	15	8	4	2	5	11	9	9	6	6	100	27.4
〃 2	4	8	10	9	5	5	16	15	16	11	13	2	114	31.2
2階60人教室	18	18	19	20	18	18	19	20	16	11	14	6	197	54.0
〃 120人教室	19	18	22	17	15	9	21	19	19	13	19	11	202	55.3
〃 200人教室	19	19	22	24	13	9	21	20	18	12	20	6	203	55.6
〃 ICT教室	10	8	8	7	3	0	11	16	9	0	7	1	80	21.9
地域共生推進センター棟	24	23	22	26	20	23	28	26	25	22	23	22	284	77.8
合計	26	26	29	30	27	29	29	27	27	23	25	30	328	89.9

(4) 大学利用を含めた利用回数 令和4(2022)年度

単位：回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	日平均
会議室ABC	66	72	74	73	72	74	76	76	87	63	80	76	889	2.44
ミーティングルーム	26	24	30	40	29	27	36	29	29	29	26	37	362	0.99
アリーナ	19	41	27	24	9	11	21	38	37	8	10	4	249	0.68
リズム教室	62	37	26	27	18	34	55	59	53	19	16	22	428	1.17
交流ホール・研修室	17	10	14	7	7	11	9	7	11	7	13	11	124	0.34
講堂	33	29	14	14	16	5	47	56	41	9	9	7	280	0.77
控室	29	23	22	25	17	16	23	23	21	17	21	15	252	0.69
ICT教室	38	31	42	34	15	2	29	35	27	15	28	1	297	0.81
20・60人教室	50	66	59	45	29	29	56	61	60	41	54	14	564	1.55
120人教室	56	50	69	33	3	11	60	51	58	37	32	11	498	1.36
200人教室	50	55	66	47	24	11	56	63	60	33	48	6	519	1.42

8) 便益施設

(1) 営業日数 令和4(2022)年度

単位：日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
食堂	18	18	22	19	8	—	20	19	14	7	16	—	161
サケスK	19	17	22	17	18	18	20	16	17	13	18	13	208
食事施設	20	18	22	19	18	18	20	19	17	14	18	13	216
コンビニ	18	18	22	18	8	—	21	20	17	13	17	—	172

(2) 利用者数【営業日1日当たり有償利用者数】 令和4(2022)年度

単位：人/日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
食堂	68	65	50	33	38	—	49	59	53	44	55	—	52
サケスK	68	70	72	66	50	53	88	82	84	67	75	33	68
食券	14	16	18	14	14	17	24	28	32	19	26	3	19
レジ	54	54	54	52	37	36	64	54	52	48	48	29	49
コンビニ	158	169	161	110	65	—	151	158	172	146	140	—	122

(3) 利用者数【期間延有償利用者人数】 令和4(2022)年度

単位：人

期間	前期(4～7月)	8・9月	後期(10～2月)	3月	計
食堂	4,093	301	4,034	—	8,428
サケスK	5,187	1,860	6,712	423	14,182
食券	1,188	562	2,205	40	3,995
レジ	3,999	1,298	4,507	383	10,187
コンビニ	11,671	1,176	13,362	—	26,209

9) 財産

(1) 土地

年度	筆数(筆)	面積(m ²)	地番【新見市西方】
H20	8	26,680.00	1237-2、1238、1239-1、1259-1、1263-2、1266-(2、9)、1267-1
H27	3	10,142.00	1155、1159、1496-1
H29	2	2,097.00	1296-1、1496-2
R3	12	80,042.48	1525-2、1580-(1、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15)
計	25	118,961.48	

(2) 建物【主要】

番号	名称	構造	階数(階)	床面積(m ²)	管理	取得日又は管理開始日	年数(年)	
							耐用	経過
1	本館・体育館	RC	4	6,543.13	指定	H25.3.29	47	10
2	1号館(福祉棟)	RC	4	2,426.15	所有	H7.9.29	47	27
3	2号館(学食棟)	S	2	432.59	所有	H7.9.29	34	27
4	3号館(保育棟)	RC	4	3,273.30	所有	S54.9.30	47	43
5	学術交流C(図書館)	S	3(1)	2,562.05	指定	R3.10.31	34	15
6	地域共生推進C	RC	5(1)	6,067.71	指定	R2.9.4	47	3

7	学生会館	RC	2(1)	960.15	所有	H3.10.31	47	31
8	NiU 新見駅西テライト	RC	5	483.30	賃貸	R4.2.1	15	1
9	倉敷テライト(2室)	RC	4,9	93.25	賃貸	H28.9.1	—	6
10	倉敷老松マンション(11室)	RC	7	559.90	賃貸	H8.4.1	—	27
11	教員住宅(2棟)	RC	3	1,207.21	賃貸	S54.9.30	47	43
計				23,386.74	指定＝新見市からの指定管理受託			

(3) 公用車

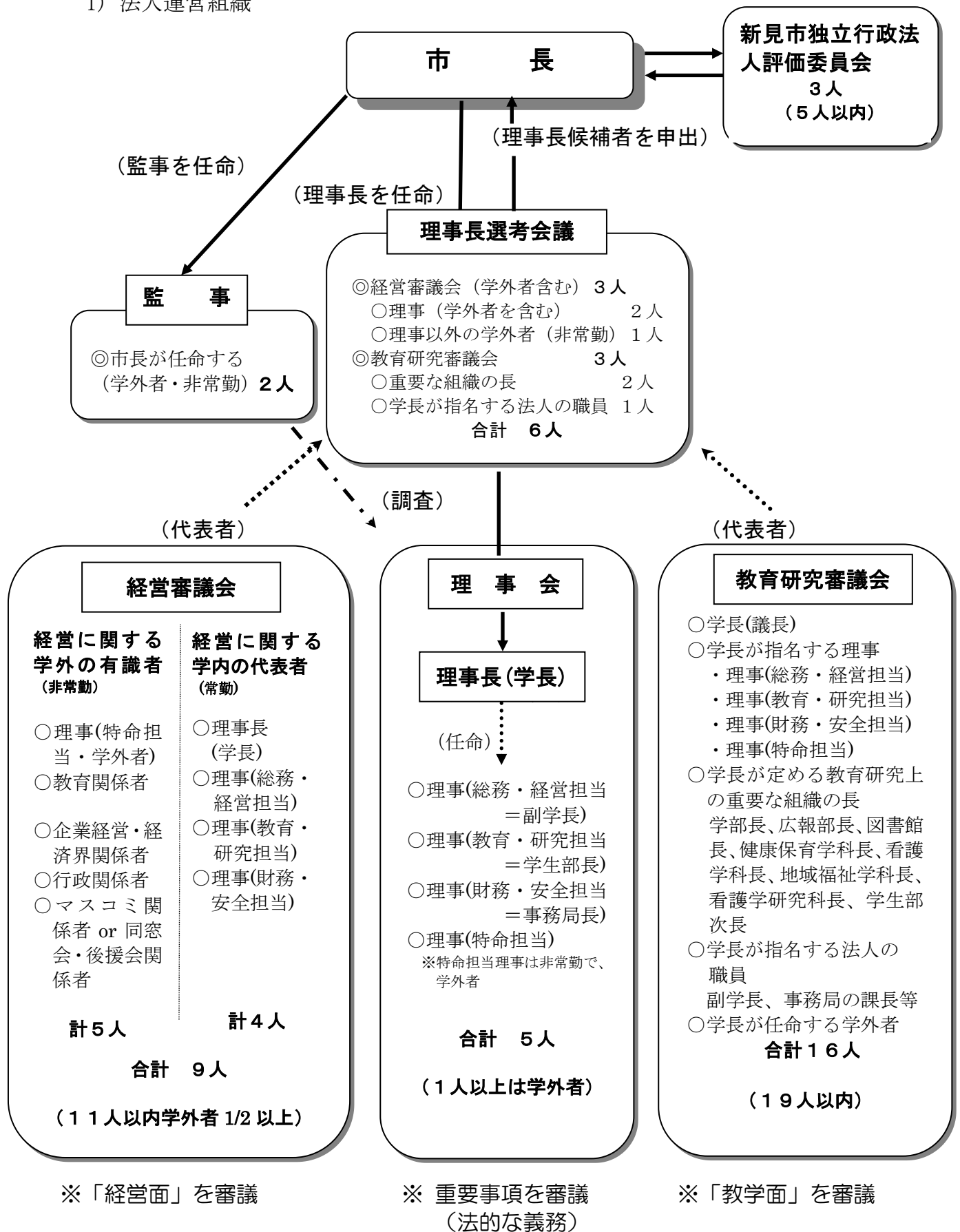
番号	名称	ナンバー 【岡山】	年		走行距離(km)			運転			
			取得	経過	累積	年度	市外	日	人	回	時間
1	カブリ	301 と 2787	H28	6	27,969	4,608	703	189	9	268	1245
2	フリート	502 と 2697	H28	7	85,406	11,148	3,930	118	29	129	622
3	キャリー	480 と 4722	H28	7	19,568	2,780	346	160	20	225	340
4	Nバン	480 と 1683	R2	3	3,593	1,310	0	125	6	137	427
5	ムーブ	581 と 7594	R2	3	17,582	8,339	5,329	208	46	334	627
6	ノート	501 や 4432	H24	11	120,338	4,612	3,154	114	29	149	393
7	ウェイク	581 と 2373	H29	6	32,593	7,624	4,108	215	48	340	628
8	ガラーラ	200 と 1669	R3	1	279,433	4,744	3,732	37	1	37	325
計					—	45,165	27,309	294	70	1619	4607

(4) 設備・備品【 代表的なもの 】

名称	数量	備考
Wi-Fi アクセスポイント	133 Point	本学 125P、NiU 新見駅西テライト 7P、倉敷テライト 1P
Wi-Fi ルーター(貸与)	621 台/月	遠隔授業用対応月平均(通信料負担)7,451 台・月
パソコン(所有・リース)	464 台	教室 245 台、貸出用 81 台、研究 77 台、事務 61 台
ピアノ(保育)	29 台	グランド 9 台(講堂含)、アップライト 20 台
看護実習用ベッド	23 床	CPS 実習ユニットⅡ 8 床、シュミレータ(フィジコ)用 2 床
助産 〃 等	24 基	新生児 12 基、妊婦 3 基、保育器 1 基、沐浴槽 8 基
介護 〃 等	16 基	介護用実習ベッド 14 基、介護用入浴機器 2 基
自動体外式除細動器	5 基	にこたん、2 号館トイレ、学術階段、共生・駅西事務所
エレベータ	3 基	本館 4 階、学術・1 号館 4 階、地域共生推進 C6 階
太陽光発電パネル(PPA)	613 枚	550W/枚×613 枚=337.15kW(体育館、学術、講堂)
自動販売機(許可)	17 台	食堂 7、多目的、学術、3 号館、カフェ 2、外 1、駅西 4
トレーニングマシン	10 基	ベンチプレス、ランニングマシン等(本館トレーニングルーム設置)

8. 法人情報

1) 法人運営組織



2) 法人関係名簿

☆理事会(5人)

令和4(2022)年4月1日

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
理事長	公 文 裕 巳	学長	常勤理事
理事（総務・経営担当）	小 田 慈	副学長	常勤理事
理事（教育・研究担当）	斎 藤 健 司	学生部長	常勤理事
理事（財務・安全担当）	田 枝 修 己	事務局長	常勤理事
理事（大学改革担当）	林 田 昌 吾	会社役員	非常勤理事
計	5 人		

☆監事(2人)

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
監事	黒 杭 良 雄	黒杭税務会計事務所	新見市長任命
監事	森 定 茂 美	元新見市職員	新見市長任命
計	2 人		

☆経営審議会(11人以内)

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
理事長	公 文 裕 巳	学長	常勤理事
理事（総務・経営担当）	小 田 慈	副学長	常勤理事
理事（教育・研究担当）	斎 藤 健 司	学生部長	常勤理事
理事（財務・安全担当）	田 枝 修 己	事務局長	常勤理事
理事（大学改革担当）	林 田 昌 吾	会社役員	非常勤理事
理事長が任命する学外者	城 井 田 二 郎	元新見市教育長	非常勤
	山 本 榮 一	元郵便局長	非常勤
	郷 木 章	元産経新聞記者	非常勤
	矢 田 貝 誠	元新見市職員	非常勤
計	9 人		

☆教育研究審議会(19人以内)

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
理事長	公 文 裕 巳	学長	常勤理事
理事（総務・経営担当）	小 田 慈	副学長	常勤理事
理事（教育・研究担当）	斎 藤 健 司	学生部長	常勤理事
理事（財務・安全担当）	田 枝 修 己	事務局長	常勤理事
理事（大学改革担当）	林 田 昌 吾	会社役員	非常勤理事
学長が定める教育研究上の重要な組織の長	上 山 和 子	健康科学部長	
	岡 本 直 行	健康保育学科長	
	金 山 時 恵	看護学科長	
	矢 庭 さ ゆ り	看護学研究科長	
	松 本 百 合 美	地域福祉学科長	
	三 上 ゆ み	広報部長	
	原 田 信 之	図書館長	
	矢 嶋 裕 樹	学生部次長	
学長が指名する法人の職員	吉 田 征 弘	事務局次長兼教務課長	
	難 波 俊 介	総務課長	
	吉 川 国 夫	学生課長	
学長が任命する学外者	山 室 邦 治	元高等学校校長	非常勤
計	17 人		

☆新見市独立行政法人評価委員(5人以内)

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
評価委員長	岡 崎 平	(株)自光モータース代表取締役	新見市長任命
評価委員	中 西 崇 陽	中西崇陽税理士事務所	新見市長任命
評価委員	加 藤 修	元小学校校長	新見市長任命
計	3 人		

3) 理事会等開催記録

◎令和4(2022)年度理事会等開催実績

No.	日 付	項 目	内 容
1	4/6(水)	第1回評価委員会(委嘱)	・場所 市長室 ・出席 大学出席なし ・内容 評価委員委嘱(新規:加藤修委員)
2	4/13(水)	第1回理事会、 第1回経営審議会、 第1回教育研究審議会	組織及び職員配置、ゼロカーボンの実現に向けた取組方針、「NiU新見駅西サテライト」オープニングセレモニー
3	5/18(水)	第2回理事会、 第2回教育研究審議会	地域福祉学科教員公募、職員採用試験実施、給与規程改正、勤務時間・休日及び休暇規程改正、NiU新見駅西サテライト管理規則制定
4	6/14(火)～ 6/17(金)	年度実績及び財務諸表に係る監事調査	地独法第13条第6項の規定に基づく評価委員委員会の評価を受けるための必要手続【意見なし】及び財務諸表調査
5	6/17(金)	監事監査(令和3年度会計監査)	・時所 9:30～16:00 会議室A ・説明 理事4人、課長3人、学生部次長、総務主担当、経理主担当 ・報告書内容 (1)財務諸表における財務状況等の適正反映 (2)利益の処分書類における法令適合 (3)事業報告書における業務運営の正確揭示 (4)決算報告書における予算区分適正表示 (5)不正行為又は法令等に違反する重大事実なし ・指示事項(質疑及び指摘内容) (1)水道分担金の年度表示(対応予定) (2)多くの通帳の慎重な取扱(対応済み) (3)防災グランドの適切な事業区分留意(対応予定)
6	6/22(水)	第3回理事会、 第2回経営審議会、 第3回教育研究審議会	令和3年度実績・決算、3ポリシー変更、大学院入学者選抜予告、補正予算(1号補正)、教員再任結果報告、ふるさと育英奨学金給付者決定
7		第4回理事会、 第3回経営審議会	授業料減免、前期授業料徴収猶予
8	7/6(水)	第2回評価委員会(令和3年度実績評価)	・時所 13:00～17:00 会議室A ・出席 常任理事4名、課長3人、担当2人 ・内容 令和3年度実績報告書・財務諸表評価
9	7/13(水)	第5回理事会、 第4回教育研究審議会	入学者選抜の日程変更、大学院の改組・拡充準備(組織図、募集要項、学生便覧、大学案内の作成、「大学院運営委員会」設置)
10	7/25(月)	第3回評価委員会(令和3年度実績評価)	・場所 本庁舎 ・出席 大学出席なし(評価委員のみ) ・内容 評価結果取りまとめ
11	8/10(水)	第6回理事会、 第4回経営審議会 第5回教育研究審議会	地域福祉学科教員採用承認(村上留美講師、高橋順一講師)、看護学科教員採用公募、令和3年度に係る業務の評価結果
12	9/14(水)	第7回理事会、 第6回教育研究審議会	大学院学則改正、大学院の教員採用、育児休業に係る例規改正、研究活動に係る不正行為への対応に関する規程の改正

No.	日 付	項 目	内 容
13	10/12(水)	第 8 回理事会、 第 7 回経営審議会、 第 7 回教育研究審議会	令和5年度予算編成方針、全世代型地域包括ケアセンター規程、リサーチ・アシスタント規程、看護学科教員(川下菜穂子講師)採用承認、後期授業料徴収猶予
14	11/9(水)	第 9 回理事会、 第 8 回教育研究審議会	看護学科教員公募、職員の自家用車の業務使用に関する規程改正
15	12/14(水)	第 10 回理事会、 第 8 回経営審議会、 第 9 回教育研究審議会	臨床特命教授規程制定、臨床特命教授の選考、職員給与規程の一部改正、就職・進学状況報告
16	12/20(火)	監事監査(令和4年度業務監査)	・時所 9:30～16:00 会議室A ・説明 理事長、総務課→学生課→教務課→局長 ・対応 副学長、事務局長、学生部長、学生課長 ・報告事項 年度評価、財産目録、利益処分、予算、予算要求、50万円超工事、教員名簿、学生数、入試状況、進路(前年度)、オープンキャンパス状況、オンライン授業状況、年度計画廃止、大学院改組、組織改変、施設整備(レジリエンス化)、評価準備、SA活動の充実、コロナ対応、制度変更、運営状況 ・指摘事項 なし・要望事項 (1)学生の安全確保、(2)チューター活用、(3)連絡体制維持、(4)防犯整備、(5)防災訓練継続、(6)地域活動活性化
17	1/11(水)	第 11 回理事会、 第 10 回教育研究審議会	教員昇任審議(全6名承認)、看護学科教員(基礎看護学助教1名公募)募集、助産学専攻科及び大学院のポリシー変更(3ポリシーとも)
18	2/8(水)	第 12 回理事会、 第 7 回経営審議会、 第 11 回教育研究審議会	規程等改正(健康保育学科・地域福祉学科カリキュラム改正、認証評価対応、大学院改組、全世代型包括ケア研究センター設置、人事院勧告対応期間任用職員給与)、看護学科教員(浅原佳紀講師)採用承認、国公立大学入試出願状況報告
19	3/15(水)	第 13 回理事会、 第 8 回経営審議会、 第 12 回教育研究審議会	年度計画、当初予算、会計規程改正、名誉教授称号授与規程改正、名誉教授称号授与(3名)、教員採用(春藤友香、加藤雅彦)、客員教授等選任、2025年度入学者選抜予告、地福教員公募、特任教員人用、社会福祉士合格率全国大学7位(10人以上受験校ただし、現役のみでは23位)

4) 重要事務手続

◎令和4(2022)年度法人に係る重要事務手続

No.	日付	項目	内容
1	4/1(金)	受託事業開始	・子育て新見カレッジ 8,969,410千円 ・ファミリサポートセンター 2,585,620円 ・地域連携事業 4,520千円(10月～▲1,030千円)
2		NiU新見駅西サテライト不動産貸借契約継続	・期間 ～R19(2037)年1月31日 ・金額 1,500,000円/月【継続】 ・駐車場(5区画) 17,500円/月【開始】
3		大学院の改組に関する検討調査 【4,239,400円】	・業者 (一財)日本開発構想研究所 ・工期 R4.4.1～R5.3.31・検収 R5.3.15 ・内容 大学院改組手続コンサルタント
4	4/4(月)	食券販売助成単価変更 【100円/食→200円/食】	・理由 物価高騰による食堂メニューの値上げ対応 ・支出 後援会 ・目的 食堂経営改善にともなう学生負担軽減
5	4/5(火)	大学情報発信業務委託 【1,320,000円】	・業者 (株)進研アド(高校生対象模試実施業者) ・期間 R4.4.1～R5.3.15(連続で3/31まで掲載) ・内容 進路指導用サイト「マナビジョン」情報登録
6	4/9(土)	後援会総会	・時所 11:00～ 体育館 ・収支 14,875,535円 = 収入26,818,909円-支出 ・入会 200人10,000円・会費 640人×20,000円 ・学生補助 5,665,369円・学事奨励 729,348円 ・施設整備(コンビニ補助含む) 1,005,400円 ・記念品 372,029円・美術品購入 1,500,000円 ・会長 武田 義和 ・副会長 谷岡 美久、山本 直樹(新) ・新任 林和美、青木元
7	4/25(月)	森林の土地所有者届出 【西方1525番2など5筆】	・根拠法 森林法第10条の7の2第1項 ・提出先 新見市長【新大総第3号】 ・面積等 4.3787ha・原因 所有権移転
8	4/26(火)	土地売買等の届出 【西方1525番2など12筆】	・根拠法 国土利用計画法第33条第1項 ・提出先 岡山県知事【新大総第4号】 ・面積等 80,042.48㎡・金額 37,173,810円
9	6/20(月)	消費税及び地方消費税の確定申告	・納付税額 684,100円(前年度 883,400円) ▲199,300円(▲22.6%)翌日納付 ・対象 受託研究費、会館使用料、受験料等
10	6/24(金)	大学院改組認可申請【補正申請】書提出(看護学専攻課程)	・指示 5/26文科省高等教育企画課設置室 ・変更指示事項 ① 養成する人物像等の妥当性・整合性の担保 ② 研究方法教授科目の具体的な設定 ③ 養成する人物像に対応した科目の妥当性担保 ④ 教育方法の特例対象の明確化 ⑤ 若手職員の採用計画などの将来構想の明確化 ⑥ 研究指導補助教員数の基準遵守 ⑦ 学位論文評価基準公表の明確化 ⑧ 「授業日時数」の学則記載 ⑨ 卒業又は就業の認定に関する基準、入学者受入に関する方針の公表明記

No.	日 付	項 目	内 容
11	6/24(金)	大学院改組置認可申請 【補正申請】書提出(地域福祉学専攻課程)	・指示 5/26文科省高等教育企画課設置室連絡 ・変更指示事項 ① 全世代地域包括ケアにおける全世代の明確化 ② 「地域福祉特論」の履修の適性化及び生活課題の範囲の明確化 ③ 構想図上の設置趣旨の構造と要素の明確化
12	7/1(金)	人事給与システム更新 【 3,034,900円 】	・契約者 (一財)岡山中央総合情報公社 ・期間 7/1～9/30(1市、4町、1村、1事務組合) ・理由 地方公務員共済法改正対応
13		第2回教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会	・時所 18:20～19:20 コミュニカフェ ・参加 学友会執行部、各クラス1～2名代表者 学生合計 22名 ・対応 学長、学生部長、学部長等 ・内容 3ポリシー実感、要望書に対する回答、卒業研究等とDPの達成、キャリア支援、学長提案
14		NiU新見駅西サテライト一時預かり事業(一般型)開始届受理通知	・届出日 R4.6.3 新大教第69号 ・通知日 R4.7.1 新福第525号 新見市長 ・開始日 R4.7.6 ・場所 西方463-11
15		適格請求書発行事業者の登録申請【インボイス制度】	・提出 新見税務署長(e-Tax申請) 7/14登録通知 ・根拠 消費税法第27条の2第2項(R5.3.31以前) ・効果 大学支払分の消費税仕入税額控除適用
16	7/4(月)	防災士育成記事掲載【山陽新聞全県版】	・経緯 西日本豪雨災害(避難所活動人材育成) ・受講 172人予定 9月下旬 6日間33時間集中講義 ・内容 避難所シミュレーション、段ボールベッドの組立方等
17	7/8(金)	就職進学状況のホームページアップ 【就職率 100%】	・保育 2015～19公立保育等 29.2%など ・看護 2020～21看護師 67.5%、保健師 19.8% ・地福 2015～19老人福祉施設等 68.7%など
18		授業目的公衆送信補償金請求対応 【 302,544円支払 】	・(一財)授業目的公衆送信補償金等管理協会 ・算定 720円×764人(通学)×50%(割引)×1.1 ・目的 授業目的での著作物の送配信の許容
19	7/17(日)	事務職員採用試験【第1次試験】	・時所 9:00～12:00 5203講義室 ・受験者数 9人(応募10人の90%) ・科目 教養試験、事務適性検査、職場適応性検査
20		山陽新聞広告掲載【岡山の大学に行こう】	・朝刊 県内共同事業3回のうちの1回目 ・内容 在学生紹介 ・掲載 地域福祉学科2年次生の大学選択・魅力

No.	日 付	項 目	内 容
21	7/27(水)	令和3年の実績評価通知受理	・通知 評価委員会委員長 岡崎平氏から ・期間 令和3年度 ・評価された項目(○＝特筆) (1)国家試験合格率100%、(2)資格の取得支援、 (3)大学院再編着手、(4)防災士試験の多人数受験、 (5)共生社会推進士認定、(6)魅力ある取組・研究、 (7)有料公務員講座受講希望者全員が受講、 (8)きめ細かい就学指導、(9)希望通りの専攻選択、 (10)キーボードスキルの向上(前年度指摘対応)、 ⑪資格取得支援の実施、(12)外部人材の充足、 ⑬学生参画FD・SDへの踏み出し、 (14)まちづくりに貢献、(15)ICTの活用、 ⑯教員評価を数字で表す体制(教員省察)、 (17)積極的な学生の受け入れ、 ⑱学生生活支援体制の強化(チューター制等)、 (19)事故・災害対策の強化、 ⑳学生の自主的なワークショップの開催(S・A活動)、 ㉑「えきよこ」1階の高校生などによる活用、 (22)多数の学生ボランティア参加、 (23)組織環境の改善、㉒授業料収納率100%、 (25)動画のホームページ多数掲載、㉓専門職員採用
22	7/29(金)	岡山県議会環境文化保健福祉委員会県内調査対応	・時所 13:45～14:45 NiU新見駅西サテライト ・概要 学長による特色説明・施設案内 ・指摘 特になし
23	8/1(月)	大原美術館学校メンバーズ制度加入	・契約 公益財団法人大原美術館 50,000円/年 ・効果 大学生入場料1,500円/人の無料化 ・同様 後楽園、げんき広場にいみ、新見美術館
24	8/17(水)	前年度決算に係る剰余金充当の承認	- 市長による地独法第34条第1項に基づく貸借対照表、利益の処分又は損失の処理の承認【新総政(第)第43号】 ・承認額(なし) 0円(0%) ・積立(返還予定)額 41,059,427円(100.0%) ・目的 退職金の再予算化不可欠化
25	8/29(月)	令和4年度「教育活動の省察(試行)」の評価結果通知	・対象 教員54人 ・結果 卓越7人(13.0%)、優秀44人(81.5%)、平均 2人(5.6%)
26	8/31(水)	事務職員採用試験【第2次試験 3名合格】	・時所 10:00～12:00、14:00～15:00 会議室A ・受験者数 5人(一次合格発表者5人の100%) ・科目 作文試験、口述試験(面接)
27		大学院改組認可【看護学専攻(D)】	・許可 令和4年8月31日【4文科高第742号】 ・申請 令和4年3月17日付け ・名称 看護学研究科看護学専攻(D)・定員 2 ・修業年限 3年・開設 令和5年4月1日・年次 1年次 ・附帯 エスノグラフィーなど質的研究手法を習得する新たな科目の配置等、定年超過教員多人数は是正
28		大学院改組認可【地域福祉学専攻(M)】	・許可 令和4年8月31日【4文科高第742号】 ・申請 令和4年3月17日付け ・名称 看護学研究科地域福祉学専攻(M)・定員 4 ・修業年限 2年・開設 令和5年4月1日・年次 1年次 ・附帯 エスノグラフィーなど質的研究手法を習得する新たな科目の配置等、定年超過教員多人数の是正

No.	日 付	項 目	内 容
29	9/12(月)	厚労省「定期指導調査」 対応	・時所 10:30～17:00 会議室B ・調査 中四国厚生局 健康福祉部健康福祉課 ・担当 額田貴課長、湯原亮平係長、柿田千鶴 ・内容 地域福祉学科厚労省学校指定関係調査 ・講評 (1)タイムカード打刻の徹底、(2)補講実施書類の 適正保存、(3)ゼミ室変更届出の徹底
30	9/30(金)	認証評価に向けた評価機 関との事前協議	・時所 14:00～15:50 大学教育質保証・評価センター ・参加 内部質保証部会(斎藤健司委員長、山田雅 夫副委員長、難波総務課長、眞治主査、能勢修) ・対応 杉浦洋典事務局次長、宮林常崇参与、 古川善一主任 ・内容 大学・院改組説明、認証評価準備状況説明、 意見交換(①本学の取組、②評価基準、③前回) ・意見 新評価センターの設立理念に合致し、理想的 な取組で、モデルケースとなり得るとの高い評価
31	10/1(土)	倉敷サテライト増室 【1室 36.21㎡】	・場所 倉敷市伯楽町272-1 COCO伯楽町201号室 ・物件 鉄筋コンクリート造 36.21㎡(バルコニー4.82㎡) ・費用 59,000円/月(共益費5,000円別途) ・敷金100,000円、礼金59,000円、保険10,000円/年 駐車場7,000円/月、鍵交換10,000円 ・大学院改組及び実習者増加対応
32		共済組合制度改正対応 【期間任用職員23人短期 組合加入対象化】	・1週間の所定勤務時間が20時間以上 ・勤務期間の見込みが2カ月を超える ・報酬月額8万8千円以上
33	10/4(火)	後援会第1回理事会	・時所 18:30～19:30 会議室B ・内容 執行状況、学生生活及び学科状況、卒業生進 路・入試・在籍者等、授業料減免等報告
34	10/24(月)	防災・防火訓練	・時所 11:00～12:00 全館・指導 消防署・セコム(株) ・対象 本学学生296人及び教職員35人 計331人 ・訓練内容 通報、放送、非難誘導、消火器使用
35	11/1(火)	指定保育士養成施設の 指導調査	・時所 10:00～16:00 会議室B ・県こども未来課 大隅眞嗣副参事、世良真也主幹 ・講評 書類:適正、実習:熱心・細やか、施設:充実
36		介護福祉学校承認申請	・事由 カウンセリングルーム、相談室、ゼミ室追加変更 ・送付 中四国厚生局(実習施設削除を含む) ・時期 R2.10、R4.4分変更にて理由書添付
37	11/25(金)	大学院看護学専攻課程 養護教諭専修免許状認 定	・番号 4文科教第1180号 ・根拠 教育職員免許法別表第1備考第5号イ ・内容 養護教諭専修免許状
38	12/1(木)	消費税及び地方消費税 の中間申告分納付	・納付税額 877,000円(前年度 684,100円) +192,900円(+28.2%)翌日納付 ・対象 受託研究費、会館使用料、受験料等
39	12/8(木)	令和4年度中国地区公立 大学事務局長会議	・時所 13:30～15:30 WEB会議 ・参加 事務局長・内容 勤怠・兼業・研修、再任、 学食運営、キャリア支援目標、授業料未納措置
40		大学関係者管理システム 導入委託 【1,732,500円】	・業者 マイクロメイト岡山(株)・契約日 R4.4.1 ・工期 4.4.1～4.12.16・機能 発送名簿管理 ・経過 短期大学分成績等証明印刷機能移設
41	12/11(日)	看護(演習)・地福(ダブル ライセンス座談会)ビデオ制作 【555,500円】	・業者 (株)吉備ケーブルテレビ・契約日 R4.11.14 ・工期 11.14～12.28・内容 ビデオ撮影編集 ・用途 ホームページ掲載による大学アピール

No.	日 付	項 目	内 容
42	12/13(火)	総合・給与(賞与)振込委託金融機関変更	・変更 (株)中国銀行→(株)ゆうちょ銀行 ・理由 大幅な振込手数料の軽減(半額以下) ・リスク管理 Biz-Direct(既存)契約継続
43	12/15(木)	金融機関取引ソフト「OFFICE BANK Vaive(中国銀行)」解約(1	・解約「Biz-Direct」への移行 ・時期 平行処理安全確認期間の終了時期 ・状況 移行後通常処理無難終了の状況確認済み
44	12/19(月)	「物価高に対する経済支援事業」贈呈式【1,524千円】	・時所 12:40～13:00 コミュニティカフェ・学科代表3名 ・支給 クオカード2,000円/人×762人=1,524,000円 ・財源 (独)日本学生支援機構、受納学生支援募金
45	12/21(水)	第3回教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会	・時所 16:40～18:10 コミュニティカフェ ・参加 学友会執行部、各クラス1～2名代表者 学生合計 30名 ・対応 学長、学生部長、学部長等 ・セッション1 3センター(健康管理、学生生活支援、修学・キャリア支援)の説明&Q・A ・セッション2 総合討論(1)学生からのセンター・ワンストップ、(2)センター間連携、(3)学科とセンターの連携、(4)アンケート分析
46	12/23(金)	NiU新見駅西サテライトの敷地内全面実施施設認定【備北保新支第422号】	・申請先 岡山県備北保健所新見支部 ・認定要件 敷地内終日禁煙、表示、喫煙設備なし ・認定証(ステッカー)の交付・申請日 12/22
47	12/27(火)	職員給与差額支給	・対象 教職員80人(教員67人、事務員13人) ・金額 3,846,878円 ・遡及 若年層給料表改善、12月勤勉率+0.1ヶ月
48		教員研究用パソコン等(後期分)購入【2,123,000円】	・業者 (株)ワークステーション ・数量 ノートパソコン11台、タブレット1台、スキャナー1台、プリンター1台
49	1/4(水)	公の施設指定管理者指定通知【新見市学術交流センター】	・番号 新見市指令総政(大)第180号 ・期間 R5(2023)4.1～R10(2028)3.31(5年間) ・根拠 指定手続条例第8条第1項
50	1/17(火)	ゆうちょBizダイレクト追加口座申込み	・効果 ゆうちょ口座振替受払通知書の即時確認 ・対象 学生納付、検定料、募金、払出、図書館複写料目的の5口座
51	1/30(月)	公立大学ガバナンス・コード制定【第1版】	・団体 (一社)公立大学協会 ・目的 設置者との信頼関係を確かなものとする ・構成 基本原則5項目、16中目、25細目
52	2/16(木)	短期宿泊施設賃貸契約解除【ライオンズマンション豊成】	・解除 R5.3.31・数量 403号1室(75,000円/月) ・住所 岡山市南区豊成1-6-7 ・理由 実習先の変更にとまなう対費用効果低下
53	2/17(金)	指定保育士養成施設指定に係る承認申請【学則変更】	・児童福祉法施行令第3条第2項 カリキュラム変更 ・申請 岡山県知事 新大教第256号 ・承認 R5.2.22付け岡山県指令子未第29号
54		特別支援学校教諭免許状コアカリキュラム変更届	・教育職員免許法施行規則 カリキュラム変更 ・届出 文科省総合教育政策局教育人材政策課 ・提出 電子メール送信
55	3/3(金)	後援会第2回理事会	・時所 18:30～19:30 会議室B ・内容 執行状況、学生生活及び学科状況、入試、大学出願状況、新型コロナ対策状況

No.	日 付	項 目	内 容
56	3/9(木)～ 3/23(木)	源泉所得税調査【ヒアリング(提出書類等協議)】	・時所 13:00～14:00 本館4309-4310ゼミ室 ・調査 岡山東税務署(横山正、野崎守智) ・対応 局長、総務課長、人事担当、財務担当 ・提出書類 ①支払調書明細「報酬・委託・手数料」 ②組織図・職員名簿③賃金台帳④給与明細 ⑤申告書類⑥例規(パソコン準備)⑦仮勘定支払表
57	3/13(月)	旅費精算システム導入 【 2,488,750円 】	・業者 (株)エイエイエス・システム「Spenddia」 ・工期 3/13～6/30 ・内容 要件整理、セットアップ等 ・効果 地点距離計算、財務連携、早期実現
58	3/15(水)	名誉教授称号授与 【 3名 】	・授与式 R5.4.3(月)教授会開会前 ・上山和子(1号)、岡京子(2号)、高月教恵(4号) ・4号要件 本学の進展に顕著な功績が認められる者
59		令和7(2025)年度入学者 選抜変更予告 【 2年前予告 】	・保育 総合型選抜(10人)新設、学校推進型選抜 ▲10人(15人)▲10人11月実施(非共通テスト化)、 - 一般選抜 共通テスト2教科選択(▲1教科) ・看護 学校推進型 +5人(30人)共通テスト4科目選択 - 一般選抜 ▲5人(45人)後期面接回数▲1回(1回) ・地福 一般選抜 選択科目に「情報」追加

5) 主な事業

◎令和4(2022)年度主な事業実績

No.	日 付	項 目	内 容
1	4/9(土)	入学式	・時所 午前10:00～ 体育館 ・参加 入学生 205人 来賓・保護者1名限定 ・内容 入学生宣誓、入学許可書授与、式辞等
2	4/13(水)～ 3/31(金)	有料公務員講座開設 第2期【82人】	・開設機関 後援会・負担額 48,000円/人 ・講師派遣 (株)東京リーガルマインド岡山支社 ・参加者 82人(保育53人、地福26人、看護3人) ・内容 ① 文書理解 6コマ ② 数的処理 20コマ ③ 社会科学 16コマ
3	4/17(日)	NiU新見駅西サテライト【オープニングセレモニー】	・時所 10:00～ NiU新見駅西サテライトエントランス ・感謝状 (有)後藤建築事務所、杉岡建設(株) ・参加 役員・審議会委員、市三役、秘書、地元
4	4/25(月)～ 12/16(金)	Web個別相談会 【相談件数 2 件】	・時法 15:40～18:40 Web 1回20分程度 ・手法 「Live On」の利用 ・参加 2件 ← 9件(▲7件▲77.7%)
5	4/27(水)	「先輩と語る会」開催	・時所 9:30～12:00 1201,1202講義室 ・内容 就職活動、社会人生活、卒業後のこと ・講師 吉備高原賀陽荘の田中さん 総社市社会福祉協議会の石原さん ・講演を聴きき、2グループに分かれて意見交換
6	5/1(日)	NiU新見駅西サテライト第3 回トライアルイベント【元気な 子プロジェクト】	・時所 10:30～12:00 こども交流広場 ・参加者数 30組 ・かしわもち作り、こいのぼり作り
7	5/12(木)	「キャリアセミナー」開催	・時所 16:40～18:10 3310講義室 ・対象 健康保育学科3年次生 ・内容 就職活動のすすめ方、留意点の把握と理解
8	5/16(月)	大学院改組情報発信 【健康科学研究科】	・改組時期 令和5(2023)年4月1日～ ・看護学専攻 修士課程 → 博士前期課程 博士後期課程新設 養護教諭専修免許状が取得可能化 ・地域福祉学専攻 修士課程新設 ・看護学研究科 → 健康科学研究科
9	5/21(土)～ 5/22(日)	学園祭「鳴滝祭」	・テーマ「第24回強く、凛々しく、逞しく」 ・1日目 9:30～オープニング、9:45～ 男装女装、10:20～ アコギサークル、10:50～ミス・ミスターコン、11:20～新見ウインドア 14:00お笑いライブ(あばれる君、ウエストランド、東京ホテイ ン)・2日目 9:30～グループ対応プチプレゼント大会、10:00～ 手話、10:15カラオケ大会、10:45～抽選会、11:15～格付 12:30～軽音部、14:30～ダンス部、16:30～ミスコン等発 表・フィナーレ ・市内限定(COVID19対応で、来場案内なし)
10	5/22(日)	学園祭「鳴滝祭」バザー	・3号館、新館前 模擬店&バザー(9:30～15:00) ・1号館横駐車場 休憩所、教習所(9:30～15:00) ・中庭・食堂 休憩所(9:30～15:00) ・新館 写真部、書道部、美術部展示 (9:30～14:30)

No.	日 付	項 目	内 容
11	5/27(金)	「ゼロカーボンの実現」に向けた協定【締結式】	・時所 9:30～10:30 会議室B ・締結相手 (株)ガット ・内容 ゼロカーボン実現、再生エネルギー導入、地域レジリエンス強化、エネルギー地産地消などで連携 ・(株)ガット 美甘信吉代表取締役、栗井康恵常務取締役、廣瀬吉嗣取締役・大学 理事5人 ・立会人 戎斉市長・来賓 石田 實市議会議長 ・目標「レジリエンスユニバーシティー新見公立大学」
12	6/16(木)	第1回シミュレーショントレーニング【PIONE】市内4病院交流会【看育びおーえん】	・時所 13:30～15:00 コミュニティカフェ ・参加 市内4病院3年目以内看護師等 19人 ・内容 中山間地域の看護師の継続教育プログラム
13	6/28(火)	「新見公立大学 入試説明会」参加者8組	・場所 本学＋サテライト会場(ピュアリティまきび) ・時間 13:00～16:00 ・参加 13人(内大学7人) ・内容 概要説明、入試状況、個別相談
14	7/9(土)	第2回シミュレーショントレーニング【PIONE】	・時所 13:30～17:00 シミュレーション室 ・講師 医師、溝尾医師 ・参加 市内3病院、卒業2年目看護師5人
15	7/12(火)	新見おかみさん会調理器具等贈呈式	・時所 17:15～18:00 スタディラウンジ「ゆめラウ」 ・参加 大澤千鶴会長、家元安子事務局長、会員(橋本真智子、小河広己、林美佐子) ・大学 学長、局長、課長2名、正副地域共生センター長 ・駅よこフロア運営委員会 3人(地福1年次生) ・贈呈品 調理器具、コップ等300点
16	7/19(火)	「大雨警報」による休講	・警報 大雨警報(新見地域) 6:00～21:00 ・休講 全学科 ・措置 学生食堂等への連絡
17	7/24(日)	オープンキャンパス1/3【参加者143人】	・時所 12:30～15:30(11:30受付開始)講堂等 ・参加 143 ← 105人(+38人) 同伴者数 108人 - 保育 19人、看護 72人、地福 17人【94.7%来場】
18	7/27(水)	新見高校「進学ガイダンス」講演	・時所 11:30～12:20 新見高校 ・講師 公文裕巳学長(2年生対象) ・テーマ 「大学と共に未来を拓こう」
19	8/7(日)	オープンキャンパス2/3【参加者195人】	・時所 12:30～15:30(11:30受付開始)講堂等 ・参加 195 ← 143人(+52人) 保護者数 151人 - 保育 42人、看護 119人、地福 31人、助産 3人
20	8/21(日)	オープンキャンパス3/3【参加者121人】	・時所 12:30～15:30(11:30受付開始)講堂等 ・参加 121 ← 80人(+41人) 保護者数 100人 - 保育 23人、看護 69人、地福 26人、助産 3人 【85.8%来場】
21		オープンキャンパス(計)【参加者459人+39.9%】	全体 459人 ← 328人(+131人+39.9%)、 保育 89人 ← 56人(+33人+58.9%)、 看護 281人 ← 217人(+64人+29.5%)、 地福 81人 ← 54人(+10人+18.5%)、 助産 6人 ← 1人(+5人+500%) 前年度大雨を考慮しても、好調と評価できる。

No.	日 付	項 目	内 容
22	8/30(火)～ 9/2(金)	LINKtopos【リンクトポス】	・主催 公立大学学生ネットワーク・開催地 福知山公大 ・参加 運営2人、SA等取組み発表5人 計7人 ・大会 24大学 80人 参加
23	9/14(水)	大学院改組の認可に係る 記者発表	・時所 14:00～14:40 会議室B ・参加 市長(あいさつ)、議長(臨席)、説明(学長) ・内容 健康科学研究科看護学専攻(博士)及び 地域福祉学専攻(修士)の設置認可8/31付け 全世代型地域包括ケアの追求について 精神科医師及び元厚労省事務次官等の採用
24	9/15(木)	「先輩と語る会」	・時所 13:00～16:00 学術交流ホール ・対象 健康保育学科3年次生 55人 ・内容 3職域先輩(1人欠席)による講演及び懇話会
25	10/1(土)	第3回シミュレーショントレーニング 指導者講習会【PIONE】	・時所 13:30～17:00 シミュレーション室 ・講師 万代医師、溝尾医師 ・参加 市内2病院看護師6人(渡辺4名、中央2名)
26	10/14(金)	「土下座祭り」 【湯立て神事】参加	・時所 19:00～ 船川八幡宮 本殿 ・参加 30名 ・移動 バス配車(17:00大学発) ・内容 アナウンス、かがり火、湯立て担当スタッフ
27	10/15(土)	「土下座祭り」 【御神幸武器行列】参加	・時所 13:30～(本殿祭10:00～) ・参加 67名 ・移動 徒歩・自転車現地集合・解散 ・内容 御神輿(お囃子は別途地福2年参加)
28	10/28(金)	学部間学術交流協定締 結式【延世大学大学院保 健行政学部】	・時所 11:00～12:00 学術交流ホール ・期間 3年間 ・内容 学術セミナー開催、交流、情報交換
29	11/5(土)	第4回シミュレーショントレーニング 【PIONE】	・時所 13:30～17:00 シミュレーション室 ・講師 万代医師、溝尾医師 ・参加 病棟5人、外来1人
30	12/3(土)	スポーツ大会	・時所 8:00～17:00 体育館 ・主催 学友会 ・参加 11チーム、88人 ・内容 学内バレーボール大会
31	12/10(土)	にいみゆめポケット	・時所 10:00～14:00 地域共生推進センター棟等 ・内容 合唱、手品、劇、ダンス、つくる・かがく、 おはなし、むかしあそび、迷路 ・特徴 学生による実行委員会編成 ・参加 ①学生 1～4年生約175人 ②市内参加 約150人
32	12/17(土)	クリスマス会	・時所 13:00～17:00 体育館 ・参加 学友会主催 370人 ・内容 軽音、アコースティックギター、ダンス、抽選会
33		イルミネーション点灯式	・時所 3号館17:30～ 新見駅(サテライト含)18:30～ ・3号館 小田副学長あいさつ、会長カウントダウン ・駅前 駅前商店街主催(ロータリー広場学長含む12人)
34	1/22(日)	第 13 回地域文化実習発 表会	・時所 13:30～15:10 講堂 ・発表 地域福祉学科 2年(50人)観客 18人 ・内容 舞台発表(お囃子 42人、神楽 8人)
35	1/23(月)～ 1/25(水)	スキー実習	・対象 看護学科1年生 85人 ・場所 いぶきの里スキー場 ・形態 3日間9台のバス輸送【宿泊なし】

No.	日 付	項 目	内 容
36	1/24(火)	令和4年度高梁川流域連携中枢都市ビジョン懇談会	・時所 14:00～15:30 倉敷市役所10階大会議室 ・出席 事務局長 ・内容 ビジョン改定案についての意見交換
37	2/5(日)	新見商工会議所青年部学生支援交流事業	・時所 9:20～16:00 夢すき公園・別所アウトドアセンター ・参加 募集(1,2年次生)28人 1,000円/人 ・内容 冬の市内代表的観光施設巡り
38	2/22(水)	共同研究協定書調印式【岡山大学大学院】	・時所 13:30～14:00 会議室B ・期間 1年間・領域 市内の小児心身医療課題 ・教室 医歯薬総合研究科小児医学教室 ・調印者 塚原宏一教授、公文学長 ・立会人 戎斉新見市長、石田稔新見市議会議長 ・出席者 副学長、事務局長、学生部長、学部長
39	3/4(土)	第5回シミュレーショントレーニング【PIONE】	・時所 13:30～17:00 シミュレーション室 ・講師 万代医師(東京慈恵医大病院)、溝尾医師 ・参加 急変対応・診療所に勤務する看護師
40	3/8(水)	NiU新見駅西サテライト絵画寄贈感謝状贈呈式【難波ふく枝氏】	・時所 15:00～15:30 ロビー ・3点「シャガールの仏さま」、「おなかの中に仏さま」、「きつねの嫁入り」
41	3/10(金)	共同研究協定書調印式【岡山医療センター】	・時所 15:00～15:30 会議室B ・期間 1年間・領域 小児の発達障害領域 ・(独)国立病院機構岡山医療センター 久保俊英院長 ・大学 公文裕巳学長 ・出席 副学長、事務局長 ・立会 戎新見市長、石田新見市議会議長
42	3/13(月)	太陽光発電システム竣工式	・時所 10:00～11:00 学術交流ホール ・目的 レジリエンスユニバーシティ新見公立大学の実現 ・契機 3/1太陽光パネルによる発電電力の受給開始 ・出席 学長、合同会社GRE(美甘代表、金谷本部長、水本支店長、廣瀬取締役)、大学理事 ・立会 戎新見市長、石田新見市議会議長
43	3/18(土)	卒業証書・学位記授与式(卒業式)	・時所 午前10:30～ 講堂(保護者1名限定) ・人数 182人(保育45、看護81、地福49、助産5、院2) ・内容 証書授与、式辞、送辞、答辞等
44	3/22(水)	発達支援専門職研修会【岡田あゆみ 先生】	・時所 15:30～17:15 NIU新見駅西サテライト ・講話 学校に行けない子どもたちⅡ ・参加 障害者自立支援協議会員、教員等

6) 災害等対応 (新型コロナウイルス COVID-19)

◎令和 4(2022) 年度災害等対応 (新型コロナウイルス COVID-19) 実績

No.	日 付	項 目	内 容
1	4/1(金)	新入生健康観察期間設定	・目的 市内住居移動者の感染状況確認・対象 新入生 ・内容 4月6日までの市内転居健康管理
2		備北保健所(新見・高梁地域)コロナウイルス年度内感染者数【11,167人】	・月別 4(177)、5(216)、6(97)、7(389)、8(1654)、9(1199)、10(880)、11(1468)、12(2775)、1(1947)、2(277)、3(88) ・ピーク12・1月4,722人(53.3%)・感染率 20.2%
3	4/1(金)～ 3/31(金)	COVID19学生相談実施【918回/月】	・回収 918回 ← 1,127回(▲308回▲27.3%) ① 体調不良 801回 (87.3%)【帰省・就活等相談終了】 ② 健康相談 117回 (12.8%)
4	4/10(日)～ 1/17(火)	学生感染者等発生【感染者数 197人】	・月別感染者数率 4(1)、5(2)、7(17)、8(17)、9(12)、10(19)、11(72)、12(31)、1(26) 計 197人 25.6% ・学科感染率 保育 33.5%、看護 26.3%、地福 18.4% ・学年感染率 1年次生 21.9%、2年次生 27.5%、3年次生 24.5%、4年次生 30.7% ・濃厚接触数 130人 16.9%・計 327人 42.5%
5	4/22(金)	大学コンソーシアム岡山臨時代表者会議	・時所 10:30～10:50 WEB・参加 斎藤学生部長(代理) ・内容 県知事の3回目ワクチン接種促進要請
6	5/21(土)～ 5/22(日)	COVID19に対応した大学祭の実施	・市内在住に限定した開催(保護者への不案内) ・三密を避けた実施、消毒の徹底、 ・バーザーの短時間(1日限定)
7	5/27(金)	新型コロナウイルス感染症対策助成金交付申請【新大学第15号】	・申請先 (独)日本学生支援機構 ・内容 食に対する支援2,335千円の一部助成 ・補助額 1,000千円
8	6/1(水)～ 3/31(金)	第3次学生支援募金募集【114件 2,254,558円】	・目的 学生等に対する経済的支援・生活支援 ・納付 114件 2,254,558円(6/20～3/14)
9	6/2(木)	学生への食材提供【カルスト大根・白菜】	・配布時所 12:40～13:20 1号館前 ・支援 小林幹夫氏(土橋)・対象者 学生140人 ・目的 長引くコロナ禍で困窮学生に支援
10	6/10(金)	学生への食料支援【米2kg、アルファ米3袋】	・時所 12:30～13:20 1号館前 ・支援 新見市社会福祉協議会・対象者 150人 ・目的 長引くコロナ禍で困窮学生に支援
11		新型コロナウイルス感染症対策助成金交付決定通知【学支広第34号】	・申請先 (独)日本学生支援機構 ・内容 食に対する支援2,335千円の一部助成 ・補助額 1,000千円・振込日 6/30
12	6/17(金)	新1年次生希望者3回目ワクチン接種【62人】	・時所 13:30(1班)、13:45(2班)渡辺病院 ・接種者数 62人(64希望者中2人欠席) ・学生接種率 84.3% 届出事務サポート
13	6/21(火)～ 10/11(火)	抗原検査キットの使用開始【購入】	・目的 実習施設からの要請対応等 ・価格 1,210～1,430円/セット ・組数 601セット・調達 1,018,589円(主に2社)
14	7/4(月)	「食に対する支援事業」贈呈式	・時所 12:40～13:00 コミュニティカフェ ・内容 全学生 770人に対する「たまがき券」支給 ・贈呈 公文学長から学友会代表 3名に対し贈呈
15	7/7(木)	「食に対する支援事業」「たまがき券」配布開始【2,289,000円分】	・場所 学生課窓口(印鑑受領)763人3,000円分/人 ・使用 食料品限定「YショップNiUサックス店」、 「ペーカリーカフェSun-Sun」限定

No.	日 付	項 目	内 容
16	7/17(日)～ 7/21(木)	学内7月クラスター発生公表【11人】	・対策会議 10:00～12:30 本館ロビー ・感染者 看護1年次生 7/15～16PCR検査陽性者 ・対策 濃厚接触者認定(38人)及び待機期間設定 ・公表 7/17(4)、18(4)、19(1)、20(1)、21(1)
17	7/19(火)～ 7/23(土)	1年次生講義の休講【19～23日】	・連絡 ユニパによる連絡(全学生)2日間1日延長 ・注意 予防対策励行、不要不急の外出禁止、体調異変時の保健管理センターへの連絡徹底
18	8/9(火)	にこたん臨時休業【利用者感染判明】	・原因 利用者の新型コロナウイルス感染情報 ・対応 同席スタッフの抗原検査 ・休業 当日のみ
19	9/19(月)～ 9/20(火)	台風14号臨時避難所開設・受入	・時所 15:10～翌日 6:00 多目的ホール ・非難 車イス男性1人(まなび電源喪失で移送) ・対応 市2人(介護保険課)・総務課1名 通時
20	9/26(月)～ 10/5(水)	健康診断【EGRA検査】	・場所 渡辺病院 9/5通知 9/26、9/30、10/5実施 ・対象 学生51人(全員陰性確認10/12) ・原因 6/23届出に伴う保健所対象者指定
21	11/8(火)～ 11/16(水)	11月クラスター発生【56人】	・確認 11/7(7)、8(12)、9(14)、10(7)、11(9)、12(2)、14(1)、15(2)、16(2)終息宣言 濃厚接触者数 58人 ・主感染行為 ダンス部発表会&後の複数パーティー
22	11/10(木)	学生への食料支援【米3kg、特産ジュース3種】	・時所 12:40～13:30 1号館前・希望者抽選 91人 ・支援 大学コンソーシアム岡山【JA岡山】 ・目的 生活困窮等が学生の生活支援
23	12/17(土)～ 12/18(日)	新型コロナウイルスワクチン(BA-5)集団接種【309人接種 34.2%】	・時所 10:00～14:30・12:30 学術交流センター ・実施 新見市健康づくり課(保健師3名注射) ・事務 接種済証のコピー(実習先要請対応用)
24	12/21(水)	学生への食料支援【米2kg、アルファ米100g袋】	・時所 12:30～13:20 1号館前・希望者抽選 150人 ・支援 新見市社会福祉協議会 ・目的 生活困窮等が学生の生活支援 ・米(2Kg袋) 150袋・アルファ米(100g袋) 一人3袋 ・大根(ハーフ)150本・白菜(ハーフ)150玉
25	1/11(水)～ 1/17(火)	学生食堂臨時休業【従業員濃厚接触対応】	・原因 従業員の家族感染による濃厚接触対応 ・期間 冬季休業開けの延期対応 ・周知 テスクネット及びユニパでの連絡
26	1/18(水)	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ同時流行中注意喚起	・内容 発熱・咳症状がある場合の受診・検査啓発 ・手法 ユニパによる全学生への連絡 ・管轄 保健室
27	1/25(水)	臨時休校【大雪警報】	・期間 終日(A.M6:00時点大雪警報発令) ・状況 県内14市町村133公私立学校臨時休校 ・積雪 千屋アマス6:00時点 62cm(学内30cm程度)
28	3/13(月)	マスク着用ルール変更【厚労省方針準拠】	・決定 R5.2.10 厚生労働省決定(ホームページ掲載) ・基本 着用は個人の判断に委ねる ・推奨 着用が効果的な場面での着用
29	3/31(金)	新型コロナ対策年度経費【39,838,298円】(クオカード等支給を含む)	・飛沫感染防止 用品調達 27品 監視 333日社 ・接触感染防止 用品調達 44品 消毒アルコール 1780 ペーパータオル配備 2,475品・ワクチン接種支援 371人 ・検査 抗原検査キット967セット PCR 76人 抗原 64人 ・自宅待機指示者食料支援 15人・バス調達 9台 たまがき券・クオカード 763人(5,000円) ・遠隔 ツールライセンス 29ライセンス Wi-Fi 7,451人月

7) 施設整備

◎令和4(2022)年度主な施設整備状況

No.	日付	項目	内容
1	4/7(木)	3号館備品購入 【2,860,000円】	・業者 (有)中村商事 ・納期 ~R4.4.28・契約日 R4.4.1 ・数量 講義机40台、講義イス40脚(コクヨ) 3310用
2	5/31(火)	NiU新見駅西サテライト光ファイバー等情報設備整備工事【5,349,300円】	・業者 西日本電信電話(株)岡山支社 ・工期 R4.2.21~R4.5.31 ・内容 電話7ジャック、情報15ジャック、光ケーブル1,400m
3	6/28(火)	新見駅裏看板整備 【803,000円】	・業者 杉岡建設(株)・契約日 R4.5.30 ・工期 R4.5.31~R4.6.30・H1.2×W9.0m ・記載「人と地域を創る新見公立大学NiU」
4	6/29(水)	介護実習室医療用衝立の更新【297,550円】	・数量 15基(全体30基の50%取替) 6/21契約 ・耐用年数 主金属 10年(27年目更新2.7倍更新) ・金額 297,550円・納入 さくらグループ(株)
5	7/29(金)	駐輪場整備工事 【10,890,000円】	・業者 丸山建設(株) ・工期 R4.4.12~R4.7.31 ・内容 西方公民館への臨時設置
6	8/30(火)	図書館学習スペース机パーテーション設置 【2,618,000円】	・業者 (有)中村商事 ・内容 机・スタント(16台)、パーテーション(40枚) ・効果 隣席との視界を遮り集中できる環境の創設
7	9/28(水)	3号館空調設備修繕工事【374,000円】	・業者 三要電熱工業(株) ・工期 R4.8.1~R4.9.30 ・内容 令温水配管腐食漏れ溶接修繕
8	10/27(木)	1号館コンピュータ室再構築業務委託 【3,553,660円】	・業者 山佐フロンティア(株) ・工期 R4.7.19~10.31・契約日 R4.7.15 ・数量 デスク32台取替・LAN等移設(室狭隘化対応)
9	10/28(金)	学術交流センターエレベータ改修工事 【41,998,000円】	・業者 杉岡建設(株)・契約日 R4.4.12 ・工期 4.13~10.31・内容 1号館4階までの延長 容積900kgEV改修、屋根設置、1号館導線確保
10	10/31(月)	1・2号館空調設備等改修工事【30,800,000円】	・業者 東亜電工(株)・契約日 R4.5.23 ・工期 5.24~10.31・内容 空調電気式化取替 (1号館1階17台、2号館5台)、ロスナイ(2号館4台)設置
11	11/24(木)	1・3号館無線LAN増設工事【723,800円】	・業者 NTT(株)岡山支社・契約日 R4.7.25 ・工期 7.26~5.3.31・内容 3アクセスポイント追加 ・結果 学内124アクセスポイント(駅西4アクセスポイント別途)
12	12/26(月)	3号館出入管理システム改修工事【1,410,970円】	・業者 セコム(株) ・期間 10/5~12/28・契約日 10/4 ・内容 出入管理システムの装置更新
13		3号館警備システム改修工事【825,000円】	・業者 片岡工業(株) ・期間 10/12~12/28・契約日 10/11 ・内容 出入管理システムの装置取替
14		地域福祉学研究院生室整備(3203室整備) 【495,000円】	・業者 杉岡建設(株) ・期間 9/26~12/28・契約日 9/22 ・内容 ミニキッチン設置(1台)流し台撤去含む
15	1/16(月)	小児診察シミュレータ整備【1,936,000円】	・業者 新青山(株)岡山営業所 3/29検収 ・形状 身長70cm、体重4.7kg(1歳児想定人形) 1体 ・測定・観察機能 呼吸、心拍、心音、体温、血圧、腸音

No.	日 付	項 目	内 容
16	2/15(水)	体育館裏倉庫整備工事 【 1,694,000円 】	・業者 杉岡建設(株) ・工期 R4.11.15～R4.2.28 ・内容 図書収納室増設に伴う用具倉庫設置
17	2/20(月)	デマンドコントロールシステム整備 【 4,950,000円 】	・業者 (株)ガット(アックスクラウド・マネジメント社製) ・EMS装置(空調機制御ユニット)7台、電力計測器28台 ・太陽光発電導入にともなう既存空調制御変更
18	2/28(火)	太陽光発電電力計測表示システム整備 【 2,486,000円 】	・業者 (株)ガット・システム「Solar Link Viewer」 ・工期 R4.12.19～R5.2.28 ・内容 日射・気温等変換装置、制御PC(モニターなし)
19	3/1(水)	太陽光発電システム整備 【 PPA事業 7,180万円 】	・業者 合同会社GRE備北【所有】 ・期間 10/19～2/28 ・電力契約単価 28円/kwh ・内容 パネル 613枚(337.15kw)、パワコン 5台等 ・CO2削減効果 約132.6t(予測値) ・最エネ率 29.8%(予測値) ・電気代削減 約 250万円/年間(予測値)
20	3/2(木)	地域福祉学研究院生室整備(パネル設置整備) 【 3,499,100円 】	・業者 (有)佐々木文正堂【3206号室8人用】 ・内容 パネル(7枚、ドア1枚)で講義室区画分割 テーブル(2人利用)×4台×2種、イス16脚、ロッカー等
21	3/7(火)	Niu新見駅西サテライトA ED整備【 238,700円 】	・業者 (株)さくらメディカルサービス新見営業所 ・形状 ハートスタートFRx+e ・数量 1台
22	3/17(金)	高圧蒸気滅菌器整備 【 465,905円 】	・業者 (株)とも ・形状 FH-260(navie)+TBD-760(navie) ・数量 1台
23	3/20(月)	グループワーク用ディスプレイ等整備【 550,000円 】	・業者 (有)中村商事 ・場所 グループスタディールーム ・数量 液晶ディスプレイ(49型)4台+スタンド4台 ・型式 LCD-E498(NEC)、PH-825B(ハヤミ工業)
24	3/28(火)	校内道路舗装修繕 【 528,000円 】	・業者 白川土木(株) ・場所 3号館西側仮設道路 ・工期 R5.3.2～3.31 ・状況 仮設用劣化対応 ・25.9㎡(セメントt200、不陸整生t50、表層アスファルトt50)
25	3/29(水)	シュミレータ人形(レサシベピー、レサシジュニア)整備 【 406,560円 】	・業者 新青山(株)岡山営業所 ・数量 レサシベピー(161-01260)1台、 レサシジュニア(18001105)1台
26		学术交流センター出入管理システム改修工事 【 1,590,600円 】	・業者 セコム(株) ・工期 R4.8.31～R5.3.31 ・内容 大学院生利用対応変更システム取替
27	3/31(金)	きぐみのつみき整備 【 500,000円 】	・業者 タクミ工房 ・工期 R4.10.1～R5.3.31 ・内容 KUMUMINO 50セット

8) 重要指標

◎令和4(2022)年度重要指標

No.	日付	項目	内 容
1	4/1(金)	看護系大学単位学生設置者当初予算負担額【14位/16大学】	① 設置者負担額 1,084,017千円 ② 学生数 770人 ③ 単位学生設置者負担 ①/② 1,408千円/人 ④ 順位 14位/16大学 対平均▲334千円(▲19%)
2		大学センター体制変更	・情報基盤センターと広報部分離 ・広報部長 三上教授 ・地域共生推進センター副センター長 八尋准教授
3		教員の初任給格付基準変更	・理由 完全四年制大学化に伴う基準改正 ・対象 教員77人(特任教授を含む) ・備考 在職者調整(1年)
4	4/4(月)	年度当初休学者数【5人】	・健康保育学科 1人(4年次生)、 ・看護学科 1人(2年次生)、 ・地域福祉学科 1人(3年次生)、院 2人
5	5/1(日)	学生数(学校基本調査)【770人】	770人 ← 650人(対前年度+120人+18.5%) 保育 210人、看護 335人、地福 212人 大学計 757人、助産学専攻科 6人、大学院 7人
6		教員1人当たりの学生数【8.6人/教員】	① 教員数 76人、事務職員数 13人 ② 学生数 767人(休学者3人を除く通学者数) ③ ②÷① 10.1人 ← 8.6人(+1.5人+17.4%)
7		県内出身学生数【197人、26.1%】	・全大学生数 756人(39道府県)中国5県50.7% ①岡山 197人(26.1%)、②兵庫 88人(11.6%)、 ③広島 73人(9.7%)、④愛媛 69人(9.1%)
8		市内出身学生数【51人、6.7%】	・岡山県内 197人(21市町村)下記4市 74.1% ①新見市 51人(25.9%)、②岡山市49人(24.9%)、 ③倉敷市 32人(16.2%)、④総社市14人(7.1%)
9	6/14(火)	ふるさと育英奨学金給付決定【34件 340万円】	・内容 給付型奨学金(ふるさと納税充当) ・件数 34件 ← 24件(+41.7%) 内訳 新規10人 継続24人
10	6/22(水)	独自授業料減免額利用率【35.3%】	① 減免額決定 6,561,000円(27人 内全額 10人) ② 上限額設定 18,580,140円(想定授業料 5%) ③ ①÷② 35.3% 差額 12,019,140円学生支援
11		授業料納付猶予【4名】	・人数 4人 ← 3人(+1人+25.0%) ・適用率 0.5% ← 0.5%(±0.0Point) ・対応 分割納入
12	8/3(水)	交付税単位費用【1,665千円】	(1)単位費用 1,665千円 ← 1,668千円(▲0.2%) (2)算定学生数 770人 ← 650人(+18.5%) (3)需要額 1,282,050千円 ← 1,084,200千円 +197,850千円(+18.2%) トップランナー方式終了も更なる単価減少 学生数の増加で大幅増加
13		現年度運営交付金対基準財政需要額指数【0.722】補正前	① R4基準財政需要額 1,282,050千円 ② R4大学運営費交付金額 923,278千円 ③ 指数 ②÷① 0.720 ← 0.814(▲0.094) ④ 留保額 ①－② 358,772千円 ⑤ 留保率 ④÷①×100 28.0% ⑥ 対前年度市の留保増減額 +123,523千円

No.	日 付	項 目	内 容
14	8/26(金)	助産学専攻科【特別】入学者選抜試験 【倍率 1.3倍】	・募集 3人 ・応募 4人 ・倍率 1.3倍 ・状況 学内完結
15	9/20(火)	「防災士」合格者数 【150人】	・受講 169人 ・受検数 162人(+12人+8.0%) ・合格 150人(+21人+16.3%) 保育44人(+24人) 看護 55人(▲11人)、地福 51人(+5人) ・合格率 92.6% ← 83.8%(+8.8P) 保育 86.2%(+2.4P)、看護 98.2%(+0.5P)、 地福 92.7%(+4.0P)
16	9/25(日)	看護学専攻(博士課程前期)大学院入試【社会人特別枠】	・時所 10:00～13:30 本館3階 ・募集人数 5人 ・応募人数 3人
17	10/29(土)	地域福祉学専攻(修士課程前期)大学院入試【前期】	・時所 10:00～13:30 本館3階 ・募集人数 4人 ・応募人数 2人 → 11/2 2人合格
18	11/12(土)	助産学専攻科【一般】入学者選抜試験 【倍率 5.3倍】	・時所 会議室B 10:00～ ・募集 2人・合格 3人・受験 16人(応募18人) ・倍率 3人/16人 5.3倍 ← 1.7倍(+3.6P)
19	11/26(土)	学校推薦型入学者選抜試験(地域福祉学科) 【倍率 1.4倍】	・募集 18人 ・応募 26人 ・受験 26人 ・倍率 1.4倍 ← 1.6倍(▲0.2P) ・地域優先枠使用 市内 2人、県内 8人
20	12/3(土)	看護学専攻(博士課程後期)大学院入試【一般、社会人枠】	・時所 10:00～13:30 本館3階 ・募集人数 2人 ・応募人数 2人 → 12/7 2人合格
21	1/31(火)	学校推薦型入学者選抜試験(健康保育学科) 【倍率 1.6倍】	・募集 25人 ・応募 41人 ・倍率 1.6倍 ← 1.1倍(+0.5P) ・地域優先枠 市内 5人、県内 5人
22		学校推薦型入学者選抜試験(看護学科) 【倍率 2.6倍】	・募集 25人 ・応募 65人 ・倍率 2.6倍 ← 2.8倍(▲0.2P) ・地域優先枠 市内 5人、県内 5人
23		大学入試地域優先枠 【市内30人、県内30人】	・保育 市内10(うち推薦5)、県内10(うち推薦5) ・看護 市内10(うち推薦5)、県内10(うち推薦5) ・地福 市内10(うち推薦5)、県内10(うち推薦5)
24	2/3(金)	一般入試出願 【前期倍率 5.0倍】 【後期倍率 40.5倍】	・前期 5.0倍(11位/170校) ← 2.8倍(+2.2P) 保育 5.2倍(1位/28校) ← 3.0倍(+2.2P) 看護 4.5倍(3位/90校) ← 3.0倍(+1.5P) 地福 5.2倍(1位/18校) ← 2.4倍(+2.8P) ・中期 13.8倍(11位/27校) ← 19.4倍(▲5.6P) 地福 13.8倍(5位/16校) ← 19.4倍(▲5.6P) ・後期 40.5倍(1位/136校) ← 22.3倍(+18.2P) 保育 34.0倍(2位/13校) ← 14.3倍(+19.7P) 看護 44.4倍(1位/59校) ← 27.0倍(+17.4P)
25		学部検定料 【17,204千円】	①検定料 17千円 ②納入者数 1,012人(減免1人) ③調定(収納額)①×② 17.204千円 ④対前年度 +5,542千円(+47.5%)

No.	日 付	項 目	内 容
26	2/25(土)	一般入試(前期) 【実質倍率 2.9倍】	・募集 99人・合格 132人・受験 375人 ・倍率 375人/132人 2.9倍 ← 1.6倍(+1.3P) 保育 78人/31人 2.5倍 ← 1.3倍(+1.2P) 看護 184人/64人 2.9倍 ← 1.9倍(+1.0P) 地福 113人/36人 3.1倍 ← 1.5倍(+1.6P)
27		科学研究費請求人数 【11人】	・対象者数 11人 ・金額 10,140,000円(うち間接費 2,340,000円) ・若手研究 1人・基板研究(C) 10人
28	3/3(金)	新見市派遣職員退職手当負担【6,229,833円】	・人数 11人・平均 566,638円/人年 給与月額基準 ・内訳 給付(13.8%)5,731,452円、事務費(0.2%) 83,058円、準備(1.0%)415,323円
29	3/7(火)	社会福祉士国家試験合格率(現役)【86.7%】	・全国平均 44.2%比較+42.5Point ・10人以上現役受験大学中 23位 / 164校 ・10人以上受験大学中(全体) 7位 / 205校
30	3/8(水)	一般入試(中期) 【倍率 6.2倍】	・募集 5人・合格 5人・受験 31人 ・倍率 31人/5人 6.2倍 ← 7.4倍(▲1.2P) 地福のみ
31	3/12(日)	一般入試(後期) 【倍率 4.8倍】	・募集 8人・合格 8人・受験 70人 ・倍率 70人/8人 8.8倍 ← 4.8倍(+4.0P) 保育 21人/3人 7.0倍 ← 1.7倍(+5.3P) 看護 49人/5人 9.8倍 ← 6.6倍(+3.2P)
32	3/18(土)	年度卒業者数 【182人】	・動向 182人 ← 75人(+107人 +142.7%) ・人数 182人(保育45、看護81、地福49、助産5、院2) ・増減理由 保育・地福の4年生大学化初卒業
33		学位等取得者 【175名】	・保育学 45名 幼稚園教諭一種免許状 44名 特別支援学校教諭 41名 こども発達支援士 41名 ・看護学 81名中 保健師受検資格 19名 養護教諭一種免許状 8名 訪問・地域看護履修 6名 ・地域福祉学 49名中 社会福祉士受検資格 49名 介護福祉士受検資格 12名 共生社会推進士 5名
34		赤木孜一賞【3名】	・健康保育 中山 由衣(なかやま ゆい) ・看護 有井 愛絵(ありい まなえ) ・地域福祉 松川 結菜(まつかわ ゆいな)
35	3/22(水)	学割発行枚数 【2,750枚 3.6枚/人】	・発行数 2,750枚 ←1,609枚(+70.9%)帰省82.3% ・利用者率 400人/762人=52.5% 就活12.1% ・平均枚数 対在学 3.6枚/人 対利用 6.9枚/人
36	3/24(金)	看護系国試合格率(新卒) 【看護師 97.5%、 保健・助産師 100%】	・看護師 79/81名(97.5%) 第112回全国(90.8%) ・保健師 19名(100%) 第109回全国(93.7%) ・助産師 5名(100%) 第106回全国(95.6%)
37		介護福祉士国家試験合格率(新卒)【100%】	・回数 第35回・全国平均合格率 84.3% ・本学受験者人数 12人 本学合格者人数 12人 ・本学合格率 100%(皆増)
38	3/25(土)	修学支援(国)適用額 (授業料・入学金免除) 【31,071,900円】	・授業料 26,716,500円 78人(前期75、後期4人) 後期 満額 32人(45%)、2/3減免 24人(34%)、 1/3減免 15人(21%)・入学金 4,355,400円 19人
39		入学金納入者 【209人】(辞退 2人)	・納入者数 209人 ← 201人(+8人+4.0%) ・保育 50人(▲4人)、看護 89人(+4人)、地福 53人 (±0人)、助産 6人(±0人)、院 11人(+8人)

No.	日 付	項 目	内 容
40	3/25(土)	入学金収納額 【 54,463,600円 】 (+188,000円+0.4%)	・大学・院(市外) 282,000円 (市内) 188,000円 ・助産 (市外) 169,200円 (市内) 112,800円 ・市内 大学・院 14名、助産4名 計 18名
41		大学入学辞退率 【 9.9% 】	① 合格者数 212人 ② 入学辞退者数 21人 ③ 辞退率②÷① 9.9% ← 10.3%(▲0.4Point) 内訳 保育 15.3%、看護 6.4%、地福 10.2%
42	3/29(水)	カウンセリング利用者数 【 166人 】	・実施 毎週水曜日 医師精神相談 37件(22.3%)、 心理士カウンセリング 48件(28.9%)、 コンサルテーション・その他 81件(48.8%)
43	3/31(金)	民間派遣職員勤務実績 【 12,095時間/年 】	・日数 1,576 ← 1,092(+484日+44.3%) ・時間 12,095 ← 8,286(+3,809時間+46.0%) ・人数 7人 ← 4.8人(+2.2人+45.9%)
44		次年度当初教員数 【 73人 】	・増減 ▲3人 73人 ← 76人(▲3.9%) ・要因 地域福祉学科研究員の教員充当 【 理事3名含む 】
45		次年度一般事務職員数 【 16人 】	・法人 6人 局長 1、総務課 2、学生課 2、教務課 1 ・派遣 10人 総務課 3、学生課 2、教務課 3 ・増減 法人+3人、派遣▲1人
46		次年度期間雇用・民間派遣・委託駐在職員数【 専門事務職員 34人 】	・総務課 7人(図書館含む) ・学務課 16人(保健室、地域共生推進C等含む) ・教務課 11人(にこたん、教育支援CRA等含む)
47		次年度職員総数 【 126人 】	・教員 73人(学長、副学長を含む) ・一般 19人(法人6人、市派遣10人、特任教員3人) ・専門 34人(期間任用25人、派遣5人、委託4人)
48		退職手当引当金額 【 270,138,246円 】	・対象人数 65人 ← 67人(▲2人 ▲3.0%) ・平均年齢 49.6歳 ← 46.5歳(+0.2%) ・増減 +2,987,787円+1.1% 初任給格付基準変更
49		就職率 【 99.4% 】	・人数 179人/180人 99.4% ← 100%(▲0.6P) ・保育 100%(±0P) ・看護 98.8%(▲1.2P) ・地福 100%(±0P) ・助産 100%(±0P)
50		次年度入学生数 【 207人 】	・人数 207人 ← 201人(+6人、+3.0%) ・保育 50人(▲4人)、看護 88人(+5人)、地福 53人(±0人)、助産 5人(±0人)、院 11人(+8人) ・大学生 191人▲1人 ・全国 30道府県▲3県 市内 8人▲6人 県内 47人▲8人 中国 103人+12人 四国 32人+7人 近畿 22人▲14人 九州 20人▲4人
51		次年度当初在籍学生数 【 789人 】	・789人 ← 770人(対前年度+19人+2.5%) ・保育 212人、看護 341人、地福 214人 計 767人、 助産学専攻科 6人、大学院 16人 ・大学(助産、院)を除く 766人中 市内 54人+3人(7.0%) 県内 203人+6人(26.5%) 中国 391人+8人(51.0%) 男 144人▲19人(21.6%)
52		年度末学生数 【 763人 】	・年度減 ▲7人・退学6・除籍1(休学 7人・留年 5人) ・超過 +28人(対定員) 保育+7、看護+14、地福+10、助産±0、院▲3

No.	日 付	項 目	内 容
53	3/31(金)	授業料収納率 【 100% 】	①調定額 343,689千円 ②収納額 343,689千円 ③収納率②÷①×100 = 100% ④対前年度増減 +34,769千円(+11.3%) ⑤学生1人当たりの実質納付額(国減免含む) ① ÷ 770人 = 446,349円/年 ⑥定額 大学 486,000円/年、院 535,800円/年
54		ホームページアクセス数 【 1,235,533件/年 】 【 3,385件/日 】	・件数 1,235,533件 ← 1,214,596件(+1.7%) ・最大件数月 1月 159,658件(▲18.7%) ・最大伸率月 6月 +49.5%(+33,760件) ・分析 大幅に伸びてきたが、安定期に入った。 この件数レベルを維持することが、今後の指標 として設定できる。
55		大学等紹介動画公開数 【 27 本 】	・主な内容 大学・学科の概要説明、学長メッセージ、大 学紹介、授業風景、発表会など
56		年度中新見市ふるさと納 税(大学支援分)件数 【 116件 】	・件数 194件 ← 116件 +78件(+67.2%) ・金額 4,076,500円 ← 2,914,000円 +1,162,500円(+39.9%)
57		SA制度実績(全体) 【 58人 7.240時間 】 【 6,433,170円 】	・適用 地域共生・学生生活支援 ・上限 31,104時間の 23.2% 36,167円/人(平均) ・比較 7,240h←2,104h(+1,642h +244.1%)
58		キャンパス電力使用 【1,072Mwh、3,702万円】	・使用量 1,072,470kwh+8,553kwh(+0.8%) ・支払額 37,022,480円+9,957,341円(+35.8%) ・太陽光 26.6% 単価差▲13.93円(▲33.2%)3月のみ

9. 卷末資料

1) 授業評価

健康科学部 副学長

氏 名 担当科目	評価・結果とコメント・改善点
小田 慈 ① 子どもの保健 ② 小児の健康と疾患 ③ 健康科学Ⅰ, 健康科学Ⅲ, 健康科学Ⅳ ④ 病弱者の心理・生理・病理 ⑤ 重度・重複障害者教育 総論 新生児・乳幼児学	①健康保育1年生の医療的知識の必要性に対する認識を深めていた。②看護学科学生の小児疾患の知識・理解を深めていた。③Ⅰ、Ⅲ、Ⅳは健康科学部1年生共通科目であり、将来の保健・福祉・医療・保育専門職を目指す学生に対して、医療的知識を持つことの重要性についての興味と認識を深めていた。④病弱者の保育についての認識と、医療的知識を深めていた。⑤医療的ケアが必要な重度障害児への対応の理解を深めていた。⑥助産学専攻生の授業であるが、学部学生よりも専門職を目指す学生であったためか、回答数がわずかであった。 コメント・改善点：①は15コマすべてを担当している。受講学生は健康保育学科1年生であり、本学が重要視している“子ども発達支援士”育成のための医学的知識を身に着ける授業である。従って、わかりやすく、興味をもって知識を身に着けることができるよう、今後も対話形式を重要視し、授業を行っていききたい。他の授業はすべてオムニバス形式で授業を担当しているが、学生が自分自身で興味をもって、それぞれが目指す専門職が持つべき医学的・医療的知識の必要性を認識し、そして得ることができるよう、対話を重視し、よりわかりやすい授業となるよう、日々、心がけていきたい。回答率が低い授業については、学生への回答への啓発を行う。

健康科学部 健康保育学科

氏 名 担当科目	評価・結果とコメント・改善点
岡本 直行 美術 にのみ地域協同演習 にのみの保健医療福祉 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	ほとんどの質問項目において、「非常にあてはまる」「まあまああてはまる」の評価を得た。「到達目標の達成」や「授業内容の理解」「満足度」は評価が高く、「事前学習・事後学習の時間」は評価が低かった。特に、子どもの絵の読み取りに関する講義内容や画材の特徴、子どもの活動への活かし方等、知識、技術の習得に対して高い関心を得たようである。今後は、身の回りの素材の特徴の理解や使用方法、子どもの遊びへの展開に関する学習にさらに重点を置き、個々のこども絵の対応方法を身に付ける授業内容を展開したいと考える。
斎藤 健司 保育内容「環境」 保育内容「環境」の指導法 生命活動と代謝 自然科学Ⅰ 自然科学Ⅱ 生活	難しい内容でも資料や説明が分かりやすいとの評価が多かった。また、授業で学んでいることが、保育や医療にどのようにつながっているのか意識して伝えたことが多くの学生に評価されていた。 今後は、学生参加型授業の展開方法を工夫したい。また、学生の弱点である「物事を客観的に捉える」ことについて重点的に伝えることを考えている。

松本 好生 知的障害者の心理 肢体不自由者の心理 病弱者の心理 重度・重複障害者教育総論 発達障害者教育総論 卒業研究Ⅲ・Ⅳ 特別支援教育実習指導	講義科目については、コロナ禍ではあったものの、対面で授業を行うことができ、全体的に概ね良好な評価を得た。4年間の集大成として卒論にまとめ、1期生として提出できたことは意義深い。特別支援教育実習も1期生として初めての特別支援学校であったが、巡回訪問で各学校長から実習生に対して高い評価を頂くことができた。ただ肢体不自由児の実習場面では保育園・幼稚園実習では未経験の対象となり、事前の実習指導で十分に時間を割くことの必要性を感じたので、アクティブラーニングの中で学生が「自分で考える」模擬授業を企画したい。さらに発達障害をはじめ、障害全般に対する理解も深まりつつあるので、さまざまな具体例を中心に伝えたいと考えている。
梶本 佳照 ICT リテラシーⅠ ICT リテラシーⅡ 生命科学 生活	授業評価に参加したほとんどの学生から、「真剣に授業に臨んだ」、「わからないことを質問したり調べたりして、その解消に努めた」、「この授業の到達目標を達成できた」、「この授業の内容がよく理解できた」の項目に対して、4段階中3段階以上の回答を得た。以上のことから授業内容と授業の進め方については、学生の求めることに合っていたのではないと思う。しかし、事前学習・事後学修の割合が少ないので、予習と復習の指示をもう少し具体的に言い、事前学習・事後学修をする学生が多くなるように改善していきたい。
高月 教恵 保育原理、教育学総論、 保育内容総論、保育・教育 課程論、乳児保育ⅠⅡ、幼 児理解の理論及び方法、保 育実習指導Ⅰ(保育所)・Ⅱ、 保育実習Ⅰ(保育所)、保 育実習Ⅱ、卒業研究Ⅲ・Ⅳ	全体的に概ね良好であった。呼びかけた効果があったのか回答率は昨年に比べて高くなったが、実習関係等の回答率の低い科目は、回答時期が影響していると思われる。昨年度同様アクティブラーニングを取り入れた科目の評価は高い。保育原理や教育学総論の理論科目は理解が難しいように感じられたので、昨年度同様に授業の終わりに小感想や質問を求め、理解できていない箇所は繰り返し説明した結果、学生の保育に対する興味や学習意欲が感じられた。卒業研究Ⅳではゼミ生3人とも最終的に非常に良かったと評価し、充実した日々だった。
八尋 茂樹 社会福祉 社会的養護 子育て支援 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅲ 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	前期の終わり～後期の最初の授業は喉の調子が悪く、声がかなりかすれてしまったため、授業終了後に学生から聞き取れなかった(理解できなかった)部分の確認を直接または Teams で受けてしまった。コロナ禍で、気になって授業に集中できない学生もいたと思われ、迷惑をかけた。次年度は十分な体調管理をする。プリントの量を減らしたいものの、資格主要科目であるため例年苦勞しているが、シンプルになるよう改善したい。カンファレンス形式でのアクティブラーニングに取り組んでいるが、より教育効果の上がる方式に改善していきたい。
芝崎 美和 保育の心理学	全ての科目において、概ね高い評価が得られた。到達目標の達成や

子ども教育心理学 子ども家庭支援の心理学 保育内容「人間関係」 教育心理学 子ども理解の理論及び方法	内容理解、授業に臨む姿勢といった学生の意識だけでなく、授業構成、教材、教員の意欲などについても一定の評価が得られた。またアクティブラーニングを活用したGW授業についても、学びの定着化といった点から一定の評価が得られた。他方、事前事後学習にかける時間については科目によって評価が分かれた。特に演習科目や小テストを課さない科目については、事前事後学習の時間が相対的に少ない傾向にあり、課題の示し方を工夫するといった改善案を考えていく必要がある。
渡部 昌史 スポーツ実習 A (共通) スポーツ実習 B(保) 生涯スポーツ論 (共通) 保育内容「健康」(保) 保育内容「健康」指導法(保) 基礎ゼミナール B(保) 総合研究I, II, III, IV(保)	私は、授業の目的、内容が受講する学生に、しっかり伝わるのが大切であるとする。今年度も授業評価「私は、この授業の内容がよく理解できた。」の項目において、「非常にあてはまる」「まあまああてはまる」と回答した学生が多かった。よって、学生に授業内容が伝わっていると思われた。引き続き、学生に伝わるような授業展開を検討していきたく。
広瀬 綾子 保育内容「表現」(身体表現) 保育内容「表現」(身体表現)の指導法 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅲ・Ⅳ 道徳教育の理論と実践(看) 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(看)	今年度は、保育内容「表現」(身体表現)の授業の一環として、プロの人形劇団をお招きして、質の高い舞台を鑑賞する機会を設けたが、学生たちの評価は良好であった。また、毎年実施している「表現発表会」に加えて、指導案の作成や模擬保育についても、良好な評価を得たと受けとめている。 看護学科の科目についても、担当教員が、実際に今年度、小学校で「総合的な学習の時間」の指導を行っている強みを生かした授業の展開を心がけた結果、受講学生の興味・関心を引き出すことができたと考えている。次年度も引き続き、学生が主体的に取り組めるような授業展開を心がけたい。
加藤 由美 保育者論・保育内容総論 教育実習指導・教育実習 教職・保育実践演習 保育方法論・基礎ゼミナール B 卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	昨年度までと同様に、コロナ禍のため必要な感染防止対策を講じながら、グループワークや実践的な活動を取り入れた授業を行った。 科目によって若干差はあるものの、全体的に評価は概ね良好であった。事前・事後の学修時間が十分でない科目があるため、自己学修の取り組みについては、学生の意欲を高めながら、十分な時間が確保できるような手立てを考えていきたい。
立浪 朋子 特別支援教育論, 特別支援教育 障害児教育の教育課程および指導法とその歴史 子ども家庭支援の心理学 特別な教育的ニーズの理解とその支援 特別支援教育(幼・保)Ⅰ 特別支援教育(幼・保)Ⅱ 基礎ゼミナール B, 卒業研究	概ね良好な評価を得た。課題であった事前事後学修の実践についても、昨年に比べ長時間行われていた。考えさせられる授業だったと感想の記載があったが、そのことが事前事後学修につながったとすれば、学生が自発的に考えるアクティブな学びという担当者が目指す授業像に近づくことができた。今後も知的好奇心を刺激し議論や図書館に向かいいたくなる問い・課題を提供できるよう尽力する。一方、配布資料が多いという意見があり、次年度は配布資料を簡略化し学生の負担減を心掛けたい。授業評価の回答数もさらに増やすべく促したい。
本渡 葵 国語表現法 B	「国語表現法 B, C」では、既習事項(文章表現や語句等)を、実生活

国語表現法 C 国語 保育内容「言葉」 保育内容「言葉」の指導法 地域防災論・地域防災演習 基礎ゼミナール B 卒業研究 I・II・III・IV	に結びつけて捉え直すことができたとの回答を得た。授業での学びを、大学での今後の学修や、生活場面でさらにアウトプットできるよう努める。「国語」では、原田先生と本渡とで分担しているが、「どちらの先生も同じくらいの回数の講義を受けたいと感じた」との回答を得た。取り扱う作品や時代は異なるが、文学作品をより深く味わい、読書に親しむ態度形成につながっていると受け止める。文学作品を「子どもと楽しむ」「子どもが楽しむ」ための工夫について扱うよう努める。保育内容「言葉」、保育内容「言葉の指導法」に関して、昨年度「授業の事前・事後学修の指導」が不足しているとの回答を得た。この指摘をもとに、授業内容との関連を具体的に示し、保育内容「言葉」では、グループでの絵本の読み聞かせ練習と授業での実践、ゆかりのある場所の民話収集とグループでの共有を実施した。また、保育内容「言葉」の指導法では、「おはなし会」の計画・練習・発表会をおこなった。「実践しないと分からないことが学べたので貴重な機会が得られた」との回答を得た。学生が主体的に取組み、他の学生と共有することを通して、学びを広げることができたと受け止めている。
竹下 可奈子 音楽 音楽 I（基礎音楽） 音楽 I（幼児音楽 I） 音楽 II（幼児音楽 II・III・IV） 基礎ゼミナール 卒業研究 I・II・III・IV	多くの項目で「非常にあてはまる」「まあまああてはまる」の回答割合が高く、おおむね良好な評価を得たと考えている。講義形式の授業においても楽器等を活用した実践的な内容を複数取り入れたが、それに対し肯定的な感想がみられたため、今後も学生が能動的に参加できるよう工夫したい。一方で、講義のペースがやや早く、ノートをつらかったとの意見も見られたため、学生の様子をよく確認しながら進めるようにしたい。
久恒 拓也 教職基礎論 教育原理 基礎ゼミナール B 教育学 チームアプローチ演習 卒業研究 I, II, III, IV	全体的に肯定側の回答で占められており、特段問題はないと思われる。特に教育学では、毎回の感想シートの分量を若干多めに設定したところ、文章を書く力が身についたと感じている受講生がいたとアンケート結果から読み取れた。このほか、課題文献を予習で課し、その内容について授業中に意見交換をする反転授業に似た方法を取り入れたことも、満足度の高まりにつながった点だと考える。今後は、復習を充実される学習課題の開発を進めていきたい。
入江 慶太 乳児保育 I・II, 保育実習指導 I（保育所）, 保育実習指導 II, 保育実習 I（保育所）, 保育実習 II, 卒業研究 I・II・III・IV, 実地体験実習, 基礎ゼミナール B	授業評価としては概ね高い評価を得た。「乳児保育 I・II」では板書主体の授業や手作りおもちゃ等の教材発表が好評であった。「保育実習指導」においては、実習前のエプロンシアター等の発表と助言、実習後の事例の振り返りを含むアクティブラーニングを実施し、学生の保育実践力の向上に資することができた。「卒業研究」では、学生同士の意見交流と学生主体の論文作成に尽力した。今年度のような分かりやすさや双方向性を確保しつつ、保育についての学びをさらに促す授業展開を継続していきたい。
高橋 彩 知的障害者教育方法論,	いずれの授業においても「非常に当てはまる」「まあまああてはまる」

特別支援教育（幼・保） Ⅰ・Ⅱ，知的障害者教育 課程論，発達障害者教育 総論，特別支援教育実習 指導，基礎ゼミナール B，卒業研究Ⅰ～Ⅳ 他	という回答が多く、概ね良好な評価を得たと考える。また、アクティブラーニングとして支援技法を話し合うような活動も去年よりも積極的に取り入れたことも評価されたと考える。反省点として、事前・事後の学習時間が短い科目があるため、具体的な予習・復習の観点について示すことに努めたい。また、アクティブラーニングの中でも学生が質問しやすい雰囲気を作りたい、学生の学びが深まるようにしたい。
松島 英恵 子ども家庭支援の心理学 保育・教職実践演習 基礎ゼミナールB 卒業研究Ⅰ・Ⅱ ※以下は補助的立場で担当 保育・教育課程論 教育実習指導・教育実習 地域防災論・地域防災演習	概ね良好な評価を得た。保育現場における子どもや保護者のエピソード、保育者としての省察などリアルに伝えることで、保育について具体的にイメージし、考えることができたようであった。「保育・教職実践演習」に関しては、卒業後の進路が保育現場である学生は熱心に取り組む様子が見られたが、保育以外の進路である学生にとってモチベーションがあがりにくい様子が見られ、評価が低い傾向が見られた。進路に関わらず、学生自身が主体的に授業に参加できるような工夫を考えたい。
福武 幸世 表現技術 卒業研究Ⅰ・Ⅱ スポーツ実習B(看/地)	いずれの授業においても概ね高い評価を得た。「表現技術」では、多くの学生から“表現する楽しさを実感できた”という感想が得られ、個々の表現力の向上が見られた。今後も保育の実践に直結する指導を継続していきたい。「卒業研究」では、個々の学生の意見を反映できたが、ゼミナールによる学びを深める指導を丁寧に行っていききたい。「スポーツ実習B」では、他者との関係調整能力を育めたという評価が得られ好評であった。各授業の改善点は、予習・復習の内容を具体的に示し、学習の定着を図っていくことである。

健康科学部 看護学科

氏 名 担当科目	評価・結果とコメント・改善点
上山 和子 小児看護学概論 小児看護学援助論 小児看護学実習 看護生涯教育論 継続看護論 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール チームアプローチ演習	小児看護学概論は、どの項目も授業評価はおおむね良好であった。特に小児の成長発達の目安表などを用いた教育方法は、知識の整理に有効であった。小児看護学援助論、小児看護学実習とも少人数での回答であったが、学生からの授業評価はおおむね良好であった。看護生涯教育論では、自分の将来のキャリアを考える機会になったとの回答があった。継続看護論では、授業の満足度は高かった。チームアプローチ演習は、3学科共通科目として3職種の視点から支援方法を考えることが出来たの回答もみられたが、さらに協働学修の教育方法を工夫する必要がある。

金山 時恵 にいみの保健医療福祉 公衆衛生看護学概論 健康教育論 公衆衛生看護活動展開論 保健医療福祉法制 地域保健指導論Ⅰ（基礎） 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ他	主担当科目の授業評価は概ね良好であった。いずれの科目においても小テストを行うことで知識の定着につながった。地域での活動について具体的に伝えることでイメージしやすく、保健師の役割などを考えることができたようである。一方で、理解してほしいポイントを明確に伝えるなど、今後は丁寧に伝えていきたい。にいみの保健医療福祉は各専門の講師から新見市の現状と課題について講話いただくことで、理解が深まったなど概ね高い評価を得た。さらに、実習指導では学生に混乱を生じさせないよう教員間の情報共有を密に行うなど指導改善を行う。
四宮 美佐恵 助産学概論 性と生殖の形態機能 生殖医療と生命倫理 助産診断・技術学Ⅱ 健康教育,助産管理学,助産学研究,統合ヘルスケア 助産学実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅳ	授業評価は概ね良好であった。助産師に求められる必須の実践能力<倫理的感応力><マタニティケア能力><ウイメンズヘルスケア能力><専門的自律能力>が修得できるような教育を実施し概ね修得できた。病院の助産師を講師として臨場感のある実践に基づいた専門知識・技能の修得、開業助産師を講師として地域で活躍する助産師の役割について理解を深めることができた。今後は、実習をより効果的なものにしていくために、シミュレーショントレーニングの導入などで演習の充実を図り、講義、演習、実習が有機的に関連付けられる教育を実施する。
矢庭 さゆり 地域ケアシステム論, 地域看護学,保健医療福祉行政論,公衆衛生看護学概論,地域保健指導論Ⅰ（基礎）,地域保健指導論Ⅱ（応用）,公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ,卒業研究Ⅰ・Ⅱ他	主担当科目の「地域ケアシステム論」「保健医療福祉行政論」はいずれの項目も高評価であった。特に「地域ケアシステム論」は89.5%の回答率であり、全項目「非常に当てはまる」が8割、「この授業で得たものは今後の学習や人生に生きる」が100%であった。「保健医療福祉行政論」は「覚える制度も多く大変」という声がある。随時小テストと演習を取入れ記憶強化を目指した。「わかりやすい説明で楽しかった」もあり、引き続き学生が主体的に学べるよう取り組みたい。一方、実習指導については、標準化した実習指導方法の改善に向けた検討を行う。
原田 信之 文学（看/地/保） にいみの文化（看/地/保） 基礎ゼミナールA（看） 国語（保） 国語表現法A（看）	学生からの授業評価はおおむね良好であった。毎回多数の課題を提出させるなど、受講生自身が積極的に学習するように工夫した。課題は科目の内容に応じてテキストデータで提出させるものと、紙ベースで提出させるものとに分けた。学生が勤勉に課題を提出した結果、講義の最初と最後を比較すると、学力が確実に向上した。基礎ゼミナールでは、アクティブラーニングを通して問題解決へのアプローチ方法を身につけさせ、学生の満足度も高かった。講義内容に関しては、さらに充実させていきたい。

土井 英子 基礎看護学概論,健康生活 援助技術論,療養生活援助 技術論Ⅰ・Ⅱ,フィジカル アセスメント,健康障害援 助技術論,看護過程論,看護 倫理,基礎看護学実習Ⅰ・ Ⅱ,卒業研究Ⅰ・Ⅱ	全ての科目において、概ね高評価であった。基礎看護学概論、看護倫理においては、事例によるグループワークにより理解が進んだ、看護の役割が理解できたと自由記述があった。 援助技術論に関する科目は、全ての項目において高評価であった。各技術の演習においては、シェアタイムを設けてリフレクションを行い、技術習得につながった。継続して学生からの相談しやすい環境で授業を実施したい。基礎看護学実習は、コロナ禍により臨地での実習時間の制限があったが、臨地での学びが得られるようにしたい。
木下 香織 老年看護学概論 老年看護学援助論 老年看護学実習 生活支援看護学実習 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 臨床コミュニケーション論 地域ボランティア活動 他	すべての科目において授業評価は概ね良好であった。老年看護学概論、援助論では数人、事前・事後学修に取り組めていない。事前学修のミニテストを実施しているので、事後も具体的に提示して学修を促していきたい。臨地実習も、ごく少数の回答ながら全般的に良好な評価であった。コロナ禍で学内実習への振替が続いているが、現場の状況に応じて学修内容・方法の工夫を重ねていきたい。臨床コミュニケーション論では実習に役立つと記述があった。履修者も多いので、グループワークを活用して省察を促す授業方法を今後も模索していきたい。
栗本 一美 地域看護学・在宅看護論 在宅看護援助論 在宅看護実習 継続看護論 訪問看護展開論Ⅰ・Ⅱ 訪問看護展開論実習 卒業研究Ⅰ・Ⅱ他	全ての科目において概ね肯定的評価を得た。在宅看護論・援助論では、「事前・事後学修」において、30分未満の学生が数人おり、事前・事後学修ができるように課題等を提示し、引き続き学修を促していきたい。訪問看護展開論Ⅰ・Ⅱでは、少人数の学修であるため「発言もしやすく、疑問点への対応も良かった」と肯定的評価を得た。在宅看護や訪問看護展開論実習においては、感染状況に応じて学内演習に切り替えながら実施したが、概ね「目標達成ができた」の評価であった。今後も学生の理解が深まるよう丁寧な助言や指導に努めていきたい。
郷木 義子 学校保健 養護概説 健康相談活動 学校救急処置 教職実践演習 養護実習指導 養護実習	受講生が10名と少なく、かつ回答者が少数であったが、授業者に対する評価はおおむね良好であった。他の養護専門科目も同様であるが、本科目は学校現場を意識し、看護学での学びをつなげていくことを特に意識して講義を展開しているが、今後はより深く追求していきたい。学習内容を深めるために教育委員会や現場教員からの講義を随時組み込むことによって養護教諭の役割を深めていくことができた。また教育実習の事前事後指導では保健指導案作成や模擬授業を行い、現場を想定した講義展開を行うなど実践的な方法を取り入れた。然しこれらが実際の教育実習への効果検証が十分できておらず、今後の課題である。

山田 雅夫 基礎ゼミナール 人体構造学, 人体機能学 医学概論, 微生物学 健康科学Ⅱ 英文論文購読 発達と老化の理解Ⅱ 研究特論	人体構造学では総合評価 3.7 点、学生達が粘り強く学修してくれた印象が強い。人体機能学で 3.7、昨年度から構造学と機能学を両方担当し、効率的に学修を展開し、盲点の体験などアクティブラーニングも少し取り入れた。医学概論は 3.2、微生物学は 3.8 であった。秋に予定されていた解剖実習見学が、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生で直前に中止となったことは残念であった。健康科学Ⅱは 3.6、共通科目として概ね十分な成果をあげた。今回は、看護学科の学生には年度初めに説明し、より幅広い科目選択を促した。
磯本 暁子 成人看護学概論、卒業研究ⅠⅡ 成人看護学援助論 A (慢性期) 成人看護学援助論 B (急性期) 成人看護学援助論 C (緩和ケア) 成人看護学実習 A (慢性期) 成人看護学実習 B (急性期) 成人看護学支援特論	概論は、今後の活動に生きる、の項が特に高評価となり、どの項目も概ね肯定的であった。GW 指導では対面に加えて Teams を活用し、質問や相談にタイムリーな対応が可能となり、学修支援につながった。援助論 B では、課題レポートを講義内で活用し、授業内容の理解につながった。また、GW により学習時間、学修への取り組みに効果があり、引き続き継続していく。援助論 C においても、GW での取り組みを継続する。成人看護学実習は感染状況に応じて、学内代替演習と臨地実習を柔軟に組み合わせ実施した。臨地と連携し、引き続き実習での学修の保障に努めたい。
矢嶋 裕樹 疫学 医療情報 統計学 保健医療統計学Ⅰ・Ⅱ 疫学調査・疫学演習 卒業研究Ⅱ (実践編) 卒業研究Ⅰ (基礎編) 他	疫学、医療情報、保健医療統計学Ⅰ・Ⅱについて、回答者の 86～100% が高い満足度を示していた。疫学や保健医療統計学Ⅰでは、難解な用語が多いため、ゆっくり説明してほしいなどの要望があり、これについては可能な範囲で対応していきたい。疫学調査・疫学演習についても回答者の 91% が高い満足度を示していた。ただし、一部の学生は演習グループ内の作業分担に不公平・負担を感じているようであった。学生間の作業分担は学生自身に委ねていたが、次年度は学生間で作業分担に大きな偏りが生じないように、注視・指導していきたい。
塩見 和子 成人看護学援助論 A・B・C 成人看護学実習 A 看護生涯教育論/基礎ゼミナール/卒業研究Ⅰ・Ⅱ 成人看護学支援特論 療養支援看護学課題演習 特別研究Ⅱ	主担当科目の授業評価は有意義な講義であったなど概ね良好であった。看護生涯教育論はほとんどの学生が受講され、自己の将来のキャリアを考えるよいきっかけとなっていた。今後も学生の希望を取り入れ授業内容の工夫をしていきたい。臨地実習では臨地での学修時間の調整や学内演習を組み込み、コロナ禍の学修に対する配慮を行ったが、疾患の理解とともに看護展開について深められていた。今後も看護観の深化につながる学修支援をしていきたい。

山本 智恵子 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論Ⅰ・Ⅱ 健康障害援助技術論 フィジカルアセスメント 救命救急医療論 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ他	いずれの科目も学生からの授業評価は、概ね良好であった。援助技術論で「シェアタイム」の時間を設け、技術の振り返る時間を作り、わからないところを意見交換することで知識と技術がつながるようファシリテーションした。1年後期のフィジカルアセスメントでは、シミュレーショントレーニングを取り入れた。トレーニング前にグループワークを行い、思考の整理をしてから実施することで、学生の評価も高い演習を行うことができた。今後も状況に合わせ、工夫しながら学生の看護技術の向上につながる授業展開の改善を行いたい。
山野井尚美 精神看護学概論 精神看護学援助論 精神看護学実習 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール 保健医療福祉行政論 地域保健指導論	学生からの授業評価は概ね良好で「授業の到達目標の達成や今後の学習活動や人生に活かせる」、「体験談の紹介などで精神科看護に興味をもてた」等の肯定的なコメントもあった。その反面、「事前・事後学修」の指示が不足しており、課題としたい。 今後は、グループワークや演習では、精神科を取り巻く課題等について学生が主体的に事前・事後学修に取り組めるよう工夫を行いたい。また、実習では学生自身が援助者として、自己の在り方について理解が深まるよう丁寧な指導、助言に努めたい。
真壁 五月 成人看護学援助論A（慢性期）・B（急性期）・C（がん看護） 成人看護学実習A（慢性期） 成人看護学実習B（急性期） 統合実習 看護管理、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、救急救命医療論、基礎ゼミナール	評価者数が少ないが学生の総合評価平均（4点満点）は、成人看護学援助論A:3.7、援助論B:3.8、看護管理:3.7であった。成人看護学援助論Bでは毎回Formsを活用した小テストで前回授業の重要ポイントについて問い、回答送信後に正誤と解説がすぐに確認できるように設定して知識の定着をめざした。小テストが学びにつながったとの評価があるため継続したい。看護管理（医療安全を含む）では少人数でのグループワーク・発表を再開した。次年度は成人看護学援助論Bでも演習を取り入れていく。学生の理解度を確認しながら授業を進めたい。
安田陽子 助産診断・技術学Ⅰ(妊娠期) 助産診断・技術学Ⅲ(産褥期) 助産診断・技術学Ⅳ(新生児期) 助産学実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅳ	すべての科目において授業評価は概ね良好であった。助産師に求められる必須の実践能力を修得するために、助産所での継続事例実習を想定した妊娠期から産褥、新生児期と連続する同一事例を活用しての助産過程の展開と学生が主体的に行う演習を取り入れ、学生の理解や修得を促進した。助産学実習においては、母子2人の生命に関する助産師としての責任と役割の理解および信頼関係の構築の重要性について、臨地でリアルタイムにリフレクションを行うことが効果的であり、<倫理的感応力><専門的自律能力>の修得のため継続していく。

丸山 純子 在宅看護援助論 在宅看護実習 救命救急医療論 訪問看護展開論Ⅱ 養護実習 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール	在宅看護援助論の「授業への取り組み」「内容理解」など概ね肯定的評価であった。本年度は動画の活用や事例を基にした紙面上のシミュレーション、在宅療養者の生活や家族看護を意識した看護過程の展開など在宅看護をイメージしやすい取り組みと必要な視点の強化を図った。訪問看護展開論Ⅱでは、症状悪化の事例を設定したシミュレーターを用い、アセスメントの視点と実践に即した対応を強化した。養護実習では、発達段階に合わせた健康教室の指導など対象理解の重要性を伝えた。次年度は事例の検討と使用教材の改善を行っていく。
吉田 美穂 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論Ⅰ・Ⅱ 健康障害援助技術論 看護過程論 訪問看護展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	各科目の総合評価は、おおむね高評価であった。講義ではポートフォリオを活用し、学生の質問に回答し、振り返りを行ったことで知識の定着につながった。技術演習で学生デモストを取り入れ、学生が主体的に取り組めるように工夫した。思うような援助ができないこともあるが、グループで意見を出し合うことで、より良い援助の探究につながった。演習では、実技評価のため実技試験を実施しているが、学生より、複数の教員で評価するため、評価基準を明確に提示してほしいとの要望があったため、評価表の改善に取り組みたいと考える。
赤田 いづみ 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論Ⅰ・Ⅱ フィジカルアセスメント 健康障害援助技術論 看護過程論 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	すべての科目において学生評価は概ね良好であった。担当する授業では、毎回目標を明確に提示した。担当する授業では、ポートフォリオに学生の理解度と感想、質問などを書いてもらい理解しづらかった部分を次の授業の冒頭で解説した。技術演習では、学生が自分たちで考える力をつけるために、学生デモンストレーションや、シミュレーションを取り入れ理解を促進した。学生はひとつの正解を求めたがるが、看護では患者個々にとっての最適解を考えることが重要であることが理解できるように丁寧に発問と説明をしていきたい。
中川 彩見 地域保健指導論（基礎） 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 救命救急医療論 基礎看護学実習Ⅱ 子ども家庭支援の心理学 子どもの健康と安全 他	公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱにおいて「授業と教員に対する質問」の評価が分散する結果となり、自由記述でも指導に対する意見が様々聞かれた。そのため、教員間での情報共有をしっかりと行うこと、教員間で指導に差が出ないよう指導に対する力量を高める必要がある。また学生に対し、学修の意味づけを行う必要がある。その他の科目については概ね高評価を得た。演習記録、ミニッツペーパー等、教員からのフィードバック等が事前・事後学修を促進できていたため、授業時間外の学修を促進できるよう継続して努めていきたい。

平田 知子 母性看護学援助論 母性看護学実習 医療情報 救命救急医療論 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	回答数が少ないものもあったが授業評価は概ね良好であった。特に、母性看護学援助論では前年度の反省を活かして今年度は技術演習の前に該当する教科書やDVDを事前にみて解答する書き込み式の資料を作成し演習を時間内に終了した。演習後の疑問や感想も書き込める仕様にして疑問等に返答することで学修を促せた。演習用の動画を作成して演習開始時に技術や留意点を視覚的に確認できるようにした。次年度も演習項目や内容について精査し、より効果的にICTを活用して授業の質を上げていきたい。
山本 裕子 小児看護学援助論 小児看護学実習 救命救急医療論 卒業研究Ⅰ 子どもの健康と安全	小児看護学援助論・小児看護学実習ともに授業評価は概ね良好であった。援助論では、演習が現場をイメージできるよう視聴覚教材の活用、演習記録を丁寧に見直し理解を促した。実習では、実習目的を常に意識できるよう振り返りを行った。子どもの健康と安全の授業評価も概ね良好であった。保育者としての自覚が持てるよう授業では必ず課題を与え考える時間を設け、演習では記録にて要点の確認を行い学生の理解を促した。今後活かせる授業を目指した結果、学生からも保育現場で活かせるとごく一部ではあるが評価が挙がった。今後も学生の理解を主に考えた授業方法を取り入れ、学生が主体的に学修できるようにしていきたい。
宮武 一江 成人看護学援助論A 成人看護学援助論B 成人看護学援助論C 成人看護学実習A・B 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 救命救急医療論	授業評価は概ね良好であった。担当する授業では授業目標を提示した。Formsを利用した小テストにより理解度を確認し、質問に対しては次回講義時に説明した。成人看護学実習では、感染状況に応じて臨地実習と学内代替え演習を組み合わせで行った。救命救急医療論では、昨年からの継続で救命救急士の方を招き、急変時の対応について実践的に演習を行ったことで、具体的な事例と合わせて実践での対応を学ぶ機会となった。次年度は成人看護学援助論Aでも演習を取り入れるため、学生が主体的に学修するための演習方法を検討したい。
井上弘子 成人看護学援助論B・C 成人看護学実習A・B 救命救急医療論 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール 地域防災論・演習	成人看護学援助論では対象者の全体像がイメージできる様に視覚教材を導入した。必要な看護が考えられる授業資料を作成し、学生と意見交換しながら授業を展開した。授業評価は概ね肯定的であった。救命救急医療論の災害看護演習では全員が発表する形式の導入が、活発な質疑応答につながり、学生間で理解を深めることができた。コロナ禍のため臨地での実習の時間が短縮されたが、カンファレンスやリフレクションを行うことで、実習目標が到達できた。次年度は、授業で導き出した看護実践が実習につながる授業方略に取り組む。

安藤 亮 老年看護学援助論 老年看護学実習 生活支援看護学実習 基礎ゼミナール	回答者は少なかったものの、授業評価は概ね肯定的な結果であった。老年看護学実習については、グループホームにおける実習に加えて、紙面患者を用いたロールプレイ等を組み合わせた学内演習を実施した。生活支援看護学実習では、地域に在住する高齢者とコミュニケーションを図り、地域性や高齢者個々の生活に対する理解を深めながらサテライト・デイを実践することができたと考えられる。今後の課題としては、認知症の方への対応等、シミュレーション教育も含めた、より実践的な学びができる内容を検討していくことが必要である。
西川 由貴子 母性看護学援助論 母性看護学実習 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール	母性看護学援助論・母性看護学実習ともに授業評価は、概ね良好であった。母性看護学援助論の授業では、小テストを取り入れることで、知識の定着に繋がった。また看護過程の演習では、実践に近づけるため、事例から個人の主体性を引き出し、グループワークへの参加を促していけるよう発表の方法を工夫した。母性看護学実習では事前の課題から、周産期の母子に対する看護をイメージさせ、病院実習での目的が果たせるように確認を行い、学生の理解を促した。今後も具体的な学修の提示を行い、主体的に学修できるように工夫をしていきたい。
長崎 恵美子 精神看護学援助論 精神看護学実習 救命救急医療論 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	すべての科目において学生評価は概ね良好であった。担当した講義や演習は、目標設定して到達度を明確にした。また、実習につながるように具体的事例を提供し、関わりについての内容を盛り込んだことで、学生の理解が深まったと考える。演習については、グループ内で事前学修を計画的に進められるように早めに提示し、学生主体となるよう発表の運営も担ってもらった。課題の一部について方法の理解が不十分で、メンバー間の取り組みに差が生じていたため、今後は別講義での手順説明やピア評価などを取り入れる検討が必要である。
小林 匡美 成人看護学援助論B 成人看護学援助論C 成人看護学実習A 成人看護学実習B 基礎看護実習Ⅱ 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ,Ⅱ	成人看護学援助論Bでは授業評価は概ね肯定的であった。手術看護の実際の理解のために、写真や動画を活用し実施、授業後、学生からの質問や感想、小テストを実施し、授業の改善を行った。成人看護学実習A,Bともに授業評価は概ね肯定的であった。感染状況により、成人看護学実習A,Bともに学内演習を取り入れながらの臨地実習も実施した。実習だけでは補えていない内容について学生や教員が患者・看護師役となり実践に近い形で演習を行った。今後も授業、実習を通し、学生が主体的に学習できるよう取り組んでいきたい。

大島由美 在宅看護実習 チームアプローチ演習 基礎看護実習	在宅看護実習は感染状況に応じて学内演習へ切り替え、動画教材の活用や事例展開、技術演習など実習に近い内容の演習を行った。実習後は学びを共有する時間を十分に設けることができた。今後も実習指導者とより良好な関係づくりに努めながら学生の学び共有し、目的に沿った実習指導を行いたい。チームアプローチ演習の授業評価は概ね良好であり、3学科編成のグループワークでは学生からの疑問を教員間で共有し、迅速な対応を行うよう心がけていた。次年度は、学生から得た意見をもとに、事例を見直し内容の改善に努めたい。
難波 香 老年看護学実習 生活支援看護学実習 統合実習 救命救急医療論 基礎ゼミナール	いずれの科目も回答数は少なかったが、学生評価は概ね良好であった。老年看護学実習はコロナ禍のため現場での実習時間が限られたことから、実習指導者を招いた講義を取り入れるなど、学内代替実習の内容を工夫した。生活支援看護学実習もサテライト・デイの時間短縮や活動内容を工夫することで、地域における学修環境を整えることができた。今後も感染状況を鑑みながら、学生が現場での実践をイメージできるように学内代替実習の内容を検討していく必要がある。
西村 美紗希 小児看護学実習 基礎ゼミナール 救命救急医療論 統合実習 小児看護学援助論	どの科目においても、授業評価は概ね肯定的評価を得た。小児看護学実習において、臨地実習では、制限された中での実習であり、適宜モデル人形を用いてロールプレイ等を取り入れた。学内実習も併用し、事例を用いて、看護展開を行うため、モデル人形を模擬患者として、演習を行い、適宜視聴覚教材を活用した。学生は、患児へのコミュニケーションや看護の視点について振り返ることができ、評価につながったと考える。今後も、学生の理解度や達成度を見ながら、教授方法を工夫していきたい。
井上 竹美 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論Ⅰ・Ⅱ フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール	どの科目も授業評価は概ね良好であった。演習に関して、学生デモンストレーションを行うことで、実施学生と見学者ともにシェアタイム、デブリーフィング時に単なる動作の気づきだけでなく根拠となる問題についての意見交換ができていた。各自のリフレクションにおいても同様の記載がなされており効果的であったことが確認できた。学生が根拠を考える為に必要な知識と時間が十分に提供できる工夫が今後も必要であると考え。その為に十分な準備を行うとともに、時間配分についても精査しなおし授業の質を上げていきたい。

西森 千恵 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論Ⅰ・Ⅱ 健康障害援助技術論 看護過程論 フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 救命救急医療論	すべての科目において学生評価は概ね良好であった。援助技術の演習では、技術の改善点についてピア・コーチングの時間を設けたり、学習内容の定着のため、学生主体となるよう進め方を工夫した。学生がリフレクション技術を習得し、自己教育力を促進できるよう、教員としてリフレクションを促進するフィードバック技術の向上に努めたい。また事前・事後の学修内容については、どの学生にも分かりやすいよう、具体的な提示を行い、効果的な学習が行えるよう促していきたい。
高尾 緑 健康教育 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 助産学実習Ⅲ 助産学実習Ⅳ	授業や実習の多忙さもあり、回答数が少ないものもあったが授業評価は概ね良好であった。健康教育においては、担当を決めそれぞれに資料を作成し学生間でのプレゼンを行うことで、実際の実習へ資料の活用などに繋ぐことができていた。授業から実習までに短期間で学習と試験をこなす中で、国家試験対策に向けて小テストや過去の模試を行うことで知識の定着につながったと考えられる。実習において、疑問をその場で対応し、次回への課題を見つけることにより技術を向上することができた。次年度は、授業の目的や目標を明確に学生へ伝えより学習を主体的に行うことができるよう努めていきたい。

健康科学部 地域福祉学科

氏 名 担当科目	評価・結果とコメント・改善点
松本 百合美 介護の基本Ⅰ 認知症の理解Ⅰ 介護過程演習Ⅰ・Ⅱ アクティビティ活動援助法Ⅱ 基礎ゼミナールC 介護過程総論 他	今年度は特に介護過程演習Ⅱにおいて従来のグループ演習から、一人ひとりの受け持ち利用者について、3つの学修目標を立てて、アセスメントから介護計画立案について、学生の発表と討議(カンファレンス)、コメントおよび修正を繰り返し行った。すべての項目について「当てはまる」という回答であった。少人数授業の利点を生かし、他の科目についても可能なものはこうした方法を取り入れて行きたい。介護過程総論では、説明が難しくわかりづらかったというコメントがあり、より身近な例を用いるなど工夫をしていく。
岡 京子 福祉サービス入門実習 障がいの理解Ⅰ 介護の基本Ⅱ 介護福祉実習Ⅲ・Ⅳ 介護総合演習Ⅲ・Ⅳ他	学生参加型授業を意識的に取り入れている。受講生が少ない「介護の基本Ⅱ」では、満足度が高くアクティブラーニングの必要性を強く実感した。反対に必修科目の「障がいの理解Ⅰ」では、グループワーク等を行ってもごくわずかであった。講義範囲も広いため、わかりやすく、重要点が明確にできること、学生の印象に残ることを意識的に行った。自由記述において、小テストの実施、動画視聴、社会的問題の提示と考察等、keywordが挙げられており、学生評価が高かった。

山内 圭 英語Ⅰ(保/福・看) 英語Ⅱ(保/福・看) 英語論文講読(共通) 国際コミュニケーション(共通) 健康科学英語(共通)	年間にわたって対面授業ができたが、英語学修に必要な発音練習、会話練習や英語での意見交換の討論等には制限があった。海外研修が実施できず、国際コミュニケーションが低調であるが、2023年3月卒業の看護学科、地域福祉学科の学生たちはコロナ前に海外研修に行けた者が単位を修得できた。海外研修の実施は未定であるが、海外に行ける時に備えて国内で鍛錬しておくことの大切さを唱えつつ、引き続きよりよい英語教育を目指したい。
山本 浩史 社会福祉の原理と政策Ⅰ 高齢者福祉・共生社会実践 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ソーシャルワーク演Ⅱ・Ⅴ 災害ソーシャルワーク 地域防災論・地域防災演習 など	概ね学生の満足度、理解度、教材について、特に「難しい内容が多かったですが、動画などの資料を用いた学習でとてもわかりやすくスムーズに進みました。」等の自由記述が多く、概ね適切であったと理解している。各科目とも「総合的に判断して、この授業を受けてよかった」の問に対し、「非常にあててはまる」、「まあまああてはまる」との回答で占められており、内容としても適切であったと判断している。「教員は、学生からの質問や相談に十分応じる姿勢を示した。」の問に対しても同様である。これはリアクションペーパーによる双方向の関係構築が効果を表したものであると考える。今後も適切な指導を行うよう研鑽したい。
和田美智代 社会保障Ⅰ・Ⅱ 民法概論Ⅰ・Ⅱ 行政書士概論Ⅰ・Ⅱ 社会保険労務概論Ⅰ・Ⅱ 権利擁護と成年後見 医療福祉関係法規 基礎ゼミナールC/入門ゼミナール/専門ゼミナール/地域福祉研究	授業満足度、理解度、教材の適切さ等の評価はおおむね良好であった。社会福祉を専門とする学生に法律や法制度を内容とする担当科目は難易度が高いが、授業にまじめに取り組んだ学生からは丁寧な説明や具体例などを取り入れたことで理解できるようになったとの評価を得ている。一方で、当初抱いた「難しそう」との印象から、拒絶的な反応の学生も一部ではあるが見られた。動画やイラストの要求などもあり、工夫の余地もある。要求に応えるためには、準備に費やす時間が必要であるが、今年度の授業担当数・内容でこれに応えるためには、教務補佐や助手などのマンパワーが不可欠である。少人数の科目では、アクティブラーニングを導入し、授業内でディスカッションや発表を行った。
高杉 公人 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ，地域福祉の理論と方法Ⅱ，ソーシャルワーク演習Ⅳ・Ⅴ，相談援助の理論と方法Ⅳ，ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ，SDGsと社会福祉，ソーシャルキャピタルとコミュニティデザイン等	今年度は社会福祉士養成新カリキュラムに合わせて授業内容を修正した。しかしながら教科書も内容が醸成されていないところがあり、教科書以外からの情報も柔軟に取り入れて授業を行うように努めた。それについて学生から概ね高評価であったが、教科書のどの概念や実践技術とつながるのか等のより丁寧な説明が必要であると自覚している。今までも授業で大事なポイントはパワーポイントで図解し、文字をホワイトボードに別々書いて説明していたが「ホワイトボードの字がみにくい」という指摘があったので、パワーポイントにペンで直接文字を記入する等で見やすくする工夫を行う。

八重樫 牧子 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅲ 児童や家庭に対する支援と 児童・家庭福祉制度 子育て支援論 地域福祉研究	学生の満足度、理解度、教材の適切さ等の評価は概ね良好であった。ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅲは、少人数のクラス単位でグループワークを実施することができ、いずれも満足度が高かった。特に、演習Ⅲでは3つの事例内容の検討を深めるとともに、事例に関するシナリオを作成し、ロールプレーを実施した。児童家庭福祉については重要語句を記入するサブノートを作成し、予習として語句を記入してくるよう指導し、理解を深めることができるように工夫した。子育て支援論は施設見学（フィールドワーク）を取り入れ、体験的学習を行った。
井上 信次 社会学 倫理学 医療と福祉の社会学 社会調査演習 社会調査論Ⅱ 社会調査論Ⅴ 社会調査実習 等	全体として大きな改善を要するような指摘はなかった。特に社会学では一方通行の講義展開ではなく映像資料や資料、相互のやり取り等について評価が得られたと考える。一方、講義の予習、復習について、講義中に指示をしていたにも関わらず、十分に伝達できていなかったようである。講義中だけでなく、予習、復習についても相互的なやり取りができるような工夫が必要である。全科目通じて改善すべき点であると考えている。また講義をより効果的なものにするために毎回の講義のなかで到達目標を丁寧に説明することが重要であると考えた。
三上 ゆみ 福祉サービス入門実習、 生活支援技術Ⅵ、介護の基本Ⅴ、医療的ケアⅠ～Ⅳ、 介護福祉論、認知症がある 人への生活支援・連携、 介護福祉事例研究（居宅）、 介護福祉実習Ⅳほか	今年度は、授業における到達目標を学生に具体的に示し、授業内に修得してもらいたいことを毎回示すことに力を入れ、授業はじめに小テストを行い、目標到達の確認を行った。結果、自己学習時間について30分未満の割合が減少し、30分～1時間の割合が増え自己学習の時間が増加した。演習については、グラフィックレコードを活用し、楽しみながら、個人の意見やグループ内の他者意見をどうまとめるかを可視化する手法を取り入れた授業を行った。
鄭 丞媛 保健医療サービス、国際保健医療福祉政策、中山間地域の保健医療福祉政策、福祉行財政と福祉計画、福祉サービスの組織と経営、社会調査の基礎、社会調査論Ⅰ、基礎ゼミナールC、入門ゼミナール、専門ゼミナール、地域福祉研究	授業満足度、理解度、教材の適切さ等の評価は、概ね良好であった。学生から提出されたコメントや質問に対しては次の授業の冒頭で回答した。重要な点については繰り返し伝えた。実務をイメージしやすいように、保健医療サービスでは医療ソーシャルワーカー、社会調査の基礎では地域診断を行う研究者、福祉サービスの組織と経営では会計学を専門とする研究者、国際保健医療福祉政策では在宅医療研究を行う医師、中山間地域の保健医療福祉政策では建築家、まちおこし協力隊をゲスト講師として招いた。社会福祉士の指定科目では国家試験対策として過去問題に触れる機会をつくった。受講者数が20名程度の少人数の科目ではアクティブラーニングを導入し、授業内でディスカッションや発表の場を設け、専門家から意見を聞く場を設けた。次年度以降も一方的に知識を教授するだけでなく、学生の能動的な学習を促すアクティブラーニングを意識した授業を展開したい。

小松尾 京子 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ、社会調査Ⅴ、専門ゼミ、ソーシャルワーク演習Ⅲ・Ⅴ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ他	学生の満足度、理解度、教材の適切さ等については、特に問題のない評価を受けた。前期の講義科目は、2コマ連続の授業であり、学生の興味関心を継続するために、ビデオ教材の活用や実践者をゲスト講師として呼び、具体的な講義を実施した。事前・事後学修の時間の短い学生が散見されたため、事前・事後学修の課題を明示し、理解を深めるためのポイントや国家試験の問題の活用などを取り入れたい。演習・実習科目では、グループディスカッションを中心に行うことで、徐々に積極的な発言が見られるようになった。
松田 実樹 障がいの理解Ⅱ コミュニケーション技術Ⅰ,Ⅱ 生活支援技術Ⅰ 介護総合演習Ⅲ 介護福祉実習Ⅲ ほか	学生からの授業評価は「非常にあてはまる」「まあまああてはまる」がほとんどであり、事例を通じたグループワークも概ね良好であった。担当科目全体としては、例年事前、事後学修の時間が30分未満の学生が散見されたが、学修の復習ポイントや理解を深めるための学びのポイントを講義中に伝えたこともあり、やや改善できたように感じる。しかし、学生自らが学修を深めるための振り返りをすることができるよう今後、教授内容と連動させながら取り組める課題も取り入れていきたい。
朴 蕙彬 基礎ゼミナールC、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ、社会福祉の原理と政策Ⅱ、ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅴ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、入門ゼミナール、専門ゼミナール	授業満足度、理解度、教材の適切さ等の評価は、概ね良好であった。演習や実習科目だけでなく、講義科目においても多数のグループワークなどを取り入れることでアクティブラーニングを取り入れて行った。特に、映像資料など学生にとってなじみやすい教材を積極的に取り入れることで、学生の理解度を高めることができた。 今後も、科目に応じた最新情報や受講生にとって理解しやすい教材への工夫を続けるとともに、さらに学生が授業で主体となつて学ぶことができる雰囲気や教材への工夫を進めていく。
泉 宗孝 ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ～Ⅲ コミュニティ・ソーシャルワーク実習 障害者福祉 にのみ地域協働演習 基礎ゼミナールC	演習については、複数の教員によって教材の共有を図り、学生の身近な生活課題、実習をイメージできる事例等を用いてのグループワークを行った。振り返り等から学生の満足度、理解度は良かった。今後は講義科目で学んだ内容をグループワークによって実践的に理解を深める必要がある。また、地域住民との交流のある基礎ゼミナールCなどについては、交流を行う地区の事前学習を行っているが、今後は事前学習の内容を地域住民との打ち合わせ等で共有を図ることのできる機会の設定を行い、学生の自主性を重視した取り組みにする必要がある。
柳迫 三寛 保健医療サービス ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ～Ⅲ コミュニティ・ソーシャルワーク実習 基礎ゼミナールC	学生からの授業満足度、理解度、教材の適切さ等の評価について、いずれの科目も概ね良好であった。学生の事後学習に関する取り組みについて、なぜ必要なのかが伝わるように工夫し、主体的に取り組むことができるよう改善を図っていききたい。また、演習科目については、より実践的な技術習得につながるよう、自身の臨床経験等も活用し、学生の主体的な参加ができるよう工夫を図っていききたい。また、例年演習への取組

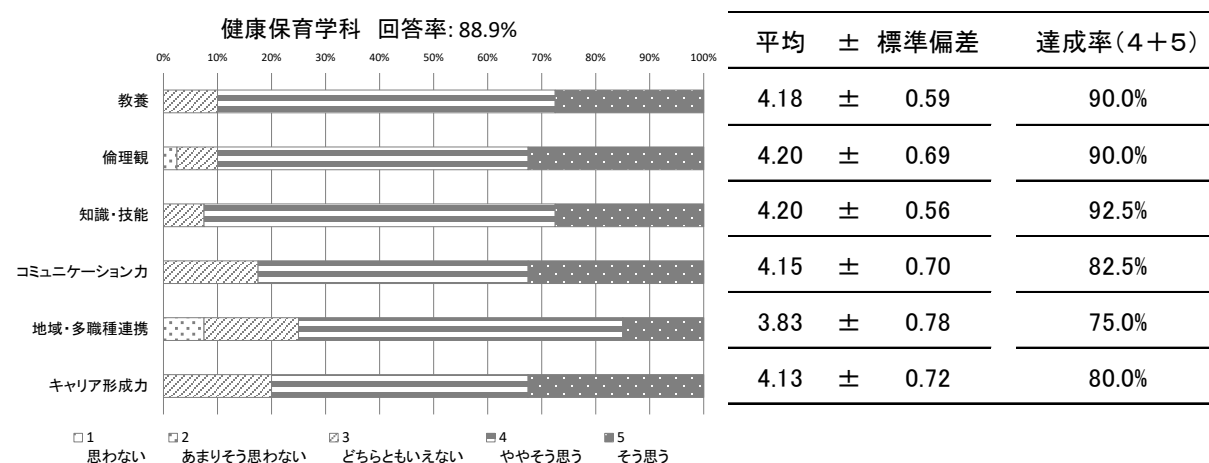
	みやグループでの活動が苦手な学生もあり、より参加しやすいよう教材や授業の進め方を工夫していく必要があると考える。
岸本由梨枝 ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ～Ⅲ コミュニティ・ソーシャルワーク実習 共生社会実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ソーシャルキャピタルと コミュニティデザイン 地域防災論・演習	学生からの授業満足度、理解度、教材の適切さ等の評価について、概ね良好との回答であった。学習の取組状況は、科目によりばらつきがあり、今後は学生が主体的に取り組むことができる工夫（例えば、次回までの課題の提示や参考となる文献の紹介等）が必要であると考え。演習科目は、授業に参加しやすい環境づくりと合わせて、教材の工夫（資料の見やすさ、分かりやすさ、学生がイメージしやすい事例を扱う等）が必要であり、次年度に向けた改善したい。その他、学生へのアナウンスを行い、授業評価を行う学生が増えるよう促したい。
長宗 武司 経済学 公共政策論 共生社会実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 地方行政インターンシップ	授業満足度、理解度等、全般にわたり良好であった。経済学の授業では、双方向型の授業に取り組み、スマートフォンアプリの活用や学生発案のインセンティブシステムを授業に取り入れるなど、学生に積極的に授業に参画してもらい、一定の成果があった。共生社会実践演習、公共政策論をはじめ、学外にてフィールドワークを行う科目については、コロナ禍による影響もなく、昨年度よりも地域とのより密なコミュニケーションを図ることができた。次年度はさらに内容の充実化を図っていききたい。

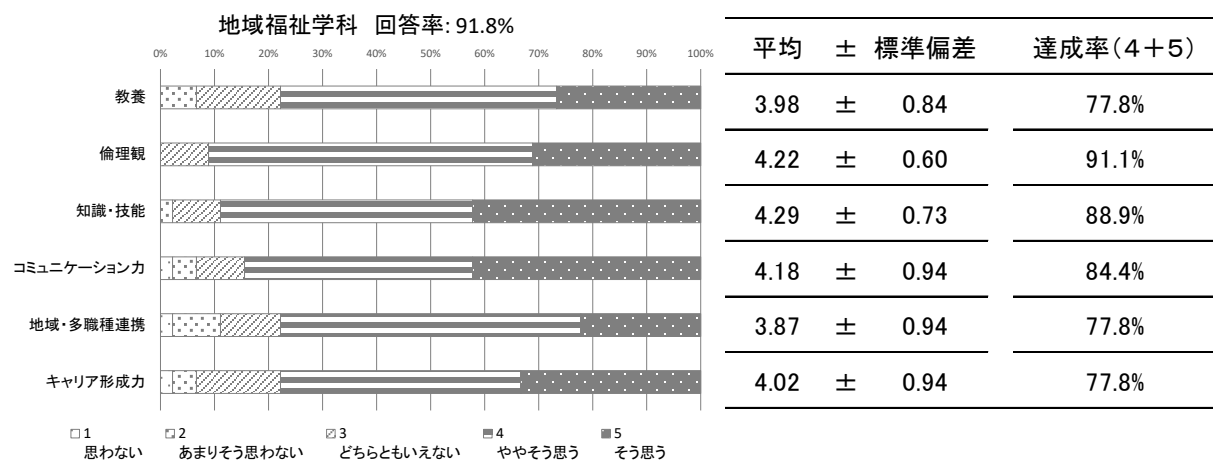
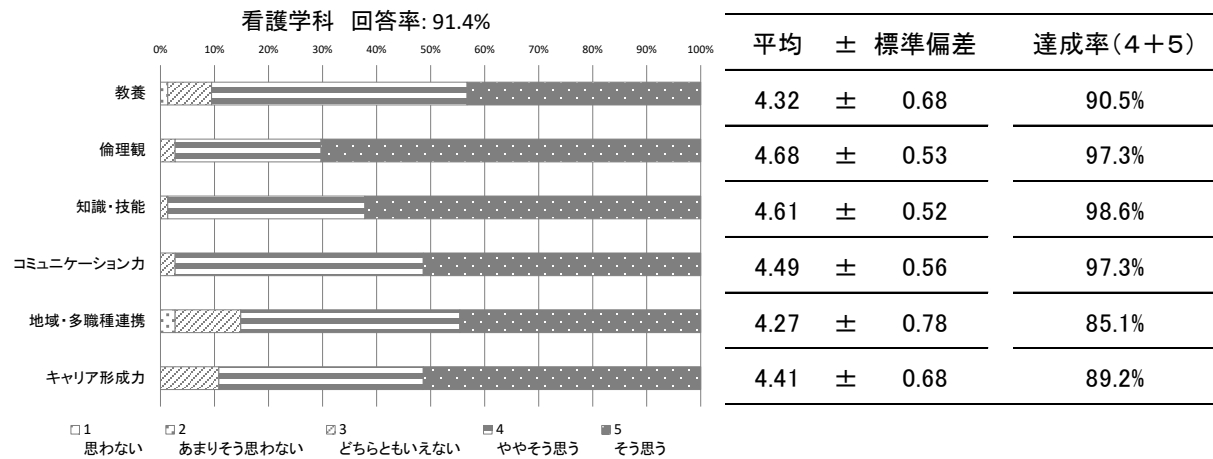
2) 学修成果等調査

◎卒業予定者アンケート調査

A 学修成果の自己評価

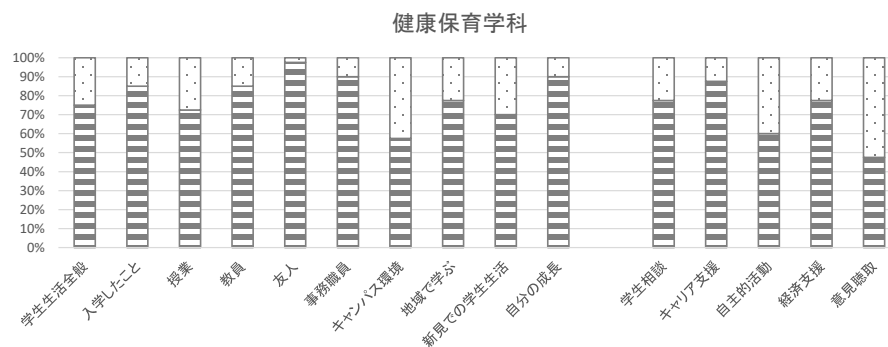
本学ディプロマポリシー（DP）を示して、項目ごとの学習成果を（1-5）の5段階で自己評価を依頼。中間の3を排して、4と5を学修成果達成として達成率を算定。

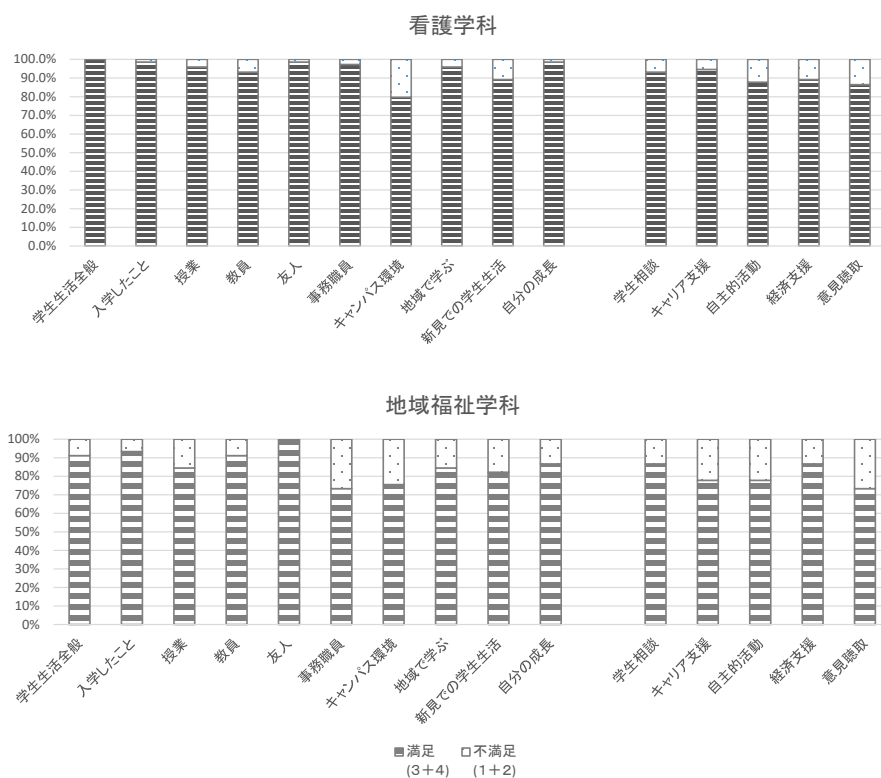




B 満足度：学生生活全般（左） 満足度：学生支援（右）

各項目4段階で（「3 まあ満足」＋「4 非常に満足」）の合計を満足度%として比較

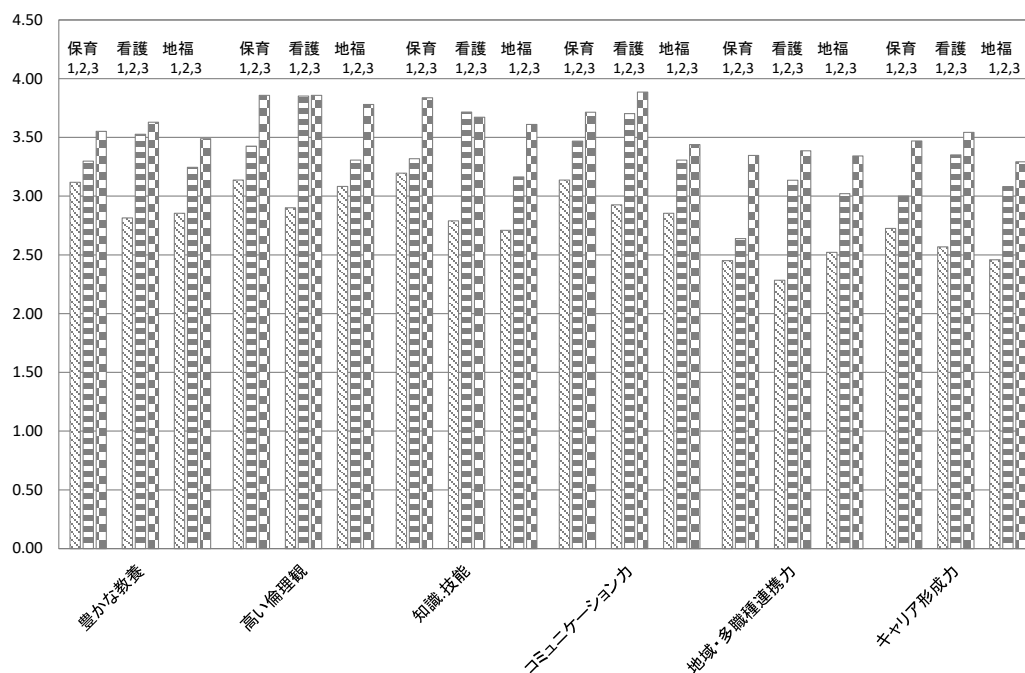




◎年度末アンケート調査

A 本学学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー:DP）の達成度（卒業時のレベルを5とした場合）
DP項目ごとの達成度の平均スコアを達成度スコアとして比較

DP項目毎の達成度スコア（卒業時を5とした自己評価）									
DP項目	健康保育学科			看護学科			地域福祉学科		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
豊かな教養	3.12	3.3	3.6	2.81	3.53	3.63	2.85	3.24	3.49
高い倫理観	3.14	3.4	3.9	2.90	3.85	3.86	3.08	3.31	3.78
知識・技能	3.20	3.3	3.8	2.79	3.72	3.67	2.71	3.16	3.61
コミュニケーション	3.14	3.5	3.7	2.93	3.70	3.89	2.85	3.31	3.44
地域・多職種連携力	2.45	2.6	3.3	2.28	3.14	3.39	2.52	3.02	3.34
キャリア形成力	2.73	3.0	3.5	2.57	3.35	3.54	2.46	3.08	3.29

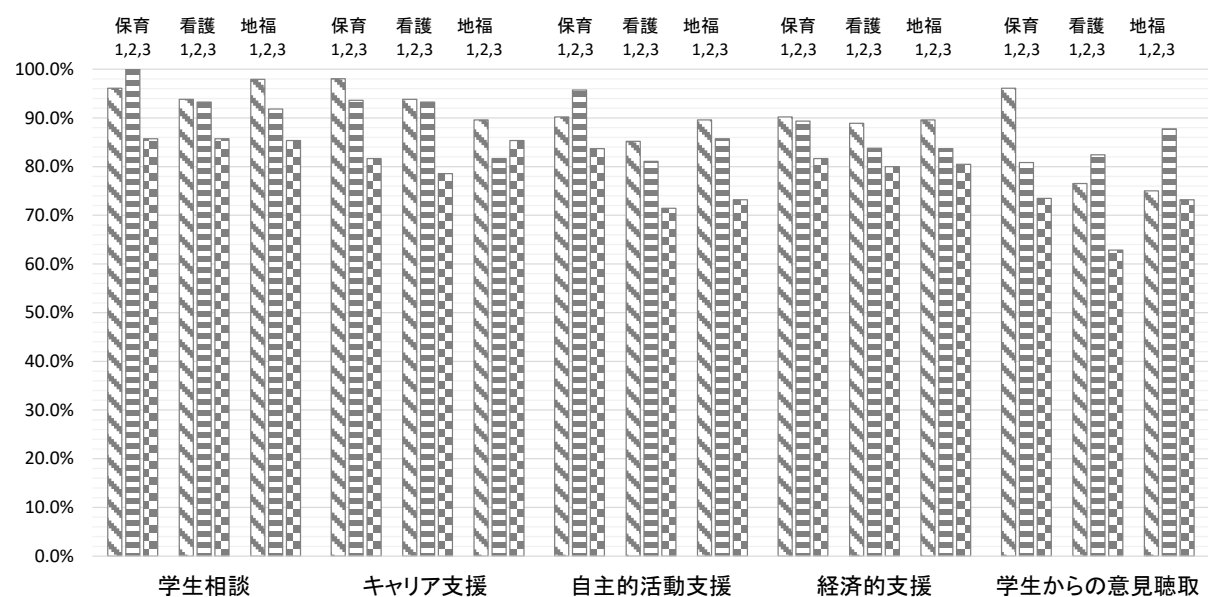


B 学生支援への満足度

各項目4段階で（「3 まあ満足」＋「4 非常に満足」）の合計を満足度％として比較

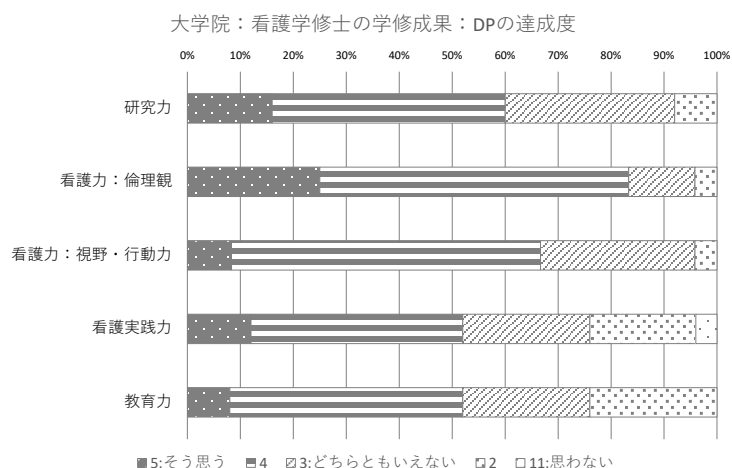
学生支援の満足割合（非常に満足/まあ満足）％

学生支援項目	健康保育学科			看護学科			地域福祉学科		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
学生相談	96.1%	100%	85.7%	93.8%	93.2%	85.7%	97.9%	91.8%	85.4%
キャリア支援	98.0%	93.6%	81.6%	93.8%	93.2%	78.6%	89.6%	81.6%	85.4%
自主的活動支援	90.2%	95.7%	83.7%	85.2%	81.1%	71.4%	89.6%	85.7%	73.2%
経済的支援	90.2%	89.4%	81.6%	88.9%	83.8%	80.0%	89.6%	83.7%	80.5%
学生からの意見聴取	96.1%	80.9%	73.5%	76.5%	82.4%	62.9%	75.0%	87.8%	73.2%



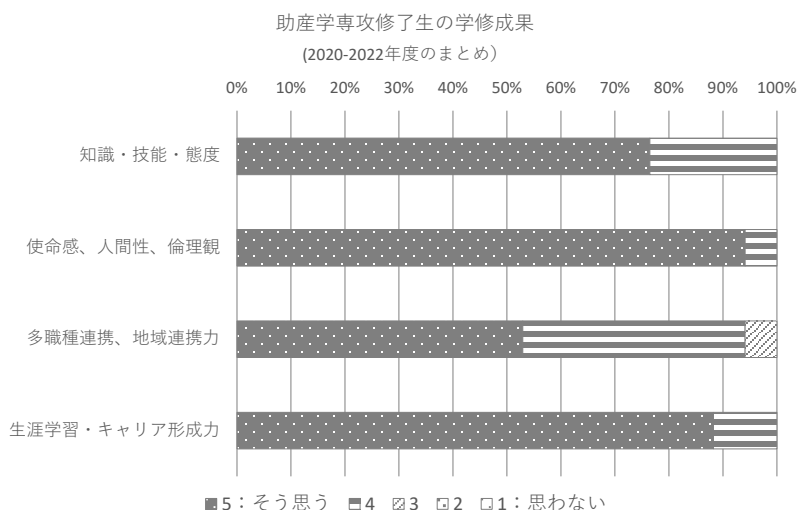
補1：大学院：看護学研究科(修士課程)の学修成果：修了生に対するDPの達成度アンケート結果
 毎年の修了生が少数のため、複数年度をまとめて表示した。(～2022年度修了生：n=25)

DP	DP項目	5:そう思う	4	3:どちらともいえない	2	1:思わない	平均	±	標準偏差
DP1	研究力	4	11	8	2	0	3.68	±	0.85
DP2a	看護力：倫理観	6	14	3	1	0	4.04	±	0.75
DP2b	看護力：視野・行動力	2	14	7	1	0	3.71	±	0.69
DP3a	看護実践力	3	10	6	5	1	3.36	±	1.08
DP3b	教育力	2	11	6	6	0	3.36	±	0.95



助産学専攻の学修成果：修了生に対するDPの達成度アンケート
 毎年の修了生が少数のため、複数年度をまとめて表示した。(n=17)

DP項目	5:そう思う	4	3:どちらともいえない	2	1:思わない	平均	±	標準偏差
知識・技能・態度	13	4	0	0	0	4.76	±	0.44
使命感、人間性、倫理観	16	1	0	0	0	4.94	±	0.24
多職種連携、地域連携力	9	7	1	0	0	4.47	±	0.62
生涯学習・キャリア形成力	15	2	0	0	0	4.88	±	0.33



3) 教学マネジメントの実施状況

評価・将来構想委員会教学マネジメント部会では、教学マネジメントを推進し教育改善等を継続的に実施するため、令和4(2022)年度に次の事項を実施した。

1. 令和3年度末に策定した「新見公立大学教学マネジメント実施要領」に定めるアセスメント項目のうち、次の項目について評価作業を実施した。

項目(1) 各授業科目による到達目標の達成状況

※ 項目(2) 学位の取得状況

※ 項目(3) 進路の決定状況等の卒業後の状況（進学率や就職率等）

※ 項目(4) 修業年限期間内に卒業・修了する学生の割合、留年率、退学率

項目(5) 「卒業の認定に関する方針」（以下「D P」という。）に定められた特定の資質・能力の修得状況を直接的に評価することができる授業科目におけるD Pの達成状況

※ 項目(6) 資格取得や受賞、表彰歴等の状況

※ 項目(7) 研究活動の状況

なお、項目(1)については、令和4(2022)年度に策定したシラバス作成ガイドラインにより、教員がD Pを踏まえた適切な到達目標を立て厳格な成績評価を行うことができるようになるため、令和5(2023)年度から各学生に関する適切な到達目標の達成状況を説明することができる。

また、項目(5)については、卒業生のD P達成度をループリックで評価するキャップストーン評価や各学生のD P達成度をG P Aで評価するG P Aサプリを令和4(2022)年度に試行した。

2. 教育課程及び授業がD Pを踏まえているかどうかを点検するため、カリキュラムマップ及びカリキュラムツリーを制作した。

上記1の※を付した項目(2)、(3)、(4)、(6)及び(7)についての評価・将来構想委員会による評価に関し、次の①～⑪により報告する。さらに、上記2のカリキュラムマップ及びカリキュラムツリーに関し、⑫により報告する。

① 健康科学部看護学科の学位取得平均年数、卒業率、退学率等（項目(2)(4)）

表1 健康科学部看護学科の学位取得平均年数、卒業率、退学率等

入学年度	2014	2015	2016	2017	2018	過去5年
修業年限年度	2017	2018	2019	2020	2021	
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	300人
入学者数	64人	65人	64人	64人	66人	323人
留年者数	0人	0人	2人	2人	1人	5人
退学者数	2人	0人	4人	1人	2人	9人
除籍者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業者数 1)	62人	65人	58人	61人	63人	309人
学位取得平均年数 2)	4.00年	4.00年	4.01年	非算定 3)	非算定 3)	4.00年 4)
卒業率 5)	96.8%	100%	90.6%	95.3%	95.5%	95.7%
留年率 6)	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%	1.6%	1.5%
退学者の割合 7)	3.1%	0.0%	6.3%	1.6%	3.0%	2.8%
退学率 8)	0.8%	0.0%	1.6%	非算定 3)	非算定 3)	0.7% 4)
除籍率 9)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1) 修業年限期間内の4年で卒業する学生の数

2) $(4 \text{年} \times \text{卒業者数} + 5 \text{年} \times \bigcirc \text{人} + \dots + 8 \text{年} \times \bigcirc \text{人}) / (\text{入学者数} - \text{退学者数} - \text{除籍者数})$

3) 調査した年度（令和4(2022)年度）に在学生がいるため

4) 2014～2016年度入学年度の過去3年

5) $\text{卒業者数} / \text{入学者数} \times 100$

6) $\text{留年者数} / \text{入学者数} \times 100$

7) $\text{退学者数} / \text{入学者数} \times 100$

8) $\text{退学者の割合} / \text{学位取得平均年数}$

9) $\text{除籍者数} / \text{入学者数} \times 100$

過去5学年において、入学者のほぼ全員が就業年限の4年で卒業しており、留年者数や退学者数はわずかであり、除籍者はいなかった。退学率について、いずれの年度も、「全国の令和3(2021)年度退学者数／令和3(2021)年度学生数＝1.95%」（文部科学省）より低かった。

【評価】適切な教育を行っており、留年や退学の可能性のある学生に対し指導する体制ができていると推測される。

② 健康科学研究科看護学専攻の学位取得平均年数、修了者数、退学者数等（項目(2)(4)）

表2 健康科学研究科看護学専攻の学位取得平均年数、修了者数、退学者数等

入学年度	2016	2017	2018	2019	2020	過去5年
修業年限年度	2017	2018	2019	2020	2021	
入学定員	5人	5人	5人	5人	5人	25人
入学者数	9人	4人	3人	1人	5人	22人
退学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
除籍者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
修了者数 1)	4人	1人	2人	0人	3人	10人
学位取得平均年数 2)	2.78年	2.75年	2.67年	3.00年	非算定 3)	2.76年 4)
退学率 5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	非算定 3)	0.0% 4)
除籍率 6)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1) 修業年限期間内の2年で卒業する学生

2) $(2\text{年} \times \text{卒業者数} + 3\text{年} \times \bigcirc\text{人} + \dots + 4\text{年} \times \bigcirc\text{人}) / (\text{入学者数} - \text{退学者数} - \text{除籍者数})$

3) 調査した年度（令和4(2022)年度）に在学生がいるため

4) 2016～2019年度入学年度の過去4年

5) $(\text{退学者数} / \text{入学者数}) \times 100 / \text{学位取得平均年数}$

6) $\text{除籍者数} / \text{入学者数} \times 100$

長期履修を選択する学生がいたため、過去4学年の学位取得平均年数は2.76年であった。退学者及び除籍者は皆無であった。

【評価】長期履修を選択する学生は、すべて有職者の学生であった。退学者及び除籍者がいなかったことは、適切な研究指導ができていた証左であると考えられる。

③ 健康科学部看護学科卒業者の進路（項目(3)）

表3 健康科学部看護学科卒業者の進路

進路先等		2017 年度卒	2018 年度卒	2019 年度卒	2020 年度卒	2021 年度卒	過去 5 年
卒業者数		62 人 100.0%	66 人 100.0%	58 人 100.0%	62 人 100.0%	64 人 100.0%	312 人 100.0%
看護師 として	医療機関	45 人 72.6%	52 人 78.8%	38 人 65.5%	45 人 72.6%	40 人 62.5%	220 人 70.5%
保健師 として		0 人 0.0%	0 人0.0%	0 人 0.0%	0 人0.0%	0 人0.0%	0 人 0.0%
保健師として 行政機関		9 人 14.5%	6 人 9.1%	10 人 17.2%	11 人 17.7%	14 人 21.9%	50 人 16.0%
保健師として 企業		0 人 0.0%	0 人 0.0%	1 人 1.7%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	1 人 0.3%
上記以外の 看護師・保健師		0 人 0.0%	3 人 4.5%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	3 人 1.0%
その他 (看護師・保健師以外)		0 人 0.0%	0 人 0.0%	2 人 3.4%	1 人 1.6%	1 人 1.6%	4 人 1.3%
就職者計		54 人 87.1%	61 人 92.4%	51 人 87.9%	57 人 91.9%	55 人 85.9%	278 人 89.1%
大学院	進学	1 人 1.6%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	1 人 0.3%
専攻科等		7 人 11.3%	4 人 6.1%	7 人 12.1%	5 人 8.1%	8 人 12.5%	31 人 9.9%
進学者計		8 人 12.9%	4 人 6.1%	7 人 12.1%	5 人 8.1%	8 人 12.5%	32 人 10.3%
非就職・非進学		0 人 0.0%	1 人 1.5%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	1 人 1.6%	2 人 0.6%

過去5年について、「就職」が約9割、「進学」が約1割であった。就職率が100%又はそれに近い数字である一方、「就職・進学せず」が0.0%又はそれに近い数字であった。「看護師として医療機関」に就職した者が約7割、「保健師として行政機関」に就職した者が1～2割程度、「専攻科等進学」が約1割であり、他の進路はわずかな割合であった。

【評価】当該学科は、社会での即戦力となる人材を教育していたといえる。就職率が高いことから、学修成果及び教育成果が大きかったことがいえる。一方、「非就職・非進学」が非常に少なかったことは、ほとんどの学生が看護師としての使命感を持っていたことの表れであり、入学選抜において入学者の受け入れに関する方針（以下「AP」という。）に沿った適切な学生を選んでいて、及びDPに沿った教育を実施していたことがいえる。

④ 健康科学部 3 学科の退学理由別人数とその割合（項目 4）

表 4 健康科学部全学科の退学理由別人数とその割合

退学理由 1)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	過去 3 年
転学・就職 2)	2 人 66. 7%	3 人 100. 0%	3 人 50. 0%	8 人 66. 7%
経済的理由	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
学業不振	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
病気・けが	1 人 33. 3%	0 人 0. 0%	1 人 16. 7%	2 人 16. 7%
学校生活不適合	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
海外留学	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
その他	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	2 人 33. 3%	2 人 16. 7%
計	3 人 100. 0%	3 人 100. 0%	6 人 100. 0%	12 人 100. 0%

1) 平成 26(2014)年度文部科学省調査「平成 24 年度学生の中途退学や休学等の状況について」をもとに設定した。

2) 本学では「進路変更」との届であった。

表 5 健康科学部健康保育学科の退学理由別人数とその割合

退学理由 1)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	過去 3 年
転学・就職 2)	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
経済的理由	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
学業不振	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
病気・けが	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
学校生活不適合	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
海外留学	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%
その他 3)	0 人 0. 0%	0 人 0. 0%	2 人 100. 0%	2 人 100. 0%
計	0 人 —	0 人 —	2 人 100. 0%	2 人 100. 0%

1) 平成 26(2014)年度文部科学省調査「平成 24 年度学生の中途退学や休学等の状況について」をもとに設定した。

2) 本学では「進路変更」との届であった。

3) 本学では「一身上の都合」との届であった。

表 6 健康科学部看護学科の退学理由別人数とその割合

退学理由 1)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	過去 3 年
転学・就職 2)	2 人 100.0%	2 人 100.0%	0 人 0.0%	4 人 100.0%
経済的理由	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
学業不振	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
病気・けが	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
学校生活不適合	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
海外留学	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
その他	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
計	2 人 100.0%	2 人 100.0%	0 人 —	4 人 100.0%

1) 平成 26(2014)年度文部科学省調査「平成 24 年度学生の中途退学や休学等の状況について」をもとに設定した。

2) 本学では「進路変更」との届であった。

表 7 健康科学部地域福祉学科の退学理由別人数とその割合

退学理由 1)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	過去 3 年
転学・就職 2)	0 人 0.0%	1 人 100.0%	3 人 75.0%	4 人 66.6%
経済的理由	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
学業不振	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
病気・けが	1 人 100.0%	0 人 0.0%	1 人 25.0%	2 人 33.3%
学校生活不適合	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
海外留学	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
その他	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%
計	1 人 100.0%	1 人 100.0%	4 人 100.0%	6 人 100.0%

- 1) 平成 26(2014)年度文部科学省調査「平成 24 年度学生の中途退学や休学等の状況について」をもとに設定した。
- 2) 本学では「進路変更」との届であった。

退学者数について、全体的に極めて少ない。

退学理由について、「転学・就職」（進路変更）が最も多く 7 割近くを占めた。これが毎年度見られる一方、「学業不振」、「経済的理由」、「学校生活不適合」等が 0.0%であった。

【評価】退学者数が全体的に少ないので、APに基づいた学生選抜を行い、DP達成に従う教育を行ったことが示唆される。令和 3(2021)年度地域福祉学科の退学者 4 人は、休学となった学生等がこの年度に集中して退学したことによる数字であったと考えられる。

退学理由について、「転学・就職」が最も多かったことは、転学先や就職先を分析しないと評価することは難しい。「学業不振」が 0.0%であったのは、APに基づいた学生選抜を行い、DP達成に従う教育を行ったことが示唆される。「経済的理由」が 0.0%であったことについて、本学の学費が適切であること、本学に関する奨学金制度があることなどがその理由に挙げられる。「学校生活不適合」が 0.0%であったことについて、APに沿った学生が多く入学したこと、及び各教員の学生に対する配慮が行き届いていたことが理由として示唆される。

⑤ DPに照らして期待される進路と実際の進路との一致の程度（項目(4)）

表 8 DPに照らして期待される進路と実際の進路との一致の程度（健康科学部看護学科）

卒業年度	2017	2018	2019	2020	2021	過去 5 年
a 卒業者数	62 人	66 人	58 人	62 人	64 人	312 人
b 看護師・保健師・養護教諭としての領域に進んだ者の数	62 人	65 人	56 人	61 人	62 人	306 人
c 一致度 (b/a×100)	100.0%	98.5%	96.6%	98.4%	96.9%	98.1%

DPにある「看護の専門職として」の進路に進んでいる卒業者が 5 年間ほぼ 100%であった。

【評価】入学選抜においてAPに沿った適切な学生を選んでいたこと、及びDPに従った教育を着実に実施していたことが示唆される。

⑥ 看護師免許取得者数等（項目(6)）

表 9 看護師免許取得者数等（健康科学部看護学科）

年 度	2017	2018	2019	2020	2021	過去 5 年
a 学科卒業生数	62 人	66 人	58 人	62 人	64 人	312 人
b 国家試験受験者数	62 人	66 人	58 人	62 人	64 人	312 人
c 国家試験合格者数	61 人	65 人	58 人	62 人	63 人	309 人
d 国家試験合格率 (c/b×100)	98.4%	98.5%	100.0%	100.0%	98.4%	99.0%
e 免許取得者数	61 人	65 人	58 人	62 人	63 人	309 人
f 免許取得率 (e/a×100)	98.4%	98.5%	100.0%	100.0%	98.4%	99.0%

合格率と取得率は、5 年間全く同じであり、それらはほぼ 100%であった。すなわち、学科のほぼ全員が免許を取得していた。

【評価】看護学科学生に対し、有効な看護学教育を実施していたことがいえる。

⑦ 保健師免許取得者数等（項目(6)）

表 10 保健師免許取得者数等（健康科学部看護学科）

年 度	2017	2018	2019	2020	2021	過去 5 年
a 保健師教育課程履修者数	16 人	16 人	16 人	16 人	17 人	81 人
b 保健師教育課程卒業者数	16 人	16 人	16 人	16 人	17 人	81 人
c 国家試験受験者数	16 人	16 人	16 人	16 人	17 人	81 人
d 国家試験合格者数	15 人	15 人	16 人	16 人	17 人	79 人
e 国家試験合格率（d/c×100）	93.8%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	97.5%
f 免許取得者数	15 人	15 人	16 人	16 人	17 人	79 人
g 免許取得率（f/a×100）	93.8%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	97.5%

保健師課程履修者は、毎年 16 人か 17 人であった。合格率と取得率は、5 年間全く同じであり、それらは高い数値であり、2019 年度以降は 100.0%であった。すなわち、保健師免許取得希望者は、ほぼ全員免許を取得していたことになる。

【評価】保健師を希望する学生に対し、有効な教育を実施していたことがいえる。

⑧ 本学による表彰で証明される資質・能力と受賞・表彰（項目(6)）

表 11 本学による表彰で証明される資質・能力

賞・表彰	受賞される者
ライオンズクラブ賞	1 年次 ¹⁾ において、極めて優秀な学業成績を修め、高い評価を受けた者
成績優秀賞	2 年次、3 年次において、極めて優秀な学業成績を修め、高い評価を受けた者
赤木孜一賞	在学期間を通じて、極めて優秀な学業成績を修め、高い評価を受けた者

1) 2019 年度以前は、2 年次、3 年次であった。

表 12 受賞・表彰

賞・表彰	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
ライオンズクラブ賞	2 人	2 人	2 人	3 人	3 人
成績優秀者賞 1)	—	—	—	2 人	4 人
赤木孜一賞	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人

1) 2020 年度から表彰

極めて優秀な学生に対し、本学は表彰してきた。

【評価】学生の意欲を高揚させたものと考えられ、教育に有効であった。

⑨ 科学研究費（基盤研究等）の申請及び採択に関する状況（項目(7)）

表 13 科学研究費（基盤研究等）の申請及び採択に関する状況

年 度	2017 1)	2018 1)	2019	2020	2021	過去 5 年
a 申請資格者数	30 人	30 人	69 人	69 人	76 人	274 人
b 申請した研究者の数	14 人	18 人	27 人	21 人	18 人	98 人
c 運用上応募でき	8 人	9 人	11 人	18 人	20 人	66 人

ない研究者の数						
d 申請率： $\{b/(a-c)\} \times 100$	63.6%	85.7%	46.6%	41.2%	32.1%	47.1%
e 採択された研究者の数	2人	2人	3人	7人	4人	18人
f 採択率： $(e/b) \times 100$	14.3%	11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	18.4%
g 実質採択率： $\{(c+e)/a\} \times 100$	33.3%	36.7%	20.3%	36.2%	31.6%	30.7%

1) 4年制大学の教員である看護学科教員だけ計上している。

申請率について、2017年度及び2018年度は高かったが、2019年度以降は年々低くなっていた。採択率は、2020年度及び2021年度の方が2019年度以前より高くなっていた。実質採択率は、過去5年の平均がほぼ3割であった。

【評価】申請率は、2017年度及び2018年度は短大教員を含まないために高かったと考えられる。採択率は、2022年度科学研究費基盤(c)の全国採択率が28.5%であったので、2020年度を除き低いが、実質採択率が3割程度であったので健闘してきたといえる。

⑩ 科学研究費（研究スタート）の申請及び採択に関する状況（項目(7)）

表 14 科学研究費（研究スタート）の申請及び採択に関する状況

年 度	2019	2020	2021
a 申請資格者数	不明	5人	5人
b 申請した研究者の数	4人	2人	2人
c 運用上応募できない研究者の数	不明	0人	0人
d 申請率： $\{b/(a-c)\} \times 100$	—	40.0%	40.0%
e 採択された研究者の数	2人	0人	0人
f 採択率： $(e/b) \times 100$	50.0%	0.0%	0.0%

2019年度には採択があったが、その後はなかった。

⑪ 科学研究費（研究成果）及び科学研究費以外の外部資金に関する状況（項目(7)）

表 15 科学研究費（研究成果）の申請及び採択に関する状況

年 度	2017 1)	2018 1)	2019	2020	2021
申請した研究者の数	0人	0人	1人	0人	0人
採択された研究者の数	0人	0人	0人	0人	0人

1) 4年制大学であった看護学科の教員だけで計上している。

表 16 科学研究費以外の外部資金採択件数

年 度	2017 1)	2018 1)	2019	2020	2021
公益財団法人からの資金	0	0	0	0	2

岡山県からの資金	0	0	0	0	1
他大学からの受託研究費	0	0	1	1	1
計	0	0	1	1	4

1) 4年制大学であった看護学科の教員だけで計上している。

積極的に外部資金を獲得しようとしている研究者が複数いた。科学研究費以外の採択件数が2021年度は多かった。

【評価】評価されるべきことである。

⑫ カリキュラムマップ及びカリキュラムツリー

健康保育学科カリキュラムツリー

学年	1年次		2年次		3年次		4年次		
学び	●教養、感性を高める基本科目を学修。 ●地域をフィールドにした学修。		●教育・保育・福祉についてより高度な知識と技術を身に付け専門性を高める。 ●特別支援教育についての学びを深める。		●実習とインターンシップを積み重ね、保育実践力を高める。 ●チームアプローチ演習で他職種連携を学ぶ。		●病児・病後児保育および病院見学、特別支援教育のための実習。 ●4年間の学びを集大成する。		
ディプロマ・ポリシー項目	前期科目	後期科目	前期科目	後期科目	前期科目	後期科目	前期科目	後期科目	4年間
DP1 教養・倫理	10	7	10	11	13	12	5	3	67
DP2 知識・技能	15	19	14	13	14	13	5	4	86
DP3 コミュニケーション力	5	7	8	10	10	9	4	3	45
DP4 課題解決力	3	4	5	3	9	8	4	3	35
DP5 地域・多職種連携力	5	2	3	4	8	7	4	3	32
DP6 生涯学習、キャリア形成	15	13	10	10	11	10	6	4	64
DP1～6	53	52	50	51	65	59	28	20	329

看護学科カリキュラムツリー

学年	1年次		2年次		3年次		4年次			
学び	●人間力を高める教養科目を学修。 ●地域に住む方々の生活や健康課題とその支援への理解を深めるために地域をフィールドとした学修。 ●看護に必要とされる基礎知識・技能を学修。		●看護を展開するために必要な専門的な知識と技能を学修。		●看護実践に必要な能力と態度を養う。 ●チームアプローチ演習と臨床看護学、看護の探求と発展の科目を学修。 ●訪問看護・地域看護コース、又は保健師教育課程、又は看護教諭養成課程を選択した人はそれぞれの専門科目を学修。		●看護の質向上に必要な知識と方法論を学修。 ●臨床実習、訪問看護展開実習、保健師教育課程の公衆衛生看護学実習、養護教諭養成課程の養護実習の科目を学修。 ●4年間の統合として卒業研究を学修。			
ディプロマ・ポリシー項目	前期科目	後期科目	前期科目	後期科目	前期科目	後期科目	前期科目	後期科目		4年間
DP1 教養・倫理	6	7	10	7	14	12	6	6		64
DP2 知識・技能	9	15	16	13	16	14	7	7	86	
DP3 コミュニケーション力	6	8	8	6	15	11	8	7	58	
DP4 課題解決力	5	10	12	12	16	15	8	7	81	
DP5 地域・多職種連携力	2	1	3	3	12	13	7	7	44	
DP6 生涯学習、キャリア形成	9	5	1	1	4	8	7	6	26	
DP1～6	37	46	50	42	77	73	43	40	359	

地域福祉学科カリキュラムツリー

学年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
学び	●教養を高め、地域をフィールドにして地域文化を学修。 ●対人援助職としての基礎知識・技術を学修。 ●1年生後期にコースを選択。		●社会福祉、介護福祉に関する専門的な知識・技能を学修。 ●選択により社会保険労務士、行政書士国家試験に関する科目を学修。		●実習等を通じて社会福祉・介護福祉の実践に必要な力を磨く。		●4年間の学修の統合として地域福祉研究に取り組む。		
ディプロマ・ポリシー項目	前期科目	後期科目	前期科目	後期科目	前期科目	後期科目	前期科目	後期科目	4年間
DP1 教養・倫理	7	13	12	15	11	12	10	3	79
DP2 知識・技能	9	17	12	13	11	15	12	6	84
DP3 コミュニケーション力	7	11	9	9	7	6	4	2	44
DP4 課題解決力	3	10	12	11	8	15	9	3	67
DP5 地域・多職種連携力	4	8	8	9	9	8	7	3	52
DP6 生涯学習、キャリア形成	9	7	2	3	5	1	2	5	19
DP1～6	39	66	55	60	51	57	44	22	345

数字は、DP◎の科目数

(DP◎の科目数/当期開講科目数) %

20-40%

40-60%

60-80%

80-100%

【カリキュラムマップ】

2022（令和3）年8月～2023（令和4）年6月にかけて、DPの各項目と各授業科目とを紐づけるカリキュラムマップについて、将来・評価委員会教学マネジメント部会において検証しながら全教員で作成した。各科目について、その項目と深く関係する場合は◎、関係する場合は○、少し関係する場合は△となっている。

【カリキュラムツリー】

できあがったカリキュラムマップをもとに、学部3学科のカリキュラムツリーを制作し、令和4年11月に学内において公表した。学期（横軸）ごとに、かつ、学修領域（縦軸）ごとに、履修順に授業科目を並べたカリキュラムツリーを作成し、その真下に、学期（横軸）ごとに、かつ、DP項目（縦軸）ごとに、(◎科目の数) / (当学期全開講科目数) × 100を濃淡で色付けしたもの（％が高いほど濃く、％が低いほど薄い。）を配置した。ここでは、授業科目を並べた部分は割愛し、濃淡を色付けしたものだけを示している。全体として、学期が進むほど濃くなっていることがわかる。このカリキュラムツリーにより、教務委員会及び評価・将来構想委員会教学マネジメント部会においてDPに基づき必要な授業科目が過不足なく設定されていること等を検証した。

4) 公立大学協会関係



健康科学部

M

新見公立大学 Niimi University

所在地 〒718-8585 岡山県新見市西方1263番地2
 交通 JR新見駅から徒歩25分
 TEL 0867-72-0634 FAX 0867-72-1492
 設置者 公立大学法人新見公立大学(新見市)
 開学年 2010年(法人設立年 2008年)
 学生定員 735名 教員数 76名 職員数 23名



学長：公文裕巳
 KUMON Hiromi
 医学
 任期：2016.4～2024.3

地域を拓く保育、介護、福祉の高度専門職育成

HISTORY & MISSION

新見公立大学は、新見公立短期大学（1980年開学）を母体として2010年に開学、看護学部看護学科を設置しました。2017年に看護学部を健康科学部に名称変更し、2019年より新・健康科学部として、看護学科に加えて健康保育学科、地域福祉学科（短期大学の2学科を改組）を新設し、1学部3学科体制としました。人口2万8千人弱の課題先進地域・新見市にあることを地の利として、日本の中山間地域における持続可能なまち創りとして共生社会構築に求められる各学科の役割と多職種連携を実践的に研究、教育する特色のある公立大学を目指しています。

PROFILE

●専門職として知識、技能の修得とともに、建学の精神である「誠実、夢、人間愛」を基盤に人間力の向上に努め

ています。

- 「健やかな子どもの発達、心の豊かさの向上、高齢者の健康寿命の延伸」を目標として、「地域を拓く健康科学」の体系化を目指しています。
- 新見市全域をキャンパスとして、「地域ぐるみで支えあう保育」、「心と体の健康を支える看護」、「共生社会の基盤を創る福祉」を基本に、地域住民、行政と大学が協働して「人に優しい地域共生社会」の構築を検証していきます。

TOPICS

2020年9月に竣工した新棟・地域共生推進センター棟には、西日本随一の規模で充実した看護実習室のほか、最先端シミュレータによる多職種連携ラボ、400人収容の講堂（音楽、イベントホール兼用）などがあり、地域交流・産官学民連携・生涯教育拠点となっています。

5) 行事のポスター・ちらし

新見公立大学 新見駅西サテライト 第1回トライアルイベント

親子でボードゲーム

日時 ▶ 4月17日(日) 13:30~15:00 (13:00受付開始)

場所 ▶ 新見公立大学 新見駅西サテライト 1階 子ども交流広場

参加費 ▶ 無料

対象 ▶ 新見市にお住まいの小学生とその保護者(定員20人)

申し込み方法 ▶ QRコードから事前申し込み(申し込み締め切り 4月12日)

その他

- 小学生のみの参加も可能です。
- 人数に制限がございます。申し込み多数の場合、抽選とさせていただきます。
- 抽選の結果の報告は、4月13日にメールでご連絡いたします。
- 駐車場に限りがございます。乗り合わせまたは公共交通機関の利用をお願いいたします。
- 撮影した写真・動画は広報に活用させていただきます場合がございます。
- 撮影を希望されない方は当日お申し付けください。
- マスク着用等、新型コロナウイルス感染症対策にご協力よろしくお願いいたします。
- 当日は体温のチェック、参加者名簿・健康チェック表のご記入をお願いいたします。
- 体調の優れない方はご来場をお控えください。

親子で楽しめることはもちろん、はじめての人も楽しめる
ボードゲーム(ポアジテンはあつてきうゲーム、くずしなど)を
用意しています! また、オリジナルカードでよりボードゲームを楽しむこ
とができるよう準備しています! ぜひご参加ください!

お問い合わせ
☎ 0867-72-0634 (新見公立大学・学生課)

予約はこちらから

予約等 イベントに関してご不明点がございましたらお問い合わせください

新見駅 西サテライト 会場 駐車場

次回 トライアルイベント 情報
おすびの会
日付 ▶ 4月24日(日)
時間 ▶ 13:00~16:00
内容 ▶ 竹かんざし作り
「たまたま」の歴史を学ぶ

2022年度「学科合同学び報告会」のご案内

「学科合同学び報告会」は、3学科の学生さんたちの「学び」をお互いに「学ばう」ことを目的として開催されます。1年次生は必ず全員参加して下さい。2年次生は担当者のみの参加となります。

教育推進委員会

開催日時: 2022年4月20日(水) 3限(13:20~14:20)

開催場所: 体育館(3学科1年次生全員; 2年次生担当者)

13:15 集合(1年次生全員、2年次生担当者)

13:20 開会

13:20~13:25 学長挨拶
趣意説明(教育推進委員会委員長)

13:25~13:40 地域福祉学科の学び
進行係: 工藤野乃、田盛琉成、税所拓斗
タイムキーパー: 高見柚月、高見一風、田中川 至
報告: 「地域福祉学科〜基礎ゼミで学んだ一年間〜」
石上昌幸、森山蒼二郎、田中純葉

13:40~13:55 健康保育学科の学び
進行係: 政所和花 タイムキーパー: 千葉裕美
報告: 「健康保育学科の学び」
京口実夢、高岡陽菜、丸川拓海、湯浅秀達

13:55~14:10 看護学科の学び
進行係: 荒川真七帆 タイムキーパー: 岩本あい
報告: 「1年間の流れ」小野那津奈
「講義・演習について」上田遥愛、木曾純葉
「実習について」串田知穂、小野那津奈
「学生生活について」田中沙英、平松萌々子

14:10~14:20 学び報告のアンケート記入

◆注意事項(重要)◆
*会場は体育館(3学科1年次生全員; 2年次生担当者)です。
*会場では各学科ごとに間隔を開けて順に座ってください。
*必ずマスクをつけて座ってください。
*筆記用具・防寒具(必要な人)を持参して下さい。

鳴滝祭特別企画!

地域共生推進センターSAブース

ひと休みしてひと学び

~地域と大学 お互いをもっと知ってみませんか?~

地域共生推進センターSA(スチューデントアシスタント)とは?

地域共生推進センターと連携した学生による
地域共生を目的とした活動組織
つまり...

学生主体の地域盛り上げ隊です!

今回の鳴滝祭では、SAのこれまでの活動をまとめた
パネルや動画の展示を行います!

今回の鳴滝祭では休憩所をお借りし、今まで行ってきた地域共生推進センターSAの活動紹介を行います。ひと休みしながらSA活動を通して学生のこと、地域のことをひとつでも多く学んでもらいたいと思っています! 地域の皆様には学生の活動を、学生には新見市内で行われている活動を知るきっかけにしてほしいです!

ぜひ、SAブースでひと休みしていただくのび!

カラフルな装飾が
もたらすよ!

時間: 10:00~15:00 (2日目は13:00まで)
場所: 地域共生推進センター棟 1階 コミュニティカフェ(鳴滝祭休憩所)

学生版鳴滝塾

~私たちが新見のためにできること~

第1回の学生版鳴滝塾は!

新見公立大学の
地域で活動する

学生団体4組が
普段行っている

地域活動を
ご紹介します!

やさしさ介護実行委員会

~学生版鳴滝塾とは?

学生版鳴滝塾は、
新見公立大学が開催している
「鳴滝塾」をもとに、
学生が主催し、
「学生の目線で知りたいこと
を知ろう」
という目的で発足しました。

主催: 新見公立大学 地域共生推進センター SA(Student Assistant)

日時: 2022年7月30日(土)
場所: 新見公立大学
地域共生推進センター棟
1階講堂
入場: 無料
開催時間: 12:30~14:00
受付開始: 12:00~
詳細は裏面へ→

新見公立大学大学院健康科学研究科

中山間地域の未来を拓く
全世代型地域包括ケア
の追究・実践

2023年4月開設

- 地域福祉専攻
修士課程（新設） 入学定員 4人
- 看護学専攻
博士前期課程 入学定員 4人
博士後期課程（新設） 入学定員 2人



新見公立大学 NIU

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2
電話：0867-72-0634（代表）

<https://www.nimi-u.ac.jp/>

新見公立大学 検索



新見市のみなさまへ

新見公立大学

2022年度

市民公開講座

本学では、毎年様々なテーマで公開講座を企画し、広く市民の皆さまに学びの機会を提供しています。
どなたでも参加できますので、是非ご参加ください。

第1回

9/16（金）
13:30～15:00

※NIU新見駅西サテライト

対話をかく力～頭も身体もつかう「かきかた」～
新聞記事を持ち寄り、気になる部分を可視化しよう！

講師 | 北浦 菜緒 氏 | 教育コーディネーター/グラフィックデザイナー
7/ハイクー | 福武 幸世 先生 | 新見公立大学 地域共生推進センター研究員
健康保育学科 助教

第2回

9/30（金）
13:30～15:00

新見市学術交流センター

時代を反映して変化する音楽
クラシックからポップスまで

講師 | 竹下 可奈子 先生 | 新見公立大学 健康保育学科 講師
※新見市学術交流センターは、新見公立大学構内にあります

第3回

10/14（金）
13:30～15:00

※NIU新見駅西サテライト

健口講座

口からはじめる健康寿命の延伸

講師 | 栗本 一美 先生 | 新見公立大学 看護学科 教授

第4回

10/21（金）
13:30～15:00

※NIU新見駅西サテライト

上手な病院のかかり方

講師 | 柳道 三寛 先生 | 新見公立大学 地域福祉学科 助教

開場 13:00より会場にて受付開始

対象 学びたい方はどなたでも

受講料 1,000円（1講座のみ受講の場合は、1講座300円）

申込方法 新見公立大学 学生課【0867-72-0634】まで、
お電話でお申込みください



新見公立大学 NIU 新見駅西サテライト ストレッチ・ダンス講座 NIU（ニウ）

親子【未就学児（2～6歳児）と
保護者】で行うストレッチとリズム
ダンスの講座を開講します！

※事前申込み制

★子どもの発達に
ついて学びながら、
親子で楽しく体を
動かしましょう★



講師：福武 幸世
新見公立大学
地域共生推進センター 研究員
健康科学部健康保育学科 助教



●日時： 9月24日（土）
10月22日（土）
11月12日（土）・26日（土）
各回11:00～11:50

●定員：各回先着8組程度

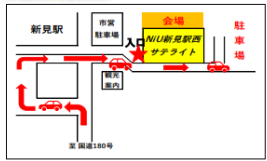
●参加費：お一人様100円
※当日、窓口でお支払いください。

●服装：動きやすい服装でお越しください。
※更衣室はございません。

●持ち物：汗拭きタオル、室内用の運動靴
（裸足・靴下の参加も可能です。）飲み物

●注意事項：マスクを着用してください。未
就学児は可能な範囲で着用をお願いします。

●申込方法：各回ともに事前申し込みが必要
です。駅西サテライト窓口で直接または電
話、メールでお申込みください。



会場（問い合わせ先）：新見駅西サテライト1階 こども交流広場「ひだまり」
〒718-0017 新見市西方463-11 TEL:0867-72-0610 E-mail: ohikikyousei@nimi-u.ac.jp

山陽新聞社と公立大学法人新見公立大学との包括的連携協力による特別講演会

特別講演会

演題

「新聞の読み方・文章の書き方」

講師：神吉孝彦先生

（山陽新聞社読者局NIE推進部長）

対象：看護学科全1年

健康保育学科全1年

地域福祉学科全1年

月日：令和4年10月19日（水）

時間：3限（13:20～14:50）

場所：地域共生推進センター棟 講堂

教育推進委員会

新見公立大学 (NIU) 学生フリーペーパー

なるたき

NARUTAKI

新見公立大学地域共生推進センター

SAしんぶん
駅西サテライト
プロジェクト
NIU学内
アートツアー

～第5号を発行するにあたって～
フリーペーパー「なるたき」は、
新見公立大学や新見市の
「いいな」「すごいな」「伝えたいな」
を学生目線で発信し、
大学と地域をつなぐ役割を
担っています

Vol.5

2022年度
新見公立大学健康科学部看護学科
卒業研究発表会

2022年10月21日(金)
9:20-12:30

場所
地域共生推進センター(新棟)

[開会式・閉会式]
講堂
[発表会場]

5201・5202・5203・5205・5306・5311
(ICT教室)

公立大学法人 新見公立大学健康科学部看護学科
〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2
NIU UNIVERSITY
新見公立大学 NIU

第3回

新見公立大学 学生企画
むすびの場交流会

全国の企画は種して...!!

新見で秋を満喫しませんか?
～ほのぼの旅行気分で全国各地の特産品をゲットしよう!～

流し? 抽選会

日時 10/23(日) 10:30～12:00
(10:00 受付開始)

場所 NIU新見駅西サテライト(駐車場あり)

参加費 1人300円(当日現金いたします)

アロマソープづくり

むすびの場 一新見の人の心も身体もあたたかにー

「新見市に子どもから高齢者までみんなが気軽に集える居場所を作りたい」
という想いを持つ学生が集まり、2021年4月に「むすびの会」を立ち上げました。
新見市で暮らす大学生として、みんなが楽しくほのぼのこりできる場になれば嬉しいです。

第13回 新見公立大学看護学セミナー

専門性を極めた 看護職から学ぶ

【日時】令和4年10月28日(金)
13:20～14:50

【場所】地域共生推進センター棟1階 講堂(Web開催)

【講師】・倉敷市保健所 健康づくり課 倉敷保健推進室
保健師 松本彩佳様
・独立行政法人岡山市立総合医療センター
岡山市立市民病院 集中ケア認定看護師 佐藤正和様
・岡山県看護協会訪問看護ステーション
訪問看護認定看護師 菅崎仁美様

【主催】公立大学法人 新見公立大学健康科学部看護学科

第1回



みんなのひろば

ちびデポ × 駅西サポ

10月29日(土)

みんなのひろばってなに？
ヒントは裏面に◎

13:30～15:30 (13:00受付)
会場：NIU新見駅西サテライト (新見駅よこ 駐車場有)

第1部 13:30～14:15
新見の宝もの知ってる？「カルスト台地の鍾乳洞の魅力」
新見のふしぎな「鍾乳洞」ってどんなところかな？
みんなで楽しく学ぼう！！
講師：岡山県退職公務員連盟新見支部 杉 秀 樹 氏

第2部 14:30～15:30
「飛べ！オニヤンマ」を作ってみよう！
大空をとぶオニヤンマを見たことがあるかな？
～そっくりなオニヤンマを作ってとばしてあそぼう!!～
ちびデポ(大学生)のおねえさんたちといっしょに

2022年度 にいみ子育てカレッジ 子育て支援者に対する研修

参加費無料
要予約
どなたでも
ご参加いただけます

子育て支援者や子育て中の保護者だけでなく、子育てに興味・関心のある方など地域のすべての方を対象とし、どなたでも参加していただける研修です。新見公立大学の教員が研修を担当します。子育てをするうえで抱える課題を地域で共有し、地域全体で子育て支援について考えてみませんか？皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会場 新見公立大学 本館1階多目的ホール **時間** 18:30～19:30 **締切** 各日程の1週間前まで

開講にあたっては感染症予防対策を十分にとったうえで実施いたします。受講の際には事前の検温、手指消毒、マスクの着用をお願いします。
*コース順の○数字は後述の専門職向けの内容となっています。

コース	日程	テーマ	講師
①	11月4日(金)	楽器の奏法とアンサンブル2	竹下 可奈子 (新見公立大学健康教育学科)
②	11月10日(木)	コロナ禍の新生児と母親の生活	金山 時恵 (新見公立大学看護学科)
③	11月18日(金)	「ごっこ遊び」のネーミング	松島 英恵 (新見公立大学健康教育学科)
4	11月30日(水)	氣持のワークショップ	八重樫 牧子 (新見公立大学地域福祉学科)
5	12月2日(金)	英語の絵本を読む	山内 圭 (新見公立大学地域福祉学科)
⑥	12月8日(木)	日々の保育と感染予防	上山 和子 (新見公立大学看護学科)
7	12月15日(木)	ASD(自閉スペクトラム症)の感覚器官の特殊性	松本 好生 (新見公立大学健康教育学科)
⑧	12月20日(火)	特別なニーズのある子どもたちに関する話題 —教育実践に焦点を当てて—	高橋 彩 (新見公立大学健康教育学科)
9	1月12日(木)	ADHD(注意欠如多動症)の気が散りやすく、 集中が続きにくい子どもに対する支援の実践例	松本 好生 (新見公立大学健康教育学科)
10	1月17日(火)	シュタイナー幼児教育	広瀬 綾子 (新見公立大学健康教育学科)
11	1月19日(木)	気になる子どもの理解と支援のあり方を考える1	黒山 靖弘 (新見公立大学教育支援センター)
12	1月24日(火)	気になる子どもの理解と支援のあり方を考える2	黒山 靖弘 (新見公立大学教育支援センター)
13	1月27日(金)	障害児教育に挑んだ先生たち—歴史に学ぶ子どもの支援—	浪浪 朋子 (新見公立大学健康教育学科)

一お申込方法・お問合せ—
【にいみ子育てカレッジ事務局(新見公立大学内)】〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2
TEL:0867-72-0634 FAX:0867-72-1492 E-mail:kosodate@niimi-u.ac.jp

裏面のFAX申込書にてお申し込みください

第5回

森のゆうえんち

inにいみ

楽しさギュッと 笑顔はじける
わくわくドキドキ 夢の世界

主催
森のゆうえんちinにいみ 実行委員会

共催
新見公立大学
一般社団法人 にいみ木のおもちゃの会

11月6日(日)

【第1部】 10:00～11:45
【第2部】 13:00～14:45

令和5年度大学院入試オンライン説明会

新見公立大学大学院 健康科学研究科
看護学専攻 (博士前期・博士後期)
地域福祉学専攻 (修士課程)

以下の通り、本学大学院に関するオンライン説明会を実施します。
本学大学院への進学を検討されている方や興味をお持ちの方は是非ご参加ください。

日時	第1回 11/8(火)	第2回 12/3(土)
地域福祉学専攻	18:00～19:00	17:00～18:00
看護学専攻	19:00～20:00	18:00～19:00

・開催方法：Web会議システム Live ON (詳細はHPをご覧ください)
・参加登録：本学のHP又はQRコードよりお申込み下さい。

パソコン・スマホから
新見公立大学 検索

・申込締切：第1回 11/4(金) 第2回 11/30(水)
・内 容：①専攻の概要、入学試験 ②質疑等
・そ の 他：随時、個別相談を受け付けております。
本学HPをご確認ください。




中山間地域の未来を拓く
全世代型地域包括ケアの追究・実践

NIIMI UNIVERSITY
新見公立大学 NiU
〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2
電話：0867-72-0634 (代表)

<https://www.niimi-u.ac.jp/>

第2回

みんなのひろば

ちびデポ × 駅西サポ

みんなのひろばってなに？
ヒントは裏面にあり

11月26日(土)
13:30～15:30 (13:00受付)
会場：NIU新見駅西サテライト (新見駅よこ 駐車場)

なぜ、お正月に飾りをするのか知ってる？
学んで、作って、飾ってみよう！

しめ縄作り体験

地域の方が優しく丁寧に
教えてくれるよ！

ミニ門松作り

大学生のお姉さんと一緒に
身近な材料で門松を作ろう！

地区の皆様へ

令和4年11月日
下熊谷はぐくむ会
福祉部会

第5回
いきいきサロン

エコテープでしめ縄作り

日時：2022年12月3日(土)
10時～

場所：下熊谷集会所

参加：無料

申込：不要

内容：エコテープを使って
しめ縄を作ります
～当日は大学生が
優しくレクチャーしますよ～

多数の参加をお待ちしています。
ぜひお越しください！

地域共生推進センター 鳴滝塾 VI

特別講演

「子どもの生活リズム」
～ 学校に行けない子どもたち ～

質疑応答

岡山大学病院小児医療センター 小児心身医療科
科長 岡田 あゆみ 先生

略歴
1992年 岡山大学医学部卒業
2014年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
小児医科学准教授
現在、岡山大学病院で心身症や不登校のお
子さんの診療を担当しています。

日時 2022年12月3日(土)
14:00～16:30 (13:30受付)

場所 新見公立大学 地域共生推進センター棟 講堂
岡山県新見市西方1263-2

対象 新見市にお住まいの方

定員 150名(先着順)

受講料 無料

申込期限 申し込みは
QRコードまたは、電話から
2022年
11月28日(月)

お問い合わせ
新見公立大学 地域共生推進センター
NIU新見駅西サテライト事務局
電話 0867-72-0610
Email narutakijuku@niimi-u.ac.jp
※コロナ対策のため、事前申込者のみ入場できます。

新見公立大学 健康保育学科 主催

にのみゆめのほけつと
2022

2022年12月10日(土)

午前の部 10:00～11:30 (受付 9:30)
午後の部 12:30～14:00 (受付12:00)

新見公立大学 学術交流センター・地域共生推進センター棟 講堂

舞台演目

10:00～10:45
合奏「おねえさんといっしょ
～どうぶつ みつけ！～」
手品「まほうの家でクリスマスパーティー」
合唱「さあ！みんなに
“ありがとう”をとどけるよ」
13:15～14:00
劇「赤ずきんちゃん」
ダンス「とびだせ！広い世界へ
探そう！世界に一つの宝物！」

あそびコーナー

10:00～14:00
※11:30～12:30はクローズします。
つくる・かがく「わくわくドキドキ
造形・科学コーナー」
おはなし「あつまれ！おはなしのもり」
むかしあそび「昔あそび広場へようこそ!!」
プラネタリウム迷路「キラキラ迷路へ
レッツゴー！」

入場無料・先着200名・要予約

〈駐車場〉
大学グラウンド 100台

〈申し込み方法〉
パソコン・スマホから
新見公立大学 検索

〈お問い合わせ〉
新見公立大学 岡山県新見市西方1263-2
☎ 0867-72-0634(代表)

QRコードから

表現発表会

保育内容「表現」(身体表現)の指導法
授業内発表会

日時：2022年12月14日(水) 11時45分～
12月16日(金)15時40分～

場所：新館講堂

出演：健康保育学科1年生

演目：「西遊記」「スイミー」

♪ ぜひ観に来てください ♪

新見×Masking tape にいみマスキングプレイス ～みんなで楽しむマスキングアート体験～



新見駅前をみんなで飾りつけよう！

様々な色や柄があるマスキングテープ！そんなテープを使って、"マスキングテープアート"というものを考えてみるか？
今回の企画は新見駅前！マスキングテープを使って作る「マスキングテープちり紙」を、マスキングテープを使った工作ができる「ワークショップ」で、マスキングテープアートを体験してみませんか？

日時 2023年1月29日(日)
10時～15時
場所 新見駅 駅前歩道周辺
参加費 500円(マスキングテープ3個付)

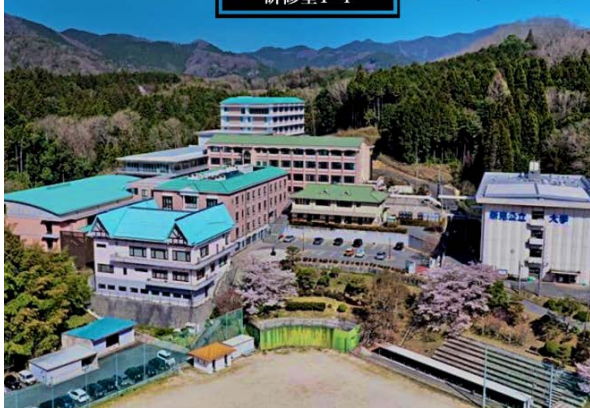
大学生も参加します
みんなで一緒に楽しみましょう！



2022年度 先輩と語る会

看護師(臨床)
看護師(訪問)
保健師
養護教諭
助産師 の講演
+交流会開催

開催日時
2023年2月10日(金)
3-4限
学术交流センター
交流ホール
研修室1-4



第3回

みんなのひろば

ちびデポ × 駅西サポ

みんなのひろばってなに？
ヒントは裏面に📄

2月25日(土)

13:30～15:30 (13:00受付)

会場：NIU新見駅西サテライト(新見駅よこ 駐車場有)

① エアーカーリング



② ストロンボーン



上のイラストの謎が知りたい人は是非遊びに来てね！
みんなで作ってみんなで遊んでみよう！！

編集後記

本年報は、本学における1年間の活動をつぶさに収録し、本学の将来の方向性を考える上で必要なデータを集約することを主な目的として作成しております。本年報が記録した1年間の確かな歩みが、これからの新見公立大学・大学院の将来に生かされていけばと思います。

本年報をご高覧いただき、忌憚のないご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

教育推進委員会年報部

教育推進委員

委員長	原田 信之
健康保育学科	岡本 邦広
健康保育学科	竹下可奈子
健康保育学科	松島 英恵
看護学科	小林 匡美
看護学科	西村美紗希
看護学科	井上 竹美
地域福祉学科	小松尾京子
地域福祉学科	朴 蕙彬
地域福祉学科	岸本由梨枝
総務課	三輪 亮太
教務課	古屋 祐樹
学生課	柴田 知瑞
図書館	木山 知香

新見公立大学 令和4(2022)年度年報

令和5(2023)年5月発行

編集 新見公立大学 教育推進委員会年報部

発行 新見公立大学

〒718-8585 岡山県新見市西方 1263-2

TEL 0867-72-0634 FAX 0867-72-1492